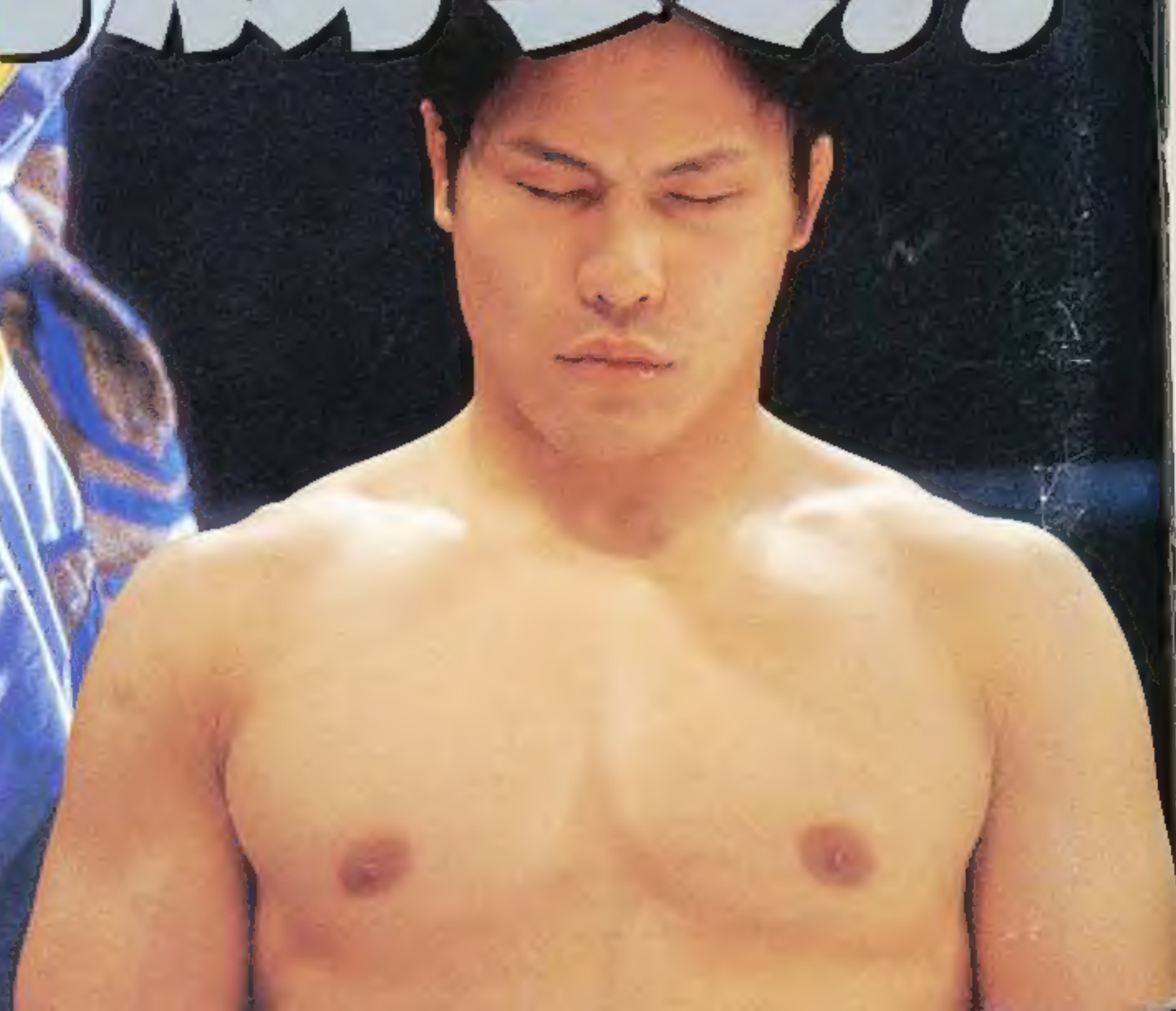
11·17『W-1』は「プロレスとは何か?」を問う、壮大な実験舞台だ!!
紙のプロレス
MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE
RADICAL
55
2002
マット界にメガトン級の面白さ
&原点回帰を振り下ろす大魔人
ボブ・サップ
初冬のドームにサクラは咲くか!?
桜庭和志
問題提起ザンマイ!!
金原 弘光
ヘンゾ&ハイアン・グレイシー
A・R・ノゲイラ&M・スペーヒー
A・コピィロフ
キミはハシフ・カーンを見たいか!?
橋本真也
ZERO-ONE&マット界に地殻変動
大谷晋二郎
新日本
30周年ドーム大会
ブッタ斬り座談会
サスケ&TAKAみちのく
10周年記念対談
&ターザン山本が
久々の"みちのく巡礼"
初の"卒業生"ラスト・オブ・モヒカン
闘龍門・神田裕之
掲載前から話題沸騰!!
坂田亘のガチンコ恋愛相談
本製圏道が遂に完成!!
"1·4事変"の真相も激白!!
佐山聡
独占スクープ!!
"リングスの巨大殿堂"が
ロシアに出現!!
の相手に選ばれた"運命の男"が独白!!
田村潔司
遂に"最後"に実現した
高田vs田村戦の意味を読み解け!!
11·24 高田の覚悟!!
田村の決意!!
夢幻大の
真剣勝負!!
紙のプロレスRADICAL
NO. 55
11·24運命のファイナル・アンサー

道はどんなに険しくても、笑いながら読もうぜ！

情操教育に最適？
3〜70歳／親子用

さくぼん

[別冊] 紙のプロレスRADICAL

桜庭和志公式マガジン

貼りますかーッ！
さくぼん さくぼん

⬅特製サクシール

⬅サクマシン立体お面

スーパー紙おもちゃ
組み立てますかーッ！

⬅動く必殺技

こんなについて
1000円
ポッキリ！
（税込）

◎炎のコマ◎

◎炎の人力車◎

おもしろ豪華付録大紹介!!

『さくぼん』をしっかり読んで、サクの「もう一丁ッ！」を待ちましょう!!

「オンラインブックストアbk1」(http://www.bk1.co.jp/)などのネット上の書店でも買えます。
また、本屋さんにない場合は、「ワニマガジン社発売の「さくぼん」を注文します！」と大きな声でハッキリと言いましょう!! 取り寄せてくれます。

通販もやってます！ 買いますかーッ!!

全国書店やコンビニでバラ撒いても、絶賛品切れ中でなかなか手に入らないという声が出まくりの『さくぼん』。そこで地球の優しい、みんなに優しい（株）ダブルクロスでは、通信販売を行っております。『さくぼん』と明記の上（冊数も）、現金書留か郵便振替でお申し込みください。代金は1000円＋送料500円です。

【郵便振替】
00130−3−769154　（株）ダブルクロス

【現金書留】
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ケ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス「さくぼん」係

※なお、『紙プロ』バックナンバーや『紙プロ』グッズと併せての注文もOKです！
送料は、どんなにたくさん注文しても500円です。必ず購入商品の記入漏れがないようにしてください。

発売：ワニマガジン社　03･3357･2911　発行：ダブルクロス　03･3403･5188

「高田さん、ボクと真剣勝負してください」発言から7年——。

高田延彦が22年の
〝最後〟の相手に
選んだのは——

田村潔司

運命!!

仰天!!
驚愕!!

パンドラの筐”を開けた——。

髙田延彦が選んだ〝最後〟の相手は、田村潔司！　これまでの歴史を知っている者にとっては、にわかには信じがたい一戦が実現する。しかも『PRIDE』(11・24東京ドーム）のリング。髙田のファイナルマッチという大舞台だ。

髙田と田村の関係は、一生交わることはないだろうとも言われていた、まさにアンタッチャブルでデリケートな領域にあった。その2人が運命的に同じリングに立つ。

10月22日の午後5時から、急きょ、都内ホテルでDSEが会見を開き、出席した髙田延彦は、自身のファイナルマッチについてこう語った。

「最後だから『PRIDE』の名前にこだわるんじゃなくて、自分の現役22年を振り返ってみて、誰が最後の相手に相応しいか。その想いが同時に見ている人にも伝わるのかと考えました。結論を言いますと、田村選手を相手として指名させて頂きたいと思います」

「(田村は）やっておかなければいけない相手。やっぱり一つの運命なのかなと思います。何年か前に彼に『真剣勝負をやろう』と言われましたが、それっきりですし。【中略】(田村も）それなりのハイレベルなポジションにいると認識してるので選ばせていただきました。あえて日本人であり、田村を選んだっていうこだわりもあるので、いつもと違った緊張感というか、もの凄い濃い1日っていうかドラマになるような気がします」

「今回の『PRIDE．23』をUインター出身の選手のマッチメイクをドリームステージさんにお願いできないかと。正式にはまだ声はかけてない選手もいるんですけども、この場を借りて金原、安生、中野、垣原、いま現役でやってる選手に、もし出てくる気があるならば気持ちよく席を用意をしてもらう確約を取りましたんで」

これまで髙田は、『PRIDE』という舞台をスケールアップするために、遠心力としての役割を一身に担っていた部分がある。今回の引退試合も、テレビや新聞からしてみれば、当初噂されていた吉田秀彦戦のほうが、数倍ニュースソースとしてはおいしいはずだし、そのあたりは髙田も熟知しているはずだ。

それでも髙田は、最後に自分と、自分の辿ってきた歴史に〝落とし前〟をつけるために田村を相手に選んだ。これは『PRIDE・LOVE』の権化のような髙田の、〝最初で最後のわがまま〟といってもいいかもしれない。

プロレス界に波紋を投げ続けたUインターという団体の空中分解、そして髙田がヒクソン戦を選ぶことで『PRIDE』の歴史は始まったともいえる。

髙田にとっては、『PRIDE』の源流でもあるUインター時代に置いてきた〝忘れ物〟が田村だった。小川直也とはまったく違う意味での〝忘れ物〟を取りに行くこと、〝落とし前〟をつけることを髙田は最後に選んだのだ。

つまりこれは、プロレスファン、UWFファン、Uインターファンへの髙田の〝落とし前〟でもある。

まだ「真剣勝負」という言葉すらアンタッチャブルだった時代に、その言葉をピラミッドの頂点に君臨していた髙田に向かって吐いた田村の想い、それを聞いた髙田の〝プロレス団体の長〟としての忸怩たる想い、受けてやれなかった格闘技者としての想い。さまざまな想いがこの一戦には落とし込まれるだろう。

さらには、落とし前をつけることに決めた髙田の覚悟、それを受け入れた田村の決意、Uインターの歴史、UWFの存在意義、ファンの細胞に刻まれた記憶。とてつも

大の
き起こされる
勝負!!

『PRIDE』という舞台が"バン

なく重層的な意味がこの一戦に宿ることになる。

まさに"夢幻大の真剣勝負"だ！

10・22の会見を「試合までは高田さんと顔を合わせたくない」という理由から欠席した田村は、「高田を殴れない」という理由から、1度はこの一戦のオファーを断ったという。

「なにを甘っちょろいことを」と思うファンもいるかもしれないが、この高田vs田村戦は、「殴る」という行為ひとつを取りだしても、機械的、あるいは競技的な「殴り」ではなくなる。「殴りたい」と思っても殴れなかったり、「殴れない」と思いつつも殴ったり。勝負論を超えたところで、リアルな感情がリング上で交錯するはずだ。

つまり、高田vs田村戦という"プロレスをベースにしたバーリ・トゥード"がリング上で行われたとき、逆説的だが"バーリ・トゥードをベースにしたプロレス"がリング上に立ち昇ることになる。そして闘いを終えて、もし高田と田村がお互いの辿ってきた道を分かり合えでもしたら、初めて『PRIDE』は"プロレス"を超えたといえるのだ。

しかし、それも裏を返せば、『PRIDE』が"プロレス"に包まれたことにもなる。その瞬間に、「UWF」という運動体は完結し、そしてまた新たにスタートするわけだ。

このあたり、ちょっとゴチャゴチャしたが、まぁ、後は勝手に考えてくれ！

そういえば、中崎タツヤの漫画に「人が人を殴るという行為」を描いた印象深いものがあった。たしかこんな感じだ。

●20代後半〜30代前半くらいの、酸いも甘いも噛み分けつつある女の人（仮名・キヨコ）が、公園でタバコを吸いながらたたずんでいる。

●そのキヨコを7〜8歳の子どもがジーッとジーッと穴が開くくらいに見つめている。

●しばらくたってキヨコが、"もうさすがに見てないだろう"と、パッと子どもがいた場所を見ると、まだ子どもはジーッとジーッと見つめている。

●だんだんキヨコも"なに見てんだ、このガキ！"というような感情が沸いてきて、いきなりその子どもをバシーンッと平手打ちで殴りつけてしまう！

●当然その子どものお父さんが「うちの子供にナニするんだー」と血相を変えて駆け寄ってくる。「なぜ殴ったのか説明しろー」とお父さんはキヨコに詰め寄る。

●そうするとキヨコはお父さんにこう言う。「この子に手を挙げたのは、私の生き方とか人格がこの子に手を出したわけで、私の中では納得してるわけです」と。

●それを聞いたお父さんは「じゃあ、俺の中で納得すれば、俺がお前を殴ってもいいんだな？」とキヨコに聞く。するとキヨコは「じゃあ、どうぞ殴ってください」と頬を差し出す。

●お父さんはキヨコを殴ろうと、グッと拳を握り締め、拳を振り上げる。そのまま5秒…10秒…20秒…結局、お父さんは「ホントだ…」と、ひと言だけつぶやいて力なく拳を降ろす。

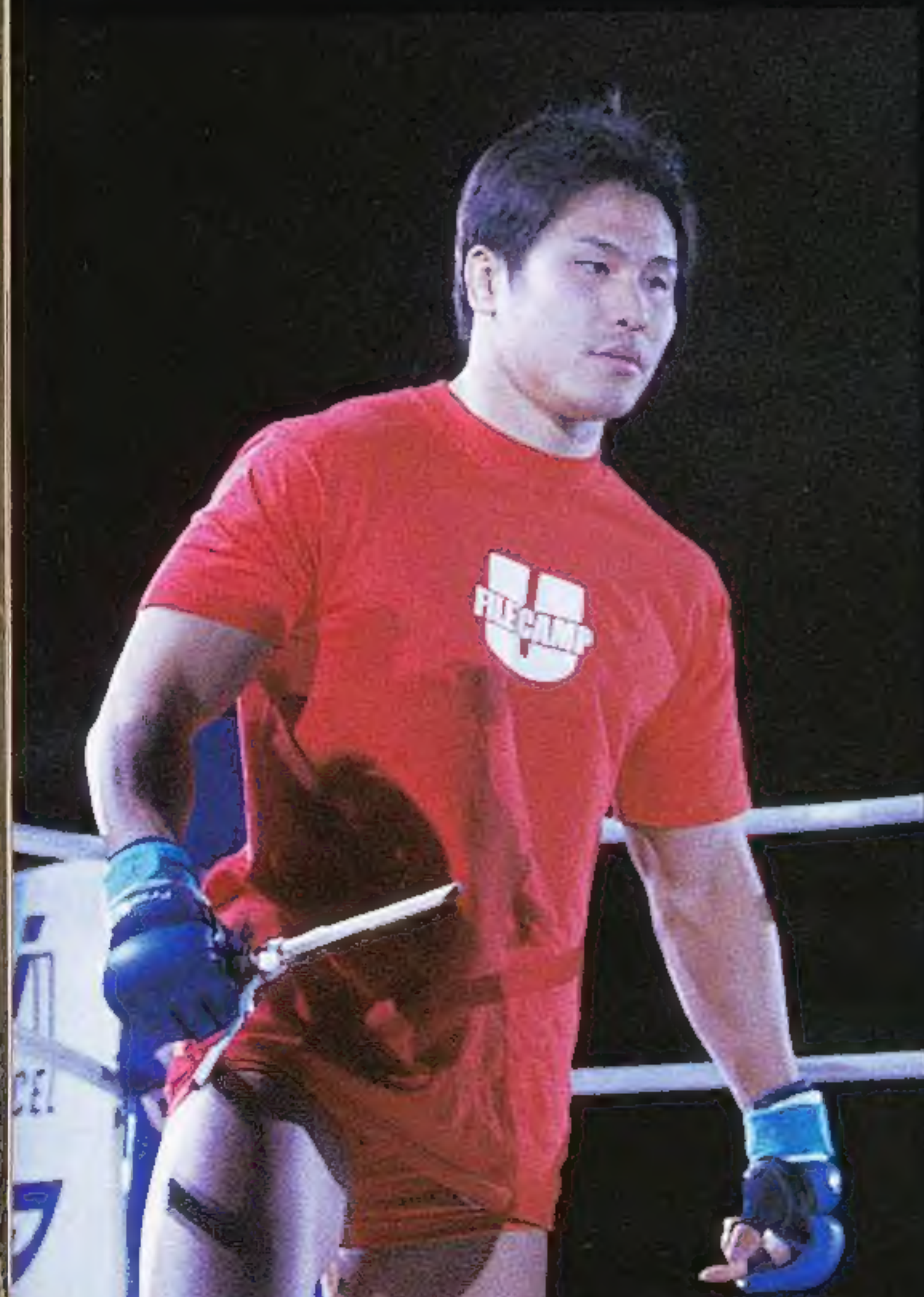
高田vs田村戦は、純バーリ・トゥードではない。純総合格闘技でもない。もちろん、純プロレスでもない。

「人が人を殴るという行為」には、本来、その人の人格や生き方、背負ってきたもの、歴史、すべてが込められてしかるべきものである。

そのときの生の感情が、闘いを通じてリアルに立ち昇る瞬間を"プロレス"という。

"最高級でレアなプロレス"に立ち会うために、プロレスファンよ、11・24東京ドームに集え！

夢幻 真剣

細胞が叩き

孤高の男の〝引き出し〟がいま運命によって開けられた!!

髙田延彦、ファイナルの相手に選ばれた男の恍惚と不安、二つここにあり

田村潔司

田村　今回はもう、何もしゃべれないですよ、僕………（唐突に姿勢を正し）正座しよっと。

――いや、なにも正座しなくても。

田村　いえいえ。しゃべりにくいんですよ、今回の件は!!

――じゃあまず、弟分の坂田亘と小池栄子の熱愛が発覚しましたけど、それについてひと言ください（笑）。

田村　そ、そう来たか！

――羨ましい？

田村　羨ましくはないですね。羨ましいですか？

――羨ましいですよ、実に（笑）。

田村　あ、羨ましいですか。そう言うと坂田がまた調子に乗っちゃいますよ。でもね、結局のところ芸能人って仕事も……（唐突に正座を解いてアグラを掻く）。

――ガハハ！　いきなりリラックス！

田村　いやッ、こういうことはどこまでしゃべっていいんですかね？　……まぁいいや、俺は関係ねぇや。

【しばらく坂田話が続くが、大幅に略】

田村　それで前ね、坂田が東京に来てて、

聞き手／山口日昇
撮影／森〝モーリー〟鷹博
designed by hisa(Two Three)

「Uインターのときに悩んだのは
僕の財産ですね！ そのお陰で、
いまの自分があります」

「ちょっと彼女を紹介するんでメシ食いましょう。もちろん田村さんのオゴりで」って誘われたんですよ。

——「もちろん田村さんのオゴりで」ってところが凄いな（笑）。

田村　だから「あ、いいよ」って言ってね。

——へぇ、さすが先輩。優しいですね。

田村　いや、それはね、2回ぐらい断りました。

——ガハハハ！　2回は断った！

田村　「何で俺がオゴるんだ」って思って2回断って、3回目に「ま、いいか」と。

——紆余曲折があったと（笑）。

田村　それで3回目に電話かかってきたときに「わかった」って言ったら、「じゃあタムちゃん、滞在先まで迎えに来て」って言うんですよ。だから、運転手として迎えに行って、で、メシ奢って、帰りにまた送って。昔で言うアッシー、メッシーですよ。坂田の。どう思います？

——凄いなぁ。坂田亘っていうのは、よほどの大物か、大馬鹿ですね（笑）。

田村　自称・大物ですね。前なんか東京に来たら「タムちゃん、車貸して」ですからね（笑）。

——ダハハハ。恐ろしいな、ホントにあの男は。

田村　その彼女を紹介してもらった件以来、坂田とは2度と会ってないです！

——ダハハハ！　ボクも会わない方がいいと思います（笑）。でも遊び人にしか見えない坂田亘自身は「彼女一筋。真剣につきあってる」みたいなことを言うんですけど、そういうキャラなんですか？

田村　いやッ、そこはフォローするけど、どっちかっていうとその件に関しては真面目なタイプですね。一途っていうか不器用っていうか……。

【再びしばらく坂田亘話が続くが、思いきり略】

——まぁ、恋愛っていうのはデリケートなものですからね。しかも他人の恋愛だからほっときましょう（笑）。

田村　はい（微笑）。

——で、同じデリケートな話題でも本番に移りたいんですけど。

田村　いやッ、その展開は無理があるでしょ！……ハァ（タメ息をつきながら正座する）。

——だから何でまたそこで正座するんですか！（笑）。

田村　いやいや、一応。今回の件は、非常にしゃべりにくい！（キッパリ）。

——構わず聞きますが、高田さんが、引退試合の相手に田村さんを選びました。高田さんは、「22年間のプロ生活を振り返って、ベストの相手」というようなことも言ってましたね。

田村　…………………（長い沈黙）。

——高田延彦と田村潔司はUインターが解散する前から気持ち的には離れていた。それが闘うことで、再び接点を持つわけですよね？

田村　はい、はい、はい。

——これは田村さんは2～3ヶ月前には想像してなかったことですよね？（ここでなぜか、聞き手の山口まで姿勢を正し正座に）。

田村　想像もつかないし、そういうお話をいただいて……何で正座するんですか？

——いや、なんかこうアンタッチャブルな領域に入った気分というか（笑）。

田村　でしょ？　う～ん、そうですねぇ、非常に……まぁ、この続きは僕が引退するとき、自伝を出したときに話します！

——ガハハハ！　じゃあこれが自伝だと思ってください。

ひと言で片づけちゃうのもあれでしょうけど、「運命」なのかなっていう

田村　ただ、ぶっちゃけると、この話が決まる経緯の中で、いましゃべれないこともあるじゃないですか。しゃべれないっていうか、しゃべりにくいというか。

——しゃべりたくないとか。

田村　そうですね。まぁ、オファーが来たのが9月の終わりか10月の頭ぐらいですよね。でもホント正直……今回はホントに複雑な気分でしたね。いろんなものが入り混じってるんですよね。凄く光栄なことであり、「僕でいいの？」っていう部分もあり、それから「何で僕なの？」っていうのもあり。だから非常に複雑に入り混じってて。この試合を受けていいものかどうか、自分の中でも答えが出なかったんですよね。でも、ひと言で片づけちゃうとあれなんでしょうけど、こういうのは時の流れであり、「運命」なのかなっていうね。それで片づけるしかないなと思いましたね。

——高田さんも「運命」っていうことは感じてるでしょうね。例の大問題となった95年の「高田さん、僕と真剣勝負してください！」発言（P9参照～）については、田村さんは最近「若気の至り」と言ってますけど、高田さんの中でも引っかかってたんでしょうね。その件というか、田村さんという存在が。

田村　いやいや、もう……すいません！　ホント、すいません！

——別にほじくり返してるわけじゃないですよ（笑）。でも、この一戦はホント、関係者の中でもファンの中でも、あり得ない一戦だったわけですよ。だから、関係者もファンも過剰にデリケートになる闘いだと思うんですよね。

田村　……そうですよね。

——田村さんは「UWF」という3文字

にこだわってますけど、Uインターという団体は、田村さんにとってどういう存在だったんですか？
田村　……難しい質問ですねぇ。
――たとえば「青春の1ページ」とか、「思い出したくもない団体」とか、いろいろあるじゃないですか。
田村　Uインターになったときは、下が入って来たんで、ある程度自分の時間もできてたんですよね。その中で楽しい思い出も辛い思い出もあったんで、青春っちゃ〜、青春ですかね。
――田村さんが「プロレス界の織田裕二」と言われてた頃ですよ（笑）。
田村　いやッ、それは……。
――似てるのか、似てないのかという賛否両論も呼びましたね（笑）。
田村　そんなのあったんですか？　それ、いま作ったでしょ？
――ちょっと作りました（笑）。第2次UWFには新弟子として入ってきたから無我夢中だったろうけど、プロとしての自我も芽生えてきて、自分の方向性とかも見えてきた団体が、Uインターであるということですよね。
田村　はい。まぁ、全体的に言うと、それぞれの役割分担がきれいに分かれてたんで。トップに髙田さんがいて、安生さんの役割もあって、宮戸さんの役割もあって。それで若手で僕、垣原、その下が桜庭、高山、金原っていう。
――いま考えるとホントに見事なピラミッドができてましたよね。
田村　できてましたねぇ（感慨深げに）。第1試合が若い奴の試合で、第2試合が活きのいい僕とかカッキーとかで、その次が宮戸さんとか安生さんとかでシブ目でいぶし銀の試合で。で、セミに山崎さんがいて、メインで髙田さんが締めるっていう。
――理想的なピラミッドですよね、いま考えると。
田村　理想ですよねぇ。
――でも、田村さんも一番尖ってた時期ですね。まるでナイフのように。
田村　ムフフフ。
――その一番尖ってた時期にいろんな「事件」がありましたよね。
田村　はいはい。
――そういうことは田村さんにとっても、もう思い出したくもないことだったんですか？
田村　…………（長い沈黙）。やっぱり今回の話になって、振り返らなきゃいけないときも来ると思うんで。まぁ、どっかの"引き出し"に入れておこうっていうのはありましたけどね、僕の頭の中で。
――自分からその引き出しを開けるつもりはなかった？

Kiyoshi Tamura

田村　はい。
――その引き出しが、『PRIDE』からのオファーと、髙田さんの呼びかけで、計らずも運命的に開いたと。
田村　はい。ただね、そのときの立場もあるじゃないですか。給料を払う方と貰う方とか、それぞれの立場がある。僕もいま、自分の会社を持ってジムやって、生徒さんが何百人いて、プロの選手も10人弱いる。で、必ず僕みたいなヤツが出てくると思うんですよ。
――昔の田村潔司みたいな尖った人間が。
田村　僕みたいな、扱いにくいような。まぁ、僕って、どっちかっていうと扱いやすいようで、扱いにくいんで。
――世界中の誰もが、扱いやすいなんて思ってないと思いますよ。
田村　アハハハ……な、何で？（笑）。
――「田村潔司が扱いやすいと思ってる人間がいたら俺の前に出てこい！」って言いたいですね（笑）。
田村　……素直なんだけどなぁ。
――正直すぎるところもあるし、捻じ曲がりすぎた部分もある。両方あるから田村潔司は難しいと思いますよ（笑）。
田村　む、難しくないですよ！
――いやいや、難しい存在ですよ。とにかくホントに大きな存在です。
田村　それは嫌味で言ってんの？　ぶっちゃけて「大きな存在」って言ってんの？
――だって、UWFやUインターの歴史になると、田村潔司の存在は外せないじゃないですか。髙田延彦にとっても、田村潔司という存在は、その時代の中での大きな"忘れ物"だったわけですよ。
田村　う〜ん。ただ、こうやって「運命だ」って言いましたけど、それぞれ違う道になっても、生き残らなきゃ意味がないわけじゃないですか、何をやろうと。だから僕はいま生き残ってなかったら、こういうお話はもちろん来ないし、髙田さんも眼中になかったと思うんですよ。だから、生き残ってるからこういう声をかけてもらえたんでしょうから……微妙ですね。微妙すぎる気分です。
――髙田延彦から見ても、田村潔司は生き残ってるっていうことですよね。
田村　そう、それ！…………（長い沈黙）。いろんな自分がいるから、これは変に捉えられるかもしれないですけど、たとえば「もう一生交わることはなかっただろう」って考えたりすると………何だろうなぁ？
――「一生交わることもないだろう」っていう感覚もあったわけですか。
田村　…………難しいなぁ。髙田さんの性格も知ってるんで。いい部分も悪い部分も。結局のところハッキリ言うと、僕がプロとして自立していく中で、全面的に受け

入れられる部分と、受け入れられない部分が過程によって出てきたっていうことですよね。受け入れられる部分もいっぱいあるし、受け入れられない部分もいっぱいあるし。でも新弟子の頃、凄く可愛がってくださってて、その思い出っていうか、そういうのはいまになっても消えないですよね。だから、そういう二つの思いが、行ったり来たりしてて、微妙なんですよ。

――田村さんが、NKホールで「僕と真剣勝負してください」とブッ放して波紋を呼んだのが、95年の8月なんですよ。いまから約7年前ですよね。

田村 その映像って、今回凄く使われるんでしょうね。（ひとりごとのように）使われるだろうなぁ……。

――あの頃はUインター自体がもの凄くグチャグチャしてたんですよね。その2ヶ月前には田村さんと（ゲーリー・）オブライトの不可解な試合があったり。

田村 はいはい。

――髙田さんはそのとき、唐突に「ごくごく近い将来引退します」って言って、その後選挙に出てみたり。山崎（一夫）さんが新日本に上がったり。Uインターが、実にグチャグチャしてたときですよ。

田村 してましたねぇ。

――そのグチャグチャしてる中で、田村潔司の一番尖った部分がムキ出しになった事件ですよね、あれは。

田村 （勢いよく）わかった！

――なんですか！

田村 僕が尖ってたんじゃなくてね、周りがおかしかったんだ！

――あ、周りがおかしかった。

田村 だから、僕も責められるとは思うんですけど、やっぱり1人1人考えが違うわけであって。若いヤツらも「これはおいしいから」って出たヤツもいたでしょうし、「出ないと損だ」っていう打算的な計算で出たヤツもいるでしょうし。

――それは、その後に突入した新日本との対抗戦のことですか？

田村 はい。出ないより出た方がいいとは思うんですよ。だけど、僕はそこに何で出なかったかっていうと………僕なりの考えもあり、そのへんは宮戸（優光）さんと似てると思うんですよね。宮戸さんも出られなかったんで。

――それはズバリ言って、「UWF」というイメージの問題ですか？

田村 う〜ん、難しいですねぇ。僕なりの言い分っていうのはいっぱいあるんですよ。でも、みんなそれぞれ言い分があるわけであって、僕以外の選手から見たら、僕のことは悪く思えるだろうし。

95・8・18、Uインターにとどまらず、マット界全体に波紋を広げた、田村の「真剣勝負」発言。高田と田村の溝はこれで決定的となったが、闘うことによって両者の関係性はどう変わっていくのか

――「何で会社のために出ないんだ」ということになりますよね。

田村 そうそう。だけど僕から見たらやっぱり、僕の言い分になるわけじゃないですか。だからそれを言うことによって、何が解決するかってなると、何も解決しないから！ これの続きは自伝で！（笑）。

――ガハハハ！ またですか（笑）。でもそのときは相当悩んだでしょ？

田村 そりゃあ悩みますね。でも、あれは僕の財産ですね！

――そのときに考え抜いたことが？

田村 そうですね。でも逆にね、もの凄い悩んだ時期だったんですけど、僕はそれを自分の糧にしたんです。「何クソ！」っていう感じで。その「何クソ！」っていう気持ちを、違うパワーに使ったんですよ。「何クソ！」っていう気持ちを人の悪口を言うこととかに使うんじゃなくて、自分に言い聞かせて、「自分がなんとか力をつけりゃいいじゃん」って思って糧にしたから。だからそのお陰で、いまの自分があるっていうのは正直言ってありますよね。ぶっちゃけ、給料も止められた時期があったんで。

――生活面でも苦しかった。

田村 はい。将来が不安になってた時期ですから。

――ちなみに何ヶ月分ぐらい給料貰えなかったんですか？

田村 3ヶ月。

――じゃあ例の「真剣勝負してください」発言から……。

田村 その次の月からですね。あ、その件から干されたのかなぁ？

――ガハハハ！ 何でいま頃気がついてるんですか（笑）。

田村 そうか、それがあったからですかね？

――そうじゃないんですか？

田村 ……まぁ、貰えないよな。

――ガハハハ！ いま考えると（笑）。

田村 そんなこと言ってたら、そりゃ貰えないわな。まぁ、いま振り返ればそういうことになりますけど、僕はその時点で「僕はUインターにいれる人間じゃないな」とも思ってたんで。

――じゃあ「真剣勝負」発言のときは、Uインターから出る覚悟でいたんですか？

田村 う〜ん。

――「僕はここ4試合メインを任されて、4試合ともすべて勝ってきました。佐野さんとゲーリーに勝った垣原が髙田さんに挑戦できるなら、僕は今日胸を張って髙田さんに挑戦お願いします」と言ったあと、「僕と真剣勝負してください」って叫んで、マイクをリングに叩きつけてますよ。

（「真剣勝負」発言は）クソ生意気ですね！いまそんなヤツがいたらボコボコにしますよ、僕

田村 ……いやぁ、クソ生意気ですね！いまそんなヤツいたらボコボコにしてますね、僕‼

——ホント、メチャメチャ尖ってますよね、この時期は。

田村 そんな改めて言わなくてもいいじゃないですか。もう反省してますから（笑）。だから逆に、僕もジム生からそういうヤツが出てくるのを首を長くして待ってますよ。

——それもまた宿命だ、と。

田村 そう。嫌だったら辞めちゃえばいいわけですから。ぐちぐち陰口叩いて居座るんだったらハッキリ言ってくれた方が気持ちいい！ それは簡単な話であって。こっちも「自分1人でやれるんなら生き残ってみろ！」って言えますし。

——当時の髙田さんたちは、田村さんに対してそう思ってたんでしょうね。

田村 それもあったでしょうし、「何でそんな噛みつくの？ 可愛がってやったのに」っていうのもあったでしょうね。

——だからトップを取ることに本気だったんじゃないんですか、その頃は。

田村 いやッ、トップっていう意識はないですね。何だったんだろうなぁ？ 確かね、その後にドーム（新日本との対抗戦）があったんですよね。

——10月から新日本との対抗戦がスタートしてますね。

田村 だから自分なりの抵抗じゃないですか？ たぶんそういう状況だったから、（対抗戦を）やってほしくないっていう気持ちがあったんじゃないですかね。あっちに行ってほしくないっていう

Kiyoshi Tamura

——新日本と絡んでほしくない、と。Uインターというか、UWFの理念を存続させたかったんですかね。

田村 僕はUインターのためにっていうのを考えましたね。結果、逃げてたらダメですけど、僕なりには会社全体の、それこそフロントの若いヤツも含め、犠牲者になるヤツらがいたりしちゃうわけですよ。だけど、若気の至りもありつつ、目線を上げたり、目線を下げたりっていう僕なりの行動は取ってたつもりなんですよね。

——その当時、田村さんはまだ25歳ぐらいですよね？

田村 そうですね。

——そう考えると凄いよなぁ。いま25歳のヤツらが何をやってるのかって話ですからね（笑）。

田村 それはホメてるんですか？

——もちろんホメてますよ。

田村 もっとホメて！

——ガハハハ！ 自分で自分をホメるのも好きだし、人からホメられるのも好きなんですか‼

田村 ホメられ好きですよ。だからホメない人とはつきあわない！

——ガハハハ！ 25歳でアクションを起こしていくっていうのは、いま「30歳成人説」なんて言われてる社会の中では凄いですよね。

田村 その2年後に自分の会社作ってるから。27歳で社長ですよ、僕（笑）。

——凄……あ、僕と一緒だ。僕もたしか27歳だったなぁ、会社つくったの。

田村 ホメ合います？（笑）。

【以下、お互いにホメ合ってるのかケナし合ってるのかわからない話が続くので、大幅に略】

——で、そういう時期に、K―1のリングでパトスミ（パトリック・スミス）と素手でバーリ・トゥードをやるという、田村さんにとっても大きな転機となった試合があ

これが田村の「髙田さん、ボクと真剣勝負してください‼」発言だ

（95・8・18 NKホール）

95・6・18 Uインター両国国技館大会で行われた田村潔司vsゲーリー・オブライトの一戦は、田村が勝利したものの"第2の前田vsアンドレ戦"と呼ばれる不可解な試合となった。髙田延彦は垣原賢人を破り「ごくごく近い将来、引退します」と発言。数日後、参院選出馬を宣言した。"Uインターの頭脳"宮戸優光はこの大会を最後にリングを離れ、山崎一夫は突如フリー宣言をブチ上げて新日参戦へ走る。混乱の渦巻く状況下でUインターは、8・18 田村vsオブライトの再戦が組まれた衝撃のNKホール大会を迎えた。

●

●セミの髙田vs中野龍雄（当時）戦終了直後に、メインに試合を控える田村が突如登場

田村 すいません、髙田さんにお願いがあります。ボクとゲーリーの試合をリング下で見てくれませんか!? お願いします！

●髙田は一瞬、立ち止まったが、そのまま控室へ戻る。リング上では、田村vsゲーリーの再戦がスタート。しばらくすると髙田が姿を現し、リングサイドで観戦。その後、入場ステージに場所を移して試合を見つめる。試合は田村がダブル・リストロックで快勝。喜びを爆発させてリングを駆け回り、マイクを握る

田村 髙田さん！ 髙田さんはいますか!? 髙田さん、出てきてください！（会場全体を見回しながら）

●髙田が観戦していた入場ステージにスポットライトが当たり、仁王立ちの髙田の姿が。そして、ここにいるぞとばかりに手を振る。それを確認した田村は

田村 みなさんも聞いてください。あの、ボクはここ4試合メインを任されて、4試合共、すべて勝ってきました（落ち着いた声で）

髙田 大きくひと呼吸

田村 で、佐野（直喜・当時）さんとゲーリーに勝った垣原（賢人）が、髙田さんに挑戦できるんなら、今日、ボクは胸を張って、髙田さんに挑戦お願いします！

●地鳴りのような観客の声援が会場を包み込む

田村 （その声援を遮るように）そして‼ ボクと、真剣勝負してください!! 全身から振り絞るような声で）お願いします!! ハイッ！（マイクをマットに叩きつけ、入場ステージの髙田に視線を向ける）

髙田 （クルッと踵を返し、足早に控室へと引き返す）。

●

そして大会終了後、髙田は無言で会場をあとにした。田村は「もしかしたら、もう自分が髙田さんに挑戦っていうか、発言するのは、これが最後かもしれないです」とコメント。当時、田村の「真剣勝負」発言には様々な憶測が乱れ飛び、マット界全体にも大きな波紋を投げかけた。この2ヶ月後、田村と宮戸を除くUインター勢は新日本との対抗戦に突入することになる。そして、髙田との一騎打ちは実現しないまま、8ヶ月後、田村はUインターを去り、リングスへと移籍した

当時、Uインターの絶対的なトップに君臨していた髙田は、田村の試合を入場ステージ（花道）で観戦。プロレス、UWF、Uインター……PRIDE 11・24にはすべてこの歴史＆想いが凝縮される

りましたよね（95・12・8名古屋）

田村　はい。

——95年っていうのは田村潔司にとっては実にエポック・メイキングな年ですね。

田村　まぁ、そこがひとつの分岐点でしょうね。それこそ運命でしょうから、生き残れるか、残れないかっていう。負けてたら、たぶんここにはいないですね。山口さんとも出会ってないまま。

——出会いたくなかったなぁ（笑）。

田村　うわーっ！　何でそんなこと言うんですか！（笑）。

——それはともかく、他のみんなは新日本との対抗戦に出て、東京ドームで記録的な観客動員をマークした。マスコミ、ファン共々もの凄い盛り上がりだった。で、田村さんは、Uインターに所属しながらも、その対抗戦に背を向け、K－1のリングでバーリ・トゥードを行ったわけです

田村　その時点で僕は脱線してるんで、脱線してからは道がなかったんで、もう道場にも行かなくなり、自分で近所のスポーツジムを探してね。あ！　そこが普段、入会金6万円のところが、70パーセントオフだったんですよ。もう金はなかったけど、練習する場所もないから、そこに入って。

——入会金70パーセントオフに目がくらんだ（笑）。

田村　はい（笑）。それと月謝と払って。いまは後付けでそう言ってますけどね（笑）そういうような状況の中で石井館長が目をつけてくれた。だからある意味、石井館長のお陰でもあるんですよね。これまでいろんな人と出会えたんですけど、やっぱりそこがなかったらいまの僕はないんで　そういう意味で、貸し借りの問題じゃないですけど、その部分では心の中にずっと残ってますね。いまは石井館長と全然お会いする機会もないですけど。

——翌年の96年6月にはリングスに移籍したわけですけど、新日本との対抗戦の頃から、どんどんUインター勢とは疎遠になっていきますよね。

田村　うん……。

——そのときは、「何で理解してくれないんだろう」っていう気持ちが強かったわけですか？

田村　いやッ、理解してくれないとかじゃないですよね。イジケてたんですかね。

——「周りから嫌われてるな」っていう雰囲気はあったんですか？

田村　嫌われてるっていうか、練習行っててもしゃべってないですからね！

——まさに一匹狼。

新日本に出ないことで僕は道場に行くべきじゃないと思ったから

たった1度の髙田vs田村戦
PUTIT PLAY BACK

93・2・14日本武道館
○髙田延彦［残り11P］
（15分3秒 TKO勝ち）
田村潔司［残り0P］●

田村　（つぶやくように）ムカつくなぁ、ホントに！

——ボ、ボクがですか？

田村　いや、そういうのを聞くとムカつくんだよなぁ……。

——嫌なことを思い出させちゃいました？

田村　いやいや、大丈夫です

——いま思い出してムカつくぐらい本気だったっていうことですよね。「こっちは真剣に考えてるのに、何で俺だけ村八分にされなきゃいけないんだ」っていう気持ちがあったわけですか？

田村　まぁ、自らっていうのもあったと思いますね。

——自ら群れから離れて行った？

田村　はい。だから新日本に出ないことで、僕は道場に行くべきじゃないなと思ったから。そこで道場にも行って練習する方が図太いと思ったから。やっぱり、線引いて自分で練習して、どうなってもいいやっていう。自暴自棄……自暴自棄。

——その頃はいろんな人に相談したんですか？

田村　しなかったですね。だって結局、僕の周りっていうのはUインター関係じゃないですか。だから相談できるようで、できなかった。1人で悩んで、まぁ、寝れなかったっていうのは覚えてるんですよ、あの時期。もう……何でみんな僕を悪者にするんだろう？

——ガハハハ！　だからその当時は「悪者になってもいい」っていう気持ちがあったんじゃないんですか？

田村　悪者……そうですね　でも昔の方が純粋でしたね！

——いまは純粋じゃない？

田村　不純ですね！

——ガハハハ！　不純宣言！

田村　不純なところもあり、純粋なところもあり。でも、不純なとこがないとやってけないですよね？

——はい　不純があるから純粋が光るんじゃないですか。

田村　昔はちょっと純粋すぎたかもしんない。

——純粋さしかなかった？

田村　そうですね

——もしくは不純さしかなかったか。どっちかですね（笑）。

田村　いやッ、そこは純粋にしときましょうよ（笑）。不純だったら僕はドームに出てたでしょうね、たぶん。……だから、こうやって言うから、ドームに出た人間に嫌われちゃうんですよ！

――正直だなぁ（笑）。でもその当時の田村さん以外のUインター勢も、理念に照らし合わせると新日本に出ることが不純だとわかってるからこそ、余計田村さんに腹立ったんじゃないですか？　純粋なものが邪魔に見えるというか。「俺たちだって不純なことはわかってんだよ！」っていうか。

田村　だから……あ、これダメだ！　危ない！　また僕を嫌われ者にしようとして！

――いや、暴露話を聞きに来たわけじゃないんですから（笑）。

田村　危なくてしょうがねぇな。ホンッット、怖いわ！　僕をまた悪者にしようとしてる。

――ガハハハ！　僕が田村さんを悪者にして、いったい何のメリットがあるんですか？　1回じっくりとそこを聞きたいですよ！（笑）

田村　いやいや、いまのはリップサービスですよ（微笑）。

――嫌なリップサービスだなぁ。パトスミとのバーリ・トゥードに出ようと決心したのはなぜだったんですか？　田村さんはUWFスタイルをやりたかったわけですよね？

田村　UWFを守りたかった……いや、そういうカッコいい言葉じゃなくて、僕はそこしか生き残る道がなかったんですよ。いまでこそいろんな団体がありますけど、そのときは……

――大きく分けて新日本、全日本、Uインター、パンクラス、リングスぐらいですよね。あとFMW、みちのくプロレス。

田村　そんなもんですからね。僕は自分のやってきたことに照らし合わせると、もうそこでしかできなかったから。

――なるほど。Uインターに所属してはいても、自分の居場所がないというのは感じてたわけですよね。

田村　そうですね、居場所はなかったですね会場入りしても1人でしたし。

――しかし、孤独に慣れてますよね、田村さんって。

田村　（つぶやくように）鍵っ子だったもんですから

――ゲ！　鍵っ子だったんですか？

田村　いや、鍵っ子じゃないですよ。

――（つぶやくように）ネタかよ。

田村　まぁ、何かよくわかんないですよ。ちょっと今回のことは微妙だから、この話の続きは自伝で（笑）。試合が終わったら、また全然違う話ができるかもしれないですけどね。

Kiyoshi Tamura

――はい。高田さんが『PRIDE』では、1試合、1試合、「これが最後だ」っていう気持ちでやってきた」って言うんですよ。で、今回、「でも“引退”と宣言しないと、もう1回やっちゃう。自分で自分に宣言をしないと、またズルズル行っちゃうかもしれない」っていうようなことを言ってたんですよ。

田村　ああ、はいはい。

――それを聞いたときに思ったのは、田村さんが「高田さん、僕と真剣勝負してください」って言ったのも、“これを言わないと、ズルズル行ってしまうかもしれない”という気持ちの中でのケジメのつけ方だったのかなぁということですね。

田村　…………………（長い沈黙）。そうかもしれないなぁ。そういうことにしとこう！　そうそう、そうですね！

――何かバカにされてる気がしてきた（笑）。

田村　いやいや。それはありますね。いいとこ突きますねえ、やっぱり。

――つまり、自分で自分に宣言するっていうか、引っ込みがつかないようにするっていうか。

田村　そうだ！　そういうのはあったんですよ。そう言われるとありますね。

――“じゃないと新日本に出ちゃうんじゃないか”っていう不安があったりとか。

田村　ホントにありましたね。僕がUインターの最後の試合（96年3月の日本武道館）でレガース投げるときも、やっぱりどっかでケジメをつけないとっていうのがあったから。

――今回の高田vs田村戦っていうのは、『PRIDE』を最近見始めたファンにとっては「高田と田村って何？　何があったの？」っていう話だと思うんですよ。そういうファンに何を感じさせるかも重要ですよね。

田村　…………そうですよねぇ、新しい『PRIDE』のファンの人はわかんないですよね。

――いまのファンは「あ、そう。それがどうしたの？」って感じかもしれないし（笑）。

田村　だから『PRIDE』のファンはバカなんですよ！

――ガハハハ！　そう来ますか（笑）。

田村　そのときしか騒いでないから

――そういう意味も含めて「『PRIDE』のファンはバカだ」といままで言ってたんですか？（笑）。

田村　いや、含めないでも。

——あ、含めないでもバカ（笑）。ところで、今度の髙田戦は、『PRIDE』のリングに上がるって意識はあるんですか？

田村　……しかし聞き方がうまいですね、山口さんは。何これ？

——「何これ」って何ですか？

田村　野球にたとえると何？

——は？　野球にたとえたら？　全然意味がわかりません（笑）。

田村　ピッチャーでたとえると！

——ど、どういうことですか？

田村　直球で行ったり、カーブで行ったり……。

——あ、そういうこと。そういう戦略は意識してないですよ。

田村　僕らの年代で言うとこの、〝7色のスープレックスを持つ男〟ですね。

——ガハハハ！　わけわからん（笑）。

田村　7色って凄いですからね。

——はぁ。

田村　でも緩急つけたその質問の仕方は凄いなぁ。

——ホントによく言いますねぇ。ボクはね、ズバリ言って田村さんに何か言われると、すべてバカにされてるような気がするんですよ（笑）。

田村　真面目な話ですよ（笑）。だってこんなまともにインタビューしてるのなんて、今回は山口さんのところだけなんだから。

——あ、そうですか。ありがとうございます。で、どうなんですか？『PRIDE』のリングに上がるという意識はありますか？

田村　あ、ごまかし切れなかった（笑）。そのへんの部分は、僕はここでは言えません。自伝にて言います！

——ガハハハ！　また自伝だ（笑）。

田村　だから今回のイベントは、主役は髙田さんですから。その部分で僕の役目っていうのはどういうふうにすればいいのかっていうのは、ホンット悩みますよね。僕はあくまで脇役であり、それこそ、引退試合ということに砂をかけることはできないですよ。あ～、でも、ここはね、ちょっと僕も日本語を忘れたいですね！　日本語がわからなくなりたい。そういう人に僕はなりたい。

——宮澤賢治じゃないんだから（笑）。

田村　いやぁ……複雑ですねぇ。それこそ試合の内容でいうと、僕はどういう闘い方をすればいいのか、凄い悩むし。ホントにその場に2人が立ってるっていうのが、全然そういう実感もないし、想像もできないですし。

——闘うことによって何かが変わると思いますか？

田村　いやぁ、わかんないですね。まぁ、細かいところはもう抜きにして……これ、いま言っちゃった方がいいのかなぁ？　後に取っといた方がいいのかなぁ？

——自伝にしますか？（笑）。

田村　そういう打算的なことも考えつつね（笑）。でも、いまはなんて表現していいのか、ホントわかんないですね。ただ強烈なオファーはいただいたし、それは光栄なお話だし…………（長い沈黙）。何が言いたかったんだっけ？……あ、僕自身もクエスチョンがいっぱい頭の中で巡り巡って結論出したんですけど、これは自分を中心にって考えは一切ないんですね。利害関係とか、そういうのも一切ないですし。格闘技界のためであり、最後はファンのために。僕は、そのカードが決まったとして、仮にその2人がリングに立って向かい合うということだけで、お金を払って見に来る価値はあるんじゃないかなって思うんですよ。

Kiyoshi Tamura

——そりゃそうです！

田村　だから、それこそ極端に言うと「両選手入場です！」ってリングインしただけでいい。それこそ試合しなくてもいいでしょ？

——試合はしなきゃダメです（笑）。

田村　あれ？　そこで「うん」って言わないんですね。「うん」って言われたら試合しなくてもいいのに。「うん」って言ってくださいよ！

　ボクが「うん」と言ったところで、ボクは単なるインタビュアーですから（笑）。

田村　出た！　ふだんの山口さんなら「うん」って言ってくれるじゃないですか！……いやぁ、複雑ですね。この答えはたぶん、まだまだ先ですよ。いまは出ないですからね。ホントによくわかんないですよ。

——じゃあもう1回聞きますけど、最終的にこの試合を受けたのは、何が決定打になったわけですか？

田村　いや、受けるって気持ちはまだないです！

——ま、まだない！（笑）。

田村　流されちゃってますね。だから、それこそ髙田さんの相手が僕っていうふうに限定されてるわけじゃないですか……いやッ、これ以上は酔っ払ってないと言えない。言えない言えない。

——じゃあ、闘いたいのか、闘いたくないのか、複雑な気持ちのままリングに上がるっていうことですね。

田村　複雑なのはそうですね。ただ、ホントに大嫌いだったら、試合は一つ返事で受けますね。「はい！」って元気よく。嫌いだから受けれるじゃないですか。

　ああ、つまり、嫌いだから殴れる。

田村　そうそう。

——じゃあ、いまの言葉を受けて言うと、髙田さんのことが好きだから殴れないという部分もあるわけですか？

田村　いやッ、好きかって言われたら、そう極端に好きじゃないですけどね。

　ダハハハ！　バツグンです。

田村　だって、極端に「好きです」って言ったら、それこそ「何言ってんだ」ってなっちゃうから。だからそこで悩んでるっていうことは、「好き・嫌い」で両極端に分けると、嫌いじゃないから殴れないんだなっていうか。殴れないっていうか、複雑になっちゃうんだな、と。これはね、ファンの人にどこまで伝わるか、ちょっとわかんないんですけどね。

——すべてじゃないけど、わかる気はします。でも、今回の試合は、「殴る」という行為ひとつ取っても、機械的、あるいは競技的に殴るんじゃなくて、人格や人生や歴史や記憶や、さまざまなものが込められる。「殴りたい」と思っても殴れなかったりとか、「殴れない」と思いつつも殴ったりとか、そういう生の感情を、闘いを通じて表現するのが〝プロレス〟じゃないですか。

田村　はい。

——つまり今度のリングに立ち昇るのは、ボクは〝最高級のプロレス〟だと思うんですよね。その〝プロレス〟っていう意味を田村さんやファンがどう捉えるかわかんないですけど。

田村　でも、わかりますよ。

　より人間的なバーリ・トゥードというか。純バーリ・トゥードでもない、もちろん純プロレスでもない。試合形式としては〝プロレスをベースにしたバーリ・トゥード〟なんでしょうけど、概念としては〝バーリ・トゥードをベースにしたプロレス〟ですよね。

田村　（つぶやくように）僕の悩みなんか

（高田さんが）ホントに大嫌いだったら、
元気よく二つ返事で受けてますね！

僕は勝つのが当たり前って思ってたから…そう言うと、髙田さん怒るかなぁ

ちっちゃいのかなぁ？………難しい！

——ホントに難しい試合ですよね、主催者にとっても実現するのは難しい試合だったと思うんですよ。でもホントに難しいからこそ、ファンが見たいと思うんでしょうね。

田村 難しさに比例してるわけですね ファンが見たいものというのは。

——今回は『PRIDE』ルールですけど、ズバリ言って勝ちに行きますか？

田村 よく「勝って恩を返す」とか言うじゃないですか？ でも、どっちかっていうと僕は人間ができてるじゃないですか？

——ガハハハ！ 人間ができてる人が「どっちかっていうと僕は人間ができてる」とは言わないですよ（笑）。

田村 （無視して）だから素直に勝ちに行くことが恩を返すことかっていうことでも悩むし、ただ実際、当日コロッと僕が勝っちゃう可能性もあるし、そういうことをいまの段階ではしゃべれない。ホント複雑。っていうか、この試合はホントに決まったんですか？

——決まったんじゃないんですか？

田村 いやいや、決まったんですよね、決まったんですよね。決まった、決まった（つぶやくように）。いやッ、もう「決まった」って言ってください！

——決まりましたよ！ 200パーセント覆せないです！

田村 フハハハハハ！（乾いた笑い）。

——ホントに運命ですよ！

田村 そうですね。…………（長い沈黙）。僕はファンが望むものをやりますよ！

——なるほど！ でもファンも複雑だろうなぁ。

田村 アンケートとかないのかなぁ？

——ガハハハハハ！ どういう試合が見たいか（笑）。

田村 だって、ただ試合やって、殴り合ってフィニッシュでいいかってなると、それを僕も求めてないし……あ、僕はちょっとわかんないけど、ファンが求めてるか求めてないかって問題は知りたいですね。ドームに数字が出るスコアボードみたいなのを作って、5万人にボタンを用意させて「ちょっと、アンケート取りませんか？」みたいにしてほしい。

——ガハハハ！ 試合前に（笑）。じゃあ見たいものがパックリ分かれちゃったらどうするんですか？

田村 分かれないように……って、そんなのできるわけないじゃないですか!!

——ツッコむの忘れてました（笑）。

田村 ただ、今回のことでUWFがまたクローズアップされるという部分で言うと、バーリ・トゥードは長続きしないっていうのは、僕は……僕は……僕のことホメて！（子どものように）

——昔から言ってましたよね いずれUWFが再浮上するって

田村 そう。「UWF、UWF」って言っ

Kiyoshi Tamura

10・22、高田ラストマッチ会見で、遂に田村の名前が公に!

「もう一丁!」——締め切りをとっくにオーバーした10月22日の午後5時から、都内ホテルにて「PRIDE.23」の記者会見が行われた。出席したのは高田延彦! 自らラストマッチ&田村戦について語った。突貫工事のため全文は掲載できないが、超特急短縮バージョンで、重要なポイントを一気に紹介します。

高田 え～、最後の試合ということで考えると、最後だから「PRIDE」の名前にこだわるんじゃなくて、自分の現役（生活）22年を振り返ってみて、誰が最後の相手に相応しいか？ その想いが同時に見ている人にも伝わるのか？ と考えました。結論を言いますと、田村選手を相手として指名させて頂きたいと思います。え～、彼の回答も快く「イエス」ということで、このカードが正式に成立しました。それと同時にですね、あらゆるところでUインター出身の選手の活躍を「凄いですね」と私事のように言われるんですけども、いろんな想いを込めて、今回の「PRIDE.23」をUインター出身の選手のマッチメイクをドリームステージさんにお願いできないかと。正式にはまだ声は掛けてない選手もいるんですけども、この場を借りて金原選手、安生、中野、垣原、高山、いま現役でやってる選手に、もし出てくる気があるならば気持ちよく席を用意をしてもらう確約を取りましたんで。当初、（相手に）吉田（秀彦）選手の名前が出たときには、彼には即座に名乗りを上げて頂きまして、私としては時間があるならぜひ肌を合わせたかった相手ですし、その気概には非常に嬉しく感謝の気持ちで一杯です。それと同時に、自分の中でも考えに考えた最終決断として、これ（田村戦）がベストだと思ってます。

——田村選手を選んだ理由はというのは？

高田 え～、やっておかなければいけない相手という。やっぱり一つの運命なのかなと思います。何年か前に彼に「真剣勝負をやろう」と言われましたが、それっきりですし。サクや高山、安生もそうですけど、Uインターのメンバーが業界に影響力を与えている。（田村も）それなりのハイレベルなポジションにいると認識しているので選ばせていただきました。あえて日本人であり、田村を選んだっていうこだわりもあるので、いつもと違った緊張感というか、もの凄い濃い1日っていうかドラマになるような気がします。

——引退試合とはいえ、勝つつもりで臨むんですよね？

高田 リングに上がる以上は、いままでも私は勝つつもりでやってきたんですけどね。限りなく。

——引退興行に合わせて、かつてのインターの仲間たちを集めるというのは、高田さんにとってどういう想い入れがあるんでしょうか。

高田 う～ん、それは観に来てくれる人たちにとって、どういう意味が、意義があるのかな？って考えたんですよ。極論を言ったら（Uインターの）みんなが揃ってくれるとね、意味とか意義はわかりやすいし、伝わりやすいと思うんですけども。ま、その日のカードの編成もそうですけど、その日のイベントが終わってみないと皆目検討がつかないけれど、つまらないことはわざわざやりませんから。きっと非常に熱のある高い大会、温度の高い大会になるという。私なりの研ぎ澄まされた直感と磨いてきた感覚で、あえてこういう形をね。（Uインターのことは）「PRIDE」ができて半分ぐらいから見始めた人は多分知らないだろうし、超ルーツ、（自分の）新日本入門までいかなくても、その辺まで遡れば、なぜ「PRIDE」があるのかはわかると思うんで。「桜庭はこうだったのか」とか、あるいは高山もそうですし、「安生はあんなことをやってきたのか」って。自分の選手生活を振り返ってみても、Uインターを経て「これが最後だ」との想いで、ヒクソンに挑んで行ったのが実は始まりであったりね。そういうものが「PRIDE」に繋がっていると思うんですよ。それがすべてではないと思うんですけども、大きなキッカケにはなってるということが伝わればいいかなと思ってますよ。

——以前、田村選手に「真剣勝負をしてください」と言われたことは、ずっと頭の中にありましたか？

高田 やっぱり人間だからね。それはないことはないです。でも、試合をやるとは思わなかったです。まさかね。何でそれ（田村）を選ぶのかっていうのは、ホントに運命的なものでありますね。

てた僕をホメて！（さらに子どものように）
——（無視して）ホント、当日どういう闘いになるかわかんないっていうのが一番面白いんですよね。
田村　いま、無責任になってますよね？
はい。無責任にしかなれないですから、この先は。
田村　確かにそこはね、担当が違いますからね。（大きな深呼吸をして）もう、こういう流れになった以上は、ファンも喜ぶだろうし、マスコミも書き甲斐あるし、それに尽きるんじゃないですか？
髙田さんの引退試合の相手として僕がふさわしいかどうかは別として、こういう長話をきれいにまとめたりしてもらえるじゃないですか。
あんまり、きれいにまとめるつもりはないんですけど（笑）。
田村　（まったく聞かずに）だからそれに尽きますよ！
でも、よく実現しましたよ！
田村　あの人たちのせいですよ。
だ、誰ですか？
田村　『PRIDE』!!。
——『PRIDE』のせい？
田村　…そういう、けっこう愛情の裏返しっていうのはあるじゃないですか。みんなこの件で動いてくれた人たちが、それぞれ胃が痛くなるぐらい悩まれた方もいらっしゃって。逆に裏を返すと、ホントこんな光栄な話はないですから。それこそ主催者側から見ても、レスラー、格闘家、ガイジンも含めて、僕をその中から選んでいただいたわけでしょ？　まぁ、ここも裏を返すと、「俺が悩んだのはお前らのせいだ！」っていうことなんですけどね（笑）。
——ガハハハ！　オファーをかけてきた人間に対して。
田村　そうですね。
——しかし、裏を返すのが好きですね（笑）。
田村　いやぁ、でも、人ってそうなんですよね。現状で文句を言ってるヤツは、その180度違う世界に行っても、絶対文句を言うんですよ　だから人間って、そういう二面性ってあるじゃないですか。要はどこまで求めればいいのか……ん？　何だろう？
——人間に二面性があるっていうのはわかりました（笑）。
田村　その立場に……まぁ、お金で換算するとわかりやすいですけど。10万円給料貰って幸せな人もいる。「いや、俺は50万貰いたいんだ」っていう人もいる。で、50万貰ってる人は「100万貰いたい」と思う。でも1000万貰ってる人でも、もっと貰いたい人もいると思うんですよ。……これはちょっと話が逸れてるなぁ。

ガハハハ！　逸れましたか。
田村　何て言えばいいのかなぁ？　結局、どんなにお金を貰ってたとしても、結局文句を言う人は文句を言うんですよ。「50万しか貰ってない」とか、そういうふうに思うわけですよ。だけど、冷静に、客観的に「50万？　いいじゃん、生活できるじゃん」って考えがあるわけですよ。それがいまの答えです
……………………（長い沈黙）。
田村　だから僕は……そういう選ばれた立場の人間の心境と、外から見てる自分がいるんですよ　聞いてます？
いや、さっきのお金の話が例えがよくわかんなくて（笑）。
田村　だから！　「恵まれてるじゃん！」って言うヤツと、「そんなに悩むんだったらやらなくていいじゃん」って言うヤツとがいるわけですよ。
——頭の中の2人が同時にツッコんでくるわけですか？
田村　そう、2人の田村がいるわけです！
——なるほどなぁ。じゃあ最後の質問です。髙田さんを殴れますか？
田村　（即座に）僕が格闘技者の顔になれば、もちろん誰でも殴れますよ！だけど、そこまでいくのに、スーパーサイヤ人じゃないけど、スーパータムラにならないと。
——スーパータムタム（笑）。
田村　金髪になるんですよね、スーパーサイヤ人って。
スーパーサイヤ人の説明はいいです。
田村　ごまかせないか……。でもね、僕は試合まで、ズ～～～ッと悩むんですからね。2人の田村で悩み続けるんですよ。
——それはつまり「プロレスラー・田村」と「格闘家・田村」の葛藤ですか？
田村　いや、「対髙田延彦」という部分ですね。ただ、僕はどっちに転んでも田村らしい試合を……あ、もうすでに僕が主役になってるなぁ。
——ダハハ。試合の結果はともかく、当日どういう田村潔司を見せたいんですか？
田村　引退試合の相手ですからね、引退する選手の相手だから……わかんないですねぇ。
——格闘技者としては、勝ちに行かなかったら「甘っちょろいぞ、田村！」って声が上がるかもしれないし。
田村　だから、これはもうわかんないですね。ホントわかんない。ちょっと待って……………（長い沈黙）ホンットわかんないですね。僕もやって勝てるかって言ったらね、まだそんなのわからないですよ！
……………（長い沈黙の後、勢いよく顔を上げて）わかりました、これは僕に任せてもらいます！
当たり前ですよ（笑）。これは僕の個人的な意見ですけど、「勝って恩返しをする」という気持ちをまったく忘れたらつまんなくなるような気がしますね。
田村　勝てるかどうかっていうか、僕は勝つのが当たり前って頭でいたから。でも、そう言うと、髙田さん怒るかなって思ったから　いやッ、ホントに日本語を忘れたい。難しいですよ、言葉にするのが！
——わかりました！　もう、あとはワクワク、ドキドキ、ヒリヒリしながら、試合当日を待ちます！
田村　そう。そうしてください!!

【10月21日／Uファイル近くの、名前を忘れたレストランで収録】

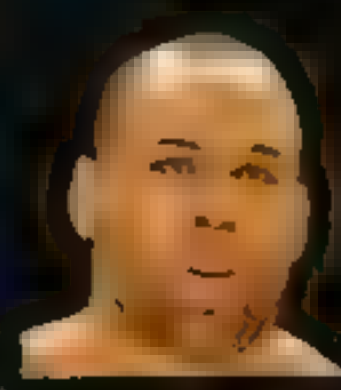
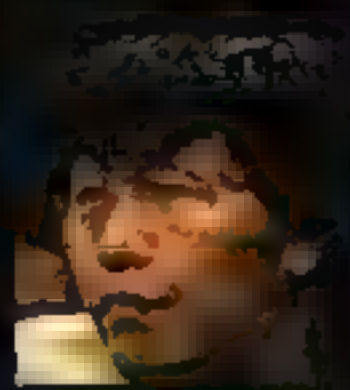
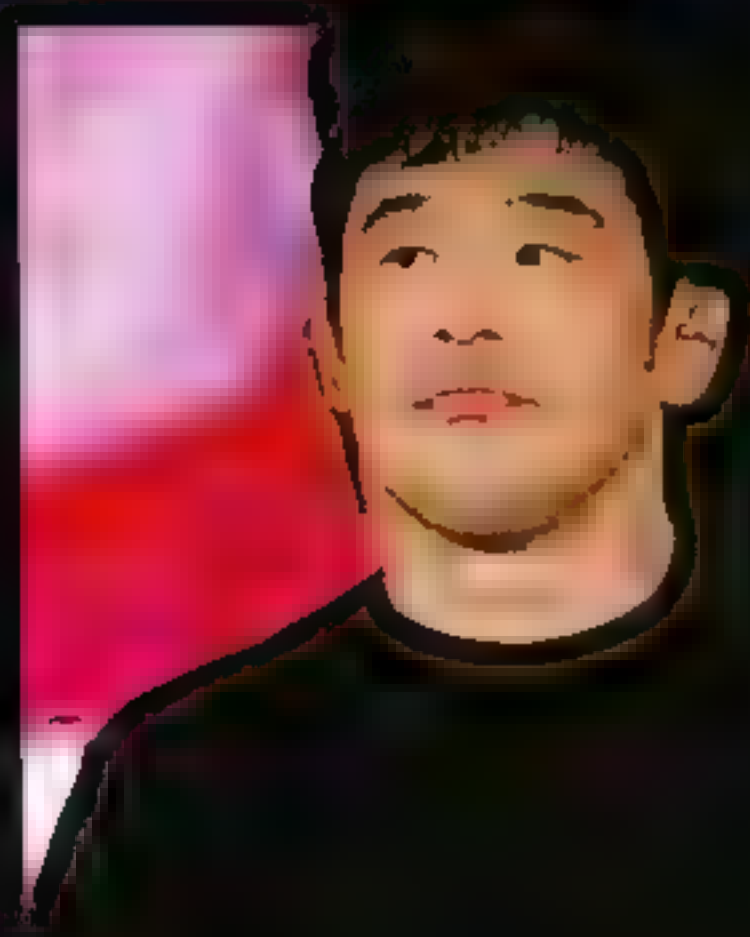
11・24東京ドーム

無限大記念日

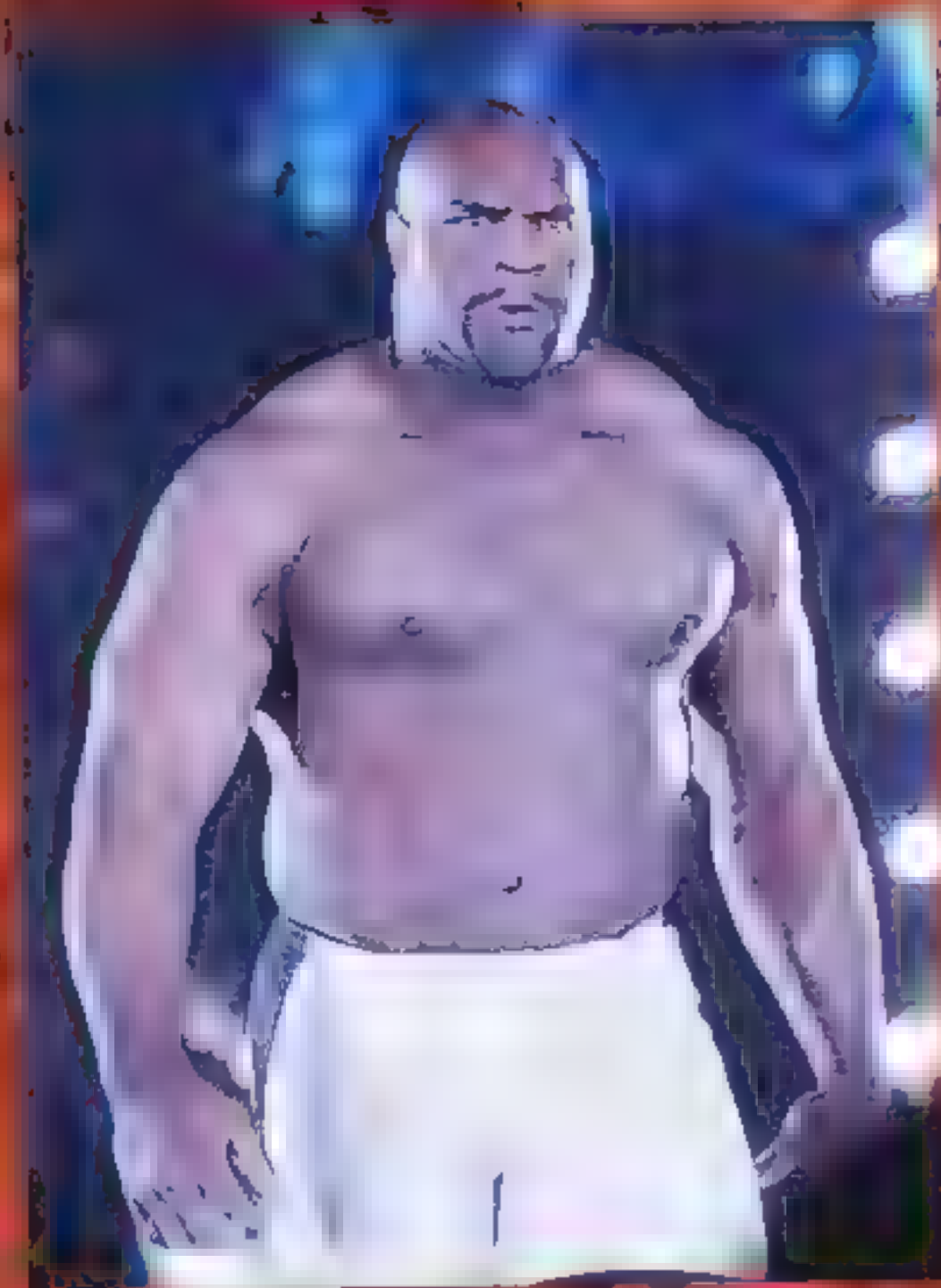
PRIDE∞

『PRIDE.23』高田引退試合以外にも歴史と記憶が甦り血湧き肉躍るカードが続々!!

吉田 VTデビュー戦は フライが相手?

サクが復帰して 高田の遺伝子を 受け継ぐ!!

ユー、イン、ターッ!! 高田総裁の引退記念興行となる『PRIDE.23』には田村潔司だけではなく、元Uインター戦士がこぞって参戦する"同窓会"大会の様相を呈してきた! まず、高田の遺伝子を受け継ぐべく桜庭和志の登場が濃厚で、高山善廣も高田の引退に華を添えるべく参戦することが濃厚だ。そして、今号のインタビューでもボヤきまくる金原が遂に(X3)に『PRIDE』参戦!? シウバとの対戦が浮上している模様だ。しかも驚くべきことに、高田とはUWF時代から苦楽を共にした安生洋二の出場も噂されており、まさしくUインター・フォーエバー的なラインナップ。『PRIDE』ファン向けカードでは、あの吉田秀彦がドン・フライを相手にVTデビューするプランや、ヒーリングvsヒョードルというヨダレモノのカードが実現に向けて動いているという。ノゲイラの参戦は微妙ということだが、『PRIDE』史上最大のカードがドームでは用意されそうだ!

11・17横浜アリーナは「プロレスとは何か？」を問う、壮大な実験舞台だ!!

What is WRESTLE-1?

地上波放映でのプロモーション展開を含めてプロレス界にとっては近年稀にみるスケールとなる「W-1」。開催まで1ケ月を切っているが、いまだ概要はベールに包まれたまま。詳しいことは何一つ明かされていないのである。いったい「W-1」とは何なのか？　プロレスを変えると言われる"夢のスーパーイベント"の正体に迫る！

堀江ガンツ　ジャン斉藤

11月17日、横浜アリーナでブッ放される『WRESTLE—1』!

読者の皆さんも御存知の通り、フジテレビで放映された『W—1』プロモーション番組で、全日本プロレスの新社長・武藤敬司と、K—1石井館長の対談が実現。そしてその武藤が、蝶野、橋本、三沢らに四者会談を緊急提案!『PRIDE』、K—1に代表される格闘技方面に圧倒されていたプロレス界であったが、復興に向け遂に動き始めたのだ。

その鍵を握るのが、『W—1』なるイベントであることは間違いない。

当初『W—1』は、全日本プロレス中継の布石やら、石井館長のプロレス界の本格進出などと捉える向きもあったが、実体はいまだ不明である。

その全貌を探るべく、本誌は事情通である関係者X氏に接触を試みた。関係者X氏は、名前、顔出しこそはNGとなったが、本誌の取材依頼を快諾。そして本誌は、底知れぬスケール感溢れるスーパーイベントの謎を、「生でGONG!×2」月曜日担当キャスターの笹田道子さんのファンで、フランクに「ササミチ」と呼ぶ関係者X氏から、骨の髄まで聞き出すことに成功したのだ!

日本版レッスルマニア?

SWSの再来なのか?

プロレス版『Dynamite!』になるのか?

このインタビューは、『W—1』って何なんだよぉ!?」と疑問を抱くうるさい外野を黙らせろ(田中ケロ調)的な内容となっております。

知りたければ、読め! いや、読んでください! そして、横浜に駆けつけろ!

ん〜、『WRESTLE—1』!

●

——さて、今日はファンもマスコミもいったいどんなことが行われるのかさっぱりわかってない11・17『WRESTLE—1』(以下『W—1』)について、事情通の関係者Xさんにお話を伺いに来ました!

関係者X いやぁ、ボクも何も知らないんですけどねぇ(笑)。

——ゲー 知らないんですか!?(笑)。でも、Xさんは『W—1』にかなり深く関わってると聞いているんですけど。

関係者X こっちが知りたいぐらいですよ。だいたいこういうスポークスマン的な役割は、W氏(現・全日本取締役)がやらないとダメなんですけどね。上司批判になりますけど(笑)。

——ちょっと待ってください。W氏が上司ということは、Xさんは新日本プロレスから来た、現・全日本プロレスの社員ということですか?(しらじらしく)。

関係者X まぁ、そういうことです(笑)。でもね、W氏や一緒に新日本から移ってきたA氏(こちらも現・全日本取締役)が〝新日本の頭脳〟とか〝優秀なスタッフ〟とか言われてましたけど、ボクも含めて全然優秀じゃないですから。あれは誤報です(笑)。

——ま、それはともかく『W—1』です(笑)。まずは『W—1』というプランが立ち上がった経緯からお聞きしたいんですけど。

関係者X それは自然発生的なものですね。もともとはテレビ中継を獲得するために、ボクがフジテレビに持ち込んだ企画書が、何度か手直ししているうちに形を変えて『W—1』になってしまったんですよ。

——ほう。その最初の企画書というのは、もちろん「全日本プロレスの試合を中継してもらえませんか?」という企画書だったわけですよね?

関係者X そうですね。でも、その企画は通らなかったんです。そこである人に相談したら、「何通りかの企画書を作ろう」ということになって、その中から「『全日本プロレス』がダメなら、全日本ではないイベントを全日本の選手でやって、それを中継してもらおう」という案が出てきたんですよ。それでまず出てきた名前が、ウチの心臓部であるA氏のアイディアで「ドラスティック」という名前なんですよ。

——新番組『ドラスティック』!

何の番組かサッパリわかりませんね(笑)。

関係者X もちろん5秒で却下されましたけど(笑)。それでなんだかんだで『W—1』という企画が出てきて、最初は『W—1』という名前で全日本プロレス中継をやってもらおうという話だったんです。ところが、それも却下されたんですよね。

——タイトルだけ変えても中身は全日本と全く同じではダメだと(笑)。

関係者X で、今度は企画の中身を変えていったんですけど、『W—1』という名前は残る形になったんですよ。

——結局『W—1』という、全日本を主体とした新しいプロレスイベントになったということですね。

関係者X はい。それを立ち上げることになって、『WRESTLE—1』というテレビ番組も決まったんですけど、全日本プロレスとフジテレビの正式な契約がないままテレビ番組が始まってしまったんですよ(笑)。

——契約はまだなんですか! それにしても、凄い転がり方で企画が成立したんですね。

関係者X だから、図らずも『W—1』は最初にボクらが狙ってた内容ではなくなってますよね。ホントに得体の知れないイベントですよ(笑)。

——でも、テレビ局に向けて、「こんな新しいことをやってます」というイベントになることには間違いないわけですよね?

関係者X そういうつもりだったんですけど……。ところが全日本の選手や社内の協力はあまり得られないんですよ。

——あ、得られませんか! 噂には聞いてましたけど、全日内部でも『W—1』には反発があるんですね。

関係者X 非常に肩身の狭い思いをしております(苦笑)。

——『W—1』をやることで、全

全日本30周年パーティー席上での奇跡のスリーショット!! 元子さんは「W-1」について「もう思い残すことはない。石井さんのことも、武藤クンがそれでいいと思ってやってること。失敗したら、またそこで考えればいい」とコメント。

全日本プロレス中継を獲得するために持ち込んだ企画書が形を変えて『W-1』になってったんです

日本のマイナスになることってあるんですか？

関係者X　例えば「W－1」のせいで武道館大会が売れなくなるんじゃないか」とかはよく言われますね。ただ、いまの時代は2つとも見たけりゃ2つとも見るし、見たくない人はどっちも見ないと思うんですよ。実際、今度の武道館（10・27）だって売れてますし。

――全日本ファンからの反応はどうなんですか？

関係者X　全日本ファンからは、三沢さんら超世代軍時代のように「試合の中身で勝負すればいい」とはよく言われますね。だから新生・全日本でも、良かれと思ってやったことが、あんまり良くなかったりする。たとえば、演出を派手にしたらダメみたいなんですよ（苦笑）。

――派手にすると怒られるわけですか（笑）。じゃあ、ゴールドバーグの特別ゲートなんて作った日には……。

関係者X　評判悪いですよォ！「あれは川田利明の復帰のときに用意すべきだろ」とか言われてます（笑）。

――ガハハハハ！　そんな貴重な意見が！

関係者X　いやぁ、大変勉強になります（笑）。

関係者X　全日本のためにやってるんですけどねぇ。社内からもファンからも叩かれて。ボク、何で全日本に来たんだろう？……あ、「W－1」の話でしたね（笑）。

――よろしくお願いします（笑）。それで、「W－1」は全日本とK－1の共催イベントと捉える向きもあったんですけど、お話を聞いている限りではそうではないみたいですね。

関係者X　はい。運営・制作は「PRIDE」さんなどもやってるチーム。チケットの販売などは全日本とフジテレビの事業部が担当になってますね。

――石井館長も「お手伝いできれば」と言ってましたけど、K－1との全面的な連係はないんですか？

関係者X　K－1との連携と言うよりも、武藤と館長の関係の中で、武藤が石井館長の持つイベント学の教えを乞いながら、武藤色を全面に出していくことになるでしょうね。

――完全に武藤敬司の「W－1」になる、と。その武藤さん自身は「W－1」にどういうお考えがあるんでしょう？

関係者X　まだ何も考えてないと思いますね（笑）。

――何も考えてない！（笑）。大会まで1ヶ月を切ってますけど、出場選手はどうなってるんですか？

関係者X　う～ん、武藤さんとボブ・サップは出ます！

――それは知ってます（笑）。

関係者X　あとは日本人大物、元WWEの大物選手と交渉中！

――おぉっ、元WWEの大物ですか！

関係者X　交渉中！

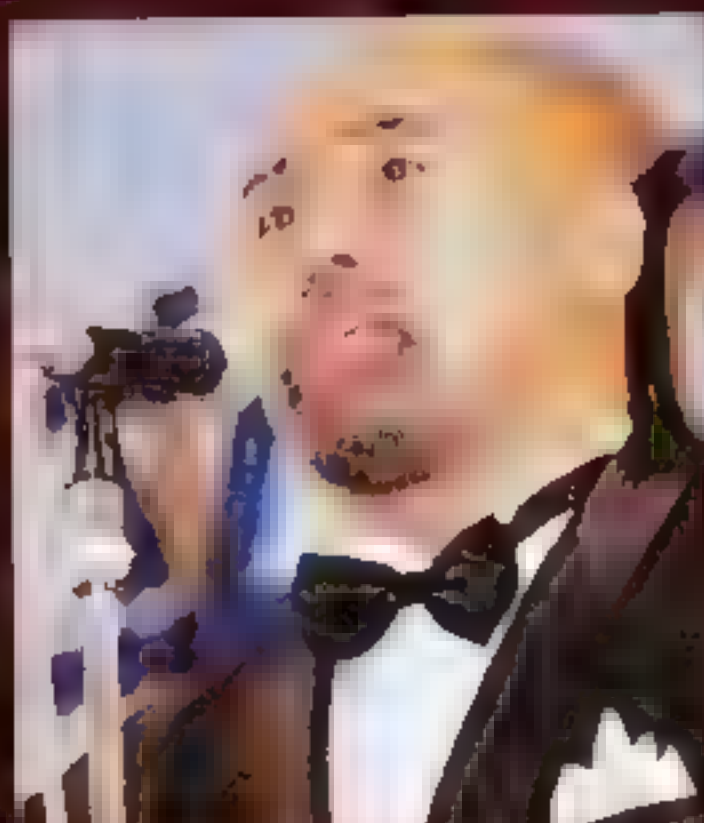
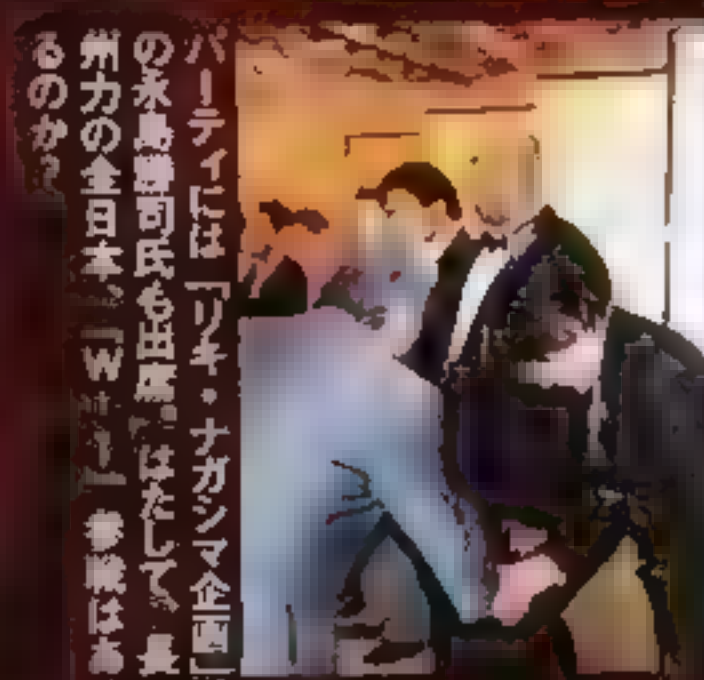
――それってもしかして、バドワイザーをこよなく愛するあの方ですか？

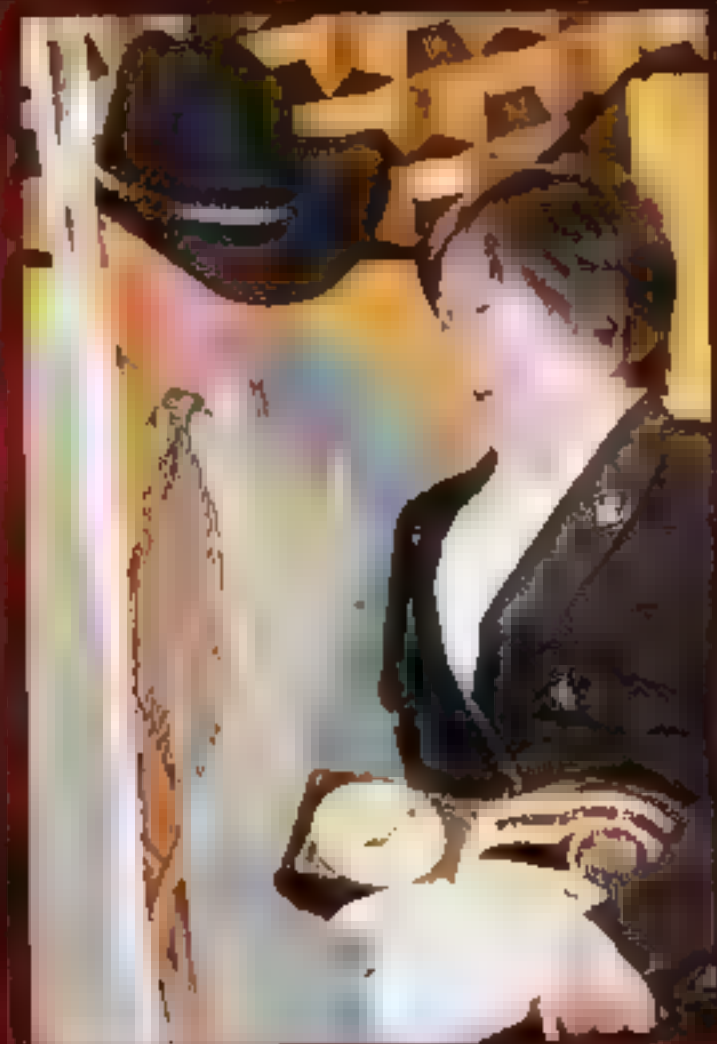
関係者X　交渉中！（笑）。

――楽しみにしてます！（笑）。アメリカからの大物と言うと、今年

全日本プロレス30周年記念パーティ

9月30日　キャピタル東急「真珠の間」

新社長・武藤と馬場元子前社長が杯を合わせて記念撮影。元子前社長は「私も馬場さんも30年間いい夢見させていただきました」と涙ながらのスピーチを行った。

元子前社長から紹介された武藤・新社長は、「全日本プロレスの看板非常に重く感じております。しかし社員、レスラー一丸となって頑張っていきます」と挨拶。

パーティには「リキ・ナガシマ企画」の永島勝司氏も出席。はたして、長州力の全日本、「W－1」参戦はあるのか？

パーティー終了間際、破壊王が到着し、馬場さんの等身大フィギュアの前でガッチリ握手。「近々、試合できるようになるといいなと思います」と、控えめに対戦アピール。

勇退する元子前社長にスタン・ハンセンPWF会長から、かつて馬場さんが3度腰に巻いたNWA世界ヘビー級チャンピオンベルトをデザインした感謝状が贈られた。

見てみぃこの人の数！　さすが30周年の伝統がある全日本プロレスだけに、広い広いパーティー会場にこれだけの出席者が集まった。中央には馬場さんの等身大フィギュアも置かれている。

全日本プロレス所属＆フリー参戦の選手が勢揃い。また、新役員として天龍、川田、渕のレスラー3人に、W氏、A氏を含む4人のフロントが取締役となったことが発表された。

の夏のゴールドバーグの参戦は『W−1』を含んでのことだったんですか?

関係者X たしかに『W−1』は、ゴールドバーグのギャラをペイするためのイベントでもあるんですけどね……。でも、仮に横浜アリーナでボブ・サップvsムタをやったら、ゴールドバーグの相手がいないですからね。そうなると焦って使う必要ないかな、と。

──ムタvsボブ・サップはすでに内定しているんですか?

関係者X そうなるでしょうね。ボクはカードを決める担当じゃないけど、W氏に推薦しときます、はい(笑)。

──サップ人気はもの凄いですからね。中西戦での暴れっぷりも『W−1』のいいプロモーションになりましたよ。

関係者X でも、武藤さんに「サップvs中西、いい試合でしたよ」って伝えたら「オレとやったらもっとスゲエよぉ~」って言ってましたけどね(笑)。

──さすが武藤敬司(笑)。他団体の日本人選手はどうなってるんですか? 全日本30周年のパーティーに橋本さんが来たこともあってZERO−ONE勢や、長州さんの参戦が取り沙汰されてますけど。

関係者X 橋本さんにはお願いしに行くと思います。長州さんはないと思いますけど。

──ないんですか!? 長州さんは、立場的には橋本さんより動きやすいんじゃないかと思うんですけど。

会場に雨が降り、風が吹き、ステージもプロレス史上最大級です。ド肝を抜かれると思いますよ!!

関係者X うーん……そう言われるとあるかもしれないなぁ。でも、『W−1』のコンセプトを聞く限り、長州さんは違うんじゃないかって感じなんですよ。これはボクの個人的な見解ですけどね。

──その肝心なコンセプトなんですけど、『W−1』どんなコンセプトなんですか?

関係者X 映画やミュージカルは、始まりから終わりがあって1つの完成品になりますよね。プランナーが言うには「第1試合からメインまでが1つのショーである」「試合ごとに区切るな」ということを言ってましたね。

──それは、WWEの影響があるんですか?

関係者X いや、そのプランナーはWWEとかはまったく詳しくないと思います。

──となると、見たこともないプロレス・イベントになるということですか?

関係者X はい。お客さんが体感できる参加型のイベントになります。演出側の話を聞いてると、ただ座って大人しく観るようなイベントではないですね。

──ディズニーランドとかユニバーサル・スタジオなんかで遊ぶ感覚ですか?

関係者X 当たらずとも遠からずで、ある種、目指すものはそこかもしれないですよね。ぶっちゃけた話、何日間も同じイベントができればいいと思ってますよ。

──ほぉ。武藤さんや石井館長が「ラスベガスのショー」と言ったのはそこなんですね。

関係者X 武藤さんが「ファンタジー・ファイト」と言ったのもそういうことなんですよ。

──あの発言は一部のファンやマスコミからも反発がありましたけど、そういう意味なら通じますよね。

関係者X まあ、たしかによくわかんない言葉でしたけどね(笑)。

──いや、素晴らしいですよ。武藤さんの感覚は(笑)。しかし、「体感」「参加型」と言うからには、いままでのプロレスにはない演出が用意されてるんですよね?

関係者X 風が吹いたり、雨が降ったりすることもあるかもしれませんよ。

──風が吹き、雨が降る! まったく予想がつかないです(笑)。

関係者X ステージもかなり凄いですよ。プロレス史上最大級ですから、会場に入った瞬間、ド肝を抜かれると思いますね。

──横浜アリーナがセットで覆われるぐらいの勢いなんですか?

関係者X ホント、ビックリしますよ!……って、ミーティングで聞きました(笑)。

──となると、セットで場所を取られて、席数が少ないということになりますよね?

関係者X そうなります。だからチケットはメチャクチャ売れてますし、近々完売すると思いますよ。

──大会前にあのクラスのハコが完売になるのはプロレスの興行で久々ですよ! テレビの力もあったとは思いますけど、やっぱりボブ・サップの存在も大きいでしょうね。

関係者X いや、ボブ・サップの参戦を発表する前から売れてましたね。深夜とはいえ、テレビで放映されましたから間口が広いんですよ。でも、中身はボブ・サップが握ってると思いますけどね。

──ムタvsサップはドリームカードですし、従来の演出の常識を覆すとなれば、プロレス界の流れも変わりますね!

関係者X 演出面は、昔の新日本も凄かったんですよ。『PRIDE』やK−1が出るまでは、最先端を行ってたと思うんですけどね。ムタのイリュージョンにしても、あの当時のことをいまやったら絶対受けると思いますよ!

──たしかに新日本は、選手が天

ゴールドバーグ、ボブ・サップなど、スーパーイベントに必要不可欠な外人勢。ここまで外人勢に期待を抱く興行は久しぶりである。近年のマット界において失われたガイジン幻想は『W−1』で復活するのか。あ、ゼロワンのガイジンも凄いですよ!

井から降ってくるのはＷＷＥよりも早くやってましたし、『ＰＲＩＤＥ．４』でやった引田天功のマジックもとっくにやってましたもんね（笑）。

関係者Ｘ　これは聞いた話なんですけど、新日本は10・9東京ドームでＵインターと対抗戦をやったじゃないですか。あのときは対抗戦の殺伐感を出すために余計な演出を排除したんですよね。それでソールドアウトになったんで、あれ以降は派手な演出をなくしてリング上だけを見せる方向になったらしいんですよ。

——「Ｕを消す」どころか演出も消してしまったんですか（笑）。10・14のドームも演出面は寂しかったですからね。創立30周年を迎えたのに、猪木さんと木村健吾さん扮するニセ猪木が小競り合いしたぐらいで（笑）。

関係者Ｘ　ワハハハハ！

——ところでその猪木さんは『Ｗ—１』には関わってくるんですか？

猪木さんは『Ｗ—１』の1回目放送にＴＶ出演しましたけど、いつも通りノホホンと石井館長と対談する武藤さんに「あんなツラしてるようならダメだろうな」と、勢いよく噛みついてましたけど（笑）。

『ＰＲＩＤＥ』、Ｋ—１、プロレスと、ジャンルを超えた活躍をするボブ・サップ。噂されるムタとの試合では、どんな暴れ振りを見せるのか？

関係者Ｘ　猪木さんは、どうなるんでしょうね。これもわからないです（笑）。ただ、猪木さんを否定するわけじゃないですけど、猪木さんを左とするなら、『Ｗ—１』は右みたいに対極的なことをやりたいですよね。猪木さんと同じことをやっても面白くないですから。猪木さんが格闘家をああいうふうに使うなら、こっちは違う使い方をするとかね。

——逆に言うと、格闘プロレスをやらせないということですか？

関係者Ｘ　やらせないというか、サム・グレコとかも上がりますけど、彼だってバカじゃないですからね。いきなりブランチャをやるかもしれませんよ（笑）。

——サム・グレコのブランチャ！（笑）。

関係者Ｘ　だからプロレスとしては、昔の全日本に近いと思うんですけどね。全日本にはガイジン天国の時代があったじゃないですか？　ファンク兄弟がいて、超獣コンビが暴れて、そして世界最強タッグがあったりして。

——煌びやかな時代ですね。

関係者Ｘ　リング上の発想は昔の全日本なんですけど、その全日本ファンに叩かれる哀しさ（笑）。ビジネス論はどちらかと言うと新日本に近いかもしれないんで、それが全日ファンや社内的に反発を呼んでるかもしれないですけどね。チケットが凄い売れてるのに座席を増やさないでステージを作ったりするのがダメなんですかね。

——いや、そういう贅沢さが重要ですよ！　Ｋ—１で満員神話が始まったのも、チケットが完売してるのに、さらに面白いカードを追加したのが、次に繋がったと思うんですよ。たとえばチケット完売してから、ゴールドバーグを投入したら、凄いインパクトになりますよ。

関係者Ｘ　それは面白いですね！　チケット売り切れるんなら、カードは当日発表でもいいかもしれないですし、メイン以外は入場テーマ曲が鳴って初めてカードがわかるのもいいかもしれない。

——いきなりＯＨ砲が出てきたら、大変な騒ぎになりますよ（笑）。

関係者Ｘ　ＯＨ砲、見たいなぁ（しみじみと）。

——ワハハハハ！　何とかしてください（笑）。

関係者Ｘ　でも、ＯＨ砲に限らず出場が決まってるのに当日発表なんかにしたら、「オレたちは刺身のツマか!?」って選手たちは怒らないですかね？

——イベントの意義をキッチリ説明して納得させるしかないですよね。

関係者Ｘ　そうなんですよねぇ。ボクたちプロレス団体のフロントは、ファンの目線に合わせないといけないんですよね。自分自身を含めてですけど、いまのプロレス界はファンの目線から外れてますよ（キッパリ）。選手のほうに向いてたり、社長のほうに向いてたり、スポンサーに向いてたりね。ホント、猛反省ですよ、それは。

——客を満足させるアイディア、マッチメイクを仕掛けずに、団体の内側に意識が向いてますよね。自分たちのアイディアに酔ってるというか。いまのプロレス界は単純に貧乏臭いんですよ（笑）。結果的な貧

10・14新日本東京ドームでの暴れ振りが、翌日の各スポーツ紙一面を飾ったボブ・サップ。噂されるムタとの一戦が実現すれば、世間に新たな衝撃を与えるのは確実だ。『Ｗ—１』とは世間との闘いでもある。

従来のプロレス、総合、立ち技じゃない、まったく新しいジャンルの誕生なんです！

乏は仕方ないけど、エンターテインメントで貧乏臭いのは悪ですよ。

関係者X　言いますねぇ（笑）。でも、その目線をお客に合わせたイベントが「W－1」だと思うんです。ただ、そういうことを言うと、武藤さんに「それやるには10年早いよぉ」と怒られるんですよね。でも強引にでもそれをやらないと、10年先に進まないと思うんですよね。

――いまの話を聞いていると、「W－1」は面白くなりそうですね。提供する側が、ファンをビックリさせようという気に満ち溢れてる気がしますよ。

関係者X　う〜ん、やってみないことにはわからないですけどね。ただ、プロレス村の人たちは「失敗！」と叩くと思いますよ。

――プロレス村は外部の人たちが入ってくるのをホント、嫌がりますからね。

関係者X　いや、ホントに「面白くない」と思って言いますよ。理解する目を持ってないんじゃないですか？（笑）。

――心の底から言いますか（笑）。

関係者X　だから、見てるところが違うんですよ。こないだの「W－1」の放送にしても、「週刊テレビ時評」だっけかな？

――『週プロ』で連載しているコラムですね。

関係者X　その原稿だと、番組で「フジテレビの格闘技戦略がプロレス界を衰退に導いた」と言っていたことに対して『藤田がミルコに負けたのを放映したのは日本テレビ。永田が負けたのはTBS。フジテレビは関係ない』と書いてるんですけど、それはリング上での話であって、ボクたちが言いたいのはビジネス的な話ですよ。フジテレビとK－1、フジテレビと『PRIDE』がやってるビジネスに、日テレとやってるノア、テレビ朝日とやってる新日本が負けているということなんです。だから、『W－1』は、2回目大会からはプロレスマスコミが取材に来ないかもしれないですね。『週刊女性』とか『女性自身』が来たりしますね、きっと。

――どんなイベントですか（笑）。

関係者X　いや、今度の横浜アリーナで、「こんなのプロレスじゃない」とか叩かれそうで（笑）。でも、いまのプロレスは、まずビジネスの目線をライトユーザーに向けないとダメですよね。コアなファンって実はお金を使わないですから。後楽園なら絶対、立ち見を買うじゃないですか？

――パンフレットすら買わないですね（笑）。

関係者X　仮にK－1や『PRIDE』みたいなプロモーションをプロレスがやったら、ライトユーザーは来ると思います？

――来ると思います。面白くなかったら定着しないでしょうけど。

関係者X　逆に『PRIDE』が全日本の宣伝方式をやったら、ライトユーザーは来ないですよね？

――え〜と、それはリングスになります（笑）。

関係者X　だから、宣伝一つでまったく違う状況がつくれるなら、そのライトユーザーを掴める方向に持っていかないプロレス界はダメですよね。

新たなプロレスの指針を示すイベントにマット界の重鎮たちは何を思うのだろうか？ 関わる関わらないにしろ下半期プロレス界において、天龍源一郎、長州力、そして、アントン総帥の動きは要注目である。とにかく、団体、個人、様々な思惑が「W-1」を中心に展開していく。

――となると、関係者Xさん的にはいまのプロレス界の現状では、将来やっていけないという危機感があるんですか？

関係者X　そんなことないです。いまのプロレスでも商売やっていけますよ。闘龍門さんみたいに、ちゃんと現状を見てやっていけばテレビがなくても大丈夫じゃないですか。ただ、テレビ放映権料が入ってくる時代の形態ではやっていけないのはたしかです。

――テレビ局から莫大な放映権料を貰っていた、ゴールデンタイム時代のやり方ではダメなんですね。『W－1』は旧態依然の体質を見直すプロレス界全体の刺激になってほしいですね。

関係者X　日本のプロレスは組織体がしっかりしてないから、問題が起こるわけですから。だって、WWEなんてビンス（・マクマホン・ジュニア）が右と言えば、右じゃないですか。ハッキリ言ってボク、『W－1』の制作チームとは2回しか会ってないんですよ。それで『W－1』が成立するのは凄いでしょ？　プロレス団体は毎日会って、会議ばっかりやってても「そんな話は聞いてない」とか問題が起こるんですよ。ホント、組織形態や連絡形態をしっかりしないとダメですね。

――『W－1』は、全日本にも及ぼすメリットは大きいと思ってますか？

関係者X　う〜ん、とりあえず、第1回を終わってみないとわからないですね。たとえば、『W－1』でチケットが売れるのであれば、年に何回か全日本のイベントとしてやってもいいんじゃないかと思いますし。まあ、たった1回で終わっても伝説になっていいんじゃないですか。『LEGEND』みたいで（呑気に）。

――それはマズイです（笑）。

関係者X　巨大な謎繋がりってことで、目指せ『LEGEND』ですよ（笑）。

――どんな目標ですか（笑）。

関係者X　いやぁ、でも川村さんはホント凄いですよ。あの人がひとこと言っただけで、ゴールデンでやれるんですからねぇ。全日本にも協力してほしいです（笑）。

――『ムタvsサップはガチンコで行きます！』って、言いだしかねませんけどね（笑）。

関係者X　アハハハ！　まぁ、『W－1』はお客さんが楽しんで、喜んでくれればいいという意味では『W－1』は王道なんですよ。それが団体の利益に繋がってくるのはいつかわかりませんけど（笑）。

――さっそく12月の世界最強タッグに繋がったりとかはしないですか。

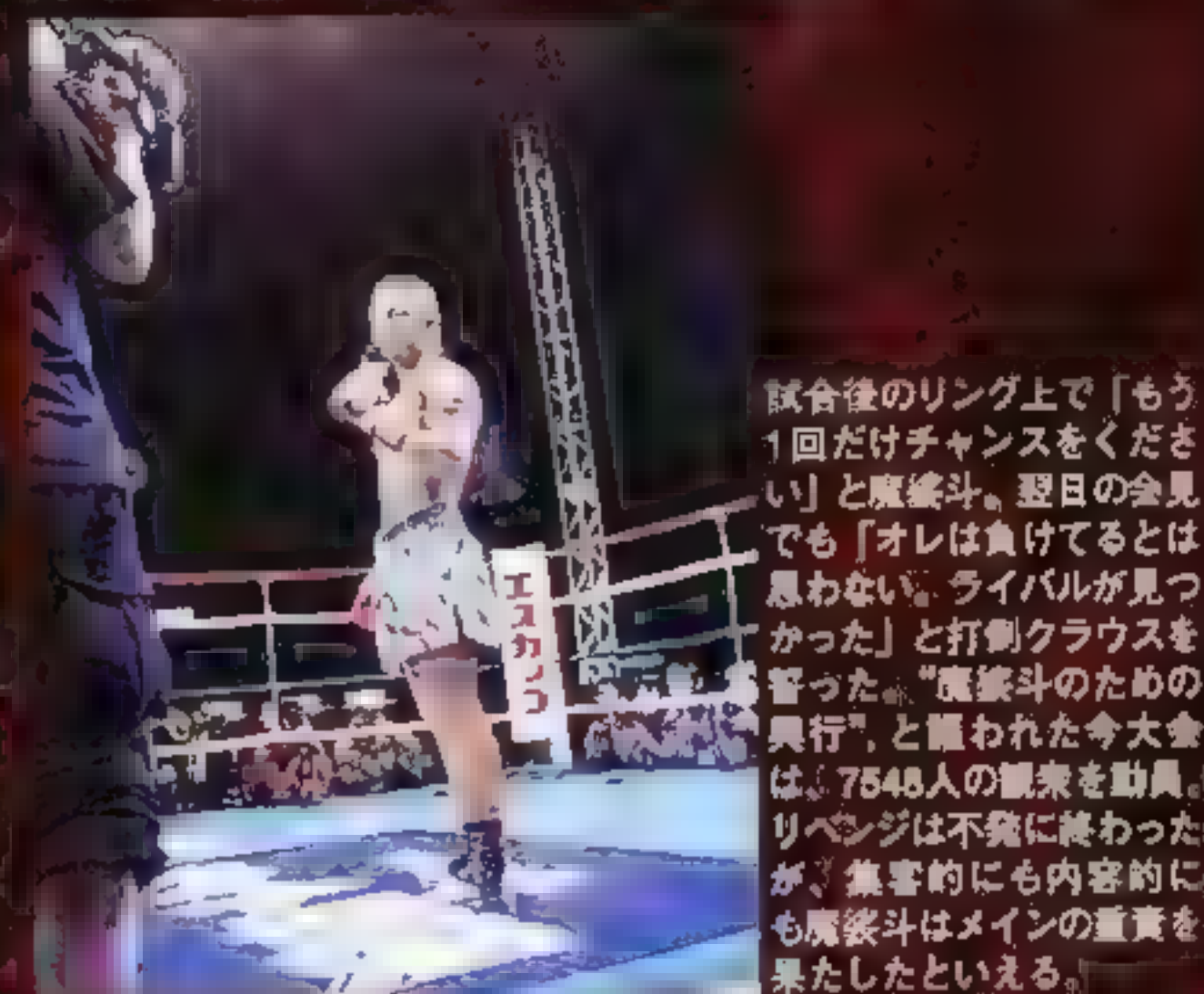
関係者X　それはないでしょうね。『W－1』は現行の全日本とはまったくの別物ですから。それどころかプロレス界にフィードバックするものはないかもしれないです。

――ど、どういうことですか？

関係者X　まったく新しいモノの誕生ですね！　従来のプロレス、総

10.11 K-1 WORLD MAX／有明コロシアム

【△魔裟斗（5R判定ドロー）アルバート・クラウス△】
5/11「K-1WORLD MAX2002世界一決定戦」のリベンジマッチとなった魔裟斗だが、序盤はクラウスの強打の前に苦しみ、ダウン寸前まで追い込まれた。しかし「同じ相手に2度、負けるのはありえない」と試合に臨んだ自信からか徐々に攻勢に転じ、後半は優勢。観客の大声援に応えるかのようにクラウスを攻めたてるが結局、ドローとなった。リベンジに至らなかった魔裟斗は、インタビュールームでは御機嫌ナナメ。言葉少なめに語り、「もういいスか」と憮然とした表情で会場を後にした。

魔裟斗をダウン寸前＆鼻血ブーに追い込んだ、中量級とは思えないクラウスの破壊力あるパンチ。パンチが放たれる度に魔裟斗ファンは黄色い悲鳴を挙げた。後半こそは魔裟斗のロー＆ミドルキックを浴び、動きが止まるシーンもあったが、王者足る強さを存分に見せつけた。次回は、魔裟斗以外の日本人との試合を見てみたい。

試合後のリング上で「もう1回だけチャンスをください」と魔裟斗。翌日の会見でも「オレは負けてるとは思わない。ライバルが見つかった」と打倒クラウスを誓った。“魔裟斗のための興行”と謳われた今大会は、7548人の観衆を動員。リベンジは不発に終わったが、集客的にも内容的にも魔裟斗はメインの重責を果たしたといえる。

【●小比類巻貴之（3R1分9秒KO ※右フック）ピーター・クルック○】何度かKO寸前まで追い込んだ小比類巻。「来い来い」と挑発するなど完全に試合を支配していたが、ホントに来られてまさかの逆転負け！

【○村浜武洋（3R判定3－0）メルチョー・メノー●】中量級の闘いと呼ぶに相応しいスピード感溢れる激闘となった一戦は、コンビネーションで優る村浜がメノーを圧倒。判定で勝利を飾り「W－1」出場を希望した。

【○須藤元気（2R16秒KO勝ち ※バックブロー）金珍優●】映画「狂気の桜」で共演した窪塚洋介とRIKIYAを先頭に登場した元気。試合は、元気のバックブロー、金のテコンドー仕込みの蹴りが交錯。観客を熱狂させた。

【○前田憲作（3R判定3－0）ミロスラフ・サフラ●】長年、キック界を引っ張ってきた前田憲作の引退試合。判定勝利で有終の美を飾った。前田率いるチーム・ドラゴンに所属していた魔界倶楽部・柳沢も駆けつけた。

館長、魔裟斗、コヒに失格点！

合、立ち技じゃない。『W－1』はまったく新しいジャンルの誕生なんです！

――他のジャンルでイメージすると？

関係者X ミーティングで得た話をはしょって言うと、舞台です！

――舞台！

関係者X こう言っただけでも、みんな「プロレスって何なんだろう？」って考えちゃうと思うんですよね。でも、それが狙いでもあるんですよ。『W－1』は新しい斬り口でプロレスを提示して、「プロレスとは何か？」を考えてもらう実験舞台になると思います。もちろん、そんな小難しいことを考えなくても、見て体感するだけで喜んでもらえるエンターテインメントにはなると思います。プロレス村はどう思うかわかりませんけど（笑）。

――今日お話を聞いて、『W－1』はハード面で従来にないものを見せつつ、ソフトは純プロレスの極地を目指すというのが、おぼろげながらわかりました。

関係者X 格闘技方面と絡むことによって、喰われちゃうんじゃないかと思った人もいたかもしれないですけど、いままではプロレスが喰われても仕方ない関わり方をしてきましたからね。猪木さんは猪木さんで上手にやってますけど、武藤さんは猪木さんとは違ったかたちでやっていきますよ。

――武藤さんには、格闘技方面と関わっても崩れないという安心感がありますよ。

関係者X　だから武藤敬司を興行に例えたら、『W—1』かもしれないですね。石井館長だとK—1だったり、蝶野さんはG—1。橋本さんを例えると、天下一武闘会なんですけど（笑）。『W—1』は武藤さんの色に染まると思いますよ。

——最後に三銃士の名前が出たところでお聞きしたいんですけど、三沢さんを含めて四者会談をやりたいという話がありましたけど、その場は実現しそうなんですか？

関係者X　あれはですね、『東スポ』さんとネタを作って、全日本30周年パーティーの翌日にドーンと発表するはずだったんですよ。でも、パーティー終了後に記者陣に囲まれた武藤さんがしゃべることなくなっちゃって、言ってしまったんですよ（笑）。

——ガハハハ！　東スポのスクープを武藤さんが勝手にフライングしましたか（笑）。

関係者X　いやぁ、『東スポ』さんに怒られましたよ（笑）。

——いや、サービス精神が旺盛なのはいいことです—　『W—1』も楽しみです。今日はありがとうございました！

（02年10月19日／都内・某所にて収録）

お客さんが楽しんで喜んでくれればいいという意味では、『W-1』は王道なんですよ

1年前には考えられなかった石井館長と武藤の合体、そして「W-1」開催。フジテレビでの協賛も含めて、プロレスに新たなる流れをつくることになる。

というわけで、「よく知らない」とボヤく関係者X氏であったが、それでも言葉のはしはしから、従来のプロレス観を覆すイベントになることが読者の方々に伝わったのではないだろうか？

「ラスベガスのショー」「ファンタジー・ファイト」という、お堅いマスコミが口泡飛ばして叩きそうな言葉にしても、『W—1』が新しいプロレスを構築するための幻想溢れるキーワードなのである。

WWEですらド肝を抜くステージ！

そして、風が吹き、雨が降るという驚ガク演出！

プロレス界前代未聞となる演出が観客を惑わす中、ムタが妖しく舞い降り、サップがセットを壊さんとばかりに暴れ回るのだ！

そして、いまだ発表されぬ"大物選手"たちの参戦も気になるところ。

ゴールドバーグは来るのか？

バドワイザーをこよなく愛する元WWEの大物って誰？

WHAT？

他団体に目を向ければ、「ムトちゃんのためなら」と、破壊王が友情出場との報道も流れている。

開催までわずかとなった『W—1』であるが、当日までプロレス界の話題独占……いや、近未来のプロレス界の話題を独占する可能性大！

そして、『W—1』の数日後には、『PRIDE』東京ドーム大会が控えている。

爆発的な盛り上がりをみせた『Dynamite!』によって、もはやこれ以上ない刺激を受けないと言われる昨今ではあるが、まだまだ失神モノの興奮と感動をマット界は生み出しそうだ！

それでは横浜アリーナに、行きますかーッ!?

（三方に指差し）ジャッジ、ジャッジ、ジャッジ!?　レディッ、『WRESTLE—1』！

我々は、「プロレスとは何か？」と問う、壮大な実験舞台を見届ける必要がある!!

11·17「WRESTLE-1」の主役もやはりこの男
「中西は前菜。次はメインディッシュを頂く」（サップ）

ムタvsサップ 暗黒幻魔大戦実現!!

K-1決勝戦の相手に[illegible]指名
「ジェロムはビーストの[illegible]になるだろう」

10月16日、都内ホテルでボブ・サップの帰国記者会見が行われた。その席上でサップは次なる闘いの舞台を11・17「WRESTLE-1」であることを明言。そしてその標的はズバリ、グレート・ムタであることを明かした。ムタvsサップ〝至高のファンタジーファイト〟が遂に実現する！

――いよいよ帰国ですが誰に会うのが一番楽しみですか？

サップ　早く愛猫のトリニティに会いたいよ（笑）。今回9月8日に日本に来て以来ずっと帰ってないから寂しがってるだろうからね。その前も7月28日から1ヶ月日本に滞在して1週間アメリカに戻っただけだから、いつも日本に来ている状況だよ。

――疲れましたか？

サップ　ちょっとだけ疲れたね（笑）。でも、ビーストに休息はないから。11月17日の「W-1」に出場することはもう決めている。プロレス界のナンバー1を決めるイベントだからね。K-1、「PRIDE」を含め、そのカテゴリーで世界一を決めるものに関しては必ず出るつもりでいるよ。前回、ニュージャパンでナカニシという前菜を食べたから、「W-1」ではメインディッシュ、ムタを用意して欲しいね。

――新日本プロレスにまた上がる可能性はあるんでしょうか？

サップ　前回、非常に楽しませてもらったので、これからまたニュージャパンだけでなく、日本のプロレス界で闘っていきたいと思ってる。

――永田選手の持つ、IWGPのベルトに興味はありますか？

サップ　いまナガタが持っているが、いずれはビーストが持つことになるので、いまからベルトの穴を二つぐらい増やしておくよう伝えておいてくれ。フォッフォッフォッフォ。

――帰国後、どんな練習をされるつもりですか？

サップ　帰った後は通常のトレーニングスケジュールに戻すが、K-1決勝トーナメントを見据え、ボクシング、キックボクシング、あとヒザ蹴りの練習もしたいと思う。

――優勝するには1日に3試合しなくてはなりませんが、スタミナに不安はありませんか？

サップ　各試合を1ラウンド3分以内で倒していけばなんとかなるだろう（笑）。自分としてはジェロム（・レ・バンナ）と決勝で闘いたい。お互いにパンチの破壊力は凄いものを持っているから凄い試合になるだろう。スピードは自分の方があるので、コーナーに追いつめて勝ちたいと思う。

――ジャロムは野獣だと思いますか？

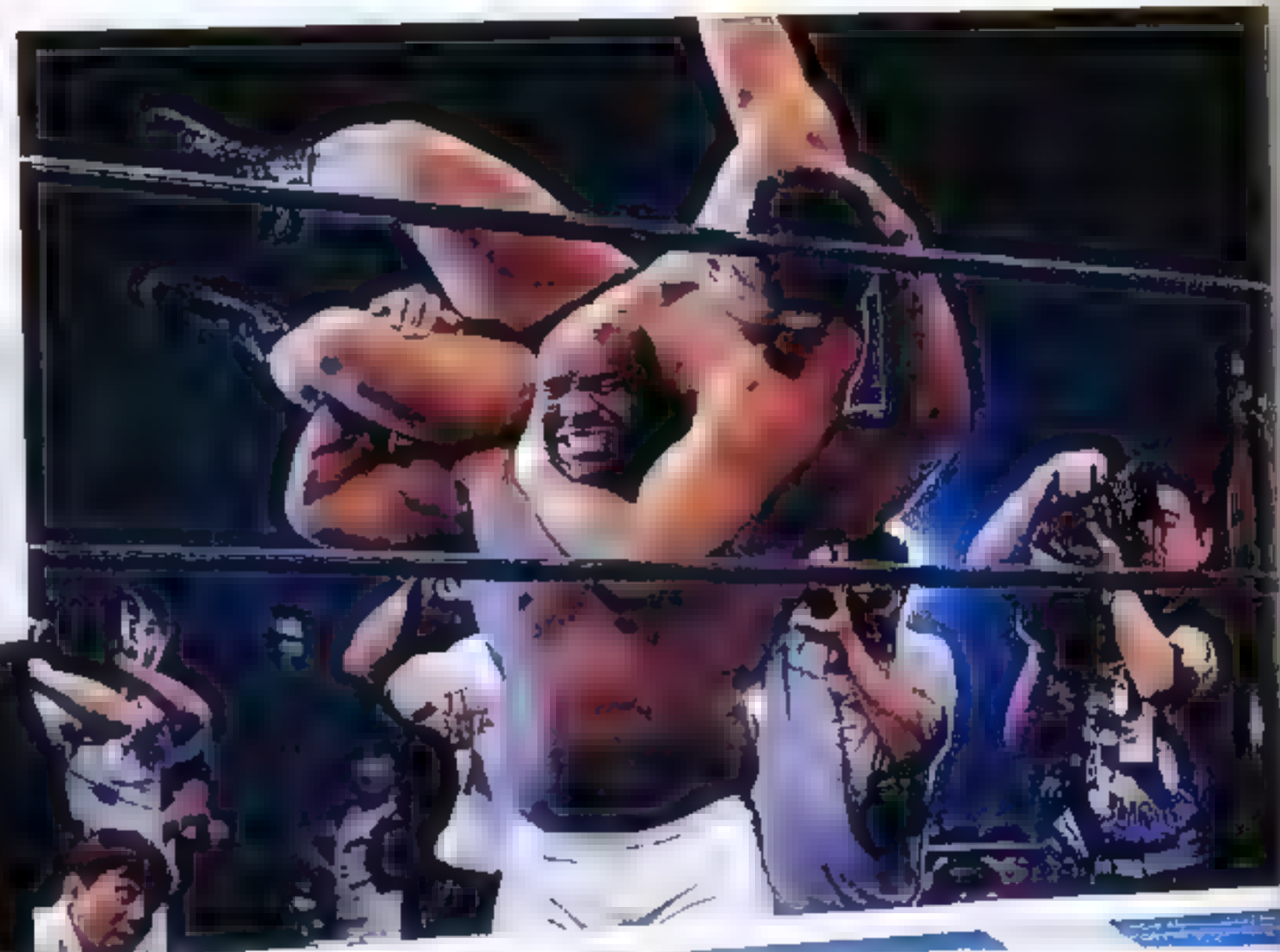
サップ　真のビーストはボブ・サップだけだ。ただ、ジェロムもビーストにはなれないが、ビーストにとっての最高の生肉にはなれるだろう。フォッフォッフォッフォッ。

てプロレスでも大暴れ!
ター
ェクト!
聞き手 松澤チョロ 撮影/田中宏海 designed by Rie Ishida
汚い言葉を使ってしか
自分を表現できない
プロレスラーたちよ!
「私がパフォーマンスのやり方を
教えてあげよう!!」
BOB SAPP
ボブ・サップ

パフォーマンスも試合も最高！

立ち技、総合、そしてプ…

この男こそミスター・パーフェクト

『Dynamite!』でのノゲイラ戦以降もサップ旋風はとどまることを知らない。K—1でのアビディ戦、そして“ミスター・パーフェクト”アーネスト・ホーストまで撃破してしまったサップ。ハズレのない試合内容、話せばわかるインテリぶり、さらには、プロレスラー真っ青のパフォーマンス、まさに、この男こそ“ミスター・パーフェクト”と呼ぶにふさわしいだろう。取材ラッシュのサップを都内某所で30分だけ捕獲、話を聞いてみた。

——サップさんは間違いなく、いま一番忙しい外人選手だと思うんですけど、正直、取材ラッシュにウンザリしてませんか？

サップ　確かに取材の数は凄いな（苦笑）でも自分としては、たくさんの人との出会いがあるし、いろんな写真を撮ってもらうのも楽しいと感じてるから問題ないよ

——問題ないですか。それで、サップさんは、試合はもちろんですけど、パフォーマンスも抜群で楽しませてもらってるんですが、キャラクターの切り替えっていうのは簡単にできるもんなんですか？

サップ　試合直前になれば自然とビーストのキャラクターになれるし、普段は地のままで十分インテリだからな（笑）

——そうですね（笑）最近はビーストキャラだけじゃなく、インタビューとかでもインテリぶりを発揮してますからね。

サップ　まあ切り替えに関しては特に問題はないよ　ただ、なかなかビーストになれない時は自分の腕をつねったりして刺激を与えて切り替えたりしてるけどな（笑）

——才能だけじゃなく、努力もしてるわけですね（笑）自分の見せ方とかで、誰か参考にしている選手っているんですか？

サップ　自分の売り出し方のアイデアに関しては、他の選手をモデルにするっていうより、むしろ周りの自然界だったり動物たちから影響を受けることが多いんだよ。

——し、自然界ですか！　さすがサップさん、スケールが違いますね（笑）

サップ　プロレスラーとか格闘家の中にもいるけど、汚い言葉でしか自分を見せられない選手に関しては、どうやったら、もっと人気が上がるような売り出し方をできるかってことを逆に教えてやりたいと思ってるくらいさ（笑）。フォッフォフォフォー！

——是非教えてあげてください（笑）。それで、動物たちからも影響を受けてるとい

うことですけど、サップさんは35キロもある大きな山猫を飼ってるんですよね。

サップ （嬉しそうな顔になり）そう、サーベルキャットっていう山猫を飼ってるんだ。名前はトリニティっていうんだよ。でも、さすがに35キロはないな（苦笑）

――でも、『SRS・DX』という雑誌のインタビューで、そう書かれてましたよ

サップ ただの聞き間違いじゃないか（笑）。確か、その雑誌のインタビュアーは素敵なヘアースタイルの人だったっていうのは覚えてるんだけど（笑）

アハハハハ！ ズバリ言って、それはターザン山本さんですね（笑）

サップ そうそう、ターザン！（笑）。彼は非常に面白い人だったな（笑）

ターザンさんはプロレス業界では、かなりの有名人なんですけど、サップさんの大ファンみたいですからね

サップ 嬉しいね。この間もらった彼のバッチを付けて歩かないといけないな（笑）

それはターザンさんも喜ぶと思います（笑）。先ほども言ってましたけど、ペットの猫から学ぶことも多いんですか

サップ もちろん！ トリニティは、まだ野生の部分が残ってるんだけど、欲しいものを手に入れる時は凄く意地悪になったりするんだ パンチとかもしてくるし、突然、噛みついてきたりするしな（笑） そういう動きを見て学ぶこともたくさんあるし、他にも、怒りの表現、喜びの表現、哀しみの表現、表情1つ取ってもヘタな人間を見てるより、ウチの猫を見てる方が、よっぽどパフォーマンスの勉強になるんだ（笑）

確かに動物は表情が豊かですからね

サップ トリニティは（突然日本語で）カワイイネ！（ニッコリ）

さすがに日本滞在が長くなると日本語も、かなり上達してきてますね（笑）。

サップ （日本語で）ダイジョウブ？ ダイジョウブ？ チイサイ？ チイサイ？

いやいや、サップさんは大きい（笑）。

サップ オオキイ？

――そうです。それも、かなり大きい（笑）

サップ （日本語で）ボブ・サップ、カナリ、オオキイ……OK？

――OKです！（笑）。で、小さな頃から大きかったっていうサップさんですけど、周りより、かなり大きいなって自覚したのはいつぐらいからなんですか？

サップ 小学生の低学年の頃から周りより、かなり大きいと感じてたな（笑） 自分と同じ年齢の人とも身体があまりにも違うんで遊べなかったから、常に年上で自分と同じぐらいの身体の人と遊んでいたよ

――イジメとかはなかったんですか？

サップ やっぱり体格は一緒でも年齢差があるんで、よくからかわれたりイジメられたりしたよ（ソファーに横になりウェ～ンウェ～ンと泣き出す演技をするサップ）

――アハハハハ！ 泣かないで下さい（笑） どっちかっていうとイジメっ子と言うよりはイジメられっ子だったんですか？

サップ YES！（笑）

いまでこそ、サップさんの強さは脅威となってますけど、じゃあ、その頃はケンカしても負けることもあったんですか

サップ あったよ。オレをイジメたヤツらには、いつか仕返ししてやろうと思ってるんだけどな（笑）。フォッフォッフォッフォ！

――いま仕返しをしたら殺しちゃいますよ（笑）。で、サップさんのプロレス界との関わりはWCWからということですけど、WCWに入る前と入ってからでは、プロレスに対するイメージって何か変わりました？

WCWに入ってすぐ、プロレスに対するイメージが180度変わったよ

↑ その体格を考えると想像もつかないほど打点の高いドロップキックをブッ放したサップ。これだけでも充分必殺技になりえるだろう

→ 見てみ、この顔！ ホーストのローキックを喰らい露骨に嫌がるサップ しかし、この後、怒濤のラッシュを見せホーストを撃沈！

← 前号のインタビューでも語っていたが、サップのプロレスでの必殺技のひとつが、頭をシェイクしてからのダイビング・ヘッドバット。ブッチャーのマネをしているわけではありません

サップ 入ってすぐだよ、自分がテレビで見ていた世界とは全く違って非常に厳しい世界だと感じたのは。それまでプロレスに対して抱いていたイメージが180度変わってしまったと言っていいだろうな。

――180度も変わりましたか（笑）。

サップ 練習のあまりの厳しさに何度も戻したこともあったんだ 一度どこに戻していいかわからなくてゴミ箱を探してウロウロしたこともあるくらいだからな（苦笑）

――そんなこともあったんですか

サップ なんとかゴミ箱までたどり着いて、ホッとして戻した瞬間、意識が遠のいてパッと起きたら口の周りが臭くなってたりもあったんだよ（苦笑） 慌てて歯を磨いてリステリンで口をゆすいで、また練習に戻るっていうのも何度かあったしな。周りのレスラーも自分は新参者ってことで、あまり親しみを持っては接してくれなかったし、いろんな意味で非常に厳しい世界に来てしまったなと感じたよ（苦笑）

――テレビで見ていたプロレスっていうは、自分でも十分やっていける世界だと感じていたわけですか？

サップ 正直言うとそうだったね（笑）。自分ではなんとかやっていけるかなと思ってたんだけど、さっきも言ったように中に入ってみると本当に厳しい世界で、リングの上で試合ができるまでの状態になることさえ、非常に難しい世界だと思う

――う～ん、重みのある言葉ですね それで、今度、石井館長と全日本の武藤選手が中心になって『W―1』というものを立ち上げましたけど、サップさんも出場すると思っていいんですよね

サップ そうなるだろうな。そのリングに上がるんだったらムタと闘いたいね

サップvsムタ戦は是非実現して欲しいですね。その『W―1』の一回目のテレビ放送では、武藤さんがプロレスのことを『ファンタジーファイト』と言っていたんですけど、それについてどう思います？

サップ ムタほどの男がそういうなら否定するつもりはないが、やっぱりプロレスと言えども、それは闘いだからな。闘いの中には真実がある パンチが当たれば痛いし、キックを受ければ痛いんだよ。それにプロレスっていうのはサイボーグではない、本物の人間同士が闘うわけだから、その中にはリアルな感情だって出てくるわけだろ？

――そういうリアルな感情が見えるプロレスは、やっぱり面白いですからね

サップ そうだろ？ プロレスは、そういったモノの中に、ある程度流れとして筋道が立ったフィクションが加わって、ある意味ファンタジーな部分も出てくるんだと思う そこがプロレスの魅力だと思うしな

――プロレスと総合を行き来してる選手は何人かいますけど、両方とも評価の高い選手は正直少ないです サップさんは、どちらでも成功する自信がありますか？

サップ もちろんだよ！ 自分は欲張りだし、実際両方でやっていく自信はたっぷりとあるよ（ニヤリ） まあ今度のナカニシ戦で、それは理解してもらえると思うよ

――期待してます そういえば、前にプロレスではアントニオ猪木と闘いたいと言ってましたけど、それは本当なんですか？

サップ それはホントの気持ちだよ。もうオレはイノキさんと対等に闘える位置にいる人間だと思ってるからな

――個人的には、サップvsムタよりも、サップvs猪木戦の方が見たい

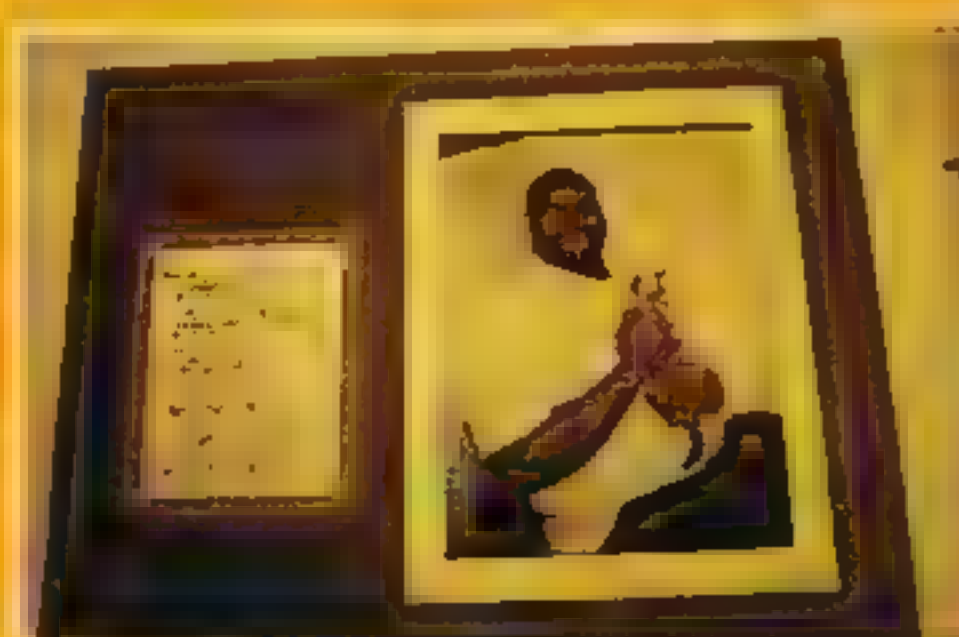
サップの暴走ファイトを恐れ、石井館長自らレフェリーを務めた9・22大阪でのアビディ戦 試合は館長の出番もほとんどないまま、アビディから1Rで3度のタウンを奪ったサップの勝利！

さすかのサップでもK―1ルール3戦目にして"スリータイムス・チャンピオン"のホースト相手では歯が立たないかと思われたが、相変わらずの暴走ファイトでホーストを撃破！

BOB SAPP

これが噂のサップの愛猫トリニティだ♥

サップが肌身離さず持ち歩いているのが上の『TRINITY & BOB』アルバムだ。サップは、このアルバムさえあれば、ご飯が何杯でも食べられるという

見てみ、この顔！ リンク上でのビーストっぷりからは想像のつかない笑顔を見せるサップ。ちなみに、この写真はトリニティかサップ家に来た当初のもの

サップの巨体に寄り添っているのが愛猫のトリニティ。とにかくサップはトリーティの話になると途端に目尻が下がりっぱなしに。まさに猫と野獣だ

ですけどね。もし猪木さんと闘うとしたら、ルール的には、やっぱりプロレスルールがベストですか?

サップ YES。まあオレは『PRIDE』ルールでもK−1ルールでも全く問題ないんだけどな。実現の可能性を考えれば自ずとルールは絞られてくるだろ（笑）。

——そうですね（笑）。もしもの話ですけど、石井館長と試合をしなければいけないとなったら、どんなルールを望みますか?

サップ （即座に）K−1ルール!

——普通に考えれば、そうでしょうね（笑）どういった試合展開になりますかね?

サップ ゴングが鳴ったらヒョイと持ち上げて（デコピンのゼスチャーをして）ピンってはじいて終わりなんじゃないか（笑）。

——えっ、秒殺ですか（笑）ある意味、ホーストやバンナ、それにミルコなんかより館長は強敵だと思うんですけどね。

サップ もちろん、オレだって、それは十分理解してるつもりさ（笑）。

——そうでしたか（笑）それと、先ほど名前が挙がったターザンさんの他に、プロレスマスコミ界の重鎮で井上さんという方がいるんですが、その井上さんもサップさんのことをベタ褒めなんですよ。

サップ サェンキュー! 自分としても、そういう人たちから評価されるのは非常に光栄なことだと思っているよ。

——で、その井上さんは『Dynamite!』やK−1で名前を上げたサップさんが、プロレスのリングで簡単に負けることは許されないと言ってるんですよ

サップ 試合中に何が起きるかわからないのがプロレスとも言えるからな（苦笑）。それに、残念ながら私の頭のうしろには目がないんだ（と言って後頭部を見せる）

——残念ながら目はないですね（笑）

サップ うしろから襲われたら、さすがのオレでもどうすることもできない（笑）

オレの踊ってる時の顔はヤバイな。ハッパでも吸ってると思われるよ（笑）

BOB SAPP

ひとつ約束できるとすれば、プロレスのリングに上がってもボブ・サップはボブ・サップなんだ。自分のイメージを崩さず、本能のおもむくままに闘おうと思ってるよ。

——プロレスの方も期待してよさそうですね。ただ、井上さんは「サップが新日本に出るんだったらリアルファイトでやるべきだ」とも言ってるんですよ（笑）

サップ フォッフォフォフォ! オレの力を認めてくれて、そう言ってくれるのは凄く嬉しいんだけど、正直言って、それは難しいリクエストだと思うよ（苦笑）

——まあ、そうでしょうね（笑）。話は変わりますけど、サップさんは学生時代、ダンスコンテストで何度も優勝してたみたいですけど、ホースト戦後のサップダンスは、前から披露する機会を狙ってたんですか?

サップ その通り! ダンスは得意だからな。今度の新日本、11月の『W−1』、さらに12月のK−1グランプリ、すべてだ! 相手を叩き潰したあとは特上の"ボブ・ホップ"を披露してやるよ!（笑）。

——ボ、ボブ・ホップ!? それはボブ・サップ流のヒップ・ホップってことですか?

サップ そういうことだ。ヒップ・ホップをベースに、自分でアレンジした新しい形のダンスなんで、ボブ・ホップって呼んでるんだよ。いいネーミングだろ?（笑）

——語呂がいいですよね（笑）

12・7 K−1東京ドームではシュルトとの

ホーストを倒し、12月のK−1GP東京ドーム大会へ駒を進めたサップ。トーナメント初戦の相手は、サップと同じくK−1の超ルーキー、シュルトに決定!

サップ （テレコに向かって）オレの試合後は、みんなも一緒に、Let、Sボブ・ホップ! フォッフォフォフォ!!

——読者のみんなも踊ってくれと?（笑）。

サップ （ボブ・ホップが載っている雑誌を見ながら）でも、この顔はヤバイよな（笑）。なんか、変なハッパでも吸ってんじゃないかと思われるんじゃないか?

——かなりイッちゃった顔してましたからね（笑）でも吸ってないんですよね?

サップ ハッパは吸っちゃいないんだけど、ホースト戦では、ちょっと打撃を喰らったんで、頭が飛んじゃってたのかもしれないな（笑）。フォッフォフォフォ!!

【10月10日／都内ホテルにて収録】

ボブ・サップ★
Let's
みんなも一緒に

――この後すぐイベントということで時間は

本人には怖くて聞けませんけどね（笑）。

©ミッド・インターナショナル

坂田&栄子？『W−1』？長州力？ それより、お前ら ハシフ・カーンは見たいか!?

恋のキューピット

破壊王が坂田&栄子問題から『W-1』、長州力、そして魔界倶楽部まで独白!

橋本真也

坂田&小池栄子の恋のキューピットとしてマット界だけではなく芸能界にも、その名を轟かせた破壊王
この号が発売される頃には10月シリーズも終わってしまっているが、破壊王はシリーズ前も大忙し
テレビ&映画撮影からイベント、営業まで日本全国を駆け巡っている そんな破壊王に取材を申し込むと
「大阪まで来てくれたらOK」とのこと 破壊王御用達ブランドのイベントにお邪魔して話を聞いてきました。

聞き手&撮影（イベント）／松澤チョロ designed by hisa (Two Three

この後すぐイベントということで時間はあまりないみたいなんで、とっとと始めます。
まずは、旬の話題から行きましょうか?

橋本 なんや?

——坂田（亘）さんと小池栄子さんの件です! 橋本さんが2人のキューピット役だったという報道は正しいんですか?

橋本 なに、正しくないの?

——いや、正しいと思いますけど（笑）。

橋本 （突然）ウチで大池B子っていうの作ろうか?（笑）。

——お、大池B子ですか!?（笑）。

橋本 坂田のマネージャーにつけよう（笑）。

——2人ともよく知る橋本さんから見て、お似合いのカップルって感じなんですか?

橋本 もうインタビュー始まってんの? まだインタビューモードに入ってないよ（笑）。

——早くスイッチ入れて下さい（笑）。

オッキー沖田 ボクは会社から聞かされてはいましたけど「絶対内緒だぞ」って箝口令が出てて。でも案外いろんなところから「知ってるよ」って人の話が入ってきましたね（笑）。

橋本 ウチの（デューク）佐渡（レフェリー）が漏らしたのかもしれないな（笑）。

——佐渡レフェリーがですか!? 勢い余ってリリースでも流しちゃったんですかね（笑）。

橋本 絶対そうだ（笑）。佐渡は栄子の大ファンだったから、その話を聞いて、ずっと怒ってたらしいよ。「チクショー、チクショー」って小声でずっと言ってたしな（笑）。

——これから坂田さんに対するレフェリングも厳しくなるかもしれませんね（笑）。

橋本 ありえるな。怖い怖い（笑）。

——佐渡さん以外にも、そう思ってる人は多いと思いますけど、でもプロレス界にとっては久々に明るい話題ですよね。

橋本 いいことだよ。何も恥じることはない! でも、みんな坂田に聞きたいのは「やっちゃったの」ってことやろ?（笑）

——本人には怖くて聞けませんけどね（笑）。

橋本 さすがに俺も聞けんな（笑）。でも、どこ行っても、その話題ばっかりだなぁ。

——ですよね。でも橋本さんは坂田さんの件だけじゃなく、（獣神サンダー）ライガー夫妻とかも恋のキューピットなんですよね。

橋本 そうだよ! 俺はキューピットばっかりやってるからな（苦笑）。大体な、女の子の方から「どうにかして」って言われたら一生懸命、橋渡しをしてやるんだ。男から「あの女を紹介して」って言われてもバカヤローと思うけど、女の子から言われたら、番星の桃次郎みたいな気になるんだよな（笑）。

——『トラック野郎』ですね（笑）。

橋本 自分を犠牲にしても、やってあげたくなっちゃうんだよな。

——素晴らしいですね（笑）。今回の橋渡しも小池さんの方から頼まれたんですよね?

橋本 そうや。栄子が「坂田がいい」とか言ってたからな。「いい」っていう言葉の先をこっちで察してあげなきゃいけないんだよ。

——察してあげたわけですね（笑）。

橋本 本人は「いい」ってこと以上のことは、なかなか言えんやろ。だから、会わせてやっただけの話でな。（突然）何の取材だ、これ?『紙プロ』じゃないのか?（笑）。

——いやいや、つかみとしては『紙のFRIDAY』ということで（笑）。

橋本 そっか（笑）、それじゃあ、ちゃんと『紙のFRIDAY』って入れておけよ。

——わ、わかりました（笑）。

橋本 ただな、この件はあんまり言うと怒られるんだよ（苦笑）。だから俺は2人のイメージが良くなるようにコメントしてるんだけどな。まあ、どう進展していくかは温かく見守って欲しいよな。

そうですね。同じようにホットな話題ということで……つい先ほど佐々木健介選手が新日本を退団表明したみたいですけど（※ち

なみに、このインタビューの2時間前に健介の会見が行われた）これについては……。

橋本 （遮って）知らねえよ、ついさっき知ったばっかなんだから。何も詳しいことはわかんない 以上！

以上ですか（笑）まあ退団理由として は「鈴木みのる戦を実現させるため」ということらしいんですが……

橋本 鈴木戦を実現させるために辞めるって、よくわかんないよな（笑）。俺は、その件に関してはノーコメント なんかコメントしたら嫌な思いしそうだからな

そうですかぁ

橋本 長州（力）さんと一緒になるのか？という見方をされてますけど

橋本 じゃあ、なんか折ってもらうしかないんじゃないか。（笑）

橋本さんのように千羽鶴を折ってもらえ、と（笑）

橋本 まあ、それは冗談だけどな（笑）

パンクラスルールで闘うみたいですけど、橋本さんから見てライガー vs 鈴木戦っていうのはどうですか？

橋本 やっぱりライガーでも不利でしょ？だけど、まあ勝ち負けはともかく、ライガーと鈴木が闘ったら、健介 vs 鈴木戦とは別のものが見られると思うよ

別のものというと？

橋本 こんな騒動もあったわけだしな まあ今回のライガーの行動見てると、勝敗なんかはちっぽけなことで、あまり関係ないやろ試合をやることに意義があるんだから 健介と鈴木の試合だったら勝敗も見てたかもしれないけど。だってライガーは健介よりもずっと先輩だよ？ そこを会社の看板を背負って頭下げたわけだし、それができたライガーは凄いと思うしカッコ良かった！ あれが男や！ ホメてあげたいよ

ただ、パンクラスのルールではマスクを取らなきゃいけないみたいなんですよ。

橋本 何でもええやん！ でも、それだけパンクラスさんが頑なに曲げなかったっていうのはいいけど、下手すりゃ自分たちもイメージ悪くするし、叩かれる部分でもあるからな

それもありえますよね。

橋本 だからパンクラスさんもパンクラスさんで、これから柔軟にしなきゃいけない部分もいろいろあるだろう まあ、それは俺らが考えるこっちゃないけど。

見てみ、この笑顔　9月29日に都内で行われた、IWGP王者・永田裕志の結婚式での一枚。会場には新日勢だけではなく、破壊王やカシンなど他団体の選手も数多く出席した

ZERO—ONE的には『真撃』で交流があったわけですけど、いまはパンクラスとは、どんな感じなんですか？

橋本 いまは良くも悪くも止まってる状態だな。（突然）でも俺は謙吾が欲しいんだよ。

——謙吾が欲しい！（笑）。でもホント、謙吾さんのプロレスは見てみたいですね

橋本 まあ、それは自分がホントにそう思ったときに動けばいいことだから「いつでもZERO—ONEの窓口は営業中だよ」と書いといてくれ（笑）

わかりました（笑）そういえば謙吾さんとは映画で共演したんですよね？

橋本 おう、そうだよ！ 見た？

健介の件はノーコメント。何も詳しいことはわかんないから。以上！

——いや、まだ見てないです。

橋本 アイツは俺より演技力あるよ。それにアイツはいい顔してるだろ。ZERO—ONEに来たらスターになれると思うんだけどなぁ オイ、でも別に俺は引き抜きしようと思ってるわけじゃないぞ！（笑）

——そこも強調しておきます（笑）。ところで、武藤（敬司）さんと石井（和義）館長が手を組んだイベント『W—1』が動き出そうとしてますけど、どう思いますか？

橋本 よぉわからんけど、まぁ、一発目のイベントをどこまでやりきるかでしょ

さしあたって、昨日のK—1（10・5ワールドGP開幕戦）では橋本さんも館長から招待されてたみたいですけど、会場には行けなかったみたいですね？

橋本 だって最初っから、あの日は別のスケジュールが入ってたからな

結局、武藤さんと蝶野（正洋）さんはリングに上がったわけですけど

橋本 握手したの？

それはなかったです 両者とも勝利者トロフィーの贈呈という形での登場ですね。

橋本 なんだ、くだらねぇ 俺は館長に「私の名前を使わないでくれ」って言われたんだぜ？ だから、あれ（『週プロ』の破壊王インタビューで石井館長が激怒した一件）から俺は館長のこと一切言ってないけど、館長は勝手に俺の名前使ってるんだよな（笑）

そうですね（笑）

橋本 だから、ムト（武藤）ちゃんが窓口になってやって、それでいい話だったら、協力してもいいとは思うけど。（石井館長と）これ以上はケンカもしたくないしね

ただ、まだW—1は具体的な話が出てきてないんで、協力も何も考えられない状態だとは思うんですけどね。

橋本 そうそう。『W—1』の正体もわからんし、いまのところ『真撃』みたいなものか

なって思ってるけどな

　噂されてるメンバーを見ると、石井館長率いる格闘家と武藤さん率いる全日本の選手の対決って感じですからね

橋本　中身は知らないけど、フジテレビが付いてるんだったら、まだ「真撃」よりは面白いかもしれないしな　でもな、最後に面白いのはプロレスだっていうのがわかりますよ！

　そこは自信を持って言えるわけですね

橋本　もちろん！　ZERO-ONEもそうだけど、プロレスっていうのは最初とケツがあってプロレスだから　言ってみれば劇場なんだよ

　ZERO-ONEも、ある意味、破壊王劇場ですからね（笑）

橋本　まあ、そういう試合も大事やろ　ただ、この世界は、どっかが全部牛耳るってことは無理だから。上手にやることを考えていかないと　テメエんとこだけじゃなくて、回やったら敵地さんのところにも協力しなきゃいけないっていうのが絶対条件でしょ？

　自分のところだけ、おいしいとこ取りするのは無理な話ですからね

橋本　ウチでやろうとしてる天下一武闘会だってそうだよ　名前が違うだけの話でな　そういう企画力と資本があって、世間へのアピールする力がどれだけあるかってことも大事になってくる　その部分で、ムトちゃんが館長を使ったっていうのは頭がいいと思うよ

　世間へのアピールという面でいえば館長は民放を3局押さえてますし、それにK-1でも『Dynamite!』でも資本力で夢のカードを実現させてきましたよね　だけど、プロレスでそれと同じことをやるのは難しいですよね。K-1や『PRIDE』のような格闘技と違って、プロレスをやるなら団体という組織でなければ難しい部分って、たくさんあるじゃないですか？

橋本　そりゃそうだよ　まあ、団体っていうのはブランドだから　そのブランドとブランドがぶつかるから面白いわけで　それが1つにまとまっちゃったらつまんなくなるよ　甲子園と一緒だよな

——こ、甲子園と一緒ですか？

橋本　どっかの学校と学校がぶつかるから面白いんであって、金にモノをいわせて、いい選手ばっか集めた学校の1軍と2軍がやっても興味沸かねえだろ？

　確かに、いくらレベルが高くても、同じ学校のぶつかり合いじゃ面白くないですね。

橋本　だろ？　まあ甲子園というのは高野連（高校野球連盟）があるからまとまるわけで、プロレスにはそれがない　難しいよ　とにかく、自分たちだけが生き残ろうとしないことだね　プロレスは敵がいなきゃ、やりようがないんだからな

　例えば「W-1」がきっかけで連盟のような形ができたとしても、受け入れられない所も当然あるでしょうからね

橋本　それは無理やろ！（キッパリ）　そこまで欲を出すとみんな北向く（＝業界用語で「そっぽを向く」の意）よな

　猪木さんなんかは「三バカ」という言い方をしてましたけど、「武藤、橋本、蝶野で、まとまって大きなものを作ればいい」みたいなことを言ってましたけど

橋本　でもな、あの人は、そこを最後に根こそぎ持ってこうと思ってんじゃない？（笑）

　そうかもしれませんね（笑）　でも、その3人に三沢（光晴）さんを含めたプロレス界のトップ4人でのサミットという話も出てますけど……

橋本　（遮って）サミットなんていう大袈裟なもんじゃねえだろ。寄り合いだよ。

　なんか一気に話のスケールが小さくなりましたね（笑）　でも、それならすんなり実現できそうな気もしますけど。

橋本　その4人の寄り合いは簡単なことだよ。でもな、いますぐみんな一緒に興行なんか出来るわけないんだから　そういう寄り合いがあって、話をしたってことから次に繋がるんだよ　それを石井さんが音頭取って人を集めるって言っても、そこに集まらないヤツが出てくるんだよ　そうやろ？

　そう言う橋本さんも集まらなさそうですけどね（笑）

橋本　ダーハッハッハッ！　まあそれは石井さんに限った話じゃないけどな　猪木さんが呼んだって同じこと　俺たちで企画してやろうよっていう話で、やればいいんだよ　その1人がみんなで発起人になればええんや！　それだったら、みんな動きやすいから　早い話、間に誰も入れなきゃいいんだよ

　今度、新日本のCEOに就任した坂口（征二）さんは「俺が音頭を取ってやる」みたいなことを言ってますけど？

橋本　だったらもっと前に言ってくれって！　誰も音頭なんか取る必要ないんだから　ムトちゃんが声掛けるんだったら、直接連絡して「みんなで会おう」って言うのが一番手っ取り早い話で　ムトちゃんだって社長になったわけだし、俺だって社長でしょ？　蝶ちゃんだって現場を仕切ってるわけだし、三沢だって社長だし、他の人間は誰もいらない　親分同士で集まれば話は早いんだよ

　さっきも話に出ましたけど、やはり猪木さんが発起人になったとしても難しいところがあるわけですか？

橋本　たとえ猪木さんでもいらない！

　猪木さんは「全日本は半年で潰れる」だとか、いろんな意味で最近は暴走してますから、難しいでしょうね

橋本　大体、全日本が潰れたら猪木さんが困るんじゃないのか？　全日本が潰れたからって新日本に、それが返ってくるのかなって考えると疑問だけどな。もう感覚が違うと思うんだよ　猪木さんに限らず上の人はそうやって生きてきた人たちだから　まだ馬場さんの亡霊と闘ってるんじゃねえか？　「俺の方が正しいんだぁ」ってな（苦笑）。

9月30日、全日本創立30周年記念パーティーがキャピトル東急ホテルで行われた　破壊王もパーティーの終盤に駆けつけ、お馴染み、等身大馬場フィギュアの前で、全日本プロレス新社長に就任した武藤敬司とカッチリ握手。

それもあるでしょうね（笑）。
橋本　まあウチは、そういうのに巻き込まれないように、プロレスを後世に残すように頑張るしかないよ。いまのままだと、プロレスっていうものが、ひとかたの夢になっちゃうと思うんだよな。
――プロレス界全体のことを考えると、このままではダメだと？
橋本　だってそうだろ。俺達はあと何十年も現役でいられるわけじゃないし、その中で何かを残したとしても、また次の世代は変わってくるわけだから　そこをどう生きるかっていう部分で、人に頼らず俺たちでやったら一番手っ取り早い。テレビ局だなんだっていう話は抜きにしてな。
――でもZERO－ONEも勢いありますから、いまテレビが付いたら、かなり視聴率も取れると思うんですけどね。
橋本　まあ、それはなるようにしかならんよ。堅苦しく構えちゃっても、話が来ないもんは来ないからな（苦笑）。
――なんとかテレビは付いて欲しいですけどね。で、ZERO　ONEの今後の展望としては具体的に、どういう企画を進めていこうと思ってるんですか？　天下・武闘会やOH祭りとか話題にはあがってますけど。
橋本　まあシングルの天下・武闘会（ヘビー級シングル王座争奪トーナメント）は来年だな。OH祭りってのもよくわからんけど（笑）。ただ、タッグ版の天下・武闘会は年末にできるかもしれない！
　まずはタッグ版の天下・武闘会と、年末には両国大会の予定（この取材後、12・15に正式決定）もあるみたいですけど、それに向けて新タッグが続々と出来てますよね　それこそゴルドー＆小笠原組とかも実現しそうな流れになってますし
橋本　まあ小笠原先生は頭の中が宇宙みたいなところがあるから、よぉわからんけどな。ある意味、小笠原先生こそホントの暴走王だから（苦笑）。
　小笠原先生は暴走王ですか（笑）
橋本　いろいろあるんだよ（苦笑）。まあメンバーはそれなりに集まってきてるけど、まだまだや！　やるんやったら中途半端なものにしたくないから。
――とは言っても、いまのZERO－ONEには、かなり強力なタッグチームが揃ってますよね。OH砲、大谷＆田中組、プレデター＆ハワード、ネイサン率いる2メートルタッグ、坂田＆横井組、ゴルドー＆小笠原組……これが勢揃いしたら、ここ最近の全日や新日のタッグリーグ戦より充実してますよ。
橋本　いやいや、まだまだや！　他に日本人で強力なタッグチームが欲しいんだよ。やっぱり他団体からだな。
――他団体というと……そこに長州さんが絡んできたら面白いでしょうけどね。

長州さん！武藤、蝶野、橋本、三沢、この誰かを相手にしないと、業界のド真ん中は走れません！

橋本　そうは言うけど、長州さんとは話もしてないし、わかんない
――『ゴング』のインタビューを読むと長州さんは「業界のど真ん中を走ってやる」ってことですけど。
橋本　（真顔で）でも長州さん、どうやって走るつもりやろ？
　アハハハハ！
橋本　まあ、最後の一花咲かすのはいいけど、業界の真ん中走るのは無理やろ。真ん中を走るんだったら、俺たちの誰かを相手にしないと無理だろうな
　俺たちというと？
橋本　武藤、蝶野、橋本、三沢、この中の誰かを相手にしないと業界の真ん中は走れません！（キッパリ）この4人のどっかに話を持っていかないと走りようがないから。
　長州さんの名前をよく出している大仁田さんじゃダメなんですか？
橋本　大仁田は真ん中走ってねえじゃん。
　ここ最近はアフガン関係で突っ走ってますからね（笑）。
橋本　いや、だから、さっき言った4人。4車線あるから　誰が追い越し車線に入るかって話だよ　高速道路みたいなもんだな
　高速道路ですか（笑）
橋本　もちろん逆走なんかできないぞ。そうやって、せっかくある団体ってのを、もっと上手に使って、しのぎを削ればいいんだよ。
　さすがに新日本と絡むっていうのは難しいでしょうけどね。
橋本　それはわからんけど、他を潰すこと考えちゃダメや。大体、敵がいなくなったら面白くないだろ？
　確かに。ただ、仲良しこよしになっちゃっても面白くないですからね。
橋本　そうそう。潰すのは他のわけのわからんことやってる団体とかな。そういうとこはなくなってもらって結構！
　そういう意味では、橋本さん的にも、いまの新日本の動向は気になるんじゃないですか？　健介さんの問題だったり、ローラーや魔界倶楽部が出てきたりと迷走してるような気もしますけど。
橋本　まあ、あそこは次のスターのサナギはいっぱいいるからな（笑）。出てくるのが蛾なのか蝶なのかわからんけど。
　いまの状況で蛾が出てきたら困っちゃいますけどね（笑）。最近の新日本は橋本さんの目にどのように映ってますか？　新ムタとかヒートとか、いろいろと新しいものも取り入れてますけど。
橋本　ようわからん！　でもな、星野（勘太郎）さんがしつこいんだよ。
　しつこいってどういうことですか？
橋本　「試合に出ろ出ろ」って
　えっ!?　魔界倶楽部として試合に出ろと言われてるんですか？（笑）
橋本　魔界倶楽部なんだか、ようわからんけど、「大阪の試合に出ろ！」ってな。ホントしつこいんだよ（苦笑）。
　星野総裁のプロモート興行じゃないんですか？（笑）
橋本　そうやろうな　「会社とは話ができてるから、あとは俺が決める！　ギャラもちゃんと払うから」とか言ってな。当たり前だろ！って話だけど（苦笑）。

紙のFRI DAY

アハハハハ！　橋本さんは魔界何号になるんですかね？（笑）

橋本　知らんわ。ホントわけわかんないよ。大体、星野さんが交渉して実現するんだったら、こんな亀裂入らねえよ。

―まあ、そうですよね（笑）。

橋本　まさに魔界倶楽部だよな（笑）。でもホントの魔界倶楽部は星野さんだけだよ。この世の中のものじゃないもん、あの人は（笑）。

―アハハハハ！　ZERO―ONEでも魔界倶楽部に対抗して〝ひょうきん倶楽部〟を作るとか言ってたみたいですけど（笑）。

橋本　（急に真顔になり）いや、それは有りえん。ウチは変な名前の選手はいても、みんなマジメにやってますから！　ウチは劇みたいなことしたくないんや！　大体、魔界倶楽部だって、ヤス（安田忠夫）の力もまだ発揮されてないよな。

―でも発言とかに関していえば安田さんは、かなり頑張ってますよ。なにしろ魔界1号&2号は無言ですから（笑）。

橋本　でも結局、星野さんが一番目立ってるじゃん。星野さんが生前葬儀とかやってくれたら抜群なんだけどな（笑）。

―総裁を殺しちゃいますか（笑）。

橋本　そうそう（笑）。それでホントに魔界から降りてくればいいんだよ。どっかデカイ会場で上から吊って、ドリフの神様みたいにウエ～って煙の中から降りてくるとかな（笑）。

―まさに魔界転生ですね（笑）。

橋本　そういうことをやってくれたら、たまらなく面白いけどな（笑）。

―それは見たいですねぇ（笑）。あと、橋本さん的にはジョーニー・ローラーはどうなんですか？　ZERO―ONEでも中村部長とかは女子マネージャーみたいなのも呼びたいというようなことを言ってましたけど。

橋本　別にいいけどな、男と試合する必要ないよ。ほら、前に天龍（源一郎）さんが神取（忍）と試合してボコボコにやったやろ？

―ああ、あれは凄い試合でしたねぇ。

橋本　俺はあれでいいと思うよ。男と女がやったらいかんよ。論外や。まあ華として見せたり、そんならいいけどな。別々にセパレートでやるべきだよ。一緒にしたらいかん。

―橋本さんの考えるストロングスタイルの定義には入っていないと？

橋本　俺には考えも及ばないし、その感覚は掌握できない。まあウチには関係のない話題だよな。勝手にやってくれ！

※ここで「そろそろ時間で～す！」とイベントスタッフから声が掛かる。

橋本　（パンとヒザを叩き立ち上がり）いってくるか！　（突然思い出したかのように）そや、お前はハシフ・カーンは見たいか!?

―み、見たいです！……って、大仁田さんと真鍋アナじゃないんですから（笑）。どうしたんですか、突然？

橋本　いや、ちょっと、いろいろ考えてることがあってな。見たことないやろ？

―残念ながらないですね。でもウチで「ハシフ・カーン」Tシャツ作りましたから、宣伝も兼ねてゼヒ登場願いたいですね！

橋本　どっかの会場に突然現れるかもしれんぞ！（ニヤリ）。

―ハシフ・カーンって神出鬼没なキャラなんですか？

橋本　知らん！　でもな、近々、ハシフ・カーンとはコンタクト取ろうと思ってるから。

―あ、橋本さんとは別人なんですか（笑）。

橋本　（思わせぶりに）それはどうかな（笑）。

【10月6日／大阪・岸和田　ビッグサイズ専門店「サイズマックストリイ」にて収録】

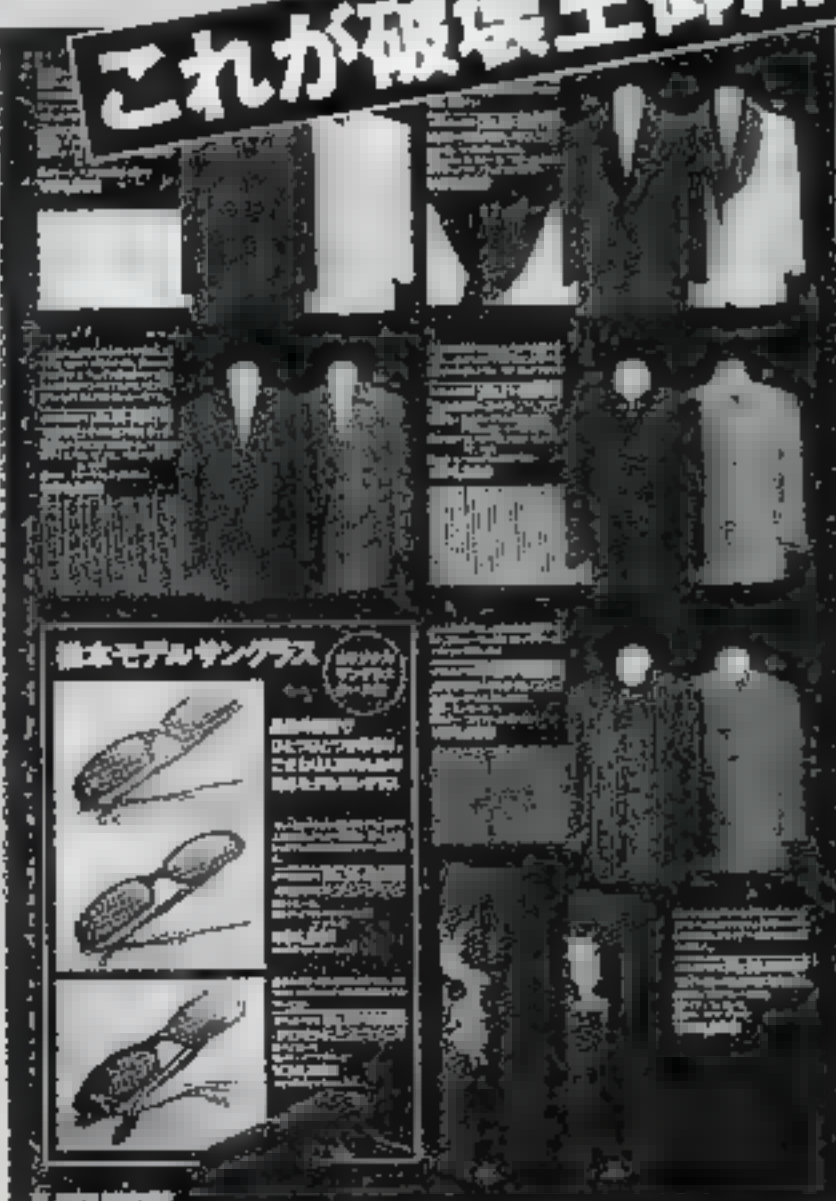
破壊王イベントはいつだって熱いぞ！

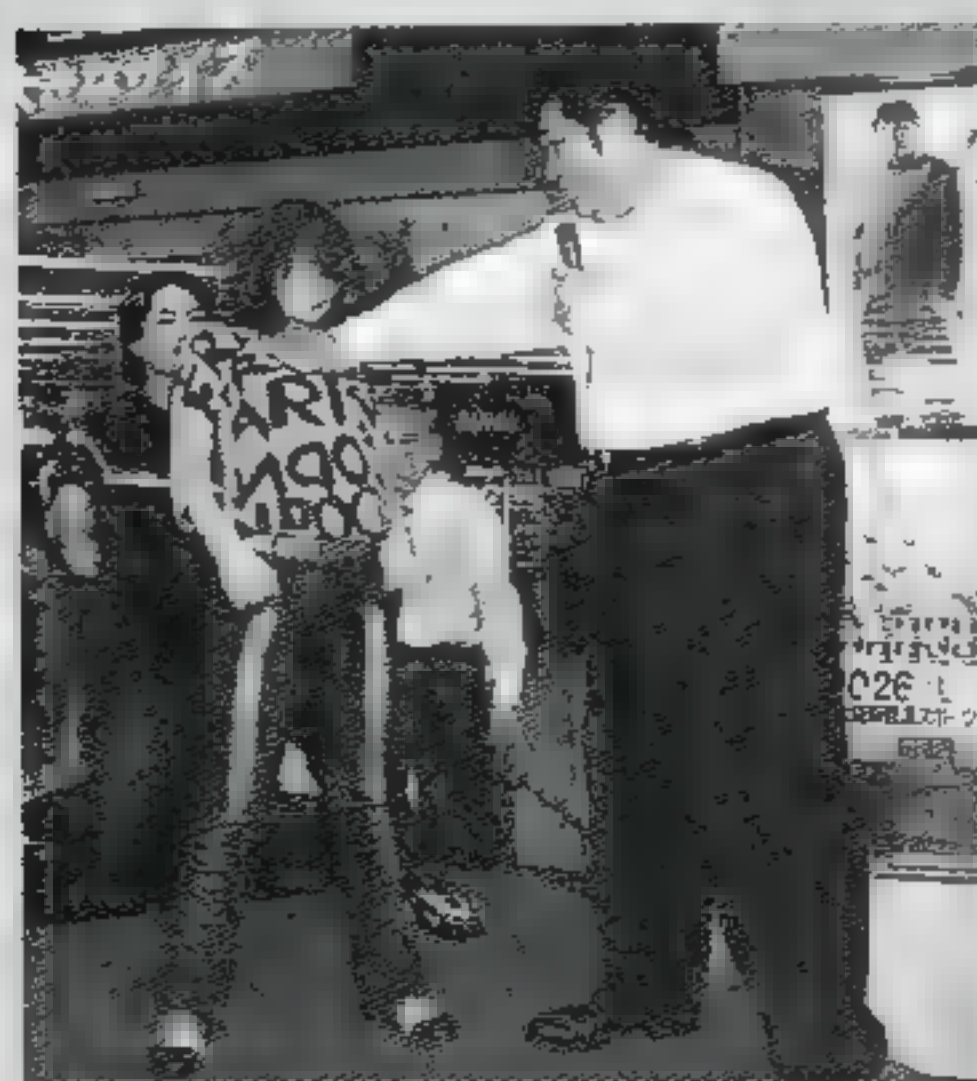
2千円以上お買い上げの方には破壊王サインが。ビッグサイズ専門店だけに客もビッグだ！

イベント開始5分前に急遽、司会を頼まれたのが本誌の松澤チョロ。さすがZERO-ONEだ！

何も知らずにレジへ向かうと、なんと破壊王が待ち構えていた！　緊張の面持ちで会計を済ませるお客さんに破壊王は「釣りは100万円や！」

10月6日、大阪・岸和田にできた　サイズマックストリイ　のオープン記念イベントに参加した破壊王。この日は桂川171号店に続いて2回目のイベントだったが、ナマ破壊王を見ようと多数来場

これが破壊王御用達のブランドだ！

モデルとして、破壊王はもちろん現在欠場中の崔リョウジまで登場しているのが上のカタログだ。「橋本真也、アジアンを着る」と題した、破壊王も愛用しているマオカラースーツから破壊王モデルのサングラスまで、この一冊ですべて揃うんや！　男なら破壊王ルックや!!

【お問い合せ】ミッド・インターナショナル　〒500-8686　岐阜市長住町6-1-8
TEL.058-264-9744 FAX.058-263-7303　HPアドレス http://www.bigsize.co.jp

女・子供相手でも容赦しない破壊王。どいつもこいつも1メートル以上は軽く吹っ飛んでしまうため、破壊王は彼氏に受け止め役を要請。2人の絆は深まった!?

「アントンが張り手なら俺は逆水平チョップや！」とばかりに最近の破壊王イベントでは恒例となっているのが手加減なしの破壊王流闘魂注入だ！

この大会があった日から始まった週に発売された『フライデー』で、小池栄子との熱愛を暴露されてしまった坂田。この日は、リングインすると揃って空手の型を披露した小笠原&小林組を横井とのコンビで粉砕。公私共々絶好調!!

東名高速。静岡と名古屋の中間くらいに位置するインターを降り、40分ほど山道を登っていくと、くねくねとしたカーブが続く山の頂き付近には、あたり一面に霧がかかっていた。その霧の向こうに静岡県川根町はあった。小さな温泉もある、小さな田舎町である。

そこにZERO―ONEは突如としてやってきた。

マニア心をくすぐるアングル&キャラ作りが届きまくり、プロレスファンの〝駆け込み寺〟と化している感があるZERO―ONE。都心近辺での会場はその〝駆け込み寺現象〟がより顕著になる。しかし、これが一歩地方に出ると、〝村祭り〟に集まるような感じで一見さんが続々と詰めかけてくる。OH砲が出場する大会となるとなおさらだ。

まだそれぞれは、大きな輪っかではないが、遠心力と求心力の両輪を携えて、〝大衆格闘芸術〟は絶賛全国行脚中なのだ。

そういうわけで、9・22――〝川根町観光協会プレゼンツ〟として行われたZERO―ONE初の野外興行は、K―1、新日本が大阪で派手に開催されている裏で、全国的には無名の町に超満員札止め2000人のファンを集めて行われた。

冷たい雨がそぼふる中、ファンはカッパを着たり、傘をさしたりして観戦。リング上は、1試合終わるごとに若手がマットに溜まった雨を拭き取っていた。見るほうもやるほうも劣悪な環境サンマイだ。

しかし、「俺は実は雨男なんで」と言う破壊王登場の前には不思議なことに雨は上がり、〝川根町青年団・元気爆裂スペシャル〟として、メインのタッグマッチ(破壊王&藤原組長vsN・ジョーンズ&S・サベージ)が、大「ハ・ッ・シ・モ・ト

『紙プロ』は"ZERO-ONE現象"を絶賛追っかけ中ですSPECIAL!!

『GenesisⅡ』
9・22静岡
川根町民センター
特設リング
観衆2000人
(超満員札止め)

雨が降ろうと ヤリが降ろうと ZERO-ONEは 熱闘三昧!

本誌鬼畜編集長(39歳)の アンビリーバボー! ミステイク・フォト集

本誌鬼畜編集長は、会場入りする前にコンビニで望遠付きのインスタント・カメラを購入 そこには、雨の中チェーンを振り回しながら場外を暴れ回ったプレデター、ジョーンズの巨体、バナナを頬張りながら入場しアタモ・ダンスを披露するサモアンなど、川根町に集まった人々をビックリさせたシーンや、昔ながらの地方興行の匂いがシッカリ写って・・・はいなかった 望遠付きだったのはいいのだが、そのカメラはフラッシュが付いていなかったのだ。ダメだ、こりゃ!

雨の男が川根町でもマウント!!

!!」コールのなかで開戦した。

サモアンをDDTで斬って落とした破壊王は、マイクで、「雨の中ありがとう! ホントに来てよかったです。この雨がみなさんの恵みの雨になるように祈ってます」と絶叫したあと、オーちゃんがいないからか「オー、エイチ、ホーッ!!」のご唱和を封印。なぜか「ダーッ!!」で締めた。

ノスタルジーを感じさせ、それがある種の"新しさ"とも結びついているかのように思わせるZERO−ONEの地方興行はとにかくウキウキして楽しい。リング上は一見さんを"また来たい"と思わせるエネルギーに満ち満ちている。しかし10年前の興行フォーマットさえまったく通用しなくなっているプロレス界において、力道山時代さながらの興行フォーマットがこのままズッと通用していくとも思えない。

いつ何時でも元気な破壊王は控え室で、「昨日、長州力が夢の中に出てきたよ。夢で話したら『全日本に上がる』って言ってた(笑)。だから『俺もあきらめませんよ』って言っておいた。長州は嫌いだけど、試合にとっちゃそっちのほうが面白い。嫌いなもんも食わないとおいしいものはわからない」と、長州力を肴にして、それが例え"嫌いなもの"でも、栄養になるとわかればバリバリと食べる気満々なところを見せまくった。

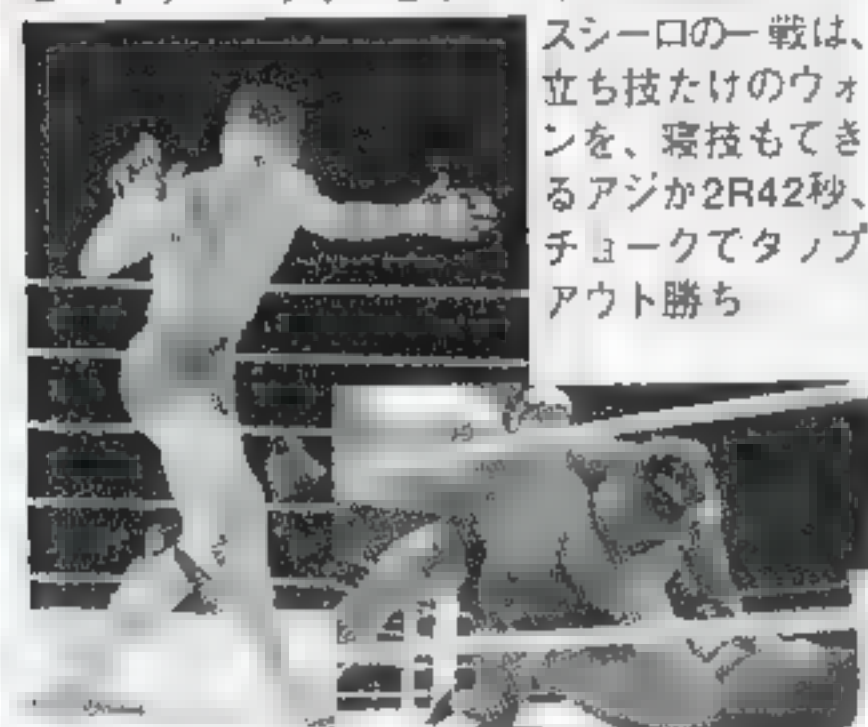
いま、プロレス界が最も嫌う食べものとは、ズバリ言って、ビジネス構造の根本的な改革だろう。でも、その嫌いなものさえも破壊王の食欲なら食い尽くしてしまえそうな気がする。その漲るパワーと、ビジネス構造の改革が結びついたとき、プロレス界は再生への道を歩み出すといっても過言ではない。

破壊王、プロレスを頼むゾーッ!!(強引)。

島田裕二 PRODUCE

島田プロデュースは、韓国相撲、ビルマ拳法などアジアの格闘技大集合

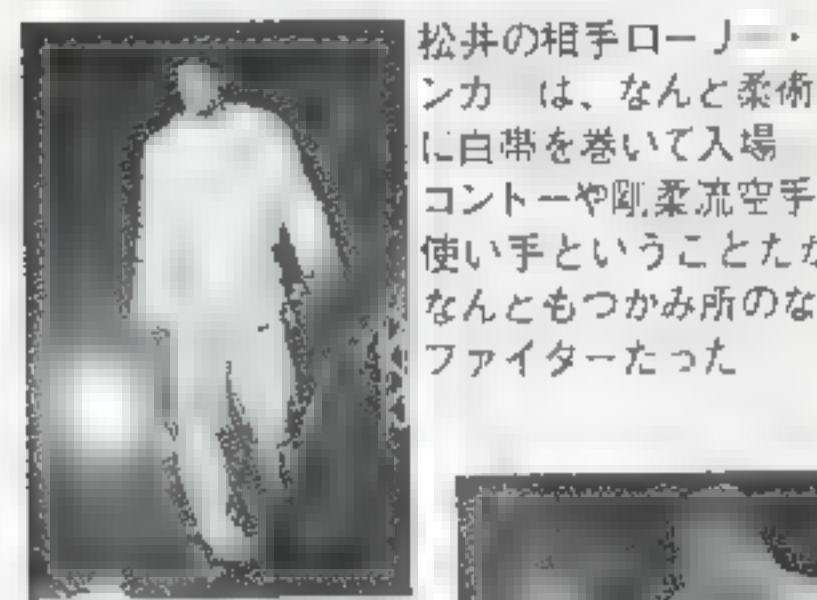
BEST 3回連続出場となる高田道場の今村雄介は、かつて力道山メモリアルで近藤有己に秒殺されたことでちょっと有名な韓国の韓泰潤と対戦 1R2分15秒、フロントスリーパーで完勝

島田プロデュースの目玉（なのか?）、アジアの伝説的な格闘技対決となるビルマ拳法シュエ・ドゥー・ウォンとインドネシア拳法アジ・スシーロの一戦は、立ち技だけのウォンを、寝技もできるアジが2R42秒、チョークでタップアウト勝ち

ジャイ落vs金宗王の"日韓ワールドテブカップ"は、金がパンチで一方的に攻めながら、殴りすぎて拳を負傷 1R試合放棄負け ジャイ落は26秒間殴られ続けただけで勝利 は〜、カックン

旧ソ連系ファイターにしては珍しくバランスのいいマウントパンチから十字という、VTのセオリー通りの攻めでを見せたスミルノヴァス。VTに真面目に取り組んでいる証拠だ。

ブッカーK PRODUCE

これでいいのか、松井! 無名選手相手に攻めあぐね大苦戦の判定勝ち

出場予定だった江宗勲が欠場となり、『Dynamite!』に続き大会直前に出場が決まった松井 無名選手が相手だけにキッチリ極めて、東京ドーム出場をアピールしたいところだったが、シンカーの長い手足を持て余し大苦戦、薄氷の判定勝ちをなんとか拾う形となった

松井の相手ローリー・シンカーは、なんと柔術着に白帯を巻いて入場 テコンドーや剛柔流空手の使い手ということだが、なんともつかみ所のないファイターだった

川崎プロデュースのヒット選手は、このテメトリアス 久松勇二に判定負けしたが、いい打撃をみせていた

"リングス・リトアニアのエース"『THE BEST』で完勝!

Uインター・リングス・武士道の勝利だ!!

プロデューサー対決は島田裕二の辛勝!?

10.20ディファ有明『THE BEST Vol.3』

『PRIDE』の登竜門的大会『THE BEST』第3回大会が、10・20ディファ有明で開催された。

今回は、島田裕二ルールディレクターvs"ブッカーK"川崎浩市氏の「プロデューサー対決」というコンセプトで、両氏が4試合ずつマッチメイクを担当。島田レフェリーが「格闘技アジアカップ」と題して、アジア各地から胡散臭さと幻想を併せ持つ未知の格闘家を発掘し、ブッカーKが「日本vsKOTC」というテーマで、正統派MMAカードを用意。硬軟両方のファンを満足させるイベントになるはずだったが、島田プロデュースの目玉(?)、モンゴル300や、第3のトップチーム"モンゴリアン・トップチーム"からの刺客が、ビザの関係で来日不可能となり、川崎プロデュースの方もメイン出場予定だった江宗勲が欠場となるなど、双方とも直前になってカード変更が続出。

結果的にどちらかと言えば、島田プロデュースの方が面白かったが、それでも及第点にはほど遠いという、見事な企画倒れに終わってしまった。企画自体はいいだけに、次回のリベンジに期待したい。

さて、そんな大会の中でも文句ナシに一番のインパクトを与えたのは、アレクの弟分アングロサクソン大場を、わずか55秒腕ひしぎ十字固めで下した初来日ケッテイス・スミルノヴァス。昨年11月のリングス・リトアニア大会のメインで横井宏考対戦し、惜しくもポイント判定負けしたリングス・リトアニアのエース的存在だ。

リトアニアの総合はUインターの海外向けTV放送「武士道」のブームで誕生し、「リングス」として競技が確立されたものだけに、スミルノヴァスの活躍は、リングスとUインターが蒔いた種が遠くリトアニアにて花開いたというなによりの証明。こんな選手にチャンスが与えられる場所であるならば、『THE BEST』の存在価値もより高まっていくだろう。

島田裕二 TOPICS

島田裕二レフェリー生活10周年記念パーティー開催

10・20『THE BEST』終了後、有明ワシントンホテルに於いて、「島田裕二レフェリー生活10周年記念パーティー」が、盛大に行われた。顔が広い島田レフェリーだけに、アレクサンダー大塚、アングロサクソン大場という総勢2名もの現役選手が参列。その人望の厚さを伺わせた。島田さん、これからもインチキなレフェリングに期待してます!

パーティには PRIDE ジャッジ陣、ベンチャックシフッドのアジ・スシーロ、前田憲作、杉作J太郎氏らも参列 なつかしの芳賀玄太の姿も。

ブッカーK TOPICS

エリオ90歳の誕生日にグレイシー一族集結

ブッカーKからグレイシー最新情報が届いた! 右の写真は10月1日ロスでエリオ・グレイシーの90歳を記念したお祝いのときのもの。久々にグレイシーファミリーが大集結! ホイス、ヘンゾはもちろん、"グレイシーの頭脳"ホリオンの顔も見える。これを期に今一度ファミリーの結束を強め、また『PRIDE』でグレイシーぶりを見せて欲しい!

また、ロスのグレイシー柔術アカデミーにグレイシー・ミュージアムもオープン ロスに行った際は訪れてみては? 写真：Kid Peligro

055 CONTENTS

Cover Model Nobuhiko Takada vs Kiyoshi Tamura

Main-Event

11・24『PRIDE.23』髙田延彦引退試合 "U"の歴史を辿る運命の闘い! 髙田延彦vs田村潔司

MMA Spcial

Pro-Wrestling Spcial

065

Radical Talks

Radical Scoop

Columns

Another

074

本誌がやらねば誰がやる!?

ボブ・サップひとり勝ち!!

新日本"30周年"完敗!!

10・14新日ドーム大会をぶった斬る!!

当座談会
イメージキャラクター
佐々木健介
選手(36歳)

それでもボクらは新日本プロレスが

大好きッ!! 座談会

10・14新日本・東京ドーム大会は創立30周年を記念した大会だったわけだが、めでたさとは裏腹に新日ドーム史上最低の動員（5万人・主催者発表）となった この大会で見えてきた問題を"新日本愛"に溢れる本誌が長い大会の直後に激論! やっぱり新日本……大好きッ!

今回のテーマは「新日vs外敵」じゃなくて「新日vsサップ」だったのに完敗ですよ!!（豪）

ノブ ……いや、今日は凄い大会でしたねぇ（無感情に）

山口 新日本30周年、バンザーイ!!（ヤケクソ気味に）

豪 （醒めた表情で）……しかし、30周年を祝う気持ちを僕らから奪い取るような、恐ろしい大会でしたね リキ・ナガシマ企画関係の人たちが消え、魔界倶楽部が出てきて、せっかく心置きなく応援できる体制ができたと思ってたのに……。正直、ガク然としましたよ!

山口 俺も大会前までは応援モードだったけど、会場に入った瞬間に「ダメだ、こりゃ」と思ったもん（笑）。客席に熱と期待感がなさ過ぎるよ……あのね、この興行をひと言で言うと『LEGEND・2』! また新たで奇妙な伝説が生まれてしまったというね（笑）。

豪 ただ、『LEGEND』は大笑いできたけど、今回の新日本は終わった後に寂しい気持ちしか残らなかったのは大きいですよ それに芸能人もいっぱい見られたから、『LEGEND』の勝ちですね

山口 『LEGEND』には中島美嘉や奥菜恵、坂口憲二もいたし

豪 ところが新日本にいたのはビッグ・サカＣＥＯ（＝坂口征二）だけ（笑） あと、久しぶりに僕は生で見て痛感しましたけど、演出のヒドさも、PRIDEに慣れたら、もう見ちゃいられないというか

山口 この大会の演出だったら、ZERO－ONEの地方大会の演出の方が断然素晴らしいよ。館内真っ暗にしてリングの上は裸電球をひとつだけっていうやつ。懐事情を逆手に取った演出だけで、ドームの演出を超えちゃってるからね（笑）。例えば昔の『骨法の祭典』にしても赤いノボリで館内を埋め尽くしたり、デッカイ鎧を中央に置いたりしてその場に合った演出をしてたじゃない。かけるお金の問題だけじゃなく、いまさらながら場に合った演出が大事だってことがわかるよね。

ガンツ ちなみに、この大会で新日本の東京ドームは25回目らしいですね。

豪 商売敵がこれだけ登場したのに、まったく進化してないんだよなぁ……。

ノブ 演出でいえば、大会が始まる前に選手が全員ステージに登場したんですけど、あのときからまったく盛り上がってませんでしたね、ボブ・サップ以外は。

豪 そう! とにかく今回の大会はサップに尽きるでしょ! 今回、大会のテーマは「新日本vs外敵」じゃなくて、実は「新日本vsサップ」だったと思うんですよ。ホントの意味での外敵はサップだけだったのに、新日本はそれにまったく太刀打ちできてない。それに、サップはK－1や『PRIDE』の代表じゃなくて、プロレスの代表だったんですよね。そのサップを同じ土俵に上げて、新日本側はサップ一人に完敗しちゃったわけだから。こうして見事に本隊をブッ潰したサップは、まさに理想の平成維震軍ですよ!

山口 は? それはよくわからない（笑）。たとえば「サップはWCW出身だからプロレスラーなんだ」って、『週プロ』の佐藤（正行）大編集長なんかが言ってるけど、そういう問題じゃないよな。K－1、『PRIDE』、新日本、どこに出ても"プロレスラー"を感じさせるところが凄いんであって、サップの存在そのものが"プロレスラー"ってことでしょ?

豪 強さやパワーで勝てないのはしょうがないとして、表現力ですら新日本の選手が誰もサップに勝てないのが致命的なんですよ。この大会を通じて新日本の選手が会場を一つにしたシーンなんて、天山（広吉）の試合でモンゴリアン・チョップが出た時の「シュー、シュー」だけだったし（笑）

ノブ サップの表現力が凄いことは、この前（10・12）の『ワールドプロレスリング』でもわかりましたよね

豪 あれは最高だった! 番組の半分以上をサップが占拠して（笑）

ガンツ 動物園で散歩し小動物と戯れたりしてるのに、中西（学）のパネルを見せられたら何度も裸になってパネルを破壊するんですよね（笑）。

山口 『PRIDE・22』の地上波中継の最後に流された、K－1人形相手のサップ劇場も完璧だったからなぁ。

豪 もう完敗ですよ、新日本は。今回、試合後に象徴的なシーンがあったじゃないですか まず、中西に圧勝して退場するサップを場内ビジョンが追ってたから、もちろん客はそこに注目してたんだけど、なぜかいきなりリング上から星野（勘太郎）総裁は今度自分がプロモートする神戸大会の宣伝を始めちゃったんですよね（笑）

ガンツ そうなんですよ（笑） それで、カメラが追わない中でカツゼツの悪い喋りが聞こえるだけだからサッパリわけがわからないのに、唐突に正規軍と魔界倶楽部の乱闘が始まって……

豪 リングにはゲスト解説の高山（善廣）まで上がってきた。そのときドカンと場内が沸いたから「高山は人気あるなぁ」と思ったら、ちょうどサップが通路を引き上げな

がら両手を挙げてファンにアピールしてたところだったわけだよね(笑)。つまり、客席はみんなサップに注目してて、リング上の乱闘なんて誰一人として見ちゃいなかったという。高山のショックは、かなりのものだと思いますよ。

山口 まあ、星野総裁が出るタイミングを間違えたってことが一番の原因だとは思うけどね(笑) それにしても、サップは自己プロデュースって言葉を超えた部分でセンスが段違いに光ってたよね。あんな怪物をプロデュースした石井(和義)館長は凄いなぁと、つくづく思うな だって、(アーネスト・)ホーストや(シリル・)アビディというK-1のトップ・ファイターを潰されてもいい覚悟でサップをスターにするお膳立てをしたわけだからね もちろんサップが、そのお膳立てを実力で超えたところが凄いんだけど。

ボブ・サップは野獣ファイトで中西を圧倒! パワーボムで叩きつけ、アルゼンチンで担ぎ、タックルで吹っ飛ばし、5人のレフェリーを次々と投げ飛ばし、最後はもの凄い高さのドロップキックで完勝! 打撃攻撃だけはおぼつかない様子だが、破壊力抜群

ガンツ やっぱりスターを作るには犠牲者が必要なんですよ 昔は、(ミル・)マスカラスのフライング・クロスチョップの下には闘ったレスラーの死屍が累々と転がっているって話だったじゃないですか?(笑)

豪 サップは力ずくでそれをやってるからね

山口 でも、プロレスだってスターにしようと思っても、潰れちゃった選手はたくさんいるからね お膳立てしたからってスターになれるとは限らない。その点ではプロレスもガチンコも厳しさは変わらないよ 表現力次第なんだから。でも、その両方でスターになったサップという存在を、どう定義すればいいんだろうな?

ガンツ そりゃあ、現代のアンドレ(・ザ・ジャイアント)でしょう!(元プレッシャー気質丸出しで)

山口 現代に甦ったアンドレでもハンセンでもなんでもいいんだけど、そういうプロレス内プロレスなことじゃなくて、サップの存在そのものを定義しろよ

ガンツ (興奮してまったく聞かず) アンドレって日本でこそヒールでしたけど、世界中どこ行ってもベビー(フェイス)だったんですよ サップもそんな感じの人気者になると思いますね。

ノブ モハメド・アリってこういう感じだったのかな、と思いましたね

豪 まったく新しいタイプだと思うよ 見た目とは対照的に、器用で人の良さそうなところとか、日本受けする要素だらけでしょ。いわば、総合でも立ち技でも強い(アブドーラ・ザ・)ブッチャーとでも言うか 河口仁が『愛しのボブちゃん』とかの漫画でも描きそうな勢いですからね(笑)

山口 サップは素を見せても試合で裏切らないでしょ。この人にとってはプロレスと格闘技は地続きなんだよ。自分を表現するっていうことでグルッと一周まわって一致してる こういう凄いタマに対して「プロレスを続けていきたい!」と思わせるエネルギーが、日本のプロレス界にあるのかどうかが問題だよ

ガンツ 活動の場が新日本だけだと、確実につまらなくなるでしょうね

山口 「プロレス」という概念の芯は『PRIDE』や『Dynamite!』やK-1で見れるようになったけど、純プロレスでも「プロレス」という概念の芯は表現できる。それをサップしか見せられなかったというのが一番の問題でしょ。だって、肉体の持つ説得力ではサップにお手上げ。その圧力をも制する技術の部分は(アントニオ・ホドリゴ・)ノゲイラにかなわない。それに、プロレスラーのお家芸のはずのパフォーマンスの部分でも、引退した猪木さんの足下にも及ばない(笑)。これ、問題だよ。

豪 その3要素をすべて兼ね備えつつあるのがサップなわけですよね

山口 ましてや、あの中西を光らせてたんだから凄いと思うよ。

ガンツ 2人で足をドンドン踏み鳴らすシーンはゴリラ同士の魂のリズムが共鳴したみたいで良かったなぁ……(しみじみ)

豪 あれは笑った! サップのおかげで中西のバカ・キャラが光ってたよね

山口 ウチが昔から提唱してる「"強くて、凄くて、面白い"ヤツこそプロレスラー」という定義に当てはまるのがサップだよね 正

先シリーズ、蝶野とローラーの因縁は燃え上がっていった 蝶野の誕生日にローラーはケーキをグシャッ 蝶野、いい顔! なぜか後藤も笑顔だ こうした小ネタをドームのビジョンで試合前に流すだけで客席の雰囲気も暖まると思うのだが?

なぜ男と女が普通に闘うのか、わからない。（山口）
「あの試合の上に神がいる」って感じですね（ガンツ）

直言うと、俺はサップが新日本に上がるのは不安だったんだよ。マット界の貴重な財産を、新日本がたった一戦で食い潰すんじゃないかと思って（笑）

豪 ところが、逆に新日本がたった一戦で食い潰されちゃったという（笑）。

ガンツ サップは「ジャンル荒らし」とか言われてますけど、全然荒らしてないんですよね。むしろ、すべてを救う救世主なんだけど、サップのレベルが高すぎるから各ジャンルに元からあるもののつまらなさが際立っちゃうという

豪 それでも、結果としてはジャンル荒らしなんだよ！

山口 K－1（10・5）のサップvsホーストなんて、たった3分であれだけの試合の密度とプロレスという概念を見せられるのに、まったりしすぎだよねぇ、純プロレスって。そういうのをハッキリ露見させちゃうところは、ジャンル荒らしかもね

ノブ そんなサップとは対照的に、ジョーニー・ローラーはひどかった！

山口 存在的にはおいしいはずなんだけど、活かしきれないよねぇ

豪 新聞やTV的なおいしさはサップ級なんだけどね。最大の見せ場だった入場シーンでも、蝶野（正洋）共々つまらない演出しちゃってたし。

ノブ ローラーが入場時にバズーカを撃つのは、WWE（当時WWF）でやってたことなんですよ。ただ、WWEのバズーカは会場の天井まできれいな花火が飛んでいくんですけど、新日本製のバズーカは空砲みたい（笑）

豪 飛距離5メートル位だよ（笑）

山口 そもそも、俺にはこの試合の意味がまったく分からなかったね。なぜ男と女が闘うのかまったく伝わってこない。ふつうに試合してふつうに蝶野が勝ってさ。そもそも蝶野vsローラーって誰が望んでるの？

ガンツ 「あの試合の上に神がいる」って感じでしたよね（笑）。

山口 ガハハハハ！ うまい！ 神がらみでいうと、蝶野vsローラーと、一昨年の猪木vsタッキー（滝沢秀明）をハカリにかけてみたら、残念ながらその差は歴然としてるよ。猪木さんはアイドル相手にエキシビジョンとはいえ試合として成り立たせた上で、客席を能動的にさせて熱を生ませたからね

豪 蝶野は女子に気を使っちゃうけど、猪木さんはジャニーズ相手にも一切気を使わない。その差だと思いますよ（笑）。

山口 レスラーとしての踏み出し方が問われてるってことだよね

ノブ ローラーはWWF時代、ジェフ・ジャレットと試合をして、思いっきりギターで頭を殴られてましたからね。それと比べたら、今回はお姫様扱いですよ

豪 猪木さんという神から与えられた駒であり、そして何より神の●●とも言われてるんだから仕方ないよ（笑）。お尻ペンペンが限界でしょ？

ノブ あ～れだって、3月のWWFでビッグ・ショーがステーシー相手にやってたのをパクっただけじゃないですか！

豪 だから、どうせならそれまでのWWFチックな抗争の経緯を試合前に見せてあげれば、もっと面白くなったはずなんだよね。蝶野が誕生日にケーキをぶつけられたりとか、アナウンサーが名前をやられてのたうちまわったりとか、蝶野が「女はキッチンにいればいいんだ！」って吠えたりとか

ノブ そのセリフもジャレットのパクリじゃないですか（笑）。どうせなら試合まで完コピすれば面白かったのに。

山口 蝶野が手錠につながれたまま闘うとか、いくらでも不平等な設定は作れたはずだよな。どういうことなんだよ、ふつうに闘ってふつうにヤクザキック一発でフォール勝ちって？ 分かんないよなぁ。今回デビューしたヒートにしても、なぜ田中稔がマスクを被って田中稔と同じ動きで試合をしなきゃいけないの？ しかも負けちゃって。この大会、謎だらけだよ（笑）。

豪 ヒート誕生からボンヤリ見えてくるのは、猪木さんなり猪木事務所なりの要請で、選手側が嫌でもそういう役割をやらざるを得なくなったという政治的な図式でしかないんですけどね。

山口 もしそうだとするなら、その裏には「金を儲けたい」っていう猪木さんの明確な意図が見えてくるからいいんだけどね（笑）。猪木さんの意図は例えどんな意図であれハッキリ見えるから面白いんだよ。でもホント、新日本という会社が何をやりたいのか、ドーム大会を見てもさっぱりわからない。いまの新日本は誰が責任者で、どういう指揮系統なのかサッパリ見えないんだよね。

豪 藤波（辰爾）社長の舵取りが悪いわけでもないですよね？

ガンツ まあ、ドラゴンは舵は握ってないみたいですから（笑）。

山口 じゃあ、猪木さんが悪いの？

豪 まあ、原因の一端は確実に担ってるんでしょうけど……。とりあえず、ケロちゃん（田中秀征リングア

12月発売のゲームソフト「闘魂ヒート」から飛び出してきたヒート。「好きでやってるんじゃない」という電波を発しつつ、田中稔と変わらぬファイトでデビュー戦を完敗!。立ち上がれ、ヒート!!

ナ）は悪いような気がするなぁ（笑）

山口　まあ、ケロちゃんはともかく（笑）、以前の新日本だったら、功績をバッグンに上げていた新間寿を切るくらいの企業としての厳しさがあったわけでしょ　理由はどうあれ　いまはさ、このままじゃ誰も責任を取らないでしょ？

豪　今回も公式発表だと5万人入ったらしいんですけどね（冷たく）去年のドーム大会で6万人と発表したら、猪木さんに「6万人なんてウソだ！」とか噛みつかれて、その後は、なるべく実数に近い数字を発表してたんですよね　ところが「カッコつけるな」って言ってた猪木さんが深く関わった今回も、実数とはほど遠い5万人っていう発表だし　あー　5万人入ったんだったら業績は上がってるわけですよね？　だから誰も責任取らないわけですよ（さらに冷たく）

山口　お前、ホント嫌味な言い方するねぇ（笑）

豪　それに『怒りの獣神』のテーマで手拍子したり、藤田ミノルがやられたら「弱いぞぉ！　新日本最強！」って騒いだり、いまだにnWoのTシャツ着てるようなファンも、まだ生き残っていることも今日はわかりましたから（笑）

ガンツ　昔は、そういう嫌な空気がドーム全体を支配してたんですよ。

山口　それでも90年代には90年代なりの方向性や熱があったからね

豪　当時はそういうファンが5万人ぐらいいたとすると、いまは5千人ぐらいになっちゃったのかなあ……

山口　いまは戦略的に考えても、ドームにこだわる必要はないよ

豪　日本武道館も埋まらない団体が、ドーム大会をやってどうするっていうことですよね

山口　「年間スケジュールとして決まってるから」とか「やらなきゃならない」っていう意識からいかに脱皮するかだと思うんだよね

豪　今回の大会も、「とにかく猪木さんを怒らせないようにしよう」みたいな部分しか見えてこないじゃないですか？

山口　みんなが責任回避しようとしてる感じとかね（笑）

豪　責任者が誰なのかを見せないまま、みんなで責任回避してたら面白くなるわけがないですよ　そんな中で、なぜサップが「会場を盛り上げる」っていう責任感に溢れた試合をしてるのかっていう（笑）

山口　正直言って、新日本の30年を見てきてる俺から見たら、この大会はサップを除いては「悪夢」としか言いようがない！　せっかく外から選手を集めてきてもテーマがないから、何のひっかかりも感じないんだよ

豪　せっかくTK（高坂剛）が出たのに、ほとんど印象に残ってないですからね

170キロのサップにこんなことを出来るのは新日の中でもこの男くらいだろう　この後、サップのパンチが顔面に入り、ゆっくり後ろへ倒れ込む中西　見事にかみあった2人の闘いは、興奮と爆笑の入り混じった熱気を客席に産み落とした

ガンツ　でも、この大会でボロクソに言われないだけで及第点ですよ

山口　選手それぞれが試合でやりたいこととか見せたいことがあるのは分かったけど、全体のことを考えてる選手は1人もいなかった　それぞれが〝自己プロデュース〟という殻からまったく出てないでしょ　それぞれがそれぞれの〝自己プロデュース〟の発表会をやってるみたいだった

豪　それは10R引き分けだった西村（修）の試合のことですか？

山口　いや、西村に限らずね。そういう中で蝶野なんかは、試合内容はともかく新日本をなんとかしなきゃというのを優先させてる切ない思いを見て取れたけどね

豪　結局、新日本にしても選手にしても何が客にとってのサービスなのか分かってないと思うんですよ、絶対、試合開始前にダークマッチを3試合やることとか、小さなライガーが出てくることとか、フルタイムで試合をすることとかがサービスだと思ってるはずだから

山口　この大会ではみんな舞台に出ることの高揚感を味わいたいがために試合してるような印象しか受けなかったなぁ

ノブ　だからきっと、この大会はオールスター・秋の運動会だったんですよ（笑）

ガンツ　体育の日だし（笑）

豪　実際、今回の裏テーマは「運動会」だったと思うよ　噂によると、チビ・ライガーの中身って藤波社長の子供だったらしいんだけど、僕が思うにおそらく今回の大会は藤波家の子供が通ってる学校の運動会と重なってて、藤波社長がまた「所用で休む」って言い出したんじゃないかと（笑）。そこで、困った社員が「じゃあ、社長。お子さんにマスクを被せてリングに立ってもらいますんで、お願いだからこっちに来てください」って頼んだから、唐突にチビ・ライガーとチビ・ヒートが登場したんじゃないかって仮説を立ててみたんですけど。

山口　あながちあり得ない話じゃないのが怖いよね（笑）　結局この大会にもコンセプトはなかった。テーマもコンセプトもなしにモノをつくる行為が、いかに自殺行為かってことだよね　勢いがないときはなおさらだよ　コンセプトを考えるのは知力と体力がいるから、いまの新日本にはそれがないってことだろうね

ノブ　でも、「30周年」と「外敵」ってコンセプトがありましたよ！

山口　それはトバ口であって、コンセプトじゃない（笑）。

ガンツ　さっき会長（山口日昇のアダ名）が言ってたようにこの大会が『LEGEND．2』なんだったら、いっそ新日本の役員でもあるしFOの川村（龍人）社長がプロデュースして「外敵とは全部ガチンコでやらせます！」ってやればよかったんですよ！（笑）

山口　いいねぇ　永田（裕志）vs藤田（和之）だってミルコ（・クロコップ）への挑戦権をかけて闘うんだったら顔面なしのガチンコでやりゃいいのに……って素人みたいな意見を言っちゃったけど、いまの状態では素人の見方が一番大事ということを分かってほしいよなぁ

ガンツ　それにしても、メインのIWGP選手権には「ミルコ戦挑戦者決定戦」っていうテーマがあったのに、明らかにミルコより強いヤツがセミに出てるんですから嫌になっちゃうでしょうね（笑）

山口　こないだ夜中にボーッとテレビを見てたら「マーケティングとは、相手のことを知る力"だ」って誰かが言ってたんだよね　いまの新日本にはマーケティング、つまり客のことを知る力はまったくないでしょう？　それが今回のドーム大会で丸見えになった。

豪　10年前にやったマーケティングの結果で、いまも興行を打ってる感じですよね　試合のスリルじゃ『Dynamite!』のノゲイラvsサップには勝てないんだから、スリル以外の部分でどう勝つかを考えなきゃいけないのに、経営的なスリルしか感じさせないでどうするんだっていう（笑）。今回、サップはプロレスの試合でもスリルを演出しちゃったから凄いんだけど。

ノフ　スリル以外のどういう部分で勝負すればいいんですかね？

豪　NOAHみたいにプロレスとしてのレベルを上げていくか、WWFみたいに試合以外のドラマを練り込んでいくかだよね。実際、最近はエンターテインメント的な要素も増えてTVや新聞レベルでは面白く展開できているネタがいっぱいあるのに、そのネタを興行で全然使ってないのは問題でしょ　昔みたいにTVで選手の顔やキャラクターが知られていない現在、試合にやるまでのアングルや選手のキャラクター説明を一切しないで一見の客を満足させるのは困難だから

山口　サップにしても、一見さんを取り込むために投入したはずなのに、そういうことをやらないからね

豪　まあ、サップには知名度もあったし、説明なしでも観客に届くだけの力があったからよかったですけど、他の選手は説明がなきゃ絶対に届かないですよ。せっかくドームのビジョンが使えるんだから。

山口　結局、新日本は30年の歴史にアグラをかいてるんだよ。「まだまだ客は大勢いて、きっと分かってくれてる」って感覚でしょ？

豪　いかに客に熱を持たせるようにするかを考えなきゃいけないのに、客は熱を持ってるものだと思い込んで昔と同じことをやってますからね　ヘタすりゃ「客の熱を冷ましてるのは活字媒体だ！」とか、そういうトチ狂った考え方もしてるだろうし（笑）。

右　NWF王座決定トーナメントでTKが新日初登場　2分15秒で完封勝利　あまりに一方的過ぎてインパクトは弱かった　左　カブキがMUTAの後見人として登場。MUTAは勝ったが、ある意味で天山の試合だったと言える

山口　どうせ「紙プロ」とかヒーター本とかシュート活字が悪いって、その程度のことしか考えてないでしょ？（笑）

豪　なぜ試合前の煽りをケロちゃんの前口上だけに任せちゃってるのか、不思議でしょうがないですよ

ガンツ　今回もケロちゃんが永田vs藤田の試合前に言ってましたね、「うるさい外野を黙らせろ！」って（笑）。

山口　「お前が黙れ！」っつうんだよ、ホントに……って言い過ぎ？（笑）。

豪　それに、サップの動物園ネタもそうですけど、いまテレビ朝日の「ワールドプロレスリング」がどんどん面白くなってきてるじゃないですか。ローラー絡みのアングルを追い掛けたりとか、西村の長いインタビューを早回しで処理したりとかが中心で、試合の時間が少なくなってきたこともあって（笑）。それが唯一の救いですよね

ガンツ　大仁田とか高山とか、外部の選手を使わないと面白くならないのが不思議ですよね（笑）

豪　最近は猪木さんもテレ朝の悪口ばっかり言ってるけど、敵が見えてないですよ。敵は新日本内部！　テレビ局と一緒に興行を作り上げているPRIDEやDynamite!に立ち向かうには、テレ朝とガッチリ手を組んでリングの内外を作り込んでいくしかないと思うから、今回の大会も、どうせなら猪木さんがロス軍団＆魔界の格闘家たちを使って新日本を乗っ取ろうとするっていうリアルな図式を、もっと全面に出すべきだったんじゃないのかな。新日本の選手が嫌々猪木さんの言うことに従っているって事実を試合前に煽ったり、西村の試合中に退屈して席を立つ猪木さんの姿をカメラが追ってみたりとか（笑）。美人秘書・ローラー相手にデレデレになっている猪木さんの映像とかあったら、見たいでしょう？

ノフ　あと、エンターテインメントといえば、休憩明けのアゴマスクvsアゴマスクのショート・コントは抜群に面白かったですよね（笑）。

豪　あのデタラメさは、さすがだよ！　猪木vs木村健悟は、サップvs中西に続く名勝負だね（笑）

ノフ　健悟は30周年の功労者だから表彰されてもしかるべきなのに、あの扱い（笑）

豪　でも、結局印象に残ったのはサップと猪木だけなんだもんなぁ

ノフ　で、そんな新日本に警鐘を鳴らしてる男がいます　先日、ゴング誌上で、業界のど真ん中を突っ走ってやる　と宣言した長州力ですけど

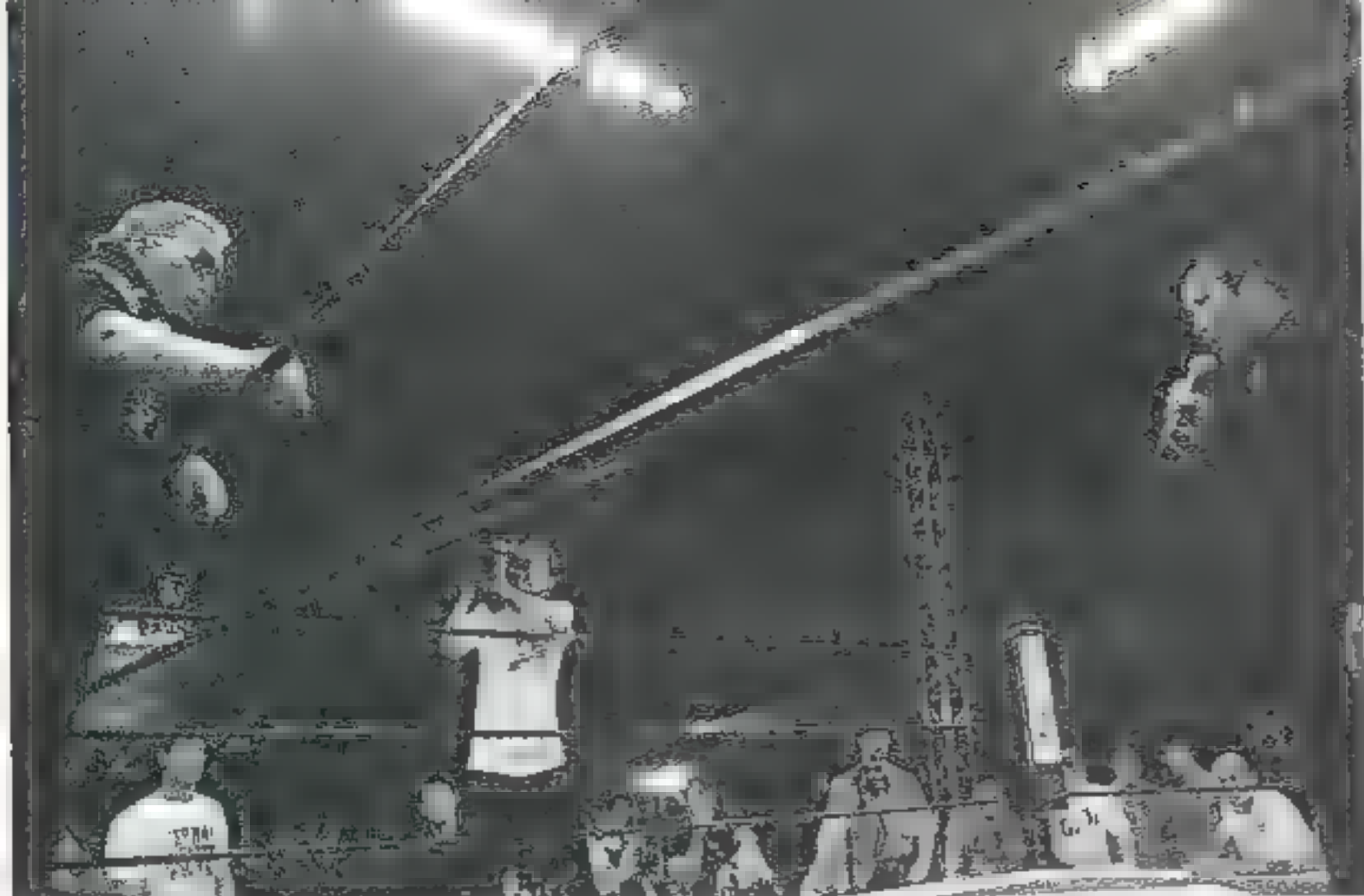
豪　そもそも、新日本がこういう状態になったのって長州の責任も大きいはずなんだけどなぁ（笑）　いま新日本を批判したら、そりゃあ説得力も出るだろうし　ただ、説

トニー・セントクレアをレフェリーとして迎え、3分10Rキャッチ・ルールで行われた西村vsルッテン　リングサイドで観戦していた猪木も途中退席したほどの無我地獄ぶり。さすり込みトロ　試合前のあおりは良かったのに…

結局、新日本は30年の歴史にアグラをかいてる。「きっと分かってくれてる」って感覚でしょ(山口)

得力って意味では健介の離脱問題の方が凄まじく面白いよ!

山口 倍賞鉄夫取締役の「彼も悩める若者ですから」って発言は、豪邸に住んでる36歳の子持ちの男に言うセリフじゃないよね(笑)

豪 あんまり健介をバカにしてると抗議の電話が来ますよ、2本だけ(笑) とにかく永田、蝶野、上井取締役といった新日本側の発言が、すべて異常に生々しくてリアルだったんですよ(笑) ああいう奇跡のような出来事が、今回のドーム大会には何も繋がってないのがなぜなのかっていう。

山口 スキャンダルを興行に結びつけるのが新日本のお家芸なのに、もはやその気力すらもないのかね

豪 健介のプロレスバカぶりが盛り上がっているうちにビジネスへと転化させなかったのは、ホント残念ですよね「彼はああいう奴だから、しょうがないんだよ……」とか、誰もが「しょうがない人」扱いしてるのは異常に面白いけど(笑)

山口 健介問題は面白いんだけど、俺はもはや笑えないなぁ(笑)

豪 僕は藤波が社長に就任したときの長州と同じで「笑いが止まらないよ!」って感じでしたね(笑) これで、鈴木みのる戦が心から楽しみになりましたよ!

ノブ その後、健介はリキ・ナガシマ企画に行くんですかね?

豪 長州は「みんなが健介に石をぶつけるなら、俺が拾ってやる」って言ったからね。こうやって上下関係を強調した発言ばかりしてるのが、いつまでも健介が「二代目・長州力」的なイメージしか持たれない原因だと思うんだけど

山口 それと長州の悪いところは、ああいうコントロールしやすい人しか配下に置かなかったことだよ。サップを見て思ったけど、プロレスも格闘技も頭が良くなきゃダメだよ。

豪 つまり、足を怪我したって理由で鈴木みのる戦をキャンセルしたくせに、合同練習でしっかり両脚を踏ん張って重いバーベルを挙げてるようなバカはダメだってことですか(笑)

山口 拾うね、キミ(笑) あれは「しっかり」じゃなくて「うっかり」なんじゃないの? (笑)。今日は少しでも褒めようと思ってたんだけど、またボロクソのままで……もういいや! (ヤケクソ気味に) 文句あるんだったら魔界倶楽部でも連れて編集部に殴りこみに来いって! こっちは男らしく&魔界のファンらしくサインをねだるから、勘太郎さんに(笑)

豪 そういう無責任なギャグを言うのはいいですけど、会長は編集部にほとんどいないじゃないですか!

山口 (無視して) もはや、いまの新日本は生命維持装置をつけてるだけのような気がするもん。とっくに死んでるのに、猪木さんが耳元で「元気ですかーっ!! 元気があれば何でもできるっ!」ってガナってる感じがする(笑)。たとえば、いま新日本のリングで新日本vsZERO-ONEが対抗戦をやったとしてもウキウキしないでしょ?

豪 まったくしないですね。結局、新日本っていう舞台自体に何の魅力もなくなってるから、(鈴木)健想も「新日の敷居が低くなってる、あんなの上げてたら新日本は終わるよ まあ、半分終わってるけど」とか言ってたけど、そういうことだと思いますよ

ガンツ 健想が「明るい未来が見えませ～ん!」って言ってたのは、テンパっての失言じゃなくて心の叫びだったんですかね(笑)。

ノブ ……なんだか寂しい結論になっちゃいましたね(笑)

山口 お前が盛り上げろよ!

ノブ 「新日本プロレス……大好きッ!」(健介調に涙を拭いながら絶叫)……あ～、僕たちも早く健介みたいに心の底からそういうふうに絶叫したいですねぇ

豪 「馬鹿になれ!」ってことだね(笑) まあ、僕らがいくらボヤいたところで、来年の1・4もドームをやることは決まってるわけですけど、どうしたらいいんですかねぇ?

山口 あ、この前、『週プロ』の佐藤人編集長がウチの座談会に出たいって言ってたから、今度いらしていただいて、新日本の魅力と見方をたっぷり語ってもらおうよ

豪 ホントに出てくるんですか?

山口 「会社の許可さえ出れば」って言ってた(笑)。佐藤人編集長がプロレスの次に好きなものってなんだか知ってる、キミたち?

一同 (大きな声で)「セックス」!!

ノブ お後がよろしいようで。

【02年10月14日ダブルクロスにて収録】

そもそも新日本vs外敵軍という枠組みに無理があったのだろうか? 星野総裁のマイクアピール→乱闘も、サップの試合後では霞んで見えた 注目されていないことに気付いた選手は散り散りにリングを降りていった 新日本、完敗の瞬間である

今日もバカをやってしまいました 新日本30周年、ファンの生き血(エキス)をすすって生きてきました 新たな船出を祝して、行くぞーッ!!」と猪木劇場

【お詫び】前号、『紙のプロレスRADICAL NO54』の42ページからの「マット界大総括&大展望座談会」内におきまして、工程上のトラブルによりP44とP45が入れ替わったまま印刷されてしまいました。読者の皆さまには御迷惑をおかけ致しまして、誠に申し訳ありません。今後、このようなことのないよう十分に注意致しますので、どうかこれからも『紙プロ』をよろしくお願い申し上げます

株式会社ダブルクロス
図書印刷株式会社

──さて、井上さん。今日は10・14東京ドーム前にお話をうかがっているわけですが、井上さんはドームは行かれるんですか？

井上　いや、行かん！（キッパリ）。

──あ、行かない（笑）。興味ないんですか？

井上　その日は法事なんですよ。まぁ、法事がなくても行かんけどね。そりゃそうですよ、アンタ！　せっかくボブ・サップという凄いのが出てくるときに、ジョーニー・ローラーだ、魔界倶楽部たなんてやっとるんだからな！

──でも、流れ的にはサップがK−1王者のホーストに凄い勝ち方をして、10・14新日ドームに繋がるような形で盛り上がっていますが？

井上　それを繋がらしたらダメなんだよ！　断ち切ってしまわんと。そうでないとプロレス自体もダメになるし、サップを中心としたK−1とか『PRIDE』の世界もダメになりますよ。いまのようにゴチャゴチャにしてやってたら、ボーダレスもとことんまできてしまって何がなんだかわからんと。そうなってくると、しまいにケツを出したジョーニー・ローラーとボブ・サップがK−1のリングで闘うことになりますよ！

──K−1でサップvsローラーですか！　しかもケツ出して！

井上　ローラーが素っ裸でケツを出して、「お前のパンチを受けてやるわ！」と言い出すようなことになってくるのよ。

──井上さん、さすがに素っ裸にはならないと思います（笑）。

井上　（聞かずに）だからここらへんでハッキリせんとやね、K−1の世界もゴチャゴチャになってしまって、「もうK−1も『PRIDE』も、どっちみちローラーなんかが出てくるええ加減なもんだ」となってしまうじゃないか！

──K−1までいまの新日本状態になってしまう、と。

井上　そうでしょ？　イメージっていうものは怖いですよ。一度変なことがあると、そういった目で見るからね。だから武藤なんかはK−1、『PRIDE』とプロレスがゴッチャになって、お互い傷つけないように全日本に出て行ったんだから。それをサップが新日本プロレスに出るとなったら、マスコミはブロディ、アンドレが蘇ると喜んどるんだよな。そんなもん、サップがシリーズに出るかというんだよ！

──まず、巡業はしないでしょうね（笑）。

井上　ワンマッチだけじゃないか、どう考えたって。あれがそのまま貸し出されて、ずっとシリーズに出て、アンドレ、ブロディ、ハンセンのように新日の外人部隊になってしまうなんて考えられんからね。あれはハッキリ言って、石井館長が放ったスパイですよ！

──サップはスパイ！

井上　も〜う、かく乱部隊ですよ。あれでかく乱しておいて、新日の力を弱めておいて、さて私が乗り出しますよ。皆さん私が掌握しますよ、ということですよ。

──サップ投入は、石井館長による新日制圧の第一歩だと。

井上　この前の全日にしたって、あそこに出て来たゴールドバーグなんて男は普通の人間では呼べないですよ。それをポーンと呼んで「全日さんにお貸ししましょう」というようなことをやったのが石井館長やないの。これでまたサップを呼び出してね、大きな試合は全部石井館長が関わって動かしていくようになるわ！

──新日も全日も石井館長なしでは、ビッグマッチが打てなくなるわけですね。

井上　そこらへんを考えるとやっぱり石井館長というのは凄い男なんだなと。ハッキリ言って豊臣秀吉みたいな小柄で人あたりのいい男だけど、どっこい頭はキレて、極端に言えば悪知恵が働くと。悪知恵が働くからこそ秀吉は天下を取れたわけであって、偶然に天下が取れたわけと違うんですよ。石井館長も同じことですよ。気がついてみたらプロレスから何から石井館長の手の中にあって、石井館長が「あぁせい、こうせい」と言った事に「はーい」とみんながやってることになってしまうんですよ。

──もうすでに、そういう状況になりつつありますよね。

井上　なりつつある！　だから、「そういうことになってもいい」と言うんだったらそれでもいいけどね。やっぱり「プロレスというのはプロレスであってK−1と違うんだ」と言うんだったら、ここら辺でホントの意味でのルール改正をしてね、ホントの意味での真剣勝負をやらないとダメですよ。そのためには10・14で中西死んでこい、と。

今月のお題

ボブ・サップ10・14ドームに登場。これからの新日本はどうするべきか？

毎月毎月、その過激さが増すばかりの喫茶店トーク。今月は10・14新日ドームの前に新日本への提言をI編集長に聞いてみると予想通りプロレス専門誌の限界に迫る超過激発言が飛び出しまくった！　プロレス者よ心して読め！

聞き手／堀江ガンツ

死んでこい（笑）。

井上　「新日本のために死んでくれ」と。そう送り出すべきなんですよ。それを中途半端なプロレスルールでやって、アルゼンチン・バックブリーカーだと言ったところで、そんなもんが真剣勝負で掛かるかって！（ドンッ）。

ガハハハハ！

井上　「やってみぃ」って！　それを武藤がやるんならいいですよ。「そういうもんだ」ってことをみんな知ってるからね。武藤だとかそういった連中は純然たる純プロレスで、筋書きのあるエンタメで行くことを良しとしてる連中が集まってるんだから、あそこは何だかんだ言って1・2年は持ちますよ。

あ、それでも1、2年（笑）。

井上　だけど新日本の場合は早いよ。もう立ってる地盤が違うからね

いまの時代において、「ストロングスタイルって何だ？」と。非常に不安定な立ち位置ではありますよね。

井上　このまま中途半端なやり方をしとったら、新日本プロレスに決定的なダメージがおっ被さってきますよ。いまのようないかにも真剣勝負があるような顔をしたところで段々化けの皮が剥がれていくし、そうしたら「馬鹿馬鹿しいから見るのやめた」ということになってくるからね。だからもう、新日本プロレスは死ぬ気でバーリ・トゥードをやらなくちゃいけないところに来てますよ！

新日本が生き残るにはバーリ・トゥードしかない、と。

井上　そうですよ。「K-1と新日本隊のホントの意味での決闘だ」と。これは例えば蝶野とミルコがやったら蝶野が負けるに決まっとるけど、「死ぬ覚悟で俺は行く！」と、出て行ってみなさいよ。そうしたらみんな拍手喝采で見に行きますよ。そうでなかったらストロングスタイルも猪木イズムも全部捨てて、「ウチは他と同じようにエンタメでいきます」と宣言するべきですよ。もう中途半端はイカン！　いまのようなものは言うちゃ悪いけど、ハッキリ言って騙しですよ！

だ、騙しですか！

井上　そりゃそうだろ、アンタ！「ストロングスタイルでホントの試合をやります」と言ってるのと同じなんだから。そういうことじゃダメですよ。いまのファンはみんな知っとるんだから　俺がこんなことを言うのもね、ファンが知らない間は言わなかったのよ。自分の心の中にしまっとったのよ。ところがいまはみんなわかってるんだから、わかってることはハッキリ口に出して、「そうだな」「じゃあこうしましょう」というふうに持っていかんとダメですよ。ところが団体関係者はいまだにマスコミに対して「そんな禁句を口にしてもらっちゃ困りますよ」と、そんなことを言っとるんだよな。そんなもん自分で自分の首を絞めとるのと一緒ですよ！（ドンッ）。

ファンから随分と遅れをとってますもんね（笑）。

井上　ファンのほうがみんな先にいってるんだから。そんなんで団体経営者が儲かるはずがない（キッパリ）。だからいまの新日のマッチメークに全然反応がないっていうのは当たり前ですよ。石井館長がサップを送り込むということになって、やっとみんなが「ふーん」ということになったんと違う？　キミんとこだってサップが出なかったら10・14なんて無視の世界でしょうが！

素通りですね（笑）。

井上　だから俺にしたって10・14は言うちゃ悪いけど、行く気がしないもんね。というのは俺はずっと新日本プロレスというものを書いてきたから、みっともなくて虚しい新日本プロレスを見るのが辛いんですよ。そういった気持ちが俺にはあるということを知ってもらわんと困りますよ！

愛するが故の叱咤なわけですよね

井上　「悪口だけ言ってどうでもい

いんか！」と、そんなもんと違うんだよ。自分が育ててきた『週刊ファイト』が潰れたら非常に辛いしね、プロレスがダメになるというのも非常に辛いけどもこれは事実なんだよ。愛着があるからといって、「プロレスはこれから良くなる」なんて思ってもいないことをマスコミが書いたらイカン！（ドンッ）。それよりもシュート活字で「ダメになる」と本当のことを書いて、「じゃあ、どうするんだ？」と考えろと言うんだよ！

「どうするんだ？」ということに対する、井上さんの意見は「新日本はバーリ・トゥードをやるべき」ということですね？

井上 そうですよ。長年「ストロングスタイル」と言ってきたんだから、やっぱり本物で勝負せよということですよ だからあんなシリーズを組むんじゃなくて、1ヶ月に1回でも真剣勝負をやって、それこそ東京ドームを満杯にしろと。「真剣勝負をやっていく」と言ったら満杯になりますよ。

―そういう闘いで永田vs藤田、中西vsサップという二大カードが組まれたら、これは見逃せないですよね。

井上 そんなヤツだけじゃなくって、ハッキリ言って「死ぬ気で行く！」っていうんだったら、飯塚でも脚光を浴びますよ！ 西村にしたって、あの身体で「俺は死ぬ気でミルコの蹴りを受けてみる」と。「俺のランカシャースタイルがどこまで通じるか、なんとかひっ掴まえて腕をねじ上げてみせる」という必死の思いで出て行ってごらんなさいよ。俺らだって観に行きますよ！

命懸けすぎて見るのが恐いですけどね（笑）。

井上 これは西村には非常に気の毒な状況だけどね、闘う以上はそんなこと言ってられないでしょ。ハッキリ言ってそれが「嫌だ」と言うんだったら、小川みたいに逃げなさい！

小川みたいに（笑）。

井上 「私は嫌です」「だから純プロレス、エンタメプロレス、筋書きのあるショーで行きます」と。そう言って「次のショーはこうです」「私はこうなります」と。そして「病院にタンカで運ばれて行きます」「しかしそれは嘘だから、30分ぐらいしたらピンピンして六本木で焼肉を食ってます」と。そこまで言えと！

なんでそこまで言っちゃうんですか！（笑）。

井上 逆にそこまで言われると面白いだろう、これは！「ホントに30分後に焼肉を食ってるんだろうか？」とマスコミだって行くでしょ？

確かめたくなりますね（笑）。

井上 そしてそこで「筋書きはあるけれど、実際にやられて肋骨が折れてる。こんだけ苦しい闘いだった」と、そういった話をすると、「ホー」ということになりますよ。

あ〜、深みもでてきますね。

井上 だからショーに徹するんだったら、とことんショーに徹しなさいと。命懸けでやるんだったらとことん真剣勝負でやれと。その代わり死んだって私は知らないよと。

そこまで責任取れませんと（笑）。

井上 なぜ俺がこんなに過激なことをいうかと言ったら、そうでないと我が愛した新日本プロレスがダメになるからですよ。新日本プロレスを愛するが故の過激な発言であって、「新日本プロレスなんてどうでもいい」と思ってたらこんなこと言いませんよ。誰がこんな憎まれ口を言うてやね、ヤクザにでもブスッとやられたらしまいや！ いまはそんなことはないからいいけど、昔だったら完全にやられてますよ。

力道山時代だったらそうでしょうね。

井上 だから、とにかく新日本プロレスの灯火を消したらイカン。なぜなら、それは我々がこれまで見てきた力道山の流れでもあるからですよ。いまのまま中途半端なことやってたら、この宝を潰すことになりますよ。プロレスっていうのは、始めからそんな筋書きのあるものじゃなかったんだ。真剣勝負だったんだよ。元々がバーリ・トゥードだったんだから！

プロレスは元々がバーリ・トゥードですか！

井上 そりゃそうですよ、アンタ！ 決闘だったわけだからね。大昔に田鶴浜さんが書いとったフランク・ゴッチ（初代世界王者）の時代を見てごらんよ。殺し合いやないかアレ！

――た、確かに田鶴浜さんは、そう書いてましたけど……。

井上 それが段々こうなってきて、こうなってきて、こうなったと、だから猪木が「原点に戻れ」というようなことを言うんだったら、そこまで戻ってそこから新しい格闘技を作ってくださいと。いまその時期に新日本プロレスはきてますよ。

新日本はフランク・ゴッチ時代まで戻れと（笑）。

井上 ただ新日本プロレスにしても、世界戦略をもう一方の柱として狙ってるから、そのためにはエンタメ・プロレスっていうものをキチンと残しておこうというのはわかるんですよ。いきなり向こうに行って「真剣勝負だ」と言ったところで、アメリカのファンも「フジタ？ NO NO！」知らんですよ。

そうですね（笑）。

井上 藤田の名前なんか知るか！ だから結局ローラーの名前をチラッと知ってる程度なんだろうけど、そんなことで世界戦略が成り立つなら俺でもやるわ！

――井上さんの世界戦略ですか！（笑）。

井上 そんなんで成功するんだったら借金してでもやりますよ。キミだってやるだろ！

ボクにもできますか（笑）。

井上 でも、そんなもん成功するはずがないんだよ！ だから新日本プロレスがいまハッキリとそういう方針を打ちださんと、いままでのように「魔界倶楽部がどうだ、ジョーニー・ローラーがどうだ」というようなことをやっとったらドンドンダメになっていきますよ。

歯止めが利かなくなってしまうわけですね。

井上 真剣勝負でもなければWWEでもなければ闘龍門でもないと。じゃあ、なんなんだと。しかも「真剣勝負だ」というような顔をするから余計にしらける。だから俺の希望をもういっぺん言わせてもらうと、「新日本プロレスは本当の真剣勝負をやって勝ち上がってください」と。「K-1の権威も保ってください」と。この一言ですよ。

なるほど。よくわかりました。また来月もよろしくお願いします！

井上 はーい。

【02年10月11日／電話取材にて収録】

いのうえ・よしひろ■1934年岡山県出身。『週刊ファイト』の編集長を長く務めた、「活字プロレス」と呼ばれるジャンルの創始者。ターザン、GK、ケンファー佐藤等、プロレスマスコミで一編集長に影響を受けた人間は数知れない。

言うちゃ悪いけど今日の結論

プロレスは元々が殺し合いなんだから、「原点に戻れ」と言うならフランク・ゴッチの時代まで戻れ！

9/27

【パンクラス】
パンクラス事務所

ライガーがみのる戦を直訴！

この日、パンクラス事務所を訪れた新日本・上井取締役とライガーは、乱闘には参加できるが試合はできない健介のケガにより、みのるvs健介の中止を報告。ライガーはみのるに謝罪するとともに「俺で良ければ試合をしたい」と対戦を直訴した！　みのるは「健介戦が叶うまで俺は現役で居続ける。たとえ40、いや50になっても……」と変わらぬ夢を訴えたが、「やるんだったら覚悟してきて下さい」と前向きの姿勢。答えは29日の横浜大会で出すことで保留した。重いバーベルはバンバン持てるが試合はできない健介の代役として、ライガーのパンクラス登場が濃厚となった！

紙の新聞

●マット界の1ケ月丸わかり●

編集長／堀江ガンツ
文／ガンツ、チョロ、ジャン

9/22 ↓ 10/13

先月号が発売されてから、多くの読者、関係者から同じお叱りを受けました。その内容というのは、「なぜ『紙の新聞』にドラゴンネタがないのか」ということ。はい、確かに先月はまさかのドラゴンネタ0でした。ドラゴンネタを楽しみにされていた皆さん、どうもすいません。でも、このところドラゴンが発言する機会がめっきり減ってしまって、深刻なネタ不足に悩まされているんですよ。どうしてこうなってしまったのか？　ズバリ、坂口征二会長がCEO（経営最高責任者）に就任。ドラゴンは外回り（！）になったことで、ドラゴンの発言権がいよいよ失われたためと考えられます。それにしても「外回り」の社長って一体……

【UFC】
モヒカンサン・アリーナ

宇野薫、ライト級王座へ王手！

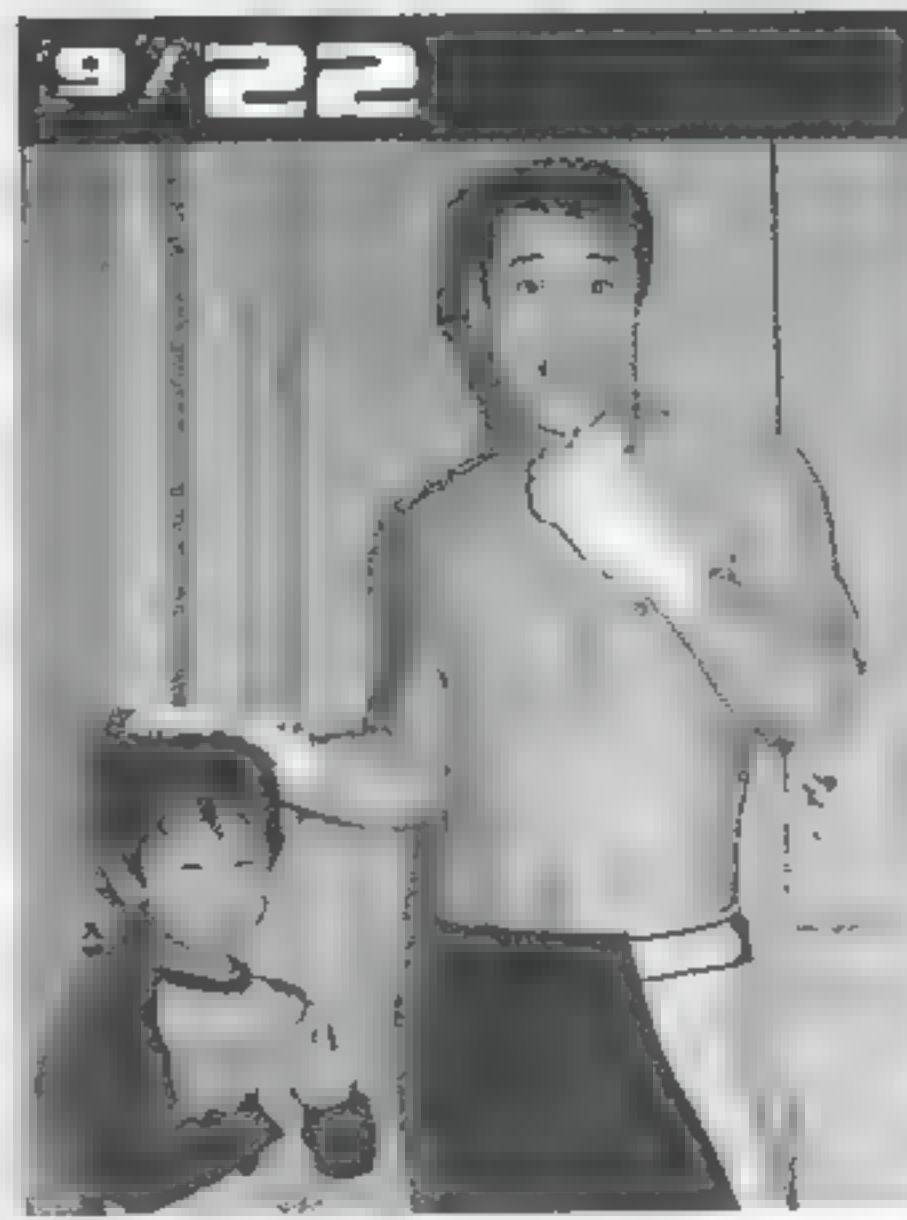
王者ジェンス・パルヴァーがUFCを離脱したため空位となっていたUFCライト級の王座決定トーナメントがこの日からスタート。BJペン、マット・セラ、ディン・トーマス、宇野薫の4人で争われることとなった。宇野は1回戦でディン・トーマスと対戦。1Rは急成長したトーマスの寝技に一本負け寸前のピンチに見舞われたが、2、3Rで逆転。見事、判定勝ちで決勝進出を決めた。決勝の相手はセラを破ったBJペンに決定。来年1月の大会で組まれる予定だが、この勝者への挑戦を須藤元気が早くも表明。気の早い話だが、日本人同士のタイトルマッチは実現するか？

9/25

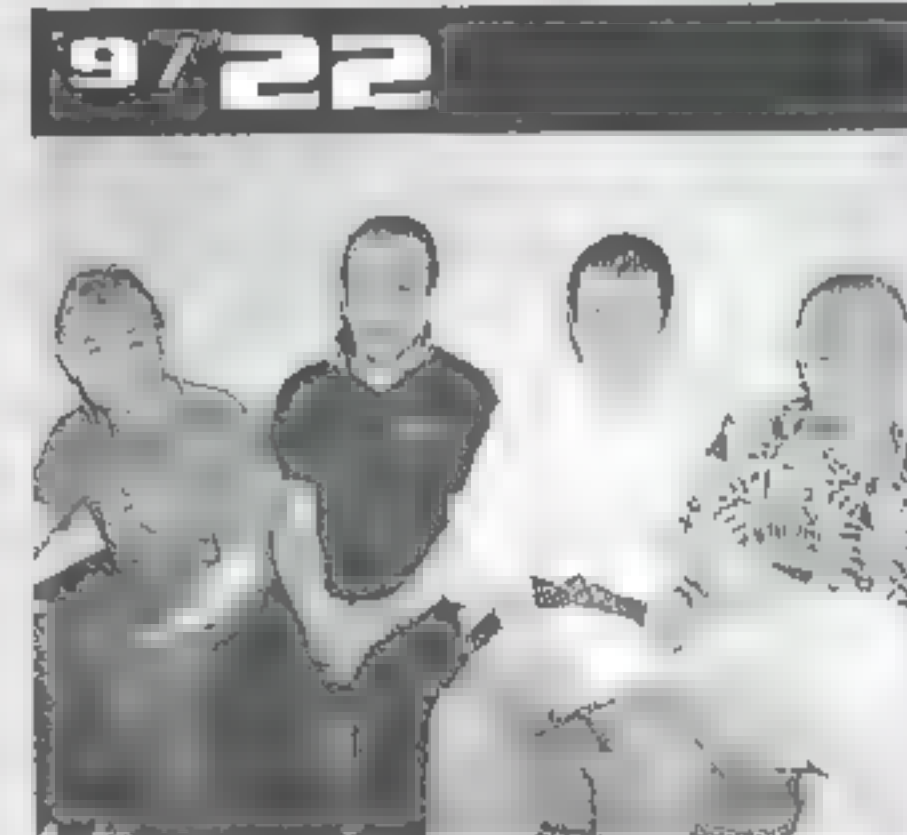
【パンクラス】

謙吾、ゴールドバーグ戦熱望！

「男の中のお・と・こぉ〜」こと、パンクラスのいつ何時でも未完の大器・謙吾が9・29ロン・ウォーターマン戦を前に、なぜかゴールドバーグ戦をブチ上げた！　8・30全日本武道館大会を観戦したという謙吾は、「華とかオーラがほかのレスラーと全然違う」とゴールドバーグを絶賛。さらに「スピアーは強烈だけど、俺もラグビー出身。いつでもいける」と、突然ゴールドバーグとのタックル合戦を夢見始めた。この夢対決が実現するには、とりあえず目の前の敵である元WWE2軍選手ウォーターマンを破るのが絶対条件だ。注目の結果はわずか2分で鮮やかな一本負け……謙吾の最強ロードは果てしなく続く。

9/22

【シュートボクシング】

平直行、古巣SBで引退試合

「グラップラー刃牙」のモデルとしてもお馴染み平直行がシュートボクシングのリングで引退試合を行った。平はSBでプロデビュー後、リングスやチーム・アンディの一員としてK−1にも関わり、数年前には、みちプロでプロレスデビューも果たしている超万能ファイター。現在はストライプルの代表として総合や柔術の指導にあたっているプロとして常に面白い試合を魅せてくれた平の引退試合のフィニッシュは、なんと場外へのバックドロップ！　最後の最後まで観客を沸かせまくった。しかし、本人いわく「プロレスはまだ引退してないんで。闘龍門とか上がってみたいなぁ」。どうですか、校長!?

【全日本女子プロレス】

全女前社長松永俊国氏、死去

全日本女子プロレスの前代表取締役社長・松永俊国氏がこの日、心不全のため亡くなった。享年57歳。松永高司会長の弟である俊国氏は全女旗揚げ時からレフェリーを努め、伝説の92年北斗晶vs神取忍戦を始め、数々のビッグマッチを裁いてきた。また興行責任者としての仕掛け人ぶりも定評があり、あのトーニャ・ハーディングと選手契約を交わそうとして、日本だけでなくアメリカでも大波紋を起こしたのも俊国氏だった。それにしても、マット界におけるバイタリティの代名詞とも言える、松永兄弟のひとりが亡くなるのは寂しい限り。いまは故人のご冥福をお祈りします。

10/3

【THE BEST】
DSE本社

『THE BEST』に蒙古襲来！

回を重ねる毎に"「PRIDE」の登竜門"というコンセプトから逸脱してきているところが素敵な「THE BEST」3回目となる今回は、島田裕二レフェリーと"ブッカーK"の「プロデュース対決」となり、この日双方の対戦カードが発表された。「日本vs米KOTC」対抗戦という正統派マッチメイクのブッカーKに対し、世界が認めるインチキ人間・島田レフェリーは「格闘技アジアカップ」をコンセプトに、モンゴリアン・トップチームからの初参戦選手や、"ジンギスカンの奇跡"と呼ばれるモンゴルの超人・魔法人の弟子など、インチキの名に恥じない異色メンバーを次々と発表。そして数日後、その2人は来日中止決定という、見事なオチをつけたのであった。

10/3

【新日本プロレス】

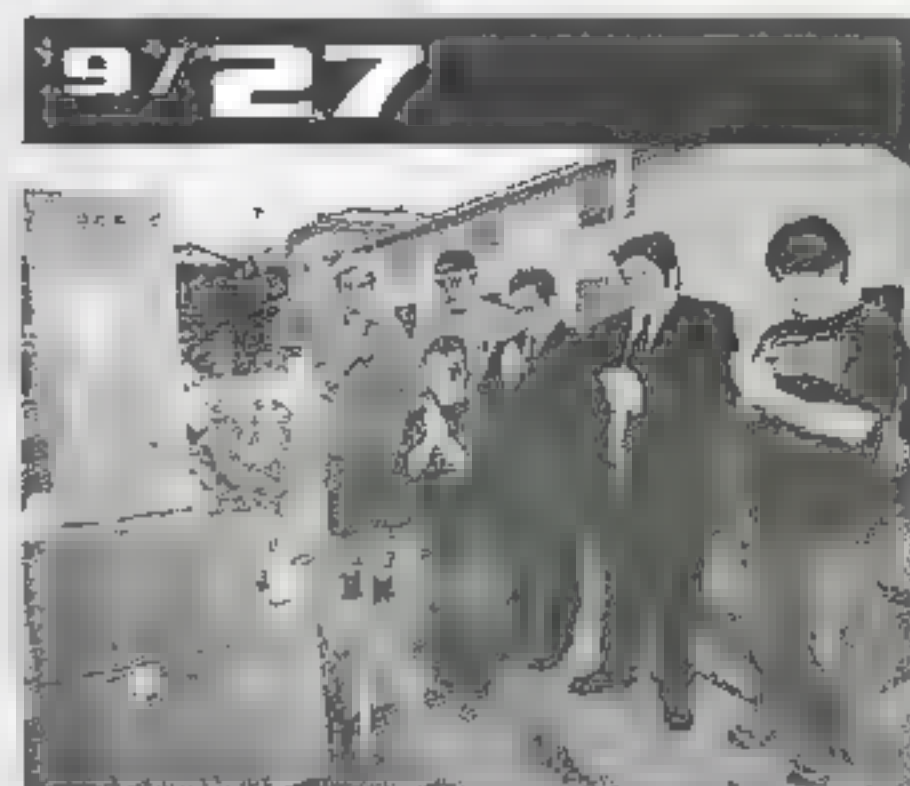
魔界倶楽部が全員集合会見

魔界倶楽部だよ、全員集合！ 星野総裁率いる魔界倶楽部が10・14東京ドーム大会に向け、初の全員集合会見を開催した！ 初めに星野総裁が「蝶野は新日から猪木さんを追放するとか言ってるけど、勘違いしてんじゃないか？」と叱れば、それに続いて柳沢、村上も新日に噛み付き、安田も「"馬鹿い倶楽部"でも作れ」と中西を挑発！ 星野総裁は「いまの新日本に足りないものはガッツだ！ ドームで勝って言うことをみんな聞いてもらう。以上!!」と、熱血ドラマの教師ばりに会見を締めくくった。ちなみに会見中、魔界1号&2号は終始無言。ん～、魔界倶楽部ッ!!

10/1

【IWAJAPAN】
代々木第2体育館

新田恵利、台風にも負けず登場！

ゴージャス松野デビュー戦や、久々の登場となるジプシー・ジョー（すっかり、おじいちゃんに）など話題の多い今大会だったが、なんと言っても、目玉は一宮&泉田組のセコンドに付いた、おニャン子クラブの新田恵利の登場だろう。入場時に一宮と一緒にホーガンポーズをキメ、さらに試合にも乱入するなど大暴れ。次回はゼヒ増殖してもらいたいもの。一方、この日デビューの松野さんは左足骨折が治らず松葉杖で入場。なんとか片足で相手に向かうも、最後は浅野社長の秘技"キンロック"でタップ。試合後はパートナーのシンにも襲われ、浅野社長からは追放処分を食らうなどトホホなデビューに。

9/27

【WEW】
埼玉県三郷市・法蓮寺

冬木が団体存亡の危機に荒井社長の墓前で合掌

WEWプロデューサー冬木弘道が、チョコボール向井らWEW勢を引き連れ、故荒井昌一FMW社長の墓参りに訪れた。WEWはエンタメ路線が悪戦苦闘中。頼みの綱であるTV局からの援助も早くも打ちきられることが濃厚となり、「この危機を乗り切るために、一緒にエンタメ路線を走った荒井さんの力を借りようと思って」と、団体存亡の危機に陥っている中での神頼みならぬ、仏頼みであることを告白した。11・3横浜文体に向け、AV女優の起用などで話題を集めようとするも、それがアダとなりゼロワンとの提携白紙になるなど踏んだり蹴ったりのWEW。そもそもエンタメに失敗した荒井社長の力を借りようとするのが間違いのような……。

10/5

【K－1】
さいたまスーパーアリーナ

蝶野と中西がサップ視察

10・14新日ドーム出場が決まった"野獣"ボブ・サップの視察に、新日本プロレスから蝶野正洋と"知的な（カシン談）野人"中西学がK-1に来場！ 目の前でK-1王者ホーストを破るサップの野獣ぶりを見せられた中西は、いつものように必要以上に目を血走らせながら、「見事な勝ちっぷりや。K-1王者をあそこまで潰すとはな……。新日本プロレスは絶対に負けない。あいつの圧力に押し切られるという常識を破って、いい意味で非常識に闘ってやる」と、普段の行動が非常識な男が改めて非常識を宣言した！ ちなみに、その横でコメントを聞いていた蝶野が、ずっと笑いをこらえていたのは言うまでもない

【全日本プロレス】
ファイティングカフェ「コロッセオ」

新社長・武藤『W-1』を語る

全日本プロレスの新社長・武藤敬司が、社長となってから初めてファンの前に姿を現した。この日、Xboxゲームソフト「WWF RAW」発売記念イベントに出演した武藤は、社長としてフジテレビでの放送や、「WRESTLE-1」についてに答えてくれた。テレビについては、「テレビが評価していないという、ナメられたところから始まってますからね。フジテレビからもらった一本のロープをいかに太くしていくか」と、現実を直視した発言。「WRESTLE-1」については、「社内でも反対意見の方が多いよ。ただ、王道を守るには生きていかないと」と不退転の決意をあらわにしたのだった

10/3

【ZERO－ONE】
小笠原道場

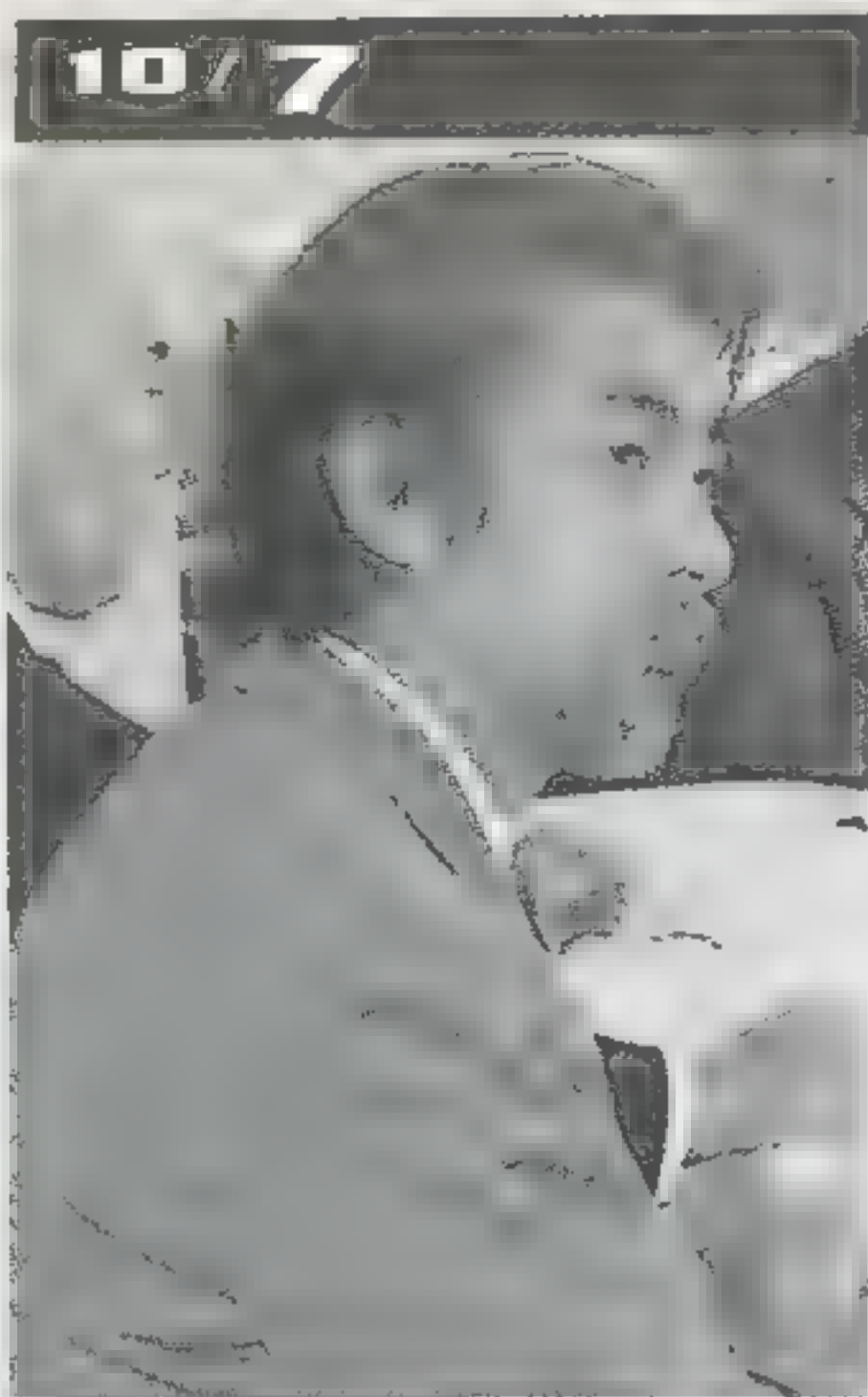
小笠原が坂田抹殺予告！

"狂乱の空手家"小笠原和彦が小林昭男と共に会見を行い、ジェラルド・ゴルドーから届いた「一緒にチームを組んでOH砲と闘おう！」とのメッセージを公開、空手軍団を結成したことを発表した。さらに小笠原は以前から因縁深い坂田亘に対し、「ホント今度はケンカだと思ってますんで、意識を変えて殺しに行きます。ケンカだったら何をやってもいいですからね。坂田は小池栄子と騒がれてますけど、申し訳ないですが短い恋になるでしょうね。なぜならボクの蹴りで坂田の顔は確実に崩れますし、次の後楽園で坂田の選手生命は終わっちゃいますからね。と挑発三昧。

9/29

【パンクラス】
横浜文化体育館

みのる、リング上でライガー戦アピール

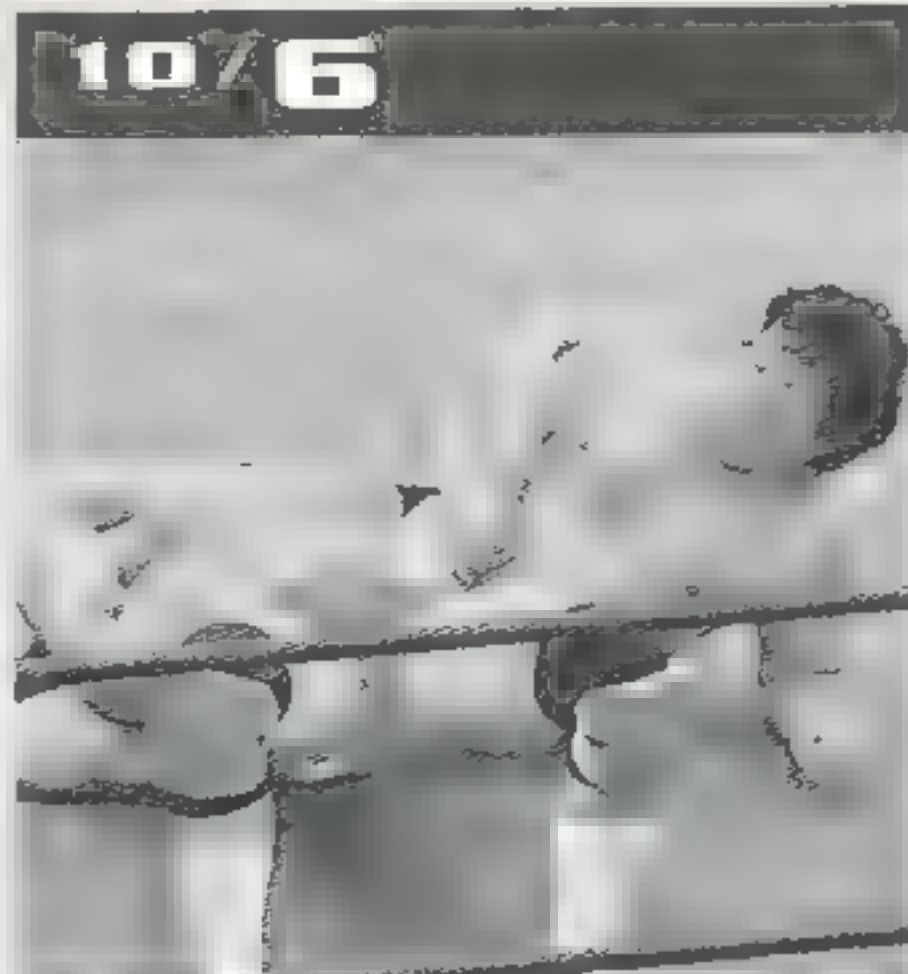
当初は健介が来場予定だった9・29パンクラス横浜大会。結局、健介戦は流れ、代わりに対戦をアピールしていたライガーに対する鈴木の返答がリング上で行われた。以下が全マイク。「え～、佐々木健介に関してですが、男と男の約束は守れよな！……以上です。それからライガー選手のことなんですが、久しぶりに彼の顔を見まして、目を見て真剣にボクに訴えかけてきてくれました。何か体が震えたっていうか、最後の新日魂を見たような気がして……11月30日！ ここ横浜文化体育館で獣神サンダー・ライガーと闘います！ ルールはパンクラスルールで。以上！」。以上ッ!!

【新日本プロレス】

倍償副社長、「彼も悩める若者」

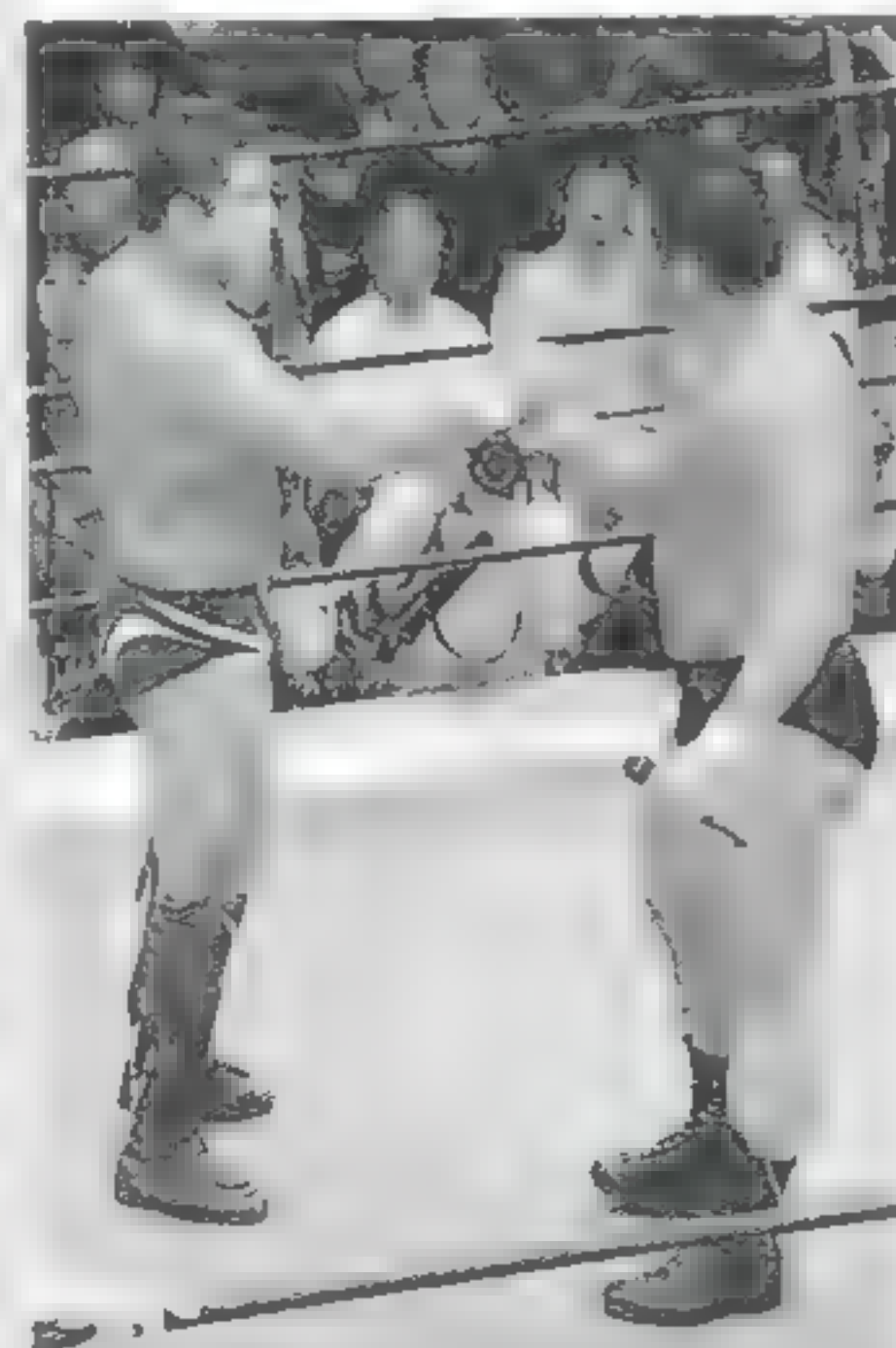
ヴァーッ!! 退団会見から一夜明けた7日、健介が渋谷区の新日本事務所に現れ、辞表を提出した。その後、ドラゴン、蝶野ら幹部と会談。3時間以上して事務所を出てきた健介は、「辞表は昨日の日付で渡しにいったけど、社長は受け取ってくれなかった。倍償さんが預かった形です。まっさらなオレで鈴木とやりたいという事を伝えました」と語った。そして、辞表を預かった倍償副社長が緊急会見を開き、「結論から申し上げると、彼も悩める若者だった」と断言。36歳、妻子・家持ち、ひげ面、抗議の電話2件の男が辞表を提出するに至った原因が「悩める若者」だったからとは……。これは健介の精神レベルが、盗んだバイクで走り出したり、校舎のガラス壊してまわるぐらいの年齢だと言いたいのだろう、きっと。

【新日本プロレス】

アントン、『猪木ボンバイエ』開催を宣言!?

今年も「猪木ボンバイエ」開催ダーッ!? 魔界倶楽部、藤田和之も駆けつけた恒例・成田会見で、魔性のアクセル全開のアントン総帥! 「『猪木ボンバイエ』!? オレが警察に捕まらない限りやりますよ。ンムフフフ!」とアントンジョークをいきなりブッ放し、「新日本が変えないといけないところは?」と質問を浴びせたテレ朝アナに「変わんないといけねえのは、オタクのところだよ!」とテレ朝批判! 「あんな映像じゃダメ!」「名前は? 何年やってんだ!?」のと、タップリとテレ朝アナをイジメたのであった。"神"なら何を言っても許されるというか。ンムフフフ!

【新日本プロレス・無我】
後楽園ホール

ドラゴン 師弟対決を制す!

安田忠夫とのG1出場選手決定戦での、大量出血&鼻骨骨折で欠場を続けていたドラゴンが、「無我」のリングで愛弟子(?)棚橋相手に79日ぶりに復帰戦を行った。師弟対決だけに、ドラゴンバックブリーカー、ドラゴンスクリューなどドラゴン殺法が乱れ飛び、最後は棚橋の決してスープレックスにはいくことがないドラゴン・フルネルソンを藤波がエビ固めで返すという、ゲップが出るほどドラゴンずくめの試合となった。試合後ドラゴンは、「練習不足でスタミナがない。もう1回」と発言。「もう一度完璧にコンディションを作るまで引退しない」が口癖の男だけに、このまま体調不十分のまま、生涯現役を貫きそうなのであった。

【新日本プロレス】

中西、永田に IWGP戦アピール

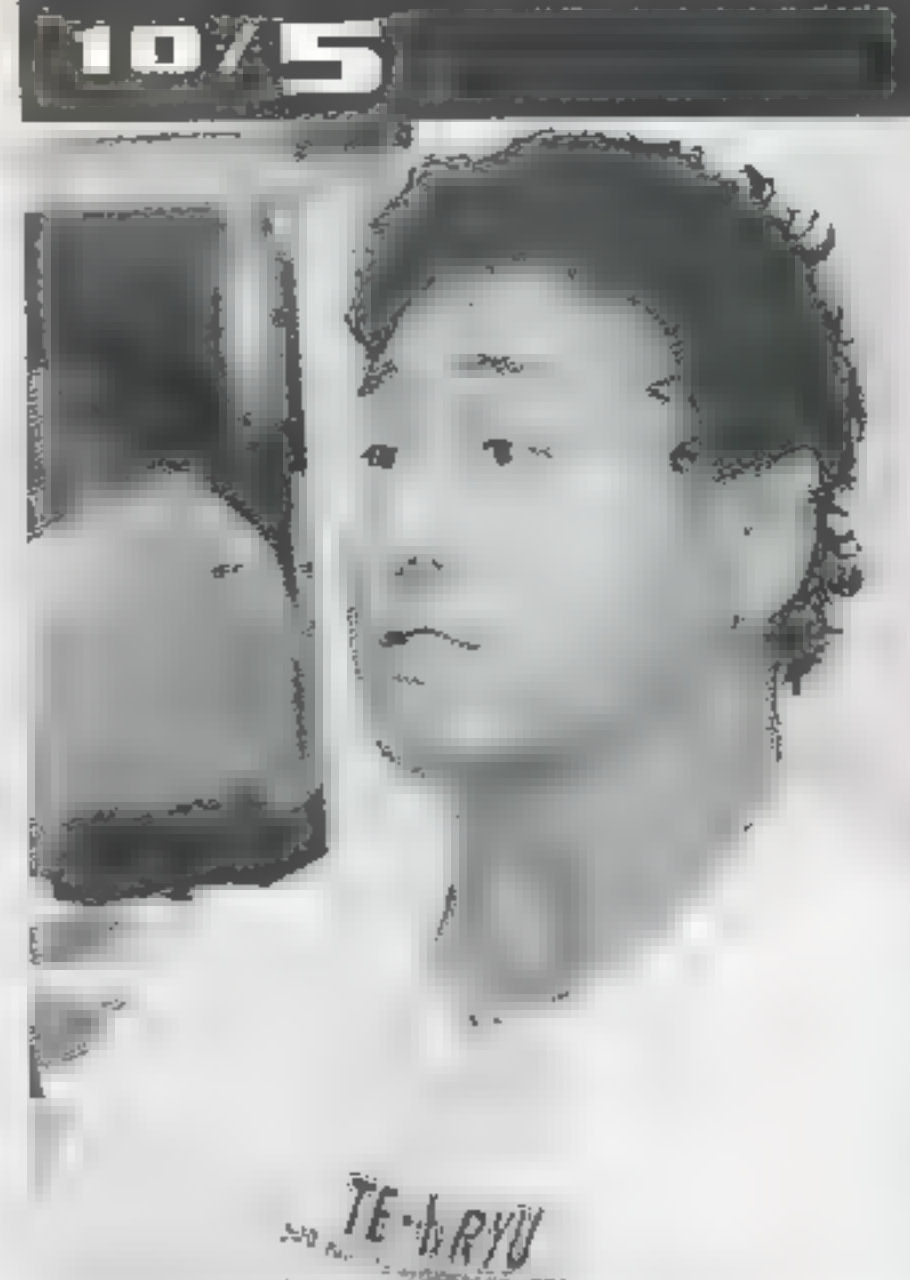
ボブ・サップ戦を前に野人としての本能が刺激されまくっている中西が、無我のリングに登場。無我と言えば、腕一本、足一本取る動きを大事にする理詰めのレスリングが要求されるが、野人だけにそんなことはお構いなし。スピアー、チョップ、マッケンローと無我とはかけ離れすぎな技を連発し、皮肉にもこの日一番の盛り上がりをみせた。最後は田中稔をアルゼンチンで破ると、マイクを握り「永田! お前は藤田に絶対勝て! 俺はサップに勝つ。そしてお前と俺でIWGP戦だ!」とアピール。次期シリーズで蝶野のIWGP挑戦が決定していることなど、野人が理解しているハズもないのであった。

【新日本プロレス】
東京ドームホテル

健介、号泣! 新日本を退団!!

ヴァーッ!! 「鈴木戦、この一戦のためだけに会社に辞表を出します。あいつとの約束を実現するには、こういう形しかない」――"男の約束"のために、佐々木健介が新日本プロレスを退団することを発表した! 会見場に現れた健介は、ライガー戦消滅、そして退団にいたるまでの経緯を涙ながらに説明。退団の理由は「一番は鈴木との試合をするため。そして、もう一つは新日本への不信感」と言い切った

健介退団発表に、蝶野、永田ら激怒!

突然で一方的な佐々木の退団宣言に、選手、フロントの怒りが爆発! 「ここまで言っていいの?」というくらい辛辣な言葉が各人から次々と飛び出した! まず、健介の退団発表会見に立ち会った上井取締役は「辞めるなら辞めるでかまわない」と突き放し、「健介の希望に沿って(対戦を)お願いしたのはうち。ケガをしたからと断ったのもうち。責任を感じたライガーは代役を申し出てくれた。じゃあ、健介はどうしてほしかったのか?」とまくし立てた。
一番強烈だったのが、選手会長・永田裕志。「新日本にクソかけて行った。宣伝でダメージは受けたけど、戦力的には屁(へ)でもない。ドームの対抗戦は出なくて結構。戦力外通告だよ。爆弾投下したつもりかもしれないけど、しょせんはネズミ花火程度。」とぶちまけた。さらに「裏で操ってるヤツがいる。背広着て、たばこ吸って、頭からごま塩をかけたヤツ」と、素晴らしい表現で"黒幕"を糾弾した。いいぞ、永田!
現場責任者・蝶野正洋は「健介の考えとは別のところで動いている人間がいる」と、"黒幕"の存在を暴露! 「ここ数年、プロレス界のトラブルは大体がそいつが原因。オレ以外の三銃士、橋本や武藤もそいつとトラブって新日本を出ていったようなものだ。同じ業界に生きる人間として、これ以上ゴタゴタを誘発することは許せない」と、"黒幕"との徹底抗戦を宣言した。
最後に我らがユニャク社長・ドラゴン藤波は、もちろんダーク・ドラゴンに豹変し「認めん!」とでも叫ぶかと思いきや、「本質は何なのか。どうであれ健介をみんなで応援しましょう。これからもマットに上がる年数が長いんですから」と、ひとり状況が掴めてない様子で、健介にトンチンカンなエールを送る始末。さすがドラゴン。期待を裏切らないのであった。

【全日本プロレス】

天龍、武藤に激怒「三沢たちに全日くれてやれ」

武藤新社長体勢になって初めてのシリーズが後楽園ホールで開幕。新社長・武藤はTシャツ短パンというおよそ社長らしくない格好でリングに上がり、ファンに社長就任の挨拶。試合の方はセミの6人タッグに出場し、シャイニング・ウィザードで白星発進し、試合後は、「ここ数日慣れないことやって疲れたよぉ」と笑顔を見せた。しかし、これに噛みつく男がひとり。もちろんメインに出場した天龍源一郎である。「新生全日本の船出なのに社長がセミのシックスメンじゃダメだろ。こんな適当なことやるようだったら、三沢たちに全日本くれてやった方がいいよ」と天龍らしい、いきなりの激辛コメントを残した。

【ZERO－ONE】

横井宏考、芸人デビュー

前号の情報ページでもお伝えしたが、ZERO-ONE&総合で活躍する横井宏考が念願のお笑い芸人デビューを果たした。会場にはリングス時代の先輩の滑川も姿を見せ、横井のデビュー戦を温かく見守っていた。コメディーユニット『劇団バイタス』の公演に参加した横井は大喜利からコントまで、ほぼ2時間出ずっぱり。最後にはバツゲームで、BEGINの「恋しくて」を1人で熱唱するなど大活躍。ちなみに、メンバーの団ス砲・今野(9月の『DEEP』で滑川トレインの先頭にいたスキンヘッド)はTKのジムで総合を習い、11・10『Club DEEP』に出場するという。お笑いも格闘技も爆発だッ!

【新日本プロレス】

坂口CEOが自社ビル建設計画発表

新日本プロレスが30周年記念パーティーの開会前に会見を開き、5年後の35周年を見据えたプロジェクト「DASH35」の詳細について発表した。これは新日本プロレスが5年後に自社ビル設立、年商50億を目指すことものであり、すでに渋谷、新宿、世田谷などを中心に150坪ほどの土地を物色中という。このプロジェクトの推進委員長である坂口征二CEOは「日本の企業寿命は、30年持てばいいと言われるが、新日本は新たに35年まで頑張っていく」と力強く実現への意気込みを語った。……っていうか、35年までじゃ、余命5年なんですけど

【新日本プロレス】

ドラゴン、健介の辞表「受理しない!」

我らがドラゴンが健介問題について言及。いつ何時でも揺れっぱなしのドラゴンだが、健介から提出された辞表については「受理しません」と断言かつて破壊王が提出した辞表をその場で破る暴挙に出たドラゴンだけに、辞表を燃やすぐらいのことはしかねなかったが、"悩める若者認定者"こと倍賞副社長預かりにしているという。そして、健介については「誰しも一度は迷う」と、健介の気持ちを思いやりつつ、年中迷いっぱなしの自分の行動を肯定した。最後は「あっち行ったりこっち行ったりして、ギャラを吊り上げることはもうできない。正直者がバカを見る時代は終わった」と長州への恨み節(?)で締めくくってくれた。

【新日本プロレス】

蝶野、長州に「テメーが一番金取ってた」

新日本の黒い現場監督・蝶野は、元現場監督・長州力が会見で「公開トークバトルを受けてやる」と語ったことに対して、夜9時から緊急記者会見を開いて反撃。「おれが相手にしてるのは、あくまで"黒幕"。長州力が"黒幕じゃない"って言ったのなら、それまで」と、長州のプランをあっさり退けた。しかし、長州がGKインタビューで大山、真壁に誘いの手を伸ばしたことには「そっちが先にルール違反してんじゃねぇか」と激怒。さらに会見でギャラの問題をしつこく言及していた長州に、「テメーが一番金取ってただろ。だいたい引退した人間が契約してること自体おかしい。非道なことばかりしやがって」と呆れ返っていた

【ZERO-ONE】

ZERO-ONEにチケット盗難事件発生

ZERO-ONE大激震! 10月3日、四日市大会と名古屋大会のチケットが、車上荒らしによって盗まれてしまうという事件がボッ発していた!! 盗まれたチケットは、1100枚ぶん、金額にして700万円相当に及ぶという。ZERO-ONEでは、警察に被害届を提出し、盗難にあったチケットを新規作成することで対応している。ZERO-ONEでは、チケットを購入済みの人に、内容などの確認をしてもらうよう広く呼びかけ、犯人逮捕にむけて情報提供も求めるという。チケットについての問い合わせは、プロレスリングZERO-ONE:03-5730-3401
また、HP上では、盗まれたチケットの番号も表示している。
http://www.01fa.com/

編集スタッフ募集!!

『紙プロ』を作ってる会社(株)ダブルクロスからのお知らせ

『紙プロ』を作っている会社、(株)ダブルクロスでは、業務拡大につき新入社員、アルバイトを大募集します
元気が一番! やる気と根気と元気がある方、一緒に仕事をしましょう!
踏み出せばその一足が道となる、迷わず来いよ、来ればわかるさ! いきますか——ッ!
……というわけで、募集要項、募集項目は以下の通りです

① 紙のプロレスRADICAL編集者

【業務】「紙のプロレスRADICAL」他、小社刊行物の編集
【資格】30歳ぐらいまでの編集者、要普通免許。
【待遇】要相談。能力、経験に応じて優遇します。

② 電気部スタッフ

【業務】紙のプロレスHP、携帯サイト作成とIT関係全般の仕事です
【資格】30歳ぐらいまでのコンピューター関係に強く、プロレス&格闘技に強い関心がある方。「紙のプロレス」をWEB展開する情熱のある方。
【待遇】要相談。能力、経験に応じて優遇します。

③ 編集見習い

【業務】編集雑務、(株)ダブルクロスの雑用全般
【資格】プロレス&格闘技に詳しく、『紙プロ』を作る燃えるような情熱のある方。雑誌作りに生活を捧げる覚悟がある方。要普通免許。大学生、専門学校生可。
【待遇】要相談。

応募要項

履歴書(写真貼付、『紙プロ』購読歴記入)と論文(「最近見た試合(TV可)の面白さを多数の人に伝える文章」400字×2)と自己PRできるもの等を同封の上、11月18日(月)必着で送付して下さい。書類選考の上、面接日時をお知らせします。連絡がいつまでたっても来ない方は、残念ながら予選落ちです。なお、履歴書はお返ししません。

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
「スタッフ募集」係

詳しいお問い合わせは、
03-3403-5188
担当:松澤、堀江

【リキ・ナガシマ企画】

長州力、黒幕説に大反論!

カチ喰らわすぞ、コラァ!! 新日側より、健介離脱の黒幕として揶揄された長州力が怒りの緊急会見! 愛弟子・健介退団への関与を全面否定した! 都内のホテルで会見を行った長州は「オレも永島も健介とは全然、会ってない。猪木さんは、オレのことを黒幕と言っていたが、あなたこそが黒幕ですよと言いたいね」と、裏での繋がりについて、45分間、延々と否定しまくった。しかし、「新日本が、健介に石をぶつけて放り出すなら、おれが拾う」と、健介との合流自体は否定せず! 「(そんな団体であれば)オレのところに来たい選手は来てください」と"誘いの手"をのべることも忘れなかった。それが引き抜きなんだって!

この男、やっぱり凄い!!

靖国神社大会を目指し、"思想のタイガーマスク"が飛来する!!

佐山聡

押忍!!(敬礼)

"1·4事変"の真相も遂に告白!

日本の歴史に捧げられる、247万の英霊に喜んでもらえる

掣圏道が遂に完成いたしました!!

吉田豪
ジャン斉藤

10/8 10/9 10/9 10/13

キミは、掣圏道が遂に完成したことを知っているだろうか？ 熱心なる虎キチなら御存知だと思うが掣圏道のホームページにおいて、初代タイガーマスク・佐山掣圏会館館長が高らかに宣言したのだ。以下が「掣圏道完成」とタイトルされたテキストである

『掣圏道ついに完成します。試合場も発注しました。佐山掣圏道の発進です 理論武装を固めて来た私が創る真の武道です。薬を使わなくても、恐らく日本が世界最強になるでしょう。アルティメットホクシングは、一般のお客に合わせるプロ興業ですが、この本掣圏道はコアな人達を納得させるどころか虜にさせます。タイムマシンを完成させた博士の心境です 今度は10年後でなく100年後に旅立ちます。理論はただ今執筆中ですが、早く知りたい人は直接話してあげます ご連絡ください 町人拝金主義しか理解できない貴方、心配しないでください。見えて無いだけです 明かりをつけてあげます』

どうですか!? 触ったら虜！ タイムマシンである！ 100年先に旅立つのた!! ……とはいえ、詳細がまったく不明なこともあり、100年先なと想像もつかないと思うが、心配しないでください。貴方は見えて無いだけてす 明かりをつけてあげます さあ、佐山館長の言葉に耳を傾けましょう！ 押忍！（敬礼）

—佐山さん！ 掣圏道のホームページを見てビックリしたんですけど、真の掣圏道が遂に完成したみたいですね？

佐山 はいはい、〝本掣圏道〟って言うんですけどね。

—「思想、ルール、宣伝、最強となる態勢、全て私流の試合となります」ってことでしたけど、つまり佐山さんの思想が全面に出たものになるってことですか？

佐山 はい、ホントにボクがやりたかったものになります。その本掣圏道を靖国神社で開催するのが目標ですから（キッパリ）。

—さすがです！ 佐山さんはシューティング時代から「天覧試合をやりたい」って言われてましたからね。

佐山 天覧試合もいいですけど、大東亜戦争で逝かれた247万の英霊の前で、日本がまだしっかりしてるっていうところを見せたいんですよ！

日本男児の闘いを見せたい、と。それって、どんな試合形式になるんですか？

佐山 イメージしてもらうと、まず八角形のマットがあるわけです。リングではなくて畳みたいな試合場ですね。八角形の試合場というのはボクは20年前から使ってますけど、あれは天皇の玉座を表してたんですよ（キッパリ）。

あ、そういうことだったんですか—

佐山 それを、みんな意味もわからず真似してやってるわけなんです。

——UFCのオクタゴンに至るまで（笑）。

佐山 非常にありがたいと思ってるんですけどね（笑）。で、その試合場を松明が灯す中、選手は護身刀を持って試合場に上がり、一刀流の正座で座るんです。試合の合間には、日本古来の剣舞が披露されて、女性が弾く琴の音が流れっていう感じにしようかな、と。鼓も考えてますよ（笑）。

本掣圏道でロシアン・ダンサーは踊らないわけですね（笑）。剣舞といえば、最近は佐山さんも日本刀を持ってリンクに上がられてるみたいですけど。

選手は護身刀を持って試合場に上がり、一刀流の正座で座るんです

佐山 はい。いま、ボクは一刀流の居合いと剣舞を習ってるんですよ。

それをリング上で披露してるわけですね。今度の本掣圏道でも披露するんですか？

佐山 リングを清めるためにやろうと思ってます。他にも、古来からの武道の演武がありますし、日本の歴史に捧げられるような、247万の英霊にも喜んでいただける形式になりますね。

英霊に喜ばれる格闘技にするわけですか！ ルール自体はどうなるんですか？

佐山 グローブが特殊なんで、関節技より投げが主体になってきますね。場外に落ちた場合はポイントが減点されます。寝技は、ヒサから上体を10秒間、抑えれば制圧ということで一本勝ちになります。抑えてる間は殴ってもいいですし、踏み潰しも構いません。

踏み潰しもOKってことは、これも完全に路上での実戦を想定した闘いになるんですね。選手には当然、それなりの思想を求めるとか？

佐山 求めます（キッパリ）。パフォーマンスをやる選手や日本の武士道の思想がない選手は、上がらなくていいということです。

強いだけではダメなんですね。いま掣圏道に出ているロシア人は出られるんですか？

佐山 いや、侍の精神があれば構いません。武道というものは精神性たと思ってますから。その精神理論なくして武道は語れないですし、思想がなければ武道じゃないんです。武道をやってる者にグローバル主義とかは全然、合わないわけですよ。

ターザン山本の口癖で言えば、「グローバル・スタンダードなんか糞食らえですよぉぉぉ！」ってことですね（笑）。

佐山 はい。日本の精神というのは、しっかりとした武士道の崇高な精神がなければいけないんです。ではその精神自体というのが何がということになると、ユングやフロイトなどの精神分析学から遡らないといけないんです。

それで、そっちも一から学習してるわけですね。しかし、ホント佐山さんは実戦性と思想がすべて重なってるから見事ですよね（笑）。

佐山 うふふふ！ 完璧です（笑）。

ダハハハ！ ホント、よくぞここまで到達しましたよね（笑）。

佐山 徹底的にやりましたからねぇ。ホームページ読まれてるそうですけど、あそこに書いてることは難しいでしょ？

正直、難しいです（笑）。

佐山 難しくしたんですもん（あっさりと）。あれ、40ページぐらいの分量を短くしたものですからね。まあ、わかりやすく言うと、つまり精神は脳のメカニズムや自律神経が大きく関係してくるんですよ。たとえば、試合前に交換神経（自律神経に含まれる脊髄神経の一部）を刺激するだけで、選手は悩まなくなるんです。それは侍の世界では黙想したりとか無の世界に入るとか、そういうことにあてはまります。でも、座禅を組んで悟りを開くのとは、まったく意味が違うんです。

どう違うんですか？

人生を賭けてでも、絶対にこの社会をひっくり返します

佐山　最終的な結果は同じとこにぶつかりますけど、侍の精神というのは達観してるってことなんですね。達観というのは、世の中の動きに左右されずにいろんな判断ができるということです。そのために武道をやったり学問をやったりするわけですけど、侍の世界であれば自動的に身に付いちゃうことなんですよ……（以下、ありがたい脳の話がたっぷり続くが、ページ数の都合で泣く泣く割愛）。

――脳といえば、前頭葉に傷が付くとダジャレを連発するようになる「ふざけ症」って症状が存在するらしいですね。

佐山　ああ、前頭葉は思想の方、考える力の方ですからね。

――だから、猪木さんは前頭葉が傷ついてるんじゃないかって噂してたんですよ（笑）。

佐山　あははは！　それはちょっとわからないですね（笑）。学界でそういう発表はないと思いますから。

――それで話を戻すと、その達観した精神を身につけるために今度は本掣圏道をスタートさせるわけですね。

佐山　思想がなければ、本掣圏道はやらせません。思想に共鳴してもらえる人だけに、やってもらいます。

――「この技術と精神を町人拝金主義のバカ共に持ち込む気はありません。さらに磨きと強さを兼ね備え、日本精神復活のために頑張ります」って、ホームページでもキッパリ書いてましたしね（笑）。で、思想的にはかなり右側な格闘結社・田中塾のタナケンこと田中健一さんなんかは、本掣圏道もできるわけですか？

10年先を行く男 佐山聡 掣圏道完成!!

佐山　う～ん、アイツ、いまロシアに行っちゃってるんですよ～ぉ。こっちのほうでね（小指を立てる）。うふふふふー

――あ、ロシアン・ダンサーに入れ込んでますか（笑）

佐山　日本国家じゃなくて、ベラルーシの国歌を流そうとか言ってるからね（笑）。

――ダハハハー！　じゃあ田中健一さんは別として（笑）、他の掣圏道の選手たちで、そういう思想を理解してる選手はいるんですか？

佐山　そうですね。ウチの3人の弟子には、礼儀を厳しく指導してますし、試合前にビビってたら「何ビビってんだ！」って叱りますし、精神的に負けたときや引いてるときは、リング下から怒鳴りつけるときもありますよ。

――佐山さんがシューティング時代に選手をバンバン竹刀で叩いていたのも、選手にそういう精神を叩き込むためだったわけですか？

佐山　あれは情動の感受性を鍛えるためです。ただ、それを戦時中の軍隊的だと言うヤツが日本にはいるんですよ。ハッキリ言って、どこの国でも戦争中であれば将校は厳しいんです！

――当然の話ですよね。

佐山　ただ、ボクは選手が試合に負けても何も言わないですからね。だって、ウチの弟子なんて前日に対戦相手がわかるようなことがしょっちゅうなんですよ。

――「興行的に何故宣伝しないのかとよく皆さんに指摘されますが、皆さんに知らせたくとも、対戦相手が三日前まで決まらないので、宣伝が出来ず、どうしようもないのです」ってホームページでボヤいてましたけど、それが掣圏道の凄いところですよね（笑）。

佐山　たから、達観してなければ闘えないんですよ。

――佐山さんが昔から「どうでもいいで～す」とか言っていたのも、もしかしたら達観していたからなんですかね（笑）。

佐山　そうなりますね。ちっちゃいことにクヨクヨ惑わされてると脳がパニック状態になって、正確な判断ができなくなるんですよ。達観して判断する方が自律神経か安定しますし、交感神経が上がりますからね。

――だったら「どうでもいいで～す」と思うことが重要だ、と。

佐山　戦前ならいざしらず、いまの日本人は達観することができないんですよ。たとえば、いまの若いヤツらなんて、戦争で爆弾をドカーンと落とされたらビビるわけですよね。でも、外国の軍隊のやつは全然、ビビらないですからね。

――そうなんですか？

佐山　でもですよ、昔の日本人もビビらなかったんですから。（神風）特攻隊なんかは、あと10機あればアメリカ軍は逃げていたかもしれないと言われるぐらい怖がられていたわけですよ。特攻隊は、父、母、ファミリーに銃口を向けられたくないために散っていったんです。彼らたちは、最後に「これからの日本を頼むぞ」という言葉を残してるわけなんです。特攻隊だけじゃなくて、各戦地で玉砕された方々もそう。昔の日本人は家族のために、何事にも恐れない精神を胸に抱いていたわけです！　その247万の英霊に恐れをなしたからこそ、アメリカ軍は日本に進駐してきたときに優しかったんです。「アメリカ軍のほうが正しかったから優しかった」とか言ってるヤツがいますけど、バカですよ！　そういうヤツを絶対にオレは許さない。白人主義のもとに植民地化されて、日本軍部のことを悪く言われる社会なんてガマンができない！　我々の祖先がやってくれたことに対して裏切ることは絶対、できないです。オレは人生を賭けても、絶対にこの社会をひっくり返してみせます！

――しゃ、社会をひっくり返す！で、その第一歩が本掣圏道ということになるわけですか？

佐山　本掣圏道の思想と共に日本の歴史が理解できますし、武道精神を意識することによって選手も強くなるわけですよ。だって、こういう話を聞くと、勇気が湧いてくるでしょぉ？

――なるほど（笑）。ちなみに佐山さん、小林よしのりさんは好きですか？

佐山　好きも嫌いも、会ったことないからね。ただ、作品はいいですよ。あの人が言ってることは昔から右翼が言ってることですけど、マンガにするということはいいんじゃないですか？

――そんな小林よしのりさんの愛国的な著書がいまベストセラーになっていることも含めて、佐山さんはいままで「10年早い」と言われてきたわけですけど、思想的にも10年早かったんだと思いますよ。

佐山　これはもう、1000年

10/13　10/9　10/9　10/8

早いですよ（キッパリ）。
——1000年ですか！　それとは対照的に、10年以上前に佐山さんが一度決別したプロレスは、いま順調に順調に衰退しつつあるわけですけど。
佐山　全然、見てないんで、わからないで～す。
わかりませんか（笑）。そんな状況下で、佐山さんが新しいタイガーマスクを誕生させるって噂を耳にしたんですけど。
佐山　はあ？
——いや、新タイガーマスクが登場する云々ってホームページに書いてたじゃないですか。
佐山　ああ、それは本掣圏道における象徴ですよ。
——は？　タイガーマスクが思想的な象徴になるんですか!?

【94年5月1日・福岡ドーム／ライガー戦】遂に佐山担ぎ出しに成功した新日本だが、いまとなってみれば、触ってはいけないものに触れてしまった感が拭えない

ライガーはやられると思ったんじゃないですか。あはははは！

佐山　いやいや、お飾りみたいなもんですよ。そうしたら、みんなも注目するかなと思ってね。
それはつまり、思想的な意味でのタイガーマスクが誕生するってことですよね？
佐山　思想的というか、思想のタイガーマスクです！（キッパリ）
——ダハハハハ！　それは画期的すぎです（笑）。
佐山　それは、「ウインズ・オブ・ゴッド」という名前にしようと思ってるんですよ。つまり、カミカゼですね。
カッコイイじゃないですか！
佐山　それでリングに上がってもいいですよ。でも、ウインズ・オブ・ゴッドじゃあ、お客は来ないかなぁ。うふふふー
初代タイガーマスクとしてのカウントダウンは、いまどうなってるんですか？
佐山　いや、始まってないですよ（あっさりと）。
え～っ!?　やってませんでしたっけ？
佐山　また、なくしましたから（あっさりと）。
ダハハハ！　いつの間に（笑）。
佐山　というか、できればこのまま消えていきたいというのがあるんですよね（笑）。
佐山さんは闘うことへの意欲がホント、すっかりなくなりましたよね（笑）。
佐山　歳も歳ですからねえ、
東京プロレスでブッチャーとかと試合してるころからないとは思ってましたけど、それが完全になくなったのはいつ頃だったんですか？
佐山　（新日で）タイガーマスクを辞めたころからないですねぇ。
え!?　じゃあ旧UWFも含めて、それ以降は頼まれてやってるだけだったんですか！　実は、その惰性でやっていた時期のことについていくつか確認したいことがあるんですよ。佐山さんは最近、あまりプロレス関係の話を語りたがらないのは承知した上なんですけど。
佐山　いやいや、そんなにイヤじゃないですよ。
そうですかー　それならまず、佐山さんが総合格闘技を作る引き金になったのは、マーク・コステロ戦（77年11月14日／日本キックボクシング［格闘技大戦争］日本武道館）を新日時代のある先輩に酷評されたのがきっかけだったのは有名なんですけど、ズバリ言ってそれは誰なんですか？
佐山　言わな～い！　かわいそうですからねぇ（かわいらしく）。あはははは－
イニシャルだけでも（笑）。
佐山　いやいや、どっかで見てるかもしれないから。
まだ新日本にいる人なんですか？
佐山　いまはカタギになってますね。でも、その人のおかげで奮発したわけですから。
その先輩がいなかったら、佐山さんがいまだにプロレスをやってたかもしれないわけですからね。
佐山　その可能性もありますよ。他のみんなは「よく頑張った」って言ったんだから。
でも、実際にビデオを見たら佐山さんが頑張ってるんでビックリしたんですよ。ボロボロにやられたって報道されてるのに、実は佐山さんがバンバン投げまくっていて。
佐山　頭から落とそうと投げても、なかなか落とせなくてね。綺麗に投げようとすると頭から落ちることがわかって、それはそれで勉強になりましたね。もともとは、どうやって打撃系の選手にタックルを入るのかを学ぶためにキックボクシングを始めたんですけどね。
あと、ビデオには入ってなかったんですけど、佐山さんはコステロの腕関節を極めるという反則を犯して、テレビ放映でカットされたわけですよね（笑）。
佐山　そうなんですよぉ！　テレビを見たらカットされてるから愕然としちゃって。まあ、どうでもいいんですけどねぇ（笑）。
ダハハハ！　それで佐山さんがタイガーマスクをやめて、シューティングを設立し、久しぶりに新日に復帰を果たしたのは獣神サンダーライガー戦（94年5月1日／福岡ドーム）のときでしたよね。あのときは佐山さんの出場が決定してから、すごいゴタゴタしてたと思うんですけど。
佐山　ええ、ゴタゴタしてましたねぇ（人ごとのように）。
明らかに揉めているのが雑誌を見ているだけでもすごく伝わってきたんですよ。
佐山　あれ、最初はエキシビジョンマッチという話だったんですけどね。
——ところが、新日本サイドは「試合」という形で発表したわけですよね。
佐山　そのことに対して怒っていたわけですよ。エキシビジョンマッチなのに、なんで試合になって

【99年1月4日・東京ドーム／橋本真也vs小川直也終了後の乱闘】人数では絶対的不利であったUFO陣営だが、佐山、ゴルドーがその差を感じさせない奮闘振り。というか、この2人には手が出せなかった？　左は試合を観戦するアントン総帥

10年先を行く男 佐山聡 掣圏道完成!!

本当は猪木さんが、収拾に入るはずだったんです。ボクもあそこまでなると思わなかったし、参りましたよぉ。

んだと。それに対して抗議すると、新日側は「それは発表だけのことだから」って言うんですよ。おかしいでしょ？（笑）。

――ダハハハ！　それは、どう考えてもおかしいですよね（笑）。

佐山　あのときの窓口は永島（勝司）で、別に悪いヤツじゃないんだけど、アイツにとってのちょっとした引っ掛けというのは、選手にとってはすごい引っ掛けなわけ。

――そのときも背広レスラーが絡んでいたんですかー　そんなピリピリした状況下で佐山さんは、「福岡ドームまでに20キロ減量する！」と宣言したかと思えば、「4日間の山籠もりで10キロ落としたんですが、東京に来てまた太りました」とか言い出したりで、達観してるからなのかマイペースだったわけですけど（笑）。

佐山　いや、あれはケガしていたからね（笑）。

――そして、ルールも試合形式も不明のまま試合当日を迎える異常事態になって、前から佐山さんもプロレスラーとしての復帰を暗に拒否して「空中戦より格闘技できてほしい」とライガーさんに言ってたし、ライガーさんも雑誌で佐山さんに噛みつきまくっていたりで、エキシビジョンでも何かが起こるんじゃないかと思っていたんですよ。

佐山　あれ、ライガーは知らなかったんだよね。永島（勝司）が裏でどう動いていたかなんて。

――「練習していれば、そういう体にならないんだから、サボった結果なわけでしょ？　これが正式な試合ということになったら、負けられない。9年間サボっていた人に負けたら、僕は辞めます！」「降り掛かってくる火の粉は払いますよ！」とか吠えていたのは、試合がそっちに転ぶ可能性があると理解した上じゃなかったんですか？

佐山　いや、違う違う。ライガーはね、試合の宣伝のために言っていたの。

――あ、その揉め事自体がアングルだと思っていたわけですかー

佐山　後から謝ってきましたけどね。うふふふー

――でも、裏事情を知らないとはいえ盛り上げるつもりでライガーさんが吠えていたら、佐山さんからすると当然、面白くはなかったわけですよね。

佐山　何を言ってるんだと思ってね。だから当日になって、「それだったら、コレでいきますよ」って言ったんですよ（シュートサインをしながら）。うふふふ！

――ダハハハ！　そう新日側に伝えたんですか!?

佐山　うふふふふ！　言いましたよぉ。「そうさせていただきます」って（爽やかに）。

――ダハハハ！　そんな状態だから当日までルールも発表できなかったわけですね（笑）。

佐山　ルールは何でも良かったんだけどねえ、とにかくやってやるって（再びシュートサインをしながら）。

――「お願いしま～す」と（笑）。

佐山　ボク、足をケガしていたけど、こっち（シュート）は大丈夫たと思ってましたから。あははは！

――達観してますねえ（笑）。

佐山　でもね、新日側が「とにかく控室に来てくれ」ってことでね。オレは説得してくるんだと思ったから、「行かない」って突っ返したの。

――やっぱり凄いですね、佐山さんは（笑）。

佐山　あははは！　本当にやるつもりでしたからぁ。

――それでも、どうにか収拾がついたわけですか？

佐山　そうなんですよぉ。どういう理由か忘れたけど、ライガーと会ってね。そしたら「違うんです！」って言ってきたの。

――それで、永島さんの単独犯だというのがわかったんですね（笑）。

佐山　「そうか、この親父、やりやがったなー」って。うふふふー

――「このタヌキが！」と（笑）。最近ようやく、外部との交渉で揉め事を起こすのは全部永島さんのお陰だったって明らかになってきましたけどね（笑）。

佐山　だけど親父も、憎めないヤツでしょ？　昔から知ってる人間だしね。

――永島さんが『東スポ』記者だったころからの関係なんですよね。

佐山　まあ、全部真相がわかって「わかりました。じゃあ、適当にやりましょう」ってことになったんですよ（笑）。

――それで佐山さんはリング上で、ずっとニヤニヤしてたわけなんですね（笑）。

佐山 そうなんですよ〜っ（笑）。だって、客に試合だと思われたらさ、バカみたいじゃない。だから、ボクは後で「新日本のリングで試合じゃなくて、芝居をやってきました」って言ったの（94年5月6日／修斗・後楽園ホールでの挨拶）。だって、試合じゃなくてエキシビジョンなんだから。

——でも、えらい緊張感のあるエキシビジョンでしたよ（笑）。

佐山 あっちは、やられるんじゃないかと思ってたんじゃないですか。あはははは！

——なるほど！ その後、実際に小林邦昭さんとのドリーム・エキシビジョンマッチでは、虎ハンターをキック一発で逆にKOしちゃうわけですよね（96年9月26日／修斗・駒沢公園体育館）。あのときは現場で見てましたけど、みんな「絶対、佐山さんが仕掛けた」って言ってましたよ（笑）。

佐山 いやいやいや、あれは違うんですよ〜ぉ！ ホント、違うんです！ だから申し訳ないと思って、そのお返しで新日本に上がったの。

——タイガーキング誕生は、そんな理由だったんですか（笑）。でも、新日本サイドの不信感は凄かったんじゃないですか？

佐山 そりゃそうでしょう。だって、凄いKOだったんだもん。しかも、ライガー戦でいろいろあったあとのことですからねぇ。

——「またやりやがったな」って絶対思いますよね（笑）。お詫びの気持ちでタイガーキングとしてリングに上がっても、絶対に信用はしきれない。そんなときに、今度は小川さんの1・4「目を覚まして下さい」事件（99年1月4日／東京ドーム・橋本真也戦）が起きるわけじゃないですか。

佐山 （頭を抱えながら）あれ、ボク、知らなかったんですよ〜ぉー

——え〜っ!? 本当に知らなかったんですか？

佐山 知らなかった、知らなかった（苦笑）。ボクも「やりやがったな」って思いましたから（笑）。あはははは！

——でも、佐山さんは明らかに一枚噛んでる動きをしてたじゃないですか？ レフェリーが橋本さんに蹴られて場外に出たときに、試合を終了する合図が出せないよう腕を捕まえてみたりとかして（笑）。

佐山 いや、違いますよ〜（笑）。あれ本当は、半ガ●ンコでやるはずだったんですよ。

——は、半ガ●ンコですか!?

佐山 そう、半ガ●です。つまり、新日本をストロング・スタイルに戻すための試合だったんですよ。結局、仕掛けすぎたから、新日本は更に変な方向に行っちゃいましたけど。あのころはみんなハイスパートだったでしょ？ オーちゃんも毎試合、それをやるように言われていたけど何もできなくてかなり参っていたの。それで「今回は何も聞かない」という話を新日サイドにしてたんですよ。

——なるほど。本来ならハイスパート・レスリングの悪しき流れを断ち切るために、目を覚まさせようとした試合だったんですね。

佐山 でもね、大阪（98年12月30日／UFO・大阪城ホール大会）から帰りの新幹線で、コレ（アゴをさすりながら）にオーちゃんが命令されたの。「やれ」って（シュートサインしながら）。

——そこで猪木さんが指令したんですね！ そのとき佐山さんはいなかったんですか？

佐山 ボクはいませんでしたよ〜ぉ。

——でも、当日には「今日は仕掛ける」って佐山さんにも伝わっていたわけですよね？

佐山 いやいや、あくまで半ガ●ンコってかんじですよ。

——ああなることを想定した上で、用心棒としてゴルドーを呼んだんじゃないんですか？

佐山 いや、ボクはゴルドーが何でいるのかも知らなかったんですよ。

——猪木さんが、それを知った上で呼んだわけですかね（笑）。そして、あそこまでの事態になったから、猪木さんは逃げ出しちゃったんですか？

佐山 うん（キッパリ）。

——ダハハハ！ やっぱり猪木さんは面白いなぁ（笑）。

佐山 あははは！ 面白いよね。逃げるもんねぇ（笑）。……あ、本当は猪木さんが、まとまりつかなくなったら収拾に入るはずだったんですよ。あははは！

——あのとき猪木さんは、「1、2の三四郎」のお面を被って観てましたけど、本当はそうなるはずだったんですか！

長州がボクを避けるんですよ。ボクがやらせたんじゃないのにぃ。うふふ！

佐山 もうちょっと違う展開でゴチャゴチャしてるとき、猪木さんが入ってくるはずだったんですよ。だから、橋本の汚い逃げ方は許さないぞってことで、オレがレフェリーを抑えたんです。だって、あのまま終わったらつまらないでしょ？ 橋本だって強いんだしねぇ。

——そうですね。佐山さんの想像すら超えていたからこそ面白かったんだと思います（笑）

佐山 あそこまでになると思ってなかったですからねぇ。ホント、参りましたよぉ！ うふふふー

——あのあと、猪木さんに代わって長州さんが登場したわけですけど、佐山さんは「長州も初めから知っていた」とウチのインタビューで言われてましたよね？

佐山 そうでしたっけ？ いや、長州は知らなかったと思いますよ。だから長州は、ボクがやらせたと思ったんでしょうね。あのあと控室の通路でバッタリ会ってボクが睨んだら、グーンと遠回りしてるんですよ。ホントに困りますよ〜ぉ。あははは！

——長州さんは逃げましたか（笑）。

佐山 新聞記者の人たちがいたから笑顔なのもおかしいんで、わざと怖い顔をつくったんですよ。そしたらホントに逃げるんだもん。ボクがやらせたんじゃないのにぃ。うふふふ！

——でも、あの場での佐山さんの活躍を見てて、やっぱり場慣れしてるなあと思いましたよ。人数的には新日サイドに負けていても、達観した態度で対処していたじゃないですか。

佐山 ボクが一応、（UFOの）責任者でしたから、収拾をつけないと。

——本当は猪木さんの役割だったんでしょうけどね（笑）。その後、あの試合について〝フライデー〟で、「橋本もああなるのがわかっていたから身体にオイルを塗っていたんです」と佐山さんは暴露するわけですが。

佐山 ああ……。UFOが生き残るためには、そうやったほうが宣伝になるでしょ。暴露したわけじゃないですよ。あそこでボクがホントのこと言っちゃうと、UFOの宣伝にならないですからね。……すべて達観ー

——ダハハハ！ 昔から達観してたんですねぇ（笑）。

佐山 ホントに達観してるかどうか知らないけど、どんな状態になっても侍精神ですよ。

——最初に虎の仮面を脱いだ頃から、達観してきたような感じがしますよね。

佐山 あの頃は、いろいろありましたからね。新日本のクーデターがあり、

マネージャーとのゴタゴタがあり、旧UWFでのゴタゴタがありで。

佐山　ホント、バカみたいと思ってね。日本人に自殺が多いのや、女性が自分の子供を殺す率が世界一高いのは、日本に宗教心がないからですよ。周りが悪いじゃなくて、世の中が悪いんだと思えば、簡単に達観できますよ。何が起こっても平気だと思いますよ。

達観してるからこそ、佐山さんは揉めても引きずらないでしょうね。猪木さんと揉めても全然引きずらないし。

佐山　あっちは引きすってるかもしれないですけど。うふふふ! でも、人間は悪くないですから。

でも、猪木さんの考え方とは絶対合わないですよね?

佐山　絶対に合わないですけど、ボクの先生ですからね。

しかし、この佐山さんが猪木さんと一緒に行動していたのがどんなに奇跡的なことだったのかと、いまさらながら思いますよ。ここ何年かのプロレス界で一番面白かったのは、猪木さん、佐山さん、小川さんの3人がいろんなことをやって『東スポ』の一面を飾り、それが1・4にまで至るっていう流れでしたからね(笑)。

佐山　ああ、いろいろやりましたねぇ(しみじみと)。

——そんな愛弟子の小川さんが、かつて潰した橋本選手といまはプロレスに専念してるわけですけど、そのことについてはどう思いますか?

佐山　とてもいいこと!

実際、もともとプロレスラーになるために入ってきたのに、猪木さんから違う道をつくられちゃた感じでしたもんね。本人にしてみれば、「なんでオレが『PRIDE』に出なきゃいけないんだ!」っていう。

佐山　そうそうそう。だから、いいことだと思いますよ。上手く行ってほしいね。関わった人間にはうまくいってほしい。

佐山さんに関わった人間すべてというと、たとえば修斗の人も含めてですか?

佐山　すべて。全員うまく生きてほしい。

いまだに佐山さんが修斗を抜けた理由は公にされてないですけど、聞かれたときには何て答えてるんですか?

佐山　真相は言えないでしょう。まあ、アイツらは上下関係をつくってこなかったし、思想的なことをやってこなかった。事情は言えないけども、うまく生きてほしい。それだけですよ

ホントに後輩思いですね。

佐山　アイツらが悪いんじゃないですよ。日本の教育が悪いわけですよ。キミは宗教やってる?

——ないです。

佐山　キミは?

担当編集・斉藤　ないです。

佐山　世界にこんな国ないよ! これがアメリカの占領地政策の現状なんです。マッカーサーは一千万冊のキリスト教のバイブルを軍艦に積んでやってきたんですよ。それで韓国はキリスト教になっちゃったけども、日本はならなかった。それは精神が強かったからだけど、そのかわり何にもなくなってしまった。ヤツらがかわいそうなんじゃない。この世の中が悪いんです!

そういった世の中を変えるために佐山さんは選挙にも出馬されたと思うんですけど、もうそういう思いはないんですか?

佐山　ないない。選挙でいくら言ってもダメ。しかも受かったところで何もできない。

——実際、そうでしょうね。

佐山　オレが総理大臣になったところで何もできない。むしろ、世論を動かした方が勝ちじゃない。世論を動かすためにはそういう団体をつくって、そういう思想の人間を集めるのがいい。選挙に出たのは早まったと思いましたよ。

「暴走族は撃ち殺せー」と訴えても、通じなかったと。

佐山　殺せばいいんだよ、うん(あっさりと)。何人か殺せば、大人しくなるでしょう。

いまの佐山さんはシューティングから、本来の意味のシューティング(射撃)の方に興味が移りつつあるみたいですよね。

佐山　プロレスラーにしてもそうですけど、いくら強いとか言ったってこれ(ピストル)には勝てないですからね。

どんなに強いと思った選手でも、リングに降りてヤクザにピストルを突き付けられたら弱かったわけですか?

佐山　そうですね。どんなにリング上で強い選手でも、リングを降りても強い選手はいなかった。見たことがない、ちゃんとしたの(キッパリ)。

誰もいないですか!

佐山　……あ、ないって言っちゃいけないな。あはははは! まあ、リング上の強さとリング降りたときの強さはまったく関係ないと思いますね。かえって弱いです。健全なる肉体には健全なる精神が宿るというのは嘘。健全なる肉体と精神が両方合わさってこそ、健全なる精神が宿る。それなのに、どうやったらお金を稼げるとか、どうやったら雑誌に載るかとか、どうやったら女の子にモテるかとか、そういうことしか考えてない。そんなヤツらが戦争にいけるかっていったら、絶対に行けないです!(キッパリ)。

スポーツはできても、本当の闘いはできない、と!

佐山　だから、戦争に行って戦える精神を持った人間になってほしいですね。どんな爆弾が落ちても、仲間の首が吹っ飛んでも、強い精神力を持って突っ込んでいける人間にね。そんな精神力を養うためにあるのが、本掣圏道なんです。

本掣圏道の精神についてはそれぐらいにして、技術の方はどうなんですか?

佐山　いま、掣圏道の選手が新しいパンチを使ってますよ。

「未来を打つアッパー」とか「タックラー」とか「ロシアン・フック」とか、ボクは佐山さんの言語センスが大好きなんですけど、その新パンチの名前は?

佐山　これは「スワン」という名称が付いてるんですよ。

ス、スワンですか!

佐山　白鳥が羽を広げるみたいなフォームなんですよ。

華麗な技なんですね。

佐山　インパクトは華麗ですよ。瓜田(幸造=掣圏会館)がその「スワン」で何人もKOしてますよ。今年に入ってから10連勝ぐらいしてるんじゃない?

10連勝!? 全然、マスコミには伝わってないですけど、凄いじゃないですか(笑)。逆に、最近の総合格闘技界について佐山さんは御存知なんですか?

佐山　いやあ、まったく見てな

写真・右が掣圏道スーツ着用のタイガー、写真・左がSAプロレスに登場した佐山仮面だ! どちらもビジュアルインパクト大。本掣圏道の象徴となるウインズ・オブ・ゴッドも楽しみだ!

10年先を行く男 佐山聡 掣圏道完成!!

いですからねぇ。

――でも、『Dynamite!』は見たらしいですね。

佐山　ボブ・サップvsノゲイラを見ましたけど、完璧に負けていたね、ノゲイラ。3点ポジションのヒザ蹴りOKだったら、もうオシマイだったね。

――そうでしょうね。

佐山　ノゲイラも、打撃をもっとやれば勝てると思いますけどね。サップには、ボブチャンチンとかが面白いんじゃないですか？

――いや、ボブチャンチンは最近不調で、この前も負けちゃったばかりなんですよ。倒したのはクイントン・"ランペイジ"・ジャクソンという選手ですけど、知ってます？

佐山　……誰？

ホント、総合格闘技にはもう興味がないんですね（笑）。

佐山　興味ないですよぉ（爽やかに）。

ダハハハ！　本掣圏道によって「薬を使わなくても、恐らく日本が世界最強になるでしょう」って言われてましたけど、実際にいまの総合格闘技って、ある種ドーピングや興奮剤を使った人が最強っていう世界じゃないですか。それを佐山さんがひっくり返してくれることにも期待してるんですよ。

佐山　本掣圏道は武道ですからね。徹底的にやりますよ！

――で、『Dynamite!』が盛り上がって以降、今度は純・総合格闘技が終わったとか言われてるんですよ。ああいうものが別枠でできちゃうと、体重制限やら競技的にキチンとやってスケールも小さくなっていくしかないだろうっていう。

佐山　ああ、そうですか（興味なさそうに）。

それって、つまり佐山さんが10年以上前にシューティングでやってきたことじゃないです

本掣圏道をやるときには、日本刀が似合う体型になってます。うふふふ！

本掣圏道を深く知るには、掣圏道HPにおいて佐山館長が綴る「VOICE OF TIGER MASK」は絶対に見逃せない　取材後の数日後にも、「試合毎にスポンサー表示させる着物姿の女性が舞台にあがります」―佐山もお爺さんみたいなことやりだしたかと、思う人もいることでしょうが、私が目指しているのは実戦です」と、大会開催に向けて燃える檄文がアップされた

か。だから、10年も経たないうちに本掣圏道の時代かやってくると思いますよ（笑）。

佐山　でも、こっちは思想だから。プロも出るかもしれないですけど、思想がないと出さないですし。

本掣圏道は、観る側も緊張しそうですよね（笑）。

佐山　羽織袴じゃないと観戦できないとかね（笑）。みんなが着物を着る時期にやるのも面白いかなと思ってるんですよ。

――というと、来年の正月あたりに発進予定ですか？

佐山　12月か1月ですね。アマチュアの大会になりますから、チケットは安いです。靖国でやるときだけ高くしようかなと思ってますけど（笑）。

目指せ靖国神社ですか―

佐山　やっぱり、英霊のためにやってあげたいよね。命を懸けた英霊をボクたちは裏切ってないよって。裏切らない魂があることを見せてあげたいですね。そういう

――期待してます！　そういう侍スピリッツといえば、佐山さんがトム・クルーズの映画（『ザ・ラスト・サムライ』）のオーディションを受けて合格したという衝撃的な話を聞いたんですけど（笑）。

佐山　あああ～っ―　いや、ボクは「イヤだ」って言ったんですよぉ―（汗）。

佐山さんが映画のオーディションを受けるなんて感動的ですよ―

佐山　いやいや、「誰でも受けるし、渡辺謙も受けるから」って言われたんですよ～っ。

渡辺さんも合格したんですよね。実際、佐山さんもイヤイヤ受けて合格したんですから凄いじゃないですか！

佐山　でも、2ヶ月間でギャラが●万円とか言ってるから、冗談じゃないと思って（笑）。

それでハリウッド進出はあきらめた、と（笑）。

佐山　あきらめましたよ。それにボク、俳優の資質ありませんから。あははは！

「六本木ソルジャー」（真樹日佐夫・原作）で主演されてるのにですか？

佐山　ウワーッ！（笑）。ちょっと、やめて―　その話はナシにしましょう！

ダハハハ！　触れたくないんですか？（笑）。

佐山　ボクの大根役者振りがわかっちゃうからね―　うふふふ―　とにかくその話はやめましょう（笑）。

じゃあ最後に思いっ切り話を変えて、佐山さんが新しいダイエットを始めたと聞いたんですけど。

佐山　ああ、はいはい。ボクがやってるダイエットは確実です。ボクはここ2ヶ月半で、15キロ痩せましたよ。何もしなくてもみるみる痩せるんです。しかもリバウンドしないんですから。

――どんなダイエットなんですか？

佐山　天然のミネラルによるダイエットになりますね。ミネラルの玄米をかみ砕くんですよ。

ミネラル革命ですね（笑）。

佐山　ボク、スゴク太っていたんですよ。えっとね、115キロぐらいあったのかな？　あははは！

完全にヘビー級じゃないですか（笑）。それがジュニアぐらいまで落とせそうなんですか？

佐山　なれるなれる―

本掣圏道が開催される頃には、日本刀の似合うスリムな佐山さんが見られるわけですね（笑）。

佐山　そうそうそう。一刀流の日本刀が似合う体型になりますよ。うふふふ！

そちらも楽しみしてます（笑）。今日はありがとうございました！

【02年10月10日／「キャピタル東急」にて収録】

10年先を行く男 佐山聡 掣圏道完成!!

本掣圏道の濃さは
こんなもんじゃない!
深く知りたい方は
さっそく入門、
HPにアクセスだ!

http://www.seiken-do.com/

「掣圏会館 本部道場」
東京都昭島市大神町1-2-22
トータルエネルギービル1F
TEL.042-544-6979

9.29 PRIDE22

日本勢5戦全敗 ならば今こそこの男にチャンスを！

「出撃準備とっくに完了！」

「元Uインター、元付き人として、高田さんの引退試合に花をそえたいよ」

金原弘光
KANEHARA HIROMITSU

日本勢にとって背水の陣のはずだった9・29「PRIDE・22」。しかし、結果は無惨な5戦全敗に終わってしまった。頼みの桜庭和志は負傷欠場中。「PRIDE」はこのまま外人天国となってしまうのか……？ いや、ちょっと待て！ ひとり忘れちゃいませんか？ 長らく不遇の実力者と言われたこの男を。さぁ、いまこそ金ちゃんの出番だ！

聞き手／堀江ガンツ　撮影／森鷹博　試合写真／平工幸雄　designed by ZERO graphics

——さぁ、今日は金原さんがいよいよ復帰に向けて練習にも熱が入っているということで、お話をうかがいに来ました！

金原　…………。

——あれ、どうしたんですか？

金原　練習はいいんだけどさぁ、肝心の試合が決まらないんだよねぇ（しみじみと）。

——あ、まだ決まらない（笑）。

金原　なんで決まらないのかなぁ。『紙プロ』の力でなんとかしてよ！

——なんとかしてって言われても、ウチにできることはインタビューで煽るぐらいですから（笑）。

金原　『PRIDE』参戦の機運が高まるように、ホント頼むよ〜。

——わかりました（笑）。では、今日は大橋ボクシングジムでの練習を取材させていただきましたけど、大橋（秀行）さんのジムにはよく行かれるんですか？

金原　うん、よくいくよ。5月から練習始めて週2〜3回ぐらいかな。

——大橋ジムに通いだしたのはUインターの頃からですか？

金原　うん。大橋さんと高田（延彦）さんが仲良くて、高田さんに紹介してもらってチャンプア（・ゲッソンリット＝ムエタイ選手）とやる前によく通ってたのよ。当時はちょうどUインターに打撃のトレーナーがいない時だったからね。リングス時代は道場にタイ人のトレーナーがいたから通ってなかったんだけど、今回リングスがなくなって、打撃の練習するとこないし、「さあどうしよう」って考えた時に「大橋さんとこしかないな」って。

9月の『PRIDE』に出られると思って、Tシャツまで作ってたんだよ（苦笑）

——Uインター時代のつてみたいな感じで。

金原　そうそう。大橋さんに「またお世話になります」ってお願いしてね。いまはボクシングジムなのにサンドバックもバシバシ蹴らしてもらってるよ（笑）。

——大橋ジムは他にもUインターの選手で通っていた人はいるんですか？

金原　（山本）喧一ぐらいかな。あとは、パンクラスの選手とか宇野（薫）クンとかも通ってるって言ってたけどね。

——金原さんは今年の2月にリングス最終戦で試合して以来、リングから遠ざかっていますけど、いま体調の方はいかがなんですか？

金原　体調？　9月は最高に良かったんだけどねぇ（苦笑）。

一般練習生に交じって、ただ一人ムエタイトランクス姿でボクシング練習に励む金原。スタントの打撃で外人選手に打ち負けない技術は、金原の大きな武器だ

——あ、9月は良かった（笑）。

金原　9月の『PRIDE』は名古屋で地元だったからさ、お呼びがかかると思ってバッチリ練習してたのよ。だから9月はもう最高にいい仕上がりだったんだけどねぇ……。

——いざ、『PRIDE』のカードが発表されたら名前がなかった、と（笑）。

金原　もう、ガックリ来たよね。9月の後はしばらく泣いて、引退しようかなと思うぐらいどうしようって感じだったもんね。

——そこまで思いましたか！

金原　だってさぁ、「復帰戦は9月の名古屋だ」って自分の中では決まってたからさぁ、知り合いにも「名古屋で試合やる」って言っちゃったのに、いつまでたってもオファーが来ないのよ（苦笑）。知り合いの中には俺が出ると思って、2万5千円のチケットを20枚以上買ってた人もいてさ、「どうしてくれるんだ」なんて言われてね（笑）。俺に言われても困るんだけど。

——でも、金原さんが「出る」って言っちゃったんじゃないですか（笑）。

金原　そうなんだけどねぇ（笑）。俺なんかも『PRIDE』に合わせて、9月の始めから10日間ぐらい、伊藤（博之＝元リングス）を連れてタイにトレーニングキャンプ張りに行ってさぁ。お金かかっちゃったけど、「帰ってから試合があるからいいな」ぐらいに思ってたのに大赤字だよ。しかも、9月の試合に間に合うようにTシャツまで作っちゃったからね（笑）。

——ガハハハ！　試合が正式に決まってもいないのに、Tシャツまで作ってしまう皮算用ぶりは、あいかわらず素晴らしいですね（笑）。

金原　しょうがないからホームページで通信販売してるんで、宣伝しといてよ（笑）。

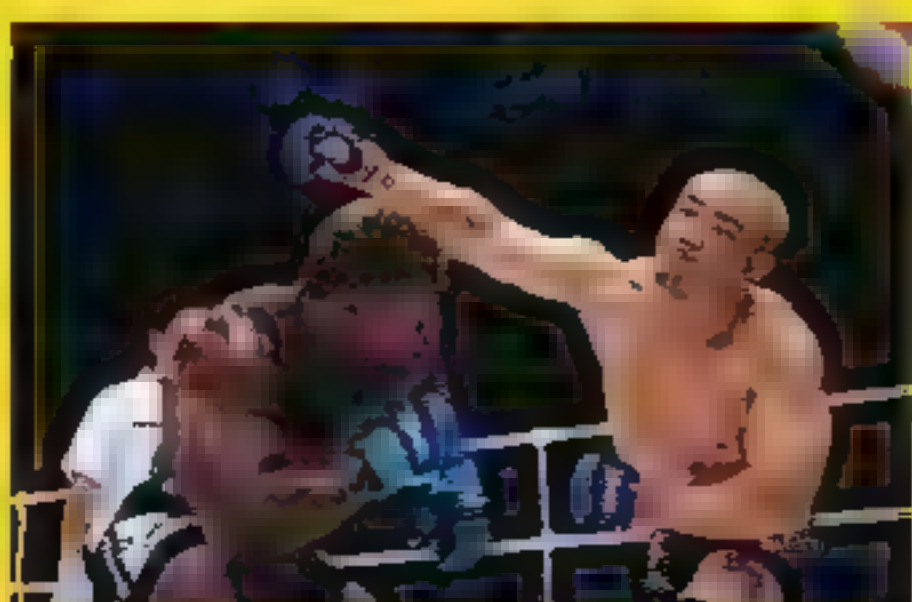
——「Tシャツを買って金原を救おう」って（笑）。

日本全滅！ 9.29 PRIDE22 PUTI REVIEW

○ケビン・ランデルマン（米／ハンマーハウス）　3R・判定勝ち　小原道由（日本／フリー）●

小原、「気合い」だけが空回りでまたしても完敗

パンチで倒れた小原は、なんとそのまま場外へエスケープ！　犬軍団らしいインサイドワークだが、もちろんイエローカードが与えられた

パンチを喰らいまくりながらも「気合い」で立ち続けた小原だが、ランデルマンの強烈なフックをまともに受けて遂にダウン

ヘンゾ戦とは違い、自分から積極的に打撃を出していった小原。しかし、ランデルマンの顔面をほとんど捕らえることはできなかった…

吉田秀彦を従え、噂の吉田Tシャツを着て入場する小原。犬軍団の盟友・後藤達俊は会場に来ていたものの、セコンドには着かず

金原　そうそう（笑）。2月からもう半年も収入が途絶えてるんだから、ホントきついよ～。このままじゃ、車売らなきゃなんないよ。

――そんな状況下で、タイでキャンプまで張ったのに試合がなかったら、そりゃガッカリしますね（笑）。

金原　「名古屋で復活だ！」とか思って、「タイまで試合をやりに行ってた、あのときの自分を思い出そう」って追い込んできたんだよ。それなのにねぇ（笑）。

――肝心の試合がなかった、と（笑）。Uインター時代はタイには何回ぐらい行ってるんですか？

金原　3回ムエタイの試合をしに行って、練習だけを含めると4回かな。でも、タイって試合とか練習の辛い思い出しかないからさぁ、今回も行きの飛行機の中で「なんで30過ぎてまた、修行のために飛行機乗ってるんだろう？」っていきなり帰りたくなったよ。

――タイに着く前から帰りたくなってましたか（笑）。

金原　ホント初日から帰りたかったよね。飛行場に着いて「ああ、帰りたい」、ホテルに着いてまた「ああ、帰りたい」って。やっぱりタイでの練習の辛さを知ってるからさ、嫌で嫌でしょうがなかったよね。

――タイでの練習はどんな感じだったんですか？

金原　練習はUインター時代から行ってるジムでやらせてもらって、トレーナーも知ってるから「よく来たな。練習しろ、練習しろ」って、バンバン蹴らされてキツかったよ。昔はその道場に寝泊まりして練習してたんだけど、さすがにそれはできなくて近くのホテルに泊まってたけど、それでも練習量は一緒だからね。朝6時ぐらいに起きて伊藤とスクワットしてランニングしてさ。

――そんな朝早くからやってたんですか!?

金原　だってトレーナーがランニングまでちゃんと見てるんだもん。近くの公園を走るんだけど、一周二周って数も確認してね（笑）。なわ飛びなんかも30分ぐらいやって、ウォーミングアップだけでふくらはぎパンパンにしてさぁ、伊藤なんか10日間で5、6キロ痩せて、キツくて毎日泣き顔になってたからね。

――ホントに若手時代のような追い込みトレーニングだったわけですね。

金原　俺も練習後は20分ぐらい動けなかったもんね。

――伊藤選手の怪我のほうは大丈夫なんですか？

金原　怪我は大丈夫なんじゃない？　練習はかなりキツかったと思うけど、アイツにとってもいい経験になったと思うよ。ホントは向こうで伊藤に（ムエタイの）試合させたかったんだけどね。タイ人に「試合できる？」って聞いたら「できるよ」って言うから、「試合できるらしいぞ、行くか？」って言ったんだけど、アイツ「いや～ちょっと」とか言ってビビッちゃって（笑）。やればいい経験になるんだけどね。

――金原さん自身は、改めて自分の打撃を見直した感じですか？

金原　うん。2月にリングスが解散して以来、キックのミットを持ってくれる人がいなくてキックは全然してなかったんだけど、向こうで蹴ったら「まだまだいけるな」っていう感じはしたよ。それで昔から知ってるタイのトレーナーに「俺が23、4歳ぐらいに来た時と、いまどっちがいい？」って聞いたら、「いまのほうがいい」って言うからちょっと自信がついたんだよね（笑）。「パンチもこれどう？」って聞いたら「当たったら倒れるよ」とか言ってくれたから、自信を取り戻したよ（笑）。

それで意気揚揚と日本に帰ってきたら試合が組まれない、と（笑）。

金原　そうそう（笑）。ガックリして泣きましたよ。

――でも、リングスが解散してから、いままで全然オファーがなかったわけじゃないですよね？

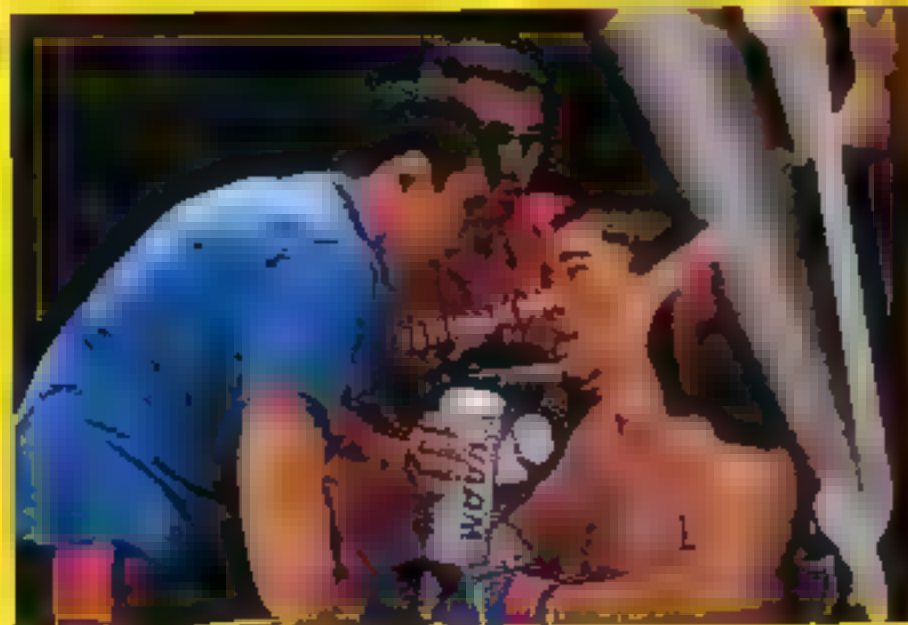
金原　うん。何度かオファーはもらってるよ。

KANEHARA HIROMITSU

日本全滅！ 9.29 PRIDE22 **PUTI REVIEW**

ガイ・メッツアー（米／ライオンズ・デン）　3R・判定勝ち　山本憲尚（日本／高田道場）

シバキ合いを忘れたヤマノリなんて……

後半になると、すっかりメッツアーペース。ヤマノリはシバキ合いすることなく、不完全燃焼のまま判定負けという最悪の結果になった

両者守りに重点を置いた立ち技勝負となったが、徐々に打たれ始めたのはやはりヤマノリ。かつてメッツアーと闘ったサクがアドバイスを送る

守りが堅いメッツアーが相手ということで、自分からはあまり攻めず重い蹴りを単発で放す作戦を取ったヤマノリ。最初はこれでよかったが…

ファンのひんしゅくを買った茶髪・細眉をやめ、リングスエース時代を彷彿させる短髪、無精ヒゲで入場するヤマノリ。今回は期待できると思われたが……

国立の1週間前にシウバ戦のオファーが来たけど、やっぱりできないよ

でも、タイミング合わないんだよね。やっぱり最低でも試合の1ヶ月前には声をかけてもらわないと、その対戦相手の準備があるでしょ？　柔術系の選手なら寝技の練習をしておかないとダメだろうし、立ち技の選手なら立ち技の練習をしなくちゃいけないだろうし、そのへんだよね。

――そのオファーが来た中で、最初に表に出たのは6月の『PRIDE』ですよね？

金原　そうそう。あれが最初だけど、6月はまだ試合できる状態じゃなかったんだよね。2月にリングスで試合して以来、ずっとケガで休んでいて、5月にようやく練習始めたばかりで全然身体ができてなくて、コンディション的に間に合わなかったんだよ。8月だったらそろそろいける感じではあったんだけど、オファーをもらったのが直前すぎたんだよね。

――8月というと、国立競技場の『Dynamite!』でも、金原vsシウバ戦っていう噂が出てましたけど、実際に金原さんのところにオファーは来たんですか？

金原　うん。確かにそういう話はもらったよ。でも、あまりにも試合直前のことだったからさぁ、しかも相手は『PRIDE』で無敗のチャンピオン、シウバでしょ？　K-1ファイターが相手とかだったら直前でも受けたけど、チャンピオンとなると1週間やそこらで調整がつく相手じゃないからね。逆に受ける方が失礼なんじゃないかと思ってさぁ。

――でも、格闘技史上最大と言われるような大舞台で、しかもいまをときめくPRIDEチャンピオンが相手っていうのは、出るだけでおいしいんじゃないですか？

金原　そうなんだろうけど、負けるつもりで出るっていうのは俺にはできないんだよね。どんなに相手が強くても、やるからには「絶対勝つ」っていう気持ちで上がりたいからさ、準備もせずに出て負けたら後悔が凄いと思うんだよね。シウバなんて1回やったら次にできるかわからない相手だしさ。だから、凄くありがたいオファーではあったけど、断っちゃったんだよね。

――いやぁ、それでもやっぱり「もったいない」って思っちゃいますね。

金原　そうかなぁ。普通出るもんなの？

――普通は出ないですけど、ただ「こういうところで出てくるのが男だ」みたいな風潮はありますよね。

金原　でも、やっぱり出れないよ。あと、ちょっと夏バテしてたのもあるのよ。

――夏バテが原因でシウバ戦を断りましたか（笑）。

金原　夏に弱くてさ～。毎年夏バテするんだよね。それが原因で体調が悪かったっていうのもあるんだよ。夏はホント苦手。食欲はなくなるしスパーリングやっててもすぐ集中力がなくなるし。俺は夏男じゃないからG1も出れないよ（笑）。

――そんなオファーもあったんですか？（笑）。

金原　全然ないけどさぁ（笑）。あっても夏に連戦なんてまず無理だよね。夏は毎年不眠症みたいになるんだから。なんかいい方法ない？

――知りませんよ（笑）。

金原　なんか眠れないからさ、部屋に観葉植物置いたり、炭を置いてみたり、マイナスイオンが出るトルマリンのやつを3個ぐらいつけたりしてるんだけど、それでも寝れないんだよね。

――そんなこともやってるんですか（笑）。そういう諸々の要因があってシウバ戦も断ってしまったと。

金原　そう。だからタイミング悪いなって。

――ただ、これだけ金原選手の試合が決まらないと、巷では「金原がギャラ吹っかけてるんじゃないか」という噂も出てるんですよ（笑）。

金原　いやぁ、そんなことないんだけどねぇ。だから早めに声を掛けてくれたら一番いいん

日本全滅! 9.29 PRIDE 22 PUTI REVIEW

○アンデウソン・シウバ（ブラジル／シュートボクセ）　3R・判定勝ち　アレクサンダー大塚●（日本／AODC）

アレク、タックルから先に進めず惜しい判定負け

試合開始早々から見事なタックルでテイクダウンを奪ったアレク。「今日はいける」と思わせたが、アンデウソンの守りは予想以上に堅かった

打撃専門のように思われているシュートボクセだが、アンデウソンは寝技でも下からアレクを見事にコントロール。ガッチリ三角を極めた

なんとか三角絞めを抜け出したアレクだが、すぐさまアンデウソンにバックマウントを奪われ、ピンチは続く。

チョークを取られ万事休すかと思われたが、これもなんとか抜け出すアレク。しかしヒールホールドでヒザを破壊され判定で敗れた

だけどさ。

——今頃から「11月、12月で」って言ってくれたらもう「すぐに出ます!」と。

金原　そうそう。それで「対戦相手は誰で」ってなったらすぐに準備はできるんだけど、直前とかだとやっぱり考えちゃうよね。高山（善廣）君じゃないんだからさ。高山君があんな直前のオファーで出るから、出ない俺は嫌なイメージがついちゃったよ（笑）。

——アハハハ！　あんな前例を作った高山さんが悪い（笑）。

金原　でも、9月の『PRIDE』だったら1週間前のオファーでも受けてたかもしれないけどね。調子も良かったし、実際、直前にオファーが来るんじゃないかと思って『PRIDE』の一週間前ぐらいまで練習してたけど、一週間切った時点で「もうやめた」って（笑）。全部やめたもんね。

——やってられるかと（笑）。

金原　もうその後は、毎日遊び狂いましたよ。

——遊び狂いましたか（笑）。

金原　でも、遊び狂ってる場合じゃないんだよねぇ……。もう半年収入がないんだから。これだけ『PRIDE』で決まらなかったら、俺も就職先探さなきゃならないからね。

——いつの間にか、旧リングス勢で行き先が決まってないのは、金原さんだけになってしまいましたよね（笑）。

金原　そうだよ〜。3月はみんなの仕事先確保するのに『DEEP』の社長さんに俺がお願いしたりしてたけど、他人の心配してる場合じゃないよ（笑）。

——和田さんもいつの間にか、『PRIDE』のジャッジやってますもんね（笑）。

金原　ねぇ！　あのオヤジ、Uインターの頃から何度も「この業界から早く足を洗いたい」とか真顔で言ってたんだよ。毎年毎年「今年中に辞める」とか、「この業界はおかしな人が多いから関わりたくない」とか言ってたのにさぁ。

——いまやいろんな団体と関わりがありますよね（笑）。

金原　どっぷり浸かってるもんね。リングスを辞める時も「もう、この業界とは関わらないから」とか言ってたんだから。

——あ、そうなんですか（笑）。

金原　それは声を大にして言いたいよね（笑）。

——いまも元リングスの選手と話したり一緒に練習したりとかはしてるんですか？

金原　滑川からは電話が掛かってきたね。シュート・ボクシングに出るでしょ？

——そうですよね。

金原　でも、あんまり最近は喋ってないね。また試合に向けてスパーリングとかやるときには滑川とかにも電話して、「練習するぞ」って言うと思うけどね。

——横井（宏考）選手に対しては、以前「プロレスに行ったのがガッカリ」っていう発言がありましたけど、あれはどういう意図だったんですか？

金原　俺としては横井はパンクラスとか『DEEP』とかにどんどん上がって、いまのうちに格闘技の経験をたっぷり積んでおいて欲しかったんだよね。アイツ、まだ22、3でしょ？

——そうですね。デビューしてまだ1年ですし。

金原　じゃあ、いまは格闘技をやらないと。だっていま『PRIDE』とかで上がってきてる外人選手ってみんな若いヤツばっかじゃん。プロレスやりながらじゃ、そいつらに対抗できる練習ってやっぱりできないと思うからね。横井はせっかく日本人では数少ないヘビー級なのに、もったいないよ。思い切り練習したり、毎月のように試合したりって若いウチしかできないのに、最近の若いヤツはよ

KANEHARA HIROMITSU

日本全滅!

9.29 PRIDE 22 PUT REVIEW

○ パウロ・フィリォ（ブラジリアン・トップチーム）　1R1分48秒、腕ひしぎ十字固め　● 小路晃（日本／フリー）

成長の跡見られた小路、しかし一瞬の隙が命取りに

初の一本負けにガックリ肩を落とす小路。優勢に試合を進めていただけに悔いが残るのだろう。しかし、次に期待を抱かせる内容だった

強豪・パウロ相手にテイクダウンからバックを奪うなど、見事な動きを見せた小路。しかし、一瞬の隙をつかれ十字を極められてしまった

近藤、美濃輪、山宮とパンクラス勢を総なめにしてきたパウロが『PRIDE』初出場。セコンドにはノゲイラが付いた

シアトルへの単身武者修行から戻ってた小路はJ・ハーネットを従えて登場。肉体改造にも成功し、表情は自信に溢れていたが

無敗の王者シウバに土をつけたいよね、ちょっと自信はあるよ

くわからないね。

―ジェネレーションギャップを感じますか（笑）。

金原　感じるね。リングス辞めた途端に刺青入れてやがるしさ。リングス時代だったらブン殴ってるよ！

―金原選手はやっぱり刺青とかああいうのは納得いかないですか？

金原　それは別にいいんだけど、やるタイミングとかあるじゃない。やっぱり俺らとまた世代が違うのかなと思っちゃうよね。

―金原さんはプロレスには興味ないんですか？

金原　いや、プロレスも昔からやりたい気持ちは持ってるんだけどさ、この前の三沢さんと高山君の試合（9・23日本武道館）をテレビで見ちゃったら、「俺にはできないな」と思ったよね。

―どんなところでそう思いました？

金原　だって、あれだけいっぱいエルボーくらってさ、蹴りとかもバシバシ入れられて、あれはハードだよ。あれ見て、ちょっとできないなと思ったよね。

新日本vsUインター対抗戦のとき、当たりの強さで新日のレスラーに嫌われた金原選手から見ても、「これはできない」と思いましたか。

金原　いや、やるのは好きだけどやられるのが嫌いだからさ（笑）。

―アハハハ！　受けの凄みは見せられないと（笑）。

金原　思いっきりSだからさ。相手を痛めつけるのは好きだけどやられるのはね。一方的に俺がやるんなら全然いいんだけど（笑）。

―それじゃあ、まずプロレスのオファーは来ませんね（笑）。

金原　もし出られても、1、2回やって干されちゃうよね（笑）。でも、ホント三沢さんと高山君は、「凄い試合してるな」と思ったよ。

―一部のリングスファンの中では「金原は前田と行動を共にするんじゃないか」という噂もチラッと出てるんですけど、前田さんとは会ったりされてるんですか。

金原　いや、最近は全然会ってもいないし、喋ってもいないよね。前田さんの従兄弟にはちょくちょく会ってるんだけどね。

従兄弟と会ってますか（笑）。

金原　ちょこちょこ遊びに行って「前田さんどう？」っていう話はしてるんだけどね。

マスコミには全然出ない、従兄弟経由の前田日明最新情報は何かありますか？（笑）。

金原　どうなんだろ。でも釣りをやってるっていう話はよく聞くけどね。

―あ、やっぱり釣り（笑）。誰に聞いても「釣りに行ってる」っていう話しか聞きませんよね（笑）。

金原　それと前田さん、いま裁判やってるから忙しいんじゃないかな。だから〝第2次リングス〟っていう話も、そういうのが全部終わってからの方がいいんじゃない。

―では、プロレスもない、第2次リングスもないとなると、やはりいまは「PRIDE」東京ドーム大会のオファーを待っている感じですか？

金原　そういう感じですよ。やっぱりさぁ、11月の「PRIDE」は高田さんの引退試合だし、元Uインター勢としては是が非でも出たいというのもあるからね。

―金原さんは、高田さんの付き人もやってたんですよね？

金原　そう。俺はUインターで高田さんの初代・付き人だったからさぁ、そういう気持ちは強いよね。

―ここはやはり最後の花道の露払をしたい、と。

金原　う〜ん、セコンドにもつきたいけど、

昨年のKOKトーナメントでは、ブラジルの強豪カカレコや前UFC王者メネーを破り、日本人最高位となるベスト4に進出。準決勝では、アバラ骨が折れた状態でノゲイラと寝技で真っ向勝負。敗れたものの大会ナンバー1の寝技合戦を繰り広げ評価を大きく上げた　強豪外人と互角に闘える数少ない日本人として、いまこそ金原にチャンスを与えて欲しい

KANEHARA HIROMITSU

日本全滅! 9.29 PRIDE.22 **PUTI REVIEW**

○ "ランペイジ"ジャクソン（米／チーム・パニッシュメント）　1R7分18秒 KO　イゴール・ボブチャンチン（ウクライナ）●

暴走ホームレス、驚ガクのノーザンライト・ボム葬

佐竹に続き、ボブチャンチンまでも病院送りにした実力は本物。〝イロモノ〟と思われた男が「PRIDE」トップ戦線に上がってきた。

信じられない技を喰らったボブチャンチンは一気に失速。ガードポジションを取るも、ランペイジのボディパンチでKO負けを喫した

さらにフロントチョークをガッチリ極め、「勝負あったか？」と思われたその時、ランペイジはなんとボブを持ち上げノーザンライトボム！

復活を期し猛特訓を積んできたというボブチャンチンは、全盛期以上の切れ味の打撃を次々叩き込み、序盤戦を圧倒する

それはやっぱり高田道場の選手がやったほうがいいんじゃないかな。ついていいんだったらつきたいけどね。

―でもやっぱり、今度の大会は高田さんの引退試合ですから、前座はUインターの選手で固めて欲しいっていうのは、当時からのファンとしてはありますよ。

金原 Uインターの選手がみんな出たら面白いかもね。中野さんとか安生さんとかも出てもらってさ、宮戸さんもいまから練習したらいいんじゃないかな（笑）。

―宮戸さんまで（笑）。それでレフェリーは和田さんと豊永さんにやってもらって、一夜限りのUインター復活ですよ！

金原 それはそれで面白いかもしれないね（笑）。でもさぁ、元Uインターでいま総合やってる選手の中で『PRIDE』出てないの俺くらいでしょ？

―そういえばそうですね（笑）。

金原 後輩とかも気を遣ってくれたらいいんだけどね。

―それは桜庭選手とか高山選手ですね（笑）。

金原 身近にスターがいっぱいいるからさ、相談するんだけど「はい、はい」って言われちゃうからね（笑）。

―聞き流されますか（笑）。

金原 誰も俺の心配してくれないだよ～。和田さんとかも「どうするの？」って聞いてくれりゃ可愛げがあるんだけど、みんな知らん顔だからね。早く試合したいなぁ～。『紙プロ』が出る頃には試合が決まってたらいいんだけどね。11月だから、もう夏バテもしてないだろうし、「スポーツの秋」だからね。

―アハハハ！ スポーツの秋だからバーリ・トゥードをやりたい（笑）。

金原 寒くなったらまた練習するのがうっとおしくなるからさ、いまのうちにね。俺も気付いたら32になっちゃったからさぁ。

―金原選手も、もう32歳ですか（笑）。

金原 32ですよ～。いい年になったよねぇ！ でも、高田さんが32の頃って言ったらUインターのバリバリの頃でしょ？ しかも社長で、凄いよね。それなのに俺の32はプータローだからね（笑）。

【かねはら・ひろみつ】1970年10月5日、尾張旭市出身 91年UWFインターに入門。キングダムを経て、98年にリングス入団。昨年は"リングス最後のエース"を努める不遇の実力者に今度こそ春はくるのか？ 178cm、90kg

―アハハハハハ！

金原 こうも違うとは思わなかったよね（笑）。

―じゃあ、プータローから抜け出すためにも、早く"就職先"を見つけないといけませんね（笑）。

金原 そうだよ～。いま道場ないから、昼間は近所のおじちゃんおばちゃんがいるようなスポーツクラブに通ってるんだけど、「この人、平日の昼間になにやってるんだろう？」みたいに見られてるからね（笑）。

―『PRIDE』に上がるとしたら、闘ってみたい相手とかはいますか？

金原 いや、体重さえ合えば誰でもいいよ。『PRIDE』だったら誰とやっても強いだろうしね。でも、やっぱりヴァンダレイ・シウバとやって、負けたことない人に土をつけたいというのはあるよね。

―いいですね～、金原vsシウバ戦は見たいですよ。金原さんは打撃でシウバと対抗できる数少ないひとりですから。

金原 彼はムエタイ選手だからね。俺とは合うんじゃない？

―やっぱりシウバとやったら打ち合いますか？

金原 いや、すぐタックルに行く！（キッパリ）。頼むから切らないでって（笑）。いま日体大でタックルの練習してるからね。

―ここは『PRIDE』史上に残る大打撃戦をやってやります！」ぐらい言っといたほうがいいんじゃないですか（笑）。

金原 いやぁ～、臆病だから（笑）。でも、ホントはそうなるのを自分が一番期待してるけどね。

―シウバの突破口とかはどのへんだと思いますか。

金原 なんだろう……難しいね。でも、ちょっと自信はあるよ（笑）。

―おお～、ようやく頼もしい発言が出ましたね（笑）。

金原 でも「自信がある」って言っちゃうと組まれないかもしれないから嫌なんだよね（笑）。

―アハハハ― あまり言ったらシウバも嫌がるかもしれないですしね（笑）。「なんかアイツには秘策があるのかもしれない」って（笑）。

金原 その辺が難しいところだよね（笑）。

―じゃ、とりあえずこの場を借りて、「試合する準備は万全だ」ということはアピールしときましょう！

金原 「時は来た！」って？（笑）。

―破壊王ばりに（笑）。

金原 でも、ホントに早く時が来てほしいよ！

―アハハハ！ 最後に何か言いたいことはありますか？

金原 そうだなぁ、「今回仕事をくれて『紙プロ』さんありがとう。みんな俺のこと忘れないでね」って感じかな（笑）。

―わかりました（笑）。では、早く試合が決まることを期待してます！

【02年10月9日／川崎市『焼肉村』にて収録】

元WBA、WBC世界ストロー級王者

大橋秀行も金原の打撃に太鼓判!

金原君は打撃のセンスが非常によいですよ。パンチっていうのはセンスが重要で、どんなに練習してもセンスがないと上手くならない人もいると、金原君はそのセンスがプロレスラーの中ではピカイチでしょう。大概、プロレスラーや総合格闘家って筋肉がつきすぎてることもあってストレートが打てないんだけど、金原君はきれいなストレートが打てますからね。試合もいまパンチ打てないと勝てないから、その点でも非常に有利だと[illegible]います

ВИД 1

どっこい、リングスは生きていた!! 生きていたどころか、その細胞は世界に増え続ける勢いだ。リングス・ジャパンが活動休止となって約8ヶ月――。実に仰天なスクープを本誌は入手した。

9・29「PRIDE.22」に出場したA・コピィロフ、K・ユーリーのセコンドとして来日した、リングスファンにはおなじみのニコライ・ズーエフが、ロシアのエカテリンブルグに〝格闘技の殿堂〟を建設中であることを吐露してくれたのだ。しかもその巨大な建物には「RINGS」という輝かしい5文字とシンボルマークが刻まれるという。

上の完成予想図絵コンテ&絶賛着工中の写真を提供してくれたズーエフからは、驚愕のプランが次々に口をついて出てきた。

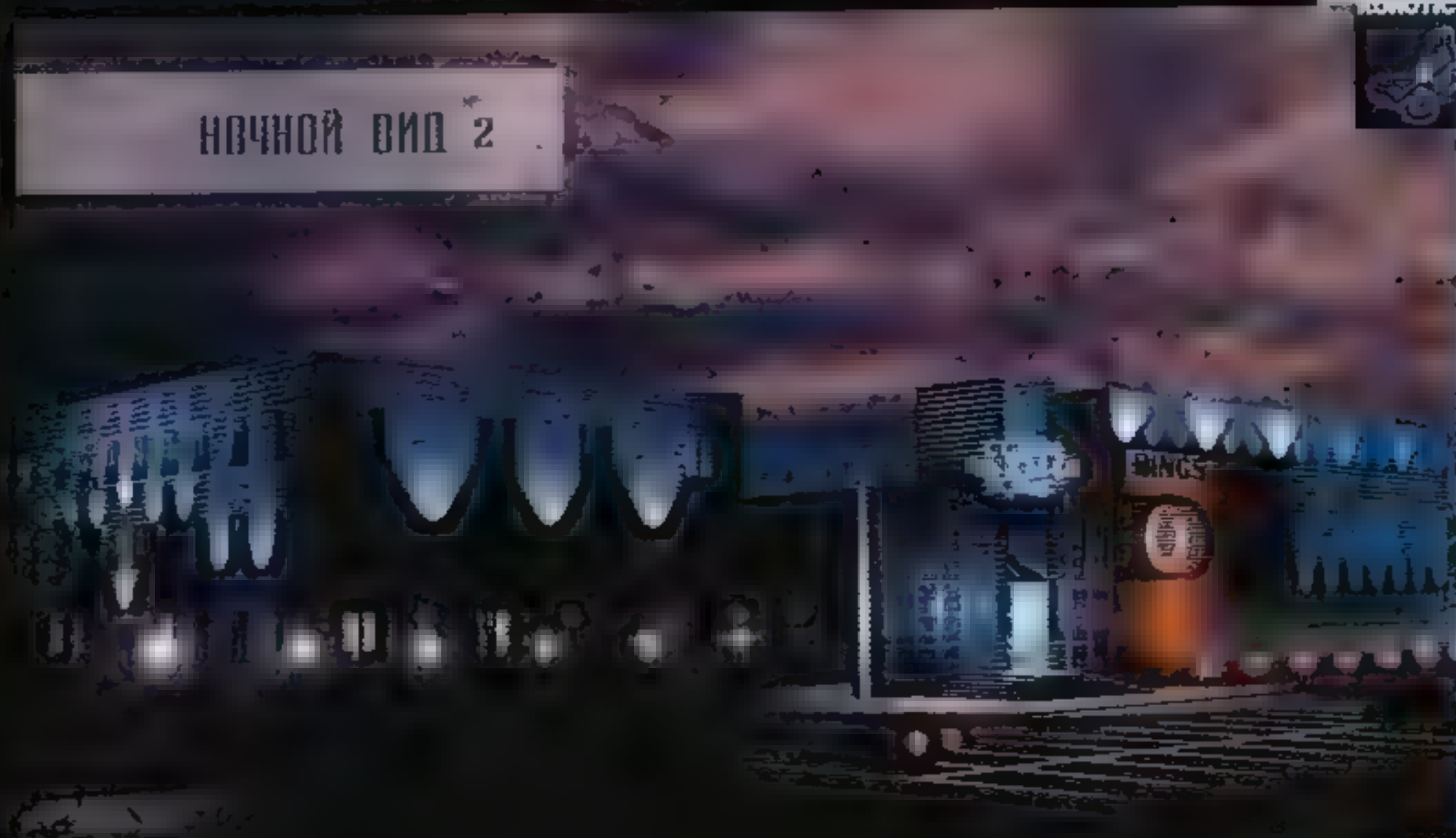
総面積7000平米の敷地に建てられた殿堂には、柔道、柔術、サンボ、レスリング、ボクシングを個別に練習できるトレーニング場あり! 約1000人収容でき興行も打ち放題のホールあり! リングス・ロシア(リングス・エカテリンブルグ)のオフィスあり! 50～60人が宿泊できるホテルあり! アスレチックあり! サウナあり! レストラン&バーあり! ボウリング場あり! そして!……なぜかストリップ劇場まであり! (ホントになぜだ!?) まさに〝男の中の男の殿堂〟〝男のための男の殿堂〟!! 〝ホラ吹きクレイ〟と呼ばれたモハメド・アリもビックリのありありザンマイである。こうなると「格闘アミューズメントパーク」ともいうべき巨大さだ。しかもその所有者はズーエフ個人というから、さらに驚きは増すばかり。凄エぜ、リングス・ロシア!!

リングス・ユーラシア大陸王座、リングス・バルト3国王座を新設するなど、あまり日本では知られていないが、リングス・ロシアは地道に精力的に各国にネットワークを拡げていた。今後は、その拠点がこの巨大施設となるだろう。

完成は来年10月の予定。テープカットには、元柔道家&サンビストのプーチン大統領が訪れるという!! さらに凄エぜ、リングス・ロシア勢!! ビバ、ズーエフ!!

現在は「PRIDE」に「ロシアン・トップチーム」として参戦しているリングス・ロシア勢だが、どっこい、ロシアでリングスそのものが大きく息づいていた。

あとは日本のリングス総帥が、「な～にをナマイキな!」とばかりに奮起、復活してくれることを願うのみだ。でしょ!?

НОЧНОЙ ВИД 2

これがリングス・ロシア（リングス・エカテリンブルグ）の拠点となる"格闘技の殿堂"完成予想絵コンテ。P37の図を裏から見たものが右の図だ。夜に浮かび上がる殿堂は、さすがにストリップ劇場まで完備しているだけにムーディな雰囲気だ

ただいま絶賛、着工中!!

ホール部分に当たる外壁を下からナメた写真。立派だ！ 立派と言うほかはない！ 建設中だが、すでに叶姉妹をも凌駕するゴージャスさをたたえている。アリョ！

これは夢でもホラでもない。すでに着々と工事が進行中の殿堂。外壁はオランダから輸入したものだという。日本からリングスをロシアに観戦しに行く日も近い

テレビの「ＳＲＳ」でも映像が紹介されたが、約1000人を収容できるホールも着々と工事が進行されている。定期的にリングスの試合が見れるのだ。ダー

右の古い建物が、いままでのリングス・エカテリンブルグのオフィス。この建物にもトレーニング場やバーがあり、それだけでも立派だったのに、さらにゴージャスに

約1000人収容のホール!! トレーニング場からストリップ劇場まで!!

これはまさに、男の夢だ!!

リングスの殿堂がロシアに建つ!!

～RINGSは生きている～

これが男の夢を実現させたN・ズーエフ ビバ、ズーエフ!

坂田亘の

あの小池栄子との熱愛が発覚した渦中の男

マジメな恋の悩みから冷やかしまじりの質問まで真っ正面から受け答える!!

有名プロレスラーからも続々と相談が寄せられた!?

恒例の人生相談シリーズも、今回は、いま世界で一番うらやましい男・坂田亘を迎えて「ガチンコ恋愛相談」に模様替え！ 坂田自身の誠実な恋愛信条も垣間見えるぞ！ さらに「坂田に恋愛相談をしてみたい」と[illegible]の大物たち(?)からも、なぜ[illegible]査!?

ガチンコ恋愛相談

坂田亘のガチンコ恋愛相談

Q、坂田さん、この度はおめでとうございます（何が?）。今回の小池栄子さんとの熱愛報道で坂田さんの名前がいろんな雑誌&新聞に載っていましたが、それには坂田さんのことを「格闘家」「プロレスラー」「ガチンコファイター」「プロ格闘家」とか、様々な呼び方をされていました。本人的には何と呼ばれるのが一番しっくりきますか？ それと、一部で小池さんがメインキャスターを務める『PRIDE』への出場も取りざたされていましたけど、チャンスがあれば出たいとは思っていますか？

（岐阜県　PN：うらやますい〜　♀　29歳）

——いきなりいい質問ですね。あと「イケメン格闘家」という肩書きも、どこかで見ましたけど（笑）。

坂田　まあ、あの報道はどうかと思うけどな（苦笑）。……でも、もちろん、俺は「プロレスラー」でしょ！（キッパリ）。

——前号のインタビューでは「好きなように思ってくれ」って言ってましたけど、何か心境の変化でもあったんですか？

坂田　いや、自分の中にはだいぶ前から、そういう意識はあったんだよ。でも、彼女とのことがあって、名前が世間に出てしまったわけだから、そういう部分を曖昧にするのもよくないと思うんだ。だから、ハッキリとここで「プロレスラー宣言」をするよ。自分としては「俺はプロレスラーだ！」って胸を張って言えるような結果を出してから宣言したかったんだけど……彼女とのことが発覚したのは試合と全然関係ないタイミングだったけど、プラスに考えるしかないからさ。

——出ちゃったものはしょうがないですからね。

坂田　そうそう。だから、これを機にプロレスラー宣言ということで。

——ZERO—ONEでの試合は、かなり評価されてますけど、現時点で胸を張って「プロレスラーだ」と言えるまでの自信はなかったんですか？

坂田　そういう評価でいい気になってると、自信が過信になってくると思うからさ。自分をより厳しい状況に置くためにリングスを辞めてフリーになったわけだから、ちょっとやそっとで浮ついた気持ちにはなれないよ。自分の中では「まだかな?」って感覚だったから。あんな空手ジジイに顔面を蹴っ飛ばされたりしてるようじゃね（笑）。

アハハハハ、上道館の小林さんとの因縁も勃発してますし、坂田さんの周囲は事件だらけですよねぇ。

坂田　今回の件は、俺の仕事には何ら関係のないことだけど、彼女はそういうことを言っていいくらいの価値がある人間だと思うから……って、これは別にノロケてるわけじゃないぞ！

はい、わかります。あと気になるところで、小池さんは『PRIDE』でメインキャスターを務めてるわけですけど、坂田さん自身は『PRIDE』に進出する予定というか、興味はあるんですか？

坂田　たしかに『PRIDE』は魅力ある舞台だし、素晴らしいとは思うよ。ただ、これは『PRIDE』を悪く言うわけじゃないと断っておくけど、いろんな人がプロレスラーという看板を背負って出てるわけでしょ？ ホントにその対戦相手と闘いたくて出場してるのか、試合が組まれたから出場してるだけなのか……。俺が出場するなら薄っぺらい試合にはしたくないんだよ。プロレスラー宣言をしたからには、俺も看板を背負う気持ちがあるから。だから調子に乗ったり勢いで発言したりは出来ないんだよ。言ったからには結果を残さなきゃダメだから、単純な「出たいか?　出たくないか?」という質問は答えに困るよね。ZERO　ONEで俺を見て応援してくれてる人だって、中途半端な感じでは出てほしくないと思うんだよ。プロレスラーの看板を背負うと「殺るか、殺られるか」の勝負でもあるし、その後に繋げる何かを残せるのか?ってテーマもあるからな。

——そうですよね。

坂田　いろんなタイミングが重ならないと、何とも言えないよ。まあ、前向きには考えてるけどさ。

——わかりました。

当初、このインタビューは FRIDAY でスクープされた2人が密会していた下北沢の定食屋で行う予定だったが、取材日は、たまたま定休日だったのでやむなく場所を変更。坂田はホッとした様子

彼女との件で名前が世間に出たからこそここでハッキリと「プロレスラー宣言」!!

Q、田村さんのことを〝アニキ〟と慕っている坂田さんに質問です。私は、ハッキリ言っちゃうと田村さんとお付き合いをしたいのです。田村さんはアイドル好きだったり、噂によると性格も気むずかしいとよく聞くんですが、どんな努力をすれば田村さんの彼女になれるんでしょうか？　アドバイスいただければ、頑張って田村さんの好みの女になれるよう一生懸命努力しますのでよろしくお願いします。ちなみに自分で言うのもなんですが、ルックスもそんな悪くはないと思います（友達に

は、あゆに似てると言われる）。

（東京都　PN：²タムLOVEっ娘　♀　19歳）

坂田　う～ん……（手紙を見つめる）。

まあ、「あゆに似てる」っていうのは、写真を見てみないと何とも言えないですけどね（笑）。

坂田　女の子の誰々に似てるって言うのは信用できんからなぁ（笑）。まあ、気難しいのと単純なのは紙一重だと思うけど（考え込んで）……いや、アニキは気難しいだけだな（笑）。でも、アニキってアイドル好きなの？　それは知らなかった。

——そうみたいですよ。ということは、普通に考えればルックスもかなり気にする人なんでしょうね？

坂田　……わからない。アニキは気分屋だからな。

個人的には田村さんは、かなりナルシストのような気がするんですけど。自分大好き！って人なんじゃないですかね？（笑）。

坂田　いや、みんな自分のこと好きだろ。それは、お前の言い方がヒネくれてる！

す、すいません。田村さんは年上好きらしいとか、そういう情報もないんですか？

坂田　アニキよりも年上って言ったら、お前、どうなっちゃうんだよ？（笑）。

まあ、そうですね（笑）。

坂田　とにかく押しの一手でいきなさい！　あ、思い出した。アニキはわりと胸が小さめの人が好きなんだ（笑）。スレンダー系が好みなんだよ。だから、そういう体型になって、会場に押しかけてアタックをかける、と。そんな感じじゃないかな？

まずはスレンダーになれ、と（笑）。

Q、ついこの間、みなさんに祝福されて結婚した者です。ちょっと恥ずかしい話ですが、周りの人に「普段はお互い何て呼び合ってます？」と聞かれたので、「俺は"ゆーたん"って呼ばれてるよ」と年がらもなく答えたところ、かなり冷やかされてしまいました。「亘君」「栄子ちゃん」と呼び合っているという、お二人に質問ですが、恥ずかしいと思ったことはありませんか？

（東京都　PN：チャンピオン太　♂　34歳）

坂田　こ、これ、誰の質問なの？　●●（●）クン？

いやいや、「ゆーたん」でチャンピオンといったら違うんじゃないですか？（笑）。

坂田　（ビックリして）●●さんなの？

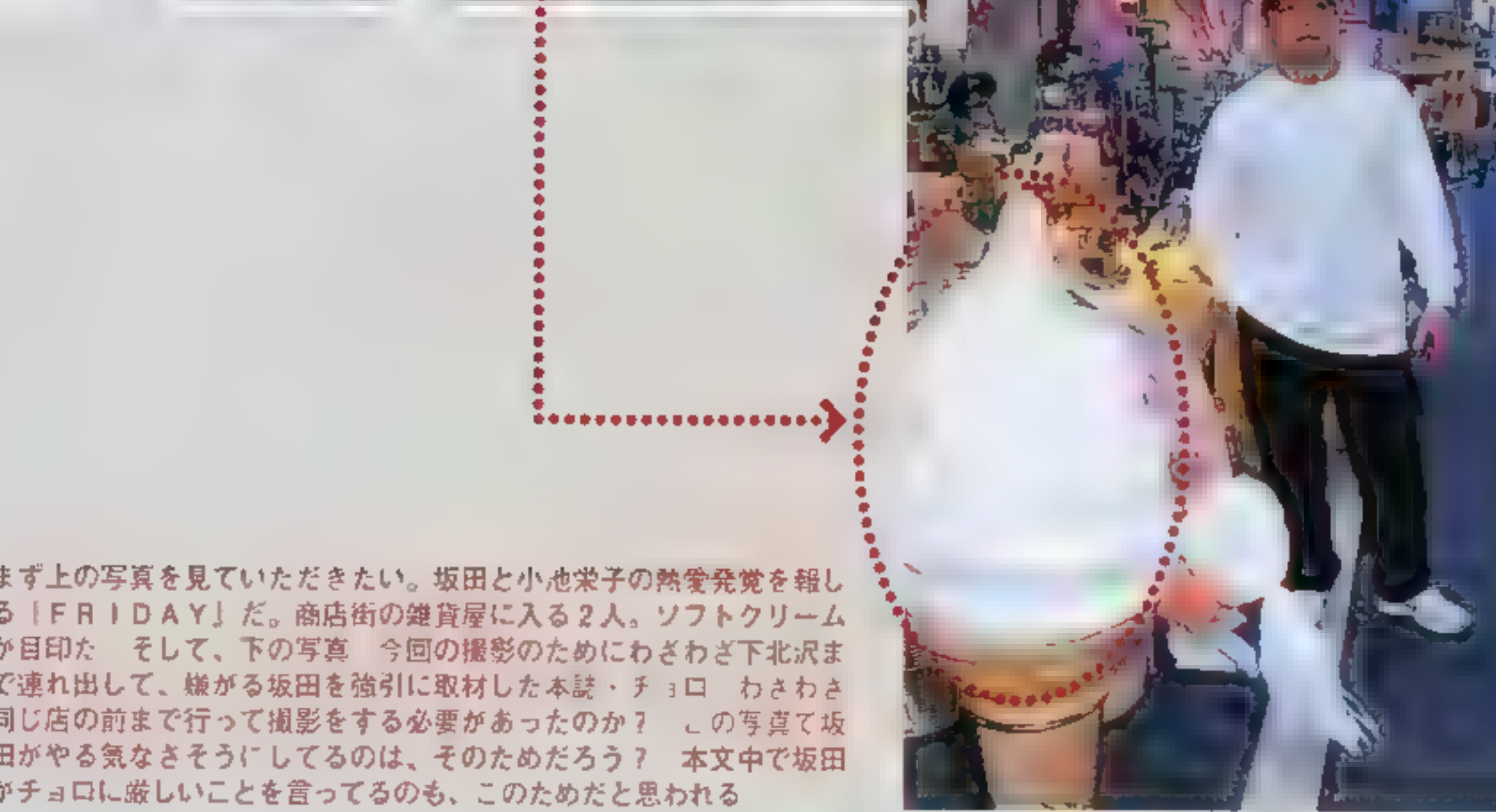
——いや、チャンピオン太さんということなので違うと思いますが（笑）。で、お二人が「亘君」「栄子ちゃん」と呼び合ってるというのは、『FRIDAY』に載ってたんですけれども。

坂田　二人の時はそうでもないけどな。

——ここだけの話、二人っきりの時は、なんて呼び合ってるか教えて下さいよ！

坂田　ここだけの話って『紙プロ』載るんだろ！（笑）。それは内緒！　まあでも、恥ずかしいという気持ちは分かるな（しみじみ）。

Q、ボクも、イエローキャブのタレントさんをゲットしたいんですが、どうしたらいいんでしょうか？　まずはやはり、坂田さんのように控室などでも愛想悪くすることからスタートすべきですか？

（東京都　PN：偽Y・H　♂　23歳）

まず上の写真を見ていただきたい。坂田と小池栄子の熱愛発覚を報じる『FRIDAY』だ。商店街の雑貨屋に入る2人。ソフトクリームが目印だ。そして、下の写真。今回の撮影のためにわざわざ下北沢まで連れ出して、嫌がる坂田を強引に取材した本誌・チョロ。わざわざ同じ店の前まで行って撮影をする必要があったのか？　この写真で坂田がやる気なさそうにしてるのは、そのためだろう？　本文中で坂田がチョロに厳しいことを言ってるのも、このためだと思われる

この質問も匿名希望ですね。Y・Hさんからです。

坂田　横井（宏考）やないか！（笑）。

——いやいや、それは分かりません（笑）。

坂田　狙って口説けるんだったら、そんな簡単なことはないよな。まあ、たくさんフラレて勉強しなさい！　それに俺は作って無愛想にしてるわけじゃないから。これでも自分ではかわいいと思ってるんだけど、眼つきが悪いと思われちゃうだけだし（真顔で）。だから、横井もフラレっぱなし状態にならないとダメだ。あ、横井じゃないのか（笑）。

——そういう時期も必要ですか？

坂田　必要！（キッパリ）

坂田さんもそういう時期があったんですか？

坂田　それは内緒だな（少し照れながら）。

Q、彼との仲がマンネリ気味です。彼のことは好きだし、別れるつもりもないですが、部屋に遊びに行っても、何をするわけでもなく一緒にビデオを観たりしてるだけ。「釣った魚には餌をやらない」って本当なのかなぁ。こういう時、どういう風にふるまうのが一番いいのでしょう。小池栄子さんという、相当デカイ魚をゲットした坂田さんは、ズバリ言ってどんな風につきあってるんですか？

（東京都　PN：つられた魚　♀　25歳）

坂田　う～ん、マンネリ状態はどんなカップルにもやってくるからね。それを口に出すか、出さないかが問題なんだよ。それに、この人が言ってるのは自分の要求ばっかりじゃん。「私はこういう餌が欲しい」っていう話を何気なく彼に振ってみたりすれば？　それでも気付いてくれないんだったら、その彼氏とは縁がなかったんだろうな。そういう歩み寄りがなければ恋愛なんて成立しないだろ？　さっきも言ったように、どんなカップルにも倦怠期やマンネリ状態はあるんだよ。そういう時期にお互いが努力するかどうか、だろうな。

——こういうのは、よくある質問ですもんね。

坂田　だろ？　そんなの簡単なことだよ！　だけど、彼氏や彼女がいない人にとっては、日常によくあるようなマンネリ状態さえ輝いて見えるわけだよ。そういう人が身近にいるってことは、すごく幸せなことだと思うよ。

——たしかにそうですね。

坂田　……マジメに答えちゃったよ。なんか評論家みたいだな、俺（笑）。

恋愛評論家ですか（笑）。

坂田　だから、そういう人は自分の欲求だけじゃなくてさ、相手の欲求についても考えてあげることだね。相手だって同じように感じてるかもしれないんだからさ。この二人は、そういうコミュニケーションが取れてないんでしょ？

——坂田さんと小池さんの場合はお互い忙しいし、面がわれちゃってるし、あまり大っぴらにデートも

坂田亘のガチンコ恋愛相談

彼氏や彼女がいない人にとってはマンネリ状態すら輝いて見えるわけだよ

出来ないとは思うんですが、二人の時間はどうやって過ごしてるんですか？

坂田　それは言えねえな（笑）。

——でも、『FRIDAY』に載ってたように定食屋へ行ったりとかはしてるわけですよね？

坂田　ノーコメントだって！（笑）。まあ、すべて相手の望み通りにしてあげるのがいいことだとは思わないけどね。相手の考えていることを全部理解するのは不可能かもしれないけど、何かを感じ取ることは出来るわけだから、何気ない言葉や行動を見逃さないことだよ。そういうことを積み重ねていって、お互いの関係がどんどん揺るぎないものになっていくわけでしょ？　個人的には、一緒にテレビを観たりビデオを観たりするのだって、立派なコミュニケーションだと思うけどな。

これが坂田さんのような遠距離恋愛の場合は、電話というのも大事なコミュニケーションになってきますよね？

坂田　俺から言えるのは「電話を電話と思うな！目の前にいると思え！」ってことだな。

おお、それは含蓄ある、お言葉ですね（笑）。

Q. 友情と恋愛について悩んでいます。以前自分がふった男の子と、親友が付き合うことになりました。それを聞いた途端、その男の子のことが気になるようになってしまいました。幸せそうな二人を見ると、「うまくいくはずねぇんだよ！」とか思ってしまいます。私にも大切な彼氏がいるのに、このいけない気持ちはどうしたらいいですか？　坂田さん教えて下さい！

（千葉県　PN:ひねくれっこ　♀　20歳）

坂田　わざわざ「自分がふった」ってことを書いてるところを見ると、その男よりも自分の方が優位に立ってるんだぞって意識が見えるよな。ハッキリ言っちゃえば、その男のことを私物化してるような印象を受けるんだ。そういう意識があるうちは、いい恋愛は出来ないだろうね。誰でもそういう気持ちは持ってると思うけど、それでも笑顔で「頑張ってね」って言えるぐらいにならないと。

——とりあえず、この子はどうしたらいいですかね？

坂田　え？　だって、この子は彼氏がいるんでしょ？

——ええ、そうですね。「大切な彼氏」がいるみたいですけど。

坂田　じゃあ、大切な彼氏を、もっともっと大切にしなさい！　でも、この子の「大切」っていうのが何なのか分からないよな。これじゃ「大切」って言葉が薄っぺらく感じられる。まあ、あっちにもこっちにも気がある状態っていうのが楽しい時期かもね。でも、そんな感じで過ごしてると、気がついたら結局ひとりぼっちになってた、とかいうこともあるからね。そういう事態を招かないように頑張ってください！

——キレイにまとめましたね（笑）。

お相手の人気タレント・小池栄子さんはフジテレビの「PRIDE」メインキャスターとしても活躍中。こういった関係によって、坂田がすぐに「PRIDE」のリングに上がるとは考えにくいが、舞台さえ整えば上がる準備はあるという。

Q. 坂田選手、はじめまして。某居酒屋チェーンで店長をしております。アルバイト店員の扱いで悩んでおります。私はカッとなりやすい性格なのでやる気もなく態度も悪い最近の若いバイト店員には我慢できません。バイト店員もそんな古くさい考えの私に我慢できないらしく、すぐ辞めてしまいます。今時の若者であるバイト店員とはどのように付き合ったらよいのでしょうか？　坂田さんは、リングス時代、相当キツイ「かわいかり」もあったと思うんですが、御自分はどんなかんじで後輩に接してらっしゃるんですか？

（大阪府　PN：はいよろこんで　♂　40歳）

坂田　この人は死に物狂いに働いて、店長にまでなった人なんだろうね。そういう人から見たら、いまどきの若い人間はどうしても自分より劣って見えると思うよ。これは俺もジムを持ってからわかったことなんだけど、ジム生とか内弟子のヤツらって俺の若い頃と比べると全然ダメだもん。

「いまの若い連中は……」って感じですか？

坂田　そうそう。やっぱり、それが自分のプライドだと思うし。「自分と同じ」もしくは「自分以上にやってる」なんて若いヤツ、何十人、いや何百人に一人しかいないと思うよ。

坂田さんは、一見、カッとなりやすそうな性格に見えるんですけど（笑）、いまの時代は鉄拳制裁じゃ、なかなか若い人はついてこないんじゃないですか？

坂田　俺もジムで完璧に成功した人間とは言えないから、あまりアドバイスは出来ないけど、アメとムチを上手く使い分けないと若いヤツはついてこないよ。世の中が変ってきてると思うからね。

——リングス時代はアメとムチを比べたら、圧倒的にムチが多かったと思うんですけど。

坂田　そうだね。この話でいけば、リングス時代の俺はアルバイト店員みたいな立場だったからさ。でも、俺たちにはそれなりに志があって、絶対に成し遂げたいモノがあったから、ムチもプラスに考えられたよね。だから、上の立場に立つなら、そういう意識を持った人間かどうか見極める必要がある。そうじゃない人間は、いつまで経っても変らないよ。

——前田（日明）さんのかわいがりにしても、「なにクソッ！」と思ったこともあると思うんですけど……。

坂田　うん、あるね（キッパリ）。前のインタビューで前田イズムについて語ったけどさ、「じゃあ、一体、前田イズムって何なの？」ってことだよ。

……ボク達には答えられないです。経験した人にしか分からないですね。

坂田　でしょ？　だから、たとえば「前田さんってどんな人でしたか？」って、いま聞かれても答えられないんだよ。前田さんの歩んできた人生に比べたら、まだまだ俺はフリーになってから2年位だし。やっぱり歳を食うのは大事だね。俺やアニキはリングスを自分から辞めていったわけだけど、俺らも前田さんと同じように歳を重ねて似たような状況になれば、前田さんの気持ちもわかると思うけど。

坂田さんがプロレスやってる姿を前田さんのUWF時代や新日本時代とダブらせて観てる人は多いと思うんですけどね。

坂田　それは素直に嬉しいな。俺にとってはいつまでも弟子と師匠の関係だからね。前田さんに憧れてこの世界に入ったわけだし。でも、「前田イズム」とか「前田さんを語ってくれ」って聞かれたら、いまの俺にはまだ分からない。突っ張った言い方に聞こえるかもしれないけど、そういう意識がまだ持てない。

猪木さんの場合も、弟子が大勢離れていきましたよね。「リング上のアントニオ猪木は好きだけど、リング外の猪木寛至は嫌いだ」っていう声はよく聞きます。前田さんも同じような声は聞きますけどね。

坂田　うん。それでもやっぱり、前田さんや猪木さんは凄いんだよ！　一時代を築いた人は、たとえば私生活がだらしなかったとしても、それを超越するもの凄いエネルギーがあるでしょ？

——坂田さんも、いまはリング外の話題で騒がれてますけど、リング上でも、それ以上に騒がれる存在にならないといけませんよね。

坂田　それしかないよね。まあ、俺はプライベートをしゃべるのが仕事じゃないから！　リング上のことをしゃべるのは仕事のうちかもしれないけどさ。そもそも男がグチグチしゃべるのは、かっこいいこ

とにかく本気で好きになったら相手に自分の気持ちを伝えないとダメ！

とじゃないよな。

Q、私の彼は30歳なんですが、いまだに収入が安定しません。安定しないだけならまだマシなんですが、パチンコするし、風俗に通うし、借金あるしで、この先が心配です。しっかりして欲しいあまり、携帯&財布&スケジュールをチェックしちゃうんですけど、私は悪者扱いされてるんです。浮気をしないように&無駄遣いしないように心配でチェックする私と、いつまでたってもチェックされる彼、どちらが悪いですか？　坂田さんは彼女がチェック魔だとムカつきますか？

（福島県：私もFカップ　♀　27歳）

坂田　フフフフフ。面白いな、この質問（笑）。あ、これ僕のことのような気がする（笑）。

坂田　（ビックリして）ええっ⁉　そうなの？　まあ、彼女のチェックしたくなる気持ちも分かるし、やられてもおかしくない男の気持ちも分かる。まあ、一言で言えば、このカップルは、あなた次第！（笑）。

――み、耳が痛いですね（笑）。

坂田　２人の歯車が狂い始めた時に、そういうふうにチェックしちゃうもんなんだよ。で、証拠を掴んじゃったりして（笑）。揺るぎない信頼関係が出来上がれば、チェックしたりするようなことはなくなるんじゃないかな？　無駄遣いやギャンブルで困ってるようなら、その男をマグロ漁船に乗せちゃいなさい！　釣りも上手くなるから、いいじゃない。

――やましいことが何もない時は「どんどん見てくれ」って思うんですけどね（笑）。

坂田　でも、やましいことが何にもない時でも、「アンタ、他の女と遊んでるんじゃないの？」とか聞かれたら動揺しない？

――はい、「ええっ⁉」ってビックリしちゃいますよね（笑）。

坂田　そうやってビックリしてるだけで、彼女にしてみたら「動揺してる」って映るかもしれないじゃん。そのへんで男は損だと思うよ。その点、女は冷酷にウソをつくからね。泣かれたらかなわないし。それにしても、お前は風俗に行き過ぎだよ！

――（動揺して）あっ、えっと、つまり、この相談してきた人の彼氏ですね。

坂田　だから、お前だろ？（笑）。いますぐマグロ漁船に乗って来いって！

――……は、はい、わかりました。

「電話を電話と思うな！　目の前にいると思え！」とは、けたし名言。撮影中も頻繁に電話が鳴っていたが、ひょっとすると相手は……？　今回の件で優しい一面もクローズアップされているが、それも納得

Q、仲のいい友達グループの中で好きな子ができました。同じグループの中のひとりの女の子に恋の相談をしていたのですが、ある日、「君があの子のこと好きだって聞いてから、なんとなく居心地が悪い」と言われてしまいました。どうやら彼女は、僕たちに気を使ってしまい疲れるらしいのです。もしこの恋がうまくいったとしても、グループの友情は大切にしたいのですが、僕はどうやって振舞えばいいんでしょうか。坂田選手、アドバイスお願いします！

（福島県　PN：イエローキャブ大好き　♂　19歳）

坂田　それは順番が違う！（キッパリ）。好きな子がいるなら、その子にまずその気持ちをハッキリ伝えるべきだね。友達に言うなんてもってのほかだよ！　相談された人にはどうにも出来ないんだから。

――でも、こういう人は多いですよね。友達に相談して、軽く気持ちを確かめてみようという感じで。

坂田　たしかに、誰でもそう思うでしょ？　まあ、若いからやっちゃったんだろうな。それをやるかやらないかで、大きく変ってくるのに……今回の件で俺もよくわかったからな（遠い目）。以上っ！

――いやいや、そんな唐突な（笑）。坂田さんは好きになったら、ストレートに相手に気持ちを伝えられる方なんですか？

坂田　いや、俺は伝えられないね。ホントに好きになったら言えない。どうでもよかったら言えるんだけど。

――坂田さん、それ問題発言ですよ！（笑）。

坂田　まあ過去にはいろいろあったからな。

――（ビビりながら）そ、そういえば坂田さんってバツイチなんですよね？

坂田　そうだよ（アッサリと）。それは彼女の周りもみんな知ってるよ。

――それは安心しました。

坂田　俺も昔は、ちょっと自分のタイプだなとか思ったら、すぐ鼻の下を伸ばしてたから……ああ、俺のボロがどんどん出てくる（笑）。まあ、とにかく本気で好きになったら、相手に自分の気持ちを伝えないとダメでしょ？

Q、彼女の束縛に耐えられません。というのは、衣食住すべてにおいて彼女の意見がボクを縛ります。職場で「アイツはバカだ」と言われているボクのイメージを払拭させるために、なぜか髪型をベッカムヘアーにさせられたり、おまけにメガネまで掛けさせられる始末。さらに体型維持と、実はボクはお腹（腸）が弱いという理由で、大好きなコーラも飲ませてもらえません（実は内緒で飲んでいるんですけどね、へへっ）。彼女の束縛に加えて、ある知人からの度重なる中傷か続き、また胃痙攣を起こしそうです。このまま会社を辞めて自衛隊に入ろうかと思っています。彼女の束縛をうまくかわす方法を教えて下さい。ちなみにボクは既婚者です。ホォ〜！

（東京都　PN：契約社員　♂　35歳）

――実は、これは某●日本プロレスの選手のようでもありますけど、その天敵の某●日本プロレスの選手が捏造したんじゃないかと思われる疑惑の質問です（笑）。

坂田　は？　これって、●●さんなの？

――さあ、どうなんでしょう？　ペンネームは契約社員ということですけど（笑）。

坂田　（改めて相談を読み直して）フフフフフ。この場合は、彼女が呆れるくらいバカに磨きをかけなさい！　それしかない。「あなたにはあなたの道があるから、そっちを進みなさい」と言われるぐらい、思いっきりバカの道を進めば、束縛する気もなくなるんじゃないかな？　それぐらいしか俺には言いようがないよ（笑）。

――「馬鹿になれ」ってことですね。猪木さんみたいに（笑）。坂田さんは束縛するような女性はいかがですか？

坂田　そのカップルごとの暗黙の了解があるからね。これも信頼関係の問題だと思う。信頼関係さえ出来ていれば、束縛をされる必要もする必要もないだろうし。

――どこまでを束縛するかはカップル間の問題ですから難しいですよね？

坂田　うん、それは他人がとやかく言うことじゃないよな。でも、束縛から逃れようとすればするほど、彼女は追いかけて来ると思うからね。アドバイスと

しては、何もかもを超越するようなバカになるしかない！　そんなところだよ。

実に、いいアドバイスですね（笑）。

坂田　でもきっと、この人は、みんなが思ってる通りバカなんだろうな（笑）。

Q、以前、告白してふられた男の人が、胸の大きな人とつきあいだしました。「女の子はスタイルじゃないよ。中身だよ」と言っていたくせに。私は胸がないので、くやしくてしょうがありません。そしたら、今度は大ファンの坂田さんが小池さんとつきあいだしたというじゃないですか。もう悲しくて。やっぱり男の人は胸の大きな人が好きなんですか？

（埼玉県・胸だけ本上まなみ　♀　24歳）

坂田　（急に声が裏返って）ボ、ボクはぁ〜……。と、どうしたんですか⁉（笑）。

坂田　ちょっと動揺してしまった（笑）。まあ、人それぞれですから。師匠の前田さんも巨乳好きとして知られてますよね（笑）。

坂田　いや、俺は別に巨乳好きってわけじゃないし……容姿的に「これが好きや！」って言い切れるものはないんだよ。

（疑った目で）そうなんですか？　でも僕の勝手なイメージですけど、坂田さんは女性のルックスを非常に気にする人なんじゃないかなという気はしますね。違います？

坂田　ああ、面食いと言われれば、そうなのかなぁ……でも違うよなぁ（と考え込む）。

他人からは何て言われてるんですか？

坂田　よく「面食いだね」って言われる。

—じゃあ面食いですよ！（笑）。

坂田　ああ、そうか（笑）。まあ、胸はないよりもある方が好き。それぐらいのもんだよ。昔は自分でスレンダー系が好きだと思い込んでた部分もあったんだけど、俺は最近女の子らしい身体をしてる人の方が好きなんだ。俺も29歳にしてオヤジ化してきたのかなぁと思ったんだけど（笑）。

いや、オヤジでも何でもないですよ（笑）。男はみんなそうですから。

坂田　そうだよな？（ホッとして）おかしくないよな。だけど、自分の中に好きという感覚が芽生えたら、スタイルとか容姿的なものは気にならないよ。

そうなんですか。

坂田　ただ、周りから見ると俺は面食いだって言われるんだけどな（笑）。でも今回の件はホントいい出会いですよ。

それはなによりです。

坂田　色眼鏡で見てくる人もいるかもしれないけど……まあ、温かく見守ってください……って無理か（笑）。

特に野郎どもは温かくは見てくれないかもしれないですね（笑）。

坂田　そうだろうな。他の選手から俺に対する攻撃も激しくなってくると思うぜ。ま、それは別にいいんじゃない？　いろんなシチュエーションが考えられるようになったからね。プロレスラーとしての幅も広がったと思うから、これであと3年は確実に消えないだろうな（笑）。

え⁉　3年でいいんですか（笑）。

坂田　いや、5年でもいいけど（笑）。

どんなシチュエーションを想定してるんですか（笑）。たとえばデューク佐渡レフェリーは、小池さんの大ファンみたいなんで、レフェリングも相当に厳しくなることが予想されますが（笑）。

坂田　デュークか！　アイツはファンというより変態らしいからな（笑）。まあ、俺もこんなに大騒ぎになるとは思わなかったから、正直戸惑ってるんだけどさ（苦笑）。

—大変なこともあるでしょうけど、頑張ってください！　温かく見守ってますので！

【10月10日／都内某所にて収録】

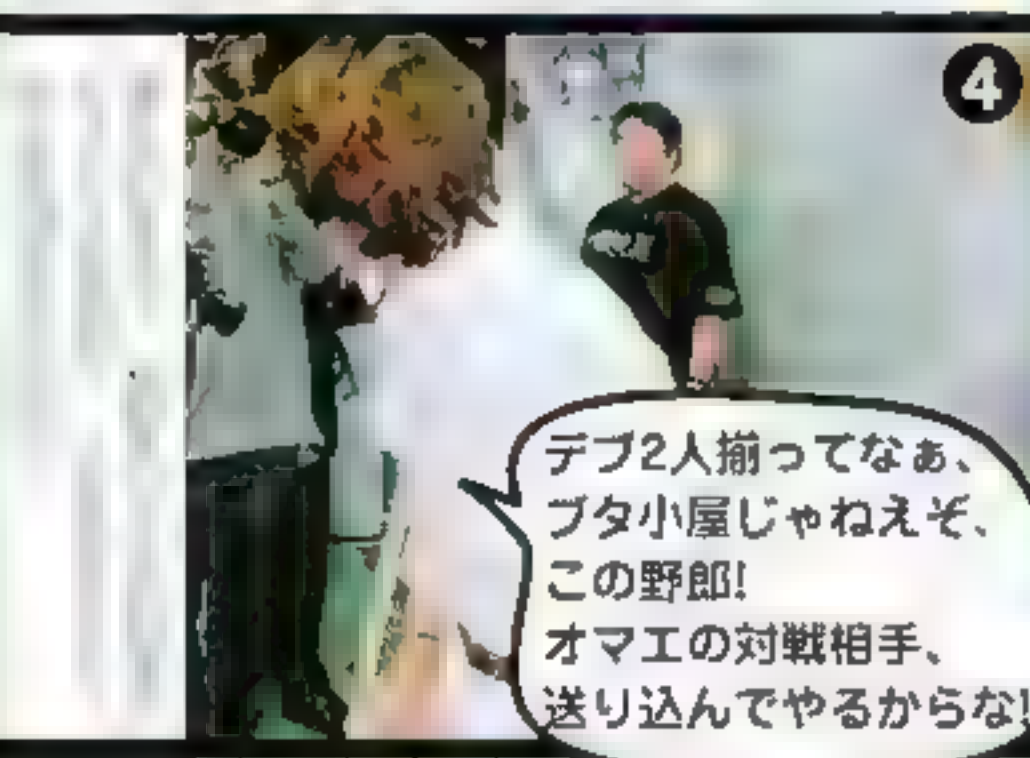
坂田亘のガチンコ恋愛相談

色眼鏡で見てくる人もいるかもしれないけど温かく見守ってください！……って無理か？

坂田のNEWTシャツ発売!

坂田のNEW Tシャツはバックに「Fist of Fury」と大きくデザインされたもの。直訳すると「怒りの鉄拳!」。ブルース・リーの映画のタイトルにも使われたが、今の坂田のファイトにもふさわしい言葉である。こちらはZERO－ONE会場のみで限定販売される。色は黒or白。

12月8日(日)ディファ有明

石川vs滑川、実現! 修斗現役王者も登場!

早くもカードが出揃った12・8　DEEP ディープな詳細は次号で紹介だ!

滑川康仁(フリー)vs 石川雄規(バトラーツ)
須田匡昇(修斗)vs長南亮(U-FILE-CAMP)
伊藤博之(フリー)vsMAX宮沢(荒武者総合格闘術)
一宮章一(フリー)vsアステカ(フロレスリンク華☆激)
原学(バトラーツ)vsKAZE(フロレスリンク華☆激)

●総合格闘技タッグマッチ
上山龍紀&大久保一樹(U-FILE-CAMP)
vs窪田幸生&金井一郎(パンクラス)

●ムエタイ戦士 vs 日本人選抜　3対3対抗戦
"ランバー"ソムデート吉沢 vs X
ナルホン・タックホームシン(現ルンニピー・ジュニアウエルター級王者)vs 山崎剛(チームGRABAKA)
タッパヤー・シスオー(元ラジャタムナン・ライト級王者)vs 岩間朝美(名古屋ブラジリアン柔術クラブ)

●フューチャーキングトーナメント(82kg以下,69kg以下)決勝戦

DEEP 2001
【日時】12月8日(日)OPEN／14:30　START／17:00(フューチャーキングトーナメント15:00開始)
【会場】ディファ有明【お問い合わせ】DEEP2001事務局(TEL.052-339-0303)

長南亮(U-FILE CAMP) VS須田匡昇(クラブJ)

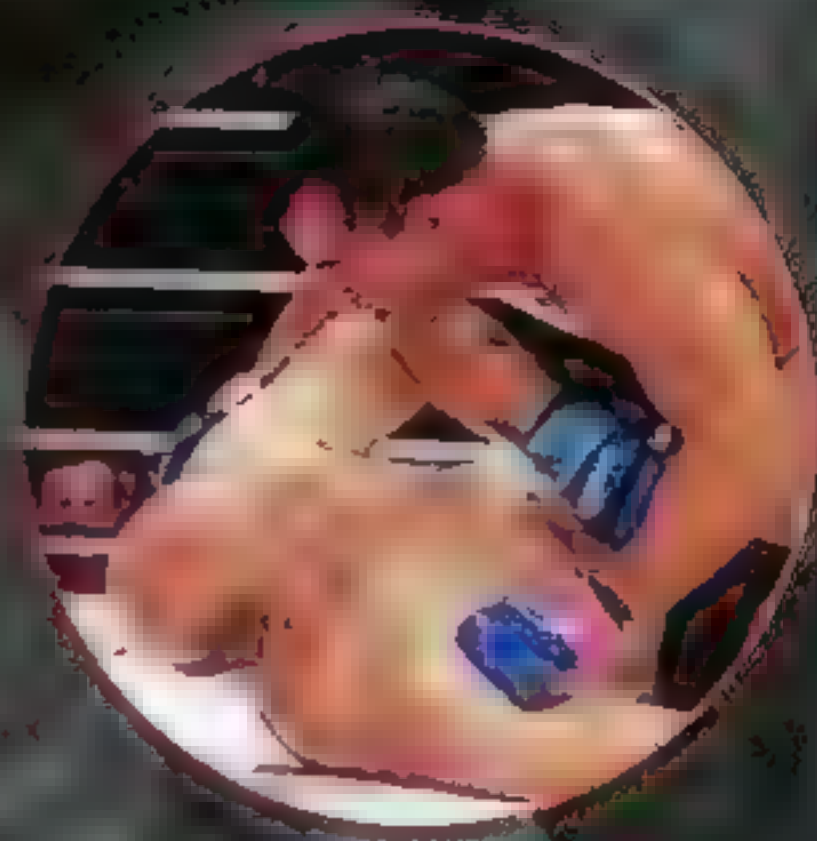
佐伯代表がまたやってくれた! 修斗から、実力者・三島☆ド根性之助を引っぱり出したのに続き、今回は修斗現役王者である須田匡昇を参戦に至らせることにこぎつけた! 第三代ライトヘビー級王者である須田は、修斗では菊田、佐々木、郷野らと激闘を展開し、なんと、初期バトラーツで伝説の人物となっている芳賀元太との対戦経験もある。須田を迎え撃つのはU-FILE所属の長南亮(写真)。前回の『DEEP』で臼田勝美を秒殺で葬ったのは記憶に新しい。成長著しいファイターが、名前を上げる絶好の機会だ。

THE BATTLE FIELD 'ZST' 旗揚げ大会
【日時】11月23日(土・祝)OPEN／16:00　START／17:00
【会場】ディファ有明【お問い合わせ】ZST 事務局(TEL03-5321-9595)

"KOK版タッグマッチ"開催! マニア必涎! ヤノタクと今成がコンビ結成!

リングス『KOKルール』を採用した新たな総合格闘技団体『ZST』の旗揚げが迫ってきた。一番の注目は、相手チームは調整中であるが(18日現在)、"東洋の神秘"ヤノタクと"足関十段"今成のタッグ結成だ。膠着を排除したKOKルールならではの展開に加えて、"動き"が見られる両者である。会場がどよめきに包まれるのは必至なのだ。リトアニア、オーストラリアからのリングス戦士の参戦や、リングス・ライト級戦線で無敗を誇った小谷の登場は、リングスファンなら感涙は当然であり、初観戦者はそのレベルの高さに驚くであろう。他にはKAIENTAI-DOJOの真霜拳號が、サンボマスターと対峙する異色の顔合わせも実現。『ZST』は注目なのである。

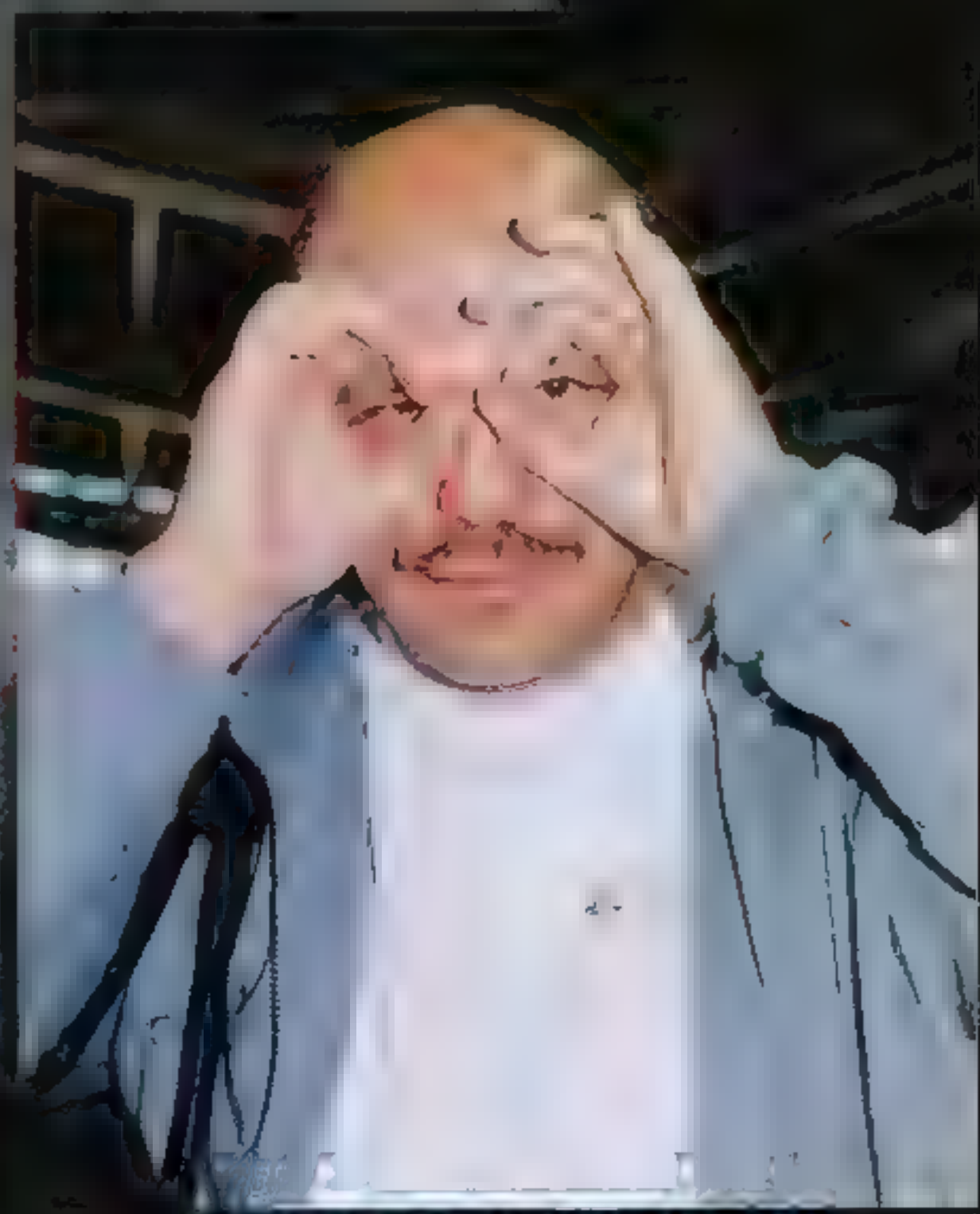
KOKルール採用!
前田日明公認!
"リングス"の続きはここにある!

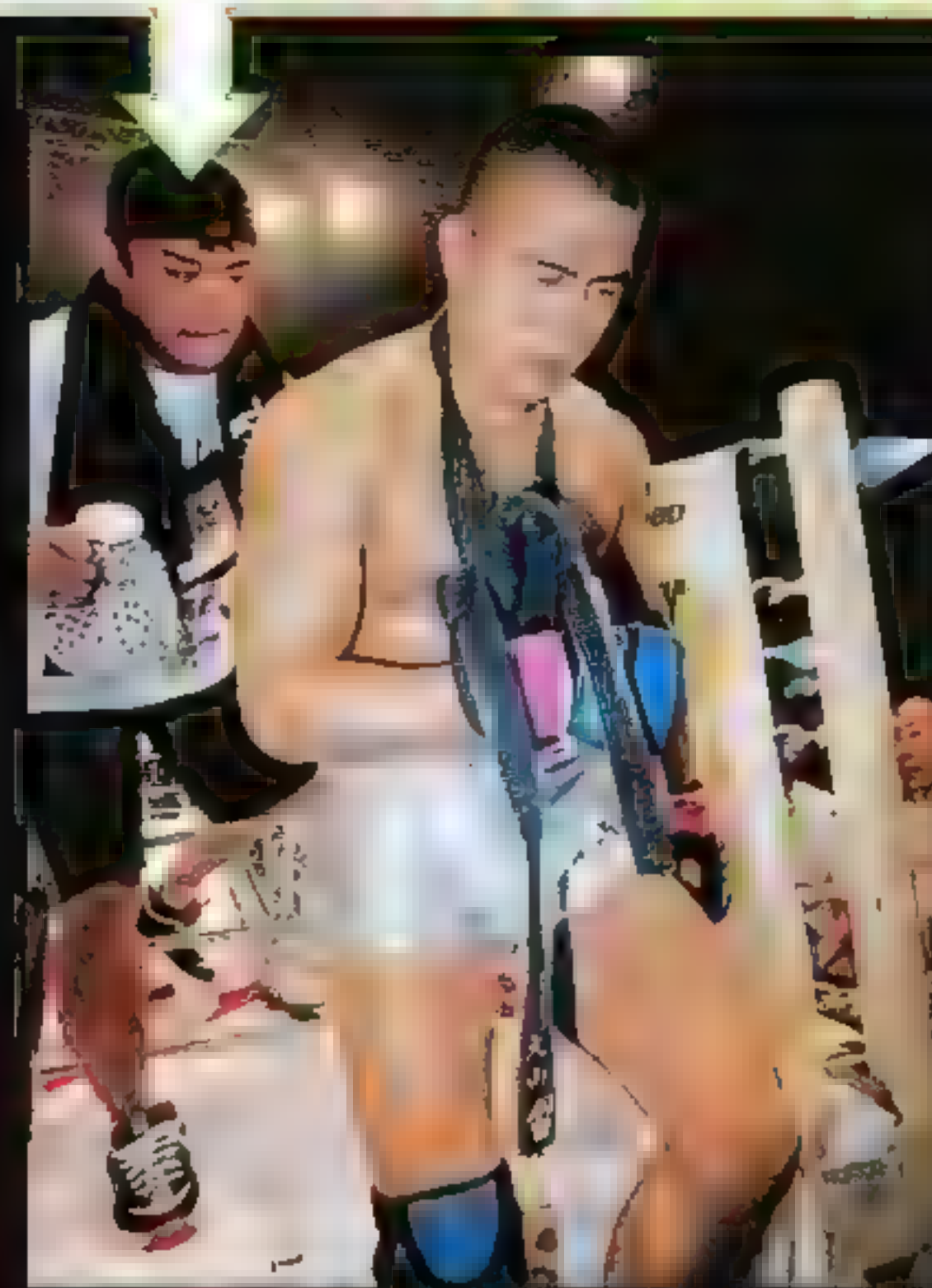
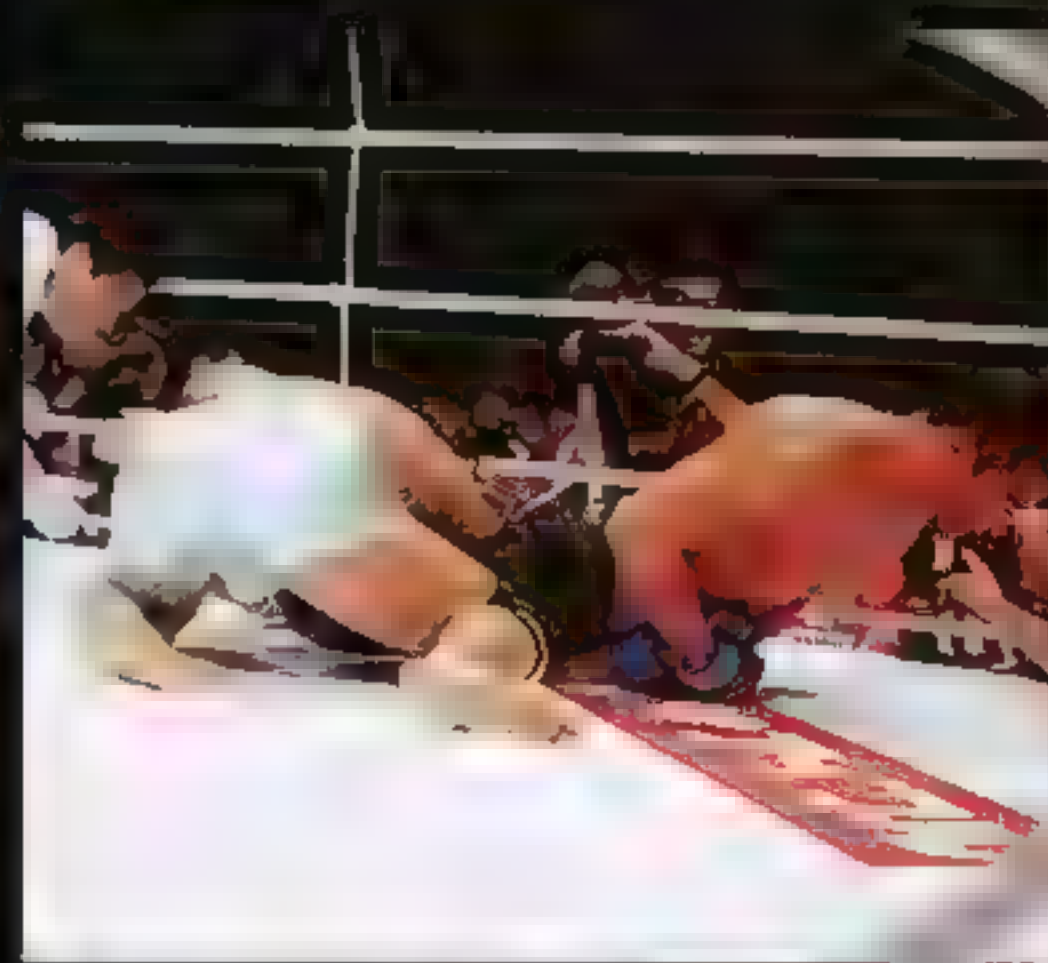
松本天心(SKアブソリュート)vs真霜拳號(KAIENTAI-DOJO)
サム・ネスト(リングス・オーストラリア)vs園田隆(A3ジム)
所英男(チームPOD)vs坪井淳浩(フリー)
佐々木恭介(U-FILE-CAMP)vs小野瀬哲也(ストライブル)
小谷直之(ロデオスタイル)vsリングス・リトアニア招聘選手
●KOKタッグマッチ
矢野卓見(烏合会)&今成正和(ROKEN)vsX&X

8.28『Dinamite!』から9.29『PRIDE.22』
そして11.24『PRIDE.23』へ――

寝技最強闘争は連鎖する!!

8・28吉田vsホイス戦が、「ジャケット」という
新しいモノサシをファンに与えてしまったばかりに、またぞろ吹き出してきた寝技最強論争。
はたしてホントに強いのは柔道なのか、サンボなのか、やはり柔術なのか!?
この興味も11・24への「U」とは別の大きな流れなのだ。

RYAN & RENZO GRACIE
ハイアン&ヘンゾ・グレイシー
［グレイシー柔術］

MARIO & NOGUEIRA
マリオ・スペーヒー&アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
［ブラジリアン・トップチーム］

ANDREI KOPYLOV
アンドレィ・コピィロフ
［ロシアン・トップチーム］

9.29『PRIDE.22』で
ハイアン、大山峻護に完勝!!
次の獲物はこの男(吉田秀彦)だ!!

ヨシダがハイアンと闘えば オオヤマと同じ目に遭うだろうね

RENZO

ヘンゾ・グレイシー

――今回はハイアン選手のお弟子さんも来日していたようですけど、ハイアン選手も道場をやっているんですか？

ハイアン ああ、もう10年も前からやっているよ。「ハイアン・グレイシー柔術アカデミー」という名前で、ブラジルのサンパウロにあるんだ。

――ハイアンのアカデミーというと、なにかイメージ的に、不良学校とか、バッドボーイ養成学校みたいな感じがしないでもないですけど、そんなことはない？（笑）。

ハイアン 確かに不良のたまり場ではあるな（笑）。俺がバッドボーイだということは否定しないよ。でも、俺はみんなを尊敬しているし、俺も尊敬してもらえるようにトレーニングしているんだ。ただ、俺のファミリーに危害を加えるヤツがいたら、俺は復讐を躊躇しないよ。

――お、恐ろしい（笑）。では、『PRIDE.22』大山峻護戦の話に移りましょう。

11.24『PRIDE.23』東京ドームで
柔道vs柔術遺恨マッチ
吉田vsハイアン実現か!?

いまだ消えぬ吉田vsホイスの波紋

いまだ物議を醸す吉田vsホイスの裁定問題。
しかし、ホイスが落ちた落ちないに関わらず、
あの一戦によってグレイシーの威信が大きく失われた
ことだけは確かだ。そんな一族の危機を救うべく
立ち上がったのは、なんとハイアン。
一族きっての問題児がいま救世主になる!

聞き手&撮影／堀江ガンツ　試合写真／乾晋也　designed by matsu(Two three)

ヨシダに「逃げるなよ!」と、伝えておいてくれ!!

RYAN

ハイアン・グレイシー

まずは、完勝おめでとうございます。

ハイアン　ありがとう。勝てて凄く嬉しいよ。

——その嬉しさ余って、なにか試合後は祝勝会で朝までそうとう大騒ぎしていたらしいですね?(笑)。

ハイアン　当たり前だよ。嬉しいときは大いに騒ぐ、それが人として自然なことさ。

——あ、自然ですか(笑)。それにしても、試合に出たのはずいぶんと久しぶりですよね?

ハイアン　ああ。イシザワ(石澤常光=ケンドー・カシン)戦のときからのケガが治っていなかったから、しばらく休んでいたんだ。ただ、今回の試合に勝つことができたということは、本当に試合に対して準備が万全だったということだよ。

——ハイアン選手はケンカは強いけど、トレーニングは真面目にやっていないような

“元ヤン軍団”チーム・ヘンゾが
一族の落とし前をつけるべく

お礼参りに

風評が流れていたんですけど、全然そんなことはないんですね？

ハイアン　誰がそんなこと言ってるんだ？　俺は凄くトレーニングしているよ。それは今回の試合で証明できただろ？

――そうですね。でも、正直言うと、あそこまで完勝するとは思ってませんでした。以前と比べてかなり成長した気がしますが、試合から遠ざかっていた1年数ヶ月はどのように過ごしていたんですか？

腕十字で大山のヒジを破壊したハイアンは、倒れた大山を見下しながら「テメー、はやっぱり女だ！」と罵倒！　このハイアンの態度と、完全に極まった腕をヘシ折ったことにセコンドの吉田秀彦が激怒したらしい。はたして、遺恨マッチは実現するか？

ハイアン　まず、さっき言ったようにケガの治療をしっかりしたんだ。その後はすべて試合の準備だよ。NYのヘンゾ道場でハードなトレーニングをたっぷり積んできた。もう、ケガも治ったし、誰とでも闘ってやる。みんなオオヤマと同じ目に遭わせてやるよ！

――相変わらず威勢がいいですね（笑）。兄でありコーチでもあるヘンゾ選手は、今回のハイアン選手の試合を見た感想はいかがですか？

ヘンゾ　ベリー・グッド！　ニュー・ハイアン・グレイシーが見せられたと思うよ。これまでは日本のファンにあまりいい動きを見せられなかったけど、ハイアンは凄く潜在的な可能性を秘めているファイターなんだ。今回はその潜在性を出すことができて、周りの人にどれだけの能力があるかを見せるいい機会になったと思うよ。

――今回の大山戦はこれまでと比べても特に気合い満点というか、モチベーションが高かったように見えたんですけど、それはやはり、ヘンゾvs大山戦やホイスvs吉田戦を受けて、ファミリーに危害を加えた柔道家への「復讐」みたいな気持ちが強かったからなのでしょうか？

ハイアン　いや、オオヤマに対して「復讐」とか「敵討ち」という気持ちはそんなになかった。ただ、俺が勝つことでファミリーのイメージアップ、そして名誉を守るという気持ちはもちろんあったよ。それにヘンゾvs大山戦に関しては、ヘンゾが判定負けにされてしまったけど、ヘンゾがツバを吐いたというだけのことで、実際に大山に負けたわけじゃないからね。

――その大山戦でヘンゾ選手はめずらしく試合後、怒りを露わにしていましたけど、やはりあの裁定には納得いきませんか？

ヘンゾ　YES。試合の前半にテイクダウンして攻めてようとしていたところで、すぐにブレークをかけられたのはミスジャッジだったと思うよ。また大山がなかなか攻めて来なかったり、ボクとしてはあの試合すべてに納得できなかったし、自分自身納得できなかったんだ。それにミスジャッジはオオヤマ戦だけの話ではなく、最近『PRIDE』ではレフェリーの裁定ミスが多いんだよ。この間のホイスvsヨシダ（吉田秀彦）にしても、ヨシダは勝っていないのに勝利を与えられてしまった。あの判定は納得できない。それだけにやはり怒りがこみ上げてきてしまったんだ。

ニセモノの勝利を受け取ったヨシダこそが真の敗者だ!（ハイアン）

――ヘンゾさんは、ホイラー・グレイシーが桜庭選手のキムラロックでレフェリーストップ負けしたとき、グレイシー一族で唯一、桜庭選手の勝利を認めていましたけど、そのヘンゾ選手でもホイスvs吉田戦の裁定には納得いきませんか？

ヘンゾ　全然納得いかないよ。レフェリーのストップが早すぎたと思う。

ハイアン　俺も同じ意見だよ。あれを極っているなんて言うヤツは素人だ！　それにあれはヨシダの方から、レフェリーに「試合を止めろ」と言ったんだろ？

――「止めろ」とは言ってませんが、「落ちた、落ちた！」とレフェリーストップは促してましたね。

ハイアン　おそらくあの時ヨシダはスタミナが切れて疲れていたので、レフェリーに「もう止めよう」と言ったんだろう。

――え⁉　疲れていたのは吉田選手の方ですか？

ハイアン　俺にはそう見えたね。だから「止めろ」と言ったんだろう。それをレフェリーが信じてしまったんだから酷い話さ。

――では、あの試合から二週間の審議の後、「あれはレフェリーストップではなく、すでに失神しているホイス選手を引き離すためのストップだった」という公式発表がされたんですけど、そんなことはありませんか？

ハイアン　あるわけないだろ！

ヘンゾ　ボクもビデオを見返してみたけれど、ホイスは失神してないと思うよ。

ハイアン　結局、あの試合では誰も勝っていないんだ。それなのに、ヨシダが勝った

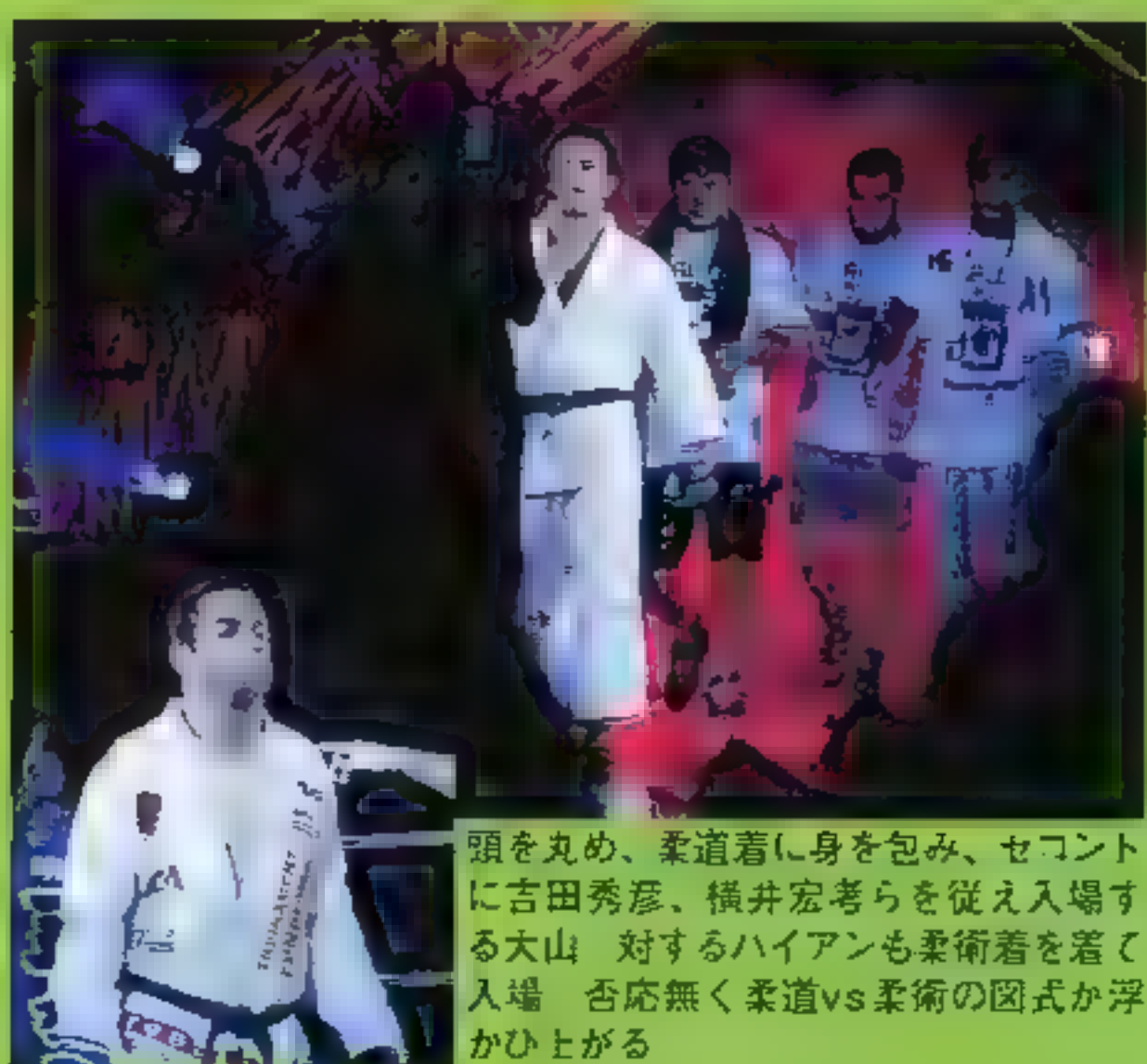
9.29『PRIDE.22』PLAY BACK

10分1R／5分2R

ハイアン・グレイシー
［ハイアン・グレイシー柔術アカデミー］

【1R1分37秒 腕ひしぎ十字固め】

大山峻護
［フリー］

"ガンつけ"には定評がある2人の試合前の睨み合い。シウバ戦でも見せた大山の正統派ゴンタ顔に対し、ハイアンはナチュラルにヤバイ目つき。こんなヤツとケンカしたくない！

頭を丸め、柔道着に身を包み、セコンドに吉田秀彦、横井宏考らを従え入場する大山。対するハイアンも柔術着を着て入場。否応無く柔道vs柔術の図式が浮かび上がる

ことになっているようだけど、あんなウソの勝利を受け入れるなんてヤツは格闘家としての理念に反している！　俺だったら勝ってもいないのにもらえるニセモノの勝利なんて欲しくないね。フェイクな勝利なんてまっぴらだよ。だから本当は「勝利を盗んだヨシダ以外は全員勝利」という最終的な判断が下るべきだったんだ！

——吉田選手以外の全員が勝者ですか！

ハイアン　ホントはノーコンテストさ。でも、ヨシダはウソの勝利を受け取ったイカサマ野郎だ。だからそのヨシダ以外は勝者だということだ！　それを証明するために、俺がヨシダと闘ってやるよ！　本当に「落ちる」ということがどういうことか、俺がヨシダに対して見せてやる！（興奮気味に）。

ヘンゾ　おいおい、それぐらいにしておけよ（苦笑）。

——少々話題を修正させていただきます（笑）。ホイス選手とは裁定が下った後に、お話はされましたか？

ヘンゾ　電話で話はしたよ。凄く残念がっていたね。ホイスは『PRIDE』（『Dynamite!』）に対して、そして日本人に対して残念に思っていたよ。悲しいことだね。

——ハイアン選手は、吉田選手と闘いたいということですけど、彼の実力はどの程度と評価してますか？

ハイアン　とても力が強く、柔道のオリンピック・チャンピオンだから技術と力の両方があると思う。ホイスとの試合結果は納得いかないけど、俺は柔道家としてのヨシダを尊敬しているよ。だからこそ闘ってみたいんだ。『PRIDE』がカードを組んでくれるなら、すぐにでも闘いたいくらいだ。

——もちろんルールはバーリ・トゥードですか？

ハイアン　決着をつけるならバーリ・トゥードが最適だろう。でも、ヨシダがどうしてもと言うなら、ホイスと一緒の柔術ルールで闘ってもいいよ。別にルールなんてどうでもいいんだ。いまヨシダを連れてきてくれたら、ここでやってもいい。

——ちょっとそれは無理です（笑）。でもジャケットマッチでやるとなると、ホイス選手と同じようにパワー負けする心配はありませんか？

ハイアン　俺は体重差には影響されないよ。ホイスだってそんなに影響はなかった。

——ヘンゾ選手は吉田選手の実力はどの程度評価してますか？

ヘンゾ　彼はオリンピック・アスリートでタフガイだから、ルールはどうあれ、どんな闘いでもどこへ行っても基本的には強いと思う。だからどんなルールでも成功するだろう。そのポテンシャルの高さは素晴らしいね。

——では、同じ柔道家の大山選手は評価してますか？

ヘンゾ　オオヤマも強いとは思うよ。ただ、彼の闘いに対する姿勢には納得できない部分があるね。

——ヘンゾさんは、大山選手のパフォーマンスに怒っていたようですけど、桜庭選手のパフォーマンスと大山選手のパフォーマンスは何が違うのでしょうか？

ヘンゾ　サクラバサンはアグレッシブに闘いながら、ファンを楽しませるためにやっているパフォーマンスだろ？　でも、オオヤマはちっとも闘おうとせずに逃げてばかりなのに、挑発とアピールだけはし続けていた。それに頭にきたんだ。サクラバとオオヤマのパフォーマンスは正反対だった。しかし、彼自身反省したのか、今回は凄くやる気がみられたね。かえってそれがハイアンには格好の餌食になったよ。

ハイアン　ヘンゾと闘ったときのオオヤマはファイターじゃなかった。だから今回、俺はオオヤマが逃げないウチにすぐに極めたんだ。ヨシダもオオヤマが腕を折られるところを目の前で見て、怖じ気づいていなければ俺と闘ってほしい。俺はホントにヨシダと闘いたいんだ。ヨシダには「逃げるなよ！」と伝えておいてくれ！

——ヘンゾさんは、ハイアン選手が吉田選手に勝てると太鼓判が押せますか？

ヘンゾ　オオヤマとの試合を見ればその答えは明白だよ。ヨシダもオオヤマと同じ目に遭うだろうね。ただ、それは「レフェリーがヨシダの味方をしなければ」の話だよ。

（02年10月4日／東京・青山「URAKU AOYAMA」にて収録）

RYAN GRACIE

1974年8月14日、ブラジル、リオ出身。174cm、84kg。グレイシー最狂の男と呼ばれる一族の問題児。ケンカ500戦無敗を豪語し、物騒なエピソードには事欠かない。『PRIDE』ではあまりいい成績は残せていなかったが、大山撃破で波に乗るか？

RENZO GRACIE

1967年3月11日、ブラジル・リオ出身。178cm、80kg。一族の中で最も積極的に試合に出場し、田村、桜庭、アレクなど日本での名勝負も多数。柔術世界選手権、アブダビを制した寝技の実力は確か。NYに道場を構え強い選手を数多く生み出してもいる。

ハイアンの完勝にチーム・ヘンゾがリンクに雪崩れ込み大騒ぎ。ホイスvs吉田で地に落ちたグレイシー・ブランドは、この勝利で完全に蘇った。この一族なんともしぶとい！

大山もハイアンのマウントをひっくり返しパンチで反撃するも、ハイアンはその腕を掴んで一気に腕十字へ。大山がタップしないと見ると、さらに絞り上げ、遂に腕を折ってしまった

挑発に乗り、ゴングと同時に殴りかかる大山に対し冷静にタックルを決め、すぐさまサイド、マウントに移行するハイアン。このあたり、単なるケンカ屋じゃない。

NIO RODRIGO NOGUEIRA

BRAZILIAN TOP TEAM

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

11・24『PRIDE.23』へ早くも準備万端

「本当にボクではなくハイアンを対戦相手に選ぶなら、ヨシダにはガッカリだ」

「いつ何時、誰の挑戦でも受ける！」
顔はちっとも似てないが、理想の猪木像へとひた走る
"リアル・アントニオ"ノゲイラ。
今月は11・24ドーム決戦に向けて、
噂される挑戦者候補達をブッた斬ってもらった。
はたして、ドームでノゲイラと闘うのは誰か？

聞き手／堀江ガンツ
撮影／吉場正和
designed by matsu (Two three)

MARIO SPERRY & ANTONI

BRAZILIAN TOP TEAM

マリオ・スペーヒー

A.コピィロフ戦の「マリオは逃げた」説に大反論!

「コピィロフ戦は関節技を極める前に終わっただけ。文句があるなら、いつでも再戦に応じるよ」

賛否両論!
9.29「PRIDE.22」
コピィロフに打撃&ポジショニングで完勝!

ノゲイラ（ノゲイラが表紙になった『紙プロ』前号を見てニヤニヤしながら）いやぁ、いままでで一番カッコイイ表紙だね（笑）。

――お気に召しましたか？（笑）。実は『紙プロ』で外国人選手が単独で表紙になったのは初めてなんですよ。

ノゲイラ　本当？　おぉ～～、アリガトーウ（と握手を求める）。嬉しいなぁ。マガジンのカバーを飾れたということは、日本のみんなに認められたということだから凄く光栄だよ。これは闘いによって自分をしっかりアピールできた証だと思うからね。ボクは日本のファンが好きだし、ファンもボクの試合を喜んでくれているので、すごくいい関係が築けていると思う。それがすごく嬉しいね。

――喜びに水を差すようですが、その"いい関係を築けていた日本のファン"のひとりに小池栄子さんがいたわけですけど……（笑）。

マリオ　ワハハハハー

――元リングスの坂田亘選手と交際宣言したことはご存じですか？（笑）。

ノゲイラ　いろんな人からタレコミがあったよ（苦笑）。サカタを見つけたら、体中の関節を外してやらないといけないな。

――関節地獄の刑ですか（笑）。

マリオ　でも、このニュースで悲しまなければならないのはエイコの方だと思うよ。チャンピオンはミノタウロ（ノゲイラのあだ名）であって、サカタじゃないからね（笑）。

――小池栄子さんは選ぶ男性を間違えた、と（笑）。

ノゲイラ　大間違いだね（笑）。

――坂田選手については、マリオさんもリング上ではご存じだと思いますけど。

マリオ　いや、リング外でも何度か話をしたことがあるよ。なかなかフレンドリーだったね。

――フレンドリーですか？　坂田選手をフレンドリーという人はなかなかいませんけどね（笑）。

マリオ　私やミノタウロにはフレンドリーだったよ。一度、私たちをクラブへ招待してくれたこともあったしね。

――あ、そんなことがあったんですか⁉　懐柔作戦成功ですね（笑）。

ノゲイラ　だから本当はふたりの幸せを願ってるよ。

マリオ　私は違うけどね（笑）。

――マリオさんは願ってない（笑）。関係ないですけど、9・7DEEPでトップチームの選手たちは、スーパーモデルみたいな女性を何人も連れていましたけど、彼女たちは何者なんですか？

ノゲイラ　何者って、みんな友達だよ。その中のひとりはホジェリオのガールフレンドだけどね。トップチームの人間はトップモデルとつき合うのがトップとトップで釣り合いが取れていいんじゃないかな（笑）。

――ハハハ、言ってなさい！（笑）。さて、貴重なインタビュー時間に女の話ばかりしてられないので話題を変えます！

コピィロフの試合前と試合後の発言にはガッカリさせられた

マリオさんは一昨日の『PRIDE・22』では、コピィロフに完勝したわけですけど、まずは試合の感想を聞かせてください。

マリオ　彼は「サンボの方が柔術より優れている」とか、試合前に散々言っていたけど、私は闘ってみて技術的にもそんな感じはしなかったよ。昨日の試合で彼の発言が間違っていたことを証明できたと思う。

――でも、ファンの間ではマリオさんがサブミッションでの真っ向勝負を避けたことが不満だという声もけっこう出ているんですが？

マリオ　そういうことを言うのは簡単だけど、実際にやるのは凄く難しいことだよ。コピィロフは私よりかなり重い選手で、力も強いだろう。いきなり関節技で勝負をするにはリスクが大きすぎる。だから20分間を有効に使おうと思っていたんだ。実際に組んでみたらやはり彼は力があったから、まず自分の有利な点であるスピードを上手く使って、相手のスタミナを奪ってから自分の技を仕掛ける作戦だったんだよ。そのスタミナを奪う手段であった打撃をやりすぎて、一本勝ちをする前に終わってしまっ

MARIO SPERRY

1966年9月28日、ブラジル出身。188cm、95kg。96～99柔術世界選手権4連覇。99アブダビ98kg以下級＆無差別級2階級制覇等、経歴だけで欄が埋まりそうな実績を持つ超大物柔術家。ノゲイラの師匠でもあるブラジリアン・トップチームの首領。

「寝技世界一決定戦」不発！
悪いのはマリオか、コピィロフか？

マリオ側から見たマリオvsコピィロフ

めずらしく柔術着を着て入場してきたマリオ。「サンボは柔術より上」と公言していたコピィロフ相手だけに、柔術家としての無言のアピールか

[illegible]パンチを落としていくマリオ。VTの[illegible]通りにコピィを完封した

マリオの攻撃をもっとも受けたのがこのマウントからのヒザ蹴り。PRIDE初体験のコピィは防戦一方だ

勝負を決めたのは、マリオの猪木アリ状態から踏み込んでの顔面蹴り。打撃と[illegible]だけでコピィロフを破ってしまった

かつて名勝負を展開したノゲイラがコピィの労をねぎらう。[illegible]の再戦もぜひ見てみたいものだ

たけどね（笑）。

――試合中、コピィロフの関節技をかなり警戒しているように見えましたが？

マリオ　もちろん警戒していたよ。彼のサブミッションは非常に危険だし、それに油断していては相手にも失礼だしね。ただ、彼も同じように私のサブミッションを警戒していたんじゃないかな。

――実際に闘ってみて、闘う前と比べてコピィロフの印象は変わりましたか？

マリオ　印象は変わったね。私が彼の顔を破壊して、風貌が変わっていたからね（笑）。

――言いますねぇ（笑）。では、マリオさん的にはあの試合の満足度はどのくらいですか？

マリオ　結果には満足しているけど、彼がもうちょっと我慢してくれたらもっと長く闘えただろうし、サブミッションをしっかり極めて日本のファンに喜んでもらえただろうから、それが少し残念だね。それから、ちょっとガッカリした点が二つあるんだ。

――なんですか？

マリオ　一つ目は彼が試合前に「サンボの方が強い。柔術はたいしたことない」というような発言をしていたこと。もう一つは、彼が試合後、『PRIDE』の関係者などに「マリオは身体にオイルを塗っていた」なんて言いふらしていたこと。その二つにはガッカリさせられたよ。それは本当のことじゃないしね。

――例えばオイルと間違えられるような、顔をカットしないためのワセリンを塗ったりもしてませんでしたか？

マリオ　つけてないよ。もし、彼がそういうことを思ったなら、なぜ試合の途中でタイムを申し出てレフェリーに言わなかったのか？　試合後にそんなことを言う方がアンフェアではないのか？

――では、まったくの事実無根だ、と。

マリオ　もちろん。もし、そんな疑問があるならもう一度試合をしてもいいよ。バーリ・トゥードでもいいし、ジャケットマッチでもいい。どんなスタイルでも再戦に応じるよ。オールヌード以外ならね（笑）。

――ハハハハ。マリオvsコピィロフのそんな試合が実現したら、局地的に人気爆発しちゃいますよ！（笑）。それはともかく、とりあえず次の試合予定はまだ決まっていないんですか？

マリオ　次の試合に関しては、まずブラジルに帰って10日間ぐらい休んでから考えるよ。3月からずっと休まず練習し続けていたからね。4月にムリーロ・ニンジャと試合をして、5月にヒザの手術をして8月に『LEGEND』、9月に『PRIDE』があったから、ちょっと休もうかとも思っているんだよ。

――マリオさんのようなベテラン選手がこの年（36歳）で、連戦するというのは凄いことですよね。

マリオ　確かに試合数は多かったけど、私は練習が好きだから苦にはならないよ。私にとって練習は食事のようなものだからね。練習はやればやるほどやりたくなってしまうんだ。

――そんなマリオさんの考えが行き渡って、トップチームはみんな練習熱心になっているんじゃないですか？

マリオ　やはりリーダーが手本を見せないと下の人間はついてこないからね。それはあると思う。私はいま経済的にすごく安定しているし、もう柔術王者にもなったし、バーリ・トゥード王者にもなったし、サブミッション（アブダビ）王者にもなったから、このまま引退してもいいのだけど、やっぱり練習や闘うことが好きなんだ。だからまだ闘い続けるつもりだよ。

マリオが質問に答えている最中、ひたすら自分が表紙になった『紙プロ』をながめていたノゲイラ。かなり嬉しかったらしい。

――なるほど。では、今度はノゲイラ選手に話を伺います。『PRIDE』名古屋では、予告通り日本語で「いつ何時、誰の挑戦でも受ける！」と言ってましたけど。「誰の挑戦でも」と言っても、やはり『PRIDE』東京ドーム大会（11・24）で希望する相手はミルコ・クロコップか吉田秀彦なんですよね？

ノゲイラ　彼ら二人とはもちろんやりたいよ。でも、彼ら以外にも何人か挑戦を受けているから、そっちでも構わない。ボクは長く闘い続けていくつもりだから、たとえ11月にミルコやヨシダと闘えなくても焦らずにひとりずつ順番に闘っていくよ。

――挑戦を表明している選手の中で、ノゲイラ選手の視界に入っているのは誰ですか？

ノゲイラ　ジョシュ・バーネットだね。

――それは彼を認めているからですか？　それとも、こらしめてやりたいという気持ちからですか？

ノゲイラ　もちろん懲らしめるためだよ。彼は自分をアピールする場所を間違っている。口ばかりだし、8月のボブ・サップ戦の直後に、ボクは試合が終わったばかりでヘトヘトだったのに、いきなり挑戦してくるなんて失礼だよ。11月に闘うかどうかはわからないけど、いずれは闘ってあの減らず口を黙らせてやるよ。

——ジョシュはかなり自信満々みたいなんですけど、ノゲイラ選手から見て、彼の優れている点はどこだと思いますか？

ノゲイラ 彼を評価するならば、打撃は平均並、グラウンドのテクニックはあるけれど、トップチームほどではない。そんなところかな。

——あ、それだけ（笑）。でも、それぐらいの選手がUFCの王者になれたのは、どうしてだと思いますか？

ノゲイラ やっぱり立ち技も寝技もレスリングも、全部が人よりちょっとできるからじゃないかな。

——人よりちょっとですか（笑）。

ノゲイラ それにUFCのチャンピオンと『PRIDE』のチャンピオンじゃ、格に違いがありすぎる。

——やっぱりファイターの間では、『PRIDE』とUFCにそこまで差があると感じているわけですか？

ノゲイラ 少なくともボクはそう思うよ。PRIDEファイターの方があらゆる面で、完璧に近いと思う。それにUFCは金網の中でやるものだから、ただ金網の近くに相手を追いつめてパンチやエルボーを落とす、それだけの競技になっている。そこがUFCの悪い点だよ。UFCは一番いい選手が勝つわけじゃない。金網に追いつめるのが上手い選手が勝つんだ。

マリオ 金網でスモウをとっているようなものだよ（笑）。

——UFCを相撲呼ばわり（笑）。でも、

UFCは金網に追いつめて殴るだけの競技。『PRIDE』とは差がありすぎる

トップチームのムリーロ・ブスタマンチ選手みたいな王者（ミドル級）もいるじゃないですか。

マリオ ムリーロは特別だよ。君もUFCは見たことがあるだろう？ みんなスタンドで殴るか、金網に押し込んで殴るかしかやらない。そんな中でひとりサブミッションで勝つムリーロは、それだけ特別な選手なんだよ。

——では、ジョシュは「強い選手」というより、「金網に追い込むのが上手い選手」ですか？

ノゲイラ "強い"とか"巧い"というより、運がよかったんじゃないかな？ ジョシュはランディ・クートゥアーとUFCの契約が終わりそうなとき、チャンスが与えられただろう？

——え⁉ それはズッファ社（UFC主催会社）の思惑が絡んでいたという……？

マリオ ジョシュ・バーネットはペドロ・ヒーゾにもKOされているのに、なぜペドロにチャンスが与えられずにジョシュが挑戦したのか？ 我々は言えるのは、それぐらいだよ。

——最近、UFCヘビー級の新王者リコ・ロドリゲスもテレビを通じてノゲイラ選手との対戦をアピールしていたようですけど、それについては？

ノゲイラ さっきも言ったとおり、挑戦者がたくさんいるから、焦らなくても順番が来たら受けてあげるよ（笑）。

——「逃げないから後ろに並んでろ」という感じですか？

ノゲイラ そう。（日本語で）ナランデクダサ〜イ（笑）。

——アハハハ、いつの間にそんな言葉覚えたんだ（笑）。リコには一度、『アブダビ』でヒザ十字を取られていますけど、苦手意識はありませんか？

ノゲイラ まったくないよ。あのときは、リングスKOKトーナメントの直後で、いろんな所をケガしていて、特にヒザのケガが酷くて『アブダビ』のあと手術したくらいだったんだよ。だからホントは試合ができる状態じゃなかったんだけど、もう出ると約束していたし、約束を破るのは好きじゃないか

ANTONIO RODRIGO NOGUEIRA

1976年6月2日、ブラジル・バイア州出身。191cm、104kg。99年リングスに初来日。01年第2回KOKで優勝。昨年11月にはPRIDEヘビー級王者となる。8・28『Dynamite!』でのボブ・サップとの歴史に残る激闘は記憶に新しい。

9・29『PRIDE・22』のリングにシウバと共にゲストとして上がったノゲイラは、予告通り日本語で「いつ何時、誰の挑戦でも受ける―」とアピール。ドームでは誰の挑戦を受けるのか？

ら出たんだ。それにあのころは、まだトップチームで練習していない頃の話だからね。あの頃のボクはまだ、そんなにいいアスリートじゃなかったけど、その後トップチームに入って生まれ変わったんだ。
マリオ　リコは「俺はノゲイラを極めたことがある」と言いふらして、それによって自分の評価を上げようとしているけど、あんなのは凄く昔の話で、しかもミノタウロはケガをしていて、ましてや「アブダビ」はバーリ・トゥードとは全然違う競技。ミノタウロといま闘ったらどうなるか、彼自身がよくわかっているハズだ。いまだから言うけれど、私はミノタウロがリコを極めたところを4度も見ているよ。これは私が言うことで、ミノタウロが言った事じゃない。ミノタウロは言う必要もないしね。強い選手はそんなことを言う必要はない。自分の中にしまいこむんだ。リコがミノタウロを極められるのかどうか、時期がくればわかるよ。
――いま一番"旬"な選手である、ミルコや吉田選手については、どのように評価されていますか?
ノゲイラ　ミルコは立ち技がK-1のトップレベルで、しかも寝技のディフェンスも凄く上手くなっている。K-1ファイターの中で一番の強敵だと思う。それからヨシダは日本のアイドルで、オリンピックの金メダリストだから、アスリートとしての才能が素晴らしい。彼は凄くタフなファイターだから、もしボクと闘ったなら凄いファイトになると思うね。

boutreview.com

9・27「UFC-39」で、R・クートゥアーを破り、新UFCヘビー級王者となったリコ・ロドリゲスは、試合後「ノゲイラに勝ってUFCが最強だと証明したい」とアピールした。

リコは「ノゲイラを極めたことがある」と言いふらして自分の評価を上げようとしているが、私はノゲイラがリコを極めたところを4度も見ているよ（マリオ）

――その吉田選手はノゲイラ選手の挑戦に関しては明言を避けているんですけど、ハイアンの挑戦には「受けてもいい」と言っているみたいです。
ノゲイラ　ボクじゃなくて、ハイアンを選んだらダメでしょう（笑）。もしそうならガッカリだなぁ。そんなのボクがヨシダではなく、ヨシダのお母さんと試合したいといっているようなもんだよ（笑）。
――ハハハ、まさに「吉田君のお父さん」vs「吉田君のお母さん」（笑）。
ノゲイラ　え!? どういうこと?
――いえ、こっちの話です（笑）。
ノゲイラ　やっぱりヨシダは（柔道の）チャンピオンなんだから、彼はいい。彼はダメなんて言うんじゃなくて、「誰の挑戦でも受ける」と言わなければダメだよ。
マリオ　やっぱり相手が強ければ、自分たちの価値も証明できるけど、弱い選手と闘っても、そんなに自分たちの価値は高まらないよ。だからヨシダだったらもっといい相手を選ぶべきだと思う。
――やはりマリオ選手から見ると、ハイアン・グレイシーという選手は、そんなに評価できませんか?
マリオ　悪い選手だとは言わないけど、もっといい選手がたくさんいるということだよ。それにハイアンは柔術家と言うよりも、バーリ・トゥードの方がいい選手だからね。せっかく柔道vs柔術という闘いの図式ができているのだから、現役柔術家でなおかつバーリ・トゥードをやっているトップ選手と闘った方がいいと思う。それはトップチームの選手だよ。そうすれば本当の意味で柔術vs柔道の闘いが見られる。
――"柔道vs柔術第2ラウンド"みたいに言われた、大山vsハイアンはどんな感想をもちましたか?
マリオ　ハイアンは、かなりいいファイトをしたと思うよ。ただ、それ以上にオオヤマが凄く大きなミスを冒したことがあの勝負を決め手になったね。
――それはどんなミスですか?
マリオ　オオヤマはハイアンのマウントを返した後、腕を伸ばして思い切りパンチを叩き込んだだろう? あんなに肩を入れたら十字を取られて当然だよ。これはバーリ・トゥードの基本中の基本で、柔術のアカデミーでは初心者に教えることだ。たぶん試合で興奮していて「いま殴らなければ」という気持ちが強すぎて、パンチを出してしまったんじゃないかな。ブラジルの言葉で、ああいうのを「食べ過ぎでお腹をこわす」と言うんだ（笑）。
――パンチは「腹八分目」にしとけ、と（笑）。
マリオ　その通り。私とコピィロフの試合も、私がサブミッションばかり狙いに行ったら、同じように腕を取られていたかもしれない。やっぱり試合をするなら、絶対に相手にチャンスを与えないということを考えているよ。
――まぁ、観る方の勝手な意見を言えば、「大食い選手権」みたいな試合も観たいですけどね（笑）。ノゲイラ選手は髙田延彦選手との試合にも興味があると聞きましたが?
ノゲイラ　昨日、インタビューでリポーターが振ってきたから答えただけなんだけど（笑）。ミスター・タカダの引退試合で、チャンピオンのボクと戦うというのはいいマッチメイクだとは思うよ。
――髙田選手については、どのように評価していますか?
ノゲイラ　彼は非常に闘いの歴史を持った選手だと思うし、ボクと同じように相手を選ばない。誰とでも闘う勇気を持った選手だと思う。彼は「PRIDE」でもヒクソン、コールマン、マーク・ケアー、ボブチャンチン、ミルコ・クロコップなど、そのときどきの一番強い選手と闘っている。だからいまのチャンピオンであるボクとの試合はいいマッチメイクだと思う。彼の引退試合の相手として闘えるなら光栄だね。
――いやぁ、「PRIDE.23」で誰がノゲイラ選手と闘うか、今から非常に楽しみですね。
ノゲイラ　ボク自身は強い選手なら誰が来てもOK。イッツ、ナンドキ、ダレノチョーセンデモ、ウケル! だからね（笑）。
――すっかり自分の言葉にしてますね（笑）。次はベルトをかざしながら「てめぇらの力で勝ち取ってみろ!（ヨダレ）」ってやるのを期待してます!（笑）。

【02年10月1日／都内・某ホテルにて収録】

コピィロフおじさん、ブラジル人に怒り爆発!
そして、『PRIDE』の根本に迫る問題提起

コピィロフ、マリオの打撃&ポジショニングになす術なく完敗!
これは本音か、それとも強がりか?

「マリオと闘ってみて改めてサンボの関節技は柔術より遥かに上だと確信した」

“究極の寝技合戦”と謳われながら、
マリオが寝技勝負を避けたこともあり、
残念ながら期待はずれの内容に
終わってしまったマリオvsコピィロフ。
これにガッカリしたのは
当のコピおじさんも同様だったようで、
試合翌日インタビューを試みると、
ブラジル人への文句が大爆発した!
これは本音か、それとも強がりか?

聞き手/堀江ガンツ
撮影/乾晋也
designed by matsu (Two three)

アンドレイ・コピィロフ

ANDREI KOPYLOV

RUSSIAN TOP TEAM

ANDREI KOPYLOV

――初の『PRIDE』参戦は残念な結果に終わってしまいましたが、まずはマリオ・スペーヒー戦の感想を聞かせてください。

コピィロフ　私は今回初めて『PRIDE』に参戦しましたが、大会で採用しているバーリ・トゥードというルール自体が、柔術形式、ブラジル形式の闘いなのだと思いました。このルールでいい結果を残すには我々がいままでやってきたトレーニングを変えなければならないでしょう。以前、私が闘ってきたリングスのスタイルは我々サンビストにとってとても相性が良く、いままでのトレーニング方法が良い結果を生んできましたが、『PRIDE』では違ったアクセスが必要だと強く感じました。

――トレーニングは具体的にどんな点を変えなければいけないと思いましたか？

コピィロフ　『PRIDE』の試合スタイルであるバーリ・トゥードという形式は、柔術の闘いを強く意識したものだと思います。そういう意味から言えば、相手より優勢なポジションを取ることが第一。そして上から相手を組み倒したり、抑え込まれた場合にその体勢から逃げる技術が必要だと思いますが、それも昨日のようにワセリンかなんかを塗られると難しいですね。

――え!? それはマリオ・スペーヒーが身体にワセリンを塗っていたということですか？

コピィロフ　そのこと自体がルール違反かどうかはわかりませんが、彼は身体にワセリンを塗っていたような気がします。なぜそう感じたかと言うと、試合が始まって1分も経たないウチにすごく汗が噴き出してきてツルツル滑ってどうしようもなかったんです。人間そこまで汗を掻くというのはありえないことですから、おそらく身体にワセリンを擦り込んで、試合が始まった後に吹き出すようにしていたんでしょう。

――う～ん、事の真偽はわかりかねますが、それは別としてマリオ選手の実力はどのように評価しますか？

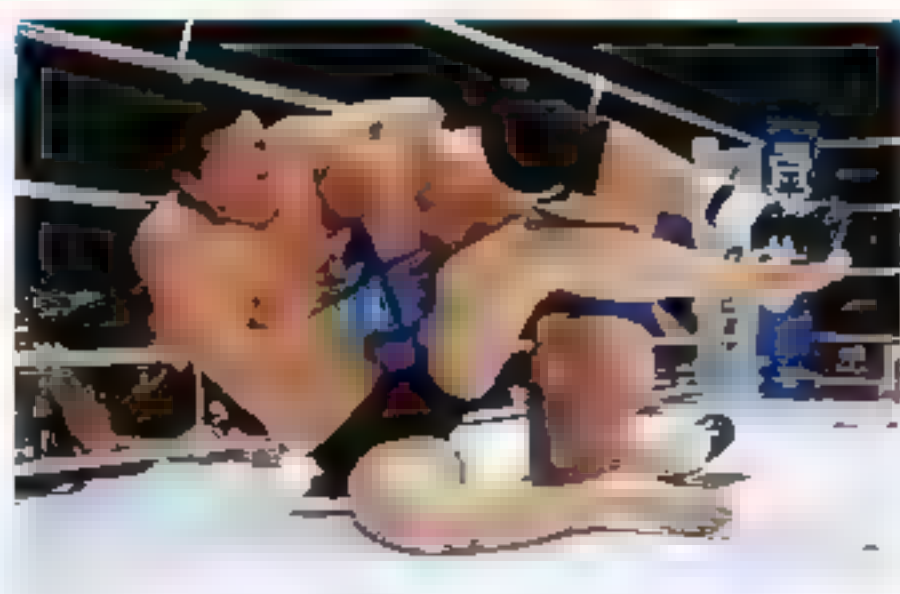
コピィロフ　私は昨日闘ってみて彼らは『PRIDE』のルールに合うように、常にポジショニングや上から抑え込む練習を徹底的にやっているんじゃないかと感じました。彼らのそういった技術は確かに素晴らしいものだと思います。ただ、これは私が何度も言ってますが、関節技に関しては、どんなブラジルの選手でもあっても、私を極めるのは不可能です（キッパリ）。

――〝極めっこ〟なら負けるはずがない、と。

コピィロフ　そうです。たとえ彼らが関節技らしきものをやったとしても、それは私たちの技術から比べれば、関節技とは呼べないような代物だと思います。事実、昨日の試合だけでなく、リングス時代から数えても、私がブラジル人の関節技で脅かされる局面は一度もなかったですしね。もちろん、関節技以外に、ブラジル人が大変得意にしてるものがあることはわかりますが。ただ、昨日の試合で負けたことに関しては、私が試合運びを間違えてしまったことも大きいと思います。私は寝技に持ち込もうと自分からタックルに行き、結果的に下のポジションになってしまいました。あそこは、彼のタックルを待って上から押しつぶすべきでしたね。これはグラウンドになって、彼の身体が滑りやすくなっていた時点でそう思いました。どのように掴んでも、

もうひとりのロシアン・トップチーム、コーチキンもヒーリングに完敗

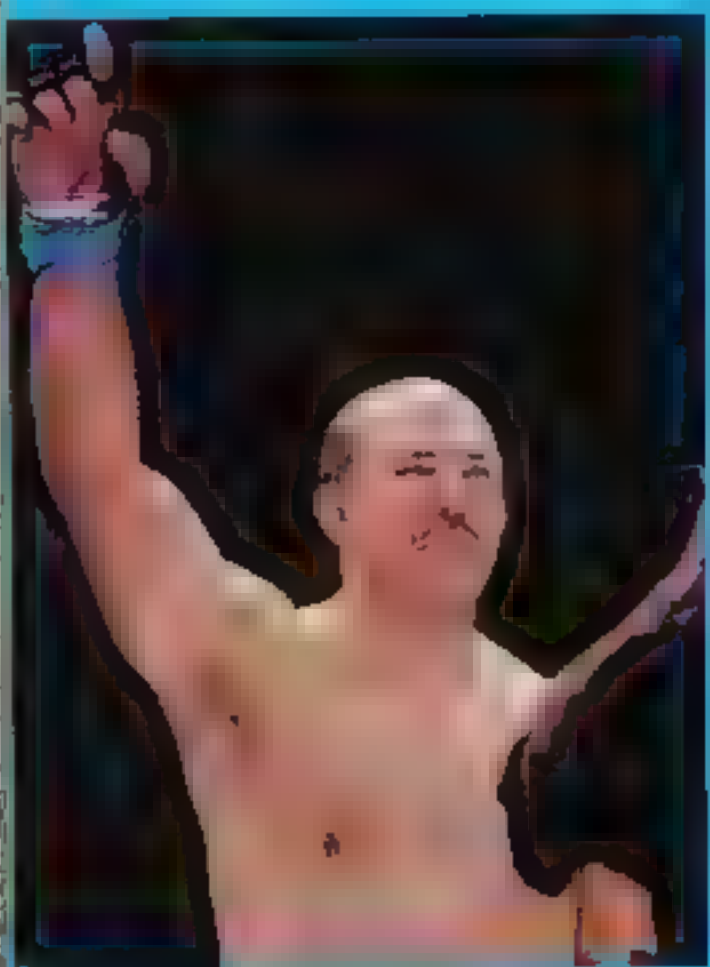
○ヒース・ヒーリング［1R7分31秒・レフェリーストップ］**コーチキン・ユーリー●**

ヒースの4ポイントからのヒザ連打にレフェリーが慌ててストップ。しかし、コーチキンはしっかりガードしており、この裁定には不満顔だった

柔道の欧州王者でもあるコーチキンは、ロシア勢らしく不利なポジションからでもお構いなしに腕絡みを狙う。その地力は実に侮れない。

空手式の間合いで突きや蹴りを入れるコーチキンに対し、ヒースはゴールデン・クローリー仕込みの爆発力ある打撃で互角以上の攻防を展開

第6回極真世界大会にも出場した空手の猛者であるコーチキンは、今回が初となる「PRIDE」のリングに上がるなり、まず十字を切った。どこか陰があるような、その風貌が魅力だ。

「寝技世界一決定戦」不発！
悪いのはマリオか、コピィロフか？

コピィロフ側から見たマリオvsコピィロフ

自信満々の表情で「PRIDE」に初見参した我らがコピおじさん。2月のリングスより腹もへこんでおり、一本勝ちが期待されたが……

"ロシアン酔拳"と呼ばれるコピおじさん独特の打撃こそ見られなかったが、なかなかどうしてスタンドでもそこそこ対抗してしまうから凄い

ワセリンの影響もあり（？）、ポジションは圧倒的に不利だったが、どこからでも極めてしまいそうなのが、コピおじさんの怖いところ

試合終了直前、コピが足を取りに行くと、あの寝業師マリオがすっ飛んで逃避！　このシーンが見れただけで、ある意味コピの勝ちだ！

結果はマリオの顔面蹴りによって唇が裂けたコピおじさんのドクターストップ負け。ゼヒともジャケットマッチでの再戦が見たい。

滑って抜けてしまったんで、あそこからではは私の得意な関節技を仕掛けることができなかったんです。

――この試合は、コピィロフさんがサンボ式の寝技の達人で、マリオ選手も柔術式の寝技の達人ということで、"寝技最強対決"と謳われていたわけですけど、寝技で負けたという意識はありませんか？

コピィロフ　それはまったくありません（キッパリ）。試合の結果こそ私がブラジル人に負けたことになっていますが、サンボが柔術に劣っていた印象は受けませんでした。先ほども言ったように、「PRIDE」は寝技で上になった者が判定で有利になる傾向があります。しかし、マリオ選手は私の上にはなりましたが、彼が持っているという柔術の優れた技術は見せられなかったと思います。まぁ、それは私自身も同様なんですけど（笑）。それにしても、彼は私が何を仕掛けてもその度に寝技を避けるだけで、自分から私に仕掛けてこようとはしませんでした。彼の見せた攻撃はヒザ蹴りぐらいでしょう。これでは寝技の実力は計れません。ただ、ブラジルのルールでは、彼の勝ちなのでしょうけどね。

――では、あの試合はあくまでブラジルのルールで負けただけだ、と。

コピィロフ　その通りです。日本人はブラジル人に対して、良い意味のステレオタイプのようなものをお持ちのようで、ブラジル人＝強いと思っているようですが、それはやはり、いままで培ってきた柔術を使って、ブラジルのルールであるバーリ・トゥードで闘っているからそういう印象を受けるんです。だから例えばノゲイラがサンボのルールで試合をすれば私の敵ではありませんし、ライバルとも呼べない存在です。他のサンビストにとってもノゲイラを脅威に感じることはないでしょう。それは8月に行われたグレイシーと日本人の柔道マッチを見れば明らかです。

――あ、吉田秀彦vsホイス・グレイシー戦のことですね。

コピィロフ　あの試合でグレイシーは良いところを見せましたか？　アキレス腱固めらしきものは見せましたが、あとは何もなかったでしょう。ああいった柔道ルールで闘えば、日本人が勝つのは当たり前なんです。もっともグレイシーが道着を脱いで闘っていたら、まったく違った結果になっていたでしょう。

――でも、マリオ選手はコピィロフさんと闘うにあたって、ホイスvs吉田と同じルールで、ジャケットを着て試合をしてもいいと言っていたんですよ

コピィロフ　ほぉ～、それはナイスアイデアですね。ぜひやりたいです。でも、なんでもっと早く言わないんでしょうか？　もし道着を着て闘っていたなら、ワセリンなどの効果も期待できないので、まったく違った結果になっていたと思います。それは間違いないでしょう。私は実際にブラジル人と闘ってみて、やはり柔術よりもサンボの関節技の方が上と判断しましたから。

私に言わせればノゲイラのヒザ十字などは関節技とは呼べない代物です

――それはどの辺りで判断されたのでしょうか？

コピィロフ　サンボには五千以上の関節技があります。それに比べると彼らは圧倒的に関節技に関する知識がたりませんね。しかも、間違ったやり方で覚えてしまっていることが多い。

――柔術の関節技は間違ってますか！

コピィロフ　よく正しくない関節技をやっているのを見かけます。（ノゲイラがサップにヒザ十字を仕掛けようとしている写真を指しながら）例えばこれなんか、やろうとしていることはわかるんですが、これは関節技とは呼べませんね（キッパリ）。

――どの辺が間違っているのでしょうか？

コピィロフ　手の位置も足の位置も体重のかけ方もすべて間違えています。

――なんと全部不正解（笑）。

コピィロフ　私にはなんとか関節技らしきことをやろうとしているようにしか見えません。これひとつ見ても、サンボの関節技の方が上だということは明らかです。でも、なぜサンボの選手の方が上なのに勝てないのかというと、それは柔術の選手が柔術家がもっとも得意とする彼らの試合スタイルで闘っているからなのです。ヨシダ選手がオリンピック形式で強い、そして私がサンボに強いのと同じで、グレイシーや柔術家が柔術形式のバーリ・トゥードで強いのは当たり前なんです。それでも彼らが本当に強い選手と言い張るならば、なぜ他の競技に参加しないのでしょうか？　今回私は初めて「PRIDE」に参戦しましたが、マリオ・スペーヒーや他のブラジルの選手が、私の年齢でサンボの大会に出て、どのような結果になるかは言うまでもないでしょう。

――では、コピィロフさんはなぜ、この年齢（37歳）で「PRIDE」に参戦しようと思ったんですか？

コピィロフ　私が「PRIDE」に参加するのは、バーリ・トゥードという競技がいま日本で一番ポピュラーだからであり、私のファンもそれを期待しているであろうからです。でも、私はいまの「PRIDE」人気がいつまで続くのかを危惧しています。このままブラジル人のためのルールで、ファンを置き去りにした闘いを続けてはたしてファンがついてくるのか？　しかも勝利のためにはワセリンやドーピングが使われることもある。

――ド、ドーピングですか⁉

コピィロフ　これは冗談で言っているわけ

ではなく、重要な問題です。例えば、（ある選手の写真を指し）彼なんかはもの凄くスタミナがありますね。でも、これは不自然なスタミナです。私は数多くのスポーツ選手を見てきましたが、あのように最初から最後までラッシュできるのは、スポーツ学的におかしい（キッパリ）。これはある程度まで行ったスポーツ選手なら誰もが気づくことでしょう。断言はできませんが、そういった疑惑がある選手は実際に存在するし、これから増えていくかもしれない。そういったことも危惧しています。

――う〜ん、難しい問題ですね。

コピィロフ　これは別に私がスタミナ不足だから言っているわけではないんですよ（笑）。

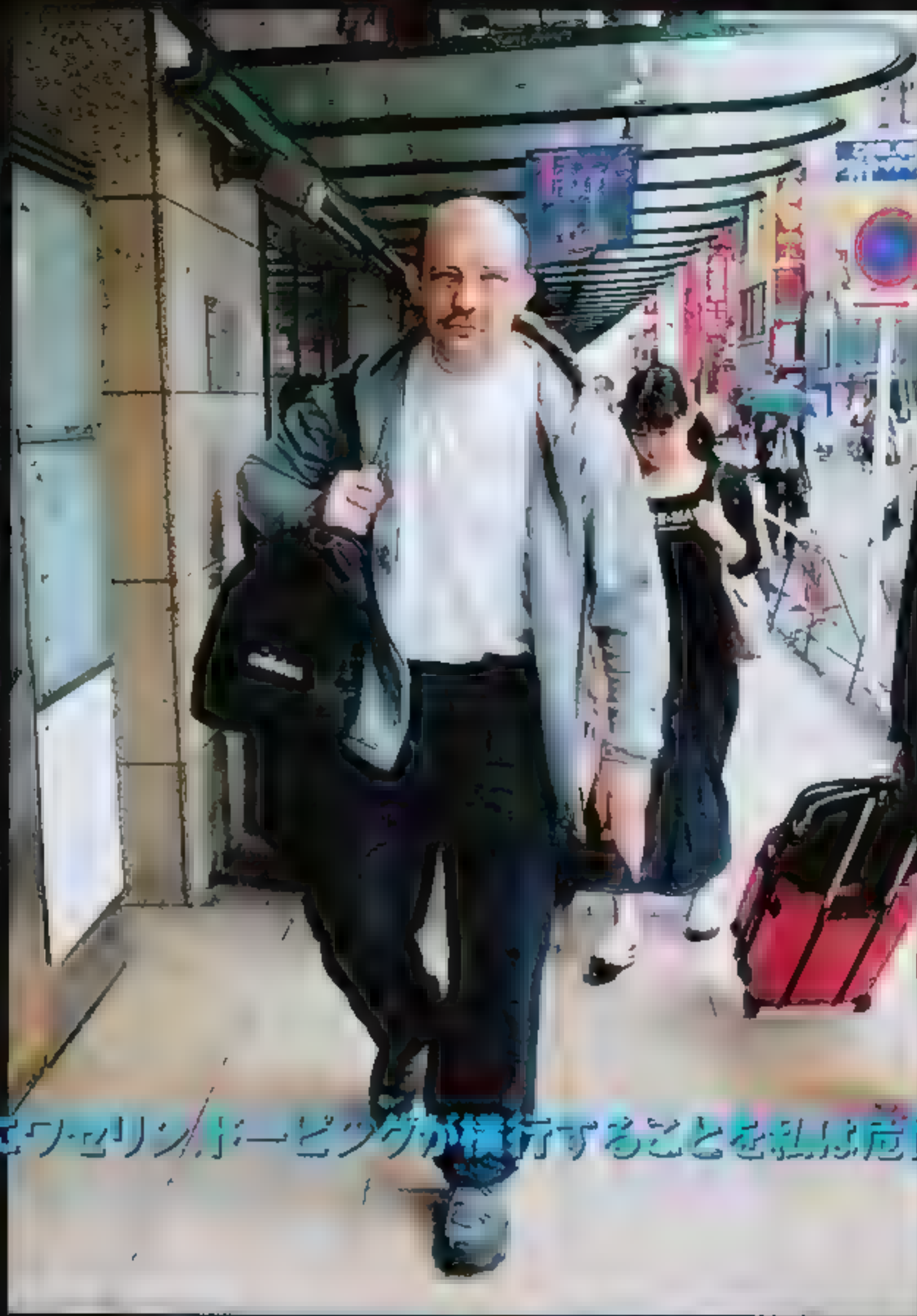
――ひがんで言っているわけではない、と（笑）。

コピィロフ　事実、今回私は大会に向けて3ヶ月練習する時間があったので、スタミナに関する不安はありませんでした。ただ、彼の身体があまりに滑るので、1ラウンドは攻めるだけ攻めさせて、2ラウンドになって相手が疲れたところを極めようとしたんですが、上手くはいきませんでしたね。

――本国ではニコライ・ズーエフさん（元リングス・ロシアでサンボの名選手）のところで練習してるんですか？

コピィロフ　そうですね。私のもともとのトレーナーというのは、アレクサンドル・ヒョードルフさんで、ズーエフも彼について学んでいたのでその関係で彼のスポーツジムで練習しています。彼のジムは大変立派で、『リングス・エカテリンブルグ』という名前なんですよ。日本のリングスは終わってしまいましたが、ロシアでリングスは続いていると言っていいでしょう。

――それは嬉しいですねぇ。やっぱりコピィロフさんは『PRIDE』のルールより、リングス・ルールの方が好きですか？

コピィロフ　リングスのルールというのは、『PRIDE』に比べてサンボに有利になっていました。『PRIDE』は柔術に有利なルールなので、やはりリングス・ルールの方が好きですね。でも、日本にリングスはもうありませんから、これから『PRIDE』用の練習をしっかり積んでこようと思います。ただ、ひとつ心配なのは『PRIDE』のルールが急に変わってしまわないか、ということです。

「PRIDE」にワセリン、ドーピングが横行することを私は危惧しています

ANDREI KOPYLOV

65年6月10日、ロシア・エカテリンブルグ出身。190cm、120kg。元サンボ全ソ連王者の肩書きを持ち、その極めの強さはリングス時代に柔術世界王者ブランコを16秒で極めたり、ノゲイラと互角以上の攻防を展開するなど実証済み。1度はサンボジャケットマッチが見たい！

――いや、ルール変更の予定は特にないと思いますけど……。

コピィロフ　それならばいいのですが、リングス時代には大きなルール変更がありましたから。そういったことがあると、これまでの練習が無駄になってしまうことがあるので、それがちょっと心配だったんです。

――やっぱりコピィロフさんの年齢から新しいルールに挑戦するのは、大変なことでしょうからね。でも、ロシアから、かつてのコピィロフさんのような若いサンボのチャンピオンが出てこないのはどうしてなんでしょうか？

コピィロフ　それはソ連が崩壊してしまったことが最大の要因です。ソ連時代は、国全体がスポーツに力が入れていたので強い選手がどんどん育っていったのですが、ソ連が崩壊したあとはスポーツに対しての経済的援助がまったく閉ざされてしまったのです。しかも、ソ連時代は、スポーツ選手の生活面においても、国家の統括のもと行われていましたが、いまは資本主義になって、タバコが吸いたければ吸っていいし、女の子と遊びたければ遊べばいい状況ですから、若者もスポーツに対して興味がなくなっているのです。情熱なければレベルは高くなりません。私は、かつてのサンビストのレベルと、いまサンビストのレベルの格差について非常に危惧してます。

――そんな事情があるんですね。

コピィロフ　そんな状況下ですから、私も若い選手の技術向上を目指して資金援助もしてるんですけど、良い指導者が残念ながらいないのです。スポーツに対する援助がなくなったことによって、ソ連時代の良い指導者は、お金のためにアメリカやヨーロッパに行ってしまいました。ロシアにだけ良いトレーナーが残っていないのが現状なのです。ですから、ソ連時代のような強いチームをつくるのは大変厳しい状況です。

――そんな厳しい状況の中でも、強いチームを作ろうとしているのが、ズーエフさんであり、ハン選手であり、コピィロフさんなんですね。

コピィロフ　そうですね。我々は闘いに対する情熱があります。そして若い選手を育てる情熱、ファンにいい闘いを見せたいという情熱もあります。そのために、いまは日本で流行しているバーリ・トゥードというスタイルに合わせた練習をして、『PRIDE』でトップに立てる選手を育てたいと思います。

――ロシアで若くて強い選手というと、エメリヤーエンコ・ヒョードル選手がいますが、彼は『PRIDE』でもチャンピオンになれると思いますか？

コピィロフ　可能性は大いにあります。まぁ、ヒョードルにワセリンを買ってやれば問題ないでしょう。

――皮肉ですねぇ（笑）。

コピィロフ　もっとも私が買ってやらなくても、ヒョードルはいつもお尻の穴に塗っているから必要ないでしょうけど（笑）。

――ダハハハ！　コピィロフさんらしい話が出たところで、今日はお開きにさせていただきます（笑）。ありがとうございました。

【02年9月30日／名古屋から東京へ向かう新幹線の車内にて収録】

――ボクがアメリカにいた頃から、おばちゃんとは、よく話もしてたし、詳しいつもりなんだけど、おばちゃんの歳は一体いくつなんですか？　いきなり失礼な質問なんですけども（笑）。

リー　やあね、失礼よ、レディーに歳を聞くなんて（笑）。

　レディーでしたか！（笑）　それはそれは、失礼しました。

リー　ホントよ（『紙プロ』54号をパラパラとめくりながら）そういえば、この間のおっきな大会（『Dynamite!』）でイノキさんがスカイダイブやったんでしょう？　凄いわよねぇ。ところで、イノキさんていくつなの？

　確か、59歳でしたかね？

リー　ああ、それならアタシの方がまだ若いわね（笑）。

　そうなんですか？

リー　何かおかしくて？（笑）。それじゃ、アタシは39歳ってことでどうかしら？

　さ、さ、39歳ですか？（どう考えても50代後半？　猪木より年上説もある）ちょっと、それは言い過ぎでは……。

リー　（遮って）ほら、アメリカのカントリー・ウェスタンの歌にあるでしょ？「♪39で止まってるぅ〜」って（と陽気に歌いだす）。だから39歳って書いてちょうだい。この間もねぇ、いきなり「おいくつですか？」って聞いてきた選手がいてねぇ、「アンタにゃ関係ないでしょ！」ってビシッと言ってやったら、キョトンとしてたわ（笑）。

　そりゃ、おばちゃんに凄まれたら怖いですよ。選手だって逃げちゃうでしょう（笑）。

リー　そんなことないわよ。（再び『紙プロ』を見ながら）そういえば、グレイシーがまたモメたみたいじゃない？　一体、どういうことなの？（と、ひとしきり吉田秀彦戦の詳細を説明させられ）ふ〜ん、そういうことなの。

　聞いた限りでは、どう思われます？

リー　そうね、アメリカの格言で「昨日の新聞ほど古いものはない」ってあるんだけど、あなた知ってる？

　いや、知らないですね。どういう意味なんですか？

リー　古新聞は、もう魚をくるむしか使えないってことね。昨日のニュースになってしまった過去のスターっていうのが格言の意味よ。●●●●・●●●●●●なんかもそう言えるかもね（笑）。

――あ、そうなんですか（笑）。

リー　ホイスは自分のことだけを特別だと思いたいんでしょ。でもね、彼だけの特別ルールなんて、それは説得力ないわよ。

　まあ、レフェリングミスとか、いろいろと言われてるんですけどね

リー　詳しくわからないから何とも言えないけど、アタシは認めないわ。あ、いいこと教えてあげるわ。明日（9・29パンクラス横浜大会）のアレックス（・スティーブリング）は、ムエタイのトランクスで出るつもりだったのが、ルールで認められないってことでイシイ（大輔）のショーツを借りることになったのよ。本人は『PRIDE』でも履いてたんで、そもそも問題になるとすら思ってなかったから、ガッカリしてたの。でも、パンクラスは競技だから例外を認めないと聞いて、すんなり納得はしてくれたわ。それがユニバーサル・ルールの概念でしょ。違う？

　そうかもしれませんね。

リー　だったらそれに従うべきよ。ホイスは自分だけのルールが通用すると思ってるんでしょ。それにアレックスなら、いつだってホイスに勝てるわ。まあ、あの人は受けてはくれないでしょうけどね（ペロッと舌を出す）。

　アレックスはアンデウソン（・シウバ）にはカットで負けましたけど、ホイスに柔術の試合で勝ってる（ヴァリッジ・）イズマイウや（アラン・）ゴエスにも勝ってますからね。

リー　そうよ。（またもや『紙プロ』をパラパラ見つめ）あ、これはボブ・サップね。この子もECWにいたのよ。

　サップがECWにですか？

リー　ウチの息子のサブゥー（リー女史はサブゥーのことを息子と呼んでいる）がサップのこと言ってたから。ジョージアかどこかに来た時かしら？

　う〜ん、それなら可能性はありますけどね（後の調査で、その事実はないことが判明）。

リー　そういえば、アレックスの付き添いで『PRIDE』の会場に行った時のバスで、ちょうどアタシの前の席に座ったサップとジョシュ・バーネットが、でっかい声でプロレスの話ばっかりしてたの。だから「アンタたち、プロレスの何を知ってるのよ」って割り込んでやったのよ（笑）。

　アハハハ！　でも、そんな時まで、あの2人はプロレス話に熱中してましたか。そういえば、おばちゃんが見てる、その『紙プロ』（54号）にはジョシュが、インターネットに発表した「Uインターに栄光あれ！」っていう論文も掲載してるんですよ。

リー　あ、そうなの。

　ケーフェイが出てくるヤバイ内容なんですけどね。

リー　ふ〜ん、でもアタシは喋りすぎるのには反対よ。やっぱり業界の掟っていうのは守ってもらわないとね。それにアタシはマーク（素人のファン）のやってるネットの掲示板なんか読まないのよ。

ふぃりす・リー■現在、パンクラスUSA顧問のリー女史「ジョーン・ウォルトマンを勘定しないと」息子は3人。1人は雑誌編集者で、あとの2人は工場のマネージャー。一緒に住んでいて、日本にも連れてきたこともある娘のマリーが、まだ小さい頃、アンドレ・ザ・ジャイアントに抱っこしてもらったのが自慢。その大会ではデブのマクガイア兄弟も一緒で、彼らが「マリーを守ってやる」と言ったエピソードを得意げに語っていたが、自分の初来日などはウロ覚えだったりする愛すべきおばちゃん。息子はアマレスやってたり全員がアスリートなのは当然か。米国時代のタダシ☆タナカと知り合ったのは、インターネット・ラジオ「エディー・ゴールドマン・ショー」で何度も共演するようになったからだという

ジョシュは、かなりマニアックなんですけどね（笑）。

リー　そうみたいね。彼は礼儀正しい青年だったわ（※ちなみに、おばちゃんはちゃんとパソコンが使える派）。

さきほど、サブウーは息子とのことでしたけど、どういう関係か知らない読者が大半だと思うので、2人の関係を詳しく教えてくれませんか？

リー　あのね、アタシが住んでるオハイオってのは、サブウーの住んでるミシガンから車で2時間のとこなのよ。それで、いまよりずっと若い頃、小さな地方興行とかを手伝っていて、親分の（ザ・）シークと付き合いもあったわけよ。その頃から、また、この業界に入る前のサブウーを可愛がっていたの。ホント、アタシにとって息子みたいなもんよ（笑）。

実の息子ではないと？（笑）。

リー　それは違うわ（笑）。でもサブウーはね、いろんな意味でオリジナルなのよ。テーブルにしてもチェアーにしても、彼が元祖なの。最近、特に多いけど、みんな彼のマネをしてるだけじゃない？

サブウーの影響を受けたレスラーって多いですからね。

リー　でしょ？　そういうレスラーと彼の違いっていうのは、サブウーは、いつだって200％を試合に注ぎ込むってことよ。我が息子ながら感心しちゃうわ（笑）。

サブウーは、おばちゃんの自慢の息子なんですね（笑）。

リー　そうよ。でもね、こんな話をしちゃって格闘技業界に迷惑が掛からないかしら？

いやいや、大丈夫ですよ。

リー　（心配そうに）アタシが格闘家よりプロレスラーとの付き合いの方が多いってこと載せて大丈夫なの？

全然問題ございません、逆に、そういう話の方が絶対面白いですよ！

リー　あら、そう。じゃあ、心おきなくしゃべるわよ（笑）。

──どうぞ、どうぞ！（笑）。

リー　それで、サブウーは……。

あ、またもやサブウー（笑）。

リー　そうよ（笑）。サブウーはね、インタビューでも自分のキャラクターを通すでしょ。それはシークの教えを守ってるんだけど、彼は真のプロなのよ。それに比べて、最近の子はペラペラと業界のことをしゃべり過ぎるでしょ。困ったことだわ。

おっしゃる通りです。おばちゃんは、わかんないかもしれないけど、ボクとサブウーは大のヘビメタ・マニアで、よく一緒にバカ話ばかりしてたんですが、いつも最後に「ヘビメタ好きだってことは書くな」ってクギを刺されてましたから（笑）。

リー　へぇ〜、そうなの（興味なさそうに）。

あと、もう1人、おばちゃんが息子と呼んでいるショーン・ウォルトマン（Xパック）のことも語ってもらえますか？

リー　彼はねぇ、いつも試合で上からやれと言われた以上のことができる子なのよね。

──彼も自慢の息子なわけですね（笑）。

リー　（誇らしげに）そうよ。でも最近は、なかなかやりたいようにに出来ないようで……（WWEから痛み止め薬中毒で解雇された）。あの子は（故・空中）マサミやラリー（・マレンコ）からシュート・ファイティングも習っていたの。ホントなんでも出来る子なのよ。それに絶対にNOとは言わない子だった。藤原組に行った、彼の2倍のサイズのジャンボ（ジョニー・バレット）とでも、やれと言われたら試合もこなしたし。練習にだって遅れたことはないし、プロレスだろうがシュートだろうが、どんな大会にも必ず顔を出してたの。ラリー・マレンコに「イエス・サー」で仕えたのよ。

──そういえば、おばちゃんは80年代はオハイオからフロリダのタンパに移って、マレンコ道場を手伝っていたんですよね。

リー　そうよ。主にアタシが担当したのはスチューデント・ショーっていう、ほら、道場に来る生徒さんたちに発表会の場を

スマイルマークを頭に施し「ROYCE WHO?（ホイスって誰？）」Tシャツで菊田戦以来のパンクラスマット登場となったリー女史も大推薦のスティーブリング。しかし、惜しくも判定で佐々木に敗れる

喋りだしたら止まらない、お喋り好きなリー女史　会場で見かけたら気軽に声を掛けてみよう。パンクラス勢から絶大な信頼を得ているリー女史、ちなみにアイスティーには砂糖を3本入れるほどの甘党である

ではなく、
る選手の写
スタミナが
然なスタミ
選手を見て
ら最後まで
学的におか
程度まで行
づくことで
そういった
るし、これ
ていくかも
そういった
慎していま
——う～ん
問題ですね
コピィロフ
に私がスタ
だから言っ
けではないん
いるわけで
——ひがん
（笑）。
コピィロフ
回私は大会
3ヶ月練習
があったの
ナに関する
りませんで
に滑るので
させて、2
ところを極
はいきませ
——本国で
リングス・
ころで練習
コピィロフ
トレーナー

設けるためにインディーとしてやってたわけよ。しかもソールド・ショー（売り興行）だから、こっちは赤にはならない仕組みね。

　その辺は、さすがですねぇ。

リー　その間にマレンコ兄弟がババさんの全日本からイノキさんのとこへ行ったとか、アタシは全部の流れを観てきたのよ。

　なるほど。歴史の証人なんですねぇ。

リー　全日本と関わった時の話をするなら、ハワイのロード・ブレアースに実際に電話をかける役はアタシだったのよ。

　へぇ～、そうだったんですか。で、おばちゃんのことはアメリカのマット界では知る人ぞ知る存在なんですが、日本ではまだ紹介されてないので、今日はたっぷりプロレス人生を語ってもらいたいと思ってます。

リー　何でもしゃべるわ（笑）。

　まず、おばちゃんとプロレス界の最初の接点って、いつになるんですか？

リー　アタシの父親はね、若くして死んじゃったの。それで14歳の時に叔父がたまたまプロレス興行に連れて行ってくれたんだけど、そしたら、ちょうどその時、トニー・デモラ（別名ジプシー・ジョー、但し日本で有名なジプシー・ジョーとは別人）の奥さんの女子プロのスター選手が交通事故でケガをしちゃって困っていたのね。

　えっ、それで無理矢理リングに上がらされたとか？

リー　いや、さすがにそれはないけど、彼がちゃんとコーチして教えるからってことで、アタシの母親を説得したわけよ。

　はぁ。でも14歳って、未成年もいいとこじゃないんですか？

リー　アタシね、当時は大人びて見られてたから、そうは見えなかったみたい。だからずっと歳は黙ってたの。

　でも怖くなかったんですか？ それとも何か格闘技経験があったとか？

リー　格闘技はやってないわ。水泳をやっててスポーツ万能ではあったけど、プロレスなんか観たこともなかったからね。

　それが、よくやる気になりましたね。

リー　やっぱりね、今日にいたるまで、ワン・オン・ワン（一対一）のスポーツってのは一度やってみると病み付きになる魅力があるのよ。

——それは、よく言いますねぇ。

撮影のためパンクラス横浜道場へ向かうとDEEPでの二島戦が記憶に新しい伊藤崇文の姿が。理想のプロレスラー像でもあるコーチを指さす両者。別れ際、リー女史から伊藤へ熱い接吻のプレゼント

PHYLLIS LEE

リー　それにプロレスは自分を表現できるじゃない？ そこにハマってしまったの。

　それからは、特に学校のない夏休みなんかにプロレス巡業するようになってね。さすがにそんな年齢なんで、母は心配して、どこに行くにも必ず一緒に付いてきたわ（笑）

　ちなみに、リングネームはどういう名前だったんですか？

リー　フィリス・ホフマンとか、他にも沢山あったけど、最後はマスクかぶってスパイダー・ウーマンを名乗ってたわ。

　マスクマンにもなってましたか。14歳でプロレスデビューした後は、どういう生活を？

リー　ちゃんと大学にも行ったし、結婚して子供も生まれたわ。でも、いつも何らかの形でプロレスには関わっていたの。（得意げに）そうそう、当時通っていたハイスクールには女子のレスリング部なんかなかったのに、アタシが音頭を取って普及させたって自慢話もあるのよ。

　へぇ、それは凄いですねぇ。

リー　やっぱりね、アタシほど家庭に閉じ込めておくのは勿体ない才能もないでしょ？（笑）。

　おっしゃる通りです（笑）。

リー　だから、ラリーと組んでインディーを手がけるようになったのね。ラリーが死んじゃってからは、またオハイオに戻ったんだけど、その頃かな、誰かがアル・スノーとコンタクトを取るようにと言ったのか、彼が先に電話してきたのか、その辺はあやふやなんだけど、どっかの会場へ彼に会いに行ったのよ。

　おっ、いよいよアル・スノー先生の登場ですか。

リー　そんで話をしたら「もう4年もプロレスやってるけど、オレはオハイオの田舎止まりなんだろうか？ もっと活躍したいんだけど」って彼は愚痴ってたの。で、探してあげたらあったのよ。

——もしかして、それは日本の団体ですか？

紙のプロレス スーパースター列伝

リー　そうなの。「来月何してる？　日本に行きたい？」って電話したら、最初は信じられなかったようね。海外に出たことないからパスポート取ることから始まってね（笑）。

　それが北尾の武輝道場の旗揚げ戦ですね。確かタスも一緒でしたっけ？

リー　そうそう。でもね、スノーの本当のブレイクは帰国したすぐ後にやってきたの。あれはミシガンのインディーで、プロモーターがケチってサブゥーの対戦相手の航空券を送らなかったから相手が来なかったのよ。

　まあ、よくある話ですね。

リー　その日、スノーはすでにマスクマンのシノビとして生徒と試合をやってたんだけど、アタシが言ってやったのよ。「今晩はアル・スノーの名前で、もう一試合やってもらうわよ。相手はサブゥーね」ってね。そしたら彼は「えっ、俺が？」って、最初はナーバスになってたわ。だって当時のインディー界ではサブゥーは、すでに有名だったし、独自のスタイルがあったからね

　そうですよね。その試合が伝説の名勝負に化けたって聞いてますけど？

リー　そうなのよ。それがもの凄く評判良かったわけ。それから2人はアチコチのインディーで抗争するようになってね。やがてそれが名物カードになっていくの。ようやくアメリカのファンがスノーの才能に目覚めたっていう歴史の瞬間ね。

　いや〜、感動的な話ですね。

リー　だから、アルはアタシに頭が上がらないのよ。いつも会う度に「誰があの時のマッチメイカーだったの？　誰？　誰？」って意地悪して聞くと、「それはアナタです」って（笑）。ＷＷＦ（現・ＷＷＥ）の「タフ・イナフ」（※ＷＷＥの契約を夢見るプロレスラーの卵たちが、アル・スノーやタズにしごかれる道場ドキュメンタリー番組。日本でもスカイパーフェクＴＶで絶賛放送中）。って知ってるでしょ？

　もちろん！

リー　あれに参加していた女子選手のテイラーとメリッサは、最近アルシオンに出てるでしょ？　あの子たちのことだって、真っ先にスノーがアタシのところに相談に来たんだから

　えっ？　おばちゃんがアルシオンに紹介したんですか？

リー　アルシオンというかバイオニックＪに紹介したの　みんなアタシと繋がってるのよ（笑）

　お、恐れ入りました（苦笑）で、先ほど、ちょっと出ましたけど、北尾道場の旗揚げ戦が、おばちゃんにとっての初来日になるわけですか？

リー　いやいや、その時はスノーを送っただけよ　初来日は確かリコ・フェデリコの絡んだＶＴＪかな？　マレンコ道場の生徒を連れてったの。ジョン・ルイスが（佐藤）ルミナをボゴボコにしたシュートの大会ね。

　ありましたねぇ　初来日は格闘技の大会でしたか？

たぶんリー女史の初来日と思われる[illegible]年8月20日、IWA川崎球場大会の[illegible]ーンvsターザン後藤戦の時、[illegible]の試合は、[illegible]んとNWA世界ヘビー級選手権[illegible]

リー　いや、ちょっと待って……初来日はＩＷＡかも。（ダン・）スパーンを連れて行ったのが最初だったかもしれない。

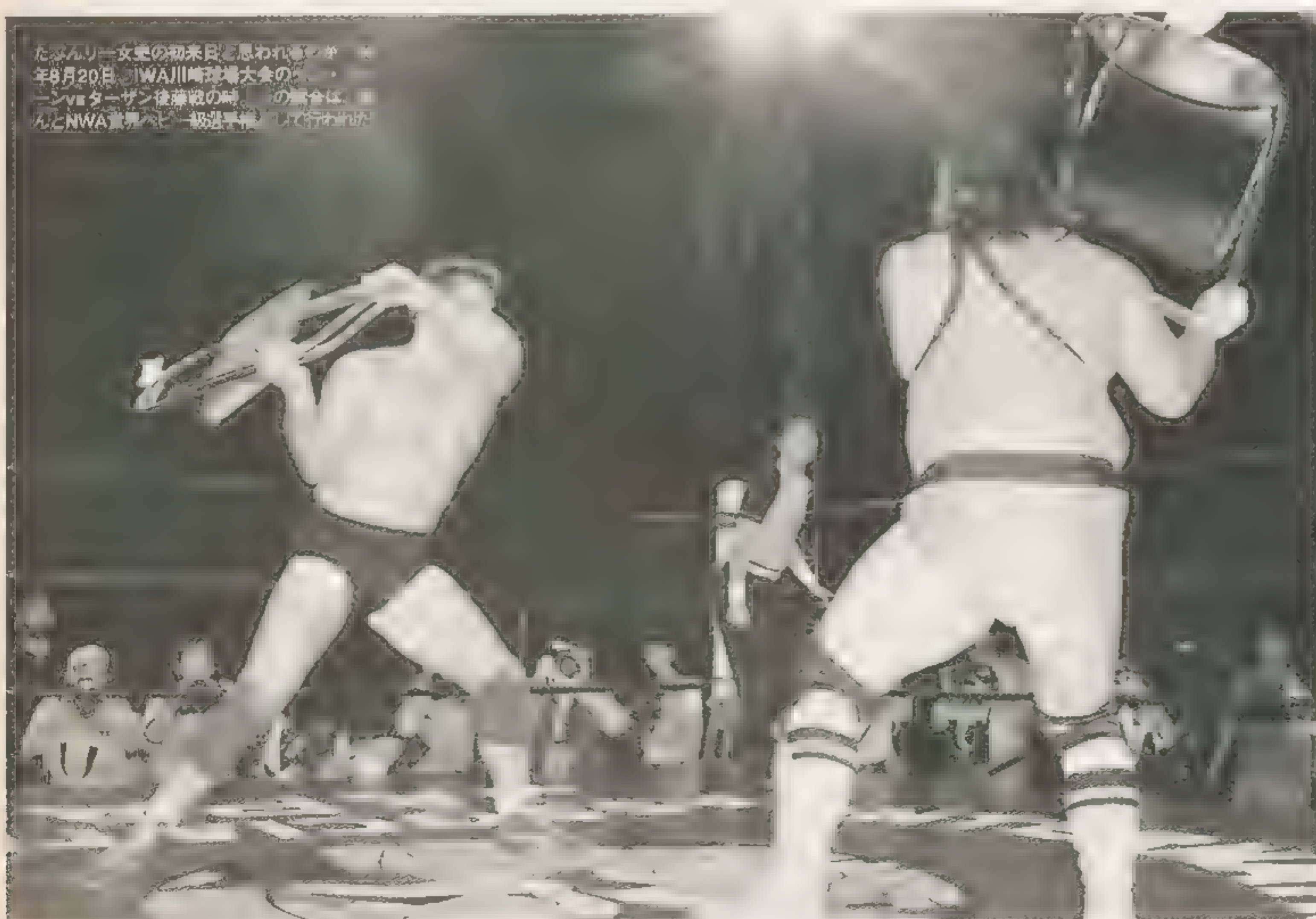
　そういえば、スパーンがＵＦＣに出る前かな？　特訓風景に、おばちゃんも映ってたのを見た覚えがありますよ。

リー　（渋い表情で）あぁ〜、そんなこともあったわね。

　スパーンとは何かあったんですか？

リー　別に何もないわよ。

　―選手としては、どのような評価をしてるんですか？

リー　アタシに言わせたいの？　ハッキリ言うとね、スパーンはプロレスラーとしてはさっぱりダメだったわ（キッパリ）。あの人はＩＷＡのずっと後にＷＷＦにも行ったんだけど、そこで、どうだったか知ってるでしょ？　オーエン・ハートと試合したんだけど最悪だったんだから。あのね、この業界で、職人のオーエンと試合して、いい試合にならなかったらもう絶望なのよ。

　――アハハハ！　それは正しいかもしれません（笑）。でもＩＷＡに来たのって、2周年記念の川崎球場大会ですか？

リー　あれよ、テリー・ファンクやタイガー・ジェット・シン、それにミック・フォーリー（カクタス・ジャック）、そういえば亡くなっちゃったけどテリー・ゴーディも一緒だったわねぇ。

　いま考えると凄いメンツですよね。

リー　あの時の帰りの飛行機は壮絶だったわ。傷だらけならまだしも、火傷した大男ばっかりが乗ってるんだから（笑）。

　さすがにいろんな経験をしてるんですねぇ。そろそろパンクラスの話に移りましょうか？

リー　そうね。最初にパンクラスの人と会ったのはＵＦＣの大会なの　当時はまだケン・シャムロックがパンクラスのアメリカの窓口だったから、「売り込みたい選手がいるなら、こっちに連絡するように」と言われてね。で、ちゃんとその通りにやったのよ。で、ところがね、ケンは何もしないまま自分のとこで情報を押さえたままだったのよ。そういうことがあったんで、パンクラスからは「今後の連絡は直に東京に入れてくれ」ってなったのよ。

　あの時期のシャムロックはクスリの後遺症なのか、ちょっと狂ってましたからね（笑）。

ではなく、
る選手の写
スタミナが
然なスタミ
選手を見て
ら最後まで
学的におか
程度まで行
づくことで
そういった
るし、これ
ていくかも
そういった
惧していま
——う〜ん
問題ですね
コピィロフ
に私がスタ
だから言っ
けではないん
——ひがん
いるわけでし
（笑）。
コピィロフ
回私は大会
3ヶ月練習
があったの
ナに関する
りませんで
に滑るので
させて、2
ところを極
はいきませ
——本国で
リングス・
ころで練習
コピィロフ
トレーナー

ケガ等の理由で健介が鈴木戦を辞退することとなり、それを詫びに上井取締役とライガーがパンクラスを訪問。11月大会は一転し、鈴木vsライガー戦に　リー女史も興味津々だ

リー　そうね（笑）。それからはジェイソン・ゴドシー、クリス・ライトル、アレックス・スティーブリング、あとブライアン・ガサウェイとか、たくさんの選手をパンクラスに送り込んだわ

それから日本へも頻繁に来るようになりましたしね。

リー　もうパンクラスには本当に感謝の気持ちで一杯だわ。ほら、「パンクラス・フォーエバー」って言葉があるじゃない？　あれをアタシも信じてるの。そりゃ『PRIDE』のように大きな会社じゃないかも知れないけど、パンクラスは絶対にずっと残る組織だと思うわ。それにね、新弟子時代から知ってる子たちが、やがてはメインを務めるまでになっていく過程を眺めるだけでも、どれだけ喜びがあるか。コンドー（有己）がアメリカで闘う時はアタシが代理人としてUFCに送ってるんだけど、その時なんてアタシの方が興奮しちゃって「パンチ！　パンチ！」って大声を上げてしまったの（笑）。

ついつい、力が入っちゃうんでしょうね。

リー　そうなのよ。それで後から「パンチって日本語でなんて言うの？」って聞いたら、しばらく間があって「パンチはパンチだ」って（笑）。

そりゃそうだ（笑）。

リー　もう、恥かいちゃったじゃない（笑）。結局アタシが一番舞い上がっていたの（苦笑）。

それと、聞きにくい質問なんですが、修斗とパンクラスの関係についてなんですけど…

リー　なんかいろいろあるみたいだけど、何人かの修斗の選手はアタシを見つけたら挨拶してくれるし、一体どうなっちゃったのかこっちが聞きたいわよ。

また、よく自体が掴めていないんですか？

リー　修斗コミッションが出した声明文の英訳が送られてたんだけど、そこにはパンクラスの悪口が書いてあったのね。それは間違った情報だったの。クリス・ライトルやネイサン・マーコートがアメリカで修斗公認の大会に出ようとしたら、「パンクラスが横やりで止めさせた」とかね。それって、どういうことなの？　アタシに直に確かめてから声明文出してよって話よね。連絡先は知ってるハズだし、アタシをつかまえるなんて簡単なことでしょ。

おばちゃんのこと知らない奴がいたら業界のもぐりですよ。

9・29パンクラス横浜大会において、謙吾の連勝記録を4で止めたロン・ウォーターマンについてのリー女史のコメント「あのシェーン・マクマホンの●●がOVW（WWEの二軍システム）の契約を切っちゃったのよ。だからMMAに戻ってきたってわけ。でもね、彼もアタシもあきらめてないわ。スパーンと違って本当に才能があるんだから。そんじょそこらのプロレスラーになりそこなったタイプとは違うのよ。ジム・コーネット（OVW社長）もジム・ロス（WWE副社長）もロンのプロレスセンスを絶賛してくれたのよ。彼はパンクラス、PRIDE、ニュージャパンを股にかけて活躍するのよ！」とのこと。なんで新日本かは不明だが、おそらくパンクラスと新日本が協力関係にあるからだと思われる

それに、おばちゃんがにらみを効かせてるからか、パンクラスの舞台裏でもめ事が起こったとかの話を聞いたことがないしね。

リー そう言ってくれるのは嬉しいけど、それを言うならパンクラスは優秀なスタッフに支えられているから「パンクラスはきっちりしている」という評判が確立していったんじゃない？

ほぉ〜、なるほどー

リー パンクラスでは、毎回分刻みのスケジュール表を渡されてるのを知ってる？ 成田に着いたら誰がピックアップするから始まって、いつもホント時間に正確なの。そういうのの積み重ねがパンクラスが生き残ってる秘訣なんじゃない？

そうかもしれませんねぇ。

リー あと、アレックスの件で PRIDE と仕事したんだけど、あそこも凄くよくしてくれたわ。ヒルトンホテルの朝食のビュフェも最高たったしね（笑）。だから余計、なんで修斗だけそういう態度を取るのかしらって思うの。

最後に何か言っておきたいことありますか？

リー そうね、とにかくパンクラスファンのみんなに「ありがとう」と言いたい。アタシは日本が大好きだから。9・11（のテロ事件）があってから、周りからも「飛行機の長旅生活から、そろそろ足洗ったら？」なんて、よく言われるの。一時期ホントに飛行機がガラガラだったのも体験してるしね。でも、こんなに素晴らしい日本に来れるんだったら、何度でも来たいわよ。

おばちゃんは元気だから、まだまだ何度も来れますよ。

リー ありがとう。でね、アメリカに帰ったら、よくこの話になるの。キーワードはロイヤリティー（忠誠）とインテグレティー（正直）って。それが尾崎社長とパンクラスから学んだことね。

—日米比較論ですね、あと、パンクラスで言うと、鈴木みのるさんと、おばちゃんは、かなり仲が良いみたいですけど

リー スズキは人間的に素晴らしいのはもちろんだけど、やっぱり彼はファイターとして凄いのよ。なんと言っても彼にはゴッチの血が流れてるんだから。

ゴッチイズムですか？

リー そうよ。ゴッチから学んだ彼のサブミッションはホント素晴らしいわ。クリス・ライトルなんか、また鍛えてやって欲しいし、ネイサンにもスズキから学ばせたいことが沢山あるの。

へぇ〜、鈴木さんについては大絶賛なんですね。

リー それに昨日の記者会見（インタビュー前日にライガーがパンクラスを訪れ、健介の変わりに鈴木戦を申し入れた会見の現場に、たまたまリー女史もいた）は凄かったわねぇ。見てて思わず興奮しちゃったわよ。

——興奮しましたか（笑）。

リー アタシね、（獣神サンダー・）ライガーの中身のヤ●ダはディーン・マレンコがタンパに連れてきた時に会ってるの 彼がシューターとしても優れたファイターだってことも、ちゃんと知ってるんだから。

あらら、そんなことまで知ってましたか（笑）。

リー いまからホント楽しみにしてるわ。それに、あれだけの記者が集まったんだから、これは凄いカードになりそうね。

では、一方のパンクラスの顔でもある船木さんには、どういう印象があるんですか？

リー もう引退しちゃったけど、フナキも素晴らしいファイターだったわ。ルックスも良かったしね。でも、いまは映画とかにも出てるのよね？

そうですね。船木さんが出た映画は見られてるんですか？

リー 見てるわよ。やっぱりフナキは最高にカッコいいと思ったし、演技も素晴らしかったわ。でもなんなの、この間の映画の台本？ 一体誰が書いたのよ!?

アハハハハ！ もしかして、『シャドー・フューリー』のことですか？

リー そうそう、それよ（苦笑）。ルッテンも出てたでしょ。まぁ、あの映画では、フナキ一人だけが良すぎたわね。作品的には『ゴジョー』（五条霊戦記）って映画の方が優れてるみたいね？

そういう声が多いですね。

リー （突然）そうそう、アタシか車イスに乗って来てた時期があったんだけど、知ってる？

ああ、ありましたね。

リー あの時、どれだけ日本人のことを考えさせられたか……パンクラスの人たちがホントよくしてくれたのよ。それも全員ね……

PHYLLIS LEE

ショーニー・カーターのサイン入りパネル&グローブを手にするタダシ☆タナカ。彼はニューヨークに16年、シカゴに1年暮らした後に東京へ。そのシカゴ時代の悪友がミスター・インターナショナルことベスト・ドレッサー、ショーニーだった。おばちゃんとの仲がこじれショーニーがパンクラスに呼ばれなくなって、2人とも交友のあるタダシは板ばさみの大ピンチ。果たして事件の真相は？「とにかく彼には失望したわ。パンクラスに上がりたいなら、ちゃんと契約書にサインしてくれなきゃ。それなのに、勝手に自分でブックして各地の大会に出たり、インターネットではアタシの悪口を書きまくってる。マークのやってる掲示板は読まないんだけど、ちゃんとアタシの耳には入ってきてるわ。契約書を送っても書き直してくるし、ちゃんと本名でサインしない。それは無効なのよ。アタシはそういうゲームはしないの。大体、最初にアタシにヘルプを求めてきたのはどっちなの？ それなのにあの子ったら、黒人だから差別でパンクラスの仕事がもらえなくなったとか言いふらしてるのよ。ちょっと、そんなピンプ（娼婦の斡旋役）丸出しの格好で、アンタはマルコムXって陰口叩かれてるの、わかってるの？」とおかんむりの様子

ではなく、る選手の写スタミナが然なスタミ選手を見てら最後まで学的におか程度まで行づくことでそういったるし、これていくかもそういった惧していま――う～ん問題ですねコピィロフ に私がスタだから言っけではないん――ひがんいるわけで（笑）。コピィロフ 回私は大会3ヶ月練習があったのナに関するりませんでに滑るのでさせて、2ところを極はいきませ――本国でリングス・ころで練習コピィロフ トレーナー

なんてアタシは幸せ者なんでしょう……ああ、この話をするたびに泣いてしまうわ

PHYLLIS LEE

（おばちゃんの目が光り出す。そして涙がポツリとこぼれる）。

――大丈夫ですか？

リー（目頭を押さえつつ）ああ、あれはフナキの引退後のパーティーだったか、それとも年末の忘年会だったか……尾崎社長がスクっと立って選手全員に何か日本語で言ったのよ。そしたらね、選手全員が……全員が……（急に声を上げて泣き始める。取材場所の喫茶店は騒然となる）。

リー ああ、もう思い出すだけで涙が止まらないわ……。全員がアタシのところに1人づつ来て、「早く良くなって下さい」って抱きしめてくれたのよ。

――実に感動的な話ですねえ

リー なんてアタシは幸せ者なんでしょう……ああ、この話をするたびに泣いてしまうわ（ハンカチで目を押さえる）オハイオからやって来た赤毛の中年のおばちゃんのアタシを全選手が抱いてくれたのよ。あんなに嬉しい瞬間は人生でもなかったわ。こんな名誉に思ったこともね。その時は、もう思い残すことは何もないとまで思ったの。

――そこまで思いましたか!?

リー パンクラスはアタシのことをファミリーとして扱ってくれているの。ホントにありがとう（と言って再び目頭を押さえる）。

⁂

しばらくして、ようやく涙が止まったところで、ほっておけば何時間でもしゃべり続ける、おばちゃんに取材終了を告げた。当初、1時間程度の取材のつもりが、おばちゃんの話好き&号泣もあって、実に3時間にも及んだ。んー、リーおばちゃん！

【9月28日 横浜市内のホテルにて収録】

“プロレス小僧の学舎”闘龍門から今、初めて卒業生が巣立つ――

10・28後楽園で引退、ラスト・オブ・モヒカン インタビュー

神田裕之

〈闘龍門JAPAN“オリジナル”M2K〉

闘龍門JAPANにおいて、オリジナルM2Kのメンバーとして活躍した神田裕之が、首の負傷により10・28後楽園ホールで引退を迎えた。わずか4年間の現役生活、神田にとってプロレスとは何だったのか？　これは、ひとりのプロレスファンが闘龍門というメキシコプロレス学校に入り、日本でM2Kの人気選手となり、いま闘龍門初の卒業生として巣立つまでの記録である。

聞き手／堀江ガンツ　取材協力／リングソウル

脳に痺れを感じて医者に行ったら「次やられたら死ぬよ」と言われて…

神田選手は昨年10月から欠場を続けていたわけですけど、実はボク、闘龍門の取材を始めたのが昨年11月からなんで、神田選手の試合を一度も見たことないんですよ（笑）。

神田　あ〜、ぶっちゃけ最近よく言われるんですよね。レフェリー姿しか見たことがないって（笑）。

——というわけで、『紙プロ』では最初で最後のインタビューになってしまうんですが、よろしくお願いします

神田　はい、お願いします。

まずは、その引退問題から伺いたいのですが、欠場に至ったそもそもの原因はなんだったんですか？

神田　去年の10月ぐらいに金沢の試合でパイルドライバーを喰らって、脳に痺れを感じたのが最初ですね。それ以降、試合が終わるとなんか頭にモアーンとしたものがあって、一度お医者さんに診てもらったんですよ。そうしたら、「次に後ろからの攻撃を喰らったら死ぬよ」とまで言われて……

いきなり「死ぬよ」と言われましたか！

神田　首に7個ぐらい縦に骨があるらしいんですけど、その一番上の骨が喉のほうにすれ込んでて、その中を通ってる神経を圧迫してるらしいんですよ。それが痺れの原因で。しかも、一番上っていうことで全部の神経が通ってるんで、それがズレたら「首より下が全部麻痺するよ」って言われたんですよね。それで欠場生活に入ったんですよ。

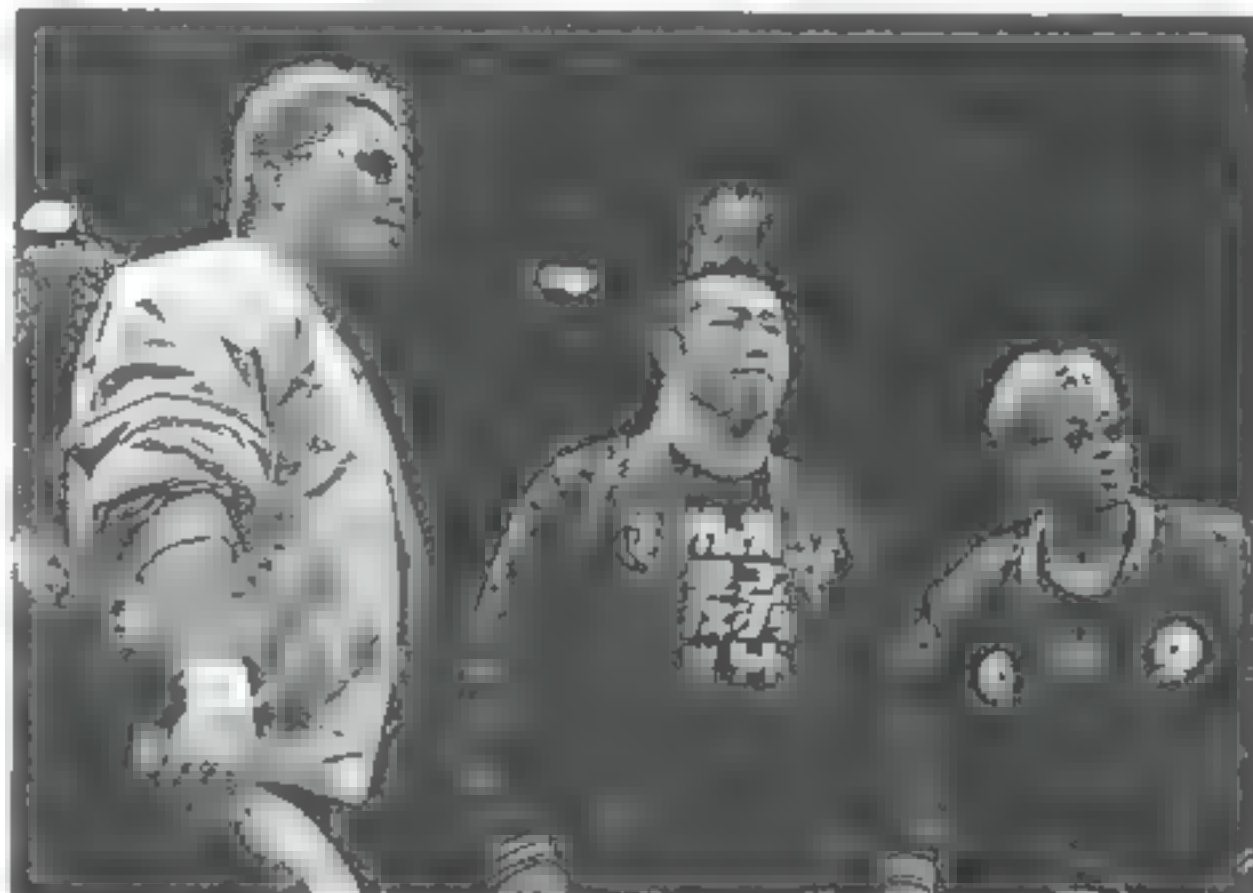
——そんなことを突然言われたらもの凄いショックですよね。

神田　逆にショックを通り過ぎて、「そうは言っても、どうせすぐに復帰できるだろう」ぐらいに思ってたんですよ。そこからセコンドで青箱（M２Kの凶器・プラスチック製のブルーボックス）担当したり、ちょびっとレフェリーやったりしていたんですけど、いつまでたってもマッチメイクに入れなくて、自分としては非常につらい1年でしたね。

——引退を決意したきっかけは何なんですか？

神田　自分の中では遅くても7月の神戸ワールド（闘龍門毎年恒例の地元神戸でのビッグマッチ）ぐらいには復帰したかったんですけど、それが終わったぐらいに「これはヤバイな」と思って、お医者さんに相談したら、1年経っても状況が変わってなくて引退宣告をされたんです。自分としてもこれ以上会社に迷惑をかけられないと思って、8月には引退を決意してましたね。

——闘龍門で完全な引退っていうのは初めてですよね。

神田　そうですね。だから、どういう行動をとっていいのかって悩んでる部分は正直ちょっとありますね（笑）。でも、やっぱり何らかの形では闘龍門に恩返ししたいなっていう気持ちはあるんで、引退後のことはホントこれから考えるという感じですね。

首に重傷を負い試合に出場することができなくなった神田たか、首にコルセ　トを巻いてM２Kのセコンドに付くなど、リンク上の"登場人物"としては出場し続けた

KANDA

昨年末からはヒール集団のM２Kに所属したまま、レフェリーとしても活躍し始めた神田。"厳格な悪役レフェリ-"として、CIMAvs望月、クィスvsキットなど大一番のキーパーソンとなった。

——では、約4年間という非常に短い期間であったプロレスラー生活を振り返っていただきたいんですけど、レスラーになろうと思った経緯はやっぱり元々プロレスファンだったんですか？

神田　そうですね。中学の同級生が凄くプロレスが好きで、その影響で新日本プロレスを見るようになったんですけど、ちょうどその頃WARと抗争をやってて、ボクは北原（光騎）さんの姿を見て「格好いいな」と思ったんですよ。

えー　プロレスファンになったきっかけは、北原さんだったんですか!?（笑）。

神田　皆さん驚かれるんですけど（笑）、ボクの中では「この人だー！」って輝いて見えたんですよ。それで北原さんを見るためにWARの会場に通うようになったんですよね。

——当時はウルティモ・ドラゴン校長もWAR所属でしたけど、一番のお目当ては校長ではなく北原さん（笑）。

神田　校長の試合も「凄いな、華やかだな」って思ってたんですけど、やっぱり北原さんですね（笑）。でも、WARの会場に通ってたこともあって、後に雑誌で闘龍門の募集があったとき「行ってみようかな」っていう気になったんですけどね。

——元々はプロレスラーになりたい気持ちはあったんですか？

神田　いや、やっぱりプロレスラーって特別な存在だと思ってたんですよ。もちろん背もそんなにないので、やりたいけど諦めてたんです。でも、闘龍門の募集記事を見たら、ちっちゃくても入れるみたいだったんで、気づいたら履歴書送ってた感じですね

深く考えずに入門ですか（笑）。

神田　最初の募集だったんで、最初なら大丈夫かなって（笑）。

それからすぐメキシコですか？

神田　いや、入門が決まったあと、メキシコに行くまでしばらく時間があったんですよ。そしたら、その間に北原さんがキャプチャーを旗揚げされたんですよ（笑）。

おぉ〜、憧れの北原さんか新団体旗揚げ！　心が揺れますね（笑）。

神田　結局、闘龍門に残ったんですけど、「闘龍門はメキシコだし、いまからでもキャプチャーに行った方がいいかな」って考えたこともありましたね（笑）

——神田さんが"地下室マッチ"をやっていた可能性もあったと（笑）。闘龍門では何期生になるんですか？

神田　ボクは二期生で、アラケン（新井健一郎）、堀口元気、ストーカー市川が同期ですね。最初は8人いたんですけどそれぞれ諸事情で逃げ帰ってしまって。

いきなりメキシコに行くっていうのはどういうもんなんですか？

神田　最初は張り切ってたんですけど、飛行機に乗った瞬間からホームシックにかかっちゃって（笑）

また早いですね（笑）。

神田　それまでずっと家族と一緒に生活していたんで、急に一人で不安になったんでしょうね　メキシコに着いた後も、帰り方さえわかってたら逃げ帰ってただろうなっていう。ボクが残れたのは、帰り方がわからなかったのと、先輩に「帰ります」って言えなかっただけですから　日本の合宿所だったら、真っ先にいなくなってるタイプだと思いますよ（笑）。

メヒコに行った後も、やっぱりハードな日々でしたか？

神田　そうですね。ボクなんかはまず練習についていけてなかったんで。来る前は「中学、高校と柔道をやってたんで、なんとかなるだろう」っていう頭でいたんですけど、実際行ったらそんな甘いものじゃなくて、自分自身「情けな〜」って感じでしたね。でも、練習さえ終わればみんなで買い出しに行ったりして結構楽しい海外生活だ

神田が思い出として挙げていた、メキシコ時代後期の練習後の買い出しショット　斎藤了&アンソニー・W・森カップル（？）や、T2P若佐卓典の顔も見える　はて？　もうひとりいる、この金髪の青年は誰……？

ったんですよ。だから、ホームシックの間が過ぎたら結構割り切って、「楽しんで帰ろう」みたいになりましたしね。

―じゃあ、"海外武者修行"というより、高校卒業後にルチャの専門学校に行ったような感じですか？

神田　どっちかというとそういうノリになりましたね。正直、当時は自分なんかがデビューできると思えなかったんで、とりあえずやれることだけやって、帰ったら今後の何かに繋がるだろうっていう考えでいたんで、まさか、いまこんな形でインタビューを受ける器になるわけないと思ってましたね（笑）。

―それくらいの気持ちでいたのが、逃げずに続けられた秘訣かもしれませんね

神田　そうですね。だから苦しい反面、楽しかったっていうのが凄くあって、ボクのレスラー生活の中でメヒコっていうのがかなりの思い出を占めてますね。

　良い事、悪い事たくさんあると思うんですけど、印象深い思い出というのは？

神田　まず一番悪い事って言ったら、プロレスとは全然関係ないんですけど、校長の車を運転中に牛をひき殺したっていうことですね（笑）。

　メヒコで牛を殺しましたか！（笑）

神田　そうなんですよ。これは日本では絶対経験できないことだと思うんですけど、高速道路を130キロぐらいで飛ばしてたら目の前に黒い塊があって、「牛た！」って思った瞬間にドンと吹っ飛びましたね。一瞬「死ぬな」って思って、走馬灯のようにいろんなことを思い出したんですけど、全員無事でよかったです。

　―結構、いろんな方が乗ってたんですか？

神田　自分と、アラケン、堀口、ストーカー、校長の5人ですね。アカプルコから帰る途中だったんですけど、自分はかなりヘコみましたね。車もヘコんだんですけど（笑）それ以来、1ヶ月ぐらい牛が食べられなくなりましたから。それが一番の思い出ですかね（笑）。

　"牛殺し"が一番の思い出（笑）。

神田　プロレスの話で言うと、自分はデビューする前にエキシビジョンマッチをアラケンとやってるんですよ。エキシビジョンマッチって決着がつかないで終わるのが普通じゃないですか？　でも、自分はアラケンのヘッドバットで、額を叩き割られてTKO負けしたんですよね（苦笑）。エキシビジョンが凄惨な流血戦になってしまって、試合自体はショッパイと思うんですけど、自分の心の中でベストマッチかなって（笑）。

　―人々の想像を越える試合をやったわけですね（笑）　神田選手が表舞台に出るようになった最初のきっかけは、（横須賀）享選手とのタッグ結成だと思うんですけど、このタッグはどういうところから生まれたんですか？

神田　あれは単なるジェラシーからですね。闘龍門日本初上陸でアラケンがヘッドバットでブレークして、ストーカー市川もなんかわからないコスチュームでブレークして、2度目の日本上陸のとき今度は堀口がサーファースタイルでブレークして、「あれ、神田裕之は？」って。そのとき「これは何かしてやらなな」って思ってたんですよね。でも、「ボク一人でできるか」って考えたら無理だと思ったんで、享さんに声かけて「一人じゃ不安なんで二人で結託してやったろう」って感じで組み始めたんですよ。

　―じゃあレスラー生活の全てをルードとして過ごしたということになるんですか？

神田　いや、こんな顔でも一応最初はテクニコ（ベビーフェース）でやってたんですよ（笑）。まだ全然ペーペーなのにメキシコのグルポ・レボルシオンっていう団体が結構メインで使ってくれたりして、正統派で頑張ってた時代もあったんですよね。パンテーラ選手とタッグ組んだりしてましたからね。

　あ、そんな大物と。

神田　結構メヒコでは、日本でも有名な選手とやらせていただいたりしたんですよ。それはやっぱり、校長がボクらに勉強させるために大物選手と当ててくれてるっていうのがあったと思うんですけど、ホントにそういうのが一番いい勉強になりましたね　練習ではできない実戦の練習っていう感じでしたから。

―でも、最初からメキシコでデビューして試合をしてたら、自分が日本でプロレスをやってるプロレスラーと同じっていう気がそんなにしなかったんじゃないですか？

神田　しなかったですね　ボクは自分のことを"プロレスラー"というより"ルチャドール"かなっていう気がしてたんで。ルチャドールなら自分よりちっちゃい人もたくさんいたんで、その仲間には入っている意識はあったんですけど、"プロレスラー"っていう響きは自分より凄い上にあるものだと感じてましたね。

　それが、どの辺から「プロレスラーだ」っていう自我が芽生えてきたんですか？

神田　日本に来てしばらく他団体に上げていただいたときですかね　いままで自分がファンとして見ていた人と実際に試合ができて、「俺もプロレスラーなんだ」っていう意識は強くなりましたね　もちろん、プロレスラーと言うにはまだまだショッパイなっていうのは感じてましたけど。

　神田選手は全日本にもけっこう参戦してた時期があるんですよね？

神田　はい。全日本さんは半年ぐらいです

2000年5月18日、メキシコで正式結成されたM2K　結成記念に書いた壁の「M2K」という落書きが、昨年12月の遠征でも残っていて3人は喜んでいた

ボクは最初〝ジュードー・ハナカンダ〟という鼻をかむキャラだったんです（笑）

★Profile★
【かんたやすし】1978年8月29日、千葉県千葉市出身175cm、85kg。闘龍門二期生として入門。98年メキシコ・ナウカルパンて二期生の先陣を切ってデビュー。コーナー最上段から降ってくる"下克上エルボー"を武器に活躍。99年末に望月享と反乱を起こし、それか後のM2Kとなる。首のケガが原因で10月28日引退を迎える

KANDA

ね。M2Kを結成したあと3人で、一昨年の夏から1月のドームまで出てました。

ああいう老舗団体のシリーズ巡業について行くっていうのはどうでしたか？

神田 もう凄く嬉しかったですね。「ウイリアムスだ！ ハンセンだ！」って（笑）。

半分、ファンに戻った感じで（笑）。

神田 はい。自分らM2Kは外人バスで一緒に移動させてもらってたんで、いろいろ外人選手と話をして、貴重な体験をさせてもらいました。

とんな選手と話しました？

神田 ボクはゲストで来日していたジン・キニスキーさんの隣の席だったんですよ（笑）。

それまた凄い席ですね（笑）。

神田 いつもバスの中でピーナッツを食べてる人で、ボクもよく食べさせられてたんですけど、ボク実はキニスキーさんって知らなかったんですよ。だから、望月さんに「誰ですか？ あのおじいさん」って聞いたら、「バカ！ お前、ジン・キニスキーだよ！」って（笑）

キニスキーを単なるピーナッツ好きのおじいさんだと思ってた（笑）。

神田 ボクにとってはそうだったんですよ（笑）。で、キニスキーさんには一度「お前たちの試合はポンポン技を出しすぎだ。プロレスはそんなもんじゃない」って言われたことがあるんですよ

―ああ、あの時代のレスラーらしい発言ですね。

神田 そう言われたんで、その日は技をできるだけ少なくして、しっかりヘッドロックを固めたり、技のひとつひとつを大事に使った試合をしてみて、試合後キニスキーさんに「今日の僕たちの試合どうでしたか？」って聞きにいったんですよ。そしたら、「いや、見てないよ」って（笑）。

アッサリと（笑）。

神田 でも、そういうことも含めて勉強になることだらけでしたね。サフゥーやロブ・ヴァンダムと試合させていただいたこともあったり 中でも僕らM2Kが一番闘えて嬉しかったのが（ジャイアント・）キマラ選手だったんですよね

キマラ選手ですか（笑）

神田 圧殺されたときに苦しいんだけど「やられた」っていう実感があって、見てたら「アレは痛くないだろ」って思ってたんですけど、ドンって乗られたら動けなかったですね。

ホントにプロレスを体感したわけですね（笑）。やっぱりプロレスラーとして思い出深いのは、この全日参戦も含めたM2Kとしての活動ですか？

神田 そうですね。望月（成晃）、望月（享）、神田（裕之）の〝オリジナルM2K〟が一番思い入れ深いですね。

ウルティモ・ドラゴン校長はウチのインタビューで、「チーム分けする前から誰がリーダーか決めている」って言ってたんですけど、M2Kは最初から望月（成晃）さんがリーダーでスタートしたんですか？

神田 いや、最初はボクが校長から「お前、真ん中でいけ」って言われたんですよ（笑）。

神田選手がセンター!!

神田 「望月二人は金髪だし、名前も一緒たから両脇で支えて、神田は真ん中で立っていけ」って言われたんですけど、自分には荷が重い感じがしたし、マイクも上手く喋れなかったんで、自然とフェイドアウトして望月さんが真ん中に来るようになりましたね（笑）。

校長の考えとは違うM2Kが自然と出来上がっていったわけですね（笑）。

神田 でも校長の中でもこのほうが正解だなと思ったと思うんですよ。上手い形でM2Kっていうグループが出来ていったし、ボクも自分なりに考えた役割に行けたと思うんで なせ、あのとき校長がボクを真ん中にしたのかわからないですけど、後々、望月さんに聞いたら「校長はかなりお前のことを褒めてたよ」って言われたんですよ。ボクは校長に直接褒められたことがないんで、それを聞いてちょっと惜しいことをしたかなって（笑）。

―M2Kという名前はどうやって決まったんですか？

神田 これは校長が「お前らは望月一人に神田一人だから、いまY2Kっていうのがあるし、それをモジったらいいんじゃないか？」っていう感じで。ボクらも最初は「これでいいのかよ」っていう戸惑いがあったんですけど（笑）、気づいたら結構定着して、やっぱり校長の考える事は凄いなっていうのはありましたね。

あのひらめきというか、思いつきは凄いですよね。真剣にやってるのか冗談で言ってるのかわからないですからね（笑）。

神田 ボクらもたまに校長が話をされてるとき、「これは冗談だよな」って思った事がホントになってるんでビックリすることが多々ありますね（笑）。

「ストーカー市川」なんて、普通考えませんよね（笑）。

神田 ストーカーはボクらがメキシコに行

現在は神田かM2Kを離脱たため、敵対関係にある盟友・望月享は、「後楽園ては自分の考えて行動を起こす」と、神田引退試合でなんらかの行動をすることを示唆した

った練習生時代から、校長が「おい、ストーカーって」って市川のことを呼んでで、市川さんも「はい!」って言ってましたけど、まさかリングネームがストーカー市川になるとは思いませんでしたね（笑）
そんなに年季か入ってるんですか（笑）

神田　その当時、ホクも校長から「ストーカー市川とジュードー・ハナカンダっていうのを出そうって思ってるんだよ」って言われて「おい、ハナカンダ　お前は鼻紙を出して鼻をかんでから、それを投げろよ!」とか言われてたんですよ（笑）。
カハハハ　ハナカンダー　それは危なかったですね（笑）

神田　多分、校長も忘れてるとは思うんですけど、「お前、ティッシュのスポンサーがつくから、そしたら道場に寄付しろよ!」っていう感じで（笑）
商魂たくましいですねぇ（笑）　M2Kのキックボートも校長のアイデアですか？

神田　はい。校長の「あれ、流行ってるよな」の一言で、「用意しとけよ」って
その一言で（笑）

神田　それから試合前に体育館をグルグルまわって、「これはコケないように上手くいきましょう」ってみんなで試乗してましたね。
もしかしたら最後の後楽園では、あの頃のM2Kが見られたりしないんですか？

神田　望月さんは「お前を全面的にバックアップする」って言ってくれてるんですけど、もう一人の望月さんかどうなのかなって（笑）　まあ、あとは本人に任せます（笑）
闘龍門で初めて引退ということですが、校長はインタビューなんかでも選手には「ずっとプロレスラーでいられると思うなよ」って話をされてましたけど、神田選手はどれくらいプロレスラーを続けたいとか、考えはあったんですか？

神田　いつまでもできるとは思ってませんでしたけど、できるだけ長くやっていたいという気持ちはありましたね　この仕事は、いくら「プロレスラーになりたい」っていう夢を持っていてもなれるもんじゃないんて、そういう夢を果たせなかった人の分まで自分らか頑張って、いい試合を見せれたらなっていう気持ちはありました。結果的に4年間という短いプロレスラー生活になってしまったんですけど、やっぱり自分なりに頑張ってここまできたし、遅かれ早かれ引退はくるんで、みんなが引退していくときのいいお手本になれたらなっていうのはありますね

――最後にこんなことがしたいっていうのはありますか？

神田　もう20日を切ってしまったんでかなり考えることはありますけど、最後にやっぱりプロレスラーとしてのホクの試合を見たことがない人かいると思うんで、まともな形には試合かできないですけど、ホクのできる範囲で最高の試合を見せたい気持ちはありますね　ホクの代名詞はエルボーなんで、昔みたいにはできないとは思いますけど、それに近いことができたらなって思いますね
引退試合はストーカー市川選手ですね。

神田　ちょうどいいんじゃないですか？　他の人とやったら多分潰されるんで（笑）
じゃあ最後に何かファンにメッセージがあればお願いします

神田　まあ、とりあえず自分のやれることは全力でやりますんで、10月28日後楽園ホールで応援よろしくお願いします!
最後の試合頑張ってください!

YASUSHI

闘龍門 JAPAN TOPICS

11/	
02 土	広島・佐伯区スポーツセンター 開始18:30予定
03 日	愛知・名古屋イベントクレイ　MAXト　イワ
04 月	神戸・チキンジョージ　開始19:00予定
10 日	三重・伊勢サンアリーナ　開始16:00予定
15 金	愛知・豊田市体育館　開始18:30
16 土	愛知・岡崎市竜美丘会館　開始17:00
17 日	愛知・豊橋市総合体育館第2競技場 開始18:30予定
23 土	埼玉・越谷桂スタジオ　開始未定
24 日	埼玉・本庄越べへホール・アトラス　開始未定
27 水	東京・後楽園ホール　開始18:30
12/	
01 日	兵庫・明石市立産業交流センター 開始17:00
08 日	山口・海峡メッセ下関　開始17:00

★お問合せ:
闘龍門JAPAN　TEL 078-333-9797

★CIMA vs 和泉修 トークバトル開催

【日時】
2002年11月4日（月・祝）
午後18.30〜
【会場】
プロレスショップ・リングソウル
【入場料金】¥3,000
前売りチケットは、リングソウルにて販売
参加人数は限定40名
【問い合わせ】
リングソウル
078-333-6690

神田裕之 引退試合
闘龍門　後楽園ホール 10月28日（月）18:30〜

決定分対戦カード
［シングル・マッチ］
★ウルティモ・ドラゴン・ジムト VS X
［タッグ・マッチ］
★ダークネス・ドラゴン VS 三島 来夢
★ドラゴン・キッド VS スペル・シーサー

★神田裕之引退試合★
神田裕之 VS ストーカー市川

神田裕之引退試合か行われる10・28後楽園大会は、闘龍門から初めての引退選手とあって、主要対戦カードか発表されていないにも関わらず、チケットはすでに完売状態　いますぐ立ち見券求めて会場に行け

10・8大阪府立第2　PUTIT REVIEW

C-MAX、イタコネに2連敗!! そしていよいよミラコネとマグナムが初遭遇!!

9・8有明で組まれた闘龍門JAPANvsT2P頂上対決、C−MAXvsイタコネのリマッチが大阪で実現!
前回はCIMAかミラコレのATロックで腕を亜脱臼するという衝撃の結末となったか、今回もイタコネかジャベで試合を有利に進め、YOSSINOのジャベ"ソル・ナシエンテ"でフジイかタップ　C−MAXかまさかの2連敗となった

試合後、C-MAXに「こんな弱い奴らに負けて情けない」と毒つくマグナム　これにミラコレか激怒し、10・27ディファアでイタコネvsM2Kが電撃決定した

セミのNWAウェルター級選手権は、D・ドラゴンか斎藤了相手に防衛　試合後、クネスか斎了に新ユニット結成を持ちかけた　10・28後楽園ではたしてとうなる？

CAT FIGHT WORLD

第21回「セクシーバトルの魅力」

『バトルビデオ』企画製作部・担当 木根さん

キャットファイトの知られざる魅力をお伝えする「CAT FIGHT WORLD」。今回は、おなじみビデオ企画制作部担当・木根さんが“セクシーバトル”を語ります！

先にイった方が負け！ オンナ同士のプライドと意地を賭けた愛撫勝負！

今回はセクシーバトルについてですが……セクシーバトルって（笑）

木根　読んで字のごとくですよ。セクシーなバトルです。

ハトルは闘うじゃないですか。セクシーに闘うって、何となく分かるんですか、何となく結ひつかないような……

木根　そりゃあ、力て闘うハトルを頭に想像しちゃうから駄目なんてすよ

力で闘うバトルしゃなくて……セクシーなハトルですか……あ、セクシーと言えば、キャットファイトの原点とも言われている泥レスリングなんてセクシーバトルですよね－

木根　おお、良い線を付いてきますね～。泥レスは確かにセクシーですし、キャットファイトのイメージがやっぱり強いですね

じゃあ今回はそういうバトルの魅力なんですね？

木根　残念ながら違うんですよ（笑）

ん～～～～？

木根　セクシーなんですか、もっとエロティックと言うか……

エロティックですか？（笑）

木根　まあ、元々キャットファイト自体かそういう意味合いを含んだ言葉なわけしゃないですか　最近では、様々な捕らえ方されてるみたいですけと……

て、しゃあ、今回はそのキャットファイトの中てもエロティックの部分を強調しているわけてすか？

木根　そうです　もう、とことんエロティックなバトルなんです

じゃあ、エロティックバトルの魅力にすれば良かったんしゃないてすか

木根　いえ、一応、広告の見出しになるわけだし（笑）。セクシー止まりにしておこうかなと思ったわけで

なるほと（笑）。では、そのセクシーハトルそのものを説明してください

木根　はい　えぇと、女性同士か互いの身体を愛撫し合って先にイってしまったら負けと言うハトルてす

……思いっきり心配になるハトルですね、それは

木根　何の心配ですか（苦笑）。結構、人気あるんですから……

まあ、ただ嫌いじゃないですよ、僕も（笑）

木根　「本気のキャットファイトが見たい」と言うお客様が多いので、こちらのファイトならば本気でやってもらえるし、何しろ撮影が安心で良いですよね

はぁ、そりゃあ取っ組み合うわけじゃないですからねえ

木根　試合前にバトルの趣旨を女の子に説明するしゃないですか　そのときに「エノチで負けるのと同し意味なんたそ」と説明するんてす（笑）　もう負けられませんよね、女の子としては……

それで、本気て愛撫し合うわけですか？

木根　もう、絶対に負けたくないーって、かなり本気てすよ　もう、ココまてするか!?ってくらいに、エロエロなハトルか繰り広けられます

壮絶ですね　色んな意味て……

木根　もちろん、勝負ですから昇天してしまうと負けしゃないですか　女の子は最後の最後まで身体をくねらせながら耐えるんです。これがまた本当にエッチなんですよ。どんなに頑張っても、身体は正直に反応してしまうー！って（笑）

なんか聞いてるたけて興奮しますね～（笑）

木根　そうでしょう？　女性同士のプライトと意地を賭けた勝負、まさにキャノトファイトですよ　勝つためには手段を選ばない女の子達のバトルは、もう、本当に必見ですって

ちょっと、本気で見たいです、それ！

木根　前に紹介させて頂いた「イカせっこバトル」から、喧嘩部分を抜いて、完全なる愛撫のせめぎ合いに徹したのです

色んなことやってるんですね、キャットファイトって

木根　はい、色んなことやってもらってますよ、キャットファイトは（笑）

そんなわけで、女のプライトを賭けて闘う激しいセクシーバトル、必見の価値ありです!!

今月のオススメビデオ

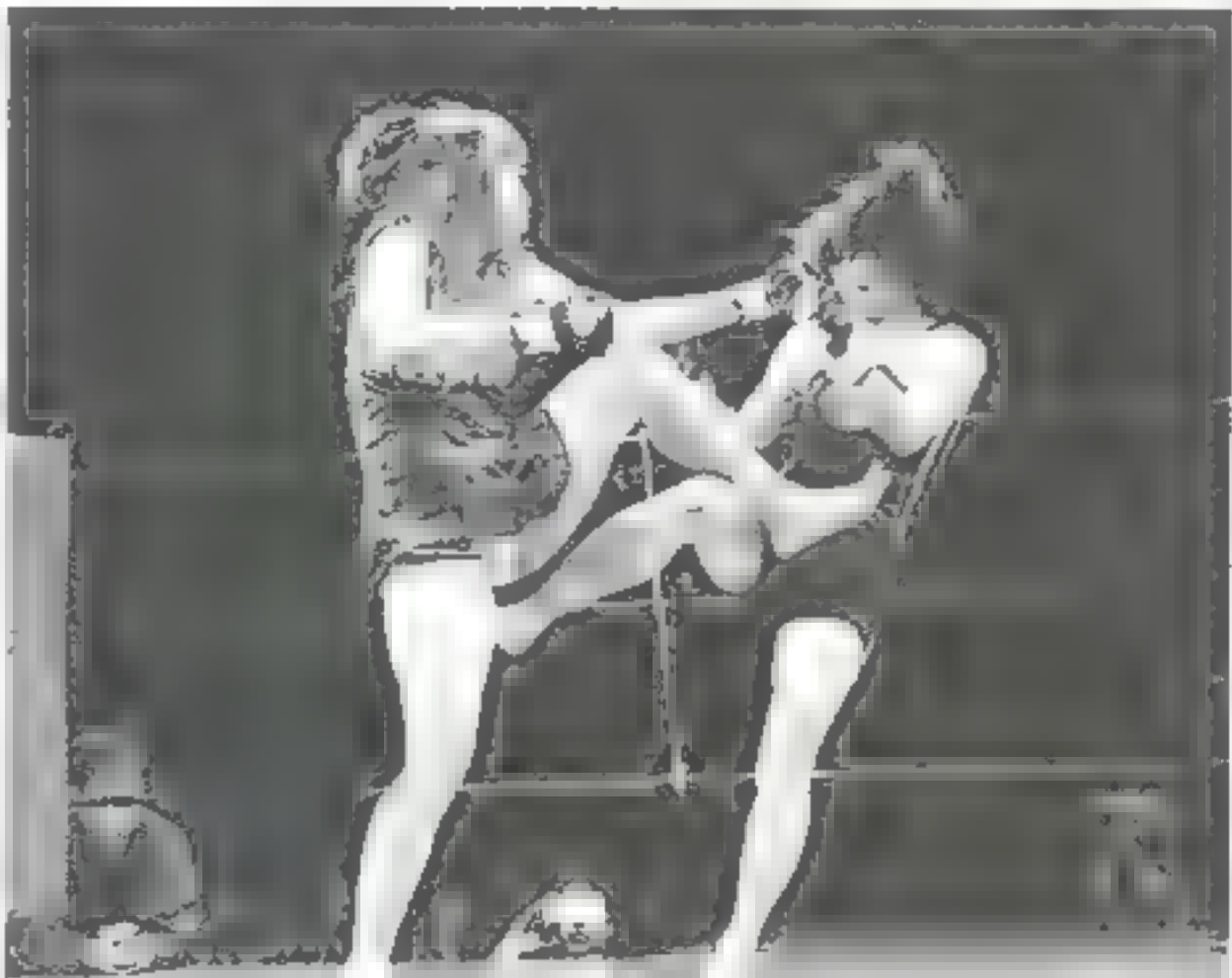
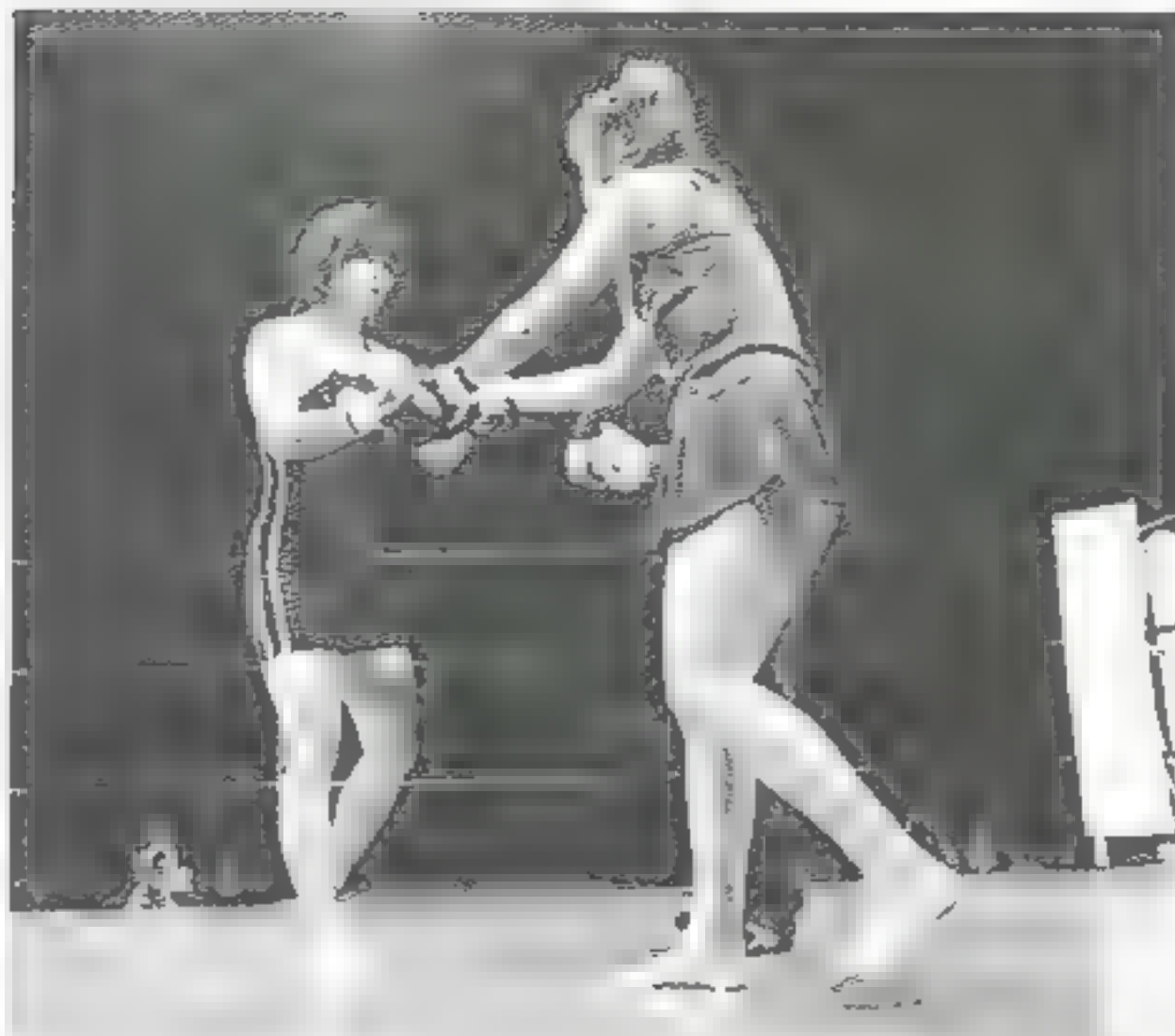
NO.16 ●バトルオリジナル「イカせっこバトル」（B－16）62分 ¥8000

「ハトルクィーンを目指すオンナ」ことナンシーと、超美形ファイターさやかのイカっせこハトル　実はレス経験も豊富なナンシーかエロ技を繰り出し追いつめるか、さやかも舌技て逆襲！　フストシーンの思いもよらぬエンティンクに大興奮間違いなし！

NO.01 ●バトルオリジナル「愛撫バトル」（B－V01）70分 ¥8000

莉菜と智香の2人のクラビアアイトルの卵か、夢のクラビア撮影の仕事を賭けて激しい愛撫ハトルを展開た！　ピンクローター、ペニスバント、そして凶器ナシのハトルと、3Rのスペシャルエロティノク対決！　あらゆるエロ技が炸裂するそ

セックスと嘘と
スマックガール
女子総合の現在

女子の興行を見ていると、恐らく自分か男であるという単純な理由が大きいと思うのだが、ついつい作る側に目が行ってしまう。勿論、主役は選手達なのだ。それはわかっている。それでも、女子総合の興行を主催しよう、それに関ろうとする人間達は、いったい何が目的で、そんなことをやり始めるんだろうという思いが、頭から離れない。単なる金儲け？　それともプロモーションを自分の手で持つという名誉欲・権力欲？　はたまた、女子総合という競技の成立を目指す？

辻結花ｖｓ高橋エリ●　うわあ、高橋、チアガールのコスプレのまま試合だあ　アンダースコートというより、パンツ丸見え。だけど　この人、打撃もグラウンドも強い。たが、それをまったく寄せ付けず、超高速タックルから腕十字を極めたさか、文句なしに中量級の大本命だ

大昔、丸谷才一が、「誰も肉屋に何故肉を売るのかなんて問わないのに、作家だけは、何故書くのかと問われる」というようなことを書いていた。筆者なりの、この設問に対する答えを書けば、それは書くという行為が本質的にいかがわしい行為であるからだ。

興行を主催するという行為も同じだ。実にいかがわしい。それは、格闘技であろうと、プロレスであろうと、サーカスであろうと、演劇であろうと、何でも同じであるような気がする。

そして、そのいかがわしさが、顕著に現れるのが、女子プロレスや女子格闘技であるような気がするのだ。大の大人の男達か、年端もいかない少女達（というと多少語弊もあるが）に、殴り合いをさせて、それを見せ物にするなんて、実に実に、いかがわしい。いやらしい。

スマックガールと『ＡＸ』の興行戦争的な煽りと共に、女子総合という興行分野は、そこそこ定着してきたように見える。いや、早くも低いレベルで落ち着いてしまったというべきか。

昨年、渋谷の小さなクラブで再スタートしたスマックガールは、今年はディファ有明に舞台を移し、毎月の興行を重ねているものの、観客動員的には、数百人というレベルで落ち着いてしまった。一方、星野育蒔という、ファイトだけではなく、一挙手一投足すべてに魅力を感じさせるファイターを中心に据える形で、より競技指向の強いプロモーションとして開始された「ＡＸ」は、今年に入って後楽園ホールに進出し、三回の興行を主催したものの、観客動員は、スマック以上に苦戦し、現時点ではスポンサーの撤退も噂され、次回の興行予定も出ていない。

ところが、アマチュア系の動きを見てみると、こちらは、益々盛り上がりを見せているのだ。打撃がない為、より選手が参加しやすい柔術では、小さな競技会であっても、女子のカードが組まれないことの方が少なくなっている。前述の星野が主催するＭＲＣなるオープン練習サークルも、順調に回を重ねているようだ。ＡＸ主催と思われたプロジェクトＡなる競技会も、何時の間にか、パレストラ東京（※星野＆桜井亜矢を指導するご存知、若林番頭所属のジム）と前述ＭＲＣの共同主催という形で、先日一回目の競技会が行われた。数年前から、ある種アイドル的に『格通』誌上に登場していた、フジメグこと藤井恵は、所属するＡＡＣＣの力を借りて、独自のクラップリンクルールでのアマ大会を主催したはかり、修斗に対抗する総合のアマ統括組織としてスタートした（ということは否定しているが、誰もがそう見ている）ＪＴＣ（※ＷＫネットワークやパンクラス、ストライプルなと様々な団体が加盟。現在の代表は平直行）も、今年の全国大会と同タイミングで、女子のカードを組むことを発表した

筆者が、たまたま関係者と近いこともあり、この辺のアマチュアの動きのキナ臭い政治絡みの話を、諸団体の相関図でも作って解説したら、滅茶苦茶面白い話が書けるわけだが、残念ながら、これは割愛（ネットで質問しても教えてあげないよ）。

何故、『紙プロ』で、女子総合のアマの話を延々書いているかというと、いわゆるシュートの格闘技である女子総合、やはり、選手が育たなくては始まらないわけで、アマという裾野の拡大は、プロ興行をやる上でも、至上の命題であるからだ

勿論、アマとプロ、これは両輪であって、双方がバランスよく進んでいけば、何も問題ないのだが、これがなかなかウマくいかない。総合に限らず、格闘技をやらせる側は、見事に、興行優先か、競技優先かに二分されてしまう。それぞれが持っているだろう（と信じたい）崇高な理念を別にすると、実はこの問題、やらせる側が、どうやって食っていくかという現実的な課題を、どこでクリアするかだけの違いなのだ。

女子で言えばスマックに代表される興行優先の考え方は、そこで見せた物に対する対価を、観客から受け取り、それで食っていこうとする。一方、競技を優先する修斗に代表される考え方は、格闘技だけではなく何のスポーツ競技でもそうであるように、教えることで指導料を取り、広く選手から登録料を徴収し、競技会においても参加料を課すことで、食っていこうとする

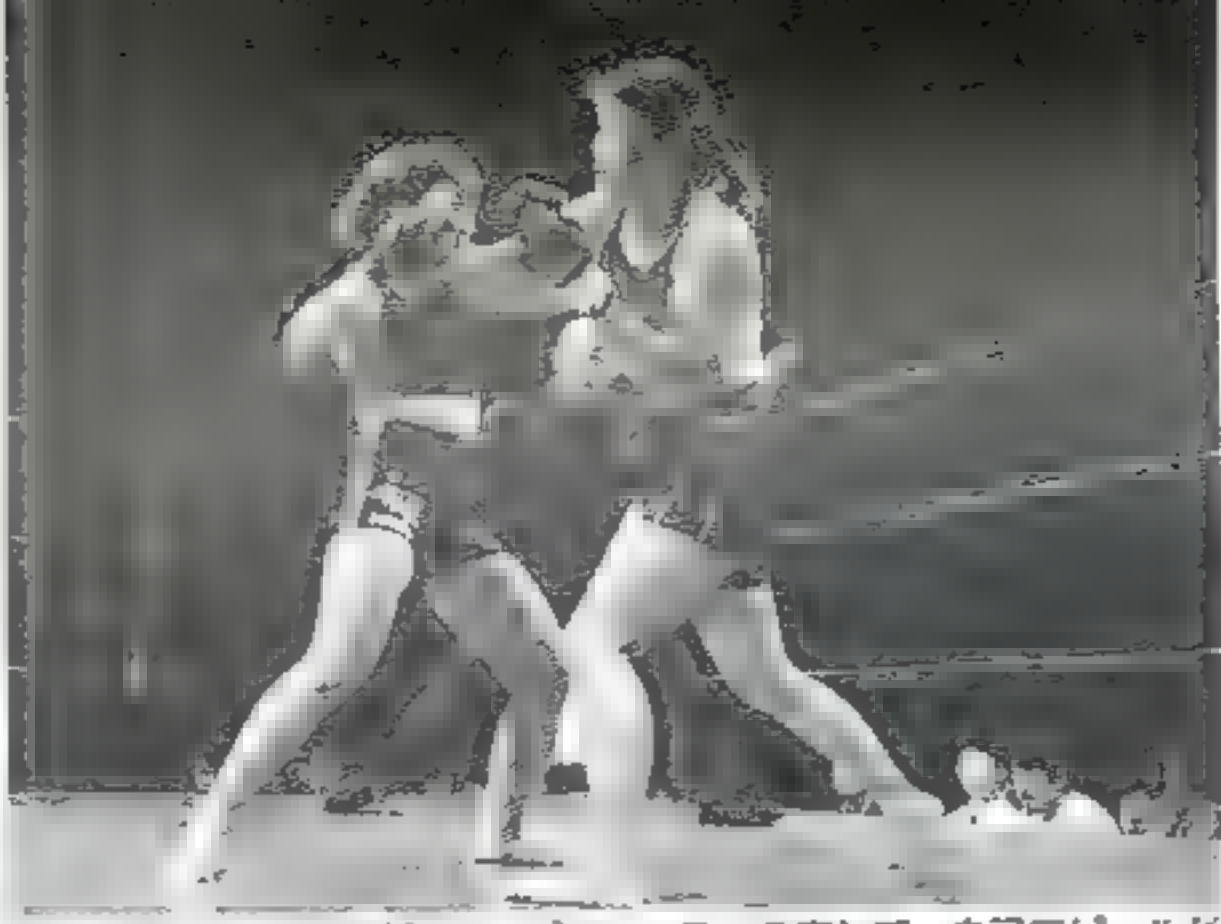
人間誰しも霞を食っては生きていけない。酷い言い方をするなら、興行を優先すれば、観客を騙して食っていくわけだし、競技を優先すれば、選手を騙して食っていくわけだ。こう書くと、まるで夢も希望もないようだが、ホントなんだからしょうがない

ところが、残念なことに、女子総合という分野、まだどちらも食えてない。つまり業界として成立していない。そりゃそうだろう、男子の総合ですら、まだまだ黎明期であって、やる側やらせる側、食えている人間は、ごくごく一部だというのに、女子の総合格闘技などという分野の収益構造が、いきなり確立するわけはないのだ。

スマックガールは、興行を優先する側であるからこそ、それがエンターテインメントであることを公言し、リング上での闘いがシュートであれば何をやってもいいのかとまで、自ら煽りのコピーを発信し、興行を重ねてきた。

エンターテインメントを名乗りながら、映像・照明・音響を含めた進行・演出が、

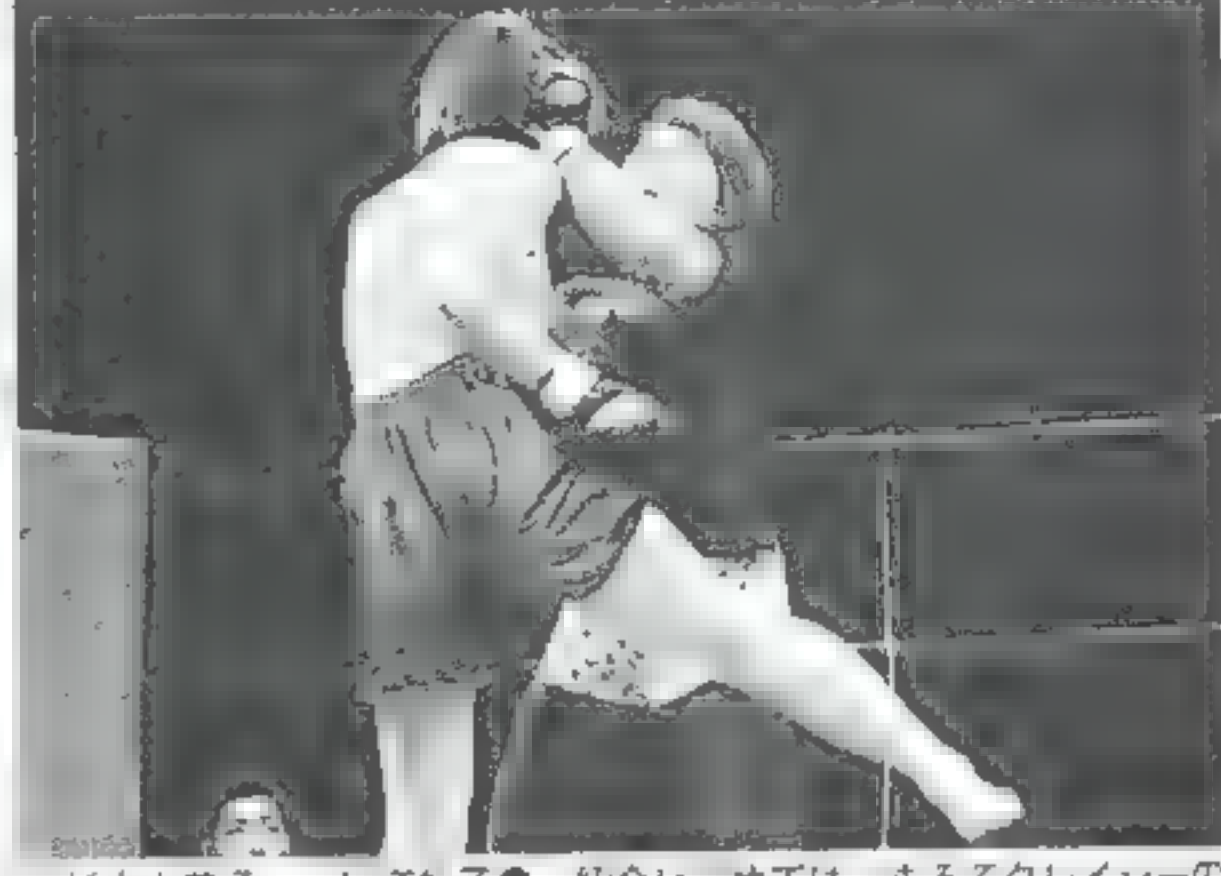
入場花道では、新日ドームのカブキ復活を予言するかのような華麗なヌンチャクさばきを見せた、スマック初登場の川工姐さん、リングに入ると、サイを操る正体不明の外人に棒で挑む演武。場内の期待膨らむ

ウィンティ智美vs張替美佳● とこでも便利屋的に使われてしまうプロレスラー・ハリー、キックボクサー・ウィンティに、善戦するもチョーク葬 以前ほどの気合が見れないのか、ちょっと物足りない

金子真理vs亜利弥' ● プロレスラーの癖して、自己アピールがまるでない亜利弥'だが、実力は着実にアップ中。あわや延長かという所まで、金子を追い詰める そのがんばりは、この日のMVP級！

大門まい子vsナナチャンチン● ねじり鉢巻に一升瓶 ？ かついで入場の大門、微妙に照れが見えて可愛い 技術はハングンだし、メモ8的イチオシ 誰もが予想する通りにナナチャンチンを秒殺！

殴り合う少女達が美しくある為に

○しなしさとこvs片桐美紀● アピール度もファイトの積極性も、ダントツのしなし 勝負パターンが研究されつつある感じだが、それでも1Rで極めてみせた 軽量級の大本命は、やっぱりこの人

渡邉久江vs宮多雅恵● ド派手な入場と、思い切りのいい打撃系のファイトが、女性客には寵愛を買っている渡邉だが、おじさんは、みんな萌え萌えです。ヒールキャラなのに涙もろいところがイイ!!

杉本由美子vs小川礼子● 紹介ビデオでは、まるでクレイジーのように「私は死ねる」と宣言して、益々雰囲気たっぷりの川江姐さん、言った通りに秒殺されてしまいました でも、また見たい!!

あまりに稚拙過ぎるという問題については、今は、あえて問うまい。

総合以上にキチンとした演出が必要な筈の純プロレス、特にインディー団体の稚拙な演出を、メディアがあまり本気で叩かないのは、それが生活の為の時間と、情熱の兼ね合いの問題であることを、わかっているからだ

単刀直入に言えば、みんなバイトが大変で、そんなに時間が掛けられない。勿論、プロ興行である以上、そんなことが言い訳になるわけはないのだが。

スマックガールも同じ。スタッフは頑張っている（と信じたい）。が、それにしたって、エンターテインメントなんだろ、ブチブチ切れまくる煽りビデオや、何の工夫もない照明は、もう少し何とかならんもんかって、かなり厳しく問うてますが。

ハナハダ心許ない。まことに危うい。ただでさえ、胡散臭いことをやっているんだ、イタイケな少女達に殴り合いをさせて食っていこうとしてるんだ、もう少し、シャキっとして欲しいのである。

ところがだ、そんな頼りない大人の男達を尻目に、殴り合う少女達は、実に実に立派なのだ。地にドシっと足がついているというか。

軽量級と中量級という、何とも大雑把な体重制で始まった、スマックのトーナメント、その出場選手達の自己演出・自己宣伝の実に見事なこと。

プロである以上、自己演出が必要なことすら理解出来ずに、勝利のみに拘った膠着を繰り返す男子総合の選手達が、掃いて捨てるほどいる現在において、スマックガールが、エンターテインメントであるという宣言だけで、スタッフの力だけでは実現出来ないその趣旨を、見事に、多分本能的に理解して、いとも容易く実現してしまう少女達。

今興行のメインイベントに組まれた、辻結花vs高橋エリ。

高橋は、前回来場した今をときめくボブ・サップも大感激したらしいテニスルックに続いて、今回はチアガールのカッコで入場し、そのまま試合をして見せた。

一方の辻。実力的にも、そのキレのあるファイトでも、今や女子総合を背負う一人となった彼女は、サクマシンのマスクをカフって入場してきた。意味不明といえば意味不明なのだが、その辺は、本家の桜庭と同じ、天然としか言いようのない雰囲気が、この選手の魅力でもある。そして、マスクを脱いだ時の、彼女の厳しい表情が、惚れ惚れするほど、凛々しいのだ

試合は、レフェリーの静止も間に合わない速度で、辻か高橋の腕を伸ばしきり、準決勝進出を決めて、この日の興行は幕を閉じた。

アマを組織する、興行を主催する、やらせる側の男達が、オロオロしながら、試行錯誤を繰り返しているうちに、筆者のような見る側の人間が、ハラハラしながら見守っているうちに、競技の、興行の主人公である殴り合う少女達は、逞しく輝き始めている。

だから、読者諸兄も、是非とも女子総合に足を運んで欲しいと思う スマックや AX のようなプロ興行に限らない、アマの競技会でもいい、輝こうとする少女達の舞台に。

きっと、より多くの視線に見つめられることによって、殴り合う少女達は、さらに美しくなるのだから。

長尾メモ8プロフィール
ネットにおける魂の総合格闘を続ける日々 その辟、師であるタダシ タナカの未発表原稿をマイHPにUPする約束をしているのに、怠けまくって怒られちゃいました 先生、愛してるから許してくださぃ
http://homepage1.nifty.com/memo8/

半額 紙のプロレス 本誌 Back Number

No.48

'02年3月 ¥880

見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
●奇跡のメガトン対談実現! 小川直也vsノゲイラ
●和田最強伝説が遂に現実に! 語り部・金原弘光
●伝説の男が笑撃の登場! ノヨ・サン
小川直也/武藤敬司/ミスターポーゴ/ウォーリー山口/ジョン・テンプァー

No.49

'02年4月 ¥880

この夏に究極の格闘技大戦争勃発!? マット界灼熱の噂!
●和田さん快勝記念対談 高山&金原&和田
●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
●凄! 小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行! 破壊王も火のヤリ特訓だ!
レッスルマニア座談会/CIMAvsドス・カラスJr./ウォーリー山口/小畑千代

No.50

サクが笑えは、世界が笑う!!

'02年5月 ¥880

早く試合がしたい!! サクが笑えば、世界が笑う!!
●「地方初世界」開始! 小川直也&橋本真也
●充電完了! 桜庭和志が久々の登場!
●パンクラス取材解禁! "尾崎の野郎"も初登場
●I編集長が新日本に三くだり半!
菊田早苗/大仁田厚/小島聡&NIGO/アレクサンダー大塚/リングスロシア軍団の軌跡

No.51

'02年6月 ¥880

ZERO-ONEに願いを! 7・7決戦迫る!
●両国国技館だよ、全員集合! 橋本真也
●「PRIDE」の魅力をマン開! 小池栄子
●天才が悩みに答える! 武藤敬司人生相談
●"男の中の男"が本誌初登場! 謙吾
小川直也/プレデター/田村潔司/鈴木健/小笠原和彦/ZERO-ONE中村部長/I編集長

No.52

'02年7月 ¥880

見えない鎖を引きちぎれ! 行けーッ、小川アァァッ!
●全身プロレスラー・高山善廣
●「トゥーッ!」の素顔を暴露! Mr.フレッド
●USAの處世人 ドン・フライ
●田村潔司「美濃輪戦を決めた3つの理由」
小川直也/橋本真也/武藤敬司/ロシアン・トップチーム/ブラジリアン・トップチーム

No.53

'02年8月 ¥880

灼熱の格闘技ダイナマイト! 世紀のビッグイベント Dynamite! を直前大解剖!!
●夢の対談が実現! 高山善廣×美濃輪育久
●独占肉弾スクープ! マット・ガファリ
●爆裂!! 川村龍夫UFO社長語録
桜庭和志/小川直也/武藤敬司/高阪剛/クレージーMAX/サムソン・クツワダ/宮章一/トム・ハワード/スティーブ・コリノ

No.54

'02年9月 ¥880

ノゲイラ表紙初奪取! 不平等の時代を克服した者こそ英雄になれる!!
●"ミスジャッジ"に猛抗議 ホイス&エリオグレイシー
●"青い目のケンシロウ" ジョシュ・バーネット
●純プロ頂上対談! 武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン
●OHビーム発射! 橋本真也×小笠原和彦
ゴールドハーク/ホノ・サブ/マリオ・スペーヒー/田村潔司/坂田亘/小原道由/猪木快守

紙のプロレス 常備店

■アイドール新宿店
■新宿ファイター
■大山アメリカン
■プロレスマニア館
■チャンピオン
■リングスパレス
■バディスラム
■タコシェ
■レッスル渋谷
■レッスル池袋
■書泉ブックマート
■書泉ブックタワー
■書泉グランデ
■ワールドスポーツプラザKINGS
・池袋
・渋谷WEST
・新宿
・名古屋
・大阪
・札幌
・福岡
■グレートアントニオ
■東京イサミ

通販申し込み方法

●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております。(バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません)

【郵便振替】
00130-3-769154
(株)ダブルクロス
【現金書留】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス

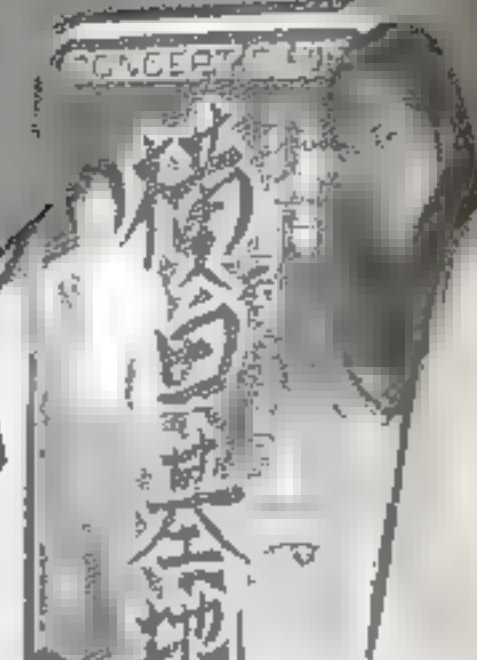
●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。

※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

●送　料
1冊=310円
2冊=380円
3冊〜4冊=450円
5冊=520円
6冊以上=700円

★『紙のプロレス』 NO.1〜NO.7/NO.9〜NO.12/NO.18/NO.21〜NO.22 「猪木とは何か?」「猪木とは何か? キラー編」「大山倍達とは何か?」は完売!!

紙のプロレス Back Number

フリーメイソンから、ナイトスポットまで!

No.5 97年8月 ¥680

高田延彦、樹海へ……初めてのヒクソン戦直前大特集!
●ドン荒川vs藤原喜明“昭和新日対談”
●前田日明の大好評人生相談『人生は語らす
●世界格闘技連盟とは何か!? 佐山聡
長与千種&ライオネス飛鳥/ビクター・クルーガー

No.7 97年12月 ¥680

反骨の剣─田村潔司 赤いパンツの頑固者、『紙プロ』初のロングインタビュー記念号
●プロレススーパースター列伝・木村健悟
●全女分裂!それでもローリングドリーマー松永会長
●オクタゴンの喧嘩屋・タンク・アボット
前田日明/T・ファンク/アジャコング/ジャガー横田/冬木弘道

No.10 98年6月 ¥680 完売間近

大和魂は連鎖する─前田日明vsエンセン井上 各方面に波紋を投げかけたスクープ対談!
●松永高司vsザ・グレート・サスケ夢の経営者対談
●冬木弘道「プロレスを進化させるとWWFだ」
●元リングスレフェリー北沢幹之引退記念
谷津嘉章/桜庭和志/前田日明/ダイアナ/宮内美穂

No.15 99年2月 ¥780

目を覚ましてください!! 小川vs橋本“1・4事変”勃発!
●A旧戦犯か、それとも真の革命児か!? 佐山聡
●前田日明inUSA カレリン戦前のシアトル特訓!浅草キッドの熱烈応援文
●S多重アリバイ・佐野なおき/Mr.K
A・カレリン/高阪剛/馬場さん追悼/語ろうマサ・サイトー/A・浜口親娘/北原光騎

No.16 99年3月 ¥780

格闘ノストラダムス'99 エンセン井上のプロレス雑誌表紙奪取記念号
●環境問題を『紙プロ』で語る!?─アントニオ猪木
●語ろうジャンボ鶴田
●相撲多重アリバイ・石川孝志
前田日明/高阪剛/坂田亘/M・コールマン/石川雄規/村上一成

No.24 00年2月 ¥840

頭打ちすぎたかアレク!! 『PRIDE.GP』特集
●田村潔司がグレイシー討伐を公約!
●船木vsヒクソン座談会
●WWF大検証!
猪木・鶴田・前田・高田らが黒船を語る!
●サスケ×矢追純一UFO超私極宇宙対談!
桜庭和志/堀辺正史/守山竜介/太刀光/嵐/中西百恵

No.25 00年3月 ¥840 完売間近

格闘ロマン続行ーッ!! 猪木イズムを携えた藤田和之『紙プロ』初登場
●グレイシー撃破後の田村潔司を直撃!
●アニマル浜口は15年前から“火の呼吸”を研究!
●暴露本の原点はここにある! ミスター高橋
前田日明/小川直也/村上一成/サスケ/ダン・ヘンダーソン/ザ・ロック座談会/石川雄規&小路晃

No.29 00年7月 ¥840

「格闘環境」は刻一刻と変化する! ノア解禁! 方舟の舵を取るのは誰だ!? 秋山準初登場!
●今度はホイス戦! 桜庭和志
●プロレススーパースター列伝・仲野信市
●本誌独占ジャンボ鶴田夫人真実を語る!!
三沢光晴/ノア就フルメンバー/村上一成/ホヒ・ホフマン/TKおかん/里村明衣子

No.31 00年9月 ¥840 完売間近

真のストロングスタイルは『PRIDE』にあり!! 歴史に残るベスト興行『PRIDE.10』大特集号
●桜庭和志×高阪剛のトークバトル中継「レフェリーは浅草キッドだ!!
●川田利明語録
●プロレスという物語について・ダン・スバーン
小川直也/高山善廣/谷津嘉章/堀辺正史/永源遙/ユセフ・トルコ/島田裕二/田村潔司

No.32 00年10月 ¥840

本誌は“新プロレス”を独占します!! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦!
●田村潔司に快勝!─A・ホドリゴ・ノゲイラ
●打倒プロレス同盟結成!? 青柳政司×小路晃
●藤波辰爾語録
●プロレススーパースター列伝
前田日明/桜庭和志/山本喧一/金原弘光×滑川康仁/本田多聞

No.34 01年1月 ¥840

プロレスは「闘い」を忘れた時に老いてゆく!! 「猪木祭り」「長州vs橋本戦」を斬りまくり!
●UFCミドル級王者ティト・オーティズ
●プロレススーパースター列伝・ミスターヒト
●修斗から「猪木祭り」へ! 宇野薫
小川直也/高田延彦/桜庭和志/薮下めぐみ/ボブチャンチン&オバチャンチン/田中正志/紙プロ大賞2000

No.35 01年2月 ¥840

ジャングルを守るだけじゃなくジャングルをつくれ!! 「純プロレス」を考え倒せ! 500人アンケートも実施! 徹底検証号
●ZERO-ONE始動!橋本真也×アレクサンダー大塚
●プロレス界統一コミッショナー(就任予定)馳浩が爆弾発言!!
●プロレススーパースター列伝・ノ 一輪■
坂田亘/成瀬昌由/滑川康仁/大仁田厚/小路晃/杉浦貴/堀辺正史/田中正志

No.36 01年3月 ¥840

新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!! 面白くなきを面白く! 純プロレス復興記念号
●ノアから独立『PRIDE』参戦 高山善廣を確認せよ!!
●桜庭和志初のシウバ戦ト直前!!
●KOKをしゃぶりつくせ! 5大企画で大総括!!
金原弘光/ノゲイラ/ヴォルク・ハン/レナート・ババル/TK/田村潔司
三沢光晴/橋本真也/前田日明/大山峻護/W☆ING/ザンディグ/ジニアス×ハリー・レイス/綾野ゆきエ

No.37 01年4月 ¥840 完売間近

長州!! 本性出せんのかオラッ!! 小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
●アブダビコンバット2001─大探検記! 菊田早苗/田村潔司×ヘンゾ・グレイシー/シェイク・タルヌーン王子
小川直也/橋本真也/桜庭和志/成瀬昌由×山本宜尚/村上一成×小路晃/堀辺正史/石川雄規

No.38 01年5月 ¥840

高田の“忘れ物”は小川!!ラスト・オブ・「もう一丁ッ!!」 5・5小川と長州はどちらが孤独だったのか!?
●ウォルク・ハンの最強の遺伝子エメリヤーエンコ・ヒョードル
●プロレススーパースター列伝・阿修羅原
●死神談話・ジェラルト・ゴルドー
高田延彦/クンタレンコ・スヘトラーナ/力皇猛/杉浦貴/丸藤正道/谷津嘉章/ジミー鈴木/高山善廣

No.39 01年6月 ¥840

どうなるんだ、リングス! 前田isデッド!? すべての“騒動”に前田日明総帥が答えた!
●選手離脱後の前田道場新エース・金原弘光/滑川康仁
●怪物か!? それとも 藤田和之座談会
●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
秋山準/山本憲尚/小川直也/成瀬昌由/田上明/石川×臼田×島田/DEEPとは何か

No.40 01年7月 ¥880

開戦間近! 猪木軍vsK-1に見たいものは“地上最強のプロレス”
●蘇れ! Uインター&キングダム伝説!高山善廣×金原弘光[前編]
●本当か? 本当なのか!? この叫びを聞け! 大谷晋二郎
●プロレススーパースター列伝・グラン浜田
小川直也/三沢光晴/橋本真也/サスケ/郷野聡寛/坂田亘/上山龍紀

No.41 01年8月 ¥880

Can you カミングアウト? “最後の黒船”WWF襲来! どうする「日本のプロレス」!!
●リングス10周年大会! ハンがリングスを振り返る
●真樹日佐夫×三池崇史巨頭対談が実現
●W☆INGの真実・茨城清志
小川直也/高山善廣×金原弘光//WWF座談会/辻よしなり/秋山準語録

No.42 01年9月 ¥880

猪木なら何をやっても許されるのか!? アントン総帥の言葉はマット界にとって“福音書”か? “テロ行為”か!?
●失われた“新日本”がここにある!ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
●大反響“ヒクソナー”さよなら
●蘇れ! UWFインター伝説! 高山善廣×宮戸優光×金原弘光
高田延彦/谷津嘉章/カト・クンリー/マァ☆ティン/WWF上陸直前特集

No.43 01年10月 ¥880

サクと『PRIDE』のケツに火がついた!! 10・8猪木と小川が「純プロレス」と「純K-1」にリンクを張った!!
●ブラジリアン・トップチーム3大柱インタビュー
●大谷晋二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
小川直也/桜庭和志/谷津×グッドリッジ/中野巽耀/須藤元気

No.44 01年11月 ¥880

ノーモアBADアングル!! サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か?
●プロレススーパースター列伝・グレート小鹿
●その修羅場の数々! シーザー武志
●怪物伝承 高山善廣&杉浦貴
ハンス・ナイマン&ティック・フライ/田村潔司/闘龍門大特集/E・ヴァラビーチェス

No.45 01年12月 ¥880

「K-1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!! 紙プロ』旗揚げ10周年&RADICAL創刊5周年記念号
●「ケーフェイ」以来の爆弾本投下!ミスター高橋本特集! ミスター高橋独占インタビュー/前田日明、ミスター・ヒト、佐山聡が「悪魔の書」を語る!
●ジェラルド・ゴルドー人生相談
●葛西純/ニルァイセ・トフコン/望月成晃/A大塚/金原弘光/矢野×須藤/グレート小鹿/語録で振り返るマット界2001

No.46 02年1月 ¥880

PRIDE.LOVEをぶち壊す男!! 時は来た! 田村潔司、『PRIDE』へいざ討ち入り!!
●さらばリングス! 金原弘光/浅草キッドの「おつかれさんでした!」
●“ならす者”がDEEPで快勝!─エル・カネック
●プロレススーパースター列伝・キラー・カン
●金メダルを落とした男・小林孝至

No.47 02年2月 ¥880

WWF日本侵攻5秒前! 激動の新日本、怒りの急展開を読む!!
●“天才”武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る
●第一次リングス開幕特集
●プロレススーパースター列伝・ストロング金剛
大谷晋二郎/小笠原和彦/葛西純/K-1中量級/サスケ/ミスフィッツ

★紙のプロレスRADICAL No.1〜No.4、No.6、No.8、No.9、No.11〜No.14、No.17〜No.23、No.27、No.28/NO.30/NO.33は完売!!

リング内・リング外の情報を読者にお届けする RADICAL情報局

>>>U-FILE CAMP が大会開催！

9月7日『DEEP』では出場選手が全員勝利という快挙をなしとげた、田村潔司率いる総合格闘技ジムU-FILE CAMP。注目の所属選手たちがイッキに全部チェックできてしまうジム主催興行が、11月9日開催される。他団体からの参戦も多数、しかも入場無料！ これは行くしかない!!

『U-FILE 2』 11月9日（土）試合開始 14:00
場所：大田区体育館　分館
入場料金：~~2000円~~→入場無料
問：U-FILE CAMP 044-932-0282

1.【Style-Gルール】5分1本勝負　松田英久 VS （招待選手）
2.【Style-Gルール】5分1本勝負　小林悟郎 VS 市川直人
3.【Style-Sルール】3分2R　吉田智彦 VS 山田譲之
4.【Style-Sルール】3分2R　小武悠希 VS 吉村直記
5.【Style-Sルール】5分3R　白井裕一郎 VS 太田裕之
6.【Style-Uルール】5分3R　西内太志郎 VS （招待選手）
7.【Style-Eルール】15分1本勝負　大久保一樹 VS 越後隆
8.【Style-Uルール】5分3R　上山龍紀 VS 中村大介
9.【Style-Gルール】5分1本勝負　長南亮 VS 佐々木恭介

【大会概要】
★ Style-Uルール…総合格闘技ルール
★ Style-Sルール…立技ルール
★ Style-Gルール…寝技ルール
★ Style-Eルール…プロレスリングスタイル

>>>滑川、シュートボクシング参戦決定!!

9月7日・『DEEP』のMAX宮川戦に見事勝利した元リングス・滑川康仁12月8日・同じく『DEEP』での石川雄規戦を前に、なんとシュートボクシングへの初参戦が決定!! 相手は須藤元気が推薦する東京元気大学の刺客・鈴木亮二だ！ 試合ペースも心配だが、大丈夫か、滑川!?

★日時：11月4日（月・祝） 試合開始：18:00（予定）
★場所：後楽園ホール　★問：シュートボクシング協会　03-3843-1212

【全対戦カード】
★アンディ・サワー VS 緒形健一
★鄭裕蕩 VS 後藤龍治
★ネイサン・コーベット VS 伊賀弘治
★植松直哉 VS 西内太志郎
★滑川康仁 VS 鈴木亮二
★今井教行 VS 菊田光正
★ファントム進也 VS 歌川暁文
★松本賢治 VS 菊池浩一

>>>闘龍門イベント2連発！

C－MAX、名古屋トークライブ！
吉本興業のレイザーラモンも競演する名古屋でのC－MAXトークライブは、なんと入場料無料！ トーク以外にも相撲（女性限定）、古今東西対決、Q&Aコーナーなども予定。
★日時：11月3日（日） 13:00～13:45
★場所：愛知・セントラルタワーズ　タワーズガーデン（JR名古屋駅隣接）
★問：CATV FESTA2002事務局　052-961-1781

モッチー&ドラゴンキッドと行くメキシコツアー！
闘龍門正規軍リーター・望月成晃&ドラゴン・キットと行く「"闘龍門MEXICO自主興行観戦"ルチャリフレ観戦ツアー」か実施される。内容は、モッチー&キットか参戦する12月の闘龍門MEXICO自主興行観戦のほか、闘龍門道場での打ち上げパーティ参加、モッチー&キットとのメキシコシティー観光なと盛りたくさんた
★日時：12月5日（木）～10日（火） ★参加費：198,000円（ローン利用可）
★〆切：11月5日（火　★申込&問：近畿日本ツーリスト（株）法人旅行支店　03-3341-2411　担当：永崎、藤田

電気ですかーッ！（電気 [illegible]
すみずみまで読んで下さいね。
では、よろしく。

ブッコミ ノリノリ★NEWS

■Lycosインターネットラジオでターザン山本&吉田豪のトークが聞ける!

Lycosマイブロードキャスターで放映され各界で評判になった『ターザン山本と吉田豪の一期一会』が、10月から月1回のレギュラー番組としてLycosに登場!
★第2回放送ゲストは世界のTKこと元RINGS、現G-SQUARE所属の高阪剛選手の登場! 放送は、11月5日(火)のPM20:00から。
★第3回放送ゲストは闘龍門JAPANの正規軍リーダー"モッチー"こと望月成晃選手の登場! 放送は、12月3日(火)の21:00からを予定しています。
※『プロレス炎上 ターザン山本と吉田豪の一期一会』
オフィシャルファンクラブHPアドレス
http://club.lycos.co.jp/club.asp?cid=l1900006

■「ZST」ガール大募集!!

リングスの「KOKルール」を採用した総合格闘技大会・『ZST』。11月23日の旗揚げ大会に向けて、『ZST』ガールとして活躍してくれる、容姿端麗・明朗活発な女性を大募集中。我こそはと思う女性はぜひ応募してみよう。男性はズバリ言って選手として応募すること。こちらは下記大会事務局まで問い合わせるように。

【応募資格】18歳から23歳までの未婚女性で、スタイルに自信のある方(プロ・アマは問いません)
※未成年者の場合は、親権者の承諾が取れること
【応募方法】
①プロフィール(履歴書)必要事項および、身長、体重、スリーサイズは必ず明記すること。
※本名や年齢に偽りの疑いがある場合は不合格となる。
②写真2枚(ポラロイドは不可)
3カ月以内に撮影し全身・上半身を各1枚ずつ。以上を下記宛先まで郵送で送ること。
【宛先】〒163-0023
東京都新宿区西新宿3-1-2
廣川ビル4F
THE BATTLE FIELDZST事務局
ラウンドガール募集係 まで
【応募〆切】10月31日(木)
※当日消印有効
【選考方法】1次審査(書類選考)の合格者のみ2次審査(面接)あり。
※1次選考を通過した者のみ、電話にて連絡。
【合格後】第1回大会より向こう1年間、ZSTラウンドガールにて活動予定。その他詳細については、合格者に別途連絡。
問:ZST事務局
TEL.03-5321-9595(平日12:00~18:00のみ受付)
Eメール:info@zst.jp

■「UFC39」宇野薫インタビュー&舞台裏レポート!

2002年8月からWOWOWがスタートさせたUFC情報番組「UFC増刊号」。10月28日の第2回放送は、9月27日(現地時間)アメリカにて開催された「UFC39」に密着! ディン・トーマスに見事勝利し、UFCライト級王者の座に一歩近づいた宇野薫インタビューや、TKのUFC舞台裏映像など、貴重な映像満載! また、11月22日開催予定の「UFC40」の最新情報もお届け。増刊号の後には「UFC39」の再放送もある。
★放送スケジュール:10月28日(月)
22:30~23:00 UFC増刊号
23:00~25:00 「UFC39」
問:WOWOWカスタマーセンター
0570-008080(年中無休9~20時)

■テレ朝「ワールドプロレスリング」ファイティングテーマの人は

なんと『紙プロ』NO.40「最狂プロレスファン列伝」に登場してくれたUZIのニューシングル「Knock Out feat. ZEEBRA」が、10月より、テレビ朝日『ワールドプロレスリング』のファイティングテーマに採用決定~っ!! パチパチ。年末に控えるUZI渾身のファーストアルバムからの先行カットシングルとなる本作品は、ポニーキャニオンより10月17日発売すみ! さらに『ワールドプロレスリング』番組内でUZIと新日レスラーの絡みもあるとのこと! 要注目、要チェックだ! ファーストアルバム「言霊(ことだま)」は、12月18日発売予定!

■新宿プロレス開催!

来る11月10日(日)、「新宿プロレス~オリエンタリズム~」が開催される。出場予定選手は先月コンビ結成10周年を迎えたラス・カチョーラス・オリエンタレスの下田美馬、三田英津子ほか。会場は新宿の歌舞伎町クラブハイツ(コマ劇場となり)。18:00試合開始の予定。チケットはロックウエスト他チケットぴあでも発売中。詳しくはロックウエストまで問い合わせること。
問:ロックウエスト03-5459-7988
HP:http://www.rockwest.to

■お正月は、新日本レスラーたちとハワイへ行こう!!

蝶野をはじめとする新日本選手の提案で、30周年を記念してファンとの親睦を目的としたハワイ旅行の企画が決定! 「いつも客席から応援してくれている皆さんとハワイで楽しみたい」という選手たちの熱い思いが形になった。過去に例を見ない新日本主力選手揃い、そして数々の企画と特典つきのこのツアーで新日イズムを熱く体感しよう!
「俺たちと楽しもうぜ!! IN HAWAII」
★旅行期間:2003年1月7日(火)~12日(日)の6日間
★募集人員:150名(東京110名、大阪40名)最小催行人数:80名
★参加予定選手:蝶野正洋、天山広吉、永田裕志、中西学、吉江豊、田中稔、棚橋弘至、鈴木健想、邪道、外道、他(ケガ及び試合スケジュール等の都合により、参加できない場合があります)
★特典:2003年1月4日の東京ドーム大会ご招待
・交歓会では、トークショー及び写真撮影会とサイン会開催
★ウェルカムパーティーでは選手力作のちゃんこ料理選手権開催
★密度濃厚の全員参加方イベント"俺たちと楽しもうぜ"開催
★フェアウェアパーティーはサンセットディナークルーズ
★SOUL特製オリジナルTシャツプレゼント
★参加費用:146000円(東京発)156000円(大阪発)
★募集〆切:11月27日(但し、定員になり次第〆切)
問&申込:株式会社トラベル日本 03-3574-0231 担当:遊佐、三根

■ブッコミWWE情報!

3月に来日、チケット即日完売だったWWE(当時はWWF)。なんと来年1月24、25日の2日間、東京・代々木第1体育館で日本興行を行うことが正式に決まった。今回日本来襲するのは「RAW」組の予定。詳しくは次号! 詳報が入り次第携帯サイト「紙プロHand」でもアップします!!

大会★GUIDE

>>>大激震の新日本、次期シリーズカード発表!

佐々木健介が突然の退団表明。ドーム大会も大波乱のうちに過ぎた新日本プロレスが送り出す次期シリーズは、新たな試みである"Jr.トライアスロン・サバイバー"トーナメントと、新日本vs魔界倶楽部の対抗戦がキーポイント。この号の発売日にはもう3大会が終了、下記の11月4日、トーナメント・対抗戦とも最終戦を迎える

「"Jr.トライアスロン・サバイバー"トーナメント ルール」
30分3本勝負で1本目シングルマッチ、2本目はタッグマッチ、3本目は6人タッグマッチで勝敗を競う。(シングル出場選手はタッグに参加することは出来ない)
タイスコアで時間切れの場合、6人タッグでサドンデスを行い勝負を決める。

「闘魂シリーズ2002」 11月4日(月・祝) 試合開始15:00
幕張メッセ国際展示場・11ホール
★後藤達俊&ヒロ斉藤 VS 真壁伸也&藤田ミノル
★鈴木健想&棚橋弘至 VS スコット・ノートン&ジャック・ザ・ブル

【"Jr.トライアスロン・サバイバー"トーナメント決勝戦】
10月26日福岡の勝者チームvs10月27日神戸の勝者チーム
★新日本 VS 魔界 ★5対5三番勝負 ★第3戦 5対5三番勝負~最終戦
蝶野正洋・永田裕志・飯塚高史・中西学・天山広吉vs安田忠夫・村上和成・柳澤龍志・魔界1号・魔界2号
問:新日本プロレスリング(株) 03-5468-3111

>>>Club DEEP第2弾開催!

元リングス・伊藤博之、藤井恵参戦! その他、中京地区のジムからも多数選手出場、全15試合! 総合、グラップリング、柔術、キックが一つの大会で見れてしまう! これは行くしかない!!

★日時:11月10日(日)
試合開始 14:00
★場所:Club OZON
(名古屋市中区栄3-35-34 ヘラルドシネプラザ2F)
TEL. 052-242-0780
★アクセス:地下鉄名城線「矢場町駅」4番出口から西へ徒歩5分
★問:DEEP2001事務局
TEL. 052-339-0303

【主なカード】
★メインイベント
伊藤博之(フリー) VS 山本孝夫(禅道会)
★グラップリングルール
藤井 恵(AACC) VS 山岡愛子(ALIVE小牧)
梅村 寛(ALIVE小牧) VS 小林悟郎(U-FILE CAMP)

イベント★GUIDE

>>>高山善廣、トークライブ開催!

10月1日に初の自伝「身のほど知らず。」を発売した高山。来たる11月3日、国士舘大学プロレス観戦同好会にてトークライブを行うことが決定! トークライブは2時間を予定しており、前半は司会者とのトーク、後半は会場に訪れたファンとのふれあいを中心に、質問コーナー・○×クイズ・プレゼントコーナーなどを行う予定だ

★日時:11月3日(日) 15:30~17:30
★場所:国士舘大学世田谷校舎図書館下大ホール 東京都世田谷区世田谷4-28-1
★アクセス:小田急線「梅ヶ丘駅」下車、徒歩15分 or 東急世田谷線「松陰神社前駅」下車徒歩5分
★料金:指定:前売1200円/当日1500円/自由:前売1000円/当日1200円
※チャンピオンで発売中
★問:国士舘大学プロレス観戦同好会 主将:柴田知宏 090-7700-5973
清田佳広 090-9308-4033 FAX 048-745-1578

「紙プロ」のど真ん中付近（位置的に）を突っ走る読者ページ

紙プロ元気大学

ん～ッ、ダイナマイッ!!（もう2カ月前）なんと6回目を迎えた読者ページ『紙プロ元気大学』。担当はド素人&電気部のささきぃです。それにしても、新日本プロレスの佐々木健介さん。「新日本が好きなんですよ……大好きッ」。みなさんは最近、泣きながら「大好きッ」と語ったことはありますか？　私はありません。時にはあんなふうに心から誰かに「大好きッ」と言うのもいいかな、と思いました。でも、言うとしたら最後の時じゃなくて、別の時に言おうと思います。そして、最近の永田裕志（のコメント）最高ーッ!!　では、そろそろ始めましょうか。

校内巡回

【『紙プロ』54号・面白かった記事】

◎巻頭記事◎

★私も、この本を読みたいので、出版社とか教えて下さい。
（神奈川県・小清水愛・23歳・会社員）

⬇巻頭で取り上げていた「海馬」のことですね。私も読みましたが、大変おすすめです。タイトルは「海馬／脳は疲れない」、作者は糸井重里さん・池谷裕二さん。ほぼ日ブックスから千七百円で発売中です

◎OHビーム・破壊王&小笠原和彦インタビュー◎

★橋本選手と小笠原先生が仲良くなってほほえましい限りです。以前「ハエが止まるようなキック……」発言がありましたが、私の友人のキックボクサーはスネから血が出て本当にハエが止まり、化膿して入院しました。
（東京都・広岡平仙・44歳・すもも加工業）

⬇大変でしたね　先日の会見で、小笠原先生か「打倒！OH砲」と言いたしたことについて破壊王に訪ねたら「小笠原先生は、頭の中が宇宙で出来ている人なので、何を言っていても気にしないでくれ」と言っていました。

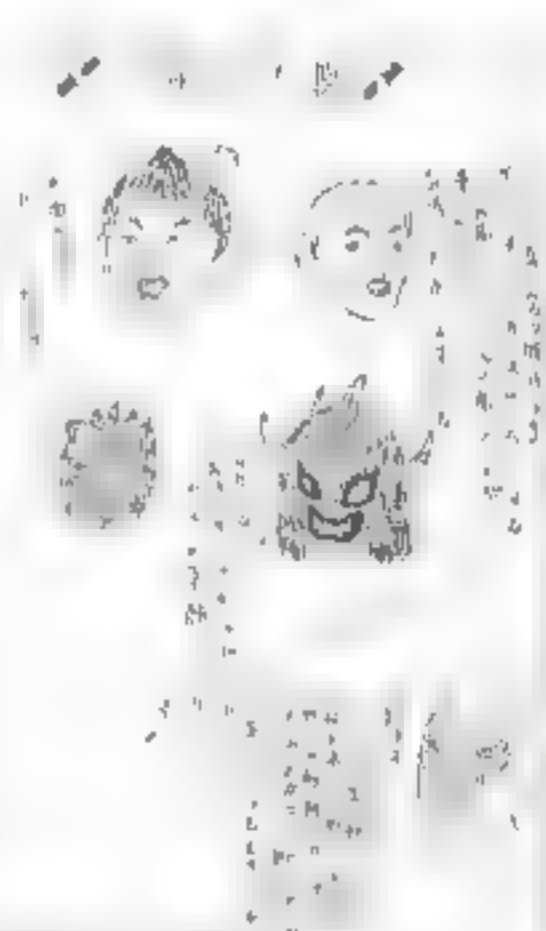
ジョシュ・バーネットインタビュー

★僕と同じガンダム好きだから。
（滋賀県・林克也・14歳・中学生）

⬇坊やだからさ。まぁ、オメェはそれでいいや。

坂田亘インタビュー

★まじ男前でかっこいいっす。同じ愛知出身のほこりっすね。ぜひ大仁田とやってほしいです。
（愛知県・五十君悠平・17歳・学生）

⬇質問が多かった「目が赤い理由」は、単に寝不足だったからだそうです。

富山県・柏井茂
⬇健介さんの会見前に届いたハカキです。まさか数日後にあんなことになるとは…

◎椎名基樹・「ザ・検証」◎

★おもしろかったです。吉田強しの声が多い中では、めずらしい怒りっぷりが好きです。
（大分県・えこ・34歳・会社員）

⬇ほか「ここまで言い切っちゃう椎名さん最高（熊本県・尾方隆博・26歳・くず）」、「こんな文章に原稿料を払っている『紙プロ』にも腹が立つ（大阪府・吉田一史・28歳・地球人）」と、賛否両論多数でした。私は、届いたのを読んだ時に大爆笑しましたが、同時に椎名さんは本当にスゴイなぁとしみじみ思いました

【『紙プロ』54号・つまらなかった記事】

◎座談会

★P43→45→44→46となっていて、読みづらかったです。
（東京都・渡部希望・27歳・主婦）

⬇よく、この順番だってわかりましたね　って、他人事のように言ってはいけません　申し訳ありませんでした。そして、前号ではお名前を間違えていてごめんなさい渡部さん。

電気部日記

★いらない気がする。
（東京都・熊沢公久・30歳・会社員）

⬇ごめん。同様意見多数のため、半ページ（宣伝版）に。あと「ターザンバッチは気持ち悪いよ（大阪府・千本一博・19歳・夢追人）」　これも電気部日記ですね　ターサンさんから「ボクと映っている佐々木君は可愛いなぁ」という電話をいただきました　いっしょしゃない時は、そうしゃないらしいです。

“紙プロ元気大学”調べ 好きなレスラー 人気ランキング!!

順位	レスラー
1位	桜庭和志
2位	アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
3位	小川直也
4位	高山善廣
5位	ボブ・サップ

3回目になりました、紙プロ」読者の選ぶ好きなレスラーランキング。みなさんやはりその時その時で一番好きなレスラーが変わってくるんでしょうか。明らかにダイナマイッ!　効果の大きさを感じさせられる結果になりました　注目はやはり「イツナントキ、ダレノチョウセンデモウケル!」ノゲイラがいきなり2位。そしてノゲイラには負けていないと言い張るボブ・サップも5位にランクイン。嫌いな選手ナンバー1には、新日本が大好きなあの選手か返り咲き。「オレの栄子を返せ」という、坂田亘選手への票が多く見られたほか、注目はミラノ・コレクションAT選手。「ナマイキ」「憎たらしい」等の声が多く集まりました。いわゆる“嫌われそうな選手”が名を連ねる中、新人ながら堂々のランクイン。闘龍門、T2Pが注目されている証拠たと思います。これからも頑張って嫌われて下さい。あれ？

9/17〜10/17到着分調べ〕

紙プロ54号・読者が選ぶ面白かった記事ベスト5

1位 ジョシュ・バーネットインタビュー
2位 坂田亘インタビュー
2位 橋本真也・小笠原和彦“OHビーム”対談
4位 武藤敬司&ウルティモドラゴン対談
5位 ゴールドバーグインタビュー
5位 猪木とは何か？　猪木快守インタビュー

1位は「これぞオタクの理想像!」「あんなに日本のマット界に詳しいガイジンがいるとは……」という感嘆の声か殺到したジョシュ・バーネットインタビュー　2位はあまりにもタイムリーたった坂田亘インタビュー、同列2位は恋のキューピット役を果たした破壊王と、坂田を殺す宣言をした小笠原和彦先生のOHビーム対談　これまた非常にタイムリー　4位は意外な組み合わせが好評、かつ武藤敬司最高!　の武藤&ウルティモ対談、そしてプロレス誌で唯一独占インタビューに成功、およびマット・カファリのエピソードか好評たったゴールドバーグインタビュー　そして、猪木とは何か、ますますわからなくなったと好評の(?)猪木快守インタビューと続きました

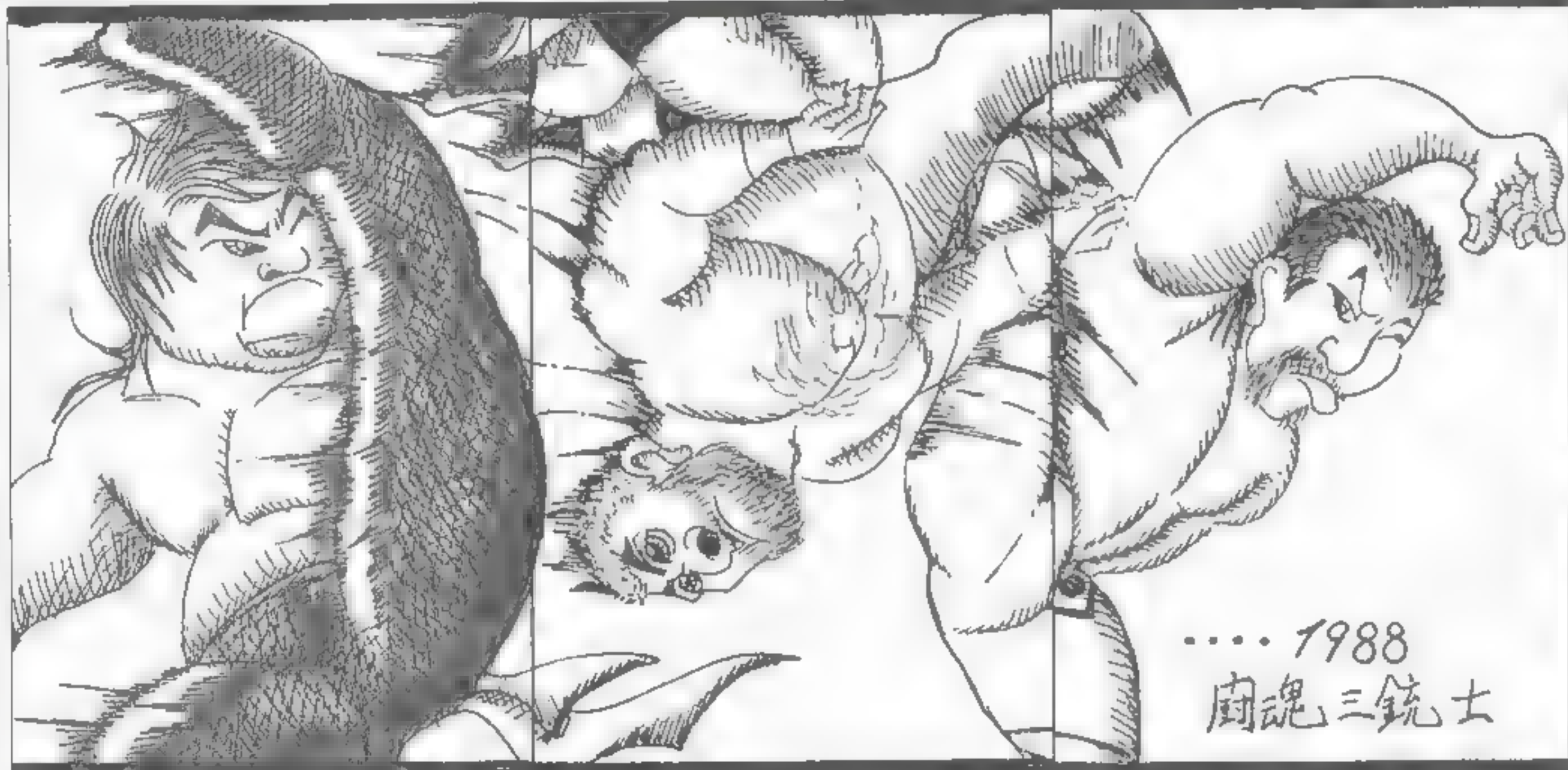
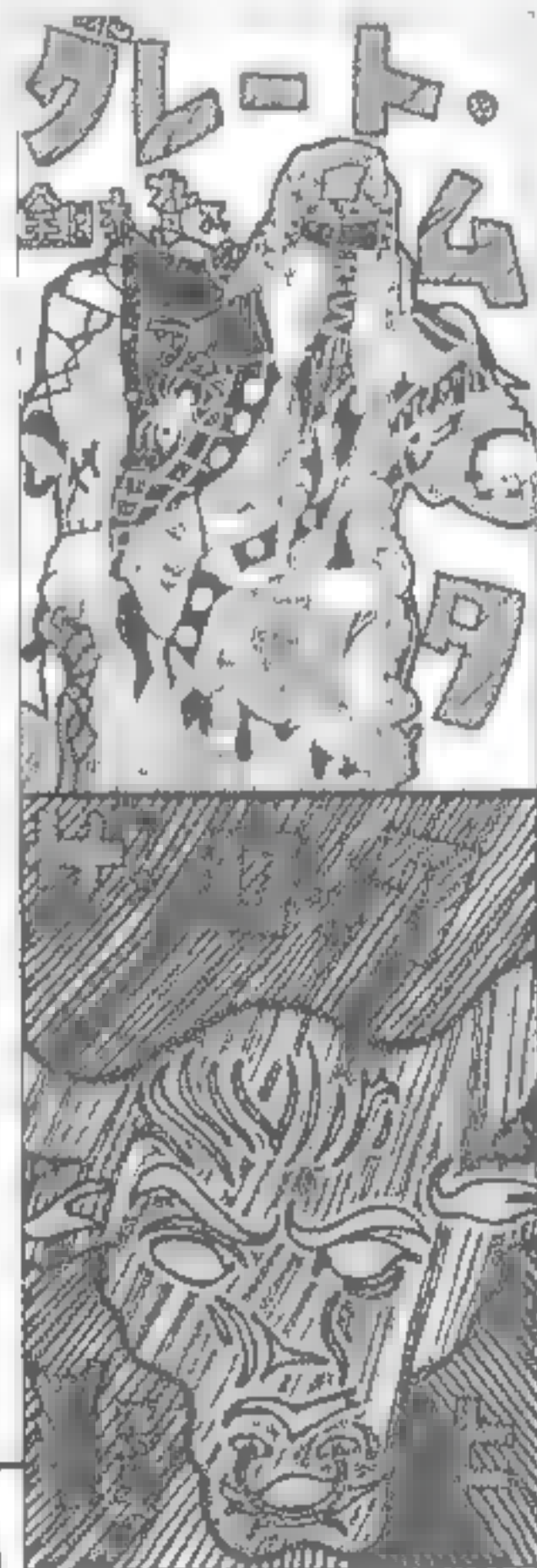
イラスト部掲示板

闇愚羅・大門まい子選手

おっさんに、

中川画伯のイラスト進呈!!

先月号の辻結花選手への贈呈式で「私も描いてほしい」と言っていたおっさんこと大門選手。「誰のリクエストでも受ける!!」状態の中川画伯が、見事答えてくれました。つーか見事に同じ顔。女子格闘家が続きましたが、次に中川画伯が現れるのはどこなんでしょうか!? 選手本人からのリクエストもお待ちしています。

（埼玉県・中川雅博）
「リクエスト嬉しいです。石原選手のイラストは前髪を気にしすぎました」。➡本人から要望があったそうです。この笑顔のままですね、石原選手。本人が見ることを考えて描くのは大変だろうなぁ（って、私も目の前で似顔絵を描いてもらった）。そして、先月のゆみこさんからのリクエスト。うわーーい。サクですよサク。やったね、小川君から「中川画伯のロックの絵のサインがほしい」というリクエストがありました。そーいえば、中川君の武藤敬司とか蝶野正洋とかのイラストはあんまり見たことない気がするんですが、気のせいですか？

（東京都・いしとやしゅん）
➡うわー可愛い。そしてスゴイ。闘魂三銃士。「破壊王と蝶野はそっくりですけど、武藤はこんなでしたか？」と、ガンツさんに聞いてみたところ、「破壊王と蝶野はあの時から今とそんなに変わらないけど、武藤は、海外から1日だけ帰ってきてて、坊主っくりで、ヒゲぼうぼうだった。そうそうこんな感じ。88年7月29日、有明コロシアムのイラストだね」と、遠い目をしておっしゃってました。ドラマチックなイラストありがとう

（埼玉県・小川徹）
➡「SRS-DX」でも大活躍中の小川君　ムタのイラストは先月届いたんですが、タッチの差で〆切に間に合いませんでした　力作サンクス！　ロック様、なぜ牛？　とは思いますが、こっちも力作！

「ヴァーッ!!」なお便り・投稿大募集!!

（愛知県・たっつぁん）
➡下ネタはお嫌いですか？　ぼくは好きです」という、すがすがしいコメント付き　兵庫県・春乃さんから「ボク、サック。」というネタもありました　ええ、両方とも「ほんとにジョーク」に来ていたやつです

最近の新日本は本当に目が離せないなぁ、と毎日しみじみ。ヒュアな人もそうでない人も、お便り、イラスト、編集部への質問、本誌へのご意見ご感想その他お待ちしてます。自分で書いておいて何ですが、ヴァーッなお便りってどんなお便り？　塩味なお便り？　よけいな事を言ってしまいましたね。宛先は、メールは、

radical@kamipro.com

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
（株）ダブルクロス
紙のプロレスRADICAL編集部
紙プロ元気大学「頭にごま塩」係まで。

本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！　プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によっては無断でこっちに載ってしまいます　匿名希望の人はその旨明記のこと

今月の時事ネタコーナー!!

マット界にとっても大変おめでたい話なので良いのですが、多かったなぁぁこのネタ「ほんとにジョーク」の半数近くがこの2人に関するもの（「坂田こそが前田イズム継承者」など）でした　この件については坂田亘人生相談を参照ください　"ガチンコ恋愛、FRIDAYのコピー"、続行ーッ!!

青森県・青木雄大
「ジョーニー・ローフーが「美女」？　その感覚って、男子校の食堂のおばちゃんにトキメいちゃった感じに似てませんか　➡"爆乳戦士"という呼び方もあるらしいです。何か何だか。何言ってもいいのかって感じです。

（大阪府・松浦伸宏
➡東スポ　面にも登場してしまった坂田選手　小笠原先生との対決が楽しみでしょうかないです　みなさんも、坂田選手のピンチには張り切って野次を飛ばしましょう　あれ？

EZ-webユーザーに贈る

紙のプロレスHand

『紙のプロレスHand』は、“『紙のプロレス』よりも面白い携帯サイト”を目指します!!

月額200円で絶賛配信中!!

『紙プロ Hand』メニュー　※『紙プロ Hand』会員じゃなくてもOK!　動画&待画をGet!「紙プロ特別メニュー」スタート!!

★動画対応の機種なら、動画も見れる!!
★日々のニュースをどこよりも早くドラマチックに送る「メガNEWS速攻」
★マット界の流れをもう一度見たいときに「メガNEWS保存版」
★コボレ話的な話題や情報もフォローする「マット界ツッコミTOPICS」
★団体別にニュースや情報を整理した「団体別TOPICS&試合速報」
★他のサイトでは、絶対見れない画像付き「ビジュアルNEWS」
★『紙プロ』表紙やとんでもない画像も、あなたの携帯にダウンロード! 「画像ギャラリー」
★1カ月ごとに見れる「試合スケジュール」でアナタのスケジュールもバッチリ!
★「マット界・噂の万華鏡」などのお手軽に読めて濃い読み物も満載!!

トップメニュー ▶ EZインターネット ▶ スポーツ ▶ 『紙プロ』Hand

皆さんこんにちは。ダブルクロス・電気部のささきぃです。仕事は主に携帯サイト「紙プロHand」の更新、「紙のプロレスRADICAL」公式HP発表、さらにその先の極秘プロジェクトにむけての活動を主にしていますが、編集部のお手伝いとして読者ページやその他のページの作成もしたりしています。『紙プロ』バックナンバーを振り返ってみると肝心の携帯サイト『紙プロHand』について詳しく触れていないことに気が付きました。なので、今回は日記を休んでその紹介をマジメにやりたいと思います。よろしく

今回は、日記じゃなくて「紙プロHAND」の紹介をします。

今、「紙プロHand」の目玉になっているのは、ほぼ毎日更新の【MEGAニュース】です。ここには、その日起きた事件や、大きな大会の詳報が随時更新されていきます。記事を公開してみましょう。他の携帯サイトに加入している人、「紙プロHand」に加入してみようか迷っている人、例えば佐々木健介退団のニュースを 紙プロ 的にお伝えするとこんな感じになります。これは8日の夜更新のニュースです。どうぞ

健介 辞表提出! 取締役は「悩める若者たから

ウァー ﾉ!! 昨日の会見で語っていた通り、新日本プロレス・佐々木健介が辞表を提出! 今日8日の午前中、健介は新日本事務所に辞表を提出。3時間半以上経過してから出てきた健介は「辞表は昨日の日付で渡しにいったけど、社長は受け取ってくれなかった。倍賞さんか預かった形です。まっさらなオレて鈴木とやりたいという事を伝えました」と語った

“黒幕”ではないかと疑われている、リキ・ナガシマ企画のN氏や長州力との関係については「そういう話はうんざりだ!」と言葉を荒げた。「オレは単に鈴木とやりたいだけ。オレがまっさらになってやれれは極端な話、野原でやったっていい。それは佐々木健介の意地ですよ。新日本には感謝してるし、なにもないですよ。意志は強いって、それたけです」

午後3時20分、健介の辞表提出を受けた新日本は緊急記者会見を開き、倍賞取締役副社長、蝶野、藤波社長らは慰留する考えを明らかにした。倍賞取締役は「彼も悩める若者ですよ」と、今年36歳になる健介を評し「("黒幕"の存在に対しては)考えたらキリかない。計算かあって動くタイプじゃない。退団理由については、彼が思っていることと会社の言ってることの食い違いもあると思う。しばらく彼にじっくり考える時間をあたえたい。なぜなら彼はうちにとってとても大切な選手」と、まずは冷却期間をおく方針を示唆した

健介の退団意志は固いのでは、という質問には「それが悩める若者ですよ。根底には誤解や行き違いかあっても、すぐに変えるのは難しい。だから時間が必要。最悪彼のやりたいことが、新日本の看板を下ろさなきゃできないのならしょうがない」と語り「とりあえす10/14東京ドームの試合はキャンセルしようと。気持ちの整理もつかないたろうし」と、10/14、決定すみの村上和成戦については変更となることを発表した。変更後の村上の相手は決まり次第発表される。新日本は、この件でファンに迷惑をかけたことを謝罪、健介にも「自分だけでなく、まずファンのことを考えて欲しい」とコメントした

どうっスか! どうっスかってこともないですね。会見即日、ここまで詳しいニュースをあげているサイトがほかにあるでしょうか! あるんだったらごめんなさい。

「紙プロHand」は、偏っていると言われがちな「紙プロ」の携帯サイトのくせに(?)、プロレスはメジャーからインディーまで(10月14日、新日本ドーム大会ももちろん速報&詳報!)格闘技は、K-1・PRIDEは全大会即日結果速報&1試合ごとの詳しい詳報、UFCの試合結果速報まで流してます。会見・もしくは大会後の、夜〜夕方の更新になることが多いです。情報系(大会カード・トークショー情報など)は不定期に、情報が入り次第すく配信しています

いま書いたこととムジュンするようてすか、「紙プロHand」は、じつは激しく偏っています

面白いニュースでしたら、ハシハシ取り上げてトップに取り上けますし、特定団体のファンにとっては有益な情報はガンガン上げてますが、そうでないニュースは、アップされていません。どんなニュースも並列に取り上げるということは、団体の側にとっては有益かもしれませんが、それは、ユーザー(雑誌で言う読者)を混乱させる行為なんじゃぁねぇのかな、ただでさえ団体が今50から60ある現在、ユーザーに優しくねぇ報道の仕方なんじゃねぇのかな、と思いますが、どうでしょう

ニュースの奥に、人間の物語が見えるのが一番面白いのではないか。そういうニュースこそ、読みたいのではないか

“プロレスラー”“格闘家”という、とびきり面白い部類の“人間”を報道しているのだから、単に何か起こったというニュースをアップするのではなくて、その“人間像”に、より迫るようなニュースをつたえたい。このニュースは、見るべきニュースですよ、という情報を伝えたい。と、いうのとは別に、団体の特定のファンで、この団体のニュースたったら、何だって知りたいのよアタシ、という方もいらっしゃるでしょう。そういう方のためにも、そういうカテゴリを用意しましょう

ただ、全部の団体をリカバーするのは、さすかに無理です。んで、そんなに多くのものをいっぺんに愛するのは、とれか嘘になる気がします

「紙プロHand」は“エコヒイキ”をしています。“団体別TOPICS”という各団体に分かれたカテゴリを用意して、この団体・ジャンルは、見るべきですよ、というジャンルだけを用意しています。現在、「紙プロHand」が堂々とエコヒイキをして「注目すべき団体・ジャンルだ」と判断したのは、以下の9つです

LineUp
★PRIDE
★総合格闘技
★K-1 他立ち技系
★ZERO-ONE
★全日・新日・NOAH
★高田道場　★闘龍門
★女子格闘技&プロレス
★アナザー(上記に入らない他団体

ZERO-ONEは今年からスタートしたコーナーです 地方大会の全てか即日結果速報&詳報つき、という、かつてないエコヒイキっぷりです。ZERO-ONEか地方大会をはしめたのは今年ですから、全大会網羅と言って間違いないでしょう。うわぁ。

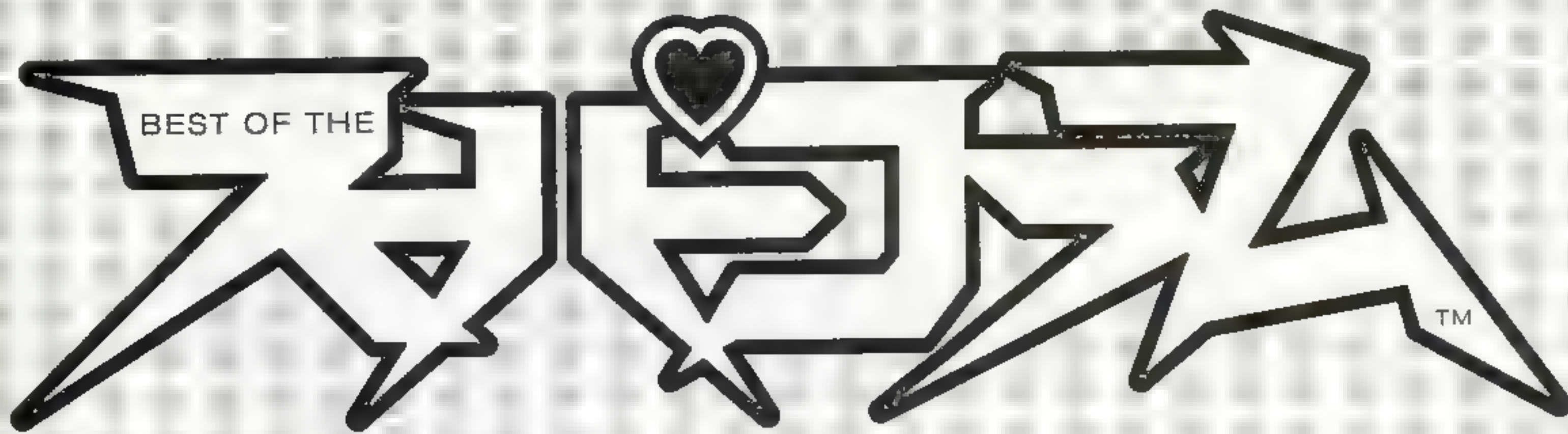
担当か言うのも何ですが、「紙プロHand」は、とこの携帯サイトにも負けないくらい面白いと思います。「紙プロ」という雑誌か好きな人でしたら、絶対に楽しんでもらえるはずです。できるだけたくさんの人に読んで欲しい! と願います。

マジメにサイト内容について語ってしまいました。12月にはまた、ちょいとリニューアル予定で、そのために担当・ささきぃはわかりにくく働いています。「紙プロHand」に対するご意見・ご要望・記事に対するご感想(嬉しいっす)などは、メールでhandinfo@kamipro.comへ。『紙プロHand』に加入されている方で、メルマガ配信を契約している方は、メルマガに返信すればそのまま届きます。お返事は出来ませんが、全部読んでます。よろしく!

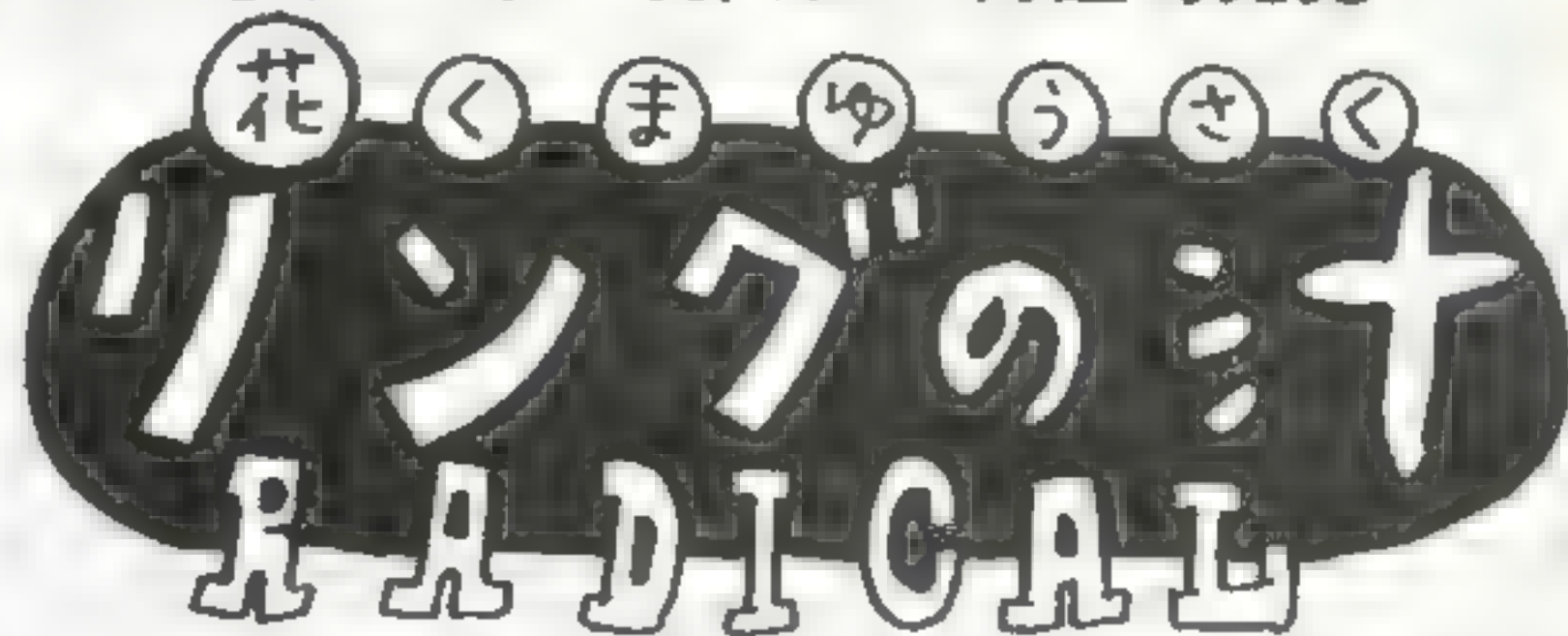
たもの。

川村社長、『紙プロ』のコラムもガチンコでいかせていただきます!!

TATSUO KAWAMURA
U.F.O.

※ヤマコシ(現・山本憲尚)の「今月のお言葉だもの」は今回はお休みだもの。

映画・テレビ・プロレス・格闘技を中学生気質で掘りおこす、『青いオトコ汁』（アートン刊）は11月上旬発売

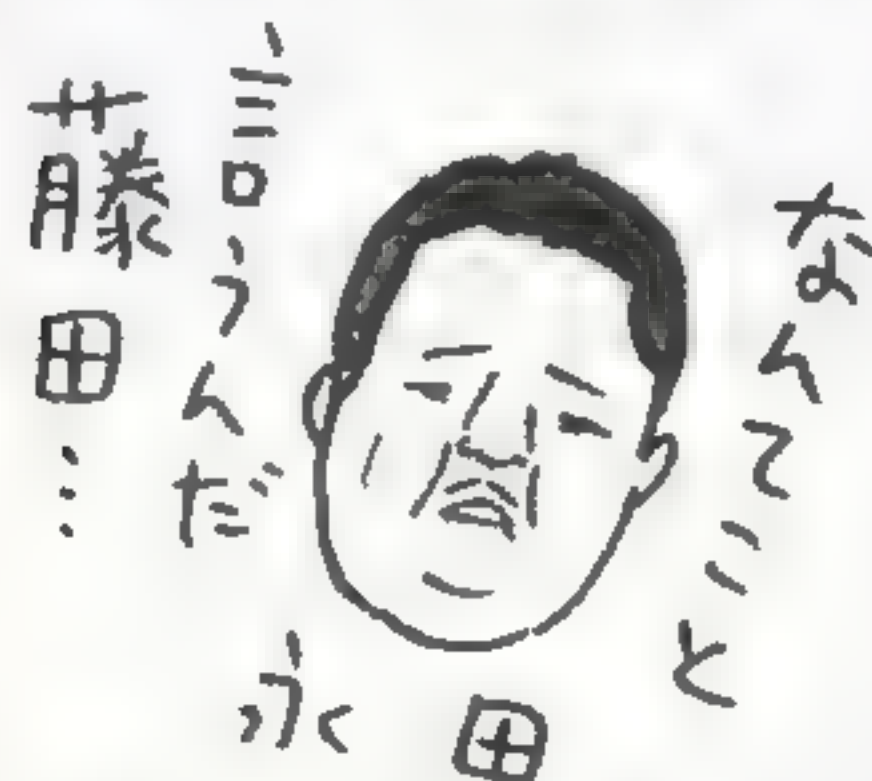
花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

カッコよかったぞ ハイアン

今月のMVPは、「IWGPのベルトなんかよりミルコへの再戦をかけよう」と永田へ最高な嫌がらせ発言した藤田か、対K-1人形で面白ベストバウト連発したボブ・サップでしょうか。あと、不良息子が家族を救ったドラマのような美談をやってのけたハイアン。

サップ対K-1人形は、ビデオ録画しなかったのを心の底から後悔するほど尋常でない面白さ。ドラマ「深川通り魔殺人事件」で川俣軍司役を怪演したときの大地康雄のような、ささやきから一気に着火する感情のメリハリのつけかたが最高です。もういちど見たいー

最高といえば映画　ジェイソンX　13日の金曜日はラストが最高！　猪木のへり下りダイブをジェイソンは超えた

9月の映画の日　ドニーダーゴ』行くと、ウサギじゃなくてトラのマスクに見える。おかしいなあ、ワタシ夢見ちゃってるのかしら（実際ほとんど寝てたんだが）と、よーく見ると、それは新宿の新聞配達タイガーマスクさんでした。映画の日に劇場でタイガーマスクと一緒になるの、今年で2度目だ。趣味は映画観賞なのかな？　そういやタイガーマスクといえば、根本（敬）さんの本で昔紹介されていた強烈な人〝自称・タイガーマスク三代目に成るはずだった男〟は、今どうしているのかな？　現在のインディーマット界なら、あのような特殊なキャラの人間を受け入れる土俵はできているので、ぜひデビューしてほしい

なんてこと言うんだ 藤田… 永田

昔といえば、グレイシーが出現した時の衝撃は凄く、グレイシー柔術の情報をもっともっと知りたいが情報があまりない。そこでまったく違うものだが、名前に柔術が付いてるということだけで古武道系にまで手をのばし『月刊秘伝』なども読むようになったのは僕だけじゃないよね。日本の普通な男の子として、当時は普通の行為だよね。そして数ヶ月であきてやめるのも。

その短い期間でしたが、大東流とかを読んだのを思い出させるのが、今度の正月公開される映画『AIKI』。

実在のモデル（車イスの武道家）がいるこの映画、ボクサー役の加藤晴彦が交通事故で一生車イス生活となる。そこで出会うのが〝AIKI〟（大東流合気柔術）の使い手・石橋凌（モデルは以前、ちっちゃい頃の『紙プロ』にも登場した岡本氏か？）。石橋は〝魂こがして〟ならぬ〝魂ころがして〟で、人をコロコロ〝AIKI〟で転がします。そんな

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の 業☆勝ちます

『健介退団の黒幕』の巻

小室哲哉がKEIKOと結婚!?　見るからにチ●ポの細そうな顔つきをしているクセに、なかなかどうして侮れない男である。どこをどういじくってもTMネットワークらしいプリセット音が一切出ないヤマハのシンセサイザーEOSを、『コムロのEOS』として平気な顔で叩き売ってきただけのことはある。

全くどてらい奴である。なんといっても3度目の結婚。図太い。明らかに図太い。いわんや人生34年生のこの俺、女性を見ればすぐに小売希望価格をアスクしてしまうストレートな性格が裏目に出たのか残念ながら未だ一度もゴールインしていない。不要になった元嫁（キララとウララのどっちか。どっちにしろどっちがキララでどっちがウララなのか全然見分けつかないからどっちでも良いといえば良い）でいいから、是非お裾分けしてもらいたいものである

それにしても、KEIKOって一体どのKEIKOだ？　内海KEIKO（桂子&好江のババアの方）？　春KEIKO（横山たかし・ひろしのハンカチのはしっこ噛まない方の妻）？　それとも竹下KEIKO（3択の女王）？？　どれもかなり無理がありそうな気がするが、少年隊の東と森光子がデキているらしいことからもわかるように、芸能界というところは異常性欲者の寄り集まりなのだから、不自然っちゃー不自然だが、事の真偽は東スポ』を見てみるまでわからない。

頭の中に内海桂子改めKEIKOの世界戦略（3ヶ月間同じマンションの一室で共同生活をしながらビルボードのTOP100に入る魂の一曲をシンセと三味線でジャムりながら作曲。チャートに入らなかったときは夫婦ユニット即解消、音楽業界から足を洗ってtaka-Qの社員としてやり直す等）を無理矢理思い浮かべて手に汗握りながら近所のコンビニまで『東スポ』を買いに走った

世紀のロイヤルウェディングに当然『東スポ』の一面奪取は確実かと思われたが、なんとそこにあったのは、佐々木健介の号泣シーン!?　一体健介に何が起こったのか!?　小室&桂子の結婚が嬉しくて、つい我がことの様にもらい泣きしてしまったのか？　人情家の健介のことだからあり得ない話ではないが、多分どっちとも知り合いじゃないのでそれはおかしい。それより何か他に理由があるのではないか？　柏原よしえが空港で機内手荷物にバイブを持ち込こもうとして係員に見つかり「肩こりにキクんですよ、コレ！」とゴマカしたという話を今頃になって聞かされてショックのあまり記者会見？　それともその話の『柏原よしえ』という部分の『よしえ』のところだけがどういうわけか間違って伝聞されて、『吉江（豊）』が空港で機内手荷物にバイブを持ち込こもうとして係員に見つかり「いや〜、（ヘンな髪型に刈る時の）バリカンと間違えちゃって」と開き直ったと健介には伝わっていたから？「キング・オブ・スポーツ新日本プロレスのトップアスリートがバイブごときで狼狽えてどうする！　正直、情けねぇー　大の男が何処へ行くにも肌身離さずマイ・バイブを大事に持ち歩き、小道具に頼って男と女のラブゲームをいたそうと

石橋に入門し、車イスのまま〝AIKI〟を修行する加藤……そんな内容です。見所は加藤とともさかりえのSEXシーン、そして加藤と石橋が〝AIKI〟を使って極悪拳法と対決だ。

ある国で武道好きの国王かなんかがいて（アブダビ王子みたいのは世界にたくさんいるのか？）、大使館に日本のいろんな流派を招いて演武会を開催。石橋のとこも招待され演武するのだが、威圧系拳法の一派（わかりやすく黒道着で悪のイメージ戦略）がブーイング、「あんなのインチキだ」と。

そんなこんなで加藤や石橋が極悪拳法とバーリトゥードすることに……。昔あの頃、「この人たち（古武道系の人たち）がアルティメット大会出たらどうなるんだろう？」と夢見たことが映画で実現!? 結果が気になる人は正月に映画館へ行きましょう。新宿ならタイガーマスクさんも見に来てるかもしれないね。

あっそうだ、〝自称・タイガーマスク三代目に成るはずだった男〟も、たしか大東流やってるって言ってたっけ。彼の場合〝AIKI〟というより〝DENPA〟だな、そんな映画も見てみたい。

デラヒーバ先生

完敗

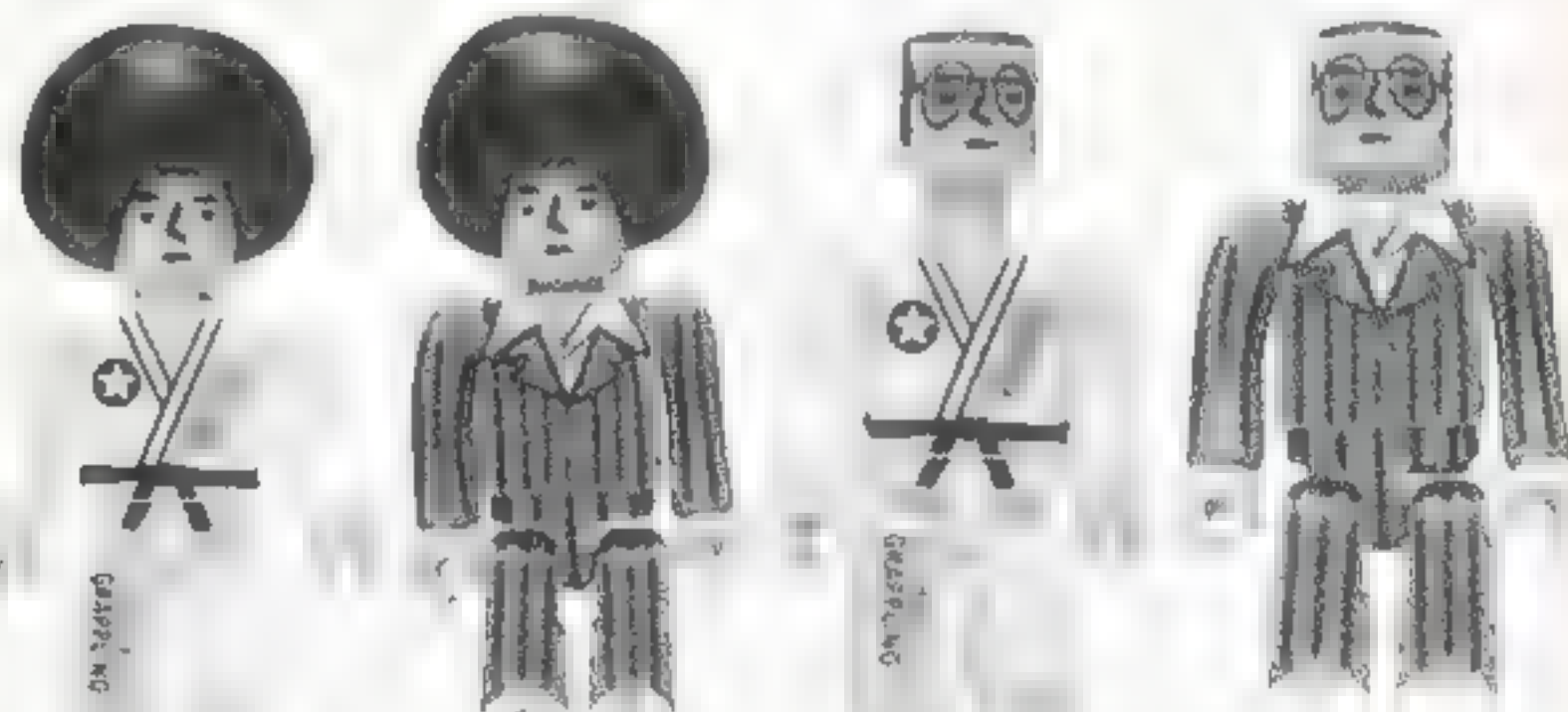
最高に面白かった
サップvs K-1人形

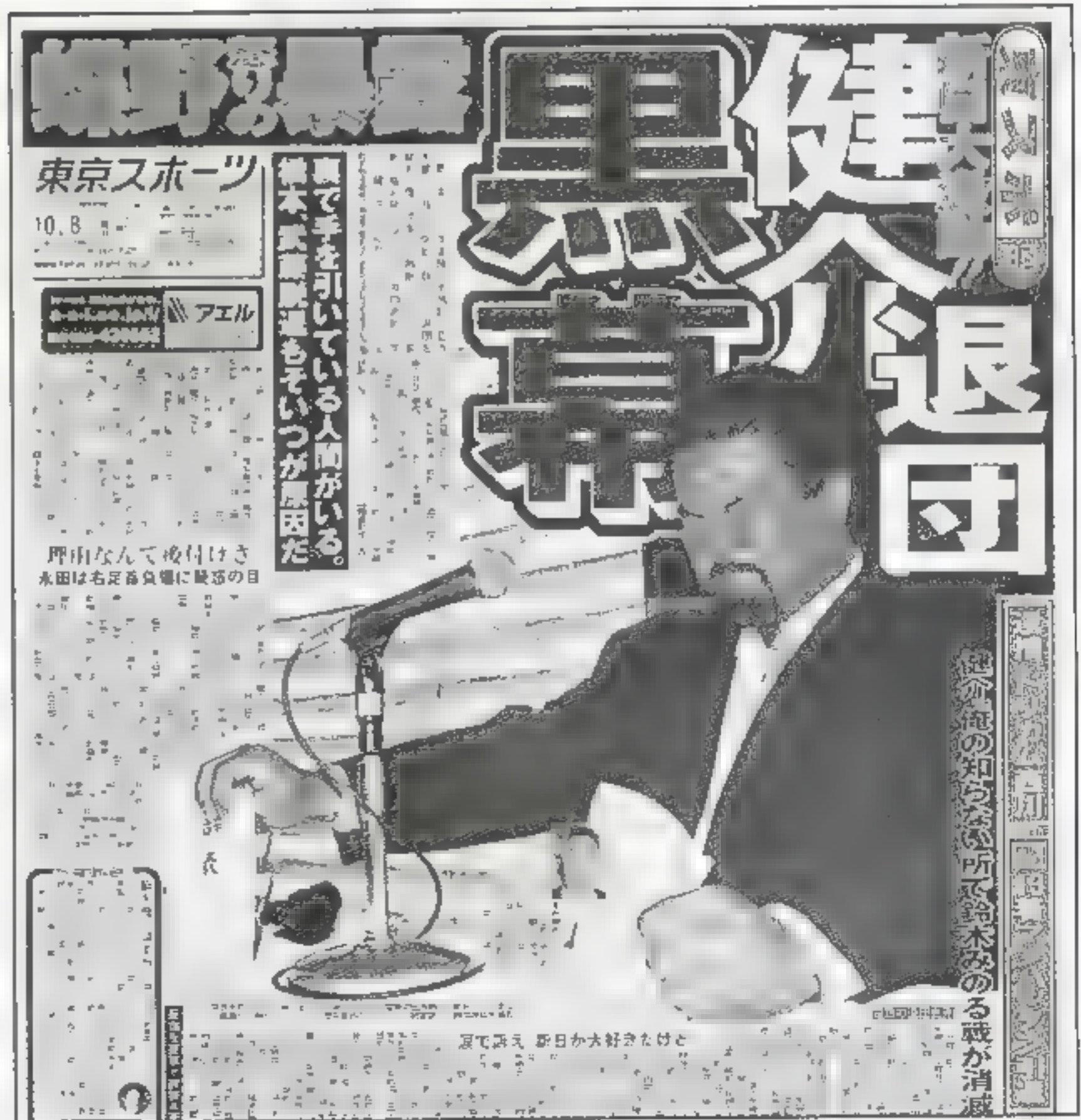
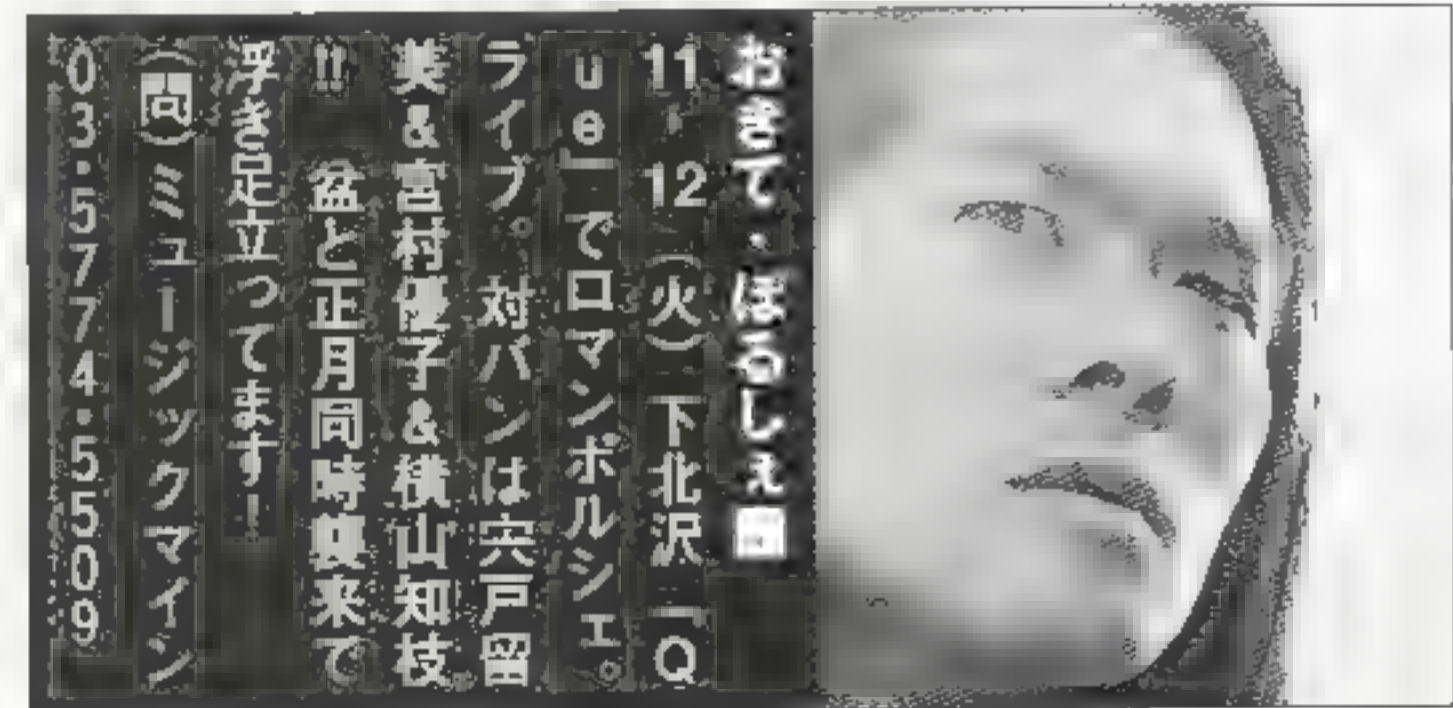
単調がなり系
プロレスラーのみなさん

すべての面で負けてるよ
オレたち…

よしワイは自衛隊いって戦車とやるで

中西

天山

いう根性が気に入らねぇー 吉江よ！ オマエも男なら竿一本で勝負しろ！（『釣りバカ日誌』のハマちゃんの要領で人さし指を竿に見立ててピンピンあげて）勝負、勝負！ ヴァーッ!!」と健介は言いたかったが、会社から「これから吉江はおしゃれなイメージで売りたいので（バウンティ！・ハンターと吉江のダブルネームTシャツ作ったりとか、品評会に出場したプードルみたいな吉江の髪型についてりとか）バイブ話はケーフエイ」とか念を押されて急に話すことが無くなりどうにも出来ずに泣き出してしまったのか？ 早いとこ真偽のほどを確かめねば！

……しかしせっかくコンビニに来たものの、よく考えてみたら財布の中に80円しか入っていなかったんで『東スポ』を買うことが出来ず確認のしようがない。仕方がないので店内に商品としてあったバルサンにさりげなく着火。ファミマの中が一瞬にして真っ白な世界になって小パニックが起きているうちになんなく『東スポ』をゲット。家から一番近いコンビニに暫くの間素顔で行けなくなってしまったのは残念だが（これからはオニギリ一個買うのにも歌舞伎メイクを施して自分のことを「拙者」と言ったりしながら入店）、それでも健介号泣の理由さえわかればそれでいい。

んで、『東スポ』読んでみたら、ゲッー 健介新日退団!? マジかよ！ 30分に渡り行われた記者会見の最中ずっと号泣って、これはよっぽど人に言えない複雑な事情が……と、思ったらナニ!? 鈴木みのる戦がチャラになったことだけでこんなに泣いて辞表まで出してんの!? 異常、健介ー ……しかし、『東スポ』情報によればこの脱退劇の裏には『黒幕』と呼ばれる人物が暗躍しているという。長州？ 永島？ 冗談じゃないー 当然黒幕は吉江に決まっているんである。

おきて・ぼるしぇ
11／12（火）下北沢「Que」でロマンポルシェ。ライブ。対バンは宍戸留美&宮村優子&横山知枝!! 盆と正月同時襲来で浮き足立ってます！
（問）ミュージックマイン 03・5774・5509

ザ・検証

K-1、『Dynamite!』、プロレス、『PRIDE』、さらにはバラエティー番組まで大活躍のボブ・サップ。しまいには、矢口真理のオールナイトニッポンにまで進出するというから驚き。たしかに喋りもイケルけど、サップは外人だよ！ちなみに中西戦後、六本木の某所で遭遇したことは、約束通り誰にも言わないよ。でもあのお店、興奮したね！

今月の検証 by 椎名基樹

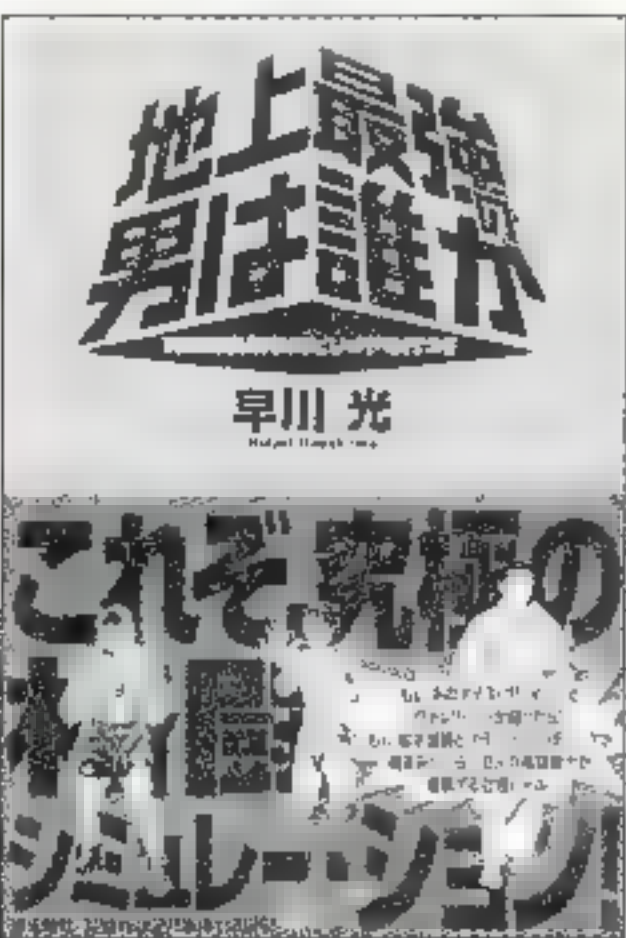
8年目のホイスVS吉田

ホイス・グレイシーvs吉田秀彦の決定の報を聞いた時、多くのプロレスファンはあの本のことを思い出したのではないか。そう、あの本とは早川光著『地上最強の男は誰か〜真剣勝負論争にピリオドを打つ！』のことである。

この本は、8年前にアルティメット大会に衝撃をうけた著者が、独断で8人の格闘家を選び、妄想の中でトーナメントをし最強の男を決めるという、プロレス・格闘技好きが寝る前にヘッドの中ですることを本気で書いてしまった、世紀のキワモノ本た。早川氏はあとがきの中で「格闘技ブームに便乗した、安易なキワモノ本」としか理解されないことを危惧すると書いている。しかし、ブームに便乗した安易な本とは思わないが、キワモノ本であることは間違いない。

いま読んでも、ある意味楽しめる、この一冊。でもマニアック、早くゼロワンに出ないかな？

この本が出版された8年前、まったく格闘技に興味のない、筆者の友人の漫画家・天久聖一が「すごい本を発見したんだよ」とニヤニヤしながら、この本を差し出したのを、今でも強烈に覚えている。

8人の格闘家の選出にしても、散々自分なりの分析をし、選考理由を書いたのにかかわらず「最後に正直に告白すれば僕は前田日明のファンである。だから8人の選考に前田を加えるとどうしても公正さを欠いてしまうことになる。〝格闘王〟前田日明をこのシュミレーションにエントリーしなかったのは、つまりはそういうわけなのである」と、妄想の中では、いつも前田が勝っているらしいことを暴露してしまう始末。もちろんこの本の信憑性はゼロに等しい。

しかし格闘マニアのおっちゃんが、体重80キロ台の吉田を柔道界から選んだことで、吉田に対する幻想が膨らんだのも確かだと思う（この時の柔道界最強は小川）。少なくとも俺はそうだった。だから、この本のことを思い出したのだ。

前置きが長くなったが、このトーナメントの2回戦で、ホイスと吉田は戦っている。勝敗は「父エリオの敗北以来四十数年、グレイシー一族は打倒柔道を悲願としてその技術を磨いてきた」結果、ホイスか勝利を手にした。

そして、8年後このシュミレーションは現実のものとなった。早川氏は「この試合も現実的には、実現する可能性はないに等しい」と書いた。つまり予想は全てにおいて逆になり、試合は実現し、吉田秀彦の勝利に終わった。この結果を早川氏はどう思っているだろうか。現実のホイスvs吉田は、バーリ・トゥードじゃなかったと言うかもしれない。確かにそうだ。ただ言えることは、アルティメット大会の出現に衝撃をうけた男が、250ページものキワモノ本を書いてしまった純情は、あの試合に入り込む余地ないってことだ。

PS　島田レフェリー、ついに大山選手の腕折っちゃいやがんの。何がノー問題だよ。人の原稿伏せ字にしといてノー問題とは景気がいいね。最近の『PRIDE』のレフェリングって……。格闘技とプロレスの違いって、レフェリングのことなのか？

これがトートメント出場の8人。結果はヴォルク・ハンの優勝。ただのリングスファンでは？

© 早川光／飛鳥新社

吉田がホイスに勝つには、危険な投げからの極めと早川氏は予想

© 早川光／飛鳥新社

ちなみに吉田の1回戦の武双山戦は……。

© 早川光／飛鳥新社

ホイスの場合は、いつものセオリーで勝利。

© 早川光／飛鳥新社

今月の検証 by せき詩郎

麻世&カイヤとは何か？ 離婚か、それとも妊娠か

「維震が死んだって蘇ったれとも何か言おうとしてるぜ、そうだろう？ 新聞もそう書いてるぜ。糞喰らえってんだ。こいつは維震軍は死んじゃいないって歌だ」と、EXPLOITEDのボーカルの人が言ったかどうかは知らないか、というか言ってないことは知ってるのだが、とにかくそのEXPLOITEDが来日した。当然うちの親も教えてくれないし直前までまったくそのことを知らなかったわけだが、どうやらEXPLOITEDの他にもOi系のバンドが多数出演するというその中にはなんとBusinessまで！ 私は喜び勇んで会場へと赴いた。

Oiといえばなんと言ってもスキンヘッド。そしてスキンヘッドといえば思い出すもうひとつの集団。瀬戸内寂聴とその弟子たち、じゃなくて、反選手会同盟、そう平成維震軍だ。

90年代前半の新日はアーティスト気取りの選手で溢れていた。大技を多用し、筋肉を誇示し、パフォーマンスに終始するようになっていた。そのため新日本プロレス本来の意義は失われ、単なるエンターテインメント集団へと変化してしまったのだ。その中で、越中や小林邦昭らは新日を本来の姿へと戻そうと躍起になっていた。彼らは政治性を排除して（選手会から離脱）、スキンヘッドといういでたちで反選手会同盟を結成。ケンカばかりのライブ（興行）にて「if the kid are united」と呼びかけ、それに呼応した者たちが団結しはじめた。その強烈な労働者的ルックスが大きな要因となり、もしくはそれのみで、彼らは私たち労働者階級（自由業やフリーター）の旗印となったのだ。

Oi系バンドの来日と一致したのは偶然か、はたまた必然か、どう考えても偶然に他ならないのだが、時を同じくしてかつてのスキンヘッドだった集団・平成維震軍が蘇った！

10月12日、後楽園ホール。維震軍色皆無の会場で私はじっと試合開始を待った。会場を見渡すと通路脇に健悟と邦昭の姿を発見した。それだけでもいやがおうなしに興奮は高まった。越中&後藤組の試合はセミファイナル。先は長い

まずは第一試合。山本尚史という選手のデビュー戦。若手らしく体を張ったその試合は久しぶりに前座を見た気分になった。

第二試合はどうでも良い試合だった。せっかく相手の細いなんだかっていう外人が独特の動き（指先とか細かいところで）をしているんだから、エル・サムライはベテランらしくそこをいじるくらいの器量が欲しかった。改めてエル・サムライはまったく侍ではないことを実感した

続く第三試合ではまったく知らない人がでてきて驚いた。試合もまた驚きだった。クラスの中で普段喧嘩しそうにもない二人がいきなり教室の後ろでケンカを始めたようであった。いつ怪我してもおかしくないようなある種間違った緊張感に溢れた試合であった

第四試合はエル・サムライの試合とはまったく逆。中野がベテランらしく垣原をいじり、さまざまなフリを行う。だが垣原がまったくそれを無視。昔の先輩があれこれ仕事を紹介してくれるのに当の本人は気に入らないのかやる気がないのか、どの仕事も長続きしないという感じの試合なのである。前方に座っていた子供が飽きたのかお菓子を買いに席をたっていた。それの真似をして西村の出た第五試合は私も席を立った。きっとこういう試合が好きな人っているんだろうなと思うが、私はお約束だらけというか、予定調和だらけの試合を見続けられなかったし、なによりお菓子の誘惑に負けた

休憩を挟んで第六試合 長い間待ち続けている越中&後藤の試合はこの次だ。もうすぐだ、もうすぐの辛抱だとわかってはいるのだが、こういう時ほど試合が長く感じられる。こんな時は他のことを考えてやり過ごすしかない。

川崎麻世とカイヤ&子供たちがハワイに旅行へ行く番組を以前見た。ワイドショー等で何かと話題のこの夫婦。もちろんただの旅行番組になることはなく、始まりからいきなり夫婦ケンカのオンパレード！ その度に高くなる画面上に表示される離婚確率 何か他のことをしながら適当に見るにはうってつけの番組であった なぜこのような話をしたかというとどうやらその番組の続編が放映されるらしいのだ！ なんと今度の舞台はオーストラリア！ 今度こそ夫婦仲良く……なんてことはまったくなく、またしても夫婦ケンカの連続か!? いやはや、今から先が思いやられるよ……。

などと全然興味がないことをあえて考えていると、「3カウント入ったの？」みたいな表情で藤波がレフェリーに確認している。いつの間にか試合は終わったらしい

ついに始まる越中&後藤対蝶野&天山、先に蝶野達が入場。今でも見ることができるであろう二人の入場シーンだが、なぜかこの入場だけで私は懐かしくなってしまった。続いては越中組の入場。平成維震軍の醍醐味は入場シーンにあると言っても過言ではない。越中の昔のテーマ曲、そして旗。今日この日、維震ファンなら誰もがこの光景を頭に浮かべ期待したに違いない、

だがいきなり期待は裏切られる 入場シーンがなかったのだ

その瞬間、私は思い出す。平成維震軍の歴史は期待を裏切ることの連続であったことに ベルトを総取り、本隊を潰す、新日本を乗っ取る、もの凄い新メンバーを加入させる、一枚岩のチームワーク、そして最後に「やるべきことはすべてやった」。シリーズ毎に私は期待して、何事もなかったかのように、実際何も起こらずにシリーズは終わっていった。テレビゲームが欲しかったのに枕元にあったのはエジソンとかそういう偉い人の本。私のところに昔来たサンタクロースがそうであったように、期待を裏切ってこそ平成維震軍なのだ！ おいおい、最初から完璧ではないか！

だから私は入場をぶち壊したチャイナとムタみたいな奴に文句は言わない。ガタガタ言わない。ムタみたいな奴も実はムタじゃなくてグレート・カブキを表現したかったのだろうとすべて良い方へ解釈することにした

ところで試合前から気になっていたことがひとつあった それは越中と後藤のコンビネーションだ。今だ敵対する二人にタッグを組ませるのは無理なのではないか。仲間割れすることは必至だろう。しかし、そんな不安をよそに彼らのコンビネーションは完璧であった 離婚してもコンビは続けて舞台はきっちりこなす夫婦漫才コンビに似たプロ意識がそこにはあった

走って入場してきた越中と後藤は奇襲にでる。クレバーな蝶野であってもこの作戦は読めなかったのだろう、ゴング前から場外で良い様に甚振られる。作戦大成功だ！

ゴングが鳴っても状況は同じ。維震側が場外で優位に試合をすすめる。場外のマットをめくりあげ、床に直接相手をうちつけ、椅子を思う存分使う。気が付くとコーナーのマットも外してあるではないか！ 完全なる維震ペース。これぞ維震軍の闘い方だ！

私は思わず目頭が熱くなった。人間は悲しい時、例えば『がんばれ元気』のお父さんが死ぬところなどで泣くものであって、その他の感情で泣くことはないと思っていた（ダチョウ倶楽部の上島を除いて）。しかしそれは間違いであった。人間は嬉しくても涙がでることがその時わかった。

久々に見る、昔は嫌というほど見た越中対蝶野の絡み 越中のエルボーが蝶野にヒット。蝶野も負けずにエルボーを返す。すかさず越中はまたエルボー。意地になった蝶野が再びエルボー 怒った越中がまたしてもエルボー……と思ったら、突然越中は河津がけを！ エルボー合戦と見せかけて、河津がけ しかも少し強引に、無理矢理 この意外性に私の興奮は頂点へと達する。「えっ、ここで河津がけ!?」と誰もが思うだろう脈略の無さ。しかしこれが越中の大きな武器だ、先の西村の試合に無かったものが ここにはある。新日がUインターを対抗戦をしていた頃、IWGPのベルトをめぐって高田と対戦したことがあったか、たしか突然の河津かけに高田か驚いて受身がうまくいかず、大ダメージを与えたことがあった。さまざまな思い出が頭をよぎっていく。

あとはヒップアタックの嵐。この日のヒップアタックの命中率は100%であった。後藤のバックドロップも飛び出した。もしかしてこのままの勢いで行くのか!?

そう思った瞬間だった。

それはまるでスローモーションを見ているようだった。越中渾身のジャンピング・ヒップアタックがゆっくりと空を切った ジャンピング・ヒップアタックほどかわされるとかっこ悪くなる、じゃなくて無防備になるものはない。案の上ここがこの試合の分かれ目となった。

着地でバランスを崩す越中。ここぞと攻めにまわる蝶野&天山 形勢は一気に逆転。後藤が天山のTTDから3カウント奪われるまで、そう時間はかからなかった。

約8分だけ蘇った維震軍。何年間も待ちに待った維震軍の復活。一夜限りの復活というお祭り気分はそこには無かった 物足りないと感じた人も多いことだろう。あまりのあっけなさにがっかりした人も少なくないはずだ また、復活などして欲しくなかったというコアなファンの心理も理解できる。しかし、この日の越中と後藤はどれをとっても、どこを見ても維震軍であった。何か特別なことをするわけではなく、今だ維震軍として活動していて今日はその中の一試合に過ぎないと錯覚してしまいそうな試合だった。ノスタルジックな感情などいらなかったのだ。「ことがなっても維震していく」越中の言葉に嘘はなかった。真剣に維震しているのだ。

次の日見たEXPLOITEDもまた昔のままであった。こっちこそお祭り気分だろうという考えか頭のどこかにあったのだが、むしろ昔より攻撃的であるように見えた。彼らもいまだ真剣であった

そして、私も維震軍に対して真剣であったことに、この原稿を書きながら気づいた。それは自分でも驚くほどに

一方、『麻世&カイヤ重大決意家族でオーストラリア運命かけた子作り旅〜離婚寸前重大発表！ カイヤ妊娠か!?』は見逃した。これに私ははまったく真剣ではなかったようだ。

というわけで、今回の検証『麻世&カイヤとは何か？〜離婚か、それとも妊娠か』は答えを出すことができませんでした。再放送したらもう一度検証いたします。

ちなみに10・12新日本後楽園大会全カードはこちら!!

第1試合
井上亘vs山本尚史

第2試合
E・サムライvsP・ボーイ

第3試合
倉島信行vs矢野通

第4試合
垣原賢人vs中野龍雄

第5試合
西村修vsT・セントクレアー

第6試合
獣神T・ライガー&ヒートvs
藤波辰爾&タイガーマスク

第7試合
蝶野正洋&天山広吉vs越中詩郎&後藤達俊

第8試合
棚橋弘至&鈴木健想vs中西学&B・ウルフ

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである———（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

先日、ロフトプラスワンの『ターザン山本と吉田豪の格闘2人祭。（近々、イベント名を『格闘ごまもっとう』にしようと画策中。なぜなら豪と山本だから）のゲストに五大宗教を一つにする男・猪木快守氏を招いたときのこと。猪木伝説を根底から覆す衝撃的な事実が、そのとき明らかになった。そう、猪木家がブラジルに移住した理由は「一旗揚げよう」といった野心剥き出しのものではなく、なんとただ単に「ジャングルが好きで、大蛇や猛獣と接してみたかったから」だったことが発覚！　そんなことで死んだ祖父って一体……と、猪木家のとんでもなさを痛感させられた男がお送りする書評コーナー。（e-mail:go@kamipro.com）

『ファイター：藤田和之自伝』
（藤田和之＆木村光一／文春ネスコ／1500円）

デビュー数試合目の時点で「現在、お気に入りの選手は新日・藤田」と『別冊宝島』のプロフィール部分で答えたら「誰ですか、それ？」と編集のｓｈｏｗ氏に言われたこともあるボクが言うのもアレなんだが、最近の藤田はどうにも物足りない。というか、藤田はこんなものじゃなかったはずだとボクは思う。

思い起こせば、新日時代。新人ながら道場では誰よりも威風堂々と振る舞っていた藤田は、移動のバスに乗れば当然のように一番前の席に座って発車と同時に爆睡！　巨大なイビキで長州を激怒させても、藤田はまったく気にせずバスの最前列にある長州の特等席まで奪取し、長州派の越中が怒鳴るのも無視して平気で爆睡するほどの怪物であった。

さらに、朝帰りした藤田が合同練習をサボって寝ていたのを長州に叩き起こされたときには、「だって今日は練習できない」とキッパリ反論！　すぐさま長州にカチ喰らわされて「座れー」と言われればイスの上に堂々と座り、「何やってんだお前、下だーッ！」と怒鳴られれば今度はアグラをかき、最後は「バカッ、正座だーッ！」と激高させるという二段落ちも無意識にフチかましていたぐらいなんだから、本当に完璧すぎだって！

遠征先のホテルで寝ていたら部屋に入ってきた掃除のおばちゃんと一発やったりの伝説も含めて、とにかく藤田は辻アナが「食欲・性欲・睡眠欲という人間の三大欲求もすべてが半端ではない」と証言していたのも大いに頷ける、ケタ外れの怪物だったのである。

そんな、猪木にも「俺が考える人間のキャパシティを超えてる」と言わしめた野獣を、単なるアスリート扱いにしてどうする？

この本でも、なぜか藤田のことを普通の悩める若者的に描いていたりするんだが、むしろ幼少期に**「テレビで天皇陛下を見て、この人が日本で一番偉い人なんだと知れば自分も天皇になりたい」**など不敬にも思ったりする天性の大物ぶりにスポットを当てるべきだとボクは声を大にして訴えたい次第なのだ。

まあ、そんな視点で描かれても凄さが伝わってくるから、アーリー藤田は恐ろしい限り。

たとえば、**「当時の新日本のスタイルの主流は、リング内での技術のしのぎ合いよりも、派手な入場の仕方やマイクパフォーマンスのような部分に重きが置かれている」**と悟った藤田が、平成新日スタイルに反旗を翻したということにしても、筋は通っているけどその頃はまだプロデビュー前だよ！

こうして藤田は、**「アマレスをベースにしたスタイルを作り上げようと決心し、さっそく、道場でアマレス時代にやっていたような練習を始めた」**わけなんだが、現場監督の長州が自分勝手な行動を許すわけもない。

「すぐに長州さんから怒鳴りつけられた。『てめぇ、何勝手なことやってんだ！　そんなことをやってる暇があったら受け身の練習しろ！』。僕は仕方なくまた元の受け身の練習に戻った」

そう。長州がしつこいぐらいに「練習しない奴は認めない」と言い続け、亡くなった選手のことを何度も口にするのは、「受け身を学んで自分の身体を守れ！」との意味だったわけなのだろう、きっと。ただ、どれだけ練習しても受け身の巧さでは全日系に劣るし、強さでは総合系に劣るからこそ、いまの新日本には問題があるんじゃないかと思うんだが。

そんな新日本の道場内で**「長州さんからターゲットに選ばれていた」**藤田は「イモ」だの何だのとボロクソ言われていたそうだが、それでも**「幸い、僕は損なのか得なのか、たしなめられてもさほど堪えない性格だった。後からよくよく考えてみれば納得がいかないこともあったが、その場で腹を立てることは滅多になかった」**のだという。……ってことは、その場で怒り出すこともあったんじゃん

その後、破壊王の付き人を務めるようになれば、**「自分よりも早く――しかもデビュー戦で――小川（直也）さんが橋本真也越えを果たしたことが悔しかった。生意気なようだが、僕はその頃から近い将来に橋本さんを実力で追い抜くつもりでいた」**と、やっぱり藤田は新人離れしたふてぶてしいことを口にしてみせるわけなのであった。近い将来かよ！

まあ、それでいて**「スパーリングで肌を合わせて感じたが、小川選手にはそれだけのエリート待遇を受けるに相応しい実力と素質が間違いなくあった」**と証言しているから、小川幻想もまた膨らむわけなんだが

さて、そんな藤田がＶＴに興味を持ったきっかけというのも、これまたとんでもない話**「ヒクソンには、正直、胡散臭さを感じていた。いったい何をやって400戦無敗と自慢しているのか？　そんな幼稚なキャッチコピーが通用してしまうバーリトゥードというのは何なのか？　半ば軽蔑から、僕はバーリトゥードに興味を持ったのだった」**

一体どんな理由だよ、それ！　よくわからないが、軽べつしつつも新日本に初参戦するＶＴ出身者相手のポリスマンを務めるようになった藤田は、**「危険な防波堤の役割を担わされている割に、会社から評価されているという実感もない」**ため、リングス移籍を決意。

新日所属として最後の試合となったキモ戦では、**「プロレスのリングでやれるぎりぎりの闘いを試みてみようと考えていた。下手するとセメントに発展する危険性もあったが、そうなったらそうなった時。思う存分暴れてやるつもり」**で試合に挑んだそうである。藤田幻想が高まる、いい話だよなあ。

ところが、**「そんな気配を察したのか、キモはどこか及び腰」**。**「かかって来いという挑発のつもり」**でブチ込んだ金的蹴りでも**「弱々しく蹴り、何もやり返してはこなかった」**ため、あっさり反則負けとなってしまったのだ。

その後、リングスではなく『ＰＲＩＤＥ』参戦を果たして日本人エースとなった藤田の活躍については、皆様も御存知の通り。

ただし、『ＰＲＩＤＥ』でマーク・ケアーを倒して、**「僕の目には、ＩＷＧＰのベルトは、新日本の上の選手たちの間で都合良くたらい回しにされている、身内だけで通用する約束手形のようなものにしか映っていなかった」**などのリアリティ溢れる発言を残していた藤田も、いまではＩＷＧＰを取り巻く**「たらい回し」**の輪の中に紛れ込んでてしまった

ような気がするのはボクだけだろうか？

「IWGPは当初の理念を忘れ、新日本プロレスという狭い世界に存在する階級の印に成り下がり、いつしかIWGP王者は強者の称号ではなくなってしまった」

だからこそ、強者・藤田がベルトを巻くという理屈はわからないでもないが、ボクが見たいのは永田を相手に繰り広げたようなアマレス的な動きと『PRIDE』的な動きを器用に折り込んだ中途半端なプロレスなんかではなく、昔の藤田がやっていたような危なっかしくてゴツゴツとしたプロレスなのだから。

プロレスを『PRIDE』と同じ勝負論のある「耐久競技」として描いてしまったこのドキュメントが中途半端で説得力が感じられないのと同様に、いまの藤田は総合格闘技でもプロレスでもかつてのズバ抜けた説得力を徐々に失いつつある。だからこそ、天性の怪物ぶりを全面に出していくべきなのだ！

確かに、**「バーリ・トゥードをやるようになってから、ずっと、いつも何をしてても試合のことが頭から離れない」**ため**「ストレスが溜まって、夜、眠れなくなった」**り、**「焼酎のボトルを2本空けて、やっと眠りに就くという日々が続いた」**りで、藤田の怪物性はすっかり鳴りを潜めているのかもしれない。

しかし、ミルコ戦を前にしてタイに渡った藤田のアキレス腱断絶騒動か、この本では「特訓中、僕は想像もしていなかったアクシデントに見舞われた」ためだとしか書かれていないが、実は●を買ったときの事故だったという信憑性の高い噂を聞く限りでは、藤田はいまでも期待通りの怪物なのであった

『身のほど知らず。』

（高山善廣／東邦出版／1400円）

桜庭の　ぼく。　や哀川翔の　俺、不良品　に続く東邦出版名物の「。」付き自伝シリーズの新作は、いま……というか三沢戦で怪我するまでは確実に旬だった高山善廣本。

プロレスや格闘技について刺激的かつ的確に語るセンスは誰よりもあるのに、本人の人生自体はさほど刺激的でもない印象が強いため、言動に興味があっても彼の自伝にはあまり興味が沸かないのが正直なところだ。

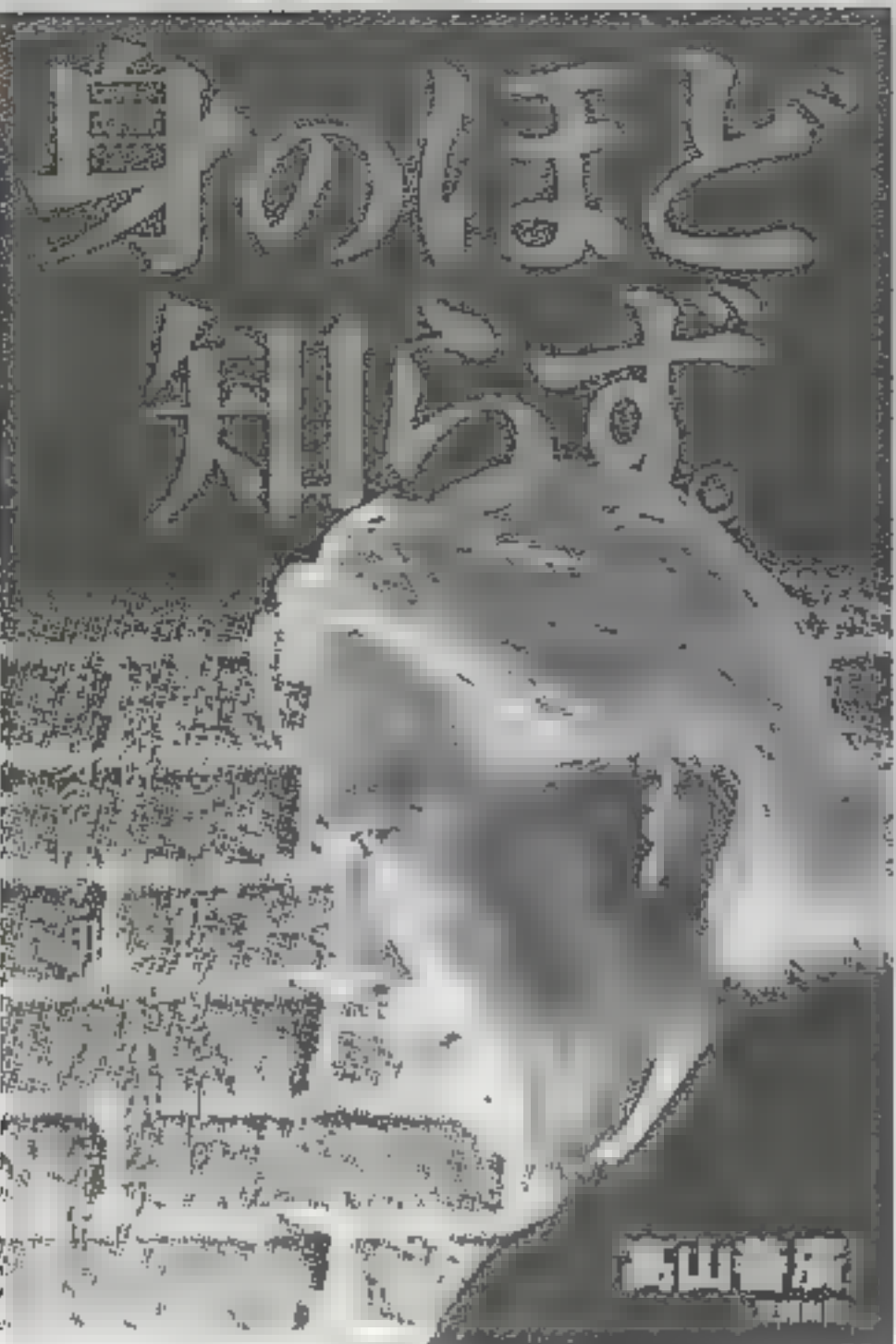
事実、子供の頃から**「みんなでプラモデルを作るときには、俺がリーダーシップを発揮していた」**という彼は、高校に入るとバンドを始めたり、大学では芸術学部に行こうとしたりと、プロレスラーとしては珍しいかもしれないが非常に一般的なセンスの持ち主。

……とばかり思っていたら、刺激がないどころか高山は大量の薬と吸入器がなければ生きていけない現役の喘息持ちだったことがG1中継で明らかになり、この本では少年時代の入院理由が**「喘息ではなく、生まれつき奇形だった耳のほう」**と、他にハンディキャップを抱えていたことも発覚したのであった。

その上、念願のUインター入団を果たしても同僚、すなわち金原や桜庭かあまりにも強すぎたばかりに**「レスリングではまったくかなわない」「自分の実力は頼りないもののように思えて仕方なかった」**と自信喪失

「やばい、やばい……俺、強くないのに……プロレスラーと名乗っていいんだろうか」

そんな調子で思い悩んだ結果、**「神経性の胃炎」**にもなってしまったそうなのである　病弱すぎ

それでも、高山はケタ外れのガタイと活字受けするプロレス的な発言の数々によって、純プロレス界で順調にブレイク！　その言語センスには**「俺がプロレスに初めて衝撃を受けたのは、実際の試合でも生身のプロレスラーでもなく、プロレスの活字だった」**（しかも、アントニオ猪木著『苦しみの中から立ち上がれ』）ことも大きく影響しているんだろうが、なぜか最初にターゲットとして選んだ川田に対してだけはプロレスの枠を超えたシュートな発言をぶつけるようになるのであった。

何かと思えば、最初こそ上手く噛み合って試合でもバチバチやり合えていたものの、どうも途中から三沢が言うところの「川田は一言多い」状態に突入してしまったようなのだ。

「川田選手は、俺のことをなんだかんだとグチグチ言い出していた。（略）『なんで高山はレガースをつけて、UWFスタイルでやらないんだ』とチクチクチクチク、言い出していたのである。（略）ほかの全日本の選手は、ヨソからポンとやってきて、ゲーリーやスティーブ・ウイリアムスと組んで斎コーナーにいる俺を快くは思っていなかったかもしれないが、川田選手みたいなことはだれも言わなかった」

これはつまり、レガースを愛用するほどUWFかぶれだった川田が、「俺とやるならレガースを付けてUWFスタイルで来い！」と言い出しただけじゃないかとボクは思うんだが、高山はすっかり激怒してしまったのである。

「UWFスタイルがなにかを知らねえくせに、なに言ってるんだ、バカヤロウ！（略）お望みのものを見せてあげましょう。そんな思いで、試合が始まってからキックをバシバシと叩き込んだ。掌底もヒザ蹴りも遠慮なく、何発も入れた。いつもは攻めて攻めて、蹴って蹴りまくる人が、ほとんどなにもできずに攻められ続けるという試合だった。これが全日本プロレスに呼ばれる最後の試合かもしれない。そんな覚悟を持って俺は攻め続けたのである」

せっかくなので軽く調査してみたところ、この試合が行われたのは97年10月21日の武道館大会。このとき高山は川田のラリアートをスカし、計4回放ってきたタックルも全て切り、川田をボコボコにしたのだという……。15分以上も一方的にやられまくり、場外に3度もエスケープする川田に対して、「川田、本気出せー」との的外れな野次か飛んだ。そして15分を過ぎた頃から急に川田の逆転か始まり、試合はあっさり終わったのであった

しかも試合後、高山はここまで吠えていたんだから、明らかに普通じゃないだろう。

「あまり自分の許容範囲以上の、大きな言葉は吐かないでほしい。（略）キングダムに興味がある？　来る気がねえくせに言うな。（略）グローブマッチに興味がある？　興味があるってのは、どういう意味なんですか。見に行きたいんですか。それともリングに上がりたいんですか。ハッキリしろと。（略）実際にやるんならいいですよ、折原選手みたいに。やる気がないことは言わないでほしい。レガース付けて同じように見えるけど、全然違うんだ（略）たまたまレガース付けてて、見た目かちょっと似ている、そんな錯覚しがちなアレで、あんまりいい気になって言わないで欲しい。（略）最近、新聞や雑誌を見ると川田さんのそういう発言が目立ってたんで。おかげでホク、怒りが込み上げてきて、吹っ切れました（略）今後の全日参戦は、白紙ですね」

これらのエゲつない発言と、試合開始から15分間までの試合展開は、もはや明らかにシュートでしかなかったわけなのである。

「それから川田選手は、さすがに俺に対してなにも言わなくなった。それと同時に、俺のなかでも川田選手の存在はそれまでとは違うものになった」

一体どう変わったのかといえば、**「俺から目を反らしたようなところのある川田選手」**だの**「川田選手はすでに俺のなかからフェイドアウトした人」**だのとすっかり相手にもしないようになり、それに比べて小橋や三沢は**「闘うことが心地よい」**選手だと大絶賛！

しかし、同じ団体の選手たちからここまで嫌われると逆に川田幻想も膨らんでくるばかりであり、潰した相手が川田だったからこそ高山はここまでやっても許されたんじゃないかとボクは勝手に推測する次第なのであった。

いや、それともう一つ高山が許されたのに大きな理由があったんじゃないかということに、この本を読んだボクは気付いた。

ある日、**「全日本では馬場さんが浴びるまではだれもシャワーを浴びないと言う暗黙のルールがあった」**というのに、何も知らない高山が**「試合を終えてシャワーを浴びにいくと、なんと馬場さんがシャワーを浴びている真っ最中」**だったんだから、さあ大変！

ところが、馬場は全裸でチン入してきた高山を暖かく迎えてくれたらしいのだ。

「これは勝手な解釈だが、馬場さんも本当は、もっとみんなに近づいてきてほしかったのではないだろうかと思う。なにも考えずにシャワー室に入った俺を、馬場さんは笑顔で迎えてくれたのだ」

こうして高山は馬場と裸の付き合いをしたからこそ、全日本に受け入れられたのに違いないのである。いや、きっとそうだ！

そんな、本筋とはあまり関係のないエピソードばかりがツボに入った、この本。

最後は「プロレスも　PRIDE　も身体に受けるダメージは変わらない」「『PRIDE』は確かにハードだ。でも、プロレスだってそれと同じくらいハードなのだ」と説得力のあるプロレス論をブチ上げたかと思えば、ついでに**「『PRIDE』に興味のない人」**は**「それはそれでいいと思う。ただ、興味を持っているフリをしていながら、やろうとしないヤツは困り者なのだが」**と、またもや川田批判をぶり返すから、さすが高山だろう。

……と言いたいところだが、**「また、『まったく関係ない。アレとは別物だ』と言い切ってしまうヤツ。いるだろ、そういうヤツが」**というプロレスラー批判を口にしてもいるから、それなら、ヒクソンとやっても、投げられるんじゃないか」という三沢の発言についてはどう思うのか、ぜひとも聞いてみたくなった次第なのである（ちなみに秋山は、「無理ですね　あり得ないです　夢ですよ、それは」とキッパリ断言。さすが！）

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第16回

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

静岡県磐田郡 目ガ覚メタロウ

★目ガ覚メタロウさん、またまたまた採用オメデトー!! 御希望の「魔界倶楽部」Tシャツ(M)、お楽しみに!! 今回はナント!! 42枚もハガキが来ました。わーい! わーい! パチパチパチパチ(そのうち35枚は目ガ覚メタロウさん)。皆さん、枚数じゃなくて、ちゃんとネタを見ていますので1枚でいいのでハガキ書いてよ。送ってよ。お願いします。

★自分は吉田秀彦選手も小原道由選手も割と好きだったのに、あんなTシャツ着てるとねぇ…。

★ハガキを送って頂いた方の中から抽選で5名様に「中川雅博手づくりステッカー」をプレゼント!! 採用された方にはTシャツをプレゼント!! いつ何時、誰のTシャツでもつくるぞコノヤロー!

★ファスティング・ダイエットは内臓が元気に!! 『ヤマダ元気』http://yamadagenki.com

★自分は吉住絹代選手の試合が見たいです。『東京元気大学』http://tgu2001.com/

➡前号のTシャツ ビートたけし&ビッグバン・ベイダー

応募方法

プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S･M･L･XL)をハガキに書いて下さい。
〈例〉清水雅治(西武ライオンズ)のXL

ザ・グレート・サスケ（みちのくプロレス）×TAKAみちのく（KAIENTAI-DOJO）

「プロレス界を活性化させるため、石井館長に頼んで、みちプロでボブ・サップ対サスケ＆TAKAを実現させせますよォオオ!!」（byターザン）

聞き手／ターザン山本
司会／松澤チョロ
撮影／平工幸雄
designed by さおとめの事務所

ターザン （インタビュー場所の会場ロビーのイスに座るや否や）TAKA選手！

TAKA あ、もうインタビュー始まってるんですか（笑）。

山本さん、まだテープ回してないです！

サスケ ガハハハハ！ 山本さんは直感主義だからさ、常に回してないとダメなんですよ！ 常在戦場ですから。ねっ？

ターザン （嬉しそうに）さすが、よくわかってるねぇ！ （唐突に）でもTAKA選手！ よく日本マット界一の大バカ野郎のところに戻って来る気になりましたね！

TAKA ハメられました（苦笑）。

ターザン ハ、ハメられたぁ!? もう愛想を尽かして出て行ったんじゃないの？

TAKA 別にグレート・サスケに愛想を尽かしたわけじゃなくて、みちのくプロレスは自分の故郷じゃないですか。サスケがどうのこうのじゃないんですよ。

ターザン 経営者として学ぶべきところは何もないよ！（キッパリ）。

サスケ ガハハハハハ！

TAKA 別に今さら何も望んでないんで。

ターザン クックックッ（満足げに）。で、どうですか、サスケ選手！ （TAKAを指さし）こっちは独立して一国一城の主になったような一丁前の顔をしてますけど（笑）。

サスケ ねえ？

ターザン でも、TAKA選手の方はアリーナがあるけど、おたくはないんだよな！

サスケ そうなんですよ。この間、KAIENTAI-DOJOにお邪魔してショックを受けましたからねぇ。

ターザン あ、やっぱり。（なぜか嬉しそうに）ショックでしょ？

サスケ う〜ん、そうですね。みちプロが本来やるべきことをコイツにやられちゃったよって。あれはホント悔しかったですねぇ。

ターザン （TAKAを指さし）こっちは地道ですよォォォ！

サスケ あの一つの箱で全部足りてるわけですからね。あれは凄い！

ターザン もうワンセットですよォォォ！

サスケ 本来はウチらがやるべきことなんですけどね。

ターザン そうだよね。でも俺は別に期待してないから！（アッサリと）

サスケ ガハハハハハ！

ターザン （追い打ちをかけるように）初めっから何も期待してないから！ だって、期待しても無駄じゃないの！（笑）。

TAKA （即座に）無駄無駄！（笑）。

ターザン クックックッ（またもや満足げ）。「無駄無駄」言ってますよ（笑）。

サスケ いやいや、違うんですよ！ 何で無駄かって言うと、ウチは人がいないんで、だから俺が「よし、やろうぜ！」って言っても結局、人相撲なんですよ。選手で誰がいるのっていっても全然バラバラなんですから

ターザン （TAKAに向かって）最初からこんなに人望なかったわけ？

TAKA みんな出て行っちゃったからねぇ。それが答えじゃないですか（笑）。

ターザン （パチパチと手を叩きながら）ワッハッハッハッ！

取材に訪れた10・9石巻大会では、みちプロ名物の期間限定キャラ、はやて&こまちとタッグを組み、相変わらず飛びまくったサスケ

TAKA選手！ よく日本マット界一の大バカ野郎のところに戻ってきたね！（ターザン）

サスケ だからやりようがないんだよね、やりたくても。

ターザン 今日は10年目のみちプロを観たけどさ、何か寄せ集めの寄り合い所帯じゃないの！ ねぇ、TAKAさん？

TAKA はい（キッパリ）。

ターザン だよねぇ。それに、かつての仲間が誰もいないじゃないの！ 違う？

TAKA 10年前とは、みんなメンバー変わっちゃってもう（笑）。

サスケ （必死に）いやいやいや、そんなことないですよォォォ！

ターザン もうツギハギだらけじゃない!?

サスケ だって人生いるでしょ？ で、人生がいるわけですよ！

ターザン （無視して）ヨネ原人なんか久々に見たら、もうオッチャンじゃないの！

サスケ ガハハハハハ！

ターザン 「おい、オッチャンどうしてんだ?」って言ったら困った顔して逃げて行っちゃいましたよォォ！（笑）

サスケ いや、あれは元々オッチャンなんですよ（笑）。だから、ほらヨネもいるでしょ？ で、ヨネもいるし、ヨネがいるわけですよ！

ターザン それに篠塚さん（リングアナ）いないじゃないの!?

サスケ 彼は長期休業中なんですよ。

TAKA もう帰って来ないでしょ

サスケ いや……篠は私の女房役なんですよ だからいまは別居状態みたいな感じでね

ターザン いいパートナーだったんでしょ？

サスケ そうそうそう。もうね、篠は私の分身だったわけですよ

ターザン それでなんで篠塚さんが病欠しなくちゃいけないの？ 精神的なもの？

サスケ まあ、燃え尽き症候群ですよね。ちょっと働かせ過ぎちゃったと。だから「好きなだけ休んでくれよ！」って感じで。

ターザン 働かせ過ぎたんじゃなくて、苦労をかけ過ぎたんだよ 苦労をかけ過ぎたら女房っていうのは逃げて行くんですよォォ！

サスケ 山本さんは、わかりますよね？（笑）。

ターザン わかりますよォォォ！

サスケ だから、こっちとしては「いつでも戻っておいでよ」って気持ちですよ。

ターザン ただ、一度出て行った女房は二度と帰って来ないんだよなぁ（寂しそうに）。

サスケ うわ〜、そうなんですか？ じゃあ私はそういう常識を覆したいですね。

ターザン （突然話題を変え）TAKA選手！ 10年間みちプロが続くと思った？

TAKA いやぁ、この人だったら1人になってもやるかなとは思いましたけどね。

ターザン 1人でもやる！

TAKA でも、自分的には凄い悪い見本として役に立ってるんですよ（笑）。

ターザン 一大反面教師だね！（パチパチ）。

TAKA この人と同じことは、やっちゃいけないなっていう（笑）。

サスケ ガハハハハ！ でもホントにそうですよ（なぜか同意）。

ターザン やることなすことメチャクチャだからなぁ。ついて行く人いないもんな！（笑）。

サスケ オイオイ、はいじゃねえだろ！（笑）。

TAKA （嬉しそうに）はい。

ターザン でも名前出したら悪いけど、大阪プロレスにしろK-DOJOにしろ、みちプ

石巻大会では休憩前の第3試合に登場したTAKA。相手は旗揚げ時代から苦楽を共にした、復活・ヨネ原人と久しぶりに対戦した

ロが末広がりしたような感じがありますよ。
サスケ ねっ？ だからウチは人材の宝庫だったわけですよ！ “だった”わけですよ!!
TAKA “だった”ね！
ターザン そうそうそう（笑）、過去形で“だった”ですよ！ で、試合を観たけどさ、やっぱり、みんな飛ばなくなったねぇ。
サスケ そう！ それはありますよね。
ターザン “歌を忘れたカナリア”っていうのはあるけど、いまは“飛ばなくなったみちプロ”ですよォォォ！ TAKA選手！ それについては、どう思います？
TAKA ダメですねぇ（アッサリと）
ターザン ワッハッハッ！（パチパチパチ）。
サスケ （ムキになって）でも、そういうTAKAも最近飛んでないからね！ だろ!?
TAKA いや、自分はここぞという時は飛んでるんですよ。
サスケ （首を振りながら）いやいやいや！
TAKA 今日なんかは休憩前の第3試合だったからメインイベンターをたてて「目立っちゃダメだな」と。
サスケ （さらにムキになって）いやいやいや、それは違う、それは!! だって昔のみちプロがなんで面白かったかっていったら、それこそTAKAとか獅龍とかがさ、休憩前だろうがなんだろうが「メインを食ってやろう、俺が俺が！」ってビュンビュン飛んでたんだから！ あれが面白かったんだからさ！
ターザン 競り合ってたんだよね！
サスケ そうですよ。凌ぎ合いがあったわけでしょ？ だから面白かったんだから
ターザン そうそう。それが、いまはなんかちっちゃく固まって、プロレスは上手くなったけども、もう一つみちプロ的な差別化されたものが見えてこないもんなぁ。
サスケ なんか、こじんまりと固まっちゃいましたよね。

ターザン TAKA選手！ どう？ あの頃の熱気は感じる？
TAKA 弱いですねぇ（キッパリ）。
ターザン あっそう！（パチパチパチ）。
TAKA だけど、やっぱりサスケのみちプロだから。結局それに代わる選手が出なかったじゃないですか？
ターザン そう、出なかった！
TAKA それが良くなかったですね。
サスケ オイオイ、そんな他人事のように（笑）。だいたい、お前がそのポジションにいたんじゃないの？
TAKA だから、こうしてたまに帰って来て出てるじゃないですか。
ターザン 彼の場合は完全に分家だよね。プロの分家が要するに千葉に誕生したんだよ。
TAKA でも自分はまだ捨ててないですから、名前もまだみちのく背負ってますから。
サスケ まあ、暖簾分けしたと。
ターザン 暖簾分けしたTAKA選手は非常に優秀で経営能力もあると。サスケ選手が一番欠けていたものを持ってるというね（笑）。
サスケ （必死に）いやいやいや、私の経営能力を分けてあげたんですよ！

ターザン （真顔で）へ？ プロレス頭だけを分けたんですよ。
サスケ そうでもないんだけどね……それは逆に自分から否定しちゃうんだけど（笑）。
ターザン いや、プロレス頭はありますよ！
サスケ いやいや、ないないない！
ターザン だけど、めげない性格だね。こんなに10年も笑っていること自体が普通の神経ではできませんよォォォ！
TAKA ある意味、バカですよね（笑）。
サスケ うるせ〜、この野郎！（笑）
ターザン ホントにバカに何乗もかけなければいけないね（笑）。
サスケ でも、そうじゃなきゃプロレス界なんてやってられないですよ。
ターザン やってられないよね。要するにこの世界にいると心が傷つくことばっかりじゃない？ 最近の事件で言えば健介選手の新日本退団なんて、あんなこと嫌じゃない？ イビリ出されてるんだから。
サスケ なるほどねぇ〜（しみじみと）。
ターザン （突然大きな声で）2人に聞きたい！ どうなの!? いまのマット界を考えた時に何をしなければならないと思う？ みちのくをどうするべきなのか、マット界をどうするべきなのか？ TAKA選手はK—DOJOをどうすべきなのか、マット界をどうすべきなのか、どっちだと思う？
サスケ そりゃ、マット界をどうすべきかでしょ（キッパリ）。
ターザン （急に真顔になり）えっ!?
サスケ 当たり前じゃないですか！
TAKA その前に自分のところをなんとかしなきゃダメでしょ？（笑）。
ターザン そうだよねぇ？ 足元に火が点いてるのにな！（嬉しそうに）。
TAKA そんな外を見てる場合じゃないでしょ（苦笑）。
サスケ いやいや、違うんだよ！（笑）。こういう時こそ、みんなもう一回集まるんだよ。それは、みちのくっていう意味じゃなくて、マット界全体として集まらなきゃダメなんだよ！ 全部の団体がね。
週プロ』のインタビューでも「プロレス版の『Dynamite!』をやらなきゃいけない時期だ」って言ってましたからね。
ターザン でも『Dynamite!』をやるったって、先頭に立って引っ張る人がいないじゃない？
サスケ そうそう、ホントそうですよ！
サスケ プロレス界にね……う〜ん。
ターザン 仕切る人がいないもんね TAKA選手はどう思います？
TAKA その通りです（アッサリと）。
サスケ そりゃあもう、山本さんが昔を思い出して引っ張らなきゃ！（笑）
ターザン 俺なんてこれっぽっちの人望もありませんよ（寂しそうに）。
サスケ いやいやいや、実はあるんですよ。気づいてないだけですから
ターザン （嬉しそうに）ああ、そう！
サスケ そうなんですよォォォ！
ターザン でも素浪人だよ、俺は！
『夢の掛け橋・第2弾』ですか（笑）。
ターザン （興奮して）いいねぇ。TAKA

選手は『夢の掛け橋』出た？

TAKA 出ました。

ターザン あっそう。あの6人タッグで!?

――覚えてないんですか（笑）。

ターザン うん（あっさり）。

TAKA 出てました（笑）。

ターザン （無視して）でも、あれは良かったねぇ〜（しみじみと）。

TAKA 自分はデルフィンとゴレンジャーやってましたから（笑）。

ターザン あ〜！（パチパチパチ）デルフィンとね。あれは良かったよォォォ！

サスケ （疑った目で）ホント覚えてます？

ターザン （無視して）実を言うと馬場さんがあとで言ってたんだけど「あの日は、みちのくプロレスが一番面白かった」って。

サスケ ありがたいですよねぇ。（TAKAに向かって）あのまま、みちプロでやってたら良かったじゃない？ せっかく、馬場さんが二重丸をつけてくださったんだから！

TAKA いや、先がないから。

ターザン （急に小声で）あ、先がないね。サスケがみちプロをやってる場合に先があるようでないような、ないようであるような、誰もが不安になりますよォォォ！

サスケ みんな出て行っちゃうし？

ターザン そう、みんな出て行っちゃう！

サスケ いやいやいやいや、でも出て行くから不安になるんじゃないの？

TAKA 育ってはいなくなっちゃって、しまいには育たなくなっちゃうし、それに入ってはいなくなりで。

ターザン そうだよねぇ（しみじみと）。

サスケ でもね、巣立っていくのは私はいいと思うんですよ。

TAKA だからって、みんな巣立ったら困るんじゃないですかね、

ターザン 巣立ちっぱなしじゃ困るよ（笑）。

サスケ そうなんですけどね（笑）。だから、人生とヨネがいるじゃないの！

ターザン いいねぇ〜、人生は！

サスケ ねっ？ そうでしょ!?

ターザン 1人でも信頼できる人がいたら人間って幸せですよ。たった1人でもいたら心の支えになるんだから。

サスケ 私にとって、その1人が篠ちゃんだったわけですよ。まあ、すぐ戻って来ますすよ。

いやいや、ウチは闘龍門にもK―DOJOにも、もう抜かれてるんですよ

『夢の掛け橋』は自分はデルフィンとゴレンジャーやってましたから（笑）

TAKA 来ないでしょ（アッサリと）。

サスケ （ムキになって）いやいやいやいや、戻って来るよ！

TAKA いや、絶対来ない！

サスケ いやいやいやいや、俺と篠には、みんなには見えない絆があるんだよ！ それをみんなは知らないだけなんだよ。

TAKA ないないない！

ターザン ホントいい関係だねぇ。それで今回こういう形で、TAKA選手がもう一回帰って来たというのはどんな気分ですか？

サスケ やっぱりね、なんだかんだ言って、まだ見捨ててなかったじゃんって。

TAKA 見捨ててたなんて一言も言ってないじゃん！（笑）。

サスケ ガハハハハハ！ そうだよな（笑）。

ターザン TAKA選手の方はどうだったんですか？

TAKA 自分はあくまでも独立した形でいたんで。前から言ってるようにみちのくプロレスは親だし、巣立った場所だし、故郷だから。ある意味、KAIENTAI―DOJOってのは、みちのくプロレスでは若手が全然育たない。じゃあ俺が育てて送ればいいじゃないかっていうのもあったんですよね。

ターザン ほぁ〜。育たないんだったら自分が育てて送るという！

サスケ やっぱり暖簾分けですよ。新人育成部門ですよ！ ねっ？ 凄いでしょ？（笑）。

ターザン （TAKAを指さし）優しいねぇ。

TAKA あとは、みちのく戻ってもなんも変わらないなと思って。だから自分のところで新しいことをやってその血を入れていけばいいかなって思ってますね。

ターザン こっちは「TAKAみちのく・虎の穴」みたいなもんだね。

サスケ だから私が常々思ってるのは、別にドンドン出て行ってもいいんですよ。いい意味で巣立ってくれれば。ただ裏切っちゃダメですよ！ それでみんなもっといい思いをすればいいじゃないですか。他でドンドン稼いでいい思いをしてっていう、それだけですよ。

ターザン いい思いしてないんじゃないの？

サスケ してないんじゃないですかね（苦笑）。特に最近は……。

ターザン この不況の日本経済の中で、頑張り続けているっていうのは非常に大切なことなんだけど、ずっと頑張っていける？

サスケ もちろんですよォォォ！ 我々は公共性の非常に高い事業をやってるわけですよ。教育委員会が唯一認めるプロレス団体がみちプロなんですから！ これはもう間違いないんです。だからできるんですよ。

ターザン 地域のために？

サスケ もちろんです。町興し、村興しもありますしね。

ターザン ファンとかも子供が多いしねぇ。

サスケ そうなんです！ まさにこれがそうですよ。子供のためにですよ。ホントここ最近は子供のお客さんが多いですしね。

ターザン 今日なんかも子供が多かったね。テッド（・タナベ）さんに聞いたら「子供とジイちゃんバアちゃんしかいない」って。それはそれで問題じゃないの？（笑）。

サスケ ガハハハハ！ まあ、経営的には苦しいですよ（苦笑）。う〜ん、だからたまに東京に出て行ったりしてますからねぇ。

ターザン 平均単価が低くなるね（笑）。

サスケ 65歳以上は入場無料ですからね。

ターザン そうなの？

サスケ 高齢化社会のためにってことですよ。おじいちゃん、おばあちゃんの楽しみが増えるじゃないですか。

ターザン うん。それはいいことだよォォー!

サスケ でしょ? みちプロは崇高な理念のもとにやってるわけですよォォォ!

TAKA だけど、会社として儲からなかったらダメですよね。

サスケ ま、まあな……(苦笑)。

ターザン ワッハッハッハッ! (パチパチパチ)。TAKA選手の場合はキチンとした経営精神に基づいてやらなければいけないと思って、計算通りに計画的に合理的に効率的にやってるわけでしょ、その全部反対側がサスケ選手なんですよォォォ!

サスケ いい悪い例ですよね(笑)。

ターザン わかってるじゃない? でもね、「継続は力なり」と言うけど、10年続いたインディというのは大仁田選手を、ある意味越えてるから。そっちはインディの帝王ですよォォォ!

サスケ おおっ! いいんですか、名乗っちゃって(笑)。

ターザン いいですよ! もう、みちプロはインディ界の模範団体ですよォォォ!

サスケ なんかメンズ・テイオーみたいだな(笑)。まあでも謹んで襲名致します!

ターザン 東京でいまプロレスというのは混乱してるし、転換期でもあるし、これからどうなっていけばいいかということを問い掛けられているわけ。それに対してチャレンジし、実験しなければいけない時代になってるんだけれど、それに関してはどう思う?

サスケ 我々にとっては関係ないと言ったら失礼ですけど、ウチは東北が基盤なんで、東京で何が起ころうが一応一歩退いて見てられますからね。それが我々の強みですから。

ターザン ああ、地盤があるわけか。でもさすがに、いろいろ時代の波は感じるでしょ?

サスケ いや、それが意外と感じないですよね、不思議と。

ターザン オイ、そっちには届いてないのか! 時代の波が!?

サスケ 届いてないですねぇ。

TAKA 東北ですから(笑)。

ターザン 辺境の地か!

サスケ むしろTAKAなんかの方が感じてるんじゃないですか?

ターザン TAKA選手は感じてますか?

TAKA まあ、そうですね。でもウチはウチでやろうと思ってますから。

ターザン TAKA選手はTAKA選手でまたマイペースの理論だよね。

TAKA そうですね。周りがどうでもウチはウチですから。

サスケ と言いながらもWEWさんのポスターは、ほとんどKAIENTAI-DOJOの顔ばかりだよな!

TAKA まあ、需要があれば他団体にも上がりますから。

ターザン いまじゃ、出稼ぎに行ったら、こっちがナンバーワンでしょ?

TAKA ウチは人材派遣業ですから。いろんな団体に出してます。呼ばれればどこにでも行きますよ。

今度の『BEST』にDJニラ選手が出るって話もありましたし、あと、真霜(拳號)選手は『ZST』に出るみたいだし、格闘技方面にも進出してますからね。

ターザン サスケ選手も頑張らないと、闘龍門とかK-DOJOに抜かれちゃいますよ! 名前だけの、みちプロになっちゃって。

サスケ いやいやいや、ウチはもう抜かれてるんですよ(アッサリと)。

ターザン オ、オイ、自覚症状があるのか!?

サスケ そりゃありますよ(苦笑)。

ターザン (真顔で)無自覚で生きてるのかと思ってたよ!

サスケ いやいやいや(苦笑)。大体一通り抜かれてるんじゃないですか。まあ、いまは充電してるんでいいんですよ。

ターザン 充電中なのかぁ。オイ、昔の俺の力を思い出せよ!

サスケ そりゃそうですよ。山本さんが『週プロ』に復帰するのを待ってるんですよ。

ターザン いや、『週プロ』じゃないところで復帰するんだよ!

サスケ えっ、どこでですか?

ターザン 『SRS・DX』の方で「格闘技もやるけどプロレスが一番面白いものだよ」っていうことを俺はやっていくから。新たな戦略でやり直すんですよ。

サスケ そうなんですか。じゃあもう『夢の掛け橋』が見えてきましたねぇ。第2弾!

ターザン 見えてきますよォォォ! 例えばボブ・サップvsサスケというカードも俺は考えてるんですよ!

サスケ (即座に)実は私も考えてました!

ターザン (驚いて)え、考えてたの? でもボブ・サップvsサスケはいいですよォォ!

サスケ いいでしょ? そのぐらいの夢が欲しいんですよ。もうちっこくちぢこまってたらダメだと。ホントに破天荒で突拍子もないことやらなければダメですからね。

ターザン TAKA選手! ボブ・サップはどう思います?

サスケ (拳を握って)俺ならやるよォ!

TAKA いや、自分は知らないんですよ、

9・30KAIENTAI-DOJO後楽園 初進出は超満員札止めの大盛況!

TAKAみちのくデビュー10周年[illegible]興行として行われた初の[illegible]は1[illegible]83[illegible]札止めの大盛況。[illegible]でもお馴染みWWE仕込みの入場ゲートを[illegible]、独自のK-DOJO空間を作り上げる[illegible]。試合は[illegible]ミノルが連れてきた新パートナー[illegible]新日本の真壁伸也の活躍もあり、TAKAは10周年を勝利で飾れず。メイン後、大型スクリーンには、ユニバ、みちプロ、WWFなど、これまでのTAKAの闘いの歴史が映し出され、最後は、お決まりの「This is KAIENTAI DOJO!」

ベタではあるが、K-DOJOで人気&実力も上昇中なのが謎の覆面軍団X's。[illegible]はタッグ王座を賭け同門対決を行ったX's。試合はチャン[illegible]

K-DOJO会場人気NO1はDJニラ。決めゼリフの「ネ[illegible]トロ〜イ[illegible]は観客も大合唱。[illegible]の日[illegible]ひょん[illegible]BEST」への[illegible]

最強の浜田文子[illegible]-DOJOの人気[illegible]船ちゃん。お船DEビュ[illegible]技かは各自調査]。ヤフ[illegible]ブロックで攻め込むも、最後はライガーボムで文子が貫禄勝ち

全然そっちの方は、名前ぐらいしか聞いたことがなくて誰かよくわかんないんですよ。

ターザン サスケ選手は知ってるでしょ？

サスケ 知ってますよ！ WCWにいたんですよね。だったらTAKA知ってるでしょ？

TAKA 俺、WCWは出てないから（笑）。

ターザン でも、いまの世の中って何が出てくるかわからないじゃない？

サスケ ホント、俺はやる気でいるよ！

ターザン （嬉しそうに）やる気なのか？

サスケ だって面白くないじゃん。

ターザン いっちょ、俺が石井館長に頼みますよ！ 館長がプロモーターとして（サップを）動かしてるから、そのカードをプッシュしますよ。去年の暮れの「猪木祭り」のサスケ選手みたいなもんじゃない。もっと凄いものを企画するよォォォ！

サスケ おおっ！ 是非お願いしますよ！

ターザン ボブ・サップvsサスケ＆TAKA組っていうのはどうですか？

サスケ 2vs1で？ いいねぇ～！

――ハンディキャップマッチなんですか？

ターザン （熱くなって）いいんだよ！ 空中殺法でいかに野獣を倒せるかっていう！ ルチャvsボブ・サップですよォォォ!!

サスケ いいですねぇ。ちょっと絵が見えてきましたよ！

ターザン 例えばボブ・サップがみちプロのリングに上がったりするとね、マット界は活性化するわけですよ。みちプロにボブ・サップを上げるんですよ！ クックックッ（満足げに）。これはいいよォォォ!!

サスケ いまのプロレス界には、そういう刺激がもっともっと必要ですよね。

ターザン そう、そういうこと！ もっともっと「あっ！」と驚くことをやらなきゃダメなんですよ！ ビッグサプライズですよ!!

サスケ いまはホントに無難にまとまりすぎちゃってるからね。どこにしても。

――外人女性好きのサスケさんがジョーニー・ローラーと闘ってもあまり驚かないですからね（笑）。

サスケ そうだよな（笑）。やるんだったら、もっと凄いことをやんないとね。

ターザン これからはまた俺たちのハレンチな時代ですよ！ 常識を覆すというか

サスケ 絶対そうですよ！

ターザン だって、みちのくプロレスが出てきたときこうなるとは思わなかったもんね。

サスケ いや、でもねぇ……あの頃はTAKAとヨネと私と……。

ターザン （遮って）獅龍!?

サスケ いや、ウォーリー山口さんと4人で夢を語り合ったんですよ（しみじみと）。

ターザン ああ、そう！

サスケ みちプロは、この4人から始まったんですよ。それが原点ですからね

ターザン どこで語り合ったの？

サスケ あの時はまだユニバにいた頃だったんで東京ですね。ウォーリーさん宅で連日連夜の秘密会議。新規事業立ち上げ会議ですよ。

ターザン 今で言うベンチャービジネスか！

サスケ そうですよ！ あの時点でちゃんと計算してましたからね、

TAKA 夢がありましたねぇ、あの頃は（笑）。

サスケ オイオイ、なんだよ、「あの頃は」かよ！（笑）。

ターザン サスケ選手とTAKA選手とウォーリー山口と……オッチャンかぁ？ なんでオッチャンがいるの？

サスケ いやいや、ヨネのオッチャンがまた大乗り気だったんですよ。彼もやっぱり、みちのくの気仙沼出身だから。それでTAKAも盛岡出身で。

ターザン TAKA選手はのせられたんでしょ？ つられたというか。

TAKA まだガキだったんで何だかわからなかったですね。

サスケ 結構、半ば強引に。正直言えば、拉致したっていうか（笑）

ターザン 拉致してたのか！（笑）

TAKA ていうか、洗脳されましたね（笑）。

サスケ ヨネと俺とウォーリー山口さんで結構盛り上がっちゃってね（笑）

ターザン この人たちは企んでたんだね

サスケ それで「拉致しよう」って（笑）。

ターザン もの凄くピュアだったわけでしょ。まだ海のものとも山のものともわからない少年だったんでしょ？

TAKA はい。とりあえず何か夢がありそうだなと思って（笑）

ターザン ありそうだという雰囲気だけで！

サスケ 新幹線にみんなで乗って「盛岡に行くぞ！」って。さっぶい所で掘っ建て小屋で電話線が一本あってな？

TAKA アハハハ！ そうそう（笑）。

サスケ うん、そっから始まったんですよ！

ターザン じゃあ、みちのくプロレスの原点の4人組の1人だったわけだ。その当時の熱い気持ちをわかってるということはTAKA選手にもえらい財産になったんじゃない？

TAKA まあ、いい時も悪い時も見てきましたからね。

ターザン そうだよねぇ（しみじみと）。

サスケ だからヨネ原人も一回引退してまた戻ってきてるわけですよ。なぜかって言ったら原点の原点のコアな部分だから

ターザン （サスケに向かって）見ててどうですか？ TAKA選手は非常にクールな生き方をしてるけど、ホントは熱いんですか？

サスケ う～ん、熱いよね。熱いっていうか、クールではないですよ。熱い方ですね。

ターザン あ、そう！ でもヘンですよ！ パチンコ好きでさ、ガーって朝から晩まで一日中パチンコやってるみたいじゃない

サスケ 熱しやすく冷めやすいのかもしれないですね。だからせっかくWWF（現WWE）でいいところまでいったのに冷めやすいから「もういいや！」ってドライに割り切っちゃうのかもしれない

ターザン あのままアメリカで永住権取ってやりゃあいいのにねぇ？

サスケ そうですよねぇ？（ショー・）フナキと一緒にやってれば良かったのに。

TAKA （ボソッと）いや、俺は飽きちゃうんだよ。

サスケ ほら！ 熱しやすく冷めやすい。

ターザン あんなに成功してたのにぃ？

TAKA 一ヶ所にとどまれないんですよ。

サスケ オイオイ、ということはKAIENTAI DOJOも怪しいぞ！（笑）、TAKAが冷めちゃったら大変だぞ！

TAKA まだ成功してないから

ターザン 成功したら次のことをやるのか！

TAKA もう千葉にいるのが嫌で（苦笑）。

ターザン ワッハッハッハッ！（パチパチパチ）。もう飽きたん？

TAKA いや、飽きたっていうか、ちょっと疲れちゃって（苦笑）。

サスケ で、みちのくに息抜きに来たと！（笑）。いいじゃないのぉ、それで！

TAKA いや、逃げ場です（苦笑）。

ターザン 渡り鳥的な精神だねぇ！

サスケ 根っからのレスラーなんですよ。

ターザン 根っからのレスラーだね！

みちプロ10周年記念興行第3弾として行われる11・8大田区大会では、6人タッグながらメインで激突するサスケとTAKA。大舞台での対戦は5年前の両国大会以来、そして互いに団体の代表となってからは初の対戦となる。

サスケ　俺なんか逆に根っからのレスラーじゃない……何だろうなぁ？
ターザン　根っからの井の中の蛙というかね。根っからのお山の大将だよ！（笑）
サスケ　ガハハハハ！　まあそういうことにしておきましょう（笑）
ターザン　愛すべきお山の大将ですよォォ！
TAKA　ま、早い話がバカですね（笑）。
サスケ　ガハハ！　俺はバカかい!?（笑）。
ターザン　いや、でもこうやって笑って許れるっていうのはいいよねぇ。こんだけ10年間山あり谷ありでやってきてね。
TAKA　変わんないですからね。サスケは言ってることもやってることも。
ターザン　（小声で）変わんない？
TAKA　変わんないですよ、人間は。
ターザン　そうか！　でも人間は変わんないっていうのはいいよな。
TAKA　ブッ飛んでますよ、この人！
ターザン　成長はして欲しいけどねぇ（笑）
サスケ　（首をかしげて）結構、成長はしたと思うんですけどねぇ。
ターザン　成長はしてますよ！（小声で）だって、この男にも子供がいるんですよ！
TAKA　まあ、そういう意味では（笑）
※ここで、テッド・タナベ氏から会場の都合でインタビューは終了との報告が入る。
ターザン　えっ!?　もう終わりなの？
　残り時間3分だそうです！（笑）。
ターザン　とにかく、こういう形で陰ながら、ボクとサスケという腐れ縁の仲で……。
サスケ　（遮って）いやいや、陰ながらじゃなくて、表だって応援して下さいよ！（笑）。
ターザン　そうか！　でもホント腐れ縁だよな。ボクはジャパニーズキャバクラ、そっちは外人キャバクラ好きでさ！（笑）。
サスケ　ガハハハハハ！
　最近、山本さんは韓国キャバクラにもハマってるみたいですけどね。
ターザン　（真顔で）あれはいいよ！
サスケ　ガハハハハ！
ターザン　（無視して）好みは違うけども、好き嫌いはあるけれども、公私ともに好きなことをやって、プロレス漬けというか、プロレスにのめり込んで人生を追求していきたいと思いますんで、よろしくお願いします！
サスケ　どうしたんですか、山本さん？　何か急にまとめに入りましたね（笑）。まだ2分ぐらいありますよ！
　久々の東京でのビッグマッチ、11・8大田区大会は山本さんも行かれるんですよね？
ターザン　（なぜか握り拳を作り）もちろん行きますよォォ！
サスケ　じゃあ、特等席ご用意しますから！
ターザン　（すかさず）用意してよ！　あのね、特等席を用意してくれたらハッキリ言って俺は『SRS・DX』でみちのくプロレス大田区大会の試合レポートを載せるよォォ！
サスケ　もう是非お願いします!!
ターザン　すべての闘いは平等だから、エンターテインメントっていうのは、お客を満足させたところが勝ちなんですよォォォ！
サスケ　ホントそうですよね！
ターザン　（突然、パチンと手を叩き）そうだ！「サスケとは何か?!」っていう原稿を『SRS・DX』に書こう！
サスケ　おおっ！　是非是非！　約束するよ!!
ターザン　格闘技雑誌にだよぉ。いいねぇ！（と自画自賛）。（テッド・タナベを指さし）でも、あの人も腐れ縁でついてきますねぇ。
サスケ　ねぇ（笑）。
ターザン　ホントいいキャラしてるよね！
サスケ　だってテッド（タナベ）さんもずっと一緒ですから。
テッド　もう10年越えましたね（笑）。
サスケ　ねっ。だから、みちプロにも、ちゃんと同志はいるんですよォォ！
ターザン　まあ、それはいい！（キッパリ）。
サスケ　ちょっとちょっと「まあ、それはいい」って、そりゃないですよ！（笑）
ターザン　（無視して）TAKA選手が今回みちのくに帰ってきたのが一番の出来事だよ！　おめでとう!!
TAKA　いや、ただの息抜きです（笑）。
ターザン　そうか！　それはそれで素晴らしい息抜きだね。でも俺たち、みんな子供っぽくていいな、生き方が！　これからも一緒に頑張ろう!!

【10月9日／石巻総合体育館ロビーにて収録】

対談後、ガッチリ手を重ね合わせる3人。「オイ、プロレス界で、こういう握手をしたら、いつも分裂するんだよ！　縁起悪いよ」とターザンが言うと、サスケは「あれ？　そういえば、みちプロも最初こうやったんですよ」とポツリ

みちのくプロレス
10周年記念興行第3弾
東京・大田区体育館

KAIENTAI-DOJO
■10月
27日(日)『CLUB-K SUPER out break

チャ"みちプロ"リブレ
れはるもんですよォォォォォォォ!!」

オイ、オイ、一体、どうなっているんだよ。『紙プロ』がオレに出張取材を言ってきた。どこにそんなお金があるんだよ。しかも、チョロとカメラマンとオレの3人だよ。

経費のことを考えたら「本当に大丈夫なの?」と、こっちが心配になってきた。そんな、わざわざ宮城県の石巻くんだりまで、出張に行かなくてもいいじゃん。第一、遠過ぎるよ。東京から仙台に行くのは新幹線だからいいけど、そのあとが余計。在来線の仙石線にはまいったなあ。石巻は終点。行きは快速だからよかったが帰りは鈍行列車。

各駅停車で1時間20分も乗っていたら、正直言って気が狂いそうになったよ。「いい加減にしろよな。時間がもったいないよォォォォォ!」と叫びたくなったもん。

石巻って"かつお"が水揚げされる有名な漁港なんだ。オレは葛飾区の立石に住んでいるけど、そこの行き付けの定食屋『与作』は"かつお"と"豚汁"が飛び切りうまい。

特に石巻産の"かつお"が入ってきた時は、もう万々歳なのだ。まさかその石巻に行くことになるとは、夢にも思っていなかったよ。チョロによるとみちのくプ

ロレスの試合が石巻であるので、その観戦レポートをオレに書いて欲しいというのだ。

そんなバカな。みちプロってあれは見るもんだよ。書くもんじゃないよ。はっきり言おう。あれはこのオレ様でも書きようがないと。

ホント、無茶なことを言うよな。もう、ムチャ、ムチャ、ムチャ、ムチャ"みちプロ"リブレだ。

何? みちプロは今年で旗揚げ10周年だって? それは知らなかったなあ。そんなこと忘れていたもん。何? オレがみちプロをブレイクさせた功労者だって? だから10年目のみちプロを見て原稿を書けだと?

オレってさあ、ちょっとでも持ち上げられると、すぐ、その気になるんだよな。もしかすると誰よりも人からほめられたいと思っている人間かも。今回はそのウイークポイントをバッチシ、チョロに突かれてしまったよォォォォォ! 結局、オレもなんだかんだ言っても、お調子もんなんだよな。

でも、これだけは言える。石巻まで行ったことは偉いよ。だって、だって、だってオレたち以外、取材陣、マスコミは

ゼロ。ゼロなんだよ。これってさあ、独り勝ち。独壇場。取材の貸し切り状態み

人に会えるのを楽しみにしていたが、ついに彼女は来なかった。

みちプロが10周年なら こっちは…と…30年前の写真で勝負だあ!!

最近、実家の山口に帰った際に発見したという約30年前のターザン。当時、近藤正臣に似てると評判だったとか

みちプロでフェロモンの洪水を巻き起こしているのがリッキー・フジとマッチョ☆パンプだー

やはり、みちプロに来たからには、これを見なけりゃ始まらない、新崎人生のロープ拝み渡りー!

TAKAはK-DOJOの若手選手数名を、みちプロマットへ派遣し、キャリアを積ませている

タッグリーグ戦限定キャラの、はやて&こまち。新幹線だけに、猛スピードで飛びまくりだー

ターザン山本のザッツ・ムチャ

「みちプロについて書くなんてムチャだよ。あれ見

ゼロ。ゼロなんだよ。これってさあ、独り勝ち。独擅場。取材の貸し切り状態みたいなもんだぜ。

会場を見渡した瞬間、オレは思わず「勝った！」と勝利宣言したくなったもんね。うれしいことには100人程度の入場者の中に、オレのことを知っているファンがいてさあ。「月曜『生ゴン』、見てます。面白いです。頑張って下さい！」と声を掛けられたら「ああ、石巻まで来てよかった」と思うもん。向こうは「なんで、こんな所にターザン山本が…」という顔をしていたよ。もちろんサインもしてあげたし、写真もファンと一緒に撮った。もっと驚いたのは仙台の駅前でも握手を求められたこと。うん、気分がいい。

なんでも今回のみちプロは〝みちのくふたり旅〟のシリーズなんだって。要はタッグリーグ戦のこと。旅っていうのはいいよな。人生は所詮、旅よ。出会いと別れしかないんだよ。人が最後に知るのは「さよならだけが人生だ」という言葉さ。オレさ夕暮れ時、石巻に列車が着いてどっと乗客が改札口に向かっていくシーンを見た時、ドボルザークの交響曲『新世界』の中の有名なメロディ〝家路〟を思い出したもん。

ああ、オレは孤独だあああ。この人たちには帰るべき家と家族がある。それに比べてオレは……。いいんだよ、オレはずっと、ずっと、ずっと〝ひとり旅〟で。

妄想だけが友達さ。〝ひとり旅〟の人生には、妄想しか生きがいにならないんだよ。マット界の〝寅さん〟よ、オレは。寅さんってマドンナにフラれてばっかりだろ。

そんな妄想、かなわぬ想いを持つからなんだよ。そういうこのオレも石巻市体育館では、チョロには言わなかったけどキョロキョロしたもんね。この街にはTさんという女性がいて、今年も私の誕生日には立派なTシャツを送ってきてくれたんだよ。時々、手紙もくれるし、その人に会えるのを楽しみにしていたが、ついに彼女は来なかった。

なんでなんだよ。地元にプロレスがやって来たんだろう。なぜ、来ないんだよ。絶対に来ると思ったけどなあ。すれ違いか。つい最近、石巻ではZERO—ONEの試合があった。そっちには行ったんだろうなあ。

賭けに敗れたよ。あえてオレは彼女に「石巻に行くから…」と連絡はしなかった。偶然の方が絶対にいいもん。約束して会うよりもオレは偶然の方に賭ける。その方が10倍、100倍、千倍、1万倍も脳がドキドキする。

椅子にすわって体育館の壁にもたれながら試合を見ていたら、TAKAみちのくとヨネ原人の試合でうとうとと、寝てしまった。午後5時から7時頃が一番、オレって眠たくなる時間なんだよ。

チョロが「山本さん、TAKAがこっちを見てますよ！」とオレを起こしてくれた。ああ、眠たいよお。疲れているから仕方ないもん。オレが悪いんじゃない。誰も悪くない。今日の目的は試合観戦ではなく、試合後の対談なんだから。

その時まですすべてエネルギーは溜めておく。だって対談は体育館の会場のロビーで試合終了後、わずか30分しかないんだよ。そこにすべてを賭けようとしたら、試合で眠ってしまったのは、無駄なエネルギーを使おうとしないオレの知恵でもあるんだよ。

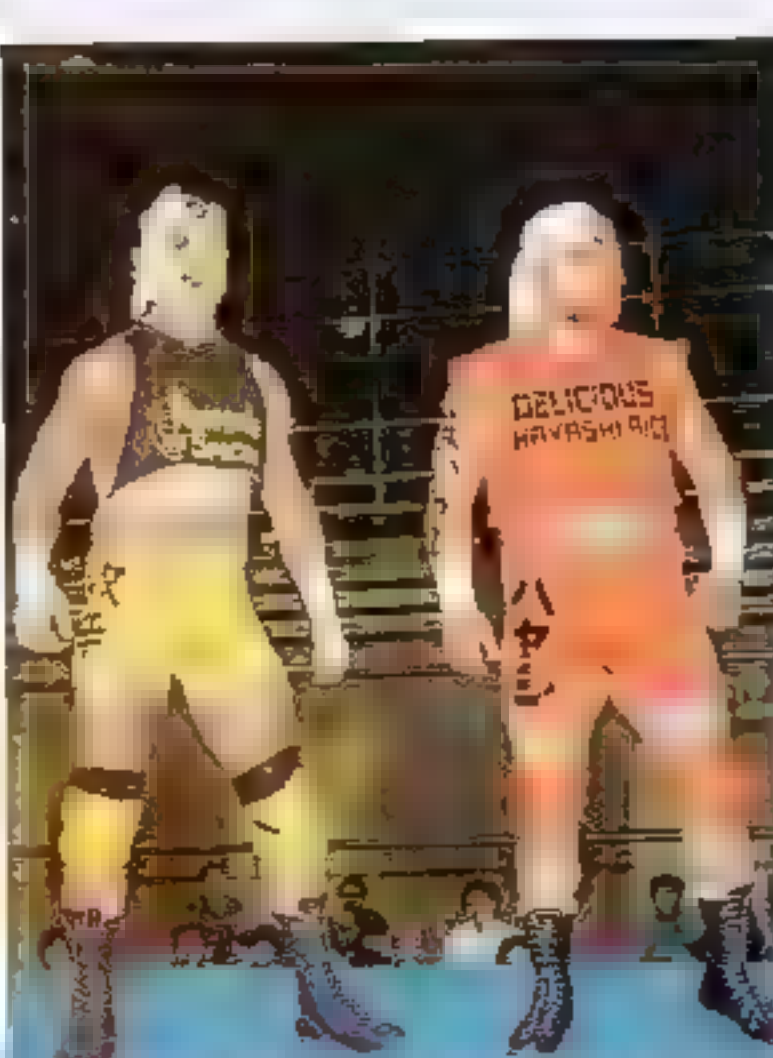
あと、一つだけ付け加えておこう。休憩時間にオレのケイタイが鳴った。それは〝高山植物〟という名のある女性からだった。

オレはそれをネットでやっている〝往生際日記〟で時空を越えたメッセージと書いた。妄想、信ずべし。その奥に秘めたる力、不滅なり。みちプロ〝ひとり旅〟。

これを企画したチョロが〝MVP〟だ。ありがとう！

はやて＆こまち組の入場の際は、危険が伴うため、白線の内側で待たなければいけないのだ。

同郷の人生とのタッグでリーグ戦へエントリーしたのが、みちプロ期待のホープ、湯浅和也だ！

真夏の過酷すぎるリーグ戦を勝ち抜き、東北ジュニアヘビー級初代王者に輝いたのが東郷だ！

今回、カレーマンが連れてきたタッグパートナーはハヤシライスマン。腕には「まいう～」

みちのくプロレス

ファン感涙の"大田夢（オータム）"が実現!!
10年分のみちのく戦士、ほぼ全員集合!!

9月27日、東京厚生年金会館で行われた記者会見にて。集まったメンバーを見るだけでも感慨深い。下は"みちのく旗揚げメンバー"で、10年前の旗揚げ会見を再現した1ショットだ

あの日の"みちのくプロレス"が帰ってくる!! みちのく10周年記念大会『みちプロ大好き3～謝謝～』は、現役のみちのく戦士の他、他団体へ巣立っていった選手たちが続々参戦!!

夢のまた夢だったヨネVSつぼの原人対決、みちのく最強集団『海援隊★DX』全員集合、元サスケ組・"オリジナル"CIMAの登場、そして「何年選手だと思ってんだ、蹴り殺すぞオラァ!!（BYサスケ）」の金本浩二参戦決定!! メインの6人タッグは、新崎人生プロデュースでサスケ&人生&ディック東郷組と、TAKAみちのく&カズ・ハヤシ&愚乱・浪花組が激突。

サスケはこの一戦を「みちのくにおける古い世代と新しい世代の闘い。みちのくにずっといた自分、人生、そして東郷と、みちのくを巣立っていったハヤシ、愚乱、TAKAとの世代闘争とも言えるような闘いになる」と語り、さらに「個人的には、TAKAと浪花はどういう選手かわかるんですが、ハヤシという選手が、噂されている通りの男なのか、確認したいと思います。当日は、中島半蔵がセコンドにつきます」とコメントした。

他、WWEからショー・フナキ参戦決定! 単なる"同窓会"を超えた、みちのく10周年の節目にふさわしいこの大会、見逃す手はない!! キミも大田区体育館で"大田夢（オータム）"を見よう!!

みちプロ大好き3 謝謝

ヨネ原人（左）対つぼ原人、夢の対決

1 湯浅和也vs星川尚浩
2 グラン浜田&MEN'Sテイオー&西田ヒデキ vs 折原昌夫&石井智宏&マッチョ・パンプ
3 つぼ原人vsヨネ原人
4 カレーマン&ハヤシライスマン&ジョディ・フラッシュ vs CIMA&SUWA&ドン・フジイwithTARU
5 タイガーマスク&ヒート vs 金本浩二&外道
6 ショー・フナキvs日高郁人
7 ザ・グレート・サスケ&新崎人生&ディック東郷 vs TAKAみちのく&カズ・ハヤシ&愚乱・浪花

バトラーツ

臼田負傷!! 代打・石川にTAKAブチ切れ!!
11月14日、ガラガラの後楽園で大惨事が起こる!?

10月4日・越谷の石川屋で行われた記者会見。決定カードに不満を持つTAKAは見ての通りの態度。欠場となった臼田はファンに向けて「心配しないで、ちょっと待っててください」というコメントを発表した

TAKAみちのくが暴言連発!! 石川雄規と、早くも一触即発の事態に!!

「（大会名の『PROGRESS』は）進化、発展という意味。臼田が前回の『DEEP』でケガをしてしまったんで、自分とぜひ対戦してほしいとお願いしました」と語る石川社長に対してTAKAは「進化だ発展だって言ってるけど、前回前々回と、ガラガラじゃねぇか。前回出させてもらったけど、オレはあんなに客の少ねぇ後楽園でやったことはねぇ」と、あまりにも本当のことを指摘し、会見場を凍らせた。

「オレは臼田勝美とやりたかったんだよ。どうしても石川とやれって言うんならホール満員にしろ。ウチの後楽園ホールは、超満員札止めだったぞ」と、暴言連発。痛いところをつかれた石川は「ふざけやがって。メインがオマエで客が入らなかったら、オマエのせいじゃねぇか。くやしかったら客を連れてこい」と、TAKAに責任を押しつけて炎上。

これに対してTAKAは「串焼いてねぇで営業でもしてこい」と反撃、さらに「当日、ガラガラだったら2度と後楽園ホールを使えなくなるような大惨事にしてやるよ」と宣言。

ただでさえ厳しい平日の後楽園、そして集客力のないメイン（本人談）となると、ガラガラどころか、後楽園史上最低の観客動員になる可能性もある。11月14日、ガラガラの後楽園で起きる"大惨事"とは何か!?

「オレが勝ったら石川屋はオレのものだ」と、さっそく酒を盗むTAKA

決定カード

石川雄規 VS TAKAみちのく
原学 VS 星川尚浩
中野巽耀 VS 真霜拳號

他、全5試合とアマチュアマッチFUTURE-B 1試合を予定。

問：バトラーツ 048 963 0005

8・31『ZERO中祭り』で「オレ1人でZERO-ONEをしきる!」と、突如"火祭り革命"をブチ上げた大谷晋二郎。その後、田中将斗、サコダ・ケイジもこれに賛同し"炎武連夢"を結成した大谷。酒好きの大谷にガンガン飲ませ、今回の行動の真意から今後のマット界まで、たっぷりと本音（&ゲップ）をぶっちゃけてもらった！

聞き手／松澤チョロ&ささき
撮影／福島勝儀

ボクはWCWでブル中野さんと闘ったことがあるんですよ

大谷は席に着くなり生ビールを注文、取材中も酒（＆ゲップ）は切れることがなかった

大谷　今日は、よろしくお願いしま〜す！　…あ、ボク、生ビール下さい！

──いきなりですね（笑）。いろんなイベントとか見ても、大谷さんはアルコールが入ると普段の数倍面白いんで、ガンガン飲んじゃって下さい！

大谷　そうかなぁ？　ぶっちゃけ、ボクはアルコール入らなくても、いつも本音トークなんだけどな（笑）。

──飲むと、さらに拍車がかかるみたいですから（笑）。でも、お酒をガンガンいくっていうのは、大谷さんのレスラー哲学としてはどうなんですか？

大谷　う〜ん……でも、昔はお酒飲んで大騒ぎするのが武勇伝みたいのがあったじゃないですか？　レスラーのイメージで。それだけじゃないと思いますけどね、いまは。

──今は、そういう時代ではないと？

大谷　キレイな身体を作るために管理してる人いっぱいいるじゃないですか？　それはそれで立派だと思うけど、ボクはそのタイプじゃないんだな（笑）。昔っからプロレスファンだったから、プロレスラーっていうのはこういうもんだってイメージがあるんで。

──やっぱり、今の時代でもレスラーはそうあって欲しいですよ！

大谷　でしょ？　でもいろいろなやり方があっていいと思うんですよ……いいこと言うでしょ？（満足げに）。

──は、はい（笑）。で、ついこの間は、佐々木健介選手が新日本に辞表を提出したわけですけど。

大谷　いきなり、きましたねぇ（笑）。

──はい（笑）。どう思いました？

大谷　大先輩の佐々木さんに対してアドバイスするのは失礼かもしれないけど、ボクはZERO　ONEに来て、新日本っていう大看板を捨てたっていうことはね、ボクはアドバイスできる立場だと思うんですよ。

　表面的なところだけ見れば、同じような経験をしてるわけですからね。

大谷　そうですよね。ボクの場合はね、新日本を辞めて吹っ切れた気持ちだったんですよ。絶対、何とかなるって気持ちもあったしね。やっぱりね、新日本って看板は強いんですよ、凄い大きいもんなんですよ。勲章っていうか、ブランドなんだよね。その新日本を捨てるっていうのは、どれだけ勇気がいることか。それをボクは正直、武藤（敬司）さんをはじめ、小島（聡）さんにしろ今回の佐々木さんにしろ、ボクはその勇気を称えたいんですよ。でもその看板を捨てた時に、ボクが皆さんに言いたいのは大体2〜3ヶ月ぐらいかな？　まあ人によって違うだろうけど、凄い葛藤があるんですよ。

──もちろん、それだけじゃないでしょうけど、ギャラのことを考えると、新日本が一番いいって話ですからね。

大谷　ぶっちゃけ、それもありますよ。「オレはZERO−ONE入ったんじゃん！」って思っても気持ちのどっかに「失敗だったかな？　新日本に残った方がよかったかな？」って葛藤がね、2〜3ヶ月続くと思うんですよね。

──それぐらいの間、葛藤してたと？

大谷　そうです。でもね、ある時を境にスパッと吹っ切れますよ。ボクは自分でも説得力があると思うんですよ。ボクはやっぱりコメントでも本心を言ってるし、だからみんなは「いつまでも引きずって情けない」って言うかもしれないけど、「新日本大好きッ」っていうのは本心なんだもん。それをグダグダ言うヤツは言ってろって思うし。だってボク、小学校2年ぐらいからプロレスファンだから、その時から自分にとってはプロレス＝新日本ですからね。そんな気持ち、簡単に消えるわけないじゃないですか？　今でも新日本大好きだしね。

　それはZERO　ONEに入ってからも、よく言ってますけど、客観的に見て、いまの新日本はちょっと迷走してるなっていうのは感じません？

大谷　そういう声も聞くけどね、ボクは10年いたから、それでその前も10年以上ファンだったから言えるんですけど、新日本は潰れやしませんよ！　新日本プロレスっていうのはそういう時期を逆にチャンスにする団体だし、そういう時期から這い上がってくる団体だと思うしね。やっぱり、日本のプロレス界の一番いい図式は、新日本プロレスっていうダントツのトップがあって、他の団体は「打倒、新日本プロレス！」って立ち向かっていくのが一番いいような気がするんですよね。

──何年か前までは、そういう図式がしっかり出来てたわけですよね。

大谷　そう。それでボクも「ZERO　ONEでいつか新日本を超えてやる」って、そういう気持ちでやっていきたいですからね。外に出た人間が言うと、中にいる人は「お前が何言えんだよ」って思うかもしれないけど、ボクは客観的に見てそう思いますね。

──でも、ここ最近、内容的にはZERO−ONEは新日本を上回ってると思いますけどね。

大谷　そうなのかなぁ？　でも、そんなこと言っていいんですか？（笑）

　個人的にはホントそう思ってますから。最近は新日本のテレビ中継とか見たりしてるんですか？

大谷　う〜ん、正直あんまり見ないかな。誌面とかで新聞とかでは見てるけど。

　新聞とかで目に入ってくるのは、ジョーニー・ローラーがどうしたとか、魔界倶楽部がどうしたっていうネタばっかりじゃないですか？（笑）。

大谷　確かにね、女の子をリングに上げるのはどうかなって、それは引っ掛かるけど、何とか盛り上げようって必死になってるのは伝わってきますよ。これは新日本に嫌われたくないから言ってんだと思う人いるかもしれないけど、ボクはぶっちゃけ本心ですからね（突然）あ、生ビール下さい！

──はい、わかりました（笑）。

大谷　本心言いすぎて、よく会社に怒られたりしてたんだけど、やっぱり、自分は試合の時もそうだし、雑誌とかでも誌面を通してホントのいまのボクの〝喜怒哀楽〟を伝えたいですからね。

　最近のリング上からは〝怒〟ばっかり伝わってきますけどね（笑）。

大谷　最近はね（苦笑）。でも本当は、喜びも怒りも哀しみも、それに楽しさも伝えられるのが理想のプロレスだと思ってるし、そういうプロレスがやりたいんですよ……ゲッ！（とゲップ）。

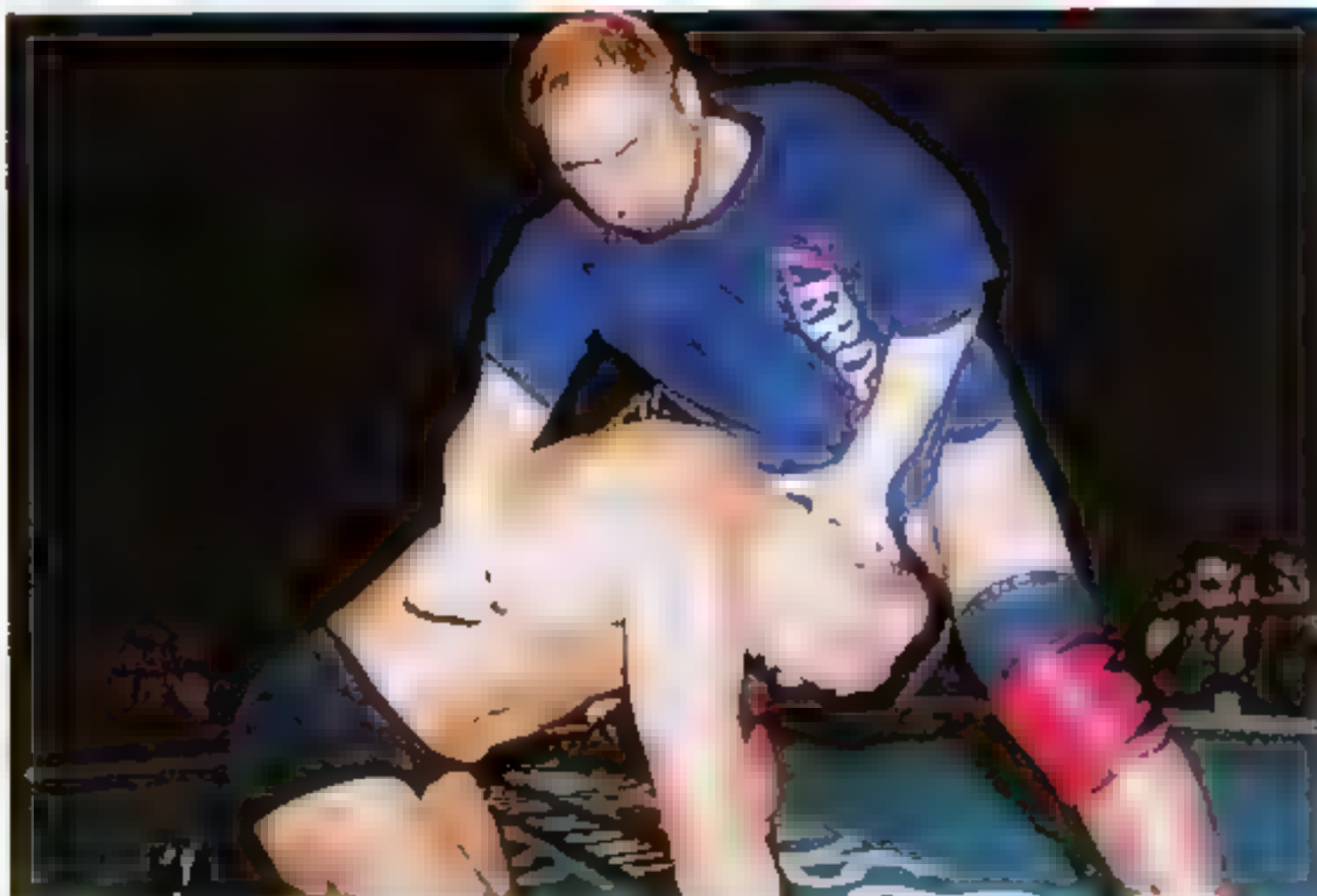
　アハハハハ！　せっかくいい話をしてたのにゲップですか（笑）。

大谷　まあこれもボクの喜怒哀楽の表現の1つですからね（笑）。

　そうでしたか（笑）。で、橋本さんにジョーニー・ローラーのことを聞いたら「俺が女子と闘うっていうことは絶対あり得ない」って言ってたんですけど、大谷さんはどうなんですか？

大谷　いや、ボクも考えられないですよね。正直、想像もできない。

　想像もできませんか？

大谷　でもボクね、女の子と試合したことあるんですよ。

―あるんじゃないですか！（笑）。海外遠征してた時とかですか？
大谷　そうなんですよ。WCWでね、ブル中野さんと闘ったんですよ。
―中野さんとやってるんですか！　シングルマッチじゃないですよね？
大谷　ミックスド・タッグマッチですね。その時、ボクのパートナーが日本にもよく来てた……メドゥーサかな？　それと組んでやったんですよ。これは結構知る人ぞ知る話なんですね。
―初めて聞きましたよ、当然、ブルさんとの絡みもあったわけですよね？
大谷　でもほとんど絡みはなかったな。「ブル中野と絡んだら話題になるな」とは思ってたけどね（笑）。
―ブルさんと向かい合ってる絵は見たかったですね（笑）で、健介さんの話に戻りますけど、大谷さんと同じように「新日本大好き！」って記者会見の時に言ってたんですよ（笑）。
大谷　そうなんですか（●）。……あ、ここで「（笑）」とか書くのやめて下さいね（笑）。
―アハハハ！　大丈夫です（笑）。
大谷　やろうとしたでしょ！　今日は全部言いますからね。「これはダメ、これはダメ」って（笑）。
よろしくお願いします（笑）。
大谷　でもね、健介さんがそう言いたい気持ちはホントわかりますよ。新日本って、中に入ってて、それほど魅力ある団体ですから。出たら、その魅力にもっと気付くんですけどね（苦笑）。
―そういうもんですか（笑）。健介さんは、新日本プロレスは大好きだけど、会社に対する不信感も大きくなってきたみたいですけどね。
大谷　それはボクと違うところですね。ボク、不信感っていうのは全くなかったですから（キッパリ）。
―新日本を辞める間際もですか？
大谷　全くないです！（キッパリ）。個人的に馬が合わない選手とかはいたとは思うんですけど……。
大谷　ボクは、よく長州（力）さんとどうこうって言われてますけど、確かにボクは合わなかったです。それでモメたこともありましたよ。長州さんからしてみれば、凄い下のボクが意見するのは失礼かもしれないけど、ボクは、それは違うだろうと思ったら言っちゃうタイプなんで、衝突したこともありましたよ。でも新日本を辞めたのは100%それが理由じゃないですからね。
―そういうドロドロした理由が原因で辞めたわけじゃないと？
大谷　そうですよ。長州さんとこじれた時も、ちゃんと長州さんが場を作ってくれてね、ちゃんと長州と話してお互い和解しましたから。だからボクがZERO-ONEに移る時は、ある意味キレイに辞めたような気はしますよ。辞める時も、ちゃんと藤波社長のとこに挨拶行って、藤波さんにもいろいろ話をしていただきましたし、長州さん、永島（勝司）さんともちゃんと話をして。最後、長州さんは「頑張れよ！」って言ってくれましたからね。
―円満退団だったわけですね。
大谷　ボクはそう思ってます。でも、あの時はね、ホントに新日本って器デカいなと思いましたよ。新日本を称えるようなこと言って面白くないかもしれないけど、ああやって、ある意味、ボクは裏切ろうとしてるわけじゃないですか？　そういう選手に「頑張れ」ってなかなか言えないと思うしね。藤波社長も長州さんも、そう言ってくれましたよ。「いつかまた出会う日が絶対くるから」とまで言ってくれましたからね。
まあ、マット界は何があるかわからないですからね。
大谷　でもね、ボクは、どこと交流するにしろ、お互いが熱くなって「よし、この野郎！」ってケンカ腰でやらなきゃいけないですけど、そこに持って行くまでの政治的な部分でモメる交流戦なら絶対やりたくないしね。
―それこそ、今回の健介さんの一件は、鈴木みのる戦の話とかも含め、政治的な部分でのモメ事もあったみたいですからね。
大谷　まぁ、鈴木選手との試合に関しては、いろいろみんな思ってることあるかもしれないけど、事実を知ってるのは本人同士だと思うし。まぁ、マスコミの人がそうやって話題にするのはしょうがないことだけど、ボクは事実は本人のみぞ知るっていうことで。そういうことにボクが口を出してもしょうがないし、批判もしたくないしね……でも、こういう答え、『紙プロ』的にはつまんないでしょ？（笑）。
―そんなことないですよ（笑）。でもホント、ZERO ONEは大谷さんにかかってますからね。"炎武連夢"も始動したわけだし。

9・16ディファ有明大会で、小笠原&破壊王のOHビームからボコボコにされる大谷に駆け寄り、救出したのか田中将斗とサコダ・ケイジ。この3人による"炎武連夢"は打倒OH砲だけではなく、マット界全体を見据えている

大谷 始まった始まった（笑）。（疑った目で）誰にでも言ってるでしょ？

——いや、言ってないですよ。

大谷 （佐藤）耕平にも（黒毛）和牛太にも言ってるんでしょ!?

——和牛太さんには言いたいぐらいですけどね（笑）。

ささきい ウチの編集部は、みんな「大谷はいい」って言ってますよ。

大谷 （疑った目で）え～、ホントですかぁ？

ささきい 私、ちょっと前に、ZERO—ONEは大谷晋二郎の団体だ」って原稿書きましたから。

大谷 ちょっと言いすぎじゃない？

——でもZERO—ONEの外人レスラーにインタビューしても、みんな「オオタニは凄い オオタニは素晴らしい」って言いますからね。外人レスラーが大谷さんをおだててもしょうがないですし、それは本音ですよ。それに悪徳レフェリーのフレッドまでそう言ってるぐらいだし（笑）。

大谷 （まんざらでもなさそうに）いやいや、そんなことないですよ。でも、今日はどうしたんスか？

ささきい どんな試合でも場の空気を見て、どう自分がアピールすれば会場が盛り上がるかっていうのをわかってやってるじゃないですか。

大谷 （もっともっととジェスチャーをしながら）もういいよ！ ちょっとそれは言いすぎですよ（笑）

ささきい 前にバトラーツに参戦した時も、リングに上がった瞬間、一気に「俺の試合を見ろ！」って空気を出して、ガーッと持って行くっ様を初めて見て、「この人は凄いレスラーだな」と思ったんですよ。

大谷 何が欲しいんですか！ 金か!?

——アハハハハ！

ささきい こないだの札幌（6・29テイセンホールでの大谷&田中vs金村&黒田戦）での試合は、今年のベストバウトと言ってもいいですね。

大谷 （再び、もっともっとのジェスチャーをして）もういいですよッ！

ささきい 私は、まだ観戦暦は浅いんですけど、あの試合を見てプロレスっていうものの完成形を見たかのような気持ちになりましたね。

大谷 （急に真顔になって）だからホント、何が欲しいんですか！

ささきい 大谷さんの評価は高いとは思うんですけど、専門誌でそれを言ってる人が少ないじゃないですか。それはちょっとおかしいなと思って。一度キチンと言っておこう、と。

大谷 言いすぎ！

——でもやっぱり、マット界全体を見ると『Dynamite!』でのノゲイラvsサップ戦とか、格闘技系の試合にプロレスが押されちゃってるところがあるじゃないですか。それに対して大谷さんはどう思ってます？

格闘技の試合に出ていかなきゃいけない状況になったら、最低2年は欲しい

大谷 やっぱりボクはプロレスラーだからね。ああいう『PRIDE』とか『Dynamite!』とかは、プロレスラーに勝って名前を上げていくようなイメージがボクの中であるんですよ。「その場に出て行かないお前は情けない、逃げてんのか」って言う人がいれば、別にそう言われてもいいし基本的にボクは、プロレスと、勝ち負けを重視した格闘技の試合の違いってあると思うしね。

——具体的に言うと？

大谷 根本的な話をすると、ボクのやりたいプロレスは、さっきも言ったけど"喜怒哀楽"の出せるプロレスなんですよ それが格闘技では全く出せないとは言わない。でも出せない試合が多いと思うから。「いま怒ってんだよ」「いま嬉しくてしょうがないんだよ」っていう部分をプロレスっていうのは全面に出せるわけだし、そういったプロレスをボクはしたいしね。

——なんちゃってバーリ・トゥードっ言われるプロレスより、やっぱり、そういった喜怒哀楽の見えるプロレスの方が見たいですからね。

大谷 そうですか。でもやっぱりファンの人が一番興味あるのは「大谷、お前『PRIDE』出たら勝てるのか、勝てないのか、どっちなんだ」って、それが聞きたいわけじゃないですか？

——プロレスファンの中には「プロレス最強幻想」ってありますからね。

大谷 たとえば、ボクが、そういう格闘技の試合に出て行かなきゃいけない状況になったと。それだったらボク、最低2年は欲しいですね。ホントだったら4～5年、そっちだけの練習を没頭してやらないと「明日出ろ！」って言われたら、ボク勝てないですよ。

——最低2年ですか？ そういえば、大谷さんもよく知ってる某選手が、「それ川の練習を半年もすれば」っていうようなことを言ってて、田村潔司選手が怒ってたみたいなんですよ。

大谷 やっぱり半年じゃ少ないですよ。『PRIDE』とかK－1とかたまに見たらね、みんな練習を積み重ねてね、素晴らしいものを見せてる。凄いと思うんですよね。あれだけファンの人を巻き付けて、凄いと思うけど、プロレスっていう世界を極めるためにずっとやってきた人間が、「明日出ろ」って言われても、「絶対勝てない」とは言わない。ボクにもプライドがあるから。でも、おそらく勝てないですよ。それが情けないって思うのは自由だけど、これは逆にも言えるんですよ。

——ですよね、格闘技系の選手がプロレスのリングに上がることも多いですけど、やっぱり最高のプロレスを見せられる人ってほんの一握りというか。

大谷 そうでしょ そういう選手がね「明日プロレスのリングに上がって誰々とやれ」って言われて、みんなが「凄え！」っていう試合をやって勝つことができますか？ ぶっちゃけ、レスラーって受けてるとこありますよ、「やってみろ、この野郎！」みたいな感じで。それに、いま格闘技やってる選手に「コーナーから真っ逆さまに落ちれますか？ ブレーンバスター受けれますか？」って言いたいしね。

——コーナーから真っ逆さまは格闘技の選手は難しいでしょうね（笑）。

大谷 「そういうのできますか？」って言いたいですね、ぶっちゃけ、格闘技の選手は大怪我すると思いますよ

——お、大怪我しますか！

大谷 お互いの土壌でしっかりやるっていうのは、最低何年っていう期間は必要ですよね、ボクはそう思うな。2年でも足りないと思う。最低2年です。それぐらいで「行けるかな？」って自信が出てくると思う その選手が「半年」って言ったのも、プロレスのプライドがあるから、自分と一緒のような感じで言ったんだろうけど、ボクの考えでは半年じゃまず足りないですね。だから難しいっちゃ難しいんですけど

ボクのやりたいプロレスは“喜怒哀楽”の出せるプロレスです

Uインターとの対抗戦は盛り上がったけど、"最高のプロレス"とは思わない

ね。

それこそ逆を考えると、格闘家が半年やそこらの練習でプロレスのリングに上がっても、大谷さんが、いうところの"最高のプロレス"を見せるのは難しいわけですよね。

大谷 そういうことですよ。まあでも、そういう部分にファンが刺激を受けるっていうのは、しょうがないと思うんですよ。それはどっかでボクらの責任でもあるんですよね。

それはどういうことですか？

大谷 どっかファンの人はプロレスラーの試合に満足してない部分があるわけでしょ。だから違うジャンルの人との闘いを見たいってなるわけじゃないですか。そういう部分は責任感じてますよ、プロレスラーのボクとしては。

——そういう時代に、武藤さんと石井館長が手を組んで『WRESTLE—1』っていうイベントが11月から始まるわけですけど。

大谷 詳しくわかんないんですよ。

——いや、ボクらもまだわかりませんから（笑）。要は、館長が押さえてる格闘技系の選手と、武藤さん率いる全日本の選手を中心にしてプロレスをやるってことみたいなんですけど。

大谷 ぶっちゃけた話、石井館長は凄い人だなあと思います。

——ぶっちゃけなくても凄いと思いますけど（笑）。

大谷 イチイチ細かいチェックしますね（笑）。でも、違う世界から入ってきて、プロレスの世界をこれだけ動かして、そして、あの国立競技場を満員にするっていう実力は素直に評価したいですね。ボクではできないもん！ 国立競技場を満員するなんて。

それは難しいでしょうね（笑）。

大谷 でもひとつだけ「石井館長、それは違いますよ」っていうのがあって。

えっ、それはなんですか？

大谷 文句じゃなくてね「そこは引けないよ」って部分は、この間の（『WRESTLE—1』）一回目の放送で武藤さんと石井館長の対談をやってましたけど、そこで石井館長が「格闘技系の選手と全日本の選手を闘わせて、最高のプロレス作りましょう！」って言ってたんですよ。それは違うでしょうって。日本一のプロレスラーを誇ってるボクからすれば「最高のプロレスを見せる舞台になんで俺がいねえんだ！」って言いたいし「最高のプロレスはオレがやるんだ！」っていう自負がありますね。

——最高のプロレスを見せると言うなら、なぜ大谷晋二郎の名前が出てこないんだってことですか？

大谷 始まった始まったァ（笑）。そっちの方に話を持ってかない！

——わ、わかりました（笑）。

大谷 ぶっちゃけ思うのは、たとえば全日本vsK—1が実現したら、最高のプロレスじゃなくて、刺激的なプロレスをファンの人は期待するんじゃないかなって思いますね。

——ああ、そうでしょうね。

大谷 石井館長の中で最高のプロレスというのは、刺激的なプロレスを含んで言ってるのかもしれないですけどね。昔、新日本がUインターとやった時、ファンも凄いヒートしましたよね。

——あの対抗戦は、いろんな意味で、いい試合が多かったですからね。

大谷 でも、あれが最高のプロレスだと思わないですよ。ボクがやりたかったプロレスじゃないですから。

まあ喜怒哀楽で言ったら、喜とかはあまり出ないプロレスでしたよね。

大谷 そういうことを言ってるんですよ。ああいう闘いは、ボクの思う最高のプロレスじゃないなと思いますね。

——大谷さんは、それだけプロレスというものに対してプライドを持ってるってことですよね。

大谷 それはもちろん。でもやっぱり、石井館長がプロレスの世界に入ってきて、全日本を巻き込んでプロレス界を活性化させようというのは評価しないといけない部分だと思いますよ。ホント凄いよ、あの人は。「あの人」って失礼だな。あの「お方」はかな？

——アハハハハ！ で、大谷さんもZERO—ONE及びにマット界を活性化させようと思って"火祭り革命"を起こしたと思うんですけど。

大谷 そうですね。

現状のZERO—ONEに対して不満もあると思うんですけど、いまのZERO—ONEマットでは"最高のプロレス"を提供してるっていう自負はあるんですよね。

大谷 ZERO—ONEのプロレスというのは、言ってみれば昔のプロレスを胸を張ってやってるんですよ。「こんなんだっけかなあ」ってやってんじゃなくて、胸張ってやってますから。

——でもやっぱり、昔のまんまじゃなくて、昔の、いいエッセンスを取り入れながらの新しいプロレスってことですよね。

大谷 そう、いいこと言った！（笑）。

——あ、ども（笑）。

大谷 橋本さんとは敵対してるけど「オレたちは間違ってない」という気持ちでプロレスをやってますから。それは一緒だと思いますからね。それを胸を張ってやってるのが、ZERO—ONEを応援してくれる人が感じてることじゃないかな。

——プロレスを胸張ってやってる団体がZERO—ONEなんですね。

大谷 それは自負してますよ。だから、いまボクがやってることに対して「タイミングが違うんじゃないか、大谷」って言う人がいるかもしれない。でもボクがやってることは、さっきも言ったけど何年後かにわかればいいし、それで耕平を筆頭に足踏みしてる若い連中が、ガーッと伸びてくれないと会社的にも困るんですよ。

——大谷、田中、そして橋本さんと、下の選手の開きがありますからね。

大谷 そう、いま甘ったれてるアイツらですよ。アイツらが奮起してくれないと、やっぱりZERO—ONEの未来はないですからね。

そこまで思ってるわけですか!?

大谷 だって、ZERO—ONEって、橋本真也や大谷、高岩がトップでやってる間は、ボクの中ではどっかまだ新日本の色が残った団体になるんですよ。やっぱり、耕平なり（崔）リョウジなりああいうヤツらがトップグループに噛み付いて、それがおかしくない状況になればZERO—ONEという団体が独り立ちできると思うんですよ。

——そういう状況になれば、団体としての厚みも違ってきますからね。

大谷 橋本、大谷、高岩というのは所詮、新日本上がりなんですよ。ZERO—ONEに入門してイチからやったわけじゃないから。旗揚げからいたけど、プロレスラーとしてはイチからじゃないから。ZERO—ONE上がりがトップクラスに行くようになった時にね、もっと独り立ちすると思うな。

そういう意味では、山笠Z信介選手をはじめ、他の若手選手も、いま以上に頑張らないといけないですね。

大谷 まだまだだけどね。そういう連中にどれだけ期待してるか。オマエらもっと切羽詰まれって。

「もっと切羽詰まれ」っていい言葉ですね（笑）。

大谷 （満足そうに）ねっ？ いいこと言うでしょ、ボク（笑）。

——そうですね（笑）。

大谷 でもホント、耕平にしろ、リョウジにしろアイツらはいまスターになるチャンスなんですよ。オマエらがホントに熱い気持ちで向かってくるなら、オレは逃げも隠れもしないよって。そ

カメラマンまで参加しての、怒濤のホメまくり攻撃に「ヤメて下さいよ～」と謙遜しながらも、もっともっとのジェスチャーでさらなるホメ言葉を要請する大谷。左は初インタビューのささきぃ

れで潰されて負けても悔いはないもん。そうなったってボクは諦めないし、また這い上がってやるし、その繰り返しがプロレスの面白いところじゃないですか……なんかボクって、言ってることがジジ臭いでしょ?

――いえいえ（笑）。

大谷 でもプロレスラーのプライドを早くウチの若い奴に持ってもらいたいんですよね。「プロレスってスゲエんだぞ、素晴らしいんだぞ」って。耕平とかもアピールしてるつもりだろうけど全然足りない! オレの耳まで届いてこないよ! もっともっと無我夢中で狂って来りゃいいんだよ!

――とにかく若い選手は、大谷さんを見習ってもっと狂え、と（笑）。

大谷 なんかねぇ、俺が狂った人間みたいない言い方してません?

――そんなことないです（笑）。話は変わりますけど、〝炎武連夢〟っていうのは魔界倶楽部のように増殖していこうと思ってるんですか?

大谷 いや、増殖っていうか、炎武連夢ってZERO　ONEの中だけのもんじゃないと思ってるから。「何くそ、炎武連夢!」って向かって来る人が他団体から来たり、それでいいと思う。逆に「炎武連夢に興味ある」っていう人は言って欲しいしね。

ZERO―ONE内だけのユニットじゃ収まらない、と。

大谷 収まらないです　同じ志を持った人間が集まって来るっていうね……どっかから引き抜くとかそういうんじゃなくて。「こいつはもしかして俺らとやりたいんじゃないかな?」と思ったら、自分らも声かけるかもしれない。

――現実的には、すぐには難しいとは思いますけど、ある程度形ができたら、他団体に殴り込みをかけるとか、いろいろ構想はあるんですよね。

大谷 それは時期を見てですね。ボクの気持ち的には、こないだ秋山（準）選手が「OH俺より大谷、田中に興味がある」って名前を出してくれてね、それは凄い嬉しいんですよ。

――秋山さんの名前が出ましたけど、NOAHで言えば三沢さん、全日本では武藤さんや天龍さんがトップでいるわけですが、やっぱり同世代の選手に目が向くわけですね?

大谷 やっぱり、ボクが気になるのは全日本では小島（太陽）ケアであり、NOAHでは秋山選手、斉藤（彰俊）選手ですね。新日本で言えば永田（裕志）なり天山（広吉）なり、そういう同世代の選手に目が行きますね。あ、ウーロンハイ下さい。

――今度はウーロンハイですか（笑）。

大谷 いま名前を上げた人間って最高のプロレスをできる人間だと思いますからね。そう思ってなかったら名前なんて上げないですから。それで、いつも自分が言うのは、日本中のプロレスファンに「自信持て!」って。プロレスって楽しくて、激しくて……いや、楽しくては最後がいいんだよな（笑）。

――順番があるんですか（笑）。

大谷 プロレスってこんなに厳しくて、過酷でね、でもこんなに楽しいものはないんだよって。それはファンの人たちも何年か前はわかってたことだろって。それが最近薄れてきてると思うんですよ。ボクはその気持ちを片時も忘れたことはないから。「オレらも胸張ってプロレスやるから、プロレスファンも胸張って歩こうぜ!」って……いいこと言った!（笑）。

――いいこと言いましたねぇ（笑）。……

大谷 （満足そうに）でしょ? ……ゲッ! でもボクはね……ゲッ!

――ダブルできましたか（笑）。

大谷 ここ「ゲップ2回」って、ちゃんと書いて下さいね（笑）。

※

大谷晋二郎の本音（&ゲップ）ぶっちゃけトーク、前編はここまで。次号、後編では「本邦初公開! マスクマン時代を語る」「大谷が考える前座試合の意味」「新日時代、控室でライガーにボコボコにされた理由」「雑草コンビ・高岩との思い出」さらには「彼女が欲しい」との切実な願いまで、またもや本音ぶっちゃけトークが炸裂! 刀を振り回しながら、次号を待て!!

【10月8日／東京・港区「六本木ハリウッドスター」にて収録】

**炎武連夢も熱いけど
このマンガも熱いぞ!**

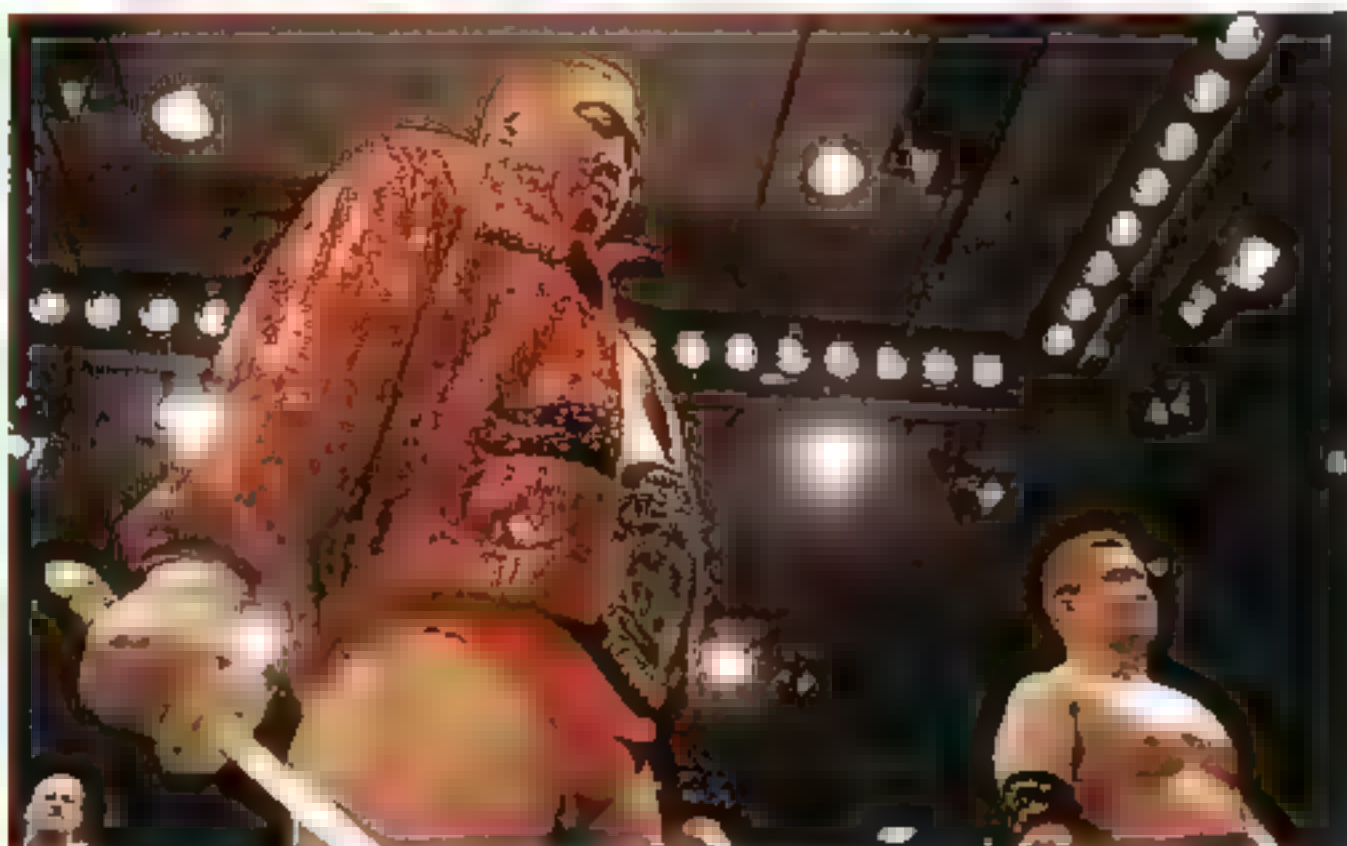
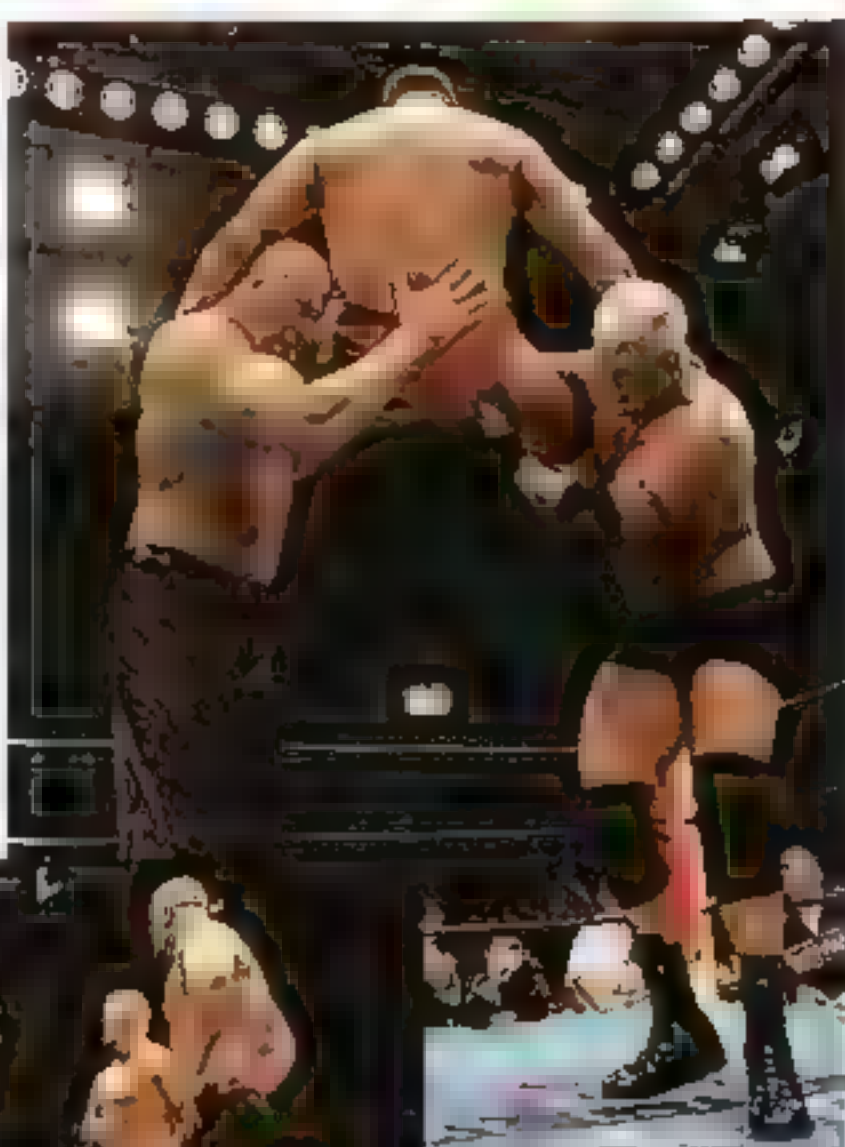
LIZARD KING
リザードキング
2

時は来たた!
このマンガが天下を取るぞ!!
破壊王
橋本真也

前号の読プレでも紹介したが、破壊王&ZERO-ONEファン必見のマンガが馬場康誌先生の「LIZARD KING」だ。中には署本新矢（はしもと・しんや）なる破壊王似のキャラも登場しているぞ。ワニマガジン社より絶賛発売中!

月刊誌なりの
10・20
ZERO-ONE
後楽園速報

10・20 ZERO-ONE後楽園 インパクト BEST 7

No.1 “炎武連夢”（大谷&田中）初陣を飾れず!

後楽園ホールのバルコニーに届きそうな“ツインタワーズ”、決して大谷&田中が小さいわけではない タッグ王座防衛も6度目を迎え息の合った連携を見せる“炎武連夢”大谷&田中たが、初参戦のヘンデンリッチは、ダブルトロノプキックにもびくともしない プロレスは●タだが、とにかく頑丈!

ツイン・タワーズのケタ違いのパワーに圧倒された炎武連夢 最後は田中か、3メートルの高さからマットに叩きつける荒技“タワーダンク”て敗北、ベルトを奪われてしまった 試合後、新王者にプレテターとスヌーカJr の“新超獣コンビ”がベルトへ挑戦要求 翌日、25日の名古屋大会でのタッグ選手権か決定した ベルトを奪われた大谷&田中は落ち込んでいるかと思いきや「屁でもねぇぞ! 負けを知った俺たちは怖ぇえぞ! マット界全部を掻き回してやる!!」と炎上! 他団体への乗り込みも辞さないことを宣言 う～ん、炎武連夢ッ!!

No.2 熱愛騒動後、初試合! 坂田と小笠原の因縁“死合”迫る!

この日はセミで横井宏考と対戦した小笠原 グラウントで攻め込まれる場面もあったか最後は得意の打撃でKO! そこへ坂田か乱入し小笠原を大流血に追い込んた

グローブを付け登場した小林はロープの反動を利用してのジャンピングパンチ等で坂田を追い詰めた. 途中、素手になり強烈な正拳!

文/チョロ&さささい
撮影/平工幸雄
designed by hisa Two Three

小笠原と小林の空手軍団のセコンドには謎の死神博士風の男が付いた しかし、この死神博士風の男は、リンクに上がると坂田にボコボコにされてしまった ヒィー!

最後は危険な角度でアームロックが極まり小林はタップ 坂田は「小林は勢いかあっていいね 小笠原のソノイとは違う」とコメント

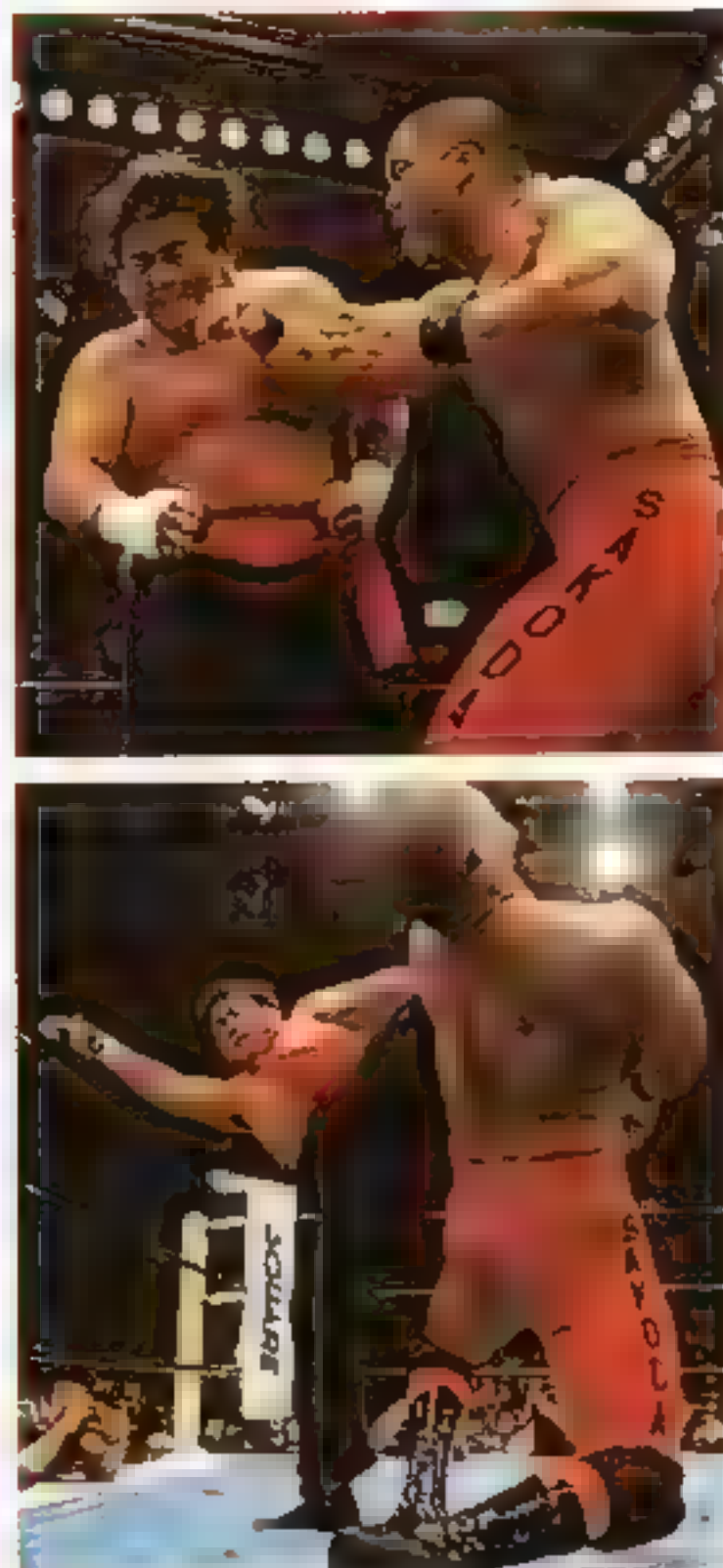
以前からの因縁に加え、東スポ一面にもなった小笠原の会見での「坂田を殺す! 残念たが、彼女との関係も、それで終わり」との発言に、「プライベートのことは関係ねえだろ!」とマンギレした坂田 危険すぎると判断したのか、10月シリーズでの2人の絡みは一切なし しかし、この日の試合後、タウンして起きあがれない横井に、さらに攻撃を加えようとする小笠原を坂田か鉄拳制裁 耳から大流血した小笠原と坂田の因縁“死合”は、いつになるのか!?

人気グラビアアイドルが相手だけに、後楽園にはワイトショーのリポーターが多数つめかけた。上は名古屋の坂田道場を映し出すテレビ番組

No.4 スパンキーがWWEに転出!「ボクは必ずZERO-ONEに帰ってくる!」

前回の来日で高評価を得て再来日のロウ・キー(シウバ似)。その空中殺法&打撃センスは必見!

スパンキー売り出しに力を入れていた破壊王は正しかった!? 試合後マイクを手にしたスパンキーは「11月からWWEに移籍します でも、またいつか、ZERO-ONEに帰って来ることを約束します アイ・ラブ・ユー・ジャパン」

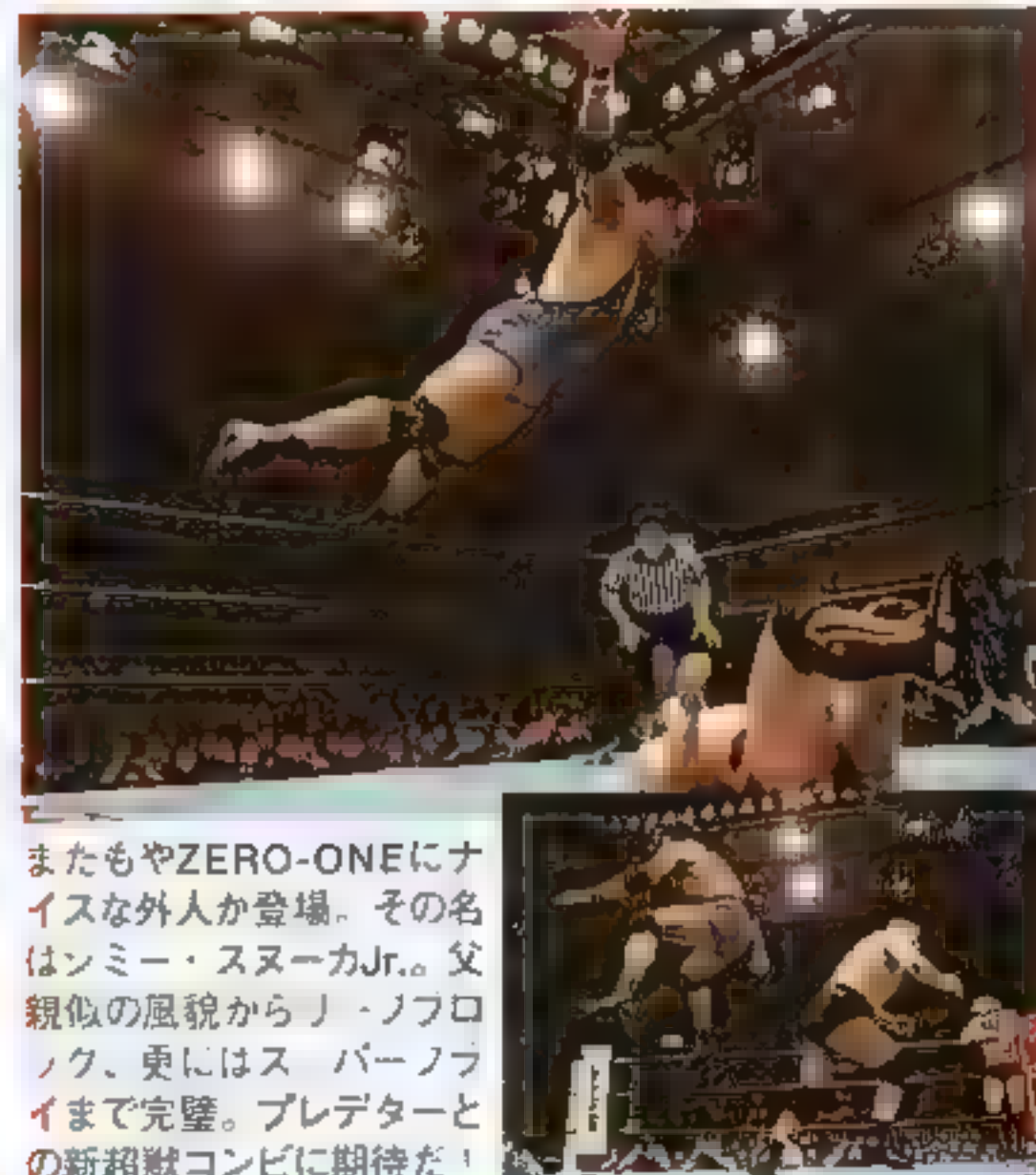
No.3 破壊王、第1試合に登場! そして全日本との対抗戦にGOサイン!!

東京ドームで行われたドラゴンとの"復帰試合"から2年ぶりに破壊王が第1試合に登場。サコダに"格"の違いを見せつけ、試合後は「オレが闘った限りでは、大和魂がアイツの中にあるような気がした」とサコダを評価。さらに前日の高岩&星川の全日本への乱入に対し「高岩! もうグリーンボーイじゃねぇんだ。10年選手だろ! 責任持って、全日本を叩き潰してこい!!」と、ブチかまし、その後、早々に会場を立ち去った破壊王。何か用事でもあったの?

No.7 Why? GAEAにゼロワン外人勢が参戦!!

大会後、全女からレフェリーを派遣してもらっているのに無意識に全女vsGAEAの興行戦争に参加してしまったZERO-ONE。スパンキーが広田さくらとタイタニックポーズを披露すれば、プレデターもいつも通りの大暴れ!

No.6 またもた完売! 葛西グッズ絶好調でウキッ!

前回の後楽園大会で破壊王とのコラボTシャツを(勝手に)販売し、見事完売させた葛西純。この日は、なんと自ら描いた「ZERO-ONE七福神(&葛西純)手ぬぐい」を1500円で販売。またもや限定100枚を即日完売! ウッキー!!

No.5 スヌーカJr.ゼロワンにスーパー飛来!!

またもやZERO-ONEにナイスな外人が登場。その名はジミー・スヌーカJr.。父親似の風貌からジャンプフロッグ、更にはスーパーフライまで完璧。プレデターとの新超獣コンビに期待だ!

番外編 なぬっ? あのGKもダンシング!?

テレビ解説席で富豪2夢路と黒毛和牛太と一緒にタンシンクしているのは、『週刊ゴング』編集長のGKだ。

この日から始まった全四戦のZERO ONE10月シリーズ。常連外人トム・ハワードの不参加は寂しいが、それを軽く上回る、話題てんこ盛り状態となった後楽園大会。

"炎武連夢"(エンブレム)とチーム名が決まってから初ファイトとなる大谷晋二郎&田中将斗&サコダ・ケイジの3人、サコダが第1試合で破壊王と激突すれば、大谷&田中はメインでツインタワーズとのNWAインターコンチネンタルタッグ選手権と、第1試合とメインを炎武連夢でサンドイッチ。ベルトは失ってしまったが、身軽となった大谷&田中は、現在NOAHのGHCタッグ王者の秋山準&斉藤彰俊、全日本の小島聡、太陽ケアの名前を上げ、炎武連夢としてNOAH、全日本への参戦をブチ上げた。

そして、小池栄子との熱愛報道後、初試合の坂田亘。危険すぎて10月シリーズでは小笠原との直接対決は組まれていないか、この日の乱闘で、やるざるを得ない状況に。

さらに、大会前日の全日本新潟大会へ殴り込みをかけた高岩竜一&星川尚浩に対し、激怒したカシンは現在抗争中のカズ・ハヤシと一時休戦の握手をし、10月26日のZERO－ONE大阪大会への逆殴り込みを宣言。

これを受けた破壊王は「やるんやったら、責任持って全日本を叩き潰して来い!」と全日本との対抗戦にGOサインを出した。返す刀で「AV嬢のプロレスは認めん!」との理由から、これまで金村、黒田の参戦等、協力関係にあったWEWとの交流を大谷&田中等の出場がすでに発表されている11・4横浜大会以降締結すると発表。

それだけでは終わらない。大会後は、なんと女子プロ団体GAEAのビッグマッチへプレデターら外人勢を派遣するなど、ZERO－ONEの"熱"は団体内だけでは収まりきらず、外へ向かって放出され始めている。

とにかく、面白ければ何をやっても許される。いま一番熱いプロレス団体ZERO ONE、12・15の両国大会へ向け、突き進め――ッ!

【ZERO ONE11月シリーズへ続く】

オマエら、ハシフ・カーンを着るんや!!

ハシフ・カーン(破不可)Tシャツ

[イエロー]

FRONT

破不可
nobody knows
who is
HASHI FU KANE
from
CANADA

BACK

who ?

[ホワイト]

FRONT

破不可
nobody knows
who is
HASHI FU KANE
from
CANADA

BACK

who ?

¥3,800
SIZE S or M or L or XL

パーカーも破不可やッ!

FRONT

破不可

BACK

¥6,000
SIZE M or L or XL

ハシフ・カーン、そして、破不可って何だ?

「ハシフ・カーンって誰だ!?」と疑問を抱く平成のデルフィンたちよ、ハシフ・カーンとは破壊王が新日本プロレス時代、海外遠征先のカナダで使用していたリングネームだ！　破壊王が織田信長に心酔するあまり変身したと言われているが、詳しいことは一切不明。現存している写真も、上のレコードジャケ1点のみと言われている。その幻の強豪をモチーフにしたTシャツが「破不可」なのだ。ちなみに「破不可」とは、ハシフ・カーンと語呂を合わせたネーミングで、「オレは壊すが、オレは壊れんぞ！　オー、エイチ、ホウッ！」という意味。発売を記念して、破壊王もハシフ・カーンへの変身に大乗り気というから、日本初降臨の際には「破不可」を着て全員集合だッ！　ん～ッ、破不可ッ！

『紙プロ』発 ZERO-ONEグッズ

…を着るんや!
丸ごと買えーッ!!

Mr.フレッド『TWOOO』Tシャツ

12・15ZERO-ONE両国大会に来日!?
これを着て一緒に『TWOOO』と叫ぼう!

[ベージュ] FRONT BACK

[カーキー] FRONT BACK

[ネイビー] FRONT BACK

¥3,800
SIZE…S or M or L or XL

今年の冬は『TWOOO』パーカーでテッパンです!

BACK

FRONT

¥6,000
SIZE…M or L or XL

全国のゼロ族より「売ってちょうだい!」と大反響!
早い者勝ちな通販方法ですよ

希望商品の代金＋送料¥500を郵便振替か現金書留で下記の住所まで郵送してください。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品(サイズとカラーを明記)を必ず表記してください。記入しないと商品が発送できません。

[郵便振替の宛先]
00130-3-769154

[現金書留]
〒151-0051東京都渋谷区
千駄ケ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス

[お問い合わせ先]
(株)ダブルクロス
TEL.03-3403-5188

 ZERO-ONE会場でもお買い求めできます。

巻末SPECIAL INTERVIEW

右目眼窩底骨折の悪夢から2ヶ月――。11・24東京ドームに出陣準備OK

桜庭和志

8・28国立競技場――。「日本国民全員が注目するなか」と、表現してもいいほどの注目度で行われたサクvsミルコ(・クロコップ)戦。2Rまで試合を優位に進めたサクだが、アクシデント気味にカカトを目に喰らい、眼窩底骨折！　無念のドクターストップ!!……そして一時は、またも長期欠場の噂まで流れたが、サクは早くも甦った。「ん〜、プライドッ!!」な復活劇はすぐそこだ！

聞き手／山口日昇
撮影／森“モーリー”鷹博
designed by hisa Two Three

――桜庭さん、いきなり聞きますけど、復帰時期は決まってないんですか？

桜庭　決まってるとか、決まってない以前に……引退しようか迷ってるところです。

――ゲ！　引退!?

桜庭　貴乃花の心境がわかりますよ。貴乃花、大変でしたね。

1年ちょっと休んで、横綱という地位で相撲取るのは、常人ではわからないプレッシャーでしょうね

桜庭　協会の方からもいろいろ言われてたみたいだし。

――みたいですね。で、桜庭さんは、ホントに引退考えてるわけですか!?

桜庭　いや、ゲームを引退しようかなぁと思って（つぶやくように）。

――好きなゲームを引退してでも、試合をする気は全然あるということですね（笑）。

桜庭　そうですね（ニコニコ）

――そういう形で人をビックリさせるのはやめてください（笑）。ミルコ戦から2ヶ月近く経ちますけど、あの結果になったときは、瞬間的にどう感じたんですか？

桜庭　またかよ〜」って感じですね。シウバとの2回目のときの怪我（左肩）だけなら何ともなかったんですけど、実は試合の2ヶ月前にも怪我してたんですよ。

――ゲ！　ど、どこをですか？

桜庭　逆の肩を同じような感じで右肩を？　マジですか！

桜庭　それもあったから、「また（怪我）かよ」って感じで。7月いっぱいで治りましたけどね。

「勝った分だけ負けて、
負けた分だけ、これからまた、
勝ち始めると思います」

目が見えなくてもタックル取れたから逆に自信持っちゃいました

そんなことがあったんですね。それでも試合は出なきゃいけない。

桜庭　いやぁ、そんなことないでしょ（笑）。

——貴乃花みたいに協会から「出ろよ」と無言のプレッシャーをかけられたりとかなかった？（笑）。

桜庭　でも自分で「出る」って言ってるんだから、それは自分でやるって決めたので、やったんですけど。しょうがないですよ。

　プロだなぁ。でも試合自体を振り返ると、楽しんでるようにも見えましたけどね。

桜庭　ああ、面白かったですね。だって、ああいうときぐらいしか人を思いっきり殴れないし。十字取ったって、練習だとギリギリまでじゃないですか？　試合のときは思いっきり……たとえば、こないだのハイアンの試合（9・29『PRIDE.22』の大山峻護戦）ぐらいできるし。そういう意味では楽しかったですけどね。

——自分で一番覚えてるシーンって、どの場面ですか？

桜庭　いろいろ覚えてますよ。カカトが飛んできたのも覚えてるし。

——あ、目をやっちゃったときの。蹴り上げられた瞬間は「ヤバい！」って思ったんですか？

桜庭　「あ、見えない」と思いながらタックル入ったんですけど、見えなくてもタックル取れたから、「あ、取れるじゃん！」って、逆に自信持っちゃいました。目が見えなくても取れたからよかったなぁって（笑）。で、パーッとタックル入って、向こうがガード取ったじゃないですか。後からビデオ見たらボクが殴られてたけど、あのときボクはもう目の確認してたんですよ、パチパチしながら。「あ、見えねぇな」と思って。

——「下から殴られて嫌そうな顔してんのかな」って現場では思ったんだけど、後から見ると明らかに様子が違いますよね。

桜庭　目が開くかを確認してて。「あ、ヤベッ！　見えねぇ……たぶんドクターストップだな……」「うわっ！　ま～たやっちゃったよ」みたいな感じでやってましたね。試合してて、目が腫れたりとかはあるけど、その感覚と違ったんですよ。一発で目が見えなくなったんで。眼窩底骨折とは違う腫れのときは、だんだんブクーッて腫れていくんですけど、すぐ見えなくなったから、「こりゃドクターストップかなぁ？」と思いましたね。

　「何で俺ばっかりこうなるんだよ！」とか誰かを恨んだりしなかった？（笑）。

桜庭　いや、それはないです（笑）。で、リングドクターに診てもらってるときも、一応「やります、やります」とは言ったんですけど、「こりゃストップだろ」とか思ってましたからね（笑）。リングドクターが指を「いち、に、さん」って出して、「1本、2本、3本」って何本に見えるか確認するんですけど、1の後に3にフェイントかけたみたいなんですよ。でも、ボクは「2本」とか言ってたから。「フェイントに思いっきりかかってましたよ」とか後で言われて（笑）。

——騙された（笑）。

桜庭　でもボクには2本に見えたんですよ。だからしょうがないですけどね。自分でそういう場面作っちゃったんで。……あのとき「ラスト30秒！」って聞こえたのがいけないな。その時点で、会場が「シーン」としてるのがなんとなくわかったんで……。

——プロの虫がうずいた。

桜庭　で、一発殴ったらちょっと沸いたんですよ。〝あと30秒だから、2ラウンド目の終わりは盛り上げて、3ラウンド目に繋げよう。もういまからガードを超えて関節取るのは絶対、無理だ〟と思って。殴って「ワーッ」と盛り上ったとこに「カーンッ！」とゴングが鳴って2ラウンド目が終わる。で、3ラウンドめに突入っていうストーリーを考えてたんですけどね。

　それを考えてる間に、下から目に蹴りを喰らっちゃったと。試合中から痛みはヒドかったんですか？

桜庭　リングを降りてから、ヒドくなりましたね。

——じゃあ、マイクで挨拶するために花道で待ってるとき、痛くて痛くてしょうがなかったでしょ？

桜庭　あれはね、「自分で言う」って言ったんですよ。山本（憲尚）さんに「何か言っといた方がいいですかね？」って言ったら「そうかもしれないですね」って言われて。「じゃあマイクお願いします」って言ったら、ホイスとかがね……。

——グレイシー一族の長い抗議が始まった（笑）。

桜庭　「なっげぇな～！」って思って。だから氷もらってバーッてかぶって頭冷やして。何とか待ってようと思ったんですけど、アイスを食べたときにキーンとする箇所があるじゃないですか？　あのへんを中心に頭4分の1ぐらいがドーッと痛くて。翌日からも頭痛がズーッと続いてたんですよね。

——いまは取れたんですか？

桜庭　取れましたね。でも酒飲むと痛くて。

——そんな状態でも飲みたい！

桜庭　高田さんから「とりあえず8月28日まで禁酒ね」って7月の頭ぐらいに言われてて、2ヶ月ぐらいズッと禁酒だったんですよ。で、試合前に高田さんに「終わったらガーッと飲みに行こうよ」みたいな感じで言われたんですけど。でも、試合後も3週間ぐらい飲めなくて。10日ぐらい経って「飲みてぇなぁ」と思って1回挑戦してみ

8・28——」サクラバン・ベイダーで元気よく登場したサクは、試合後にはリアル丹下段平のようになってしまった。気合いノリもよく、試合も押せ押せムードで行ったのだが……「ん〜、ダイナマイッ!!」な結末は訪れず。待ってるぞ、サク!!

KAZUSHI SAKURABA

たんですよ。とりあえず350ミリの缶ビールを1本、恐る恐る飲みながら「あれ？痛くねえな？」とか思って。

——チャレンジャーだなぁ。

桜庭　「じゃあ焼酎1杯飲んでみようかな」と思って、2口ぐらい飲んだら痛くなってきた。「もうダメだ！」と思って……また1週間後に挑戦したんですけどね。

——冒険者だなぁ。

桜庭　左肩を怪我したときは酒飲めましたからね。そこがちょっと嫌ですね。

——いまは目の痛みは？

桜庭　いまはないですね。でもまだ少し二重に見える部分はありますけどね、部分的に。スパーリングしてて、上になってればそうでもないですけど、下になったときが見づらいですね。ガードになるときに。

——ああ。まだ右目周辺はうっすらと黒ずんで見えますね。

桜庭　（ボソッと）今日はアイシャドーしてるから。

——また始まった（笑）。怪我と結果を置くと、ミルコ戦は冷静だったから、「これはイケる！」って感覚はあったでしょ？

桜庭　タックルを取れた時点で、「あ、これは何ラウンド目かにイケるかな？」って思いましたね。

——ミルコの蹴りの威力は他の『PRIDE』の選手と違いました？

桜庭　まぁ、タイミング取るのはウマかったですよね。ボクの場合、タックルに入ろうとして前足に体重がかかってるから、ローキックやられるのはしょうがないと思ったんですよ。それを嫌がって後ろに体重かけたらタックル取れなくなるから。だからローは効いたけど、あともう1ラウンドぐらいは我慢できるなって感じでしたね。

——一番間近で見てたカリスマレフェリーの島田裕二は、「サクちゃんの場合は、メインイベントっていう意識があって観客を喜ばせようとするから、膠着しないように動くでしょ。ジックリやってたら絶対、行けてた」って言ってましたね。

桜庭　島田さん、そのときにアドバイスしてくださいよ！　ひと言いってくださいよ！

——ガハハハ！　レフェリーが「サクちゃん、ジックリジックリ」とアドバイス。新しいなぁ、それ（笑）。

桜庭　でも、5分3ラウンドじゃ、ジックリやれないじゃないですか！

——確かに5分は短いですよね。

桜庭　あ！　アドバイスっていえば、ボクがロープ際でミルコを押さえ込んだときあったじゃないですか。そうしたら、目の前に（豊永）稔がいて、こんなんなって時間計ってるんですよ！　こうですよ、こう！（机にヒジをついた横柄なポーズ）。

——ダハハハ！

桜庭　試合終わって1週間ぐらいして道場来たとき、「お前、時間なんか計ってねえで何かアドバイスしろよ、この野郎！役立たず！」って怒ったんですけどね。

——ガハハハ！　稔君はセコンドじゃなくて、審判席にいたんだからしょうがない。

桜庭　稔は冷静に「仕事しなきゃいけないじゃないですか。怒られますよ」とか言ってましたけどね。こうですよ、こう！（再び机にヒジをついた横柄なポーズ）。

——もはや大御所ですね（笑）。

桜庭　ちょっと作ってますけどね（笑）。で、ミルコとはもう1回闘いたいっていう気持ちはあります？

桜庭　あ、ありますね。

——実際、シウバ戦で肩を怪我して、ミルコ戦は目じゃないですか。「自分の運が落ちてきたのか？」とは思わないですか？

運気とかは別に気にしないですね。
人の人生、運とかで決められたら嫌だし
TOURNAMENT
2002.11.17sun
TAKADADOJO
39

桜庭 思わないですね。「次はどこ（怪我する）かな？」って感じです。

ガハハハ！

桜庭 下半身がまだなんですよね。だから次は、真ん中の足かもしれないし

――ガハハハ！ どんな怪我だ（笑）。

桜庭 運気とかは別に気にしないですね。人の人生、運とかで決められたら嫌だし。

――たまったもんじゃないですよね（笑）。

桜庭 手相にしたって、あんな手のシワで自分の人生決められたら嫌ですもんね。シワじゃないですか、ただの！

ガハハハ！ 「たかがシワだろ！」

桜庭 何月何日に生まれたとかそういうのだって、人生のこれからの部分に勝手に線路敷いちゃってるもんじゃないですか、占いなんて。ボクには合わないですね。

――じゃあ、今後は自分でどういう線路を敷いていこうと思ってるんですか？

桜庭 …………………

またこういうときにしゃべんないんだよなぁ（笑）

桜庭 いや、行きたい方向に行ける線路を敷く

――だから！ その行きたい方向を具体的に聞かせてください（笑）。

桜庭 じゃあ、線路じゃなくて……ボコボコしてる道でもいいから、車で行けば大丈夫じゃないですか？

あ、そういう話（笑）。

桜庭 車ならどこでも行けるから。あ！ あれだったらいいんじゃないですか？ 『ナイトライダー』の車！

――あれば欲しいですよ！（笑）。

桜庭 あれ、海も走るんですよね、で、文句言うの。勝手にどっか行っちゃうし。「歩いてけ」とかアドバイスもくれるし。

――そういうアドバイスを稔君からもらいたかったと（笑）

桜庭 あ！ 次は稔にレフェリーしてもらって、「カーン」って始まった瞬間に相手にイエローカード渡させる 相手に「何で？」って言われたら「いや、俺は高田道場だから」とか言わせるのはどうですか。

ノーコメントです（笑）。

桜庭 そうやってくれればいいなと思って、いつも頼んでるんですけど、「いや、それはできません」とか言って断られるんですよ でも、それをやってこそ、高田道場の人間じゃないですか！

――ガハハハ！ それは新しいなぁ。

桜庭 やってほしいなぁ……。

そういう道に進みたい、と（笑）。で、11・24のドームはどうなるんでしょうか？

桜庭 東京ドームですか？ まだわかんないですね。でも稔がレフェリーやるんだったら相手は誰でもいいですよ。11月24日でしたっけ？ それまでに稔を洗脳しますから。「あのレフェリーはダメだ！」とか文句言われたら、「俺らは2人で1人なんだよ！」って言えばいいし（ニコニコ）。

たとえ、そういう道を選んだとしても（笑）、桜庭さんが上がるリングは『PRIDE』1本ということになりますか。

桜庭 そうですね。『PRIDE』以外って何かありますか？……あ、『BEST』？

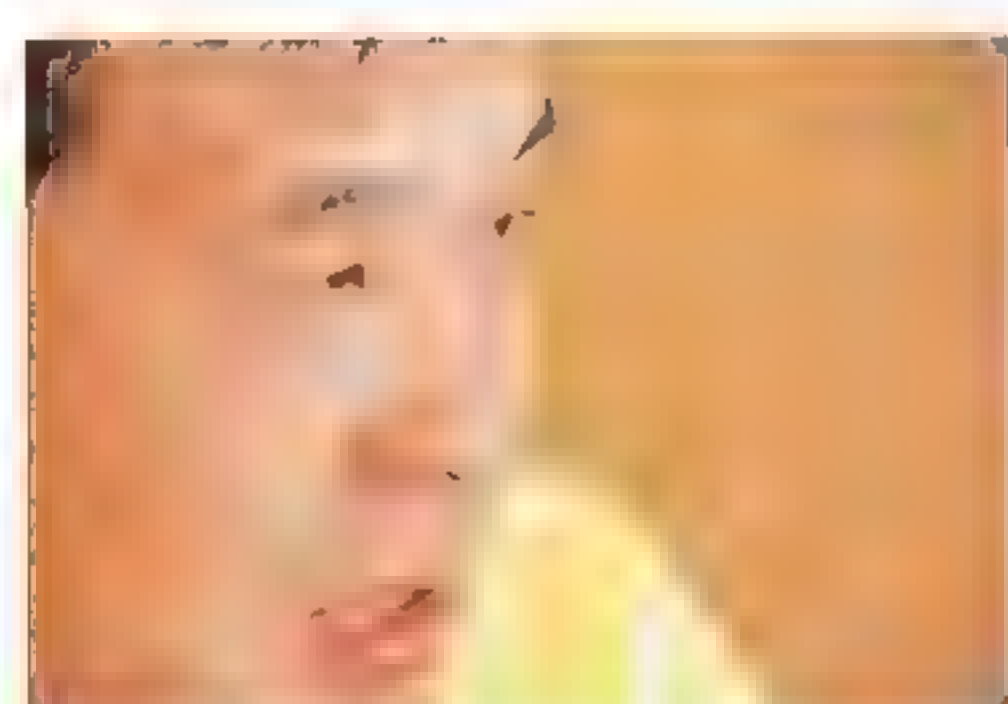
『BEST』に桜庭登場！ それなら会場はドームに変更ですよ（笑）。

桜庭 いや、東京ドームでやったら『BEST』じゃなくなっちゃうじゃないですか。

――『BEST』に出て、ジョー・サンみたいにTバックで出てくれるなら見てみたいですけどね（笑）。

桜庭 そ、それも嫌だなぁ、ケツ毛を見られてると思うと嫌ですねぇ。（ボソッと）ボク、ケツ毛が濃いから……。

KAZUSHI SAKURABA

――ガハハハ！ どんなカミングアウトだ。

桜庭 だ～って、恥ずかしいじゃないですか！ っていうか、あんなリングの真ん中にTバックで入っていったら、み、みんな見るじゃないですか！

――ガハハハ、そりゃ見ますよ。ケツを見せたいと思ってやる人もいますけどね（笑）。

桜庭 ああ、（故ディック・）マードックとか藤波（辰爾）さんとか。藤波さんもタイツがめくれたこと2～3回ありますよね。

ありましたね（笑） 桜庭さんは、笑いで言うと、思いっきり恥ずかしいことをやって笑わせるタイプじゃないもんなぁ。

桜庭 ダメですね。どっちかっていうと……ビートたけし風（照れ臭そうに）。階段昇るときにスッ転んだり、被り物したり、ケツ出して笑わせるんじゃなくて……

――タイミングで笑わせる。

桜庭 何か自分が失敗をして笑わせるっていうか「普通、そんなとこでコケねぇだろ」って感じじゃないですか。

――なるほど。ビートたけしもそうだけど、桜庭さんもシャイだもんなぁ。でも弾けたときのビートたけしなんか、ケツどころか、チンチンとかキンタマとかヘーキで見せちゃいますよ、進んで（笑）。

桜庭 そうなんですか？

――昔の話ですけど、ライブとか深夜番組とかでは楽しそうにやってましたよ……って、なんの話だ

桜庭 ヒャハハハ。

――ところで国立競技場はどうでした？ ああいう歴史に残る、特別な舞台に立つというのは。

桜庭 暗いからよくわかんない。昼頃にやったら人の多さとかわかると思いますけど。

――でも地鳴りのような歓声はわかったんじゃないですか？

桜庭　でも、こないだのあれも凄かったですよ、ボブ・サップとホーストのとき（10・5K—1）。
——あ、さいたまスーパーアリーナの。確かにあのときも凄かったですね。そのサップにはどういう印象を持ってますか？
桜庭　いや、特に（笑）。大きいなっていっても、セーム・シュルトより大きくないし。ベイダーの方が大きく見えましたね。
——たとえばサップvsノゲイラでは、あれだけ体重差がある試合でノゲイラが勝って……。
桜庭　ボブ・サップ、10分やってバテてたでしょ？
——1ラウンド終わったときは「死ぬかと思った」って言ってましたね（笑）。
桜庭　でも、それでもやるとこが凄いですよね。こないだのホーストのときも、あれだけローキック喰らって、もう泣き顔でしたからね（笑）。
——でも、次の日になると「全然効いてない」って言って、ピョンピョン飛び跳ねるんですよ（笑）。ああいう不平等な闘いは、やる人にとってはたまらないだろうけど、見る方にとっては、とてつもなくスリリングですよね。桜庭さんは、そういう闘いはやってみたいとは思わない？
桜庭　え、サップとやれってことですか？
——いや、サップじゃなくてもいいんですけど。だから、昔のプロレスのリアル版っていうのかな……？
桜庭　あ、アンドレvs誰か、みたいな。
——そうそう。そういうのが現実的に出てきちゃうと、ファンの欲求はとどまることを知らないから、その刺激を求めちゃいますよね。そういうことに関してはどう思います？
桜庭　それは確かに見てて面白いですけど、ボクがやるんなら、ボクがボブ・サップになりますよ！
——は？　ボブ・サップになる？
桜庭　ボクがボブ・サップになって、もっと小さい人とやります！
——さすが！　素晴らしい切り返しです。
桜庭　それだったら、いくらでも試合しますよ。小学校5年生ぐらいの大きさの子とだったら。体重差50キロぐらいの（笑）。それで強いヤツ、どっかにいないかなぁ？

10・5「K-1 WORLD GP」の1回戦、たまアリを震源地に全国をロアングリとさせたサップvsホースト戦。その試合後、サクは大歓声の中サップに花束を渡した

だからホント、最終的には子供が出ることになるかもしれないですよ。小学生チャンピオンが「プロに通用するのか！」って感じの流れになったり。
——ガハハハ！「桜庭和志vs小学生」（笑）。桜庭さんは、ボクシング的で厳格な、ランキングがあるような総合格闘技になってほしいわけじゃないんですよね？
桜庭　あ、そうは全然思ってないです。あれやったら面白くないですね。だから……やめた。ヘンなこと言うと、ホントにやんなきゃいけなくなるから（ニコニコ）。
——ダハハ。『PRIDE．22』でボブチャンチンをブン投げた（クイントン・"ランペイジ"・）ジャクソンを見て、「こいつに勝てる日本人は当分出てこないんじゃないか？」と思ったけど、桜庭さんはランペイジをキュッとやっちゃってるんだもんなぁ。今度は、そういう極めの強さを発揮できる相手との試合を見たいですね。
桜庭　ボクはでも、ジャクソンとは殴り合ってないから。あ、ジャクソンvsボブ・サップって見てみたいですよね。でも、ボブ・サップはどこを極めればいいんですかね？　ノゲイラは身長デカいから十字とか取れるけど、ボクがたとえばやったとしたら、どこを極めればいいんだろう？　指4の字ぐらいしかないですよ。
——指4の字！（笑）。
桜庭　首に手を回したって、回らないし。トップロープからの攻撃とかありだったらいいんですけどね。
——スワンダイブ式ミサイルキックとかね（笑）。
桜庭　それか、リングの下に潜っちゃって、後ろからサッと攻撃するとか。何か引っ掛かりそうじゃないですか？
——それ、プロレスじゃないですか（笑）。でも、そういうシーンもルール設定によっては現実に出てきそうだよなぁ。
桜庭　あとは、ノゲイラとやったので、次はミドル級チャンピオンのシウバとボブ・サップ。これ、どうですか？
——それは見たい！　でも、それでサップが勝っちゃったらどうするんですか？　桜庭さんがサップとやらなきゃいけなくなっちゃいますよ（笑）。
桜庭　そうしたらボブ・サップは引退でいいんじゃないですか？　だってチャンピオンが負けるのに、ボクらがやって勝てるわけない（ニコニコ）。
——ガハハハ！　そう来ますか（笑）。でもそれぐらいボブ・サップっていう存在は貴重っていうか、格闘技の根っこを考える上ではいい研究材料ですよね（笑）。
桜庭　でもボブ・サップとやるときはリングをデカくした方がいいと思うんですよね。昔、ボクもレネ・ローゼとやったじゃないですか。足首を取ってもローゼが1回転したらもうロープに届くんですよ。ボクらは一生懸命逃げて、やっとロープに行くのに。だから、ああいう人たちとやるときには、グーッと回せばニューンと広がるリングを作ればいいんじゃないですか？　あとは巌流島でやるとか。
——巌流島でやっても、リングの大きさがいまと一緒だったら一緒ですけどね（笑）。
桜庭　あーっ！　確かに（笑）。
——ルール設定っていえば、吉田秀彦vsホイス戦はどう見ました？
桜庭　う〜ん。ああいうレフェリングをされたら、ボクも抗議しますよ。だって確認してないですからね。落ちた、落ちてないとかの問題じゃなくて、レフェリーは確認しなければいけないと思うんですよね。何のためにレフェリーがいるのかわかんないですからね。
——じゃあ、あのときに限っては、グレイ

シーの抗議はまともだったと。
桜庭 そうですね。落ちたって死ぬわけないんだから！
——ガハハハ！ また残酷な（笑）。
桜庭 落ちるだけなんだから。また起こせば生きるんですから。落ちて1時間も2時間も放っとくわけないじゃないですか、レフェリーがいるんだから。あれを「ミスじゃない」って言ってる人、いるんですかね？
——主催者側は「裁定通り」としましたけど、ボクもあれはミス・ジャッジだとは思いますよ。
桜庭 だってウチの母親が言ってましたもん。何にも知らないのに。「あの試合どうなの？」って聞くから「レフェリーのミスじゃないの？」って言ったら「やっぱりね」みたいな感じで。だから決まったことは仕方ないですけど、普通の知らないおばさんが見ても「あれっ？」って思うんだから。
——そういうときは素人の目の方が正しかったりしますからね、意外と。
桜庭 でもレフェリーのことをあんまり言うと、こっちになんかやってきたりするかなぁ？ ホラ、食べ物屋行って「髪の毛入ってんじゃねぇかよ、この野郎！ 取り替えて来い！」ってバイトのヤツとかに怒ったら、新しいの持って来るときに、「ペッ」ってツバ入れて持って来るかもしれないですからね。そういう意味で、そこらへんをあんまり突っつくと、次のときに何をやられるかわかんないから。ちょっと下になったら「ストップ！ ストップ！」とか言われたくないですからね（笑）。
——人が闘って、人が捌いて、人が見るわけですから、ゲームのようにはいきませんよね。何が起こるかわからない（笑）。
桜庭 それはしょうがないですけどね。

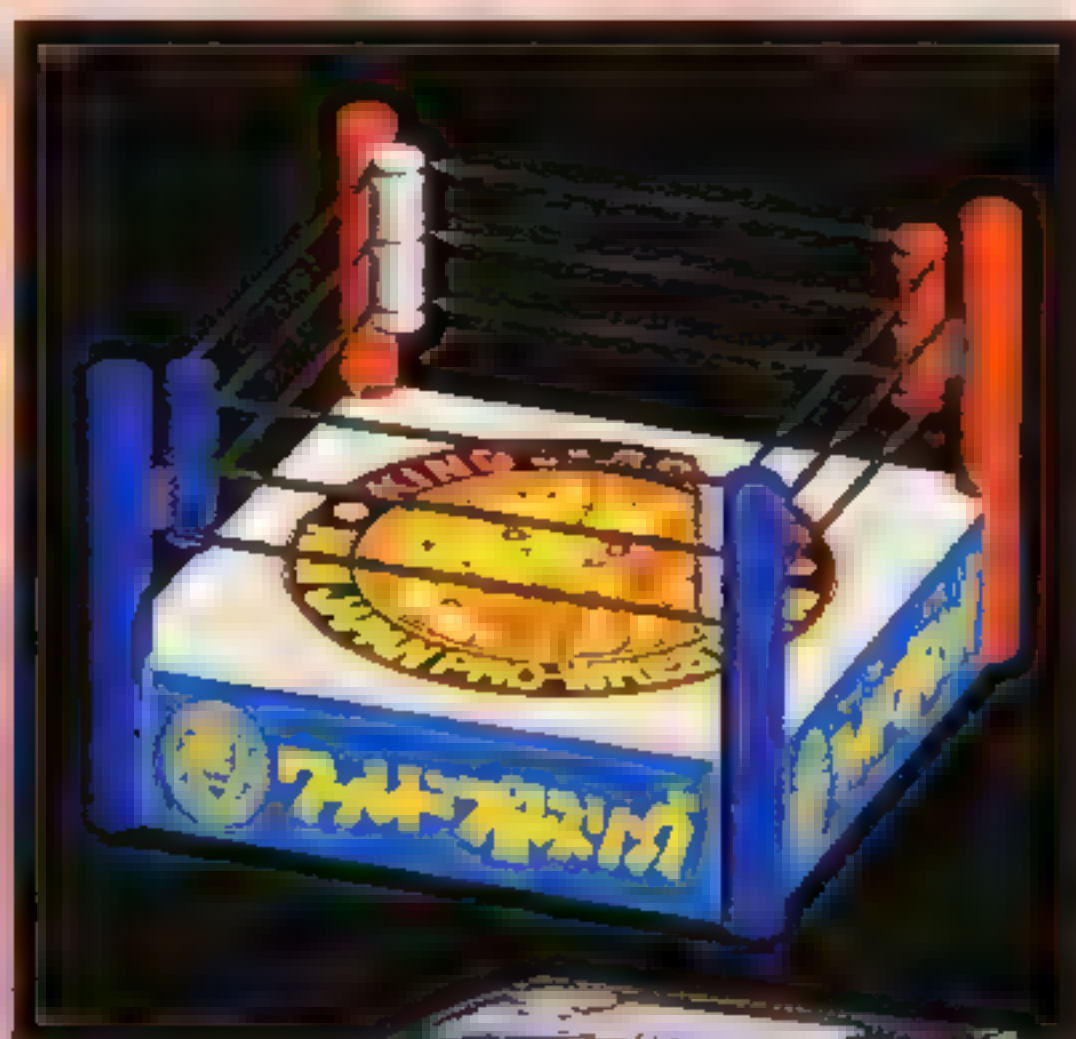
引退？ だって辞めちゃったら、何もやることないじゃないですか

KAZUSHI SAKURABA

——対戦相手として吉田選手には興味ないんですか？
桜庭 ボクは日本人とはやりたくないから。だって倒さなきゃいけない外国人がいっぱいいるわけじゃないですか。もしかしたら日本人には先祖が1人しかいなくって、みんな血が繋がってるかもしれないじゃないですか！
——ガハハハ！ そんなバカな！
桜庭 もしそうだったら遠い遠い親戚ですよ。それなのに、わざわざ闘う必要ないと思いますけどね。身内で殺し合いしなくたっていい。
——そうなると「外国人で誰と闘いたいですか？」って質問になっちゃうじゃないですか（笑）。
桜庭 いや、とりあえず外国人（笑）。
——ガイジン好きなところは変わらない、と（笑）。ところで今度の東京ドームは高田さんの引退マッチがありますね。
桜庭 なんか、子供が生まれてくるまで実感が沸かないのと似てるような感じがしますね。母親の方は自分のお腹にいるから、子供ができた時点で「自分の子供だ」って実感沸くかもしれないけど、男親は生まれてきて抱っこしてみて、それでもまだ実感沸かないときもありますからね。「パパ」とか言われて、やっと「あっ！ 息子か……」とか思って。そんな感じで、まだ一緒に練習してるし、いままでの生活と同じことを道場でやってるので。その試合が終わって、一緒にスパーリングとかもしなくなって、それからだんだん実感が沸いてくるんじゃないですかね。
——なるほど。いまは目以外で身体に悪いとこはないんですか？
桜庭 つき指とかですね。肩はもうほとんどよくなってます。ミルコ戦でも全然気になんなかったし。でもやっぱ怪我が一番嫌ですね、腹立ちますね。
——でも、それだけ何回も怪我してでも、リングに上がりたいと思うのは、プロレスラーの性っていうか、プロレスラーの凄みですよね。「まだやりたい」って言ってる桜庭さんは天性のプロ格闘家ですよ。
桜庭 勝った分だけ負けて、負けた分だけ、これからまた、勝ち始めると思います。
——おお、力強い！
桜庭 でもまた次回負けるかもしれないですけど（ニコニコ）。
——ズコッ。
桜庭 勝ってきた期間なのか、それとも勝った数なのかわかんないですけど、そのぶん負けるのもあるんだろうなって。なんにでも波がありますからね。だから、最後に勝ちゃあいいんですよ！
——でもホントに引退は考えてないですよね？ 今回の怪我で引退という二文字が頭をよぎったとか？
桜庭 いや、全っ然！（キッパリ）。だって辞めちゃったら、何もやることないじゃないですか。
——はい。全然元気そうでよかったです。東京ドーム、期待してます！
桜庭 いや、まだ出るって決まったわけじゃ……………。

【10月11日／東京・武蔵小山・高田道場にて収録】

RADICAL PRESENT'S

NEW JAPAN

NEW JAPAN PRO-WRESTLING Tinibiz
1BOXにどれか一体のフィギュアとリングを12個に割ったパーツかランダムに入ってます。シークレット・フィギアもあるぞ!【ラナ提供】
お問い合わせTEL.06-6258-9444　¥600　© INOKI INTL.INC　© 2002NEW JAPN PRO-WRESTLING　© ダイナミック企画

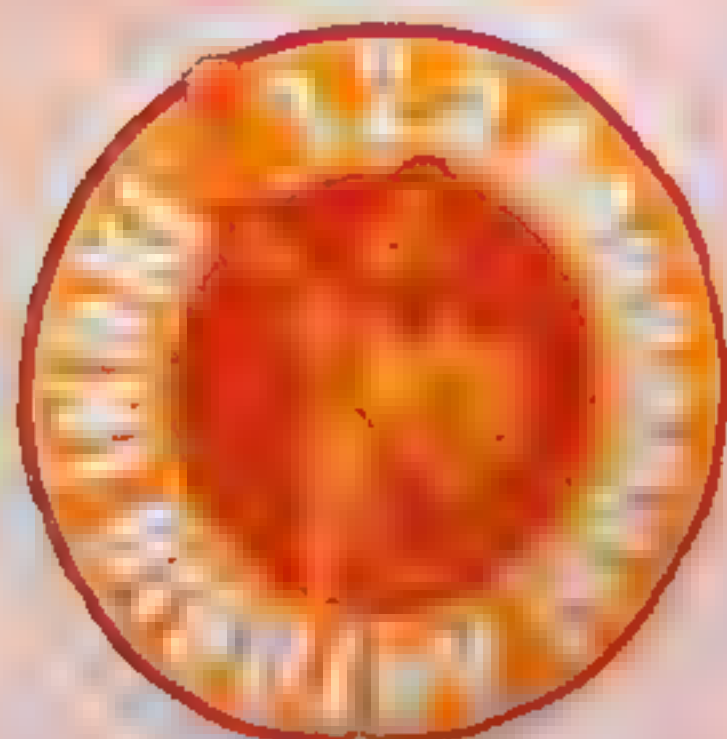
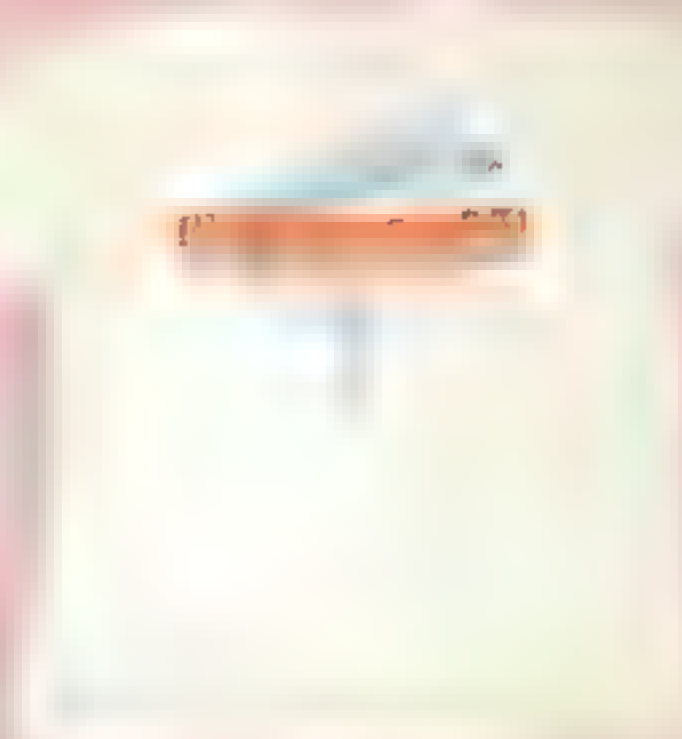
セットで3名様

ANTON

1名様

アントン灰皿
鼻で火を消す逸品
【編集部提供】

『PRIDE』

【DSE提供】
お問い合わせ　『PRIDE ナビダイヤル03-5775-5852　【URL】http://www.so-net.ne.jp/pride/

猪木クッション
¥3,900

イノキダイフTシャツ
¥4,000

サクマスククッション
¥3,500

各1名様

シウハ様のメンチクッキー
¥1,000

藤田クッション
¥3,900

ZERO-ONE

10名様

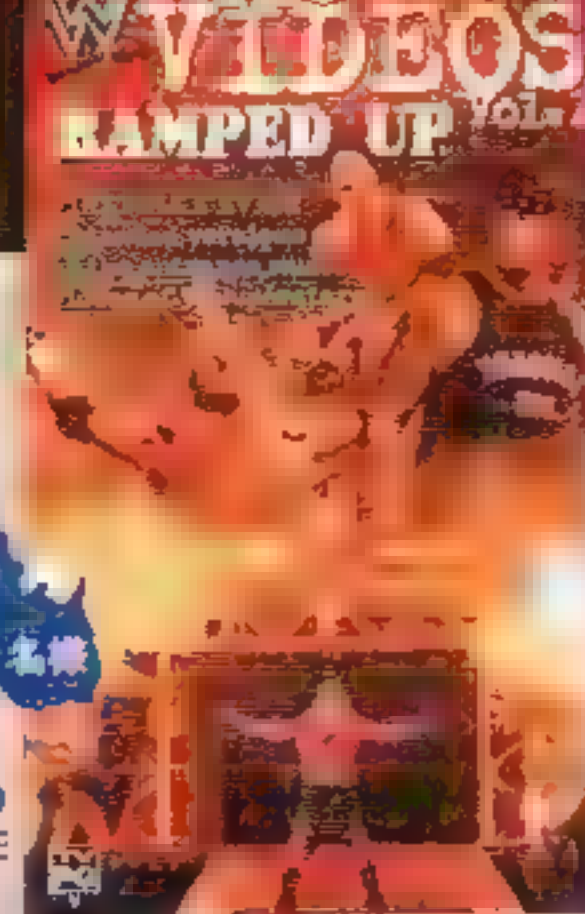
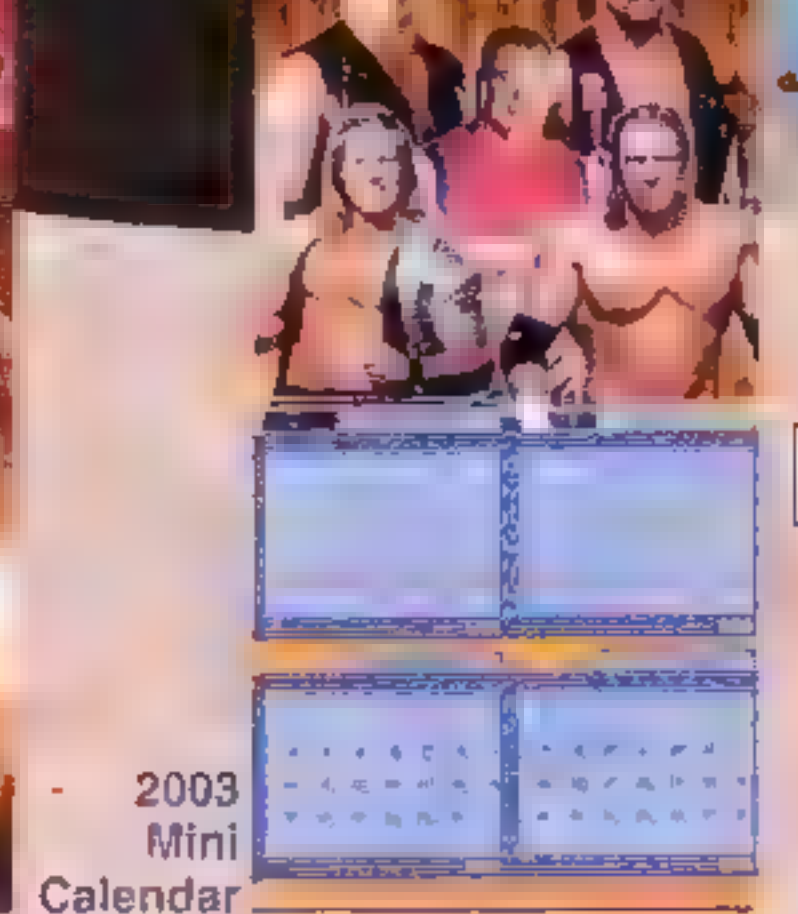
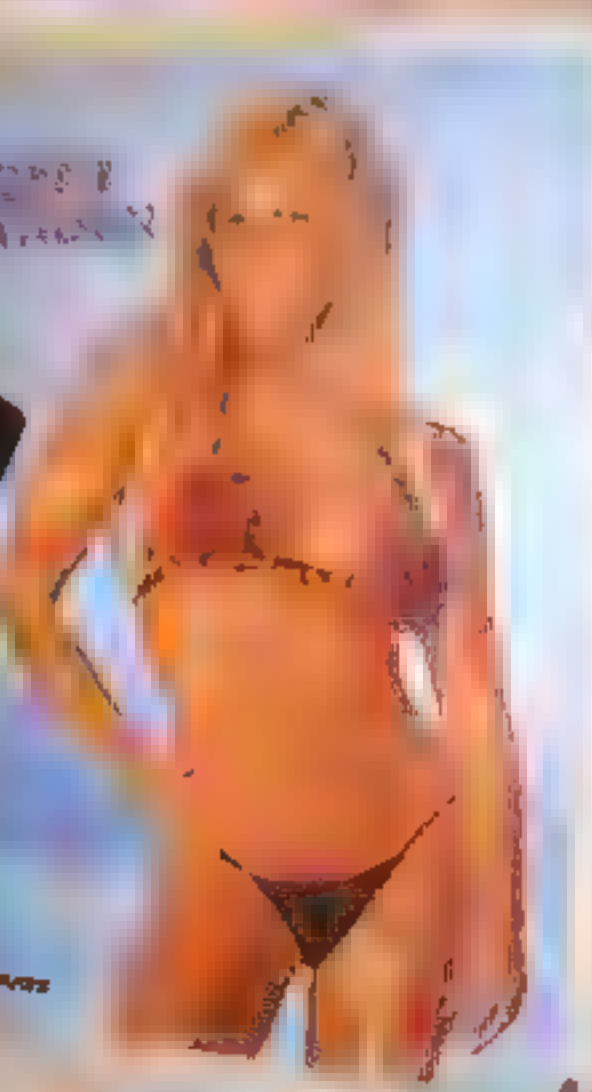
橋本真也サイン入りポスター
【橋本真也提供】

Big blue

【場所】東京都港区浜松町2-5-1石渡ビル2F
【アクセス】浜松町駅(JR)　大門駅(地下鉄浅草線・大江戸線)　芝公園駅(地下鉄三田線)
【TEL】03-3435-2883　【URL】http://sovation.com/bigblue.html

Booker-T "SPIN-A-ROONY"

Edge 'EDGE ARMY'

各1名様

The VIDEOS Ramped Up
10人のスーパースターズのプロモが一本のビデオに

2003 Mini Calendar

Torrie Wilson Poster

BRAJIRIAN TOP TEAM

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラTシャツ（サイン入りLサイズ）

マリオ・スペーヒーTシャツ（サイン入りLサイズ）

TAKADA

高田延彦Tシャツ（Mサイズ）
バックにメッセージ入り【高田道場提供】
高田道場【URL】http://www.takada-dojo.com/

BOYAKING

【URL】http://www.hiromitsu-kanehara.com/home/index.html

金原弘Tシャツ（Mサイズ）

BAM BAM BIGELOW

渋谷店OEPN 【場所】東京都渋谷区宇田川町32-13パルコクアトロ2階
【TEL】03-3477-8939 11:00〜21:00
下北沢店【TEL】03-3460-1145 大阪店【TEL】06-6245-1602 【URL】BAMBAM88.COM

花くまゆうさく労働2号スウェット（グレーXLサイズ） アンドレ・ロングTシャツ（ホワイトMサイズ）

OTOKO JUKU

【I V Y BOOKs提供】
名古屋本店 愛知県名古屋市中村区則武1-12-1 【TEL】052-459-7122
春日井店 愛知県春日井市西本町1-16-1 【TEL】0568-32-8808 【URL】http://www.mmjp.or.jp/IVY/

男塾塾長・江田島平八Tシャツ①

剣桃太郎Tシャツ

男塾塾長・江田島平八Tシャツ②

宮櫻源次Tシャツ

男塾校歌Tシャツ

魁!! 男塾Tシャツ

ART JUNKIE

DEADLY DIET Tシャツ（大石真文）
¥3,800【ART JUNKIE提供】
【TEL】53-451-5507
【URL】http://open.rad.ac.jp/~dn.artjunkie/

応募要項

1 郵便番号・住所・電話番号
2 氏名
3 年齢・職業
4 希望商品
5 面白かった記事&その理由
6 つまらなかった記事&その理由
7 やって欲しい企画
8 好きな選手&嫌いな選手

【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
「紙プロRADICAL」編集部
「健介やめるな」係まで
※締切は2002年11月20日(水)当日消印有効

THIS MONTH'S BOOK

角田信明のフルコンタクト英会話

K-1ファイター!の通訳をこなすほど英会話に堪能な角田信明が、英語にまつわる秘話を交えながら習得の秘訣を明かした一冊 著者／角田信明 ¥1200（税別）【講談社提供】

ふたりでひとり
〜上田馬之助とその妻の物語〜
馬之助さんの妻の恵美子さんの一人語りで、馬之助さんとの出逢いから現在の介護生活を構成した夫婦感動の物語。著者／上田恵美子 取材・文／栃内良 ¥1,400（税別）
【ミリオン出版提供】

MUSIC

プロレス・格闘技秘蔵コレクション「J〜プロ・格探偵団」
シャンホ鶴田のテーマ「J」のオリジナル、オーケストラ版「スカイ・ハイ」、中継テレビ番組のエンディング等、秘蔵曲を収録したオムニバスCD。¥2,381（税込）【バップ提供】

猪木快守リサイタル
「我が歌 我が人生
〜ハブロ猪木 オータムリサイタル
【日時】11月10日 15:00
【会場】千代田区立内幸町ホール
【チケット】前売:¥3500 当日 ¥4,000
【お問い合わせ】(株)アクション21
【TEL】03-5779-7377

No.55

2002年11月25日発行

No.56は
11月下旬発売予定!

※多分にです。地域によっては多少発売日が遅れます

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎(龍券に選ばされたため幕番)

スーパーバイザー
吉田豪

アートディレクター
出田さん(TwoThree)

スーパー助っ人
スモーノブ

助っ人
中村カタブツ君
片山ボン
ジャイ子

一人電気部
さささい

デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん(以上TwoThree)
トメさん
はなえちゃん(以上さおとめの事務所)
海老沢勇(Zero graphics)
古賀ゆきえ
佐藤恵美
石田理恵

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

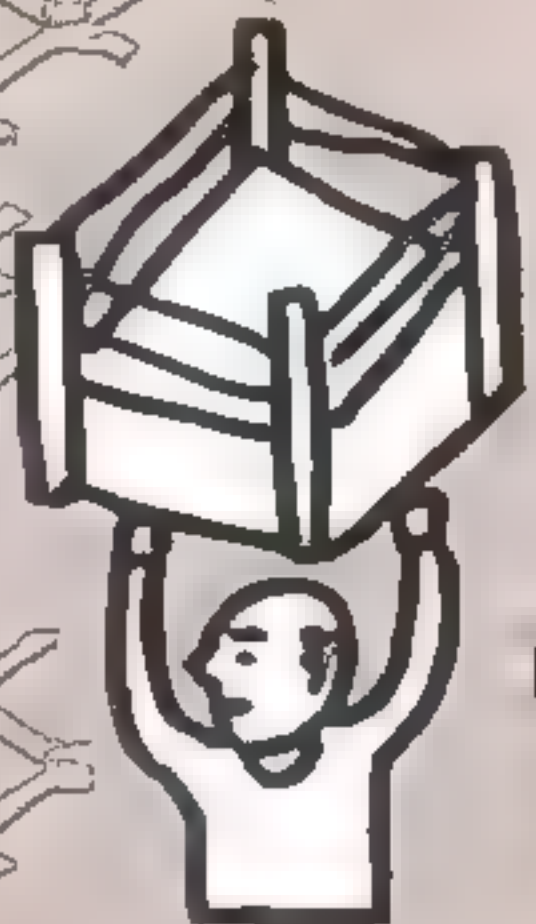
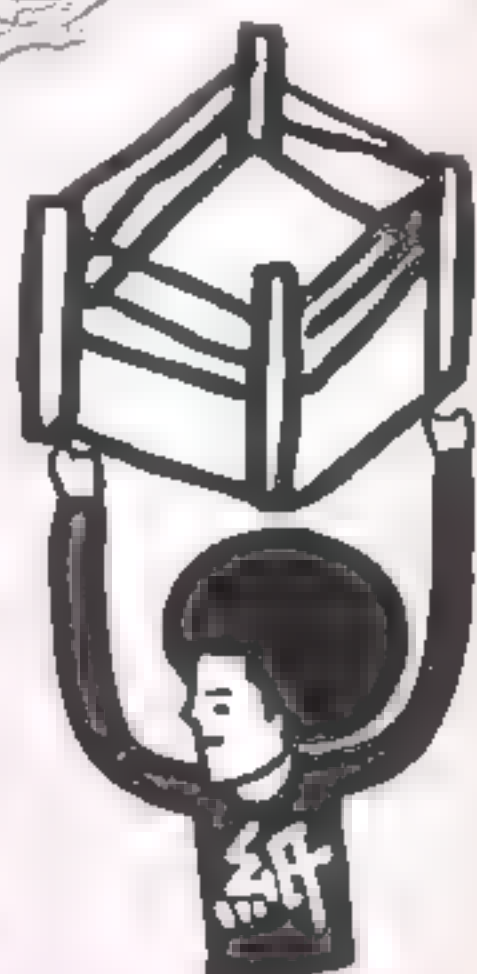
お勘定&衣料部
林"ヘ クション"一枝

出前
出前持ち入江 TwoThree

フィニッシュ
ツ ・スリ
さおとめの事務所
ゼロ・グラフィックス

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元 株式会社ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町 番地 TEL.03-3357-2911(販売・営業)
発行元 株式会社ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 TEL.03-3403-5188 編集・制作

新作はZERO−ONEグッズだけはない
Kapraパーカーも11月に登場予定だ!

ロシアン・トップチームTシャツ〈レッド〉	ロシアン・トップチームTシャツ〈ホワイト〉	田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ホワイト〉	田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800 M or L or XL	¥3,800 S or M or L or XL	¥3,800 S or M or L	¥3,800 S or M or L or XL

「紙のプロレス」・紙Tシャツ〈ネイビー〉	紙のプロレス・紙Tシャツ〈ホワイト〉	U.M.F.トリムシャツ〈白×黒〉	U.M.F.トリムシャツ〈白×青〉
¥3,000 S or M or L or XL	¥3,000 S or M or L or XL	¥3,000 or or L	¥3,000 or or L

通販方法

希望商品の代金＋送料¥500（何枚でも可・ネックピースだけなら¥300）を郵便振替か現金書留で下記の住所まで送るんだ! 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品（サイズとカラーを明記）を必ず表記してください! 記入しないと商品が発送できません。隣のページのTシャツの申込みもOK!

【郵便振替の宛先】
00130-3-769154

【現金書留】
〒151-0051東京都渋谷区
千駄ケ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

【お問い合わせ先】
（株）ダブルクロス
TEL.03-3403-5188

Kapra半袖Tシャツ〈デニム〉	SS Tシャツ半ソデ〈赤〉	SS Tシャツ半ソデ〈紺〉
¥3,500 S or or L	¥3,500 or M or L	¥3,500 or M or

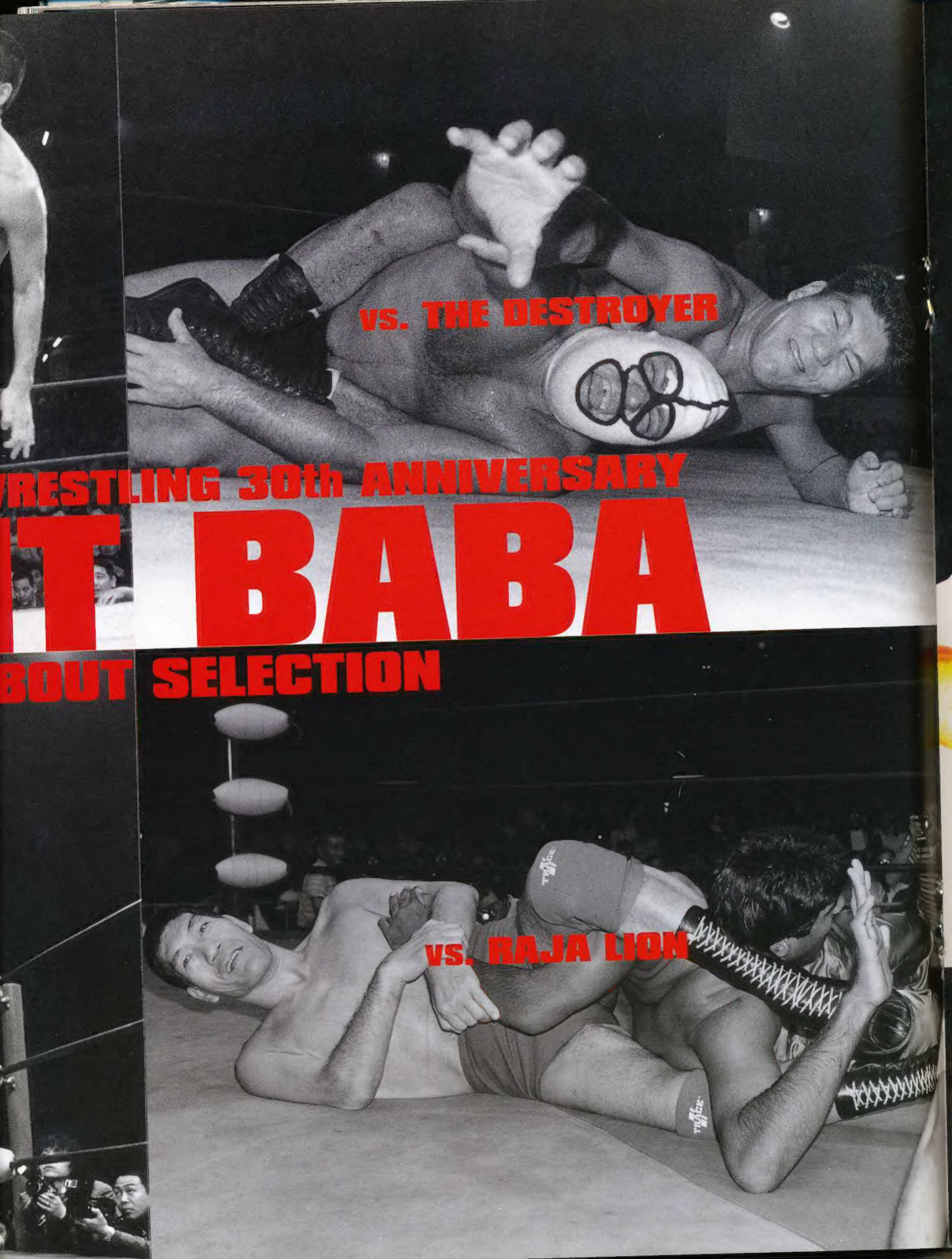
紙プロネックピース	リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉	リング・アフロラグラン半袖Tシャツ〈黒×グレー〉
¥1,200→大特価¥600	¥4,500 S or M or L	¥3,800 S or M or

通販完売商品は直販店にある!?
【「紙プロ」ウェア常備ショップ】★チャンピオン（TEL.03-3221-6237）★東京イサミ（TEL.03-3352-4083）★岐阜・ハンザイ商会（TEL.0584-75-4966）★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160）★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551）★グレート・アントニオ（TEL.03-3219-9550）★大阪・バディスラム（TEL.06-6645-1378）★三恵格闘技SHOP長崎（TEL.095-824-8658）★三恵格闘技SHOP諫早（TEL.0957-22-4646）

INDEX

※50音及びアルファベット順

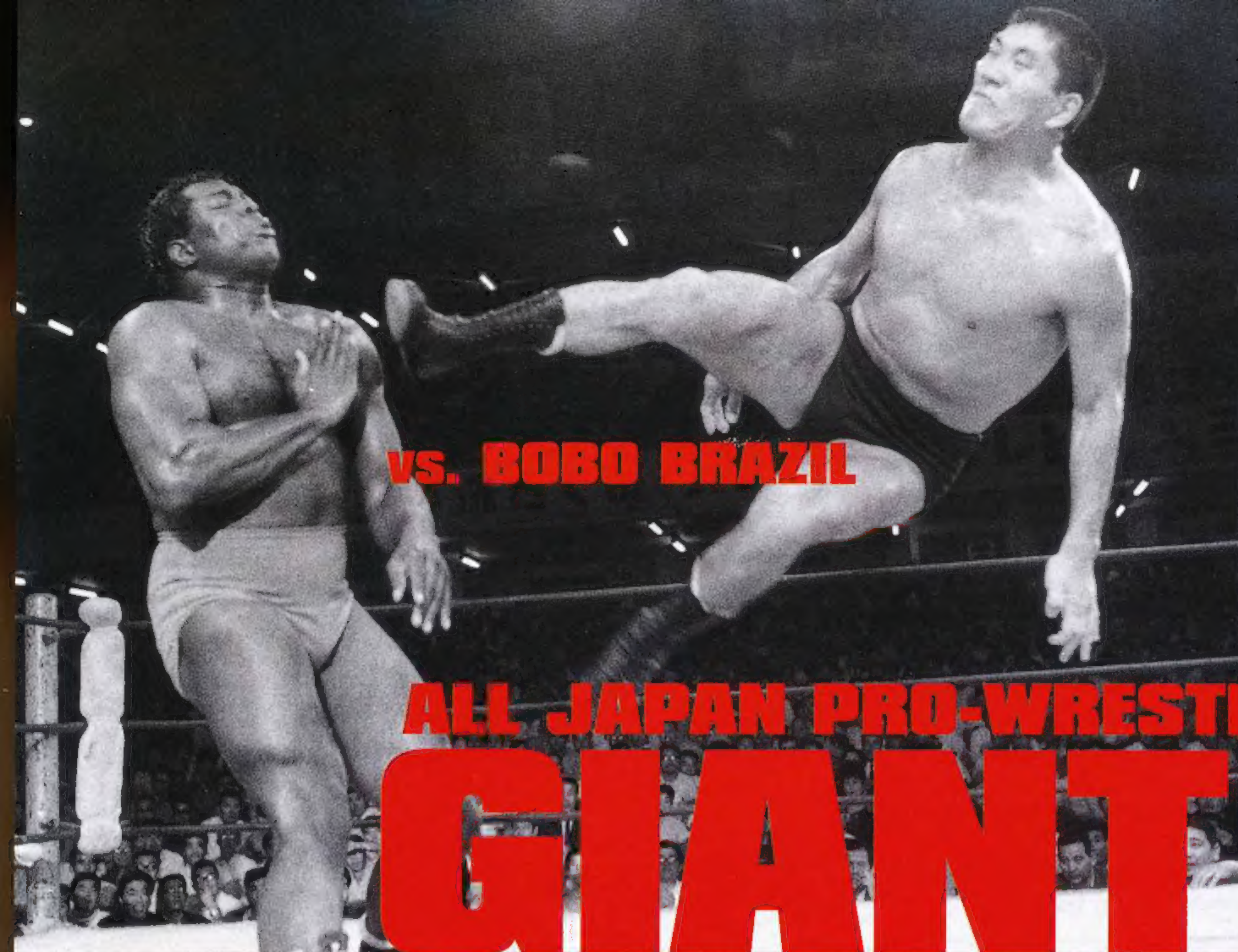
名称	電話	住所
アルシオン	→03-5745-6101	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24　サンハイツ1004
大阪プロレス	→06-6636-6672	〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36　フェスティバルゲート2F
怪獣王国	→03-5952-1177	〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F
キャプチャー	→044-959-3333	〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1　横山ビルB1
キングダム・エルガイツ	→0423-31-2797	〒206-0822東京都稲城市坂浜2305
栗栖ジム	→06-6790-8896	〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7
喧嘩プロレス二瓶組	→044-588-2438	〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2　二瓶ビル
国際プロレス	→0467-86-0197	〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14
修斗コミッション	→03-5824-1324	〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8　若山ビル201
女子総合格闘技・AX	→03-5286-7921	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1-7
新日本プロレス	→03-5468-3111	〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11
掣圏道	→03-5456-7333	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14　恵比寿スカイハイツ607
全日本女子プロレス	→03-3493-6541	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
全日本プロレス	→03-3403-7344	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12
大日本プロレス	→045-937-0811	〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4347
ダイプロデュース(大仁田興行)	→03-5496-4900	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3　大北ビル3F
髙田道場	→03-5749-5030	〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6　ワールドパレス武蔵小山1F-B1
高山堂	→03-5464-2806	〒150-0011 東京都渋谷区東2-21-9-803ジェイパーク渋谷イーストスクエア
闘龍門JAPAN	→078-333-9797	〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8　TOWA元町ビル901
トータルワークアウト	→03-3280-5557	〒108-0073 東京都港区三田4-7-24　明るいビル
ドリームステージエンターテインメント	→03-5775-5700	〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4　ルーメリ赤坂103
バトラーツ	→0489-63-0005	〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
パンクラス	→03-5792-0815	〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
プロレスリング・ノア	→03-3527-5311	〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
みちのくプロレス	→019-626-1333	〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
DDT	→03-3868-9181	〒112-0002 東京都文京区小石川2-9-7　MOR MOTO FLATS 4F
DEEP 2001事務局	→052-339-0303	〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
GAEA JAPAN	→03-5459-3101	〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1F
GCM COMMUNICATION [illegible]	→03-3538-5801	〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10　松楠ビル9F
IWAジャパン	→03-3352-3366	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1　四谷サンハイツ401
Jd'	→03-5561-0522	〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4　ランディック赤坂ビル4F
JWP	→03-5849-2341	〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4
K-1事務局	→03-3796-2977	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
KAIENTAI DOJO	→043-214-6960	〒260-0001　千葉県千葉市中央区都町3-4-17
LLPW	→03-3945-7926	〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4　ピクセル文京105
NEO	→044-422-8344	〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
SMACK GIRL実行委員会	→03-5545-4766	〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5　ノアビル12階
SPWF	→03-3814-6371	〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4　クロサキビル
T.A.M.A	→042-572-6795	〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5
U-FILE CAMP	→044-932-0282	〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568
UFO	→03-5447-2121	〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5　OK白金台ビル7F
WEW	→03-5958-5651	〒176-0005 東京都豊島区南大塚3-34-4ニューヴァリー2F
WMF	→03-5362-7364	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-26　テクノ四谷ビル2F
WWS	→0495-24-6900	〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23　レインボー本庄106
ZERO-ONE	→03-5730-3401	〒105-0014 東京都港区芝2-30-11　寿ビル601
ZIPANG	→03-3312-0328	〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21　ハイネス梅里201

ん〜ッ、
魔界倶楽部!!

VS. THE DESTROYER

RESTLING 30th ANNIVERSARY

T BABA

BOUT SELECTION

VS. RAJA LION

vs. BOBO BRAZIL
ALL JAPAN PRO-WRESTLING 3
GIANT B
BEST BOUT SELE
vs. STAN HANSEN

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇
♠ 松澤チョロ
◆ 堀江ガンツ
◎ ジャン斉藤
♥ ささきぃ

大阪■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）
みちのく■宮崎・三股町体育館（18:30）

17 SUN.

『WRESTLE−1』■神奈川・横浜アリーナ（18:00）◆
ノア■東京・ディファ有明（16:00）
闘龍門■愛知・豊橋市総合体育館サブアリーナ（17:30）
大阪■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
GAEA■東京・後楽園ホール（12:00）
アルシオン■大阪・堺大浜体育館（予定）
みちのく■長崎・諫早市体育館（15:30）

18 MON.

ノア■新潟・新潟市体育館（18:30）
アルシオン■兵庫・姫路みなとドーム（予定）

19 TUE.

LLPW■東京・後楽園ホール（19:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）

20 WED.

ノア■大阪・大阪府立体育館第2競技場（18:00）

21 THU.

ZERO−ONE■鹿児島・鹿児島アリーナ（18:30）◎
DDT■東京・渋谷ATOM（19:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）

22 FRI.

ノア■千葉・千葉公園体育館（18:30）
ZERO−ONE■香川・高松市総合体育館（18:30）◎
チャバリータASARI自主興行■東京・ディファ有明（19:00）

23 SAT.

新日本■神奈川・藤沢市秋葉台文化体育館（18:30）
全日本■東京・後楽園ホール（12:30）
ノア■東京・メッセ昭島（17:00）
闘龍門■埼玉・桂スタジオ（18:00）
掣圏道■北海道・室蘭市総合体育館（14:00）
『ZST』■東京・ディファ有明（17:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）
WMF■東京・バトルスフィア東京（16:00）

24 SUN.

新日本■長野・上田市民体育館（15:00）
『PRIDE.23』■東京・東京ドーム（17:00）★◆◎♥
ノア■宮城・宮城県スポーツセンター（16:00）
ZERO−ONE■福岡・西日本総合展示場新館（16:00）◎
J−DO■兵庫・神戸チキンジョージ（時間未定）
闘龍門■埼玉・ペペホール・アトラス（17:00）
大阪■大阪・デルフィンアリーナ（14:00）
GAEA■大阪・大阪ドーム・スカイホール（16:00）
全女■東京・全女事務所（12:00）
Jd'■東京・新宿アイランドホール（13:00）
真戦組■東京・Z−ZONE NAGAYAMA（18:00）

25 MON.

全日本■福岡・小倉北体育館（18:30）

26 TUE.

新日本■長野・長野運動公園総合体育館（18:30）
全日本■熊本・益城町総合体育館（18:30）
ノア■秋田・大館市民体育館（18:30）
ZERO−ONE■東京・後楽園ホール（18:30）◎
IWA■福島・福島市国体記念体育館（18:30）
栗栖ジム■大阪・大阪府立体育館第2競技場（18:00）
Jd'■宮城・石巻市総合体育館（19:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）

27 WED.

全日本■岡山・岡山武道館（18:30）

28 THU.

全日本■大阪・大阪府立体育館第2競技場（18:30）
DDT■東京・後楽園ゆうえんち内ジオポリス（19:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）

29 FRI.

全日本■愛知・豊田市体育館（18:30）
IWA■東京・バトルスフィア東京（18:30）
全女■東京・東京武道館（18:00）

30 SAT.

パンクラス■神奈川・横浜文化体育館（18:30）♠
ノア■北海道・旭川大成市民センター体育館（18:00）
Jd'■宮城・築館町総合運動公園体育館（18:00）
大阪■大阪・デルフィンアリーナ（18:00）
K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）
IWA■茨城・水戸市民体育館（18:30）

12 Desember

1 SUN.

全日本■東京・後楽園ホール（12:30）
闘龍門■兵庫・明石市産業交流センター（17:00）
ノア■北海道・月寒グリーンドーム（16:00）
IWA■東京・後楽園ホール（18:30）
Jd'■岩手・一関文化センター体育館（14:00）
GAEA■静岡・浜松市体育館（13:00）

2 MON.

全日本■新潟・長岡市厚生会館（18:30）

3 TUE.

K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）

4 WED.

全日本■宮城・石巻市総合体育館（18:30）
ノア■静岡・キラメッセ沼津（18:30）
NEO■東京・北沢タウンホール（19:00）

5 THU.

K−DOJO ■千葉・Bule Field（19:00）

6 FRI.

全日本■東京・日本武道館（18:30）
大日本■東京・後楽園ホール（19:00）

RADICAL CALENDAR

10 October

28 MON.

闘龍門■東京・後楽園ホール(18:30)◆♥

29 TUE.

パンクラス■東京・後楽園ホール(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
WEW■福岡・アクロス福岡イベントホール(18:30)
NEO■北海道・函館市民体育館(18:00)
アルシオン■石川・石川県産業展示館3号館(18:30)

30 WED.

新日本■岡山・津山市総合体育館(18:30)
WEW■福岡・久留米リサーチセンタービル展示場(開始時間未定)

31 THU.

大日本■神奈川・横浜赤レンガ倉庫(18:30)
新日本■鳥取・鳥取産業会館(18:30)
ノア■東京・ディファ有明(19:00)
DDT■東京・渋谷ATOM(19:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

11 November

1 FRI.

WEW■愛知・豊橋総合体育館サブアリーナ(18:30)
全女■神奈川・小田原サブアリーナ(18:30)

2 SAT.

新日本■福井・福井市体育館(18:30)
WEW■京都・KBSホール(18:00)
アルシオン■愛知・豊橋市総合体育館第2競技場(18:30)
Jd'■福岡・九州歯科大学駐車場特設リング(13:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
DDT■東京・立教大学池袋キャンパス5号館前特設(13:30)

3 SUN.

新日本■長野・飯田市勤労者体育センター(16:00)
大阪■三重・近大高専体育館(15:00)
JWP■東京・ディファ有明(17:00)
全女■東京・後楽園ホール(12:00)

4 MON.

新日本■千葉・幕張メッセ国際展示場11ホール(16:00)
WEW■神奈川・横浜文化体育館(17:00)
大日本■新潟・上越市厚生南会館(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(13:00)
シュートボクシング■東京・後楽園ホール(16:00)
全女■静岡・キラメッセぬまづ(18:30)
アルシオン■東京・後楽園ホール(12:00)

5 TUE.

大日本■新潟・新潟フェイズ(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

6 WED.

アルシオン■岐阜・サンライズ中津川(18:30)

7 THU.

DDT■東京・渋谷ATOM(19:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

8 FRI.

みちのく■東京・大田区体育館(18:00)♠

9 SAT.

SMACK GIRL■東京・ディファ有明(18:30)♠
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
U−FILE■東京・大田区体育館別館(14:00)

10 SUN.

大日本■東京・後楽園ホール(18:30)
大阪■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
GAEA■ 愛知・名古屋国際会議場イベントホール(15:00)
NEO■東京・後楽園ホール(12:30)
Cuib『DEEP』■愛知・Cuib ozon(14:00)
掣圏道■北海道・苫小牧市総合体育館(14:00)
華☆激■福岡・CLUB BA−COO(14:00)
アルシオン■静岡・アクトシティ浜松(14:00)
みちのく■熊本・熊本木材(株)八代支店倉庫(15:00)

11 MON.

大日本■静岡・キラメッセぬまづ(18:30)
Jd'■東京・北沢タウンホール(18:30)
みちのく■大分・大分県立荷揚町体育館(18:30)

12 TUE.

大阪■東京・後楽園ホール(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
みちのく■福岡・甘木青果市場(18:30)

13 WED.

バトラーツ■東京・後楽園ホール(19:00)♥
大阪■静岡・キラメッセ沼津(19:00)
みちのく■長崎・佐世保市体育文化館(18:30)

14 THU.

ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
DDT■東京・渋谷ATOM(19:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
みちのく■鹿児島・鹿児島市民体育館(18:30)

15 FRI.

闘龍門■愛知・豊田市体育館(18:30)
修斗■東京・後楽園ホール(18:30)
みちのく■宮崎・小林市民体育館(18:30)

16 SAT.

ノア■静岡・アクトシティ浜松(18:00)
ZERO−ONE■三重・鳥羽市民体育館(18:30)◎
闘龍門■愛知・岡崎市竜美丘会館(17:00)
大阪■大阪・デル
K−DOJO ■千葉
みちのく■宮崎・

17 SUN.

『WRESTLE−1』
ノア■東京・ディフ
闘龍門■愛知・豊
大阪■大阪・デル
GAEA■東京・後
アルシオン■大阪
みちのく■長崎・

18 MON.

ノア■新潟・新潟
アルシオン■兵庫

19 TUE.

LLPW■東京・後
K−DOJO ■千葉

20 WED.

ノア■大阪・大阪

21 THU.

ZERO−ONE■
DDT■東京・渋谷
K−DOJO ■千葉

22 FRI.

ノア■千葉・千葉
ZERO−ONE■
チャパリータASA

23 SAT.

新日本■神奈川・
全日本■東京・後
ノア■東京・メッセ
闘龍門■埼玉・桂
掣圏道■北海道・
『ZST』■東京・デ
K−DOJO ■千葉
WMF■東京・バト

24 SUN.

新日本■長野・上
『PRIDE.23』■東
ノア■宮城・宮城
ZERO−ONE■福
J−DO■兵庫・神
闘龍門■埼玉・ペ
大阪■大阪・デル
GAEA■大阪・大
全女■東京・全女
Jd'■東京・新宿
真戦組■東京・Z−

25 MON.

全日本■福岡・小

26 TUE.

新日本■長野・長